

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																											
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象は</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">第2.1.8表(1/2)</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象外</div>	<p style="text-align: center;">第2.1.8表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順 (1.5) (3/8) (フロントライン系故障時)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>設備</th> <th>機能喪失を想定する設計基準事故対処設備</th> <th>対応設備</th> <th>設備分類</th> <th>整備する手順</th> <th>中継表の分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">炉内監視装置 炉内監視装置 炉内監視装置 炉内監視装置</td> <td>炉内監視装置(主監視装置) 配置-中 炉内監視装置(予備監視装置) 配置-中 炉内監視装置(監視装置) 配置-中 炉内監視装置(監視装置) 配置-中</td> <td>炉内監視装置(主監視装置) 配置-中 炉内監視装置(予備監視装置) 配置-中 炉内監視装置(監視装置) 配置-中 炉内監視装置(監視装置) 配置-中</td> <td>炉内監視装置</td> <td>炉内監視装置 炉内監視装置 炉内監視装置 炉内監視装置</td> <td>炉内監視装置 炉内監視装置 炉内監視装置 炉内監視装置</td> </tr> <tr> <td>炉内監視装置(主監視装置) 配置-中 炉内監視装置(予備監視装置) 配置-中 炉内監視装置(監視装置) 配置-中 炉内監視装置(監視装置) 配置-中</td> <td>炉内監視装置(主監視装置) 配置-中 炉内監視装置(予備監視装置) 配置-中 炉内監視装置(監視装置) 配置-中 炉内監視装置(監視装置) 配置-中</td> <td>炉内監視装置</td> <td>炉内監視装置 炉内監視装置 炉内監視装置 炉内監視装置</td> <td>炉内監視装置 炉内監視装置 炉内監視装置 炉内監視装置</td> </tr> <tr> <td>炉内監視装置(主監視装置) 配置-中 炉内監視装置(予備監視装置) 配置-中 炉内監視装置(監視装置) 配置-中 炉内監視装置(監視装置) 配置-中</td> <td>炉内監視装置(主監視装置) 配置-中 炉内監視装置(予備監視装置) 配置-中 炉内監視装置(監視装置) 配置-中 炉内監視装置(監視装置) 配置-中</td> <td>炉内監視装置</td> <td>炉内監視装置 炉内監視装置 炉内監視装置 炉内監視装置</td> <td>炉内監視装置 炉内監視装置 炉内監視装置 炉内監視装置</td> </tr> <tr> <td>炉内監視装置(主監視装置) 配置-中 炉内監視装置(予備監視装置) 配置-中 炉内監視装置(監視装置) 配置-中 炉内監視装置(監視装置) 配置-中</td> <td>炉内監視装置(主監視装置) 配置-中 炉内監視装置(予備監視装置) 配置-中 炉内監視装置(監視装置) 配置-中 炉内監視装置(監視装置) 配置-中</td> <td>炉内監視装置</td> <td>炉内監視装置 炉内監視装置 炉内監視装置 炉内監視装置</td> <td>炉内監視装置 炉内監視装置 炉内監視装置 炉内監視装置</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">* 1. 本表は「1.1. 炉内監視装置(炉内監視装置)」を適用する際の仕様等、に準拠する。 * 2. 詳細は「1.1. 監視の確保」に関する仕様等、に準拠する。 * 3. 異なる設備等に対して同一の設備名が記載されている場合は、対応する設備名を記載する。 * 4. 当該表に記載する最大事故等対処設備 ※：対応に適合する最大事故等対処設備 ※：自主的対策として整備する最大事故等対処設備</p>	設備	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応設備	設備分類	整備する手順	中継表の分類	炉内監視装置 炉内監視装置 炉内監視装置 炉内監視装置	炉内監視装置(主監視装置) 配置-中 炉内監視装置(予備監視装置) 配置-中 炉内監視装置(監視装置) 配置-中 炉内監視装置(監視装置) 配置-中	炉内監視装置(主監視装置) 配置-中 炉内監視装置(予備監視装置) 配置-中 炉内監視装置(監視装置) 配置-中 炉内監視装置(監視装置) 配置-中	炉内監視装置	炉内監視装置 炉内監視装置 炉内監視装置 炉内監視装置	炉内監視装置 炉内監視装置 炉内監視装置 炉内監視装置	炉内監視装置(主監視装置) 配置-中 炉内監視装置(予備監視装置) 配置-中 炉内監視装置(監視装置) 配置-中 炉内監視装置(監視装置) 配置-中	炉内監視装置(主監視装置) 配置-中 炉内監視装置(予備監視装置) 配置-中 炉内監視装置(監視装置) 配置-中 炉内監視装置(監視装置) 配置-中	炉内監視装置	炉内監視装置 炉内監視装置 炉内監視装置 炉内監視装置	炉内監視装置 炉内監視装置 炉内監視装置 炉内監視装置	炉内監視装置(主監視装置) 配置-中 炉内監視装置(予備監視装置) 配置-中 炉内監視装置(監視装置) 配置-中 炉内監視装置(監視装置) 配置-中	炉内監視装置(主監視装置) 配置-中 炉内監視装置(予備監視装置) 配置-中 炉内監視装置(監視装置) 配置-中 炉内監視装置(監視装置) 配置-中	炉内監視装置	炉内監視装置 炉内監視装置 炉内監視装置 炉内監視装置	炉内監視装置 炉内監視装置 炉内監視装置 炉内監視装置	炉内監視装置(主監視装置) 配置-中 炉内監視装置(予備監視装置) 配置-中 炉内監視装置(監視装置) 配置-中 炉内監視装置(監視装置) 配置-中	炉内監視装置(主監視装置) 配置-中 炉内監視装置(予備監視装置) 配置-中 炉内監視装置(監視装置) 配置-中 炉内監視装置(監視装置) 配置-中	炉内監視装置	炉内監視装置 炉内監視装置 炉内監視装置 炉内監視装置	炉内監視装置 炉内監視装置 炉内監視装置 炉内監視装置	<p>【大阪】記載表現の相違(女川審査実績反映) 【大阪】記載方針の相違(女川審査実績反映) ・泊は、女川審査実績を反映し、技術的能力1.2~1.14で整備する手順と用いる設備について第2.1.5表~第2.1.17表に整理し、大規模損壊に特化した手順についてはこれらの表とは別の表(第2.1.18表)として整理するため記載が異なる。記載方針の相違であり、実質的な相違はない。 【大阪】記載方針の相違(女川審査実績反映) ・泊は、流路及び電路として使用する設備を記載する。</p>
設備	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応設備	設備分類	整備する手順	中継表の分類																									
炉内監視装置 炉内監視装置 炉内監視装置 炉内監視装置	炉内監視装置(主監視装置) 配置-中 炉内監視装置(予備監視装置) 配置-中 炉内監視装置(監視装置) 配置-中 炉内監視装置(監視装置) 配置-中	炉内監視装置(主監視装置) 配置-中 炉内監視装置(予備監視装置) 配置-中 炉内監視装置(監視装置) 配置-中 炉内監視装置(監視装置) 配置-中	炉内監視装置	炉内監視装置 炉内監視装置 炉内監視装置 炉内監視装置	炉内監視装置 炉内監視装置 炉内監視装置 炉内監視装置																									
	炉内監視装置(主監視装置) 配置-中 炉内監視装置(予備監視装置) 配置-中 炉内監視装置(監視装置) 配置-中 炉内監視装置(監視装置) 配置-中	炉内監視装置(主監視装置) 配置-中 炉内監視装置(予備監視装置) 配置-中 炉内監視装置(監視装置) 配置-中 炉内監視装置(監視装置) 配置-中	炉内監視装置	炉内監視装置 炉内監視装置 炉内監視装置 炉内監視装置	炉内監視装置 炉内監視装置 炉内監視装置 炉内監視装置																									
	炉内監視装置(主監視装置) 配置-中 炉内監視装置(予備監視装置) 配置-中 炉内監視装置(監視装置) 配置-中 炉内監視装置(監視装置) 配置-中	炉内監視装置(主監視装置) 配置-中 炉内監視装置(予備監視装置) 配置-中 炉内監視装置(監視装置) 配置-中 炉内監視装置(監視装置) 配置-中	炉内監視装置	炉内監視装置 炉内監視装置 炉内監視装置 炉内監視装置	炉内監視装置 炉内監視装置 炉内監視装置 炉内監視装置																									
	炉内監視装置(主監視装置) 配置-中 炉内監視装置(予備監視装置) 配置-中 炉内監視装置(監視装置) 配置-中 炉内監視装置(監視装置) 配置-中	炉内監視装置(主監視装置) 配置-中 炉内監視装置(予備監視装置) 配置-中 炉内監視装置(監視装置) 配置-中 炉内監視装置(監視装置) 配置-中	炉内監視装置	炉内監視装置 炉内監視装置 炉内監視装置 炉内監視装置	炉内監視装置 炉内監視装置 炉内監視装置 炉内監視装置																									

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

泊3号炉との比較対象は
 第2.1.8表(1/2)

比較対象外

第2.1.8表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順 (1.5) (4/8)
 (フロントライン系故障時)

内容	機名	対応設備	設備区分	整備する手順等	手順表の位置
炉内中継機故障 海水ポンプ 停止	機名 機種 機号 機位置	可搬式大型海水ポンプ* 可搬ポンプ・駆動機 ポンプ駆動機取付設備 海水ポンプ	機名 機種 機号 機位置	可搬式大型海水ポンプ* 可搬ポンプ・駆動機 ポンプ駆動機取付設備 海水ポンプ	機名 機種 機号 機位置
		可搬式大型海水ポンプ* 可搬ポンプ・駆動機 ポンプ駆動機取付設備 海水ポンプ		機名 機種 機号 機位置	
		可搬式大型海水ポンプ* 可搬ポンプ・駆動機 ポンプ駆動機取付設備 海水ポンプ			
		可搬式大型海水ポンプ* 可搬ポンプ・駆動機 ポンプ駆動機取付設備 海水ポンプ		機名 機種 機号 機位置	
炉内中継機故障 海水ポンプ 停止	機名 機種 機号 機位置	可搬式大型海水ポンプ* 可搬ポンプ・駆動機 ポンプ駆動機取付設備 海水ポンプ	機名 機種 機号 機位置		可搬式大型海水ポンプ* 可搬ポンプ・駆動機 ポンプ駆動機取付設備 海水ポンプ
		可搬式大型海水ポンプ* 可搬ポンプ・駆動機 ポンプ駆動機取付設備 海水ポンプ		機名 機種 機号 機位置	
		可搬式大型海水ポンプ* 可搬ポンプ・駆動機 ポンプ駆動機取付設備 海水ポンプ			機名 機種 機号 機位置
		可搬式大型海水ポンプ* 可搬ポンプ・駆動機 ポンプ駆動機取付設備 海水ポンプ		機名 機種 機号 機位置	

*1 可搬式大型海水ポンプ*は、可搬式大型海水ポンプ*を指す。
 *2 可搬式大型海水ポンプ*は、可搬式大型海水ポンプ*を指す。
 *3 可搬式大型海水ポンプ*は、可搬式大型海水ポンプ*を指す。
 *4 可搬式大型海水ポンプ*は、可搬式大型海水ポンプ*を指す。
 *5 可搬式大型海水ポンプ*は、可搬式大型海水ポンプ*を指す。
 *6 可搬式大型海水ポンプ*は、可搬式大型海水ポンプ*を指す。
 *7 可搬式大型海水ポンプ*は、可搬式大型海水ポンプ*を指す。
 *8 可搬式大型海水ポンプ*は、可搬式大型海水ポンプ*を指す。

第2.1.8表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順 (1.5) (5/8)
 (フロントライン系故障時)

内容	機名	対応設備	設備区分	整備する手順等	手順表の位置
炉内中継機故障 海水ポンプ 停止	機名 機種 機号 機位置	可搬式大型海水ポンプ* 可搬ポンプ・駆動機 ポンプ駆動機取付設備 海水ポンプ	機名 機種 機号 機位置	可搬式大型海水ポンプ* 可搬ポンプ・駆動機 ポンプ駆動機取付設備 海水ポンプ	機名 機種 機号 機位置
		可搬式大型海水ポンプ* 可搬ポンプ・駆動機 ポンプ駆動機取付設備 海水ポンプ		機名 機種 機号 機位置	
		可搬式大型海水ポンプ* 可搬ポンプ・駆動機 ポンプ駆動機取付設備 海水ポンプ			
		可搬式大型海水ポンプ* 可搬ポンプ・駆動機 ポンプ駆動機取付設備 海水ポンプ		機名 機種 機号 機位置	

*1 可搬式大型海水ポンプ*は、可搬式大型海水ポンプ*を指す。
 *2 可搬式大型海水ポンプ*は、可搬式大型海水ポンプ*を指す。
 *3 可搬式大型海水ポンプ*は、可搬式大型海水ポンプ*を指す。
 *4 可搬式大型海水ポンプ*は、可搬式大型海水ポンプ*を指す。

【大阪】記載表現の相違(女川審査実績反映)
 【大阪】記載方針の相違(女川審査実績反映)
 ・泊は、女川審査実績を反映し、技術的能力1.2~1.14で整備する手順と用いる設備について第2.1.5表~第2.1.17表に整理し、大規模損壊に特化した手順についてはこれらの表とは別の表(第2.1.18表)として整理するため記載が異なる。記載方針の相違であり、実質的な相違はない。
 【大阪】記載方針の相違(女川審査実績反映)
 ・泊は、流路及び電路として使用する設備を記載する。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉

第2.1.18表 重大事故等及び大規模損壊対応設備と整備する手順(1.5) (2/2) (サポート系機能喪失時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応設備	整備する手順書	手順の分類
全交直換力電源等	電機制御用電源ポンプ 送水ポンプ用送水設備 冷却水ポンプ用送水ポンプ 送水ポンプ 高圧送水ポンプ 燃料供給ポンプ 送水ポンプ タンクローリー	高圧送水ポンプ	高圧送水ポンプと同期による心臓ポンプの起動	心臓の新しい機能及び燃料供給設備を停止する運転手順書
		冷却水ポンプ	冷却水ポンプと同期による心臓ポンプの起動	心臓の新しい機能及び燃料供給設備を停止する運転手順書
		高圧送水ポンプ	高圧送水ポンプと同期による心臓ポンプの起動	心臓の新しい機能及び燃料供給設備を停止する運転手順書
		燃料供給ポンプ	燃料供給ポンプと同期による心臓ポンプの起動	心臓の新しい機能及び燃料供給設備を停止する運転手順書
		送水ポンプ	送水ポンプと同期による心臓ポンプの起動	心臓の新しい機能及び燃料供給設備を停止する運転手順書
		タンクローリー	タンクローリーと同期による心臓ポンプの起動	心臓の新しい機能及び燃料供給設備を停止する運転手順書
		高圧送水ポンプ	高圧送水ポンプと同期による心臓ポンプの起動	心臓の新しい機能及び燃料供給設備を停止する運転手順書
		冷却水ポンプ	冷却水ポンプと同期による心臓ポンプの起動	心臓の新しい機能及び燃料供給設備を停止する運転手順書
		高圧送水ポンプ	高圧送水ポンプと同期による心臓ポンプの起動	心臓の新しい機能及び燃料供給設備を停止する運転手順書
		燃料供給ポンプ	燃料供給ポンプと同期による心臓ポンプの起動	心臓の新しい機能及び燃料供給設備を停止する運転手順書
燃料供給設備	燃料供給ポンプ 送水ポンプ タンクローリー	燃料供給ポンプ	燃料供給ポンプと同期による心臓ポンプの起動	心臓の新しい機能及び燃料供給設備を停止する運転手順書
		送水ポンプ	送水ポンプと同期による心臓ポンプの起動	心臓の新しい機能及び燃料供給設備を停止する運転手順書
		タンクローリー	タンクローリーと同期による心臓ポンプの起動	心臓の新しい機能及び燃料供給設備を停止する運転手順書
		燃料供給ポンプ	燃料供給ポンプと同期による心臓ポンプの起動	心臓の新しい機能及び燃料供給設備を停止する運転手順書
		送水ポンプ	送水ポンプと同期による心臓ポンプの起動	心臓の新しい機能及び燃料供給設備を停止する運転手順書
		タンクローリー	タンクローリーと同期による心臓ポンプの起動	心臓の新しい機能及び燃料供給設備を停止する運転手順書
		燃料供給ポンプ	燃料供給ポンプと同期による心臓ポンプの起動	心臓の新しい機能及び燃料供給設備を停止する運転手順書
		送水ポンプ	送水ポンプと同期による心臓ポンプの起動	心臓の新しい機能及び燃料供給設備を停止する運転手順書
		タンクローリー	タンクローリーと同期による心臓ポンプの起動	心臓の新しい機能及び燃料供給設備を停止する運転手順書
		燃料供給ポンプ	燃料供給ポンプと同期による心臓ポンプの起動	心臓の新しい機能及び燃料供給設備を停止する運転手順書

1) 1) 燃料供給ポンプは、燃料供給ポンプの起動時に燃料供給ポンプの起動を停止するための手順書にて整備する。
2) 1) 燃料供給ポンプは、燃料供給ポンプの起動時に燃料供給ポンプの起動を停止するための手順書にて整備する。
3) 1) 燃料供給ポンプは、燃料供給ポンプの起動時に燃料供給ポンプの起動を停止するための手順書にて整備する。
4) 1) 燃料供給ポンプは、燃料供給ポンプの起動時に燃料供給ポンプの起動を停止するための手順書にて整備する。
5) 1) 燃料供給ポンプは、燃料供給ポンプの起動時に燃料供給ポンプの起動を停止するための手順書にて整備する。
6) 1) 燃料供給ポンプは、燃料供給ポンプの起動時に燃料供給ポンプの起動を停止するための手順書にて整備する。
7) 1) 燃料供給ポンプは、燃料供給ポンプの起動時に燃料供給ポンプの起動を停止するための手順書にて整備する。
8) 1) 燃料供給ポンプは、燃料供給ポンプの起動時に燃料供給ポンプの起動を停止するための手順書にて整備する。
9) 1) 燃料供給ポンプは、燃料供給ポンプの起動時に燃料供給ポンプの起動を停止するための手順書にて整備する。

女川原子力発電所2号炉

第2.1-8表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順(1.5)(3/3) (サポート系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	手順書
サポート系故障時	原子炉制御用電源系 冷却水ポンプ用送水ポンプ 送水ポンプ 高圧送水ポンプ 燃料供給ポンプ 送水ポンプ タンクローリー	原子炉制御用電源系	熱交換器ユニット 大容量送水ポンプ(タイプ1) 冷却水ポンプ 高圧送水ポンプ 燃料供給ポンプ	非常時操作手順書 「原子炉制御用電源系」 「原子炉制御用電源系」
		冷却水ポンプ	冷却水ポンプと同期による心臓ポンプの起動	心臓の新しい機能及び燃料供給設備を停止する運転手順書
		高圧送水ポンプ	高圧送水ポンプと同期による心臓ポンプの起動	心臓の新しい機能及び燃料供給設備を停止する運転手順書
		燃料供給ポンプ	燃料供給ポンプと同期による心臓ポンプの起動	心臓の新しい機能及び燃料供給設備を停止する運転手順書
		送水ポンプ	送水ポンプと同期による心臓ポンプの起動	心臓の新しい機能及び燃料供給設備を停止する運転手順書
		タンクローリー	タンクローリーと同期による心臓ポンプの起動	心臓の新しい機能及び燃料供給設備を停止する運転手順書
		高圧送水ポンプ	高圧送水ポンプと同期による心臓ポンプの起動	心臓の新しい機能及び燃料供給設備を停止する運転手順書
		冷却水ポンプ	冷却水ポンプと同期による心臓ポンプの起動	心臓の新しい機能及び燃料供給設備を停止する運転手順書
		高圧送水ポンプ	高圧送水ポンプと同期による心臓ポンプの起動	心臓の新しい機能及び燃料供給設備を停止する運転手順書
		燃料供給ポンプ	燃料供給ポンプと同期による心臓ポンプの起動	心臓の新しい機能及び燃料供給設備を停止する運転手順書

※1) 手順は「1.4 原子炉制御用電源系」の「原子炉制御用電源系」にて整備する。
※2) 手順は「1.4 原子炉制御用電源系」の「原子炉制御用電源系」にて整備する。
※3) 手順は「1.13 重大事故等の取組」にて整備する。
※4) 手順は「1.11 電源の確保に関する手順書」にて整備する。

泊発電所3号炉

第2.1.8表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順(1.5)(6/8) (サポート系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	手順書
サポート系故障時	原子炉制御用電源系 冷却水ポンプ用送水ポンプ 送水ポンプ 高圧送水ポンプ 燃料供給ポンプ 送水ポンプ タンクローリー	原子炉制御用電源系	熱交換器ユニット 大容量送水ポンプ(タイプ1) 冷却水ポンプ 高圧送水ポンプ 燃料供給ポンプ	非常時操作手順書 「原子炉制御用電源系」 「原子炉制御用電源系」
		冷却水ポンプ	冷却水ポンプと同期による心臓ポンプの起動	心臓の新しい機能及び燃料供給設備を停止する運転手順書
		高圧送水ポンプ	高圧送水ポンプと同期による心臓ポンプの起動	心臓の新しい機能及び燃料供給設備を停止する運転手順書
		燃料供給ポンプ	燃料供給ポンプと同期による心臓ポンプの起動	心臓の新しい機能及び燃料供給設備を停止する運転手順書
		送水ポンプ	送水ポンプと同期による心臓ポンプの起動	心臓の新しい機能及び燃料供給設備を停止する運転手順書
		タンクローリー	タンクローリーと同期による心臓ポンプの起動	心臓の新しい機能及び燃料供給設備を停止する運転手順書
		高圧送水ポンプ	高圧送水ポンプと同期による心臓ポンプの起動	心臓の新しい機能及び燃料供給設備を停止する運転手順書
		冷却水ポンプ	冷却水ポンプと同期による心臓ポンプの起動	心臓の新しい機能及び燃料供給設備を停止する運転手順書
		高圧送水ポンプ	高圧送水ポンプと同期による心臓ポンプの起動	心臓の新しい機能及び燃料供給設備を停止する運転手順書
		燃料供給ポンプ	燃料供給ポンプと同期による心臓ポンプの起動	心臓の新しい機能及び燃料供給設備を停止する運転手順書

※1) 手順は「1.11 電源の確保に関する手順書」にて整備する。
※2) 手順は「1.11 原子炉制御用電源系」の「原子炉制御用電源系」にて整備する。
※3) 可搬型大容量送水ポンプと冷却水ポンプの両方に備える。
※4) 可搬型大容量送水ポンプと冷却水ポンプの両方に備える。
※5) 可搬型大容量送水ポンプと冷却水ポンプの両方に備える。
※6) 可搬型大容量送水ポンプと冷却水ポンプの両方に備える。
※7) 可搬型大容量送水ポンプと冷却水ポンプの両方に備える。
※8) 可搬型大容量送水ポンプと冷却水ポンプの両方に備える。
※9) 可搬型大容量送水ポンプと冷却水ポンプの両方に備える。

相違理由

【大飯】記載表現の相違(女川審査実績反映)
【大飯】記載方針の相違(女川審査実績反映)
・泊は、女川審査実績を反映し、技術的能力1.2~1.14で整備する手順と用いる設備について第2.1.5表~第2.1.17表に整理し、大規模損壊に特化した手順についてはこれらの表とは別の表(第2.1.18表)として整理するため記載が異なる。記載方針の相違であり、実質的な相違はない。

【大飯】記載方針の相違(女川審査実績反映)
・泊は、流路及び電路として使用する設備を記載する。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

泊3号炉との比較対象は
 第2.1.8表(2/2)

比較対象外

第2.1.8表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順 (1.5) (7/8)
 (サポート系故障時)

設備	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応設備	設備分類	整備する手順	手順表の分類
サポ ー ト 系 機 能	1 主蒸気発生機	1 主蒸気発生機(主蒸気設備) 配管・弁	1 主蒸気発生機	1 主蒸気発生機(主蒸気設備) 配管・弁	1 主蒸気発生機(主蒸気設備) 配管・弁
	2 2次冷却設備	2 2次冷却設備(主蒸気設備) 配管・弁	2 2次冷却設備	2 2次冷却設備(主蒸気設備) 配管・弁	2 2次冷却設備(主蒸気設備) 配管・弁
	3 冷却水供給設備	3 冷却水供給設備(主蒸気設備) 配管・弁	3 冷却水供給設備	3 冷却水供給設備(主蒸気設備) 配管・弁	3 冷却水供給設備(主蒸気設備) 配管・弁
	4 冷却水供給設備	4 冷却水供給設備(主蒸気設備) 配管・弁	4 冷却水供給設備	4 冷却水供給設備(主蒸気設備) 配管・弁	4 冷却水供給設備(主蒸気設備) 配管・弁
サ ポ ー ト 系 機 能	5 可搬型入蒸気ポンプ	5 可搬型入蒸気ポンプ(可搬型入蒸気ポンプ) 配管・弁	5 可搬型入蒸気ポンプ	5 可搬型入蒸気ポンプ(可搬型入蒸気ポンプ) 配管・弁	5 可搬型入蒸気ポンプ(可搬型入蒸気ポンプ) 配管・弁
	6 2次冷却設備	6 2次冷却設備(主蒸気設備) 配管・弁	6 2次冷却設備	6 2次冷却設備(主蒸気設備) 配管・弁	6 2次冷却設備(主蒸気設備) 配管・弁
	7 冷却水供給設備	7 冷却水供給設備(主蒸気設備) 配管・弁	7 冷却水供給設備	7 冷却水供給設備(主蒸気設備) 配管・弁	7 冷却水供給設備(主蒸気設備) 配管・弁
	8 冷却水供給設備	8 冷却水供給設備(主蒸気設備) 配管・弁	8 冷却水供給設備	8 冷却水供給設備(主蒸気設備) 配管・弁	8 冷却水供給設備(主蒸気設備) 配管・弁

*1：手順は「1.5 原子力発電所(炉心)の機能を回復するための手順等」にて整備する。
 *2：手順は「1.5 冷却水の確保に関する手順等」にて整備する。
 *3：可搬型入蒸気ポンプにより原本必要流量を確保し、運転を再開する。
 *4：冷却水供給設備の冷却水ポンプの稼働により、主蒸気発生機を稼働させる。
 *5：冷却水供給設備の冷却水ポンプの稼働により、冷却水供給設備を稼働させる。
 *6：手順は「1.5 原子力発電所(炉心)の機能を回復するための手順等」にて整備する。
 *7：原水供給設備において有る設備の分類
 *：当該表に記載する最大事故等対処設備 *：当該表に記載する最大事故等対処設備 *：当該表に記載する最大事故等対処設備

【大阪】記載表現の相違(女川審査実績反映)
 【大阪】記載方針の相違(女川審査実績反映)
 ・泊は、女川審査実績を反映し、技術的能力1.2~1.14で整備する手順と用いる設備について第2.1.5表~第2.1.17表に整理し、大規模損壊に特化した手順についてはこれらの表とは別の表(第2.1.18表)として整理するため記載が異なる。記載方針の相違であり、実質的な相違はない。
 【大阪】記載方針の相違(女川審査実績反映)
 ・泊は、流路及び電路として使用する設備を記載する。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																						
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象は 第2.1.8表(2/2)</p>	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">比較対象外</p>	<p style="text-align: center;">第2.1.8表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順 (1.5) (8/8) (サポート系故障時)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>設備</th> <th>対応内容</th> <th>対応設備</th> <th>設備分類</th> <th>整備する手順書</th> <th>手順書の分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">非常用電源</td> <td>可搬型発電機・ポンプ車 可搬型ディーゼル・発電機 ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等)</td> <td>非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源</td> <td>非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源</td> <td>非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源</td> <td>非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源</td> </tr> <tr> <td>可搬型発電機・ポンプ車 可搬型ディーゼル・発電機 ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等)</td> <td>非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源</td> <td>非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源</td> <td>非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源</td> <td>非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源</td> </tr> <tr> <td>可搬型発電機・ポンプ車 可搬型ディーゼル・発電機 ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等)</td> <td>非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源</td> <td>非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源</td> <td>非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源</td> <td>非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">* 1 - 手順は 1.11 電圧の確保に関する手順等として整備する。 * 2 - 手順は 1.1 緊急事故発生時の対応に関する手順等として整備する。 * 3 - 最大事故等対策において用いる設備の分類 * 4 - 対応内容に適合する最大事故等対策設備 * 1: 27号に適合する最大事故等対策設備 * 2: 自主的対策として整備する最大事故等対策設備</p>	設備	対応内容	対応設備	設備分類	整備する手順書	手順書の分類	非常用電源	可搬型発電機・ポンプ車 可搬型ディーゼル・発電機 ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等)	非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源	非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源	非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源	非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源	可搬型発電機・ポンプ車 可搬型ディーゼル・発電機 ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等)	非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源	非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源	非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源	非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源	可搬型発電機・ポンプ車 可搬型ディーゼル・発電機 ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等)	非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源	非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源	非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源	非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源	<p>【大阪】記載表現の相違(女川審査実績反映) 【大阪】記載方針の相違(女川審査実績反映) ・泊は、女川審査実績を反映し、技術的能力1.2~1.14で整備する手順と用いる設備について第2.1.5表~第2.1.17表に整理し、大規模損壊に特化した手順についてはこれらの表とは別の表(第2.1.18表)として整理するため記載が異なる。記載方針の相違であり、実質的な相違はない。 【大阪】記載方針の相違(女川審査実績反映) ・泊は、流路及び電路として使用する設備を記載する。</p>
設備	対応内容	対応設備	設備分類	整備する手順書	手順書の分類																				
非常用電源	可搬型発電機・ポンプ車 可搬型ディーゼル・発電機 ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等)	非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源	非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源	非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源	非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源																				
	可搬型発電機・ポンプ車 可搬型ディーゼル・発電機 ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等)	非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源	非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源	非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源	非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源																				
	可搬型発電機・ポンプ車 可搬型ディーゼル・発電機 ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等) ポンプ車・発電機 (送水車等)	非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源	非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源	非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源	非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源 非常用電源																				

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																										
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<p style="text-align: center;">第2.1-9表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順(1.6) (1/6)</p> <p style="text-align: center;">(重大事故等対処設備 (設計基準拡張))</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機能喪失を想定する設計基準事故対処設備</th> <th>対応手段</th> <th>対処設備</th> <th>手順書</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">重大事故等対処設備(設計基準拡張)</td> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">機内にある原子炉格納容器の冷却機能喪失</td> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">機内にある原子炉格納容器の冷却機能喪失</td> <td>残留熱除去系ポンプ サブレーションポンプ 残留熱除去系熱交換器 残留熱除去系 配管・弁・ストレーナ スプレイ管 原子炉格納容器 原子炉格納冷却系 (原子炉格納冷却海水系を含む) ※1 非常用取水設備 ※1 非常用交流電源設備 ※2</td> <td>非常時操作手順書 (運転マニュアル) JHX 圧力制御、等 非常時操作手順書 (設備制) 「残留熱除去系ポンプによる格納容器スプレイ」</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系ポンプ サブレーションポンプ 残留熱除去系熱交換器 残留熱除去系 配管・弁・ストレーナ 原子炉格納容器 原子炉格納冷却系 (原子炉格納冷却海水系を含む) ※1 非常用取水設備 ※1 非常用交流電源設備 ※2</td> <td>非常時操作手順書 (運転マニュアル) JHX 圧力制御、等 非常時操作手順書 (設備制) 「残留熱除去系ポンプによるサブレーション系冷却」</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：手順は「1.3 蒸気ヒートシフト熱を輸送するための手順等」にて整備する。 ※2：手順は「1.14 船庫の確保に関する手順等」にて整備する。 ※3：手順は「1.10 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」にて整備する。 ※4：「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」【解釈】(a) 所を満足するための代替海水 (設備)</p>	分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順書	重大事故等対処設備(設計基準拡張)	機内にある原子炉格納容器の冷却機能喪失	機内にある原子炉格納容器の冷却機能喪失	残留熱除去系ポンプ サブレーションポンプ 残留熱除去系熱交換器 残留熱除去系 配管・弁・ストレーナ スプレイ管 原子炉格納容器 原子炉格納冷却系 (原子炉格納冷却海水系を含む) ※1 非常用取水設備 ※1 非常用交流電源設備 ※2	非常時操作手順書 (運転マニュアル) JHX 圧力制御、等 非常時操作手順書 (設備制) 「残留熱除去系ポンプによる格納容器スプレイ」	残留熱除去系ポンプ サブレーションポンプ 残留熱除去系熱交換器 残留熱除去系 配管・弁・ストレーナ 原子炉格納容器 原子炉格納冷却系 (原子炉格納冷却海水系を含む) ※1 非常用取水設備 ※1 非常用交流電源設備 ※2	非常時操作手順書 (運転マニュアル) JHX 圧力制御、等 非常時操作手順書 (設備制) 「残留熱除去系ポンプによるサブレーション系冷却」	<p style="text-align: center;">第2.1.9表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順 (1.6) (1/9)</p> <p style="text-align: center;">(重大事故等対処設備 (設計基準拡張))</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機能喪失を想定する設計基準事故対処設備</th> <th>対応手段</th> <th>対処設備</th> <th>整備する手順書</th> <th>手順書の分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">重大事故等対処設備(設計基準拡張)</td> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">機内にある原子炉格納容器の冷却機能喪失</td> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">機内にある原子炉格納容器の冷却機能喪失</td> <td>残留熱除去系ポンプ サブレーションポンプ 残留熱除去系熱交換器 残留熱除去系 配管・弁・ストレーナ 原子炉格納容器 原子炉格納冷却系 (原子炉格納冷却海水系を含む) ※1 非常用取水設備 ※1 非常用交流電源設備 ※2</td> <td>非常時操作手順書 (運転マニュアル) JHX 圧力制御、等 非常時操作手順書 (設備制) 「残留熱除去系ポンプによる格納容器スプレイ」</td> <td>非常時操作手順書 (運転マニュアル) JHX 圧力制御、等 非常時操作手順書 (設備制) 「残留熱除去系ポンプによるサブレーション系冷却」</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系ポンプ サブレーションポンプ 残留熱除去系熱交換器 残留熱除去系 配管・弁・ストレーナ 原子炉格納容器 原子炉格納冷却系 (原子炉格納冷却海水系を含む) ※1 非常用取水設備 ※1 非常用交流電源設備 ※2</td> <td>非常時操作手順書 (運転マニュアル) JHX 圧力制御、等 非常時操作手順書 (設備制) 「残留熱除去系ポンプによるサブレーション系冷却」</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：手順は「1.13 蒸気ヒートシフト熱を輸送するための手順等」にて整備する。 ※2：重大事故等対策において用いる設備の分類 ※3：JHXに適合する重大事故等対処設備 ※4：自主的対策として整備する重大事故等対処設備 ※5：JHXに適合する重大事故等対処設備 ※6：JHXに適合しない重大事故等対処設備</p>	分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	整備する手順書	手順書の分類	重大事故等対処設備(設計基準拡張)	機内にある原子炉格納容器の冷却機能喪失	機内にある原子炉格納容器の冷却機能喪失	残留熱除去系ポンプ サブレーションポンプ 残留熱除去系熱交換器 残留熱除去系 配管・弁・ストレーナ 原子炉格納容器 原子炉格納冷却系 (原子炉格納冷却海水系を含む) ※1 非常用取水設備 ※1 非常用交流電源設備 ※2	非常時操作手順書 (運転マニュアル) JHX 圧力制御、等 非常時操作手順書 (設備制) 「残留熱除去系ポンプによる格納容器スプレイ」	非常時操作手順書 (運転マニュアル) JHX 圧力制御、等 非常時操作手順書 (設備制) 「残留熱除去系ポンプによるサブレーション系冷却」	残留熱除去系ポンプ サブレーションポンプ 残留熱除去系熱交換器 残留熱除去系 配管・弁・ストレーナ 原子炉格納容器 原子炉格納冷却系 (原子炉格納冷却海水系を含む) ※1 非常用取水設備 ※1 非常用交流電源設備 ※2	非常時操作手順書 (運転マニュアル) JHX 圧力制御、等 非常時操作手順書 (設備制) 「残留熱除去系ポンプによるサブレーション系冷却」	<p>【大阪】記載方針の相違(女川審査実績反映) ・泊は、女川審査実績を反映し、技術的能力 1.2~1.14 で整備する手順と用いる設備について第2.1.5表~第2.1.17表に整理し、大規模損壊に特化した手順についてはこれらの表とは別の表(第2.1.18表)として整理するため記載が異なる。記載方針の相違であり、実質的な相違はない。</p> <p>【大阪】記載方針の相違(女川審査実績反映) ・泊は、流路及び電路として使用する設備を記載する。</p> <p>【大阪】記載方針の相違(女川審査実績反映) ・泊は、重大事故等対処設備(設計基準拡張)による対応手段を整理している。</p>
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順書																									
重大事故等対処設備(設計基準拡張)	機内にある原子炉格納容器の冷却機能喪失	機内にある原子炉格納容器の冷却機能喪失	残留熱除去系ポンプ サブレーションポンプ 残留熱除去系熱交換器 残留熱除去系 配管・弁・ストレーナ スプレイ管 原子炉格納容器 原子炉格納冷却系 (原子炉格納冷却海水系を含む) ※1 非常用取水設備 ※1 非常用交流電源設備 ※2	非常時操作手順書 (運転マニュアル) JHX 圧力制御、等 非常時操作手順書 (設備制) 「残留熱除去系ポンプによる格納容器スプレイ」																									
			残留熱除去系ポンプ サブレーションポンプ 残留熱除去系熱交換器 残留熱除去系 配管・弁・ストレーナ 原子炉格納容器 原子炉格納冷却系 (原子炉格納冷却海水系を含む) ※1 非常用取水設備 ※1 非常用交流電源設備 ※2	非常時操作手順書 (運転マニュアル) JHX 圧力制御、等 非常時操作手順書 (設備制) 「残留熱除去系ポンプによるサブレーション系冷却」																									
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	整備する手順書	手順書の分類																								
重大事故等対処設備(設計基準拡張)	機内にある原子炉格納容器の冷却機能喪失	機内にある原子炉格納容器の冷却機能喪失	残留熱除去系ポンプ サブレーションポンプ 残留熱除去系熱交換器 残留熱除去系 配管・弁・ストレーナ 原子炉格納容器 原子炉格納冷却系 (原子炉格納冷却海水系を含む) ※1 非常用取水設備 ※1 非常用交流電源設備 ※2	非常時操作手順書 (運転マニュアル) JHX 圧力制御、等 非常時操作手順書 (設備制) 「残留熱除去系ポンプによる格納容器スプレイ」	非常時操作手順書 (運転マニュアル) JHX 圧力制御、等 非常時操作手順書 (設備制) 「残留熱除去系ポンプによるサブレーション系冷却」																								
			残留熱除去系ポンプ サブレーションポンプ 残留熱除去系熱交換器 残留熱除去系 配管・弁・ストレーナ 原子炉格納容器 原子炉格納冷却系 (原子炉格納冷却海水系を含む) ※1 非常用取水設備 ※1 非常用交流電源設備 ※2	非常時操作手順書 (運転マニュアル) JHX 圧力制御、等 非常時操作手順書 (設備制) 「残留熱除去系ポンプによるサブレーション系冷却」																									

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉

第2.1.1.9表 重大事故等及び大規模損壊対応設備と整備する手順(1.6) (1/4) (炉心損傷前のフロントライン系機能喪失時)

Table with 5 columns: 分類, 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備, 対応手段, 対応設備, 整備する手順, 手順の分類. Includes equipment like 燃料格納容器スプレイポンプ and 燃料格納容器スプレイポンプ.

注1：「大阪発電所」重大事故等対応設備における炉心損傷防止のための活動に関する理由
注2：燃料格納容器スプレイポンプの稼働、稼働しない場合は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」にて整備する。
注3：「プールの監視等」により整備する。
注4：手順は「1.14 炉心の確保に関する手順等」にて整備する。
注5：炉心は「1.14 炉心の確保に関する手順等」にて整備する。
注6：「1.14 炉心の確保に関する手順等」にて整備する。
注7：「1.14 炉心の確保に関する手順等」にて整備する。
注8：「1.14 炉心の確保に関する手順等」にて整備する。

女川原子力発電所2号炉

第2.1-9表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順(1.6) (2/6) (炉心損傷前のフロントライン系故障時)

Table with 5 columns: 分類, 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備, 対応手段, 対応設備, 手順書. Includes equipment like 炉水移送ポンプ and 炉水移送ポンプ.

注1：手順は「1.5 燃料ローディング機を搬送するための手順等」にて整備する。
注2：手順は「1.14 炉心の確保に関する手順等」にて整備する。
注3：手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」にて整備する。
注4：「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」【資料】(b) 項を満足するための代替設備（給水）

泊発電所3号炉

第2.1.9表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順(1.6) (2/9) (炉心損傷前のフロントライン系故障時)

Table with 5 columns: 分類, 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備, 対応手段, 対応設備, 整備する手順, 手順書の分類. Includes equipment like 燃料格納容器スプレイポンプ and 燃料格納容器スプレイポンプ.

注1：手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」にて整備する。
注2：手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」にて整備する。
注3：手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」にて整備する。
注4：「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」にて整備する。
注5：「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」にて整備する。

相違理由

【大阪】記載方針の相違(女川審査実績反映)
・泊は、女川審査実績を反映し、技術的能力 1.2~1.14 で整備する手順と用いる設備について第2.1.5表~第2.1.17表に整理し、大規模損壊に特化した手順についてはこれらの表とは別の表(第2.1.18表)として整理するため記載が異なる。記載方針の相違であり、実質的な相違はない。
【大阪】記載方針の相違(女川審査実績反映)
・泊は、流路及び電路として使用する設備を記載する。
【大阪】記載方針の相違(女川審査実績反映)
・泊は、重大事故等対応設備(設計基準損壊)による対応手段を整理している。
【大阪】大規模損壊に特化した手順に用いる設備に相違なし。(化学消防自動車を用いた代替格納容器スプレイ)

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉

第2.1.9表 重大事故等及び大規模損壊対応設備と整備する手順(1.6) (2/4)
 (炉心損傷前のサポート系機能喪失時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順の分類
電力系統	交流送電力電源 ^{※1} 又は 原子炉機械冷却系設備	代用電源切替装置	燃料供給用圧水ポンプ ^{※1}	燃料供給用圧水ポンプを用いた代替格納容器スプレイの準備	炉心の新しい損傷及び格納容器減容を防止する運転手順書
			炉心冷却用圧水ポンプ ^{※1}	圧水ポンプ出力を調整するための運転手順書	SA対応 ^{※2}
			燃料供給用圧水ポンプ ^{※1}	燃料供給用圧水ポンプを用いた代替格納容器スプレイの準備	炉心の新しい損傷及び格納容器減容を防止する運転手順書
			圧水ポンプ ^{※1}	圧水ポンプ出力を調整するための運転手順書	SA対応 ^{※2}
			燃料供給用圧水ポンプ ^{※1}	燃料供給用圧水ポンプを用いた代替格納容器スプレイの準備	炉心の新しい損傷及び格納容器減容を防止する運転手順書
			圧水ポンプ ^{※1}	圧水ポンプ出力を調整するための運転手順書	SA対応 ^{※2}
			燃料供給用圧水ポンプ ^{※1}	燃料供給用圧水ポンプを用いた代替格納容器スプレイの準備	炉心の新しい損傷及び格納容器減容を防止する運転手順書
			圧水ポンプ ^{※1}	圧水ポンプ出力を調整するための運転手順書	SA対応 ^{※2}
			燃料供給用圧水ポンプ ^{※1}	燃料供給用圧水ポンプを用いた代替格納容器スプレイの準備	炉心の新しい損傷及び格納容器減容を防止する運転手順書
			圧水ポンプ ^{※1}	圧水ポンプ出力を調整するための運転手順書	SA対応 ^{※2}
冷却系	冷却水供給装置	冷却水供給装置	冷却水供給装置を用いた代替格納容器スプレイの準備	炉心の新しい損傷及び格納容器減容を防止する運転手順書	
		冷却水供給装置	冷却水供給装置を用いた代替格納容器スプレイの準備	炉心の新しい損傷及び格納容器減容を防止する運転手順書	
		冷却水供給装置	冷却水供給装置を用いた代替格納容器スプレイの準備	炉心の新しい損傷及び格納容器減容を防止する運転手順書	
		冷却水供給装置	冷却水供給装置を用いた代替格納容器スプレイの準備	炉心の新しい損傷及び格納容器減容を防止する運転手順書	
		冷却水供給装置	冷却水供給装置を用いた代替格納容器スプレイの準備	炉心の新しい損傷及び格納容器減容を防止する運転手順書	
		冷却水供給装置	冷却水供給装置を用いた代替格納容器スプレイの準備	炉心の新しい損傷及び格納容器減容を防止する運転手順書	
		冷却水供給装置	冷却水供給装置を用いた代替格納容器スプレイの準備	炉心の新しい損傷及び格納容器減容を防止する運転手順書	
		冷却水供給装置	冷却水供給装置を用いた代替格納容器スプレイの準備	炉心の新しい損傷及び格納容器減容を防止する運転手順書	
		冷却水供給装置	冷却水供給装置を用いた代替格納容器スプレイの準備	炉心の新しい損傷及び格納容器減容を防止する運転手順書	
		冷却水供給装置	冷却水供給装置を用いた代替格納容器スプレイの準備	炉心の新しい損傷及び格納容器減容を防止する運転手順書	

注1：燃料供給用圧水ポンプ、炉心冷却用圧水ポンプ、冷却水供給装置は、燃料供給用圧水ポンプ、炉心冷却用圧水ポンプ、冷却水供給装置のいずれか1台が故障した場合、残りのポンプ/装置が正常に動作している限り、運転は継続可能である。
 注2：「1.6 重大事故等発生時における原子炉施設の安全のための活動に関する所定」
 ①-1：「1.14 電源の確保に関する手順」にて整備する。
 ①-2：「1.14 電源の確保に関する手順」にて整備する。
 ①-3：「1.14 電源の確保に関する手順」にて整備する。
 ①-4：「1.14 電源の確保に関する手順」にて整備する。
 ①-5：「1.14 電源の確保に関する手順」にて整備する。
 ①-6：「1.14 電源の確保に関する手順」にて整備する。
 ①-7：「1.14 電源の確保に関する手順」にて整備する。
 ①-8：「1.14 電源の確保に関する手順」にて整備する。
 ①-9：「1.14 電源の確保に関する手順」にて整備する。
 ①-10：「1.14 電源の確保に関する手順」にて整備する。

女川原子力発電所2号炉

第2.1-9表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順(1.6) (3/6)
 (炉心損傷前のサポート系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書
電力系統	交流送電力電源 ^{※1} 又は 原子炉機械冷却系設備	代用電源切替装置	燃料供給用圧水ポンプ ^{※1}	燃料供給用圧水ポンプを用いた代替格納容器スプレイの準備
			炉心冷却用圧水ポンプ ^{※1}	圧水ポンプ出力を調整するための運転手順書
			燃料供給用圧水ポンプ ^{※1}	燃料供給用圧水ポンプを用いた代替格納容器スプレイの準備
			圧水ポンプ ^{※1}	圧水ポンプ出力を調整するための運転手順書
			燃料供給用圧水ポンプ ^{※1}	燃料供給用圧水ポンプを用いた代替格納容器スプレイの準備
			圧水ポンプ ^{※1}	圧水ポンプ出力を調整するための運転手順書
			燃料供給用圧水ポンプ ^{※1}	燃料供給用圧水ポンプを用いた代替格納容器スプレイの準備
			圧水ポンプ ^{※1}	圧水ポンプ出力を調整するための運転手順書
			燃料供給用圧水ポンプ ^{※1}	燃料供給用圧水ポンプを用いた代替格納容器スプレイの準備
			圧水ポンプ ^{※1}	圧水ポンプ出力を調整するための運転手順書
冷却系	冷却水供給装置	冷却水供給装置	冷却水供給装置を用いた代替格納容器スプレイの準備	
		冷却水供給装置	冷却水供給装置を用いた代替格納容器スプレイの準備	
		冷却水供給装置	冷却水供給装置を用いた代替格納容器スプレイの準備	
		冷却水供給装置	冷却水供給装置を用いた代替格納容器スプレイの準備	
		冷却水供給装置	冷却水供給装置を用いた代替格納容器スプレイの準備	
		冷却水供給装置	冷却水供給装置を用いた代替格納容器スプレイの準備	
		冷却水供給装置	冷却水供給装置を用いた代替格納容器スプレイの準備	
		冷却水供給装置	冷却水供給装置を用いた代替格納容器スプレイの準備	
		冷却水供給装置	冷却水供給装置を用いた代替格納容器スプレイの準備	
		冷却水供給装置	冷却水供給装置を用いた代替格納容器スプレイの準備	

注1：「1.6 高圧熱交換器～熱交換器間の配管」にて整備する。
 注2：「1.14 電源の確保に関する手順」にて整備する。
 注3：「1.14 重大事故等発生時における原子炉施設の安全のための活動に関する所定」にて整備する。
 注4：「1.14 重大事故等発生時における原子炉施設の安全のための活動に関する所定」にて整備する。

泊発電所3号炉

第2.1.9表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順(1.6) (4/9)
 (炉心損傷前のサポート系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順の分類
電力系統	交流送電力電源 ^{※1} 又は 原子炉機械冷却系設備	代用電源切替装置	燃料供給用圧水ポンプ ^{※1}	燃料供給用圧水ポンプを用いた代替格納容器スプレイの準備	炉心の新しい損傷及び格納容器減容を防止する運転手順書
			炉心冷却用圧水ポンプ ^{※1}	圧水ポンプ出力を調整するための運転手順書	SA対応 ^{※2}
			燃料供給用圧水ポンプ ^{※1}	燃料供給用圧水ポンプを用いた代替格納容器スプレイの準備	炉心の新しい損傷及び格納容器減容を防止する運転手順書
			圧水ポンプ ^{※1}	圧水ポンプ出力を調整するための運転手順書	SA対応 ^{※2}
			燃料供給用圧水ポンプ ^{※1}	燃料供給用圧水ポンプを用いた代替格納容器スプレイの準備	炉心の新しい損傷及び格納容器減容を防止する運転手順書
			圧水ポンプ ^{※1}	圧水ポンプ出力を調整するための運転手順書	SA対応 ^{※2}
			燃料供給用圧水ポンプ ^{※1}	燃料供給用圧水ポンプを用いた代替格納容器スプレイの準備	炉心の新しい損傷及び格納容器減容を防止する運転手順書
			圧水ポンプ ^{※1}	圧水ポンプ出力を調整するための運転手順書	SA対応 ^{※2}
			燃料供給用圧水ポンプ ^{※1}	燃料供給用圧水ポンプを用いた代替格納容器スプレイの準備	炉心の新しい損傷及び格納容器減容を防止する運転手順書
			圧水ポンプ ^{※1}	圧水ポンプ出力を調整するための運転手順書	SA対応 ^{※2}
冷却系	冷却水供給装置	冷却水供給装置	冷却水供給装置を用いた代替格納容器スプレイの準備	炉心の新しい損傷及び格納容器減容を防止する運転手順書	
		冷却水供給装置	冷却水供給装置を用いた代替格納容器スプレイの準備	炉心の新しい損傷及び格納容器減容を防止する運転手順書	
		冷却水供給装置	冷却水供給装置を用いた代替格納容器スプレイの準備	炉心の新しい損傷及び格納容器減容を防止する運転手順書	
		冷却水供給装置	冷却水供給装置を用いた代替格納容器スプレイの準備	炉心の新しい損傷及び格納容器減容を防止する運転手順書	
		冷却水供給装置	冷却水供給装置を用いた代替格納容器スプレイの準備	炉心の新しい損傷及び格納容器減容を防止する運転手順書	
		冷却水供給装置	冷却水供給装置を用いた代替格納容器スプレイの準備	炉心の新しい損傷及び格納容器減容を防止する運転手順書	
		冷却水供給装置	冷却水供給装置を用いた代替格納容器スプレイの準備	炉心の新しい損傷及び格納容器減容を防止する運転手順書	
		冷却水供給装置	冷却水供給装置を用いた代替格納容器スプレイの準備	炉心の新しい損傷及び格納容器減容を防止する運転手順書	
		冷却水供給装置	冷却水供給装置を用いた代替格納容器スプレイの準備	炉心の新しい損傷及び格納容器減容を防止する運転手順書	
		冷却水供給装置	冷却水供給装置を用いた代替格納容器スプレイの準備	炉心の新しい損傷及び格納容器減容を防止する運転手順書	

注1：「1.14 電源の確保に関する手順」にて整備する。
 注2：「1.6 高圧熱交換器～熱交換器間の配管」にて整備する。
 注3：「1.14 重大事故等発生時における原子炉施設の安全のための活動に関する所定」にて整備する。

相違理由

【大飯】記載方針の相違(女川審査実績反映)
 ・泊は、女川審査実績を反映し、技術的能力1.2~1.14で整備する手順と用いる設備について第2.1.5表~第2.1.17表に整理し、大規模損壊に特化した手順についてはこれらの表とは別の表(第2.1.18表)として整理するため記載が異なる。記載方針の相違であり、実質的な相違はない。

【大飯】記載方針の相違(女川審査実績反映)
 ・泊は、流路及び電路として使用する設備を記載する。

【大飯】大規模損壊に特化した手順に用いる設備に相違なし。(化学消防自動車を用いた代替格納容器スプレイ)

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉

第2.1.9表 重大事故等及び大規模損壊対応設備と整備する手順(1.6) (3/4)
(炉心損傷後のフロントライン系機能喪失時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順の分類
炉心損傷後のフロントライン系機能喪失時	燃料冷却系 燃料冷却ポンプ 燃料冷却ポンプモーター	燃料冷却ポンプモーターの故障	A、B燃料冷却ポンプモーターユニット**	燃料冷却ポンプモーターユニットの交換	炉心の新しい設備が発生した場合に特化する運転手順書
			A、B燃料冷却ポンプモーターユニットの交換	燃料冷却ポンプモーターユニットの交換	炉心の新しい設備が発生した場合に特化する運転手順書
			A、B燃料冷却ポンプモーターユニットの交換	燃料冷却ポンプモーターユニットの交換	炉心の新しい設備が発生した場合に特化する運転手順書
			A、B燃料冷却ポンプモーターユニットの交換	燃料冷却ポンプモーターユニットの交換	炉心の新しい設備が発生した場合に特化する運転手順書
			A、B燃料冷却ポンプモーターユニットの交換	燃料冷却ポンプモーターユニットの交換	炉心の新しい設備が発生した場合に特化する運転手順書
			A、B燃料冷却ポンプモーターユニットの交換	燃料冷却ポンプモーターユニットの交換	炉心の新しい設備が発生した場合に特化する運転手順書
			A、B燃料冷却ポンプモーターユニットの交換	燃料冷却ポンプモーターユニットの交換	炉心の新しい設備が発生した場合に特化する運転手順書
			A、B燃料冷却ポンプモーターユニットの交換	燃料冷却ポンプモーターユニットの交換	炉心の新しい設備が発生した場合に特化する運転手順書
			A、B燃料冷却ポンプモーターユニットの交換	燃料冷却ポンプモーターユニットの交換	炉心の新しい設備が発生した場合に特化する運転手順書
			A、B燃料冷却ポンプモーターユニットの交換	燃料冷却ポンプモーターユニットの交換	炉心の新しい設備が発生した場合に特化する運転手順書
燃料冷却系 燃料冷却ポンプ 燃料冷却ポンプモーター	燃料冷却ポンプモーターの故障	燃料冷却ポンプモーターの故障	燃料冷却ポンプモーターユニット	燃料冷却ポンプモーターユニットの交換	炉心の新しい設備が発生した場合に特化する運転手順書
			燃料冷却ポンプモーターユニット	燃料冷却ポンプモーターユニットの交換	炉心の新しい設備が発生した場合に特化する運転手順書
			燃料冷却ポンプモーターユニット	燃料冷却ポンプモーターユニットの交換	炉心の新しい設備が発生した場合に特化する運転手順書
			燃料冷却ポンプモーターユニット	燃料冷却ポンプモーターユニットの交換	炉心の新しい設備が発生した場合に特化する運転手順書
			燃料冷却ポンプモーターユニット	燃料冷却ポンプモーターユニットの交換	炉心の新しい設備が発生した場合に特化する運転手順書
			燃料冷却ポンプモーターユニット	燃料冷却ポンプモーターユニットの交換	炉心の新しい設備が発生した場合に特化する運転手順書
			燃料冷却ポンプモーターユニット	燃料冷却ポンプモーターユニットの交換	炉心の新しい設備が発生した場合に特化する運転手順書
			燃料冷却ポンプモーターユニット	燃料冷却ポンプモーターユニットの交換	炉心の新しい設備が発生した場合に特化する運転手順書
			燃料冷却ポンプモーターユニット	燃料冷却ポンプモーターユニットの交換	炉心の新しい設備が発生した場合に特化する運転手順書
			燃料冷却ポンプモーターユニット	燃料冷却ポンプモーターユニットの交換	炉心の新しい設備が発生した場合に特化する運転手順書

注1：本表は燃料冷却系に特化した対応手段を示すものであり、炉心の中心温度が上昇した状態や炉心温度が上昇した状態を示す設備を示す。
注2：大飯発電所 重大事故等発生時における原子炉施設の状態のための活動に関する手順。
注3：燃料冷却ポンプモーターの故障。注4：注1、注2、注3の重大事故等の発生に必要となる水の供給手順等）にて整備する。
注4：「1.7 炉心損傷時の燃料供給」にて整備する。
注5：「1.14 電源の確保に関する手順」にて整備する。
注6：可搬型燃料冷却ポンプモーターユニットの交換。注7：「1.14 電源の確保に関する手順」にて整備する。
注7：可搬型燃料冷却ポンプモーターユニットの交換。注8：「1.14 電源の確保に関する手順」にて整備する。
注8：可搬型燃料冷却ポンプモーターユニットの交換。注9：「1.6 炉心損傷時の燃料供給」にて整備する。
注9：可搬型燃料冷却ポンプモーターユニットの交換。注10：「1.13 重大事故等の発生に必要となる水の供給手順」にて整備する。

女川原子力発電所2号炉

第2.1-9表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順(1.6) (4/6)
(炉心損傷後のフロントライン系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順の分類
炉心損傷後のフロントライン系故障時	燃料冷却系 燃料冷却ポンプ 燃料冷却ポンプモーター	燃料冷却ポンプモーターの故障	燃料冷却ポンプモーターユニット	燃料冷却ポンプモーターユニットの交換	炉心の新しい設備が発生した場合に特化する運転手順書
			燃料冷却ポンプモーターユニット	燃料冷却ポンプモーターユニットの交換	炉心の新しい設備が発生した場合に特化する運転手順書
			燃料冷却ポンプモーターユニット	燃料冷却ポンプモーターユニットの交換	炉心の新しい設備が発生した場合に特化する運転手順書
			燃料冷却ポンプモーターユニット	燃料冷却ポンプモーターユニットの交換	炉心の新しい設備が発生した場合に特化する運転手順書
			燃料冷却ポンプモーターユニット	燃料冷却ポンプモーターユニットの交換	炉心の新しい設備が発生した場合に特化する運転手順書
			燃料冷却ポンプモーターユニット	燃料冷却ポンプモーターユニットの交換	炉心の新しい設備が発生した場合に特化する運転手順書
			燃料冷却ポンプモーターユニット	燃料冷却ポンプモーターユニットの交換	炉心の新しい設備が発生した場合に特化する運転手順書
			燃料冷却ポンプモーターユニット	燃料冷却ポンプモーターユニットの交換	炉心の新しい設備が発生した場合に特化する運転手順書
			燃料冷却ポンプモーターユニット	燃料冷却ポンプモーターユニットの交換	炉心の新しい設備が発生した場合に特化する運転手順書
			燃料冷却ポンプモーターユニット	燃料冷却ポンプモーターユニットの交換	炉心の新しい設備が発生した場合に特化する運転手順書

注1：手順は「1.9 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順」にて整備する。
注2：手順は「1.14 電源の確保に関する手順」にて整備する。
注3：手順は「1.13 重大事故等の発生に必要となる水の供給手順」にて整備する。
注4：「1.13 重大事故等の発生に必要となる水の供給手順」にて整備する。

泊発電所3号炉

第2.1.9表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順(1.6) (6/9)
(炉心損傷後のフロントライン系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順の分類
炉心損傷後のフロントライン系故障時	燃料冷却系 燃料冷却ポンプ 燃料冷却ポンプモーター	燃料冷却ポンプモーターの故障	燃料冷却ポンプモーターユニット	燃料冷却ポンプモーターユニットの交換	炉心の新しい設備が発生した場合に特化する運転手順書
			燃料冷却ポンプモーターユニット	燃料冷却ポンプモーターユニットの交換	炉心の新しい設備が発生した場合に特化する運転手順書
			燃料冷却ポンプモーターユニット	燃料冷却ポンプモーターユニットの交換	炉心の新しい設備が発生した場合に特化する運転手順書
			燃料冷却ポンプモーターユニット	燃料冷却ポンプモーターユニットの交換	炉心の新しい設備が発生した場合に特化する運転手順書
			燃料冷却ポンプモーターユニット	燃料冷却ポンプモーターユニットの交換	炉心の新しい設備が発生した場合に特化する運転手順書
			燃料冷却ポンプモーターユニット	燃料冷却ポンプモーターユニットの交換	炉心の新しい設備が発生した場合に特化する運転手順書
			燃料冷却ポンプモーターユニット	燃料冷却ポンプモーターユニットの交換	炉心の新しい設備が発生した場合に特化する運転手順書
			燃料冷却ポンプモーターユニット	燃料冷却ポンプモーターユニットの交換	炉心の新しい設備が発生した場合に特化する運転手順書
			燃料冷却ポンプモーターユニット	燃料冷却ポンプモーターユニットの交換	炉心の新しい設備が発生した場合に特化する運転手順書
			燃料冷却ポンプモーターユニット	燃料冷却ポンプモーターユニットの交換	炉心の新しい設備が発生した場合に特化する運転手順書

注1：手順は「1.13 重大事故等の発生に必要となる水の供給手順」にて整備する。
注2：手順は「1.7 炉心損傷時の燃料供給」にて整備する。
注3：手順は「1.14 電源の確保に関する手順」にて整備する。
注4：可搬型燃料冷却ポンプモーターユニットの交換。注5：「1.14 電源の確保に関する手順」にて整備する。
注5：可搬型燃料冷却ポンプモーターユニットの交換。注6：「1.14 電源の確保に関する手順」にて整備する。
注6：可搬型燃料冷却ポンプモーターユニットの交換。注7：「1.6 炉心損傷時の燃料供給」にて整備する。
注7：可搬型燃料冷却ポンプモーターユニットの交換。注8：「1.13 重大事故等の発生に必要となる水の供給手順」にて整備する。

相違理由

【大飯】記載方針の相違(女川審査実績反映)
・泊は、女川審査実績を反映し、技術的能力1.2~1.14で整備する手順と用いる設備について第2.1.5表~第2.1.17表に整理し、大規模損壊に特化した手順についてはこれらの表とは別の表(第2.1.18表)として整理するため記載が異なる。記載方針の相違であり、実質的な相違はない。

【大飯】記載方針の相違(女川審査実績反映)
・泊は、流路及び電路として使用する設備を記載する。

【大飯】記載方針の相違(女川審査実績反映)
・泊は、重大事故等対応設備(設計基準損壊)による対応手段を整理している。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																								
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象は 第2.1.9表(3/4)</p>	<p style="text-align: center;">第2.1.9表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順(1.6)(5/6) (炉心損傷後のフロントライン系故障時)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機能喪失を想定する設計基準事故対処設備</th> <th>対応手段</th> <th>対応設備</th> <th>手順書</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>フロントライン系故障時</td> <td>残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード)</td> <td>原子炉格納容器冷却モード</td> <td>ドライウェル冷却系(原子炉格納容器冷却系) ドレイウェル冷却系(原子炉格納容器冷却系) 原子炉格納容器冷却系(原子炉格納容器冷却系) 高圧注水(注水) 非常用冷却設備(注水) 非常用冷却設備(注水) 非常用冷却設備(注水)</td> <td>非常時操作手順書(注水) 「ドレイウェル冷却系」による格納容器冷却</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：手順は「1.9 最終トリップアンチポンプ停止」にて整備する。 ※2：手順は「1.14 電流の増大に際する手順」にて整備する。 ※3：手順は「1.10 重大事故等の収束に必要な水の供給手順」にて整備する。 ※4：「1.18 重大事故等の収束に必要な水の供給手順」【解説】注) 水を満足するための代替注水機(設置)</p>	分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対応設備	手順書	フロントライン系故障時	残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード)	原子炉格納容器冷却モード	ドライウェル冷却系(原子炉格納容器冷却系) ドレイウェル冷却系(原子炉格納容器冷却系) 原子炉格納容器冷却系(原子炉格納容器冷却系) 高圧注水(注水) 非常用冷却設備(注水) 非常用冷却設備(注水) 非常用冷却設備(注水)	非常時操作手順書(注水) 「ドレイウェル冷却系」による格納容器冷却	<p style="text-align: center;">第2.1.9表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順(1.6)(7/9) (炉心損傷後のフロントライン系故障時)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機能喪失を想定する設計基準事故対処設備</th> <th>対応手段</th> <th>対応設備</th> <th>整備する手順書</th> <th>手順書の分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>格納容器冷却系(注水)</td> <td>ドレイウェル冷却系(注水)</td> <td>ドレイウェル冷却系(注水)</td> <td>ドレイウェル冷却系(注水)</td> <td>ドレイウェル冷却系(注水)</td> <td>ドレイウェル冷却系(注水)</td> </tr> <tr> <td>非常用冷却設備(注水)</td> <td>非常用冷却設備(注水)</td> <td>非常用冷却設備(注水)</td> <td>非常用冷却設備(注水)</td> <td>非常用冷却設備(注水)</td> <td>非常用冷却設備(注水)</td> </tr> <tr> <td>非常用冷却設備(注水)</td> <td>非常用冷却設備(注水)</td> <td>非常用冷却設備(注水)</td> <td>非常用冷却設備(注水)</td> <td>非常用冷却設備(注水)</td> <td>非常用冷却設備(注水)</td> </tr> <tr> <td>非常用冷却設備(注水)</td> <td>非常用冷却設備(注水)</td> <td>非常用冷却設備(注水)</td> <td>非常用冷却設備(注水)</td> <td>非常用冷却設備(注水)</td> <td>非常用冷却設備(注水)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：手順は「1.10 重大事故等の収束に必要な水の供給手順」にて整備する。 ※2：可搬型注入ポンプ系により注水する格納容器冷却系(注水)にて整備する。 ※3：手順は「1.11 電流の増大に際する手順」にて整備する。 ※4：非常用冷却設備(注水)は、注水機(注水)の注水ポンプから供給することにより行う。 ※5：注水機(注水)は、注水機(注水)の注水ポンプから供給することにより行う。</p>	分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順書の分類	格納容器冷却系(注水)	ドレイウェル冷却系(注水)	ドレイウェル冷却系(注水)	ドレイウェル冷却系(注水)	ドレイウェル冷却系(注水)	ドレイウェル冷却系(注水)	非常用冷却設備(注水)	非常用冷却設備(注水)	非常用冷却設備(注水)	非常用冷却設備(注水)	非常用冷却設備(注水)	非常用冷却設備(注水)	非常用冷却設備(注水)	非常用冷却設備(注水)	非常用冷却設備(注水)	非常用冷却設備(注水)	非常用冷却設備(注水)	非常用冷却設備(注水)	非常用冷却設備(注水)	非常用冷却設備(注水)	非常用冷却設備(注水)	非常用冷却設備(注水)	非常用冷却設備(注水)	非常用冷却設備(注水)	<p>【大阪】記載方針の相違(女川審査実績反映) ・泊は、女川審査実績を反映し、技術的能力1.2~1.14で整備する手順と用いる設備について第2.1.5表~第2.1.17表に整理し、大規模損壊に特化した手順についてはこれらの表とは別の表(第2.1.18表)として整理するため記載が異なる。記載方針の相違であり、実質的な相違はない。</p> <p>【大阪】記載方針の相違(女川審査実績反映) ・泊は、流路及び電路として使用する設備を記載する。</p>
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対応設備	手順書																																							
フロントライン系故障時	残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード)	原子炉格納容器冷却モード	ドライウェル冷却系(原子炉格納容器冷却系) ドレイウェル冷却系(原子炉格納容器冷却系) 原子炉格納容器冷却系(原子炉格納容器冷却系) 高圧注水(注水) 非常用冷却設備(注水) 非常用冷却設備(注水) 非常用冷却設備(注水)	非常時操作手順書(注水) 「ドレイウェル冷却系」による格納容器冷却																																							
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順書の分類																																						
格納容器冷却系(注水)	ドレイウェル冷却系(注水)	ドレイウェル冷却系(注水)	ドレイウェル冷却系(注水)	ドレイウェル冷却系(注水)	ドレイウェル冷却系(注水)																																						
非常用冷却設備(注水)	非常用冷却設備(注水)	非常用冷却設備(注水)	非常用冷却設備(注水)	非常用冷却設備(注水)	非常用冷却設備(注水)																																						
非常用冷却設備(注水)	非常用冷却設備(注水)	非常用冷却設備(注水)	非常用冷却設備(注水)	非常用冷却設備(注水)	非常用冷却設備(注水)																																						
非常用冷却設備(注水)	非常用冷却設備(注水)	非常用冷却設備(注水)	非常用冷却設備(注水)	非常用冷却設備(注水)	非常用冷却設備(注水)																																						

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉

第2.1.9表 重大事故等及び大規模損壊対応設備と整備する手順(1.6) (4/4)
 (炉心損傷後のサポート系機能喪失時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順の分類
全交流動力電源* 又は 原子炉補給冷却系故障	冷却材循環ポンプ 冷却材循環ポンプ 冷却材循環ポンプ 冷却材循環ポンプ 冷却材循環ポンプ 冷却材循環ポンプ 冷却材循環ポンプ 冷却材循環ポンプ 冷却材循環ポンプ 冷却材循環ポンプ	可搬式代替冷却ポンプ	可搬式代替冷却ポンプを用いた代替冷却ポンプスプレイの手順	重大事故等対応設備	炉心の著しい損傷が発生した場合に発生する 運転手順書
		可搬式代替冷却ポンプ	可搬式代替冷却ポンプを用いた代替冷却ポンプスプレイの手順	重大事故等対応設備	炉心の著しい損傷が発生した場合に発生する 運転手順書
		可搬式代替冷却ポンプ	可搬式代替冷却ポンプを用いた代替冷却ポンプスプレイの手順	重大事故等対応設備	炉心の著しい損傷が発生した場合に発生する 運転手順書
		可搬式代替冷却ポンプ	可搬式代替冷却ポンプを用いた代替冷却ポンプスプレイの手順	重大事故等対応設備	炉心の著しい損傷が発生した場合に発生する 運転手順書
		可搬式代替冷却ポンプ	可搬式代替冷却ポンプを用いた代替冷却ポンプスプレイの手順	重大事故等対応設備	炉心の著しい損傷が発生した場合に発生する 運転手順書
		可搬式代替冷却ポンプ	可搬式代替冷却ポンプを用いた代替冷却ポンプスプレイの手順	重大事故等対応設備	炉心の著しい損傷が発生した場合に発生する 運転手順書
		可搬式代替冷却ポンプ	可搬式代替冷却ポンプを用いた代替冷却ポンプスプレイの手順	重大事故等対応設備	炉心の著しい損傷が発生した場合に発生する 運転手順書
		可搬式代替冷却ポンプ	可搬式代替冷却ポンプを用いた代替冷却ポンプスプレイの手順	重大事故等対応設備	炉心の著しい損傷が発生した場合に発生する 運転手順書
		可搬式代替冷却ポンプ	可搬式代替冷却ポンプを用いた代替冷却ポンプスプレイの手順	重大事故等対応設備	炉心の著しい損傷が発生した場合に発生する 運転手順書
		可搬式代替冷却ポンプ	可搬式代替冷却ポンプを用いた代替冷却ポンプスプレイの手順	重大事故等対応設備	炉心の著しい損傷が発生した場合に発生する 運転手順書
化学消防自動車	A、B格納容器再蒸発ユニット* 格納容器再蒸発ユニット* 格納容器再蒸発ユニット* 格納容器再蒸発ユニット* 格納容器再蒸発ユニット* 格納容器再蒸発ユニット* 格納容器再蒸発ユニット* 格納容器再蒸発ユニット* 格納容器再蒸発ユニット* 格納容器再蒸発ユニット*	可搬式代替冷却ポンプ	可搬式代替冷却ポンプを用いた代替冷却ポンプスプレイの手順	重大事故等対応設備	炉心の著しい損傷が発生した場合に発生する 運転手順書
		可搬式代替冷却ポンプ	可搬式代替冷却ポンプを用いた代替冷却ポンプスプレイの手順	重大事故等対応設備	炉心の著しい損傷が発生した場合に発生する 運転手順書
		可搬式代替冷却ポンプ	可搬式代替冷却ポンプを用いた代替冷却ポンプスプレイの手順	重大事故等対応設備	炉心の著しい損傷が発生した場合に発生する 運転手順書
		可搬式代替冷却ポンプ	可搬式代替冷却ポンプを用いた代替冷却ポンプスプレイの手順	重大事故等対応設備	炉心の著しい損傷が発生した場合に発生する 運転手順書
		可搬式代替冷却ポンプ	可搬式代替冷却ポンプを用いた代替冷却ポンプスプレイの手順	重大事故等対応設備	炉心の著しい損傷が発生した場合に発生する 運転手順書
		可搬式代替冷却ポンプ	可搬式代替冷却ポンプを用いた代替冷却ポンプスプレイの手順	重大事故等対応設備	炉心の著しい損傷が発生した場合に発生する 運転手順書
		可搬式代替冷却ポンプ	可搬式代替冷却ポンプを用いた代替冷却ポンプスプレイの手順	重大事故等対応設備	炉心の著しい損傷が発生した場合に発生する 運転手順書
		可搬式代替冷却ポンプ	可搬式代替冷却ポンプを用いた代替冷却ポンプスプレイの手順	重大事故等対応設備	炉心の著しい損傷が発生した場合に発生する 運転手順書
		可搬式代替冷却ポンプ	可搬式代替冷却ポンプを用いた代替冷却ポンプスプレイの手順	重大事故等対応設備	炉心の著しい損傷が発生した場合に発生する 運転手順書
		可搬式代替冷却ポンプ	可搬式代替冷却ポンプを用いた代替冷却ポンプスプレイの手順	重大事故等対応設備	炉心の著しい損傷が発生した場合に発生する 運転手順書

以下欄に記載の整備手段は適用する可搬型設備による対応に成功した手順書及び当該手順書に記載する設備を示す。
 *は、文字は重大事故発生時の対応手順書と相違点を示す。
 ※1：「大飯発電所 重大事故発生時における原子炉損壊の保全のための活動に関する手順書」
 ※2：手順は「1.14 電圧の確保に関する手順書」にて整備する。
 ※3：可搬式代替冷却ポンプにより格納容器にスプレイする場合は海水をスプレイする。
 ※4：可搬式代替冷却ポンプの格納容器に格納する。手順は「1.14 電圧の確保に関する手順書」にて整備する。
 ※5：電圧の可搬式代替冷却ポンプの格納容器に格納する。
 ※6：海水の格納容器に格納する。手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却のための手順書」にて整備する。
 ※7：手順は「1.7 原子炉格納容器の冷却設備を起動するための手順書」にて整備する。
 ※8：冷却ポンプの格納容器に格納する。
 ※9：「大飯発電所 大規模損壊発生時における原子炉損壊の保全のための活動に関する手順書」

女川原子力発電所2号炉

第2.1-9表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順(1.6) (6/6)
 (炉心損傷後のサポート系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順の分類
サポート系故障時	全交流動力電源	可搬式代替冷却ポンプ	可搬式代替冷却ポンプを用いた代替冷却ポンプスプレイの手順	重大事故等対応設備	炉心の著しい損傷が発生した場合に発生する 運転手順書
		可搬式代替冷却ポンプ	可搬式代替冷却ポンプを用いた代替冷却ポンプスプレイの手順	重大事故等対応設備	炉心の著しい損傷が発生した場合に発生する 運転手順書
		可搬式代替冷却ポンプ	可搬式代替冷却ポンプを用いた代替冷却ポンプスプレイの手順	重大事故等対応設備	炉心の著しい損傷が発生した場合に発生する 運転手順書
		可搬式代替冷却ポンプ	可搬式代替冷却ポンプを用いた代替冷却ポンプスプレイの手順	重大事故等対応設備	炉心の著しい損傷が発生した場合に発生する 運転手順書
		可搬式代替冷却ポンプ	可搬式代替冷却ポンプを用いた代替冷却ポンプスプレイの手順	重大事故等対応設備	炉心の著しい損傷が発生した場合に発生する 運転手順書
		可搬式代替冷却ポンプ	可搬式代替冷却ポンプを用いた代替冷却ポンプスプレイの手順	重大事故等対応設備	炉心の著しい損傷が発生した場合に発生する 運転手順書
		可搬式代替冷却ポンプ	可搬式代替冷却ポンプを用いた代替冷却ポンプスプレイの手順	重大事故等対応設備	炉心の著しい損傷が発生した場合に発生する 運転手順書
		可搬式代替冷却ポンプ	可搬式代替冷却ポンプを用いた代替冷却ポンプスプレイの手順	重大事故等対応設備	炉心の著しい損傷が発生した場合に発生する 運転手順書
		可搬式代替冷却ポンプ	可搬式代替冷却ポンプを用いた代替冷却ポンプスプレイの手順	重大事故等対応設備	炉心の著しい損傷が発生した場合に発生する 運転手順書
		可搬式代替冷却ポンプ	可搬式代替冷却ポンプを用いた代替冷却ポンプスプレイの手順	重大事故等対応設備	炉心の著しい損傷が発生した場合に発生する 運転手順書

※1：手順は「1.6 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順書」にて整備する。
 ※2：手順は「1.14 電圧の確保に関する手順書」にて整備する。
 ※3：手順は「1.13 重大事故等発生時の対応に必要となる水の供給手順書」にて整備する。
 ※4：「1.13 重大事故等発生時の対応に必要となる水の供給手順書」【報告】1)項を満足するための代替冷却ポンプ（可搬）

泊発電所3号炉

第2.1.9表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順(1.6) (8/9)
 (炉心損傷後のサポート系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順の分類
サポート系故障時	全交流動力電源	可搬式代替冷却ポンプ	可搬式代替冷却ポンプを用いた代替冷却ポンプスプレイの手順	重大事故等対応設備	炉心の著しい損傷が発生した場合に発生する 運転手順書
		可搬式代替冷却ポンプ	可搬式代替冷却ポンプを用いた代替冷却ポンプスプレイの手順	重大事故等対応設備	炉心の著しい損傷が発生した場合に発生する 運転手順書
		可搬式代替冷却ポンプ	可搬式代替冷却ポンプを用いた代替冷却ポンプスプレイの手順	重大事故等対応設備	炉心の著しい損傷が発生した場合に発生する 運転手順書
		可搬式代替冷却ポンプ	可搬式代替冷却ポンプを用いた代替冷却ポンプスプレイの手順	重大事故等対応設備	炉心の著しい損傷が発生した場合に発生する 運転手順書
		可搬式代替冷却ポンプ	可搬式代替冷却ポンプを用いた代替冷却ポンプスプレイの手順	重大事故等対応設備	炉心の著しい損傷が発生した場合に発生する 運転手順書
		可搬式代替冷却ポンプ	可搬式代替冷却ポンプを用いた代替冷却ポンプスプレイの手順	重大事故等対応設備	炉心の著しい損傷が発生した場合に発生する 運転手順書
		可搬式代替冷却ポンプ	可搬式代替冷却ポンプを用いた代替冷却ポンプスプレイの手順	重大事故等対応設備	炉心の著しい損傷が発生した場合に発生する 運転手順書
		可搬式代替冷却ポンプ	可搬式代替冷却ポンプを用いた代替冷却ポンプスプレイの手順	重大事故等対応設備	炉心の著しい損傷が発生した場合に発生する 運転手順書
		可搬式代替冷却ポンプ	可搬式代替冷却ポンプを用いた代替冷却ポンプスプレイの手順	重大事故等対応設備	炉心の著しい損傷が発生した場合に発生する 運転手順書
		可搬式代替冷却ポンプ	可搬式代替冷却ポンプを用いた代替冷却ポンプスプレイの手順	重大事故等対応設備	炉心の著しい損傷が発生した場合に発生する 運転手順書

※1：手順は「1.14 電圧の確保に関する手順書」にて整備する。
 ※2：可搬式代替冷却ポンプにより格納容器にスプレイする。
 ※3：可搬式代替冷却ポンプの格納容器に格納する。
 ※4：格納容器に格納する。可搬式代替冷却ポンプの格納容器に格納する。

相違理由

【大飯】記載方針の相違(女川審査実績反映)
 ・泊は、女川審査実績を反映し、技術的能力 1.2~1.14 で整備する手順と用いる設備については別の表(第 2.1.18 表)として整理するため記載が異なる。記載方針の相違であり、実質的な相違はない。
 【大飯】記載方針の相違(女川審査実績反映)
 ・泊は、流路及び電路として使用する設備に記載する。
 【大飯】大規模損壊に特化した手順に用いる設備に相違なし。(化学消防自動車を用いた代替格納容器スプレイ)

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉

第2.1.10表 重大事故等及び大規模損壊対応設備と整備する手順(1.7) (1/2)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応設備	整備する手順書	手順書の分類
代替格納容器スプレイ	燃料冷却スプレイポンプ*	格納容器スプレイポンプ*	格納容器スプレイポンプを用いた格納容器スプレイの手順	炉心の新しい損傷が発生した場合に 対応する運転手順書
	燃料冷却用水ポンプ	燃料冷却用水ポンプ	大規模損壊時に対応する手順	
	A. 炉格納容器格納ユニット	格納容器格納ユニット	格納容器格納ユニットを用いた格納容器内自然冷却時の手順	炉心の新しい損傷が発生した場合に 対応する運転手順書
	可搬型自然冷却装置（格納容器内自然冷却ユニット入り温度/出口温度（S.A.）用）	可搬型自然冷却装置	可搬型自然冷却装置を用いた格納容器内自然冷却時の手順	
	A. 原子炉格納容器格納ユニット	格納容器格納ユニット	格納容器格納ユニットを用いた格納容器内自然冷却時の手順	炉心の新しい損傷が発生した場合に 対応する運転手順書
	原子炉格納容器格納ユニット	格納容器格納ユニット	可搬型自然冷却装置設置時の手順	
	格納容器格納ユニット	格納容器格納ユニット	大規模損壊時に対応する手順	
	格納容器格納ユニット	格納容器格納ユニット	大規模損壊時に対応する手順	
	格納容器格納ユニット	格納容器格納ユニット	大規模損壊時に対応する手順	
	格納容器格納ユニット	格納容器格納ユニット	大規模損壊時に対応する手順	
	格納容器格納ユニット	格納容器格納ユニット	大規模損壊時に対応する手順	
	格納容器格納ユニット	格納容器格納ユニット	大規模損壊時に対応する手順	

① 下図1は格納容器格納ユニットを用いた格納容器内自然冷却時の対応手順書に記載する設備を示す。
また、大規模損壊等発生時の対応手順書との相違箇所を示す。
②：「大規模損壊 重大事故等発生時における原子炉格納容器の保護のための活動に関する手順書」
③：「燃料冷却スプレイ」
④：「手順1.13.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。
⑤：「手順1.13.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
⑥：「可搬型自然冷却装置の燃料格納に使用する。【補注1.14 電源の確保に関する手順等】にて整備する。
⑦：「格納容器格納ユニット格納容器内自然冷却に使用する。【補注1.13 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等】にて整備する。
⑧：「格納容器格納ユニット格納容器内自然冷却に使用する。【補注1.13 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等】にて整備する。
⑨：「大規模損壊 大規模損壊発生時における原子炉格納容器の保護のための活動に関する手順書」

女川原子力発電所2号炉

第2.1-10表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順(1.7) (1/2)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応設備	整備する手順書	手順書の分類
原子炉格納容器格納ユニット	燃料冷却スプレイポンプ*	格納容器スプレイポンプ	格納容器スプレイポンプを用いた格納容器スプレイの手順	炉心の新しい損傷が発生した場合に 対応する運転手順書
	燃料冷却用水ポンプ	燃料冷却用水ポンプ	大規模損壊時に対応する手順	
	A. 炉格納容器格納ユニット	格納容器格納ユニット	格納容器格納ユニットを用いた格納容器内自然冷却時の手順	炉心の新しい損傷が発生した場合に 対応する運転手順書
	可搬型自然冷却装置（格納容器内自然冷却ユニット入り温度/出口温度（S.A.）用）	可搬型自然冷却装置	可搬型自然冷却装置を用いた格納容器内自然冷却時の手順	
	A. 原子炉格納容器格納ユニット	格納容器格納ユニット	格納容器格納ユニットを用いた格納容器内自然冷却時の手順	炉心の新しい損傷が発生した場合に 対応する運転手順書
	原子炉格納容器格納ユニット	格納容器格納ユニット	可搬型自然冷却装置設置時の手順	
	格納容器格納ユニット	格納容器格納ユニット	大規模損壊時に対応する手順	
	格納容器格納ユニット	格納容器格納ユニット	大規模損壊時に対応する手順	
	格納容器格納ユニット	格納容器格納ユニット	大規模損壊時に対応する手順	
	格納容器格納ユニット	格納容器格納ユニット	大規模損壊時に対応する手順	
	格納容器格納ユニット	格納容器格納ユニット	大規模損壊時に対応する手順	
	格納容器格納ユニット	格納容器格納ユニット	大規模損壊時に対応する手順	

①：「手順1.13.6 燃料冷却スプレイポンプ」にて整備する。
②：「手順1.13.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
③：「手順1.13.13 重大事故等の発生に必要なとなる水の供給手順等」にて整備する。
④：「1.13.13 重大事故等の発生に必要なとなる水の供給手順等」【補注1.13】項を満足するための代替格納容器（注）

泊発電所3号炉

第2.1.10表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順(1.7) (1/4)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応設備	整備する手順書	手順書の分類
原子炉格納容器格納ユニット	燃料冷却スプレイポンプ*	格納容器スプレイポンプ	格納容器スプレイポンプを用いた格納容器スプレイの手順	炉心の新しい損傷が発生した場合に 対応する運転手順書
	燃料冷却用水ポンプ	燃料冷却用水ポンプ	大規模損壊時に対応する手順	
	A. 炉格納容器格納ユニット	格納容器格納ユニット	格納容器格納ユニットを用いた格納容器内自然冷却時の手順	炉心の新しい損傷が発生した場合に 対応する運転手順書
	可搬型自然冷却装置（格納容器内自然冷却ユニット入り温度/出口温度（S.A.）用）	可搬型自然冷却装置	可搬型自然冷却装置を用いた格納容器内自然冷却時の手順	
	A. 原子炉格納容器格納ユニット	格納容器格納ユニット	格納容器格納ユニットを用いた格納容器内自然冷却時の手順	炉心の新しい損傷が発生した場合に 対応する運転手順書
	原子炉格納容器格納ユニット	格納容器格納ユニット	可搬型自然冷却装置設置時の手順	
	格納容器格納ユニット	格納容器格納ユニット	大規模損壊時に対応する手順	
	格納容器格納ユニット	格納容器格納ユニット	大規模損壊時に対応する手順	
	格納容器格納ユニット	格納容器格納ユニット	大規模損壊時に対応する手順	
	格納容器格納ユニット	格納容器格納ユニット	大規模損壊時に対応する手順	
	格納容器格納ユニット	格納容器格納ユニット	大規模損壊時に対応する手順	
	格納容器格納ユニット	格納容器格納ユニット	大規模損壊時に対応する手順	

①：「手順1.13.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
②：「手順1.13.13 重大事故等の発生に必要なとなる水の供給手順等」にて整備する。
③：「重大事故等発生時においている設備の名称」
④：「1.13.13に適合する重大事故等対応設備」 ⑤：「1.13.13に適合する重大事故等対応設備」 ⑥：「1.13.13に適合する重大事故等対応設備」

相違理由

【大阪】記載方針の相違(女川審査実績反映)
・泊は、女川審査実績を反映し、技術的能力1.2~1.14で整備する手順と用いる設備について第2.1.5表~第2.1.17表に整理し、大規模損壊に特化した手順についてはこれらの表とは別の表(第2.1.18表)として整理するため記載が異なる。記載方針の相違であり、実質的な相違はない。

【大阪】記載方針の相違(女川審査実績反映)
・泊は、流路及び電路として使用する設備を記載する。

【大阪】記載方針の相違(女川審査実績反映)
・泊は、重大事故等対応設備(設計基準拡張)による対応手段を整理している。

【大阪】大規模損壊に特化した手順に用いる設備に相違なし。(化学消防自動車を用いた代替格納容器スプレイ)

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

泊3号炉との比較対象は
 第2.1.10表(1/2)

第2.1-10表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順(1.7)(2/2)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対応設備	手順書
原子炉格納容器の過圧防止	—	可搬型蒸気ガス供給装置 ボース・蒸気供給用ヘッド・接続口 原子炉格納容器調気系 配管・弁 原子炉格納容器フィルタベント系 配管・弁 フェイルド装置 常設代替交流電源設備 ※2 燃料補給設備 ※2	重大事故等対応設備	非常時操作手順書（シビアアクシデント） 「ベントストラテジ」 重大事故等対応要綱書 「可搬型蒸気ガス供給装置による要綱列入」
		可搬型蒸気ガス供給装置 ボース・蒸気供給用ヘッド・接続口 原子炉格納容器調気系 配管・弁 原子炉格納容器フィルタベント系 配管・弁 原子炉格納容器フェイルド装置 常設代替交流電源設備 ※2 燃料補給設備 ※2	重大事故等対応設備	重大事故等対応要綱書 「可搬型蒸気ガス供給装置による要綱列入」
		原子炉格納容器pH調整系ポンプ 原子炉格納容器pH調整系貯蔵タンク 原子炉格納容器pH調整系配管・弁 原子炉格納容器 常設代替交流電源設備 ※2	自主対策設備	非常時操作手順書（シビアアクシデント） 「ベントストラテジ」 重大事故等対応要綱書 「格納容器内pH調整」

※1：手順は「1.6 蒸気シーレンジャー熱を輸送するための手順書」にて整備する。
 ※2：手順は「1.8 電源の確保に関する手順書」にて整備する。
 ※3：手順は「1.11 重大事故等の収束に必要な水の供給手順書」にて整備する。
 ※4：「1.11 重大事故等の収束に必要な水の供給手順書」【解説】16)項を満足するための代替取水取（備前）

第2.1.10表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順(1.7)(2/4)

設備	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応設備	設備区分	整備する手順書	相違する内容
格納容器内pH調整系ポンプ	可搬型蒸気ガス供給装置 ボース・蒸気供給用ヘッド・接続口 原子炉格納容器調気系 配管・弁 原子炉格納容器フィルタベント系 配管・弁 フェイルド装置 常設代替交流電源設備 ※2 燃料補給設備 ※2	自主対策設備	自主対策設備	—	—
格納容器内pH調整系貯蔵タンク	可搬型蒸気ガス供給装置 ボース・蒸気供給用ヘッド・接続口 原子炉格納容器調気系 配管・弁 原子炉格納容器フィルタベント系 配管・弁 原子炉格納容器フェイルド装置 常設代替交流電源設備 ※2 燃料補給設備 ※2	自主対策設備	自主対策設備	—	—
格納容器内pH調整系配管・弁	可搬型蒸気ガス供給装置 ボース・蒸気供給用ヘッド・接続口 原子炉格納容器調気系 配管・弁 原子炉格納容器フィルタベント系 配管・弁 原子炉格納容器フェイルド装置 常設代替交流電源設備 ※2 燃料補給設備 ※2	自主対策設備	自主対策設備	—	—
格納容器内pH調整系	可搬型蒸気ガス供給装置 ボース・蒸気供給用ヘッド・接続口 原子炉格納容器調気系 配管・弁 原子炉格納容器フィルタベント系 配管・弁 原子炉格納容器フェイルド装置 常設代替交流電源設備 ※2 燃料補給設備 ※2	自主対策設備	自主対策設備	—	—

※1：手順は「1.11 原子炉格納容器内の過圧等のための手順書」にて整備する。
 ※2：手順は「1.8 電源の確保に関する手順書」にて整備する。
 ※3：可搬型蒸気ガスポンプ系により水を原子炉格納容器へスプレードする。
 ※4：格納容器への灌漑化、蒸気供給タンクからの過水タンクからの灌漑することにより行う。

【大阪】記載方針の相違(女川審査実績反映)
 ・泊は、女川審査実績を反映し、技術的能力1.2~1.14で整備する手順と用いる設備について第2.1.5表~第2.1.17表に整理し、大規模損壊に特化した手順についてはこれらの表とは別の表（第2.1.18表）として整理するため記載が異なる。記載方針の相違であり、実質的な相違はない。
 【大阪】記載方針の相違(女川審査実績反映)
 ・泊は、流路及び電路として使用する設備を記載する。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																					
<p>泊3号炉との比較対象は 第2.1.11表(1/2)</p>	<p>第2.1-11表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順(1.8)(3/6)</p> <table border="1" data-bbox="667 255 1218 534"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機能喪失を想定する設計基準事故対処設備</th> <th>対応手段</th> <th>対処設備</th> <th>手順書</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉格納容器下部に落下した溶融炉心の冷却</td> <td>ろ過水ポンプ ろ過水タンク ろ過水ろ過 配管・弁 汚濁防止弁 配管・弁 スプレイ管 原子炉格納容器 常設代替交流電源設備 52</td> <td>ろ過水ポンプに起因する原子炉格納容器下部への注水</td> <td>非常時操作手順書「注水スタートラージ-3a」等 非常時操作手順書（設備別） 「ろ過水ポンプによる格納容器下部注水」 「ろ過水ポンプによるドライケルル代替スプレイ」</td> <td>自主対策設備</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：手順は「1.13 重大事故等の発生に必要なとなる水の供給手順等」にて整備する。 ※2：手順は「1.14 電動の確保に関する手順等」にて整備する。 ※3：手順は「1.5 最終セーフティシシターへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。 ※4：手順は「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ維持時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。 ※5：手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ維持時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。 ※6：「1.13 重大事故等の発生に必要なとなる水の供給手順等」【解説】(b)項を補足するための代替注水（設備） ※7：原子炉格納容器下部注水系（常設）（代替格納容器ポンプ）は熱交換機能に期待しておらず、熱交換器は流路としてのみ用いる。</p>	分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順書	原子炉格納容器下部に落下した溶融炉心の冷却	ろ過水ポンプ ろ過水タンク ろ過水ろ過 配管・弁 汚濁防止弁 配管・弁 スプレイ管 原子炉格納容器 常設代替交流電源設備 52	ろ過水ポンプに起因する原子炉格納容器下部への注水	非常時操作手順書「注水スタートラージ-3a」等 非常時操作手順書（設備別） 「ろ過水ポンプによる格納容器下部注水」 「ろ過水ポンプによるドライケルル代替スプレイ」	自主対策設備	<p>第2.1.11表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順(1.8)(3/8)</p> <p>(原子炉格納容器下部に落下した溶融炉心の冷却)</p> <table border="1" data-bbox="1240 255 1794 885"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機能喪失を想定する設計基準事故対処設備</th> <th>対応手段</th> <th>対処設備</th> <th>整備する手順書</th> <th>手順書の分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">自主対策設備</td> <td rowspan="4">15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100 101 102 103 104 105 106 107 108 109 110 111 112 113 114 115 116 117 118 119 120 121 122 123 124 125 126 127 128 129 130 131 132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160 161 162 163 164 165 166 167 168 169 170 171 172 173 174 175 176 177 178 179 180 181 182 183 184 185 186 187 188 189 190 191 192 193 194 195 196 197 198 199 200 201 202 203 204 205 206 207 208 209 210 211 212 213 214 215 216 217 218 219 220 221 222 223 224 225 226 227 228 229 230 231 232 233 234 235 236 237 238 239 240 241 242 243 244 245 246 247 248 249 250 251 252 253 254 255 256 257 258 259 260 261 262 263 264 265 266 267 268 269 270 271 272 273 274 275 276 277 278 279 280 281 282 283 284 285 286 287 288 289 290 291 292 293 294 295 296 297 298 299 300 301 302 303 304 305 306 307 308 309 310 311 312 313 314 315 316 317 318 319 320 321 322 323 324 325 326 327 328 329 330 331 332 333 334 335 336 337 338 339 340 341 342 343 344 345 346 347 348 349 350 351 352 353 354 355 356 357 358 359 360 361 362 363 364 365 366 367 368 369 370 371 372 373 374 375 376 377 378 379 380 381 382 383 384 385 386 387 388 389 390 391 392 393 394 395 396 397 398 399 400 401 402 403 404 405 406 407 408 409 410 411 412 413 414 415 416 417 418 419 420 421 422 423 424 425 426 427 428 429 430 431 432 433 434 435 436 437 438 439 440 441 442 443 444 445 446 447 448 449 450 451 452 453 454 455 456 457 458 459 460 461 462 463 464 465 466 467 468 469 470 471 472 473 474 475 476 477 478 479 480 481 482 483 484 485 486 487 488 489 490 491 492 493 494 495 496 497 498 499 500 501 502 503 504 505 506 507 508 509 510 511 512 513 514 515 516 517 518 519 520 521 522 523 524 525 526 527 528 529 530 531 532 533 534 535 536 537 538 539 540 541 542 543 544 545 546 547 548 549 550 551 552 553 554 555 556 557 558 559 560 561 562 563 564 565 566 567 568 569 570 571 572 573 574 575 576 577 578 579 580 581 582 583 584 585 586 587 588 589 590 591 592 593 594 595 596 597 598 599 600 601 602 603 604 605 606 607 608 609 610 611 612 613 614 615 616 617 618 619 620 621 622 623 624 625 626 627 628 629 630 631 632 633 634 635 636 637 638 639 640 641 642 643 644 645 646 647 648 649 650 651 652 653 654 655 656 657 658 659 660 661 662 663 664 665 666 667 668 669 670 671 672 673 674 675 676 677 678 679 680 681 682 683 684 685 686 687 688 689 690 691 692 693 694 695 696 697 698 699 700 701 702 703 704 705 706 707 708 709 710 711 712 713 714 715 716 717 718 719 720 721 722 723 724 725 726 727 728 729 730 731 732 733 734 735 736 737 738 739 740 741 742 743 744 745 746 747 748 749 750 751 752 753 754 755 756 757 758 759 760 761 762 763 764 765 766 767 768 769 770 771 772 773 774 775 776 777 778 779 780 781 782 783 784 785 786 787 788 789 790 791 792 793 794 795 796 797 798 799 800 801 802 803 804 805 806 807 808 809 810 811 812 813 814 815 816 817 818 819 820 821 822 823 824 825 826 827 828 829 830 831 832 833 834 835 836 837 838 839 840 841 842 843 844 845 846 847 848 849 850 851 852 853 854 855 856 857 858 859 860 861 862 863 864 865 866 867 868 869 870 871 872 873 874 875 876 877 878 879 880 881 882 883 884 885 886 887 888 889 890 891 892 893 894 895 896 897 898 899 900 901 902 903 904 905 906 907 908 909 910 911 912 913 914 915 916 917 918 919 920 921 922 923 924 925 926 927 928 929 930 931 932 933 934 935 936 937 938 939 940 941 942 943 944 945 946 947 948 949 950 951 952 953 954 955 956 957 958 959 960 961 962 963 964 965 966 967 968 969 970 971 972 973 974 975 976 977 978 979 980 981 982 983 984 985 986 987 988 989 990 991 992 993 994 995 996 997 998 999 1000</td> <td>自主対策設備</td> <td>自主対策として整備する重大事故等対処設備</td> <td>自主対策として整備する重大事故等対処設備</td> </tr> </tbody> </table>	分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	整備する手順書	手順書の分類	自主対策設備	15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100 101 102 103 104 105 106 107 108 109 110 111 112 113 114 115 116 117 118 119 120 121 122 123 124 125 126 127 128 129 130 131 132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160 161 162 163 164 165 166 167 168 169 170 171 172 173 174 175 176 177 178 179 180 181 182 183 184 185 186 187 188 189 190 191 192 193 194 195 196 197 198 199 200 201 202 203 204 205 206 207 208 209 210 211 212 213 214 215 216 217 218 219 220 221 222 223 224 225 226 227 228 229 230 231 232 233 234 235 236 237 238 239 240 241 242 243 244 245 246 247 248 249 250 251 252 253 254 255 256 257 258 259 260 261 262 263 264 265 266 267 268 269 270 271 272 273 274 275 276 277 278 279 280 281 282 283 284 285 286 287 288 289 290 291 292 293 294 295 296 297 298 299 300 301 302 303 304 305 306 307 308 309 310 311 312 313 314 315 316 317 318 319 320 321 322 323 324 325 326 327 328 329 330 331 332 333 334 335 336 337 338 339 340 341 342 343 344 345 346 347 348 349 350 351 352 353 354 355 356 357 358 359 360 361 362 363 364 365 366 367 368 369 370 371 372 373 374 375 376 377 378 379 380 381 382 383 384 385 386 387 388 389 390 391 392 393 394 395 396 397 398 399 400 401 402 403 404 405 406 407 408 409 410 411 412 413 414 415 416 417 418 419 420 421 422 423 424 425 426 427 428 429 430 431 432 433 434 435 436 437 438 439 440 441 442 443 444 445 446 447 448 449 450 451 452 453 454 455 456 457 458 459 460 461 462 463 464 465 466 467 468 469 470 471 472 473 474 475 476 477 478 479 480 481 482 483 484 485 486 487 488 489 490 491 492 493 494 495 496 497 498 499 500 501 502 503 504 505 506 507 508 509 510 511 512 513 514 515 516 517 518 519 520 521 522 523 524 525 526 527 528 529 530 531 532 533 534 535 536 537 538 539 540 541 542 543 544 545 546 547 548 549 550 551 552 553 554 555 556 557 558 559 560 561 562 563 564 565 566 567 568 569 570 571 572 573 574 575 576 577 578 579 580 581 582 583 584 585 586 587 588 589 590 591 592 593 594 595 596 597 598 599 600 601 602 603 604 605 606 607 608 609 610 611 612 613 614 615 616 617 618 619 620 621 622 623 624 625 626 627 628 629 630 631 632 633 634 635 636 637 638 639 640 641 642 643 644 645 646 647 648 649 650 651 652 653 654 655 656 657 658 659 660 661 662 663 664 665 666 667 668 669 670 671 672 673 674 675 676 677 678 679 680 681 682 683 684 685 686 687 688 689 690 691 692 693 694 695 696 697 698 699 700 701 702 703 704 705 706 707 708 709 710 711 712 713 714 715 716 717 718 719 720 721 722 723 724 725 726 727 728 729 730 731 732 733 734 735 736 737 738 739 740 741 742 743 744 745 746 747 748 749 750 751 752 753 754 755 756 757 758 759 760 761 762 763 764 765 766 767 768 769 770 771 772 773 774 775 776 777 778 779 780 781 782 783 784 785 786 787 788 789 790 791 792 793 794 795 796 797 798 799 800 801 802 803 804 805 806 807 808 809 810 811 812 813 814 815 816 817 818 819 820 821 822 823 824 825 826 827 828 829 830 831 832 833 834 835 836 837 838 839 840 841 842 843 844 845 846 847 848 849 850 851 852 853 854 855 856 857 858 859 860 861 862 863 864 865 866 867 868 869 870 871 872 873 874 875 876 877 878 879 880 881 882 883 884 885 886 887 888 889 890 891 892 893 894 895 896 897 898 899 900 901 902 903 904 905 906 907 908 909 910 911 912 913 914 915 916 917 918 919 920 921 922 923 924 925 926 927 928 929 930 931 932 933 934 935 936 937 938 939 940 941 942 943 944 945 946 947 948 949 950 951 952 953 954 955 956 957 958 959 960 961 962 963 964 965 966 967 968 969 970 971 972 973 974 975 976 977 978 979 980 981 982 983 984 985 986 987 988 989 990 991 992 993 994 995 996 997 998 999 1000	自主対策設備	自主対策として整備する重大事故等対処設備	自主対策として整備する重大事故等対処設備	<p>【女川】記載表現の相違(大阪と同様) 【大阪】記載方針の相違(女川審査実績反映) ・泊は、女川審査実績を反映し、技術的能力1.2~1.14で整備する手順と用いる設備について第2.1.5表~第2.1.17表に整理し、大規模損壊に特化した手順についてはこれらの表とは別の表(第2.1.18表)として整理するため記載が異なる。記載方針の相違であり、実質的な相違はない。 【大阪】記載方針の相違(女川審査実績反映) ・泊は、流路及び電路として使用する設備を記載する。</p>
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順書																				
原子炉格納容器下部に落下した溶融炉心の冷却	ろ過水ポンプ ろ過水タンク ろ過水ろ過 配管・弁 汚濁防止弁 配管・弁 スプレイ管 原子炉格納容器 常設代替交流電源設備 52	ろ過水ポンプに起因する原子炉格納容器下部への注水	非常時操作手順書「注水スタートラージ-3a」等 非常時操作手順書（設備別） 「ろ過水ポンプによる格納容器下部注水」 「ろ過水ポンプによるドライケルル代替スプレイ」	自主対策設備																				
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	整備する手順書	手順書の分類																			
自主対策設備	15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100 101 102 103 104 105 106 107 108 109 110 111 112 113 114 115 116 117 118 119 120 121 122 123 124 125 126 127 128 129 130 131 132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160 161 162 163 164 165 166 167 168 169 170 171 172 173 174 175 176 177 178 179 180 181 182 183 184 185 186 187 188 189 190 191 192 193 194 195 196 197 198 199 200 201 202 203 204 205 206 207 208 209 210 211 212 213 214 215 216 217 218 219 220 221 222 223 224 225 226 227 228 229 230 231 232 233 234 235 236 237 238 239 240 241 242 243 244 245 246 247 248 249 250 251 252 253 254 255 256 257 258 259 260 261 262 263 264 265 266 267 268 269 270 271 272 273 274 275 276 277 278 279 280 281 282 283 284 285 286 287 288 289 290 291 292 293 294 295 296 297 298 299 300 301 302 303 304 305 306 307 308 309 310 311 312 313 314 315 316 317 318 319 320 321 322 323 324 325 326 327 328 329 330 331 332 333 334 335 336 337 338 339 340 341 342 343 344 345 346 347 348 349 350 351 352 353 354 355 356 357 358 359 360 361 362 363 364 365 366 367 368 369 370 371 372 373 374 375 376 377 378 379 380 381 382 383 384 385 386 387 388 389 390 391 392 393 394 395 396 397 398 399 400 401 402 403 404 405 406 407 408 409 410 411 412 413 414 415 416 417 418 419 420 421 422 423 424 425 426 427 428 429 430 431 432 433 434 435 436 437 438 439 440 441 442 443 444 445 446 447 448 449 450 451 452 453 454 455 456 457 458 459 460 461 462 463 464 465 466 467 468 469 470 471 472 473 474 475 476 477 478 479 480 481 482 483 484 485 486 487 488 489 490 491 492 493 494 495 496 497 498 499 500 501 502 503 504 505 506 507 508 509 510 511 512 513 514 515 516 517 518 519 520 521 522 523 524 525 526 527 528 529 530 531 532 533 534 535 536 537 538 539 540 541 542 543 544 545 546 547 548 549 550 551 552 553 554 555 556 557 558 559 560 561 562 563 564 565 566 567 568 569 570 571 572 573 574 575 576 577 578 579 580 581 582 583 584 585 586 587 588 589 590 591 592 593 594 595 596 597 598 599 600 601 602 603 604 605 606 607 608 609 610 611 612 613 614 615 616 617 618 619 620 621 622 623 624 625 626 627 628 629 630 631 632 633 634 635 636 637 638 639 640 641 642 643 644 645 646 647 648 649 650 651 652 653 654 655 656 657 658 659 660 661 662 663 664 665 666 667 668 669 670 671 672 673 674 675 676 677 678 679 680 681 682 683 684 685 686 687 688 689 690 691 692 693 694 695 696 697 698 699 700 701 702 703 704 705 706 707 708 709 710 711 712 713 714 715 716 717 718 719 720 721 722 723 724 725 726 727 728 729 730 731 732 733 734 735 736 737 738 739 740 741 742 743 744 745 746 747 748 749 750 751 752 753 754 755 756 757 758 759 760 761 762 763 764 765 766 767 768 769 770 771 772 773 774 775 776 777 778 779 780 781 782 783 784 785 786 787 788 789 790 791 792 793 794 795 796 797 798 799 800 801 802 803 804 805 806 807 808 809 810 811 812 813 814 815 816 817 818 819 820 821 822 823 824 825 826 827 828 829 830 831 832 833 834 835 836 837 838 839 840 841 842 843 844 845 846 847 848 849 850 851 852 853 854 855 856 857 858 859 860 861 862 863 864 865 866 867 868 869 870 871 872 873 874 875 876 877 878 879 880 881 882 883 884 885 886 887 888 889 890 891 892 893 894 895 896 897 898 899 900 901 902 903 904 905 906 907 908 909 910 911 912 913 914 915 916 917 918 919 920 921 922 923 924 925 926 927 928 929 930 931 932 933 934 935 936 937 938 939 940 941 942 943 944 945 946 947 948 949 950 951 952 953 954 955 956 957 958 959 960 961 962 963 964 965 966 967 968 969 970 971 972 973 974 975 976 977 978 979 980 981 982 983 984 985 986 987 988 989 990 991 992 993 994 995 996 997 998 999 1000	自主対策設備	自主対策として整備する重大事故等対処設備	自主対策として整備する重大事故等対処設備																				

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由															
<div data-bbox="159 284 577 395" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> 泊3号炉との比較対象は 第2.1.11表(1/2) </div>	<div data-bbox="846 316 1041 363" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> 比較対象外 </div>	<div data-bbox="1256 165 1778 252" style="text-align: center;"> 第2.1.11表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順 (1.8) (4/8) (原子炉格納容器下部に落下した溶融炉心の冷却) </div> <table border="1" data-bbox="1240 252 1800 582"> <thead> <tr> <th>設備</th> <th>機能喪失を想定する設計基準事故対処設備</th> <th>相違</th> <th>設備名称</th> <th>設備区分</th> <th>整備する手順表</th> <th>整備する手順表</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>可搬型大型溶融炉心冷却設備 可搬型大型溶融炉心冷却設備(1) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(2) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(3) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(4) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(5) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(6) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(7) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(8) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(9) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(10) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(11) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(12) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(13) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(14) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(15) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(16) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(17) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(18) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(19) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(20) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(21) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(22) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(23) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(24) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(25) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(26) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(27) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(28) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(29) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(30) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(31) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(32) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(33) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(34) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(35) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(36) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(37) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(38) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(39) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(40) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(41) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(42) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(43) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(44) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(45) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(46) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(47) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(48) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(49) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(50) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(51) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(52) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(53) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(54) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(55) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(56) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(57) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(58) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(59) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(60) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(61) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(62) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(63) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(64) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(65) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(66) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(67) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(68) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(69) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(70) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(71) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(72) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(73) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(74) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(75) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(76) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(77) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(78) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(79) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(80) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(81) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(82) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(83) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(84) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(85) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(86) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(87) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(88) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(89) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(90) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(91) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(92) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(93) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(94) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(95) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(96) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(97) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(98) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(99) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(100)</td> <td>可搬型大型溶融炉心冷却設備(1)</td> <td>可搬型大型溶融炉心冷却設備(1)</td> <td>可搬型大型溶融炉心冷却設備(1)</td> <td>可搬型大型溶融炉心冷却設備(1)</td> <td>可搬型大型溶融炉心冷却設備(1)</td> <td>可搬型大型溶融炉心冷却設備(1)</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="1240 582 1800 606">*1 手順は「1.11 事故の発生に際する手順表」にて整備する。 *2 両表同一の項目は、3次溶融炉心冷却設備の可搬型溶融炉心冷却設備の整備することにより行う。</p>	設備	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	相違	設備名称	設備区分	整備する手順表	整備する手順表	1	可搬型大型溶融炉心冷却設備 可搬型大型溶融炉心冷却設備(1) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(2) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(3) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(4) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(5) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(6) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(7) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(8) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(9) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(10) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(11) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(12) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(13) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(14) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(15) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(16) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(17) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(18) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(19) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(20) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(21) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(22) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(23) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(24) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(25) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(26) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(27) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(28) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(29) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(30) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(31) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(32) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(33) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(34) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(35) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(36) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(37) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(38) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(39) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(40) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(41) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(42) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(43) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(44) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(45) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(46) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(47) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(48) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(49) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(50) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(51) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(52) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(53) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(54) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(55) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(56) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(57) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(58) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(59) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(60) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(61) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(62) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(63) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(64) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(65) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(66) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(67) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(68) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(69) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(70) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(71) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(72) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(73) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(74) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(75) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(76) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(77) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(78) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(79) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(80) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(81) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(82) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(83) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(84) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(85) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(86) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(87) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(88) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(89) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(90) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(91) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(92) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(93) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(94) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(95) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(96) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(97) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(98) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(99) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(100)	可搬型大型溶融炉心冷却設備(1)	可搬型大型溶融炉心冷却設備(1)	可搬型大型溶融炉心冷却設備(1)	可搬型大型溶融炉心冷却設備(1)	可搬型大型溶融炉心冷却設備(1)	可搬型大型溶融炉心冷却設備(1)	<p data-bbox="1816 165 2157 191">【女川】記載表現の相違(大阪と同様)</p> <p data-bbox="1816 197 2157 223">【大阪】記載方針の相違(女川審査実績反映)</p> <p data-bbox="1816 229 2157 453">・泊は、女川審査実績を反映し、技術的能力1.2~1.14で整備する手順と用いる設備について第2.1.5表~第2.1.17表に整理し、大規模損壊に特化した手順についてはこれらの表とは別の表(第2.1.18表)として整理するため記載が異なる。記載方針の相違であり、実質的な相違はない。</p> <p data-bbox="1816 459 2157 485">【大阪】記載方針の相違(女川審査実績反映)</p> <p data-bbox="1816 491 2157 549">・泊は、流路及び電路として使用する設備を記載する。</p>
設備	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	相違	設備名称	設備区分	整備する手順表	整備する手順表												
1	可搬型大型溶融炉心冷却設備 可搬型大型溶融炉心冷却設備(1) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(2) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(3) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(4) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(5) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(6) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(7) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(8) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(9) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(10) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(11) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(12) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(13) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(14) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(15) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(16) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(17) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(18) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(19) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(20) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(21) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(22) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(23) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(24) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(25) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(26) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(27) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(28) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(29) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(30) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(31) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(32) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(33) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(34) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(35) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(36) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(37) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(38) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(39) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(40) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(41) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(42) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(43) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(44) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(45) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(46) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(47) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(48) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(49) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(50) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(51) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(52) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(53) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(54) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(55) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(56) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(57) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(58) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(59) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(60) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(61) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(62) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(63) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(64) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(65) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(66) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(67) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(68) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(69) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(70) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(71) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(72) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(73) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(74) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(75) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(76) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(77) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(78) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(79) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(80) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(81) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(82) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(83) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(84) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(85) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(86) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(87) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(88) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(89) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(90) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(91) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(92) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(93) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(94) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(95) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(96) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(97) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(98) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(99) 可搬型大型溶融炉心冷却設備(100)	可搬型大型溶融炉心冷却設備(1)	可搬型大型溶融炉心冷却設備(1)	可搬型大型溶融炉心冷却設備(1)	可搬型大型溶融炉心冷却設備(1)	可搬型大型溶融炉心冷却設備(1)	可搬型大型溶融炉心冷却設備(1)											

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

泊3号炉との比較対象は
第2.1.11表(2/2)

第2.1-11表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順(1.8)(6/6)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対応設備	手順書
事故発生時の原子炉格納容器下部への落下延焼・防止	-	原子炉格納容器下部への落下延焼・防止	「ほう水注入系ポンプ」 「ほう水注入系貯蔵タンク」 「ほう水注入系 配管・弁」 原子炉圧力容器 常設代用交流電源設備 ②2 可搬型発電交流電源設備 ②2	非常時操作手順書「心臓ポンプ」 「注水ストラテジー」 ②2 非常時操作手順書「設備類」 「ほう水注入系ポンプによるほう水注入」
		原子炉格納容器下部への落下延焼・防止	制御棒駆動水ポンプ 「注水ストラテジー」 ②2 制御棒駆動水圧力容器 配管・弁 補給水系 配管・弁 原子炉圧力容器 原子炉格納容器（原子炉格納容器冷却水系を含む） ②1 非常用圧力容器 ②2 常設代用交流電源設備 ②2	非常時操作手順書「心臓ポンプ」 「注水ストラテジー」 ②2 非常時操作手順書「設備類」 「制御棒駆動水ポンプによる原子炉注水」

②1：手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」にて整備する。
②2：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
②3：手順は「1.9 蒸気ヒートシンカー熱を転送するための手順等」にて整備する。
②4：手順は「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
②5：手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
②6：「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」【解説】(b) 項を調定するための代替注水系（措置）
②2：原子炉格納容器下部注水系（常設）（代替制御棒ポンプ）は熱交換機に期待しておらず、熱交換機は管路としてのみ用いる。

第2.1.11表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順(1.8)(7/8)

(溶融炉心の原子炉格納容器下部への落下延焼・防止)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対応設備	設備分類	整備する手順書	手順書の分類
事故発生時の原子炉格納容器下部への落下延焼・防止	-	原子炉格納容器下部への落下延焼・防止	「ほう水注入系ポンプ」 「ほう水注入系貯蔵タンク」 「ほう水注入系 配管・弁」 原子炉圧力容器 常設代用交流電源設備 ②2 可搬型発電交流電源設備 ②2	注水系 注水ポンプ 注水タンク 注水配管 注水弁 注水制御盤	原子炉の無い、設備が備わった場合に特有の手順書	原子炉の無い、設備が備わった場合に特有の手順書
		原子炉格納容器下部への落下延焼・防止	制御棒駆動水ポンプ 「注水ストラテジー」 ②2 制御棒駆動水圧力容器 配管・弁 補給水系 配管・弁 原子炉圧力容器 原子炉格納容器（原子炉格納容器冷却水系を含む） ②1 非常用圧力容器 ②2 常設代用交流電源設備 ②2	注水系 注水ポンプ 注水タンク 注水配管 注水弁 注水制御盤	原子炉の無い、設備が備わった場合に特有の手順書	原子炉の無い、設備が備わった場合に特有の手順書

②1：手順は「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
②2：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
②3：最大事故等対策において用いている設備の分類
④：当該事故に適用する最大事故等対処設備 ⑤：自主的対応として整備する最大事故等対処設備

【女川】記載表現の相違(大飯と同様)
【大飯】記載方針の相違(女川審査実績反映)
・泊は、女川審査実績を反映し、技術的能力1.2~1.14で整備する手順と用いる設備について第2.1.5表~第2.1.17表に整理し、大規模損壊に特化した手順についてはこれらの表とは別の表(第2.1.18表)として整理するため記載が異なる。記載方針の相違であり、実質的な相違はない。
【大飯】記載方針の相違(女川審査実績反映)
・泊は、管路及び電路として使用する設備を記載する。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																										
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象は 第2.1.11表(2/2)</p>	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">比較対象外</p>	<p style="text-align: center;">第2.1.11表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順 (1.8) (8/8) (溶融炉心の原子炉格納容器下部への落下遅延・防止)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>設備</th> <th>機能喪失を想定する設計基準事故対処設備</th> <th>対応設備</th> <th>設備分類</th> <th>整備する手順等</th> <th>手順表の分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>可搬型九蒸気ボイラ*1</td> <td>可搬型九蒸気ボイラ*1</td> <td>可搬型九蒸気ボイラ*1</td> <td>ボイラ</td> <td>可搬型九蒸気ボイラ*1</td> <td>可搬型九蒸気ボイラ*1</td> </tr> <tr> <td>可搬型ボイラ*2</td> <td>可搬型ボイラ*2</td> <td>可搬型ボイラ*2</td> <td>ボイラ</td> <td>可搬型ボイラ*2</td> <td>可搬型ボイラ*2</td> </tr> <tr> <td>可搬型凝縮器*3</td> <td>可搬型凝縮器*3</td> <td>可搬型凝縮器*3</td> <td>凝縮器</td> <td>可搬型凝縮器*3</td> <td>可搬型凝縮器*3</td> </tr> <tr> <td>可搬型蒸気発生器*4</td> <td>可搬型蒸気発生器*4</td> <td>可搬型蒸気発生器*4</td> <td>蒸気発生器</td> <td>可搬型蒸気発生器*4</td> <td>可搬型蒸気発生器*4</td> </tr> <tr> <td>可搬型原子炉格納容器*5</td> <td>可搬型原子炉格納容器*5</td> <td>可搬型原子炉格納容器*5</td> <td>原子炉格納容器</td> <td>可搬型原子炉格納容器*5</td> <td>可搬型原子炉格納容器*5</td> </tr> <tr> <td>可搬型原子炉格納容器下部への落下遅延・防止設備*6</td> <td>可搬型原子炉格納容器下部への落下遅延・防止設備*6</td> <td>可搬型原子炉格納容器下部への落下遅延・防止設備*6</td> <td>落下遅延・防止設備</td> <td>可搬型原子炉格納容器下部への落下遅延・防止設備*6</td> <td>可搬型原子炉格納容器下部への落下遅延・防止設備*6</td> </tr> </tbody> </table> <p>*1 手順2(1)に原子炉格納容器下部への落下遅延・防止時に電磁炉原子炉を冷却するための手順等)にて整備する。 *2 可搬型九蒸気ボイラ*1と同じように毎年定期点検等を行う。 *3 手順は「1.11.電熱の確保に関する手順等」にて整備する。 *4 原本第一号機は、2号多蒸気ボイラと3号多蒸気ボイラから構成することにより行う。</p>	設備	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応設備	設備分類	整備する手順等	手順表の分類	可搬型九蒸気ボイラ*1	可搬型九蒸気ボイラ*1	可搬型九蒸気ボイラ*1	ボイラ	可搬型九蒸気ボイラ*1	可搬型九蒸気ボイラ*1	可搬型ボイラ*2	可搬型ボイラ*2	可搬型ボイラ*2	ボイラ	可搬型ボイラ*2	可搬型ボイラ*2	可搬型凝縮器*3	可搬型凝縮器*3	可搬型凝縮器*3	凝縮器	可搬型凝縮器*3	可搬型凝縮器*3	可搬型蒸気発生器*4	可搬型蒸気発生器*4	可搬型蒸気発生器*4	蒸気発生器	可搬型蒸気発生器*4	可搬型蒸気発生器*4	可搬型原子炉格納容器*5	可搬型原子炉格納容器*5	可搬型原子炉格納容器*5	原子炉格納容器	可搬型原子炉格納容器*5	可搬型原子炉格納容器*5	可搬型原子炉格納容器下部への落下遅延・防止設備*6	可搬型原子炉格納容器下部への落下遅延・防止設備*6	可搬型原子炉格納容器下部への落下遅延・防止設備*6	落下遅延・防止設備	可搬型原子炉格納容器下部への落下遅延・防止設備*6	可搬型原子炉格納容器下部への落下遅延・防止設備*6	<p>【女川】記載表現の相違(大阪と同様) 【大阪】記載方針の相違(女川審査実績反映) ・泊は、女川審査実績を反映し、技術的能力1.2~1.14で整備する手順と用いる設備について第2.1.5表~第2.1.17表に整理し、大規模損壊に特化した手順についてはこれらの表とは別の表(第2.1.18表)として整理するため記載が異なる。記載方針の相違であり、実質的な相違はない。 【大阪】記載方針の相違(女川審査実績反映) ・泊は、流路及び電路として使用する設備を記載する。</p>
設備	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応設備	設備分類	整備する手順等	手順表の分類																																								
可搬型九蒸気ボイラ*1	可搬型九蒸気ボイラ*1	可搬型九蒸気ボイラ*1	ボイラ	可搬型九蒸気ボイラ*1	可搬型九蒸気ボイラ*1																																								
可搬型ボイラ*2	可搬型ボイラ*2	可搬型ボイラ*2	ボイラ	可搬型ボイラ*2	可搬型ボイラ*2																																								
可搬型凝縮器*3	可搬型凝縮器*3	可搬型凝縮器*3	凝縮器	可搬型凝縮器*3	可搬型凝縮器*3																																								
可搬型蒸気発生器*4	可搬型蒸気発生器*4	可搬型蒸気発生器*4	蒸気発生器	可搬型蒸気発生器*4	可搬型蒸気発生器*4																																								
可搬型原子炉格納容器*5	可搬型原子炉格納容器*5	可搬型原子炉格納容器*5	原子炉格納容器	可搬型原子炉格納容器*5	可搬型原子炉格納容器*5																																								
可搬型原子炉格納容器下部への落下遅延・防止設備*6	可搬型原子炉格納容器下部への落下遅延・防止設備*6	可搬型原子炉格納容器下部への落下遅延・防止設備*6	落下遅延・防止設備	可搬型原子炉格納容器下部への落下遅延・防止設備*6	可搬型原子炉格納容器下部への落下遅延・防止設備*6																																								

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																				
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象外</div>	<p style="text-align: center;">第2.1-12表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順(1.9)(2/3)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr style="background-color: #cccccc;"> <th style="width: 5%;">分類</th> <th style="width: 25%;">機能喪失を想定する設計基準事故対処設備</th> <th style="width: 10%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">対応設備</th> <th style="width: 40%;">手順書</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="font-size: 8px;">原子炉格納容器内の水素及び酸素の排出</td> <td style="font-size: 8px;">原子炉格納容器フィルタメント系 フィルタ装置出力低減モニタ フィルタ装置出力低減装置</td> <td style="font-size: 8px;">重大事故等対応設備</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="font-size: 8px;">原子炉格納容器内の水素及び酸素の排出</td> <td style="font-size: 8px;">可燃性ガス濃度制御系再結合装置プロセ 可燃性ガス濃度制御系再結合装置 可燃性ガス濃度制御系 配管・弁 可燃性ガス濃度制御系</td> <td style="font-size: 8px;">重大事故等対応設備 自主対策設備</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="font-size: 8px;">原子炉格納容器内の水素濃度低減</td> <td style="font-size: 8px;">格納容器内水素濃度 (h/K) 格納容器内水素濃度 (S/C)</td> <td style="font-size: 8px;">重大事故等対応設備</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: 8px;">注1：発電用原子炉運転中は原子炉格納容器内と原子炉格納容器調気系により常時不活性化している。 注2：発電用原子炉起動時に原子炉格納容器フィルタメント系系内は不活性化した状態とする。 注3：原子炉格納容器フィルタメント系系内は「1.7 原子炉格納容器の過圧減圧を抑制するための手順等」にて整備する。 注4：手順は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。 注5：手順は「1.14 燃料の燃焼に関する手順等」にて整備する。 注6：原子炉格納容器調気系は設計基準対象施設であり、重大事故等時に使用するものではないため、重大事故等対応設備とは位置付けない。 注7：可搬型酸素ガス供給装置による原子炉格納容器フィルタメント系系内での不活性化に用いる可搬型酸素ガス供給装置及び燃料補給設備は、発電用原子炉起動前に使用するものであり、重大事故等時に使用するものではないため、重大事故等対応設備とは位置付けない。</p>	分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対応設備	手順書	—	—	原子炉格納容器内の水素及び酸素の排出	原子炉格納容器フィルタメント系 フィルタ装置出力低減モニタ フィルタ装置出力低減装置	重大事故等対応設備	—	—	原子炉格納容器内の水素及び酸素の排出	可燃性ガス濃度制御系再結合装置プロセ 可燃性ガス濃度制御系再結合装置 可燃性ガス濃度制御系 配管・弁 可燃性ガス濃度制御系	重大事故等対応設備 自主対策設備	—	—	原子炉格納容器内の水素濃度低減	格納容器内水素濃度 (h/K) 格納容器内水素濃度 (S/C)	重大事故等対応設備	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象外</div>	
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対応設備	手順書																			
—	—	原子炉格納容器内の水素及び酸素の排出	原子炉格納容器フィルタメント系 フィルタ装置出力低減モニタ フィルタ装置出力低減装置	重大事故等対応設備																			
—	—	原子炉格納容器内の水素及び酸素の排出	可燃性ガス濃度制御系再結合装置プロセ 可燃性ガス濃度制御系再結合装置 可燃性ガス濃度制御系 配管・弁 可燃性ガス濃度制御系	重大事故等対応設備 自主対策設備																			
—	—	原子炉格納容器内の水素濃度低減	格納容器内水素濃度 (h/K) 格納容器内水素濃度 (S/C)	重大事故等対応設備																			

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉

第2.1.13表 重大事故等及び大規模損壊対応設備と整備する手順(1.10)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順の分類
本館 本館 本館	—	—	アキュムラシオンタンク ^{※1}	アキュムラシオンタンク設備の自動運転を確保する手段	最終及び設計基準事故に対する手順
			アキュムラシオンタンク ^{※2}	アキュムラシオンタンク設備の自動運転を確保する手段	最終及び設計基準事故に対する手順
			緊急ポンプ ^{※1}	緊急ポンプ設備の運転が停止した場合の「アキュムラシオンタンク設備」運転のための手順	中心の著しい傾倒及び燃料供給異常を防止する運転手順書
			可搬式空冷化設備 ^{※1}	本館事故発生及び設備の故障	中心の著しい傾倒が発生した場合に実施する運転手順書
			可搬式空冷化設備 ^{※2}	可搬式空冷化設備運転開始の手順	SA(準備) ^{※3}
			燃料供給ポンプ ^{※1}	燃料供給ポンプ設備の運転が停止した場合の「アキュムラシオンタンク設備」運転のための手順	中心の著しい傾倒及び燃料供給異常を防止する運転手順書
			燃料供給ポンプ ^{※2}	燃料供給ポンプ設備の運転が停止した場合の「アキュムラシオンタンク設備」運転のための手順	中心の著しい傾倒が発生した場合に実施する運転手順書
			燃料供給ポンプ ^{※3}	燃料供給ポンプ設備の運転が停止した場合の「アキュムラシオンタンク設備」運転のための手順	中心の著しい傾倒が発生した場合に実施する運転手順書
			燃料供給ポンプ ^{※4}	燃料供給ポンプ設備の運転が停止した場合の「アキュムラシオンタンク設備」運転のための手順	中心の著しい傾倒が発生した場合に実施する運転手順書
			燃料供給ポンプ ^{※5}	燃料供給ポンプ設備の運転が停止した場合の「アキュムラシオンタンク設備」運転のための手順	中心の著しい傾倒が発生した場合に実施する運転手順書

注1：本表に記載する設備は、本館事故発生時における原子炉建屋内外への放射能の抑制に必要となる設備を示す。
注2：「大飯規程」重大事故等発生時における原子炉建屋内外への放射能の抑制に必要となる設備を示す。
注3：「大飯規程」重大事故等発生時における原子炉建屋内外への放射能の抑制に必要となる設備を示す。
注4：「大飯規程」重大事故等発生時における原子炉建屋内外への放射能の抑制に必要となる設備を示す。
注5：「大飯規程」重大事故等発生時における原子炉建屋内外への放射能の抑制に必要となる設備を示す。

女川原子力発電所2号炉

第2.1-13表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順(1.10)(1/2)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書
本館 本館 本館 本館	—	—	静的熱式水素再結合装置 ^{※1}	静的熱式水素再結合装置 ^{※1} の運転を確保する手段
			燃料供給ポンプ ^{※1}	燃料供給ポンプ設備の運転が停止した場合の「静的熱式水素再結合装置」運転のための手順
			燃料供給ポンプ ^{※2}	燃料供給ポンプ設備の運転が停止した場合の「静的熱式水素再結合装置」運転のための手順
			燃料供給ポンプ ^{※3}	燃料供給ポンプ設備の運転が停止した場合の「静的熱式水素再結合装置」運転のための手順
本館 本館 本館 本館	—	—	燃料供給ポンプ ^{※4}	燃料供給ポンプ設備の運転が停止した場合の「静的熱式水素再結合装置」運転のための手順
			燃料供給ポンプ ^{※5}	燃料供給ポンプ設備の運転が停止した場合の「静的熱式水素再結合装置」運転のための手順
			燃料供給ポンプ ^{※6}	燃料供給ポンプ設備の運転が停止した場合の「静的熱式水素再結合装置」運転のための手順
			燃料供給ポンプ ^{※7}	燃料供給ポンプ設備の運転が停止した場合の「静的熱式水素再結合装置」運転のための手順
本館 本館 本館 本館	—	—	燃料供給ポンプ ^{※8}	燃料供給ポンプ設備の運転が停止した場合の「静的熱式水素再結合装置」運転のための手順
			燃料供給ポンプ ^{※9}	燃料供給ポンプ設備の運転が停止した場合の「静的熱式水素再結合装置」運転のための手順
			燃料供給ポンプ ^{※10}	燃料供給ポンプ設備の運転が停止した場合の「静的熱式水素再結合装置」運転のための手順
			燃料供給ポンプ ^{※11}	燃料供給ポンプ設備の運転が停止した場合の「静的熱式水素再結合装置」運転のための手順

注1：静的熱式水素再結合装置は、緊急操作を必要としない原子炉建屋内外水素濃度抑制設備である。
注2：手順は「1.14 電源の確保に関する手順」にて整備する。
注3：手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順」にて整備する。
注4：手順は「1.12 発電所内外への放射性物質の拡散を抑制するための手順」にて整備する。
注5：「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順」【解説】1：目標を達成するための代替排水（設置）

第2.1-13表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順(1.10)(2/2)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書
本館 本館	—	—	燃料供給ポンプ ^{※1}	燃料供給ポンプ設備の運転が停止した場合の「静的熱式水素再結合装置」運転のための手順
			燃料供給ポンプ ^{※2}	燃料供給ポンプ設備の運転が停止した場合の「静的熱式水素再結合装置」運転のための手順

注1：静的熱式水素再結合装置は、緊急操作を必要としない原子炉建屋内外水素濃度抑制設備である。
注2：手順は「1.14 電源の確保に関する手順」にて整備する。
注3：手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順」にて整備する。
注4：手順は「1.12 発電所内外への放射性物質の拡散を抑制するための手順」にて整備する。
注5：「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順」【解説】1：目標を達成するための代替排水（設置）

泊発電所3号炉

第2.1.13表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順(1.10)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順の分類
本館 本館 本館 本館 本館 本館 本館 本館 本館 本館	—	—	アキュムラシオンタンク ^{※1}	アキュムラシオンタンク設備の自動運転を確保する手段	最終及び設計基準事故に対する手順
			アキュムラシオンタンク ^{※2}	アキュムラシオンタンク設備の自動運転を確保する手段	最終及び設計基準事故に対する手順
			緊急ポンプ ^{※1}	緊急ポンプ設備の運転が停止した場合の「アキュムラシオンタンク設備」運転のための手順	中心の著しい傾倒及び燃料供給異常を防止する運転手順書
			可搬式空冷化設備 ^{※1}	本館事故発生及び設備の故障	中心の著しい傾倒が発生した場合に実施する運転手順書
			可搬式空冷化設備 ^{※2}	可搬式空冷化設備運転開始の手順	中心の著しい傾倒が発生した場合に実施する運転手順書
			燃料供給ポンプ ^{※1}	燃料供給ポンプ設備の運転が停止した場合の「アキュムラシオンタンク設備」運転のための手順	中心の著しい傾倒及び燃料供給異常を防止する運転手順書
			燃料供給ポンプ ^{※2}	燃料供給ポンプ設備の運転が停止した場合の「アキュムラシオンタンク設備」運転のための手順	中心の著しい傾倒が発生した場合に実施する運転手順書
			燃料供給ポンプ ^{※3}	燃料供給ポンプ設備の運転が停止した場合の「アキュムラシオンタンク設備」運転のための手順	中心の著しい傾倒が発生した場合に実施する運転手順書
			燃料供給ポンプ ^{※4}	燃料供給ポンプ設備の運転が停止した場合の「アキュムラシオンタンク設備」運転のための手順	中心の著しい傾倒が発生した場合に実施する運転手順書
			燃料供給ポンプ ^{※5}	燃料供給ポンプ設備の運転が停止した場合の「アキュムラシオンタンク設備」運転のための手順	中心の著しい傾倒が発生した場合に実施する運転手順書

注1：本表に記載する設備は、本館事故発生時における原子炉建屋内外への放射能の抑制に必要となる設備を示す。
注2：「大飯規程」重大事故等発生時における原子炉建屋内外への放射能の抑制に必要となる設備を示す。
注3：「大飯規程」重大事故等発生時における原子炉建屋内外への放射能の抑制に必要となる設備を示す。
注4：「大飯規程」重大事故等発生時における原子炉建屋内外への放射能の抑制に必要となる設備を示す。
注5：「大飯規程」重大事故等発生時における原子炉建屋内外への放射能の抑制に必要となる設備を示す。

相違理由

【大飯】記載方針の相違(女川審査実績反映)
・泊は、女川審査実績を反映し、技術的能力1.2~1.14で整備する手順と用いる設備について第2.1.5表~第2.1.17表に整理し、大規模損壊に特化した手順についてはこれらの表とは別の表(第2.1.18表)として整理するため記載が異なる。記載方針の相違であり、実質的な相違はない。
【大飯】記載方針の相違(女川審査実績反映)
・泊は、流路及び電路として使用する設備を記載する。
【大飯】記載方針の相違(女川審査実績反映)
・泊は、重大事故等対応設備(設計基準拡張)による対応手段を整理している。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉

第2.1.14表 重大事故等及び大規模損壊対応設備と整備する手順(1.11) (1/3)
(使用済燃料ピットの冷却機能又は注水機能喪失時
使用済燃料ピット水の小規模な漏えい発生時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故等の名称及び発生経路	対応手段	対応設備	整備する手順	手順書の分類
重大事故等	燃料貯蔵ピットから使用済燃料ピットへの注水	燃料貯蔵ピットからの注水	燃料貯蔵ピットからの注水	燃料貯蔵ピットからの注水	燃料貯蔵ピットからの注水
	N.a. 3機水タンクから使用済燃料ピットへの注水	N.a. 3機水タンク	N.a. 3機水タンク	N.a. 3機水タンク	N.a. 3機水タンク
重大事故等	N.a. 2機水タンクから使用済燃料ピットへの注水	N.a. 2機水タンク	N.a. 2機水タンク	N.a. 2機水タンク	N.a. 2機水タンク
	N.a. 2機水タンクから使用済燃料ピットへの注水	N.a. 2機水タンク	N.a. 2機水タンク	N.a. 2機水タンク	N.a. 2機水タンク
重大事故等	ポンプ室によるN.a. 2機水タンクから使用済燃料ピットへの注水	ポンプ室による注水	ポンプ室による注水	ポンプ室による注水	ポンプ室による注水
	ポンプ室によるN.a. 2機水タンクから使用済燃料ピットへの注水	ポンプ室による注水	ポンプ室による注水	ポンプ室による注水	ポンプ室による注水
重大事故等	1号蒸気発生器から使用済燃料ピットへの注水	1号蒸気発生器からの注水	1号蒸気発生器からの注水	1号蒸気発生器からの注水	1号蒸気発生器からの注水
	2号蒸気発生器から使用済燃料ピットへの注水	2号蒸気発生器からの注水	2号蒸気発生器からの注水	2号蒸気発生器からの注水	2号蒸気発生器からの注水
重大事故等	3号蒸気発生器から使用済燃料ピットへの注水	3号蒸気発生器からの注水	3号蒸気発生器からの注水	3号蒸気発生器からの注水	3号蒸気発生器からの注水
	4号蒸気発生器から使用済燃料ピットへの注水	4号蒸気発生器からの注水	4号蒸気発生器からの注水	4号蒸気発生器からの注水	4号蒸気発生器からの注水

①工機は使用済燃料貯蔵ピットの水漏れを想定する。また、使用済燃料貯蔵ピットの水漏れを想定する。②「大飯発電所」重大事故等発生時に発生する燃料貯蔵ピットの水漏れを想定する。③「大飯発電所」重大事故等発生時に発生する燃料貯蔵ピットの水漏れを想定する。④「大飯発電所」重大事故等発生時に発生する燃料貯蔵ピットの水漏れを想定する。⑤「大飯発電所」重大事故等発生時に発生する燃料貯蔵ピットの水漏れを想定する。

女川原子力発電所2号炉

第2.1-14表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順(1.11) (1/3)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対応設備	整備する手順
重大事故等	燃料貯蔵ピットからの注水	燃料貯蔵ピットからの注水	燃料貯蔵ピットからの注水	燃料貯蔵ピットからの注水
	N.a. 3機水タンクから使用済燃料ピットへの注水	N.a. 3機水タンク	N.a. 3機水タンク	N.a. 3機水タンク
重大事故等	N.a. 2機水タンクから使用済燃料ピットへの注水	N.a. 2機水タンク	N.a. 2機水タンク	N.a. 2機水タンク
	N.a. 2機水タンクから使用済燃料ピットへの注水	N.a. 2機水タンク	N.a. 2機水タンク	N.a. 2機水タンク
重大事故等	ポンプ室によるN.a. 2機水タンクから使用済燃料ピットへの注水	ポンプ室による注水	ポンプ室による注水	ポンプ室による注水
	ポンプ室によるN.a. 2機水タンクから使用済燃料ピットへの注水	ポンプ室による注水	ポンプ室による注水	ポンプ室による注水
重大事故等	1号蒸気発生器から使用済燃料ピットへの注水	1号蒸気発生器からの注水	1号蒸気発生器からの注水	1号蒸気発生器からの注水
	2号蒸気発生器から使用済燃料ピットへの注水	2号蒸気発生器からの注水	2号蒸気発生器からの注水	2号蒸気発生器からの注水
重大事故等	3号蒸気発生器から使用済燃料ピットへの注水	3号蒸気発生器からの注水	3号蒸気発生器からの注水	3号蒸気発生器からの注水
	4号蒸気発生器から使用済燃料ピットへの注水	4号蒸気発生器からの注水	4号蒸気発生器からの注水	4号蒸気発生器からの注水

①「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」【解釈】1.13項を満足するための代替注水（情報）②「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。③「1.12 発電機等の冷却性能低下の対応に関する手順等」にて整備する。④「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」にて整備する。⑤「1.13 最終冷却システムへの熱供給に関する手順等」にて整備する。

泊発電所3号炉

第2.1.14表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順 (1.11) (1/4)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故	対応手段	対応設備	整備する手順	手順書の分類
重大事故等	燃料貯蔵ピットからの注水	燃料貯蔵ピットからの注水	燃料貯蔵ピットからの注水	燃料貯蔵ピットからの注水	燃料貯蔵ピットからの注水
	N.a. 3機水タンクから使用済燃料ピットへの注水	N.a. 3機水タンク	N.a. 3機水タンク	N.a. 3機水タンク	N.a. 3機水タンク
重大事故等	N.a. 2機水タンクから使用済燃料ピットへの注水	N.a. 2機水タンク	N.a. 2機水タンク	N.a. 2機水タンク	N.a. 2機水タンク
	N.a. 2機水タンクから使用済燃料ピットへの注水	N.a. 2機水タンク	N.a. 2機水タンク	N.a. 2機水タンク	N.a. 2機水タンク
重大事故等	ポンプ室によるN.a. 2機水タンクから使用済燃料ピットへの注水	ポンプ室による注水	ポンプ室による注水	ポンプ室による注水	ポンプ室による注水
	ポンプ室によるN.a. 2機水タンクから使用済燃料ピットへの注水	ポンプ室による注水	ポンプ室による注水	ポンプ室による注水	ポンプ室による注水
重大事故等	1号蒸気発生器から使用済燃料ピットへの注水	1号蒸気発生器からの注水	1号蒸気発生器からの注水	1号蒸気発生器からの注水	1号蒸気発生器からの注水
	2号蒸気発生器から使用済燃料ピットへの注水	2号蒸気発生器からの注水	2号蒸気発生器からの注水	2号蒸気発生器からの注水	2号蒸気発生器からの注水
重大事故等	3号蒸気発生器から使用済燃料ピットへの注水	3号蒸気発生器からの注水	3号蒸気発生器からの注水	3号蒸気発生器からの注水	3号蒸気発生器からの注水
	4号蒸気発生器から使用済燃料ピットへの注水	4号蒸気発生器からの注水	4号蒸気発生器からの注水	4号蒸気発生器からの注水	4号蒸気発生器からの注水

①「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」【解釈】1.13項を満足するための代替注水（情報）②「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。③「1.12 発電機等の冷却性能低下の対応に関する手順等」にて整備する。④「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」にて整備する。⑤「1.13 最終冷却システムへの熱供給に関する手順等」にて整備する。

第2.1.14表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順 (1.11) (2/4)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故	対応手段	対応設備	整備する手順	手順書の分類
重大事故等	燃料貯蔵ピットからの注水	燃料貯蔵ピットからの注水	燃料貯蔵ピットからの注水	燃料貯蔵ピットからの注水	燃料貯蔵ピットからの注水
	N.a. 3機水タンクから使用済燃料ピットへの注水	N.a. 3機水タンク	N.a. 3機水タンク	N.a. 3機水タンク	N.a. 3機水タンク
重大事故等	N.a. 2機水タンクから使用済燃料ピットへの注水	N.a. 2機水タンク	N.a. 2機水タンク	N.a. 2機水タンク	N.a. 2機水タンク
	N.a. 2機水タンクから使用済燃料ピットへの注水	N.a. 2機水タンク	N.a. 2機水タンク	N.a. 2機水タンク	N.a. 2機水タンク
重大事故等	ポンプ室によるN.a. 2機水タンクから使用済燃料ピットへの注水	ポンプ室による注水	ポンプ室による注水	ポンプ室による注水	ポンプ室による注水
	ポンプ室によるN.a. 2機水タンクから使用済燃料ピットへの注水	ポンプ室による注水	ポンプ室による注水	ポンプ室による注水	ポンプ室による注水
重大事故等	1号蒸気発生器から使用済燃料ピットへの注水	1号蒸気発生器からの注水	1号蒸気発生器からの注水	1号蒸気発生器からの注水	1号蒸気発生器からの注水
	2号蒸気発生器から使用済燃料ピットへの注水	2号蒸気発生器からの注水	2号蒸気発生器からの注水	2号蒸気発生器からの注水	2号蒸気発生器からの注水
重大事故等	3号蒸気発生器から使用済燃料ピットへの注水	3号蒸気発生器からの注水	3号蒸気発生器からの注水	3号蒸気発生器からの注水	3号蒸気発生器からの注水
	4号蒸気発生器から使用済燃料ピットへの注水	4号蒸気発生器からの注水	4号蒸気発生器からの注水	4号蒸気発生器からの注水	4号蒸気発生器からの注水

①「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」【解釈】1.13項を満足するための代替注水（情報）②「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。③「1.12 発電機等の冷却性能低下の対応に関する手順等」にて整備する。④「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」にて整備する。⑤「1.13 最終冷却システムへの熱供給に関する手順等」にて整備する。

相違理由

【大飯】記載表現の相違(女川審査実績反映)
【大飯】記載方針の相違(女川審査実績反映)
・泊は、女川審査実績を反映し、技術的能力1.2~1.14で整備する手順と用いる設備について第2.1.5表~第2.1.17表に整理し、大規模損壊に特化した手順についてはこれらの表とは別の表(第2.1.18表)として整理するため記載が異なる。記載方針の相違であり、実質的な相違はない。
【大飯】記載方針の相違(女川審査実績反映)
・泊は、流路及び電路として使用する設備を記載する。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉

第2.1.14表 重大事故等及び大規模損壊対応設備と整備する手順(1.11) (2/3)
(使用済燃料ピットからの大量の水の漏えい発生時)

分類	対応手段	対応設備	整備する手順等	手順の分類
使用済燃料ピットからの大量の水の漏えい発生時	汲水車による使用済燃料ピットへのスプレー	汲水車	汲水車を用いた使用済燃料ピットへのスプレーのための手順	S/A所蔵*
		スプレイング装置		
	汲水車による使用済燃料ピットへのスプレー(外部)	汲水車	大規模損壊時に対応する手順	大規模損壊所蔵*
		特殊ドラム缶*		
	化学消防自動車による使用済燃料ピットへのスプレー	化学消防自動車	大規模損壊時に対応する手順	大規模損壊所蔵*
		大飯製ポンプ(既備品)		
	大飯製ポンプ(既備品)及び汲水車による使用済燃料ピットへのスプレー(貯蔵機内燃料体等)への汲水	大飯製ポンプ	原子炉周辺区域への放射線中心モニタリングによる放射線監視装置稼働手順	S/A所蔵*
		汲水車	大規模損壊時に対応する手順	
	使用済燃料ピットからの漏えい(燃料)	汲水ポンプ		大規模損壊時に対応する手順
		ポンプ		
ポンプ				
ポンプ				

以下図に発電所内排水設備を使用する可搬型設備による対応を中心とした手順書及び当該手順書に基く設備を示す。
また、赤字は重大事故等発生時の対応手順書上の相違箇所を示す。
※1：「大飯発電所 重大事故等発生時における原子炉周辺の保安のための活動に関する手順」にて整備する。
※2：「大飯発電所(既備品)の燃料補給に関する手順」(手順1.13)「原子炉燃料貯蔵庫内の放射線モニタリング」にて整備する。
※3：汲水車の燃料補給に使用する貯蔵機のものである。手順は1.16「原子炉燃料貯蔵庫内の放射線モニタリング」にて整備する。
※4：「大飯発電所 大規模損壊発生時における原子炉周辺の保安のための活動に関する手順」にて整備する。

女川原子力発電所2号炉

第2.1-14表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順(1.11)(2/3)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対応設備	手順書
使用済燃料ピットからの大量の水の漏えい発生時	使用済燃料ピットからの大量の水の漏えい発生時	汲水ポンプによるスプレー	大飯製ポンプ(既備品)	非常時操作手順書(燃料冷却)
			ポンプ	非常時操作手順書(燃料冷却)
			ポンプ	非常時操作手順書(燃料冷却)
			ポンプ	非常時操作手順書(燃料冷却)

※1：「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」【解釈】1) 目標を達成するための代替設備(指図)※2：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
※3：手順は「1.12 発電機への放射線物質の拡散を抑制するための手順等」にて整備する。
※4：手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」にて整備する。
※5：手順は「1.15 最終冷却システム熱を輸送するための手順等」にて整備する。

泊発電所3号炉

第2.1.14表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順 (1.11) (3/4)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対応設備	手順書
使用済燃料ピットからの大量の水の漏えい発生時	使用済燃料ピットからの大量の水の漏えい発生時	汲水ポンプによるスプレー	大飯製ポンプ(既備品)	非常時操作手順書(燃料冷却)
			ポンプ	非常時操作手順書(燃料冷却)
			ポンプ	非常時操作手順書(燃料冷却)
			ポンプ	非常時操作手順書(燃料冷却)

※1：「1.11 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
※2：「1.11 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
※3：「1.11 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
※4：「1.11 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
※5：「1.11 電源の確保に関する手順等」にて整備する。

相違理由

【大飯】記載表現の相違(女川審査実績反映)
【大飯】記載方針の相違(女川審査実績反映)
・泊は、女川審査実績を反映し、技術的能力1.2~1.14で整備する手順と用いる設備について第2.1.5表~第2.1.17表に整理し、大規模損壊に特化した手順についてはこれらの表とは別の表(第2.1.18表)として整理するため記載が異なる。記載方針の相違であり、実質的な相違はない。
【大飯】記載方針の相違(女川審査実績反映)
・泊は、流路及び電路として使用する設備に記載する。
【大飯】大規模損壊に特化した手順に用いる設備に相違なし。(建屋外部からの使用済燃料ピットへのスプレー、化学消防自動車による使用済燃料ピットへのスプレー)

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉

第2.1.14表 重大事故等及び大規模損壊対応設備と整備する手順(1.11) (3/3)
 (重大事故等時の使用済燃料ピットの監視)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順書の分類
重大事故等時における使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピット水位 (AAM用) ①	使用済燃料ピット監視カメラ冷却装置**	使用済燃料ピット	重大事故等時における使用済燃料ピットの監視
		可燃性使用済燃料ピット水位①			
		使用済燃料ピット温度 (AAM用) ①			
		可燃性使用済燃料ピット反応熱 (AAM用) ①			
		使用済燃料ピット監視カメラ①			
		使用済燃料ピット監視カメラ②			
		使用済燃料ピット監視カメラ③			
		使用済燃料ピット監視カメラ④			
		使用済燃料ピット監視カメラ⑤			
		使用済燃料ピット監視カメラ⑥			
代替電源設備からの電圧の確保	燃料送給設備の確保	空冷式発電機発電装置**	空冷式発電機発電装置	空冷式発電機発電装置	中心の新しい設備及び既存設備の確保 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳
		燃料送給設備①			
		送電システム①			
		送電システム②			

①以下欄に発電機本体が使用する送電設備による対応が中心とした手順書は、且つ当欄に規定する設備を示す。
 ①：「大飯発電所 重大事故等発生時における原子炉施設の保全のための活動に関する手順」にて整備する。
 ②文：「手順 11」1.14 電圧の確保に関する手順等にて整備する。
 ③：「空冷式発電機発電装置の燃料供給に関する手順」にて整備する。
 ④：「空冷式発電機発電装置の燃料供給に関する手順」にて整備する。
 ⑤：「空冷式発電機発電装置の燃料供給に関する手順」にて整備する。
 ⑥：「空冷式発電機発電装置の燃料供給に関する手順」にて整備する。
 ⑦：「空冷式発電機発電装置の燃料供給に関する手順」にて整備する。
 ⑧：「空冷式発電機発電装置の燃料供給に関する手順」にて整備する。
 ⑨：「空冷式発電機発電装置の燃料供給に関する手順」にて整備する。
 ⑩：「空冷式発電機発電装置の燃料供給に関する手順」にて整備する。
 ⑪：「空冷式発電機発電装置の燃料供給に関する手順」にて整備する。
 ⑫：「空冷式発電機発電装置の燃料供給に関する手順」にて整備する。
 ⑬：「空冷式発電機発電装置の燃料供給に関する手順」にて整備する。
 ⑭：「空冷式発電機発電装置の燃料供給に関する手順」にて整備する。
 ⑮：「空冷式発電機発電装置の燃料供給に関する手順」にて整備する。
 ⑯：「空冷式発電機発電装置の燃料供給に関する手順」にて整備する。
 ⑰：「空冷式発電機発電装置の燃料供給に関する手順」にて整備する。
 ⑱：「空冷式発電機発電装置の燃料供給に関する手順」にて整備する。
 ⑲：「空冷式発電機発電装置の燃料供給に関する手順」にて整備する。
 ⑳：「空冷式発電機発電装置の燃料供給に関する手順」にて整備する。

女川原子力発電所2号炉

第2.1-14表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順(1.11) (3/3)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書
重大事故等時における使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピット水位 (AAM用) ①	使用済燃料ピット監視カメラ冷却装置**	重大事故等時における使用済燃料ピットの監視
		可燃性使用済燃料ピット水位①		
		使用済燃料ピット温度 (AAM用) ①		
代替電源設備からの電圧の確保	燃料送給設備の確保	空冷式発電機発電装置**	空冷式発電機発電装置	中心の新しい設備及び既存設備の確保 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳
		燃料送給設備①		
		送電システム①		
		送電システム②		

①以下欄に発電機本体が使用する送電設備による対応が中心とした手順書は、且つ当欄に規定する設備を示す。
 ①：「大飯発電所 重大事故等発生時における原子炉施設の保全のための活動に関する手順」にて整備する。
 ②文：「手順 11」1.14 電圧の確保に関する手順等にて整備する。
 ③：「空冷式発電機発電装置の燃料供給に関する手順」にて整備する。
 ④：「空冷式発電機発電装置の燃料供給に関する手順」にて整備する。
 ⑤：「空冷式発電機発電装置の燃料供給に関する手順」にて整備する。
 ⑥：「空冷式発電機発電装置の燃料供給に関する手順」にて整備する。
 ⑦：「空冷式発電機発電装置の燃料供給に関する手順」にて整備する。
 ⑧：「空冷式発電機発電装置の燃料供給に関する手順」にて整備する。
 ⑨：「空冷式発電機発電装置の燃料供給に関する手順」にて整備する。
 ⑩：「空冷式発電機発電装置の燃料供給に関する手順」にて整備する。
 ⑪：「空冷式発電機発電装置の燃料供給に関する手順」にて整備する。
 ⑫：「空冷式発電機発電装置の燃料供給に関する手順」にて整備する。
 ⑬：「空冷式発電機発電装置の燃料供給に関する手順」にて整備する。
 ⑭：「空冷式発電機発電装置の燃料供給に関する手順」にて整備する。
 ⑮：「空冷式発電機発電装置の燃料供給に関する手順」にて整備する。
 ⑯：「空冷式発電機発電装置の燃料供給に関する手順」にて整備する。
 ⑰：「空冷式発電機発電装置の燃料供給に関する手順」にて整備する。
 ⑱：「空冷式発電機発電装置の燃料供給に関する手順」にて整備する。
 ⑲：「空冷式発電機発電装置の燃料供給に関する手順」にて整備する。
 ⑳：「空冷式発電機発電装置の燃料供給に関する手順」にて整備する。

泊発電所3号炉

第2.1.14表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順 (1.11) (4/4)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順書の分類
重大事故等時における使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピット水位 (AAM用) ①	使用済燃料ピット監視カメラ冷却装置**	重大事故等時における使用済燃料ピットの監視	中心の新しい設備及び既存設備の確保 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳
		可燃性使用済燃料ピット水位①			
		使用済燃料ピット温度 (AAM用) ①			
		可燃性使用済燃料ピット反応熱 (AAM用) ①			
代替電源設備からの電圧の確保	燃料送給設備の確保	空冷式発電機発電装置**	空冷式発電機発電装置	中心の新しい設備及び既存設備の確保 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳	
		燃料送給設備①			
		送電システム①			
		送電システム②			

①以下欄に発電機本体が使用する送電設備による対応が中心とした手順書は、且つ当欄に規定する設備を示す。
 ①：「大飯発電所 重大事故等発生時における原子炉施設の保全のための活動に関する手順」にて整備する。
 ②文：「手順 11」1.14 電圧の確保に関する手順等にて整備する。
 ③：「空冷式発電機発電装置の燃料供給に関する手順」にて整備する。
 ④：「空冷式発電機発電装置の燃料供給に関する手順」にて整備する。
 ⑤：「空冷式発電機発電装置の燃料供給に関する手順」にて整備する。
 ⑥：「空冷式発電機発電装置の燃料供給に関する手順」にて整備する。
 ⑦：「空冷式発電機発電装置の燃料供給に関する手順」にて整備する。
 ⑧：「空冷式発電機発電装置の燃料供給に関する手順」にて整備する。
 ⑨：「空冷式発電機発電装置の燃料供給に関する手順」にて整備する。
 ⑩：「空冷式発電機発電装置の燃料供給に関する手順」にて整備する。
 ⑪：「空冷式発電機発電装置の燃料供給に関する手順」にて整備する。
 ⑫：「空冷式発電機発電装置の燃料供給に関する手順」にて整備する。
 ⑬：「空冷式発電機発電装置の燃料供給に関する手順」にて整備する。
 ⑭：「空冷式発電機発電装置の燃料供給に関する手順」にて整備する。
 ⑮：「空冷式発電機発電装置の燃料供給に関する手順」にて整備する。
 ⑯：「空冷式発電機発電装置の燃料供給に関する手順」にて整備する。
 ⑰：「空冷式発電機発電装置の燃料供給に関する手順」にて整備する。
 ⑱：「空冷式発電機発電装置の燃料供給に関する手順」にて整備する。
 ⑲：「空冷式発電機発電装置の燃料供給に関する手順」にて整備する。
 ⑳：「空冷式発電機発電装置の燃料供給に関する手順」にて整備する。

相違理由

【大飯】記載表現の相違(女川審査実績反映)
 【大飯】記載方針の相違(女川審査実績反映)
 ・泊は、女川審査実績を反映し、技術的能力 1.2~1.14 で整備する手順と用いる設備について第2.1.5表~第2.1.17表に整理し、大規模損壊に特化した手順についてはこれらの表とは別の表(第2.1.18表)として整理するため記載が異なる。記載方針の相違であり、実質的な相違はない。

【大飯】記載方針の相違(女川審査実績反映)
 ・泊は、流路及び電路として使用する設備を記載する。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉

第2.1.15表 重大事故等及び大規模損壊対応設備と整備する手順(1.12) (1/2)

分類	想定する重大事故等対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順書の分類
可搬型設備等による対応	可搬型代替格納容器	可搬型代替格納容器	可搬型代替格納容器	可搬型代替格納容器	可搬型代替格納容器
			可搬型代替格納容器	可搬型代替格納容器	可搬型代替格納容器
			可搬型代替格納容器	可搬型代替格納容器	可搬型代替格納容器
			可搬型代替格納容器	可搬型代替格納容器	可搬型代替格納容器
			可搬型代替格納容器	可搬型代替格納容器	可搬型代替格納容器
			可搬型代替格納容器	可搬型代替格納容器	可搬型代替格納容器
			可搬型代替格納容器	可搬型代替格納容器	可搬型代替格納容器
			可搬型代替格納容器	可搬型代替格納容器	可搬型代替格納容器
			可搬型代替格納容器	可搬型代替格納容器	可搬型代替格納容器
			可搬型代替格納容器	可搬型代替格納容器	可搬型代替格納容器

第2.1.15表 重大事故等及び大規模損壊対応設備と整備する手順(1.12) (2/2)

分類	想定する重大事故等対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順書の分類
可搬型設備等による対応	可搬型代替格納容器	可搬型代替格納容器	可搬型代替格納容器	可搬型代替格納容器	可搬型代替格納容器
			可搬型代替格納容器	可搬型代替格納容器	可搬型代替格納容器
			可搬型代替格納容器	可搬型代替格納容器	可搬型代替格納容器
			可搬型代替格納容器	可搬型代替格納容器	可搬型代替格納容器
			可搬型代替格納容器	可搬型代替格納容器	可搬型代替格納容器
			可搬型代替格納容器	可搬型代替格納容器	可搬型代替格納容器
			可搬型代替格納容器	可搬型代替格納容器	可搬型代替格納容器
			可搬型代替格納容器	可搬型代替格納容器	可搬型代替格納容器
			可搬型代替格納容器	可搬型代替格納容器	可搬型代替格納容器
			可搬型代替格納容器	可搬型代替格納容器	可搬型代替格納容器

女川原子力発電所2号炉

第2.1-15表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順(1.12)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対応設備	手順書
機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備
			機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備
			機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備
			機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備
			機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備
			機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備
			機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備
			機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備
			機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備
			機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備

第1：手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」にて整備する。
第2：手順は「1.14 電熱の確保に関する手順等」にて整備する。

泊発電所3号炉

第2.1.15表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順(1.12) (1/2)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順書の分類
機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備
			機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備
			機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備
			機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備
			機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備
			機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備
			機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備
			機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備
			機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備
			機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備

第2.1.15表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順(1.12) (2/2)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順書の分類
機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備
			機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備
			機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備
			機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備
			機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備
			機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備
			機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備
			機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備
			機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備
			機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備

相違理由

【大飯】記載方針の相違(女川審査実績反映)
・泊は、女川審査実績を反映し、技術的能力1.2~1.14で整備する手順と用いる設備について第2.1.5表~第2.1.17表に整理し、大規模損壊に特化した手順についてはこれらの表とは別の表(第2.1.18表)として整理するため記載が異なる。記載方針の相違であり、実質的な相違はない。

【大飯】記載方針の相違(女川審査実績反映)
・泊は、流路及び電路として使用する設備を記載する。

【大飯】大規模損壊に特化した手順に用いる設備に相違なし。(大気への拡散抑制を目的とした格納容器スプレイ、化学消防自動車を用いた代替格納容器スプレイ)

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉

第2.1.16表 重大事故等及び大規模損壊対応設備と整備する手順(1.13) (1/7)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応設備	整備する手順	手順の分類
電水ビート (運転又は稼働)	電水ビートからのN ₁ 、2注水ポンプからの水漏れ検知	N ₁ 、2注水ポンプ 電水ビートからの水漏れ検知 タービン駆動機注水ポンプ	電水ビートからの水漏れ検知による 電水ビートからの水漏れ検知による タービン駆動機注水ポンプによる水漏れ	中心の新しい設備及び稼働記録簿を添える運転手順書
	A、B注水ポンプからの水漏れ検知	A、B注水ポンプからの水漏れ検知	電水ビートからの水漏れ検知による 電水ビートからの水漏れ検知による	中心の新しい設備及び稼働記録簿を添える運転手順書
	電水ビートからの電水ポンプからの水漏れ検知	電水ポンプからの水漏れ検知	電水ビートからの水漏れ検知による 電水ポンプからの水漏れ検知による	中心の新しい設備及び稼働記録簿を添える運転手順書
	電水ポンプからの電水ポンプからの水漏れ検知	電水ポンプからの水漏れ検知	電水ポンプからの水漏れ検知による 電水ポンプからの水漏れ検知による	中心の新しい設備及び稼働記録簿を添える運転手順書
	電水ポンプからの電水ポンプからの水漏れ検知	電水ポンプからの水漏れ検知	電水ポンプからの水漏れ検知による 電水ポンプからの水漏れ検知による	中心の新しい設備及び稼働記録簿を添える運転手順書
	電水ポンプからの電水ポンプからの水漏れ検知	電水ポンプからの水漏れ検知	電水ポンプからの水漏れ検知による 電水ポンプからの水漏れ検知による	中心の新しい設備及び稼働記録簿を添える運転手順書
	電水ポンプからの電水ポンプからの水漏れ検知	電水ポンプからの水漏れ検知	電水ポンプからの水漏れ検知による 電水ポンプからの水漏れ検知による	中心の新しい設備及び稼働記録簿を添える運転手順書
	電水ポンプからの電水ポンプからの水漏れ検知	電水ポンプからの水漏れ検知	電水ポンプからの水漏れ検知による 電水ポンプからの水漏れ検知による	中心の新しい設備及び稼働記録簿を添える運転手順書
	電水ポンプからの電水ポンプからの水漏れ検知	電水ポンプからの水漏れ検知	電水ポンプからの水漏れ検知による 電水ポンプからの水漏れ検知による	中心の新しい設備及び稼働記録簿を添える運転手順書
	電水ポンプからの電水ポンプからの水漏れ検知	電水ポンプからの水漏れ検知	電水ポンプからの水漏れ検知による 電水ポンプからの水漏れ検知による	中心の新しい設備及び稼働記録簿を添える運転手順書

① 1 「大飯発電所 重大事故等発生時における原子炉施設の状態の監視に関する手順」
② 2 「電水ポンプの稼働記録簿に使用する行用用の手順」
③ 3 「タービン駆動機注水ポンプの稼働記録簿に使用する行用用の手順」
④ 4 「手順1」1.1 原子炉冷却材圧力ポンプの稼働記録簿に使用する行用用の手順等にて整備する。
⑤ 5 「大飯発電所 大規模損壊発生時における原子炉施設の安全のための活動に関する手順」

女川原子力発電所2号炉

第2.1-16表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順(1.13) (1/11)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応設備	整備する手順
電水ビート (運転又は稼働)	電水ビートからのN ₁ 、2注水ポンプからの水漏れ検知	N ₁ 、2注水ポンプ 電水ビートからの水漏れ検知 タービン駆動機注水ポンプ	電水ビートからの水漏れ検知による 電水ビートからの水漏れ検知による タービン駆動機注水ポンプによる水漏れ
	A、B注水ポンプからの水漏れ検知	A、B注水ポンプからの水漏れ検知	電水ビートからの水漏れ検知による 電水ビートからの水漏れ検知による
	電水ビートからの電水ポンプからの水漏れ検知	電水ポンプからの水漏れ検知	電水ビートからの水漏れ検知による 電水ポンプからの水漏れ検知による
	電水ポンプからの電水ポンプからの水漏れ検知	電水ポンプからの水漏れ検知	電水ポンプからの水漏れ検知による 電水ポンプからの水漏れ検知による
	電水ポンプからの電水ポンプからの水漏れ検知	電水ポンプからの水漏れ検知	電水ポンプからの水漏れ検知による 電水ポンプからの水漏れ検知による
	電水ポンプからの電水ポンプからの水漏れ検知	電水ポンプからの水漏れ検知	電水ポンプからの水漏れ検知による 電水ポンプからの水漏れ検知による
	電水ポンプからの電水ポンプからの水漏れ検知	電水ポンプからの水漏れ検知	電水ポンプからの水漏れ検知による 電水ポンプからの水漏れ検知による
	電水ポンプからの電水ポンプからの水漏れ検知	電水ポンプからの水漏れ検知	電水ポンプからの水漏れ検知による 電水ポンプからの水漏れ検知による
	電水ポンプからの電水ポンプからの水漏れ検知	電水ポンプからの水漏れ検知	電水ポンプからの水漏れ検知による 電水ポンプからの水漏れ検知による
	電水ポンプからの電水ポンプからの水漏れ検知	電水ポンプからの水漏れ検知	電水ポンプからの水漏れ検知による 電水ポンプからの水漏れ検知による

① 1 「大飯発電所 重大事故等発生時における原子炉施設の状態の監視に関する手順」
② 2 「電水ポンプの稼働記録簿に使用する行用用の手順」
③ 3 「タービン駆動機注水ポンプの稼働記録簿に使用する行用用の手順」
④ 4 「手順1」1.1 原子炉冷却材圧力ポンプの稼働記録簿に使用する行用用の手順等にて整備する。
⑤ 5 「大飯発電所 大規模損壊発生時における原子炉施設の安全のための活動に関する手順」

泊発電所3号炉

第2.1.16表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順(1.13) (1/17)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応設備	整備する手順
電水ビート (運転又は稼働)	電水ビートからのN ₁ 、2注水ポンプからの水漏れ検知	N ₁ 、2注水ポンプ 電水ビートからの水漏れ検知 タービン駆動機注水ポンプ	電水ビートからの水漏れ検知による 電水ビートからの水漏れ検知による タービン駆動機注水ポンプによる水漏れ
	A、B注水ポンプからの水漏れ検知	A、B注水ポンプからの水漏れ検知	電水ビートからの水漏れ検知による 電水ビートからの水漏れ検知による
	電水ビートからの電水ポンプからの水漏れ検知	電水ポンプからの水漏れ検知	電水ビートからの水漏れ検知による 電水ポンプからの水漏れ検知による
	電水ポンプからの電水ポンプからの水漏れ検知	電水ポンプからの水漏れ検知	電水ポンプからの水漏れ検知による 電水ポンプからの水漏れ検知による
	電水ポンプからの電水ポンプからの水漏れ検知	電水ポンプからの水漏れ検知	電水ポンプからの水漏れ検知による 電水ポンプからの水漏れ検知による
	電水ポンプからの電水ポンプからの水漏れ検知	電水ポンプからの水漏れ検知	電水ポンプからの水漏れ検知による 電水ポンプからの水漏れ検知による
	電水ポンプからの電水ポンプからの水漏れ検知	電水ポンプからの水漏れ検知	電水ポンプからの水漏れ検知による 電水ポンプからの水漏れ検知による
	電水ポンプからの電水ポンプからの水漏れ検知	電水ポンプからの水漏れ検知	電水ポンプからの水漏れ検知による 電水ポンプからの水漏れ検知による
	電水ポンプからの電水ポンプからの水漏れ検知	電水ポンプからの水漏れ検知	電水ポンプからの水漏れ検知による 電水ポンプからの水漏れ検知による
	電水ポンプからの電水ポンプからの水漏れ検知	電水ポンプからの水漏れ検知	電水ポンプからの水漏れ検知による 電水ポンプからの水漏れ検知による

① 1 「大飯発電所 重大事故等発生時における原子炉施設の状態の監視に関する手順」
② 2 「電水ポンプの稼働記録簿に使用する行用用の手順」
③ 3 「タービン駆動機注水ポンプの稼働記録簿に使用する行用用の手順」
④ 4 「手順1」1.1 原子炉冷却材圧力ポンプの稼働記録簿に使用する行用用の手順等にて整備する。
⑤ 5 「大飯発電所 大規模損壊発生時における原子炉施設の安全のための活動に関する手順」

相違理由

【大飯】記載方針の相違(女川審査実績反映)
・泊は、女川審査実績を反映し、技術的能力1.2~1.14で整備する手順と用いる設備について第2.1.5表~第2.1.17表に整理し、大規模損壊に特化した手順についてはこれらの表とは別の表(第2.1.18表)として整理するため記載が異なる。記載方針の相違であり、実質的な相違はない。

【大飯】記載方針の相違(女川審査実績反映)
・泊は、管路及び電路として使用する設備を記載する。

【大飯】記載方針の相違(女川審査実績反映)
・泊は、重大事故等対応設備(設計基準拡張)による対応手段を整理している。

【大飯】記載方針の相違(女川審査実績反映)
・泊は、女川審査実績を反映し、水源ごとに対応手段及び設備を整理していることから、表の整理も異なっている。

【大飯】設備・運用の相違(大規模損壊に特化した手順)
・泊は、重大事故等対応設備である加圧器逃がし弁作用可搬型窒素ガスポンペにより加圧器逃がし弁の駆動源を確保する。(川内1/2号、玄海3/4号及び伊方3号と同様)

・大飯は、消火用水の水源である消火水バックアップタンクを用いた手順を整備する。泊は、化学消防自動車を用いた各種注水の水源の一つとして、防火水槽を使用する。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉

第2.1.16表 重大事故等及び大規模損壊対応設備と整備する手順(1.13) (2/7)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順	手順の分類
燃料貯蔵タンク （燃料貯蔵タンク）	燃料貯蔵タンクから1号冷却ポンプへの燃料供給	燃料貯蔵タンクからの燃料供給	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンクからの燃料供給	中心の新しい機器及び燃料供給設備を点検する 運転手による
	燃料貯蔵タンクから2号冷却ポンプへの燃料供給	燃料貯蔵タンクからの燃料供給	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンクからの燃料供給	中心の新しい機器及び燃料供給設備を点検する 運転手による
	燃料貯蔵タンクから3号冷却ポンプへの燃料供給	燃料貯蔵タンクからの燃料供給	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンクからの燃料供給	中心の新しい機器及び燃料供給設備を点検する 運転手による
	燃料貯蔵タンクから4号冷却ポンプへの燃料供給	燃料貯蔵タンクからの燃料供給	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンクからの燃料供給	中心の新しい機器及び燃料供給設備を点検する 運転手による
	燃料貯蔵タンクから5号冷却ポンプへの燃料供給	燃料貯蔵タンクからの燃料供給	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンクからの燃料供給	中心の新しい機器及び燃料供給設備を点検する 運転手による
	燃料貯蔵タンクから6号冷却ポンプへの燃料供給	燃料貯蔵タンクからの燃料供給	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンクからの燃料供給	中心の新しい機器及び燃料供給設備を点検する 運転手による
	燃料貯蔵タンクから7号冷却ポンプへの燃料供給	燃料貯蔵タンクからの燃料供給	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンクからの燃料供給	中心の新しい機器及び燃料供給設備を点検する 運転手による
	燃料貯蔵タンクから8号冷却ポンプへの燃料供給	燃料貯蔵タンクからの燃料供給	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンクからの燃料供給	中心の新しい機器及び燃料供給設備を点検する 運転手による
	燃料貯蔵タンクから9号冷却ポンプへの燃料供給	燃料貯蔵タンクからの燃料供給	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンクからの燃料供給	中心の新しい機器及び燃料供給設備を点検する 運転手による
	燃料貯蔵タンクから10号冷却ポンプへの燃料供給	燃料貯蔵タンクからの燃料供給	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンクからの燃料供給	中心の新しい機器及び燃料供給設備を点検する 運転手による
	燃料貯蔵タンクから11号冷却ポンプへの燃料供給	燃料貯蔵タンクからの燃料供給	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンクからの燃料供給	中心の新しい機器及び燃料供給設備を点検する 運転手による
	燃料貯蔵タンクから12号冷却ポンプへの燃料供給	燃料貯蔵タンクからの燃料供給	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンクからの燃料供給	中心の新しい機器及び燃料供給設備を点検する 運転手による

注1：本表は、重大事故等発生時の対応手順と対応設備との相違を示す。
 注2：「大飯発電所」は、本発電所が対象となる設計基準事故の発生時の対応設備に関するものである。
 注3：「大飯発電所」は、本発電所が対象となる設計基準事故の発生時の対応設備に関するものである。
 注4：「大飯発電所」は、本発電所が対象となる設計基準事故の発生時の対応設備に関するものである。
 注5：「大飯発電所」は、本発電所が対象となる設計基準事故の発生時の対応設備に関するものである。
 注6：「大飯発電所」は、本発電所が対象となる設計基準事故の発生時の対応設備に関するものである。
 注7：「大飯発電所」は、本発電所が対象となる設計基準事故の発生時の対応設備に関するものである。

女川原子力発電所2号炉

第2.1-16表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順(1.13) (2/11)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順	手順の分類
燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンクからの燃料供給	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンクからの燃料供給	中心の新しい機器及び燃料供給設備を点検する 運転手による
	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンクからの燃料供給	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンクからの燃料供給	中心の新しい機器及び燃料供給設備を点検する 運転手による
	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンクからの燃料供給	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンクからの燃料供給	中心の新しい機器及び燃料供給設備を点検する 運転手による
	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンクからの燃料供給	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンクからの燃料供給	中心の新しい機器及び燃料供給設備を点検する 運転手による
	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンクからの燃料供給	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンクからの燃料供給	中心の新しい機器及び燃料供給設備を点検する 運転手による
	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンクからの燃料供給	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンクからの燃料供給	中心の新しい機器及び燃料供給設備を点検する 運転手による
	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンクからの燃料供給	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンクからの燃料供給	中心の新しい機器及び燃料供給設備を点検する 運転手による
	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンクからの燃料供給	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンクからの燃料供給	中心の新しい機器及び燃料供給設備を点検する 運転手による
	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンクからの燃料供給	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンクからの燃料供給	中心の新しい機器及び燃料供給設備を点検する 運転手による
	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンクからの燃料供給	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンクからの燃料供給	中心の新しい機器及び燃料供給設備を点検する 運転手による
	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンクからの燃料供給	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンクからの燃料供給	中心の新しい機器及び燃料供給設備を点検する 運転手による
	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンクからの燃料供給	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンクからの燃料供給	中心の新しい機器及び燃料供給設備を点検する 運転手による

注1：手順は「1.14」電線の復旧に関する手順等にて整備する。
 注2：本表【解説】10項を満足するための代替水源地（設置）

泊発電所3号炉

第2.1.16表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順(1.13) (2/17)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順	手順の分類
燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンクからの燃料供給	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンクからの燃料供給	中心の新しい機器及び燃料供給設備を点検する 運転手による
	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンクからの燃料供給	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンクからの燃料供給	中心の新しい機器及び燃料供給設備を点検する 運転手による
	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンクからの燃料供給	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンクからの燃料供給	中心の新しい機器及び燃料供給設備を点検する 運転手による
	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンクからの燃料供給	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンクからの燃料供給	中心の新しい機器及び燃料供給設備を点検する 運転手による
	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンクからの燃料供給	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンクからの燃料供給	中心の新しい機器及び燃料供給設備を点検する 運転手による
	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンクからの燃料供給	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンクからの燃料供給	中心の新しい機器及び燃料供給設備を点検する 運転手による
	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンクからの燃料供給	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンクからの燃料供給	中心の新しい機器及び燃料供給設備を点検する 運転手による
	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンクからの燃料供給	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンクからの燃料供給	中心の新しい機器及び燃料供給設備を点検する 運転手による
	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンクからの燃料供給	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンクからの燃料供給	中心の新しい機器及び燃料供給設備を点検する 運転手による
	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンクからの燃料供給	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンクからの燃料供給	中心の新しい機器及び燃料供給設備を点検する 運転手による
	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンクからの燃料供給	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンクからの燃料供給	中心の新しい機器及び燃料供給設備を点検する 運転手による
	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンクからの燃料供給	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンクからの燃料供給	中心の新しい機器及び燃料供給設備を点検する 運転手による

注1：本表【解説】10項を満足するための代替水源地（設置）
 注2：本表【解説】10項を満足するための代替水源地（設置）

相違理由

【大飯】記載方針の相違(女川審査実績反映)
 ・泊は、女川審査実績を反映し、技術的能力1.2~1.14で整備する手順と用いる設備について第2.1.5表~第2.1.17表に整理し、大規模損壊に特化した手順についてはこれらの表とは別の表(第2.1.18表)として整理するため記載が異なる。記載方針の相違であり、実質的な相違はない。

【大飯】記載方針の相違(女川審査実績反映)
 ・泊は、管路及び電路として使用する設備を記載する。

【大飯】記載方針の相違(女川審査実績反映)
 ・泊は、重大事故等対応設備(設計基準拡張)による対応手段を整理している。

【大飯】記載方針の相違(女川審査実績反映)
 ・泊は、女川審査実績を反映し、水源ごとに対応手段及び設備を整理していることから、表の整理も異なっている。

【大飯】設備・運用の相違(大規模損壊に特化した手順)
 ・大飯は、消火用水の水源である消火水バックアップタンクを用いた手順を整備する。泊は、化学消防自動車を用いた各種注水の水源の一つとして、防火水槽を使用する。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉

第2.1.16表 重大事故等及び大規模損壊対応設備と整備する手順(1.13) (3/7)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応設備	整備する手帳表	手順番号
燃料取扱用ボイラントラックからの水漏れ切替	燃料取扱用ボイラントラックからの水漏れ切替	燃料取扱用ボイラントラックからの水漏れ切替	燃料取扱用ボイラントラックからの水漏れ切替	中心の無い、漏れが検出された場合に対応する手順
	燃料取扱用ボイラントラックからの水漏れ切替	燃料取扱用ボイラントラックからの水漏れ切替	燃料取扱用ボイラントラックからの水漏れ切替	中心の無い、漏れが検出された場合に対応する手順
	燃料取扱用ボイラントラックからの水漏れ切替	燃料取扱用ボイラントラックからの水漏れ切替	燃料取扱用ボイラントラックからの水漏れ切替	中心の無い、漏れが検出された場合に対応する手順
	燃料取扱用ボイラントラックからの水漏れ切替	燃料取扱用ボイラントラックからの水漏れ切替	燃料取扱用ボイラントラックからの水漏れ切替	中心の無い、漏れが検出された場合に対応する手順
	燃料取扱用ボイラントラックからの水漏れ切替	燃料取扱用ボイラントラックからの水漏れ切替	燃料取扱用ボイラントラックからの水漏れ切替	中心の無い、漏れが検出された場合に対応する手順
	燃料取扱用ボイラントラックからの水漏れ切替	燃料取扱用ボイラントラックからの水漏れ切替	燃料取扱用ボイラントラックからの水漏れ切替	中心の無い、漏れが検出された場合に対応する手順
	燃料取扱用ボイラントラックからの水漏れ切替	燃料取扱用ボイラントラックからの水漏れ切替	燃料取扱用ボイラントラックからの水漏れ切替	中心の無い、漏れが検出された場合に対応する手順
	燃料取扱用ボイラントラックからの水漏れ切替	燃料取扱用ボイラントラックからの水漏れ切替	燃料取扱用ボイラントラックからの水漏れ切替	中心の無い、漏れが検出された場合に対応する手順
	燃料取扱用ボイラントラックからの水漏れ切替	燃料取扱用ボイラントラックからの水漏れ切替	燃料取扱用ボイラントラックからの水漏れ切替	中心の無い、漏れが検出された場合に対応する手順
	燃料取扱用ボイラントラックからの水漏れ切替	燃料取扱用ボイラントラックからの水漏れ切替	燃料取扱用ボイラントラックからの水漏れ切替	中心の無い、漏れが検出された場合に対応する手順

以下に示す設備が対象となる可搬型設備による対応を中心とした手順書及び当該手順書に記載する設備を示す。
注1：本表は重大事故発生時の対応手順と対応設備との対応関係を示す。
注2：「大規模損壊」：重大事故発生時における炉心損傷の発生のための状態に関する用語。
注3：「手順1.13」：燃料取扱用ボイラントラックからの水漏れ切替に関する手順等。注4：「手順1.14」：燃料取扱用ボイラントラックからの水漏れ切替に関する手順等。注5：「手順1.15」：燃料取扱用ボイラントラックからの水漏れ切替に関する手順等。注6：「大規模損壊」：大規模損壊発生時における炉心損傷の発生のための状態に関する用語。

女川原子力発電所2号炉

第2.1-16表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順(1.13)(3/11)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応設備	整備する手帳表
燃料取扱用ボイラントラックからの水漏れ切替	燃料取扱用ボイラントラックからの水漏れ切替	燃料取扱用ボイラントラックからの水漏れ切替	中心の無い、漏れが検出された場合に対応する手順
	燃料取扱用ボイラントラックからの水漏れ切替	燃料取扱用ボイラントラックからの水漏れ切替	中心の無い、漏れが検出された場合に対応する手順
燃料取扱用ボイラントラックからの水漏れ切替	燃料取扱用ボイラントラックからの水漏れ切替	燃料取扱用ボイラントラックからの水漏れ切替	中心の無い、漏れが検出された場合に対応する手順
	燃料取扱用ボイラントラックからの水漏れ切替	燃料取扱用ボイラントラックからの水漏れ切替	中心の無い、漏れが検出された場合に対応する手順
燃料取扱用ボイラントラックからの水漏れ切替	燃料取扱用ボイラントラックからの水漏れ切替	燃料取扱用ボイラントラックからの水漏れ切替	中心の無い、漏れが検出された場合に対応する手順
	燃料取扱用ボイラントラックからの水漏れ切替	燃料取扱用ボイラントラックからの水漏れ切替	中心の無い、漏れが検出された場合に対応する手順
燃料取扱用ボイラントラックからの水漏れ切替	燃料取扱用ボイラントラックからの水漏れ切替	燃料取扱用ボイラントラックからの水漏れ切替	中心の無い、漏れが検出された場合に対応する手順
	燃料取扱用ボイラントラックからの水漏れ切替	燃料取扱用ボイラントラックからの水漏れ切替	中心の無い、漏れが検出された場合に対応する手順

注1：手順は「1.14」：燃料取扱用ボイラントラックからの水漏れ切替に関する手順等。注2：本表は「【解説】1.13」項を満足するための代替設備（備置）（措置）

泊発電所3号炉

第2.1.16表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順(1.13)(3/17)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応設備	整備する手帳表
燃料取扱用ボイラントラックからの水漏れ切替	燃料取扱用ボイラントラックからの水漏れ切替	燃料取扱用ボイラントラックからの水漏れ切替	中心の無い、漏れが検出された場合に対応する手順
	燃料取扱用ボイラントラックからの水漏れ切替	燃料取扱用ボイラントラックからの水漏れ切替	中心の無い、漏れが検出された場合に対応する手順
燃料取扱用ボイラントラックからの水漏れ切替	燃料取扱用ボイラントラックからの水漏れ切替	燃料取扱用ボイラントラックからの水漏れ切替	中心の無い、漏れが検出された場合に対応する手順
	燃料取扱用ボイラントラックからの水漏れ切替	燃料取扱用ボイラントラックからの水漏れ切替	中心の無い、漏れが検出された場合に対応する手順
燃料取扱用ボイラントラックからの水漏れ切替	燃料取扱用ボイラントラックからの水漏れ切替	燃料取扱用ボイラントラックからの水漏れ切替	中心の無い、漏れが検出された場合に対応する手順
	燃料取扱用ボイラントラックからの水漏れ切替	燃料取扱用ボイラントラックからの水漏れ切替	中心の無い、漏れが検出された場合に対応する手順
燃料取扱用ボイラントラックからの水漏れ切替	燃料取扱用ボイラントラックからの水漏れ切替	燃料取扱用ボイラントラックからの水漏れ切替	中心の無い、漏れが検出された場合に対応する手順
	燃料取扱用ボイラントラックからの水漏れ切替	燃料取扱用ボイラントラックからの水漏れ切替	中心の無い、漏れが検出された場合に対応する手順

注1：重大事故発生時における炉心損傷の発生のための状態に関する用語。注2：「大規模損壊」：重大事故発生時における炉心損傷の発生のための状態に関する用語。注3：「手順1.13」：燃料取扱用ボイラントラックからの水漏れ切替に関する手順等。注4：「手順1.14」：燃料取扱用ボイラントラックからの水漏れ切替に関する手順等。注5：「手順1.15」：燃料取扱用ボイラントラックからの水漏れ切替に関する手順等。注6：「大規模損壊」：大規模損壊発生時における炉心損傷の発生のための状態に関する用語。

相違理由

【大阪】記載方針の相違(女川審査実績反映)
・泊は、女川審査実績を反映し、技術的能力1.2~1.14で整備する手順と用いる設備について第2.1.5表~第2.1.7表に整理し、大規模損壊に特化した手順についてはこれらの表とは別の表(第2.1.18表)として整理するため記載が異なる。記載方針の相違であり、実質的な相違はない。

【大阪】記載方針の相違(女川審査実績反映)
・泊は、流路及び電路として使用する設備を記載する。

【大阪】記載方針の相違(女川審査実績反映)
・泊は、重大事故等対応設備(設計基準拡張)による対応手段を整理している。

【大阪】記載方針の相違(女川審査実績反映)
・泊は、女川審査実績を反映し、水源ごとに対応手段及び設備を整理していることから、表の整理も異なっている。

【大阪】設備・運用の相違(大規模損壊に特化した手順)
・大阪は、消火用水の水源である消火水バックアップタンクを用いた手順を整備する。泊は、化学消防自動車を用いた各種注水の水源の一つとして、防火水槽を使用する。また、化学消防自動車の水源として海水は使用しない。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉

第2.1.16表 重大事故等及び大規模損壊対応設備と整備する手順(1.13) (4/7)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	実施手順	整備する手順	手順の分類
可搬型設備等による対応	冷却水ポンプ 又は 冷却水ポンプ駆動機	可搬型 駆動機	冷却炉内循環ポンプ	高圧送水ポンプを用いた再循環運転により炉下を冷却する手順	炉下の新しい設備及び機材設置 機材搬入による 運転再開
			冷却炉内循環ポンプステーション	高圧送水ポンプを用いた再循環運転により炉下を冷却する手順	
	冷却水ポンプ 又は 冷却水ポンプ駆動機	可搬型 駆動機	冷却炉内循環ポンプ	高圧送水ポンプを用いた再循環運転により炉下を冷却する手順	炉下の新しい設備及び機材設置 機材搬入による 運転再開
			冷却炉内循環ポンプステーション	高圧送水ポンプを用いた再循環運転により炉下を冷却する手順	
	冷却水ポンプ 又は 冷却水ポンプ駆動機	可搬型 駆動機	冷却炉内循環ポンプ	高圧送水ポンプを用いた再循環運転により炉下を冷却する手順	炉下の新しい設備及び機材設置 機材搬入による 運転再開
			冷却炉内循環ポンプステーション	高圧送水ポンプを用いた再循環運転により炉下を冷却する手順	
	冷却水ポンプ 又は 冷却水ポンプ駆動機	可搬型 駆動機	冷却炉内循環ポンプ	高圧送水ポンプを用いた再循環運転により炉下を冷却する手順	炉下の新しい設備及び機材設置 機材搬入による 運転再開
			冷却炉内循環ポンプステーション	高圧送水ポンプを用いた再循環運転により炉下を冷却する手順	
	冷却水ポンプ 又は 冷却水ポンプ駆動機	可搬型 駆動機	冷却炉内循環ポンプ	高圧送水ポンプを用いた再循環運転により炉下を冷却する手順	炉下の新しい設備及び機材設置 機材搬入による 運転再開
			冷却炉内循環ポンプステーション	高圧送水ポンプを用いた再循環運転により炉下を冷却する手順	
冷却水ポンプ 又は 冷却水ポンプ駆動機	可搬型 駆動機	冷却炉内循環ポンプ	高圧送水ポンプを用いた再循環運転により炉下を冷却する手順	炉下の新しい設備及び機材設置 機材搬入による 運転再開	
		冷却炉内循環ポンプステーション	高圧送水ポンプを用いた再循環運転により炉下を冷却する手順		

①手順は発電機出力低下時に使用される可搬型設備による対応を想定し、炉下冷却及び炉下再循環に必要となる設備を記載する。
 ②①：「大飯発電所」重大事故等発生時における炉下再循環のための活動に関する作業。
 ③①：手順は「1」に基づき炉下再循環ポンプの稼働に必要となるための手順等として整備する。
 ③②：炉下再循環ポンプの稼働に必要となるための手順等として整備する。
 ④①：大飯発電所の燃料供給に関する手順。手順は「1」に基づき炉下再循環ポンプの稼働に必要となるための手順等として整備する。
 ④②：「アイゼン」発電機等により記載する。

女川原子力発電所2号炉

第2.1-16表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順(1.13) (4/11)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	手順等
可搬型設備等による対応	冷却水ポンプ 又は 冷却水ポンプ駆動機	可搬型 駆動機	冷却炉内循環ポンプ	高圧送水ポンプを用いた再循環運転により炉下を冷却する手順
			冷却炉内循環ポンプステーション	高圧送水ポンプを用いた再循環運転により炉下を冷却する手順
	冷却水ポンプ 又は 冷却水ポンプ駆動機	可搬型 駆動機	冷却炉内循環ポンプ	高圧送水ポンプを用いた再循環運転により炉下を冷却する手順
			冷却炉内循環ポンプステーション	高圧送水ポンプを用いた再循環運転により炉下を冷却する手順
	冷却水ポンプ 又は 冷却水ポンプ駆動機	可搬型 駆動機	冷却炉内循環ポンプ	高圧送水ポンプを用いた再循環運転により炉下を冷却する手順
			冷却炉内循環ポンプステーション	高圧送水ポンプを用いた再循環運転により炉下を冷却する手順
	冷却水ポンプ 又は 冷却水ポンプ駆動機	可搬型 駆動機	冷却炉内循環ポンプ	高圧送水ポンプを用いた再循環運転により炉下を冷却する手順
			冷却炉内循環ポンプステーション	高圧送水ポンプを用いた再循環運転により炉下を冷却する手順
	冷却水ポンプ 又は 冷却水ポンプ駆動機	可搬型 駆動機	冷却炉内循環ポンプ	高圧送水ポンプを用いた再循環運転により炉下を冷却する手順
			冷却炉内循環ポンプステーション	高圧送水ポンプを用いた再循環運転により炉下を冷却する手順
冷却水ポンプ 又は 冷却水ポンプ駆動機	可搬型 駆動機	冷却炉内循環ポンプ	高圧送水ポンプを用いた再循環運転により炉下を冷却する手順	
		冷却炉内循環ポンプステーション	高圧送水ポンプを用いた再循環運転により炉下を冷却する手順	

①：手順は「1.14」電源の確保に限る（手順等）にて整備する。
 ②①：本表【燃料】①②項を適用するための代替送水機（措置）

泊発電所3号炉

第2.1.16表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順(1.13) (4/17)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	手順等
可搬型設備等による対応	冷却水ポンプ 又は 冷却水ポンプ駆動機	可搬型 駆動機	冷却炉内循環ポンプ	高圧送水ポンプを用いた再循環運転により炉下を冷却する手順
			冷却炉内循環ポンプステーション	高圧送水ポンプを用いた再循環運転により炉下を冷却する手順
	冷却水ポンプ 又は 冷却水ポンプ駆動機	可搬型 駆動機	冷却炉内循環ポンプ	高圧送水ポンプを用いた再循環運転により炉下を冷却する手順
			冷却炉内循環ポンプステーション	高圧送水ポンプを用いた再循環運転により炉下を冷却する手順
	冷却水ポンプ 又は 冷却水ポンプ駆動機	可搬型 駆動機	冷却炉内循環ポンプ	高圧送水ポンプを用いた再循環運転により炉下を冷却する手順
			冷却炉内循環ポンプステーション	高圧送水ポンプを用いた再循環運転により炉下を冷却する手順
	冷却水ポンプ 又は 冷却水ポンプ駆動機	可搬型 駆動機	冷却炉内循環ポンプ	高圧送水ポンプを用いた再循環運転により炉下を冷却する手順
			冷却炉内循環ポンプステーション	高圧送水ポンプを用いた再循環運転により炉下を冷却する手順
	冷却水ポンプ 又は 冷却水ポンプ駆動機	可搬型 駆動機	冷却炉内循環ポンプ	高圧送水ポンプを用いた再循環運転により炉下を冷却する手順
			冷却炉内循環ポンプステーション	高圧送水ポンプを用いた再循環運転により炉下を冷却する手順
冷却水ポンプ 又は 冷却水ポンプ駆動機	可搬型 駆動機	冷却炉内循環ポンプ	高圧送水ポンプを用いた再循環運転により炉下を冷却する手順	
		冷却炉内循環ポンプステーション	高圧送水ポンプを用いた再循環運転により炉下を冷却する手順	

①：本表【燃料】①②項を適用するための代替送水機（措置）
 ②①：本表【燃料】①②項を適用するための代替送水機（措置）

相違理由

【大飯】記載方針の相違(女川審査実績反映)
 ・泊は、女川審査実績を反映し、技術的能力1.2~1.14で整備する手順と用いる設備について第2.1.5表~第2.1.7表に整理し、大規模損壊に特化した手順についてはこれらの表とは別の表(第2.1.18表)として整理するため記載が異なる。記載方針の相違であり、実質的な相違はない。
 【大飯】記載方針の相違(女川審査実績反映)
 ・泊は、流路及び電路として使用する設備を記載する。
 【大飯】記載方針の相違(女川審査実績反映)
 ・泊は、女川審査実績を反映し、水源ごとに対応手段及び設備を整理していることから、表の整理も異なっている。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉

第2.1.16表 重大事故等及び大規模損壊対応設備と整備する手順(1.13) (5/7)

区分	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順表	手順の分類
燃料供給系(ポンプ)	N4、3号水タンクから使用済燃料ビレットへの注水*	ポンプ車によるN4、3号水タンクから使用済燃料ビレットへの注水*	N4、3号水タンク	使用済燃料ビレットの取降時の対応手順	燃料供給系に限定する
				大規模損壊時に対応する手順	
	ポンプ車によるN4、3号水タンクから使用済燃料ビレットへの注水*	ポンプ車	N4、3号水タンク	N4、2号水タンクから使用済燃料ビレットへの注水(屋内内注)	5A内注*
				N4、2号水タンクから使用済燃料ビレットへの注水(屋外内注)	
1号系統水タンクから使用済燃料ビレットへの注水*	1号系統水タンク	1号系統水タンク	1号系統水タンクから使用済燃料ビレットへの注水手順	大規模損壊時に対応する手順	
			大規模損壊時に対応する手順		
海水から使用済燃料ビレットへの注水*	海水	海水	海水による使用済燃料ビレットへの注水手順	大規模損壊時に対応する手順	
			大規模損壊時に対応する手順		
消火水バックアップタンクから使用済燃料ビレットへの注水	消火水バックアップタンク	消火水バックアップタンク	消火水バックアップタンクから使用済燃料ビレットへの注水	大規模損壊時に対応する手順	
			大規模損壊時に対応する手順		

①上欄は女川所長が基本設計使用する可搬型設備による対応を中心とした手順表及び当該事項に基づく整備内容を示す。
また、本表は重大事故等発生時の対応手順表との相違箇所を示す。
※1：「大飯発電所 重大事故等発生時における原子炉施設の保全のための活動に関する所定」
※2：「基本設計の運用に用いられる設備の中心である。『附録1』原子炉設備損壊時の対応のための手順等」にて整備する。
※3：「手順1」1.11「使用済燃料取降機の故障の対応のための手順等」にて整備する。
※4：「子機1〜4号機等により前記する。」
※5：「大飯発電所」大規模損壊発生時における原子炉施設の保全のための代替注水(簡便)

女川原子力発電所2号炉

第2.1-16表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順(1.13)(5/11)

区分	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順表	手順の分類
燃料供給系(ポンプ)	海水貯水槽(No.1) 中2 海水貯水槽(No.2) 中2	ポンプ車によるN4、3号水タンクから使用済燃料ビレットへの注水	N4、3号水タンク	使用済燃料ビレットの取降時の対応手順	燃料供給系に限定する
				大規模損壊時に対応する手順	
	海水貯水槽(No.1) 中2 海水貯水槽(No.2) 中2	ポンプ車によるN4、3号水タンクから使用済燃料ビレットへの注水	N4、3号水タンク	N4、2号水タンクから使用済燃料ビレットへの注水(屋内内注)	5A内注*
				N4、2号水タンクから使用済燃料ビレットへの注水(屋外内注)	
燃料プール代替注水系(常設設備) (大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	燃料プール代替注水系(可搬型) (大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	燃料プール代替注水系(可搬型) (大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	燃料プール代替注水系(可搬型) (大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	大規模損壊時に対応する手順	
			大規模損壊時に対応する手順		
海水貯水槽(No.1) 中2 海水貯水槽(No.2) 中2	ポンプ車によるN4、3号水タンクから使用済燃料ビレットへの注水	N4、3号水タンク	N4、2号水タンクから使用済燃料ビレットへの注水(屋内内注)	5A内注*	
			N4、2号水タンクから使用済燃料ビレットへの注水(屋外内注)		

※1：「手順1」1.14「電流の確保に関する手順等」にて整備する。
※2：本表【附録1】(1)「注水設備」にて整備する。

泊発電所3号炉

第2.1.16表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順(1.13)(5/17)

区分	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順表	手順の分類
燃料供給系(ポンプ)	海水貯水槽(No.1) 中2 海水貯水槽(No.2) 中2	ポンプ車によるN4、3号水タンクから使用済燃料ビレットへの注水	N4、3号水タンク	使用済燃料ビレットの取降時の対応手順	燃料供給系に限定する
				大規模損壊時に対応する手順	
	海水貯水槽(No.1) 中2 海水貯水槽(No.2) 中2	ポンプ車によるN4、3号水タンクから使用済燃料ビレットへの注水	N4、3号水タンク	N4、2号水タンクから使用済燃料ビレットへの注水(屋内内注)	5A内注*
				N4、2号水タンクから使用済燃料ビレットへの注水(屋外内注)	
燃料プール代替注水系(常設設備) (大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	燃料プール代替注水系(可搬型) (大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	燃料プール代替注水系(可搬型) (大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	燃料プール代替注水系(可搬型) (大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	大規模損壊時に対応する手順	
			大規模損壊時に対応する手順		
海水貯水槽(No.1) 中2 海水貯水槽(No.2) 中2	ポンプ車によるN4、3号水タンクから使用済燃料ビレットへの注水	N4、3号水タンク	N4、2号水タンクから使用済燃料ビレットへの注水(屋内内注)	5A内注*	
			N4、2号水タンクから使用済燃料ビレットへの注水(屋外内注)		

※1：「手順1」1.11「電流の確保に関する手順等」にて整備する。
※2：本表【附録1】(1)「注水設備」にて整備する。

第2.1.16表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順(1.13)(6/17)

区分	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順表	手順の分類
燃料供給系(ポンプ)	海水貯水槽(No.1) 中2 海水貯水槽(No.2) 中2	ポンプ車によるN4、3号水タンクから使用済燃料ビレットへの注水	N4、3号水タンク	使用済燃料ビレットの取降時の対応手順	燃料供給系に限定する
				大規模損壊時に対応する手順	
	海水貯水槽(No.1) 中2 海水貯水槽(No.2) 中2	ポンプ車によるN4、3号水タンクから使用済燃料ビレットへの注水	N4、3号水タンク	N4、2号水タンクから使用済燃料ビレットへの注水(屋内内注)	5A内注*
				N4、2号水タンクから使用済燃料ビレットへの注水(屋外内注)	
燃料プール代替注水系(常設設備) (大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	燃料プール代替注水系(可搬型) (大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	燃料プール代替注水系(可搬型) (大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	燃料プール代替注水系(可搬型) (大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	大規模損壊時に対応する手順	
			大規模損壊時に対応する手順		
海水貯水槽(No.1) 中2 海水貯水槽(No.2) 中2	ポンプ車によるN4、3号水タンクから使用済燃料ビレットへの注水	N4、3号水タンク	N4、2号水タンクから使用済燃料ビレットへの注水(屋内内注)	5A内注*	
			N4、2号水タンクから使用済燃料ビレットへの注水(屋外内注)		

※1：「手順1」1.11「電流の確保に関する手順等」にて整備する。
※2：本表【附録1】(1)「注水設備」にて整備する。

相違理由

【大飯】記載方針の相違(女川審査実績反映)
・泊は、女川審査実績を反映し、技術的能力1.2~1.14で整備する手順と用いる設備について第2.1.5表~第2.1.7表に整理し、大規模損壊に特化した手順についてはこれらの表とは別の表(第2.1.18表)として整理するため記載が異なる。記載方針の相違であり、実質的な相違はない。

【大飯】記載方針の相違(女川審査実績反映)
・泊は、流路及び電路として使用する設備を記載する。

【大飯】記載方針の相違(女川審査実績反映)
・泊は、女川審査実績を反映し、水源ごとに対応手段及び設備を整理していることから、表の整理も異なっている。

【大飯】設備・運用の相違(大規模損壊に特化した手順)
・大飯は、消火用水の水源である消火水バックアップタンクを用いた手順を整備する。泊は、化学消防自動車を用いた各種注水の水源の一つとして、防火水槽を使用する。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉

第2.1.16表 重大事故等及び大規模損壊対応設備と整備する手順(1.13) (6/7)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順の分類
可搬型設備等による対応	放射線発生抑制装置（圧力抑制装置） →へのスプレイ	放射線発生抑制装置	放射線発生抑制装置	放射線発生抑制装置の点検・整備	S/A相当*
		放射線発生抑制装置（圧力抑制装置） →へのスプレイ	放射線発生抑制装置（圧力抑制装置） →へのスプレイ	放射線発生抑制装置（圧力抑制装置） →へのスプレイの点検・整備	S/A相当*
可搬型設備等による対応	放射線発生抑制装置（圧力抑制装置） →へのスプレイ	放射線発生抑制装置（圧力抑制装置） →へのスプレイ	放射線発生抑制装置（圧力抑制装置） →へのスプレイ	放射線発生抑制装置（圧力抑制装置） →へのスプレイの点検・整備	S/A相当*
		放射線発生抑制装置（圧力抑制装置） →へのスプレイ	放射線発生抑制装置（圧力抑制装置） →へのスプレイ	放射線発生抑制装置（圧力抑制装置） →へのスプレイの点検・整備	S/A相当*

注1：施設に発生する事故を想定する可搬型設備による対応は中心とした手順書及び3項「手順書」に記載する設備を指す。
注2：大字は重大事故等発生時の対応に必要となる可搬型設備の整備手順を指す。
注3：「大阪発電所 重大事故等発生時ににおける原子炉施設内の安全のための活動に関する手順」にて整備する。
注4：大容積ポンプへの燃料供給に化用する。手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。
注5：送水ポンプの燃料供給に化用する可搬型設備の整備手順を指す。手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。
注6：手順は「1.11 送水ポンプの燃料供給のための手順等」にて整備する。
注7：手順は「1.12 送水ポンプの燃料供給のための手順等」にて整備する。
注8：「大阪発電所 大規模損壊発生時ににおける原子炉施設の安全のための活動に関する手順」にて整備する。

※1：手順は「1.11 燃料供給に関する手順等」にて整備する。
※2：本文【解説】10項を満足するための代替設備（措置）

女川原子力発電所2号炉

第2.1-16表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順(1.13) (6/11)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順の分類
可搬型設備等による対応	放射線発生抑制装置（圧力抑制装置） →へのスプレイ	放射線発生抑制装置	放射線発生抑制装置	放射線発生抑制装置の点検・整備	S/A相当*
		放射線発生抑制装置（圧力抑制装置） →へのスプレイ	放射線発生抑制装置（圧力抑制装置） →へのスプレイ	放射線発生抑制装置（圧力抑制装置） →へのスプレイの点検・整備	S/A相当*
		放射線発生抑制装置（圧力抑制装置） →へのスプレイ	放射線発生抑制装置（圧力抑制装置） →へのスプレイ	放射線発生抑制装置（圧力抑制装置） →へのスプレイの点検・整備	S/A相当*
		放射線発生抑制装置（圧力抑制装置） →へのスプレイ	放射線発生抑制装置（圧力抑制装置） →へのスプレイ	放射線発生抑制装置（圧力抑制装置） →へのスプレイの点検・整備	S/A相当*
可搬型設備等による対応	放射線発生抑制装置（圧力抑制装置） →へのスプレイ	放射線発生抑制装置（圧力抑制装置） →へのスプレイ	放射線発生抑制装置（圧力抑制装置） →へのスプレイ	放射線発生抑制装置（圧力抑制装置） →へのスプレイの点検・整備	S/A相当*
		放射線発生抑制装置（圧力抑制装置） →へのスプレイ	放射線発生抑制装置（圧力抑制装置） →へのスプレイ	放射線発生抑制装置（圧力抑制装置） →へのスプレイの点検・整備	S/A相当*
		放射線発生抑制装置（圧力抑制装置） →へのスプレイ	放射線発生抑制装置（圧力抑制装置） →へのスプレイ	放射線発生抑制装置（圧力抑制装置） →へのスプレイの点検・整備	S/A相当*
		放射線発生抑制装置（圧力抑制装置） →へのスプレイ	放射線発生抑制装置（圧力抑制装置） →へのスプレイ	放射線発生抑制装置（圧力抑制装置） →へのスプレイの点検・整備	S/A相当*

※1：手順は「1.11 燃料供給に関する手順等」にて整備する。
※2：本文【解説】10項を満足するための代替設備（措置）

泊発電所3号炉

第2.1.16表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順(1.13) (7/17)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順の分類
可搬型設備等による対応	放射線発生抑制装置（圧力抑制装置） →へのスプレイ	放射線発生抑制装置	放射線発生抑制装置	放射線発生抑制装置の点検・整備	S/A相当*
		放射線発生抑制装置（圧力抑制装置） →へのスプレイ	放射線発生抑制装置（圧力抑制装置） →へのスプレイ	放射線発生抑制装置（圧力抑制装置） →へのスプレイの点検・整備	S/A相当*
		放射線発生抑制装置（圧力抑制装置） →へのスプレイ	放射線発生抑制装置（圧力抑制装置） →へのスプレイ	放射線発生抑制装置（圧力抑制装置） →へのスプレイの点検・整備	S/A相当*
		放射線発生抑制装置（圧力抑制装置） →へのスプレイ	放射線発生抑制装置（圧力抑制装置） →へのスプレイ	放射線発生抑制装置（圧力抑制装置） →へのスプレイの点検・整備	S/A相当*
可搬型設備等による対応	放射線発生抑制装置（圧力抑制装置） →へのスプレイ	放射線発生抑制装置（圧力抑制装置） →へのスプレイ	放射線発生抑制装置（圧力抑制装置） →へのスプレイ	放射線発生抑制装置（圧力抑制装置） →へのスプレイの点検・整備	S/A相当*
		放射線発生抑制装置（圧力抑制装置） →へのスプレイ	放射線発生抑制装置（圧力抑制装置） →へのスプレイ	放射線発生抑制装置（圧力抑制装置） →へのスプレイの点検・整備	S/A相当*
		放射線発生抑制装置（圧力抑制装置） →へのスプレイ	放射線発生抑制装置（圧力抑制装置） →へのスプレイ	放射線発生抑制装置（圧力抑制装置） →へのスプレイの点検・整備	S/A相当*
		放射線発生抑制装置（圧力抑制装置） →へのスプレイ	放射線発生抑制装置（圧力抑制装置） →へのスプレイ	放射線発生抑制装置（圧力抑制装置） →へのスプレイの点検・整備	S/A相当*

※1：手順は「1.11 燃料供給に関する手順等」にて整備する。
※2：本文【解説】10項を満足するための代替設備（措置）

第2.1.16表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順(1.13) (8/17)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順の分類
可搬型設備等による対応	放射線発生抑制装置（圧力抑制装置） →へのスプレイ	放射線発生抑制装置	放射線発生抑制装置	放射線発生抑制装置の点検・整備	S/A相当*
		放射線発生抑制装置（圧力抑制装置） →へのスプレイ	放射線発生抑制装置（圧力抑制装置） →へのスプレイ	放射線発生抑制装置（圧力抑制装置） →へのスプレイの点検・整備	S/A相当*
		放射線発生抑制装置（圧力抑制装置） →へのスプレイ	放射線発生抑制装置（圧力抑制装置） →へのスプレイ	放射線発生抑制装置（圧力抑制装置） →へのスプレイの点検・整備	S/A相当*
		放射線発生抑制装置（圧力抑制装置） →へのスプレイ	放射線発生抑制装置（圧力抑制装置） →へのスプレイ	放射線発生抑制装置（圧力抑制装置） →へのスプレイの点検・整備	S/A相当*
可搬型設備等による対応	放射線発生抑制装置（圧力抑制装置） →へのスプレイ	放射線発生抑制装置（圧力抑制装置） →へのスプレイ	放射線発生抑制装置（圧力抑制装置） →へのスプレイ	放射線発生抑制装置（圧力抑制装置） →へのスプレイの点検・整備	S/A相当*
		放射線発生抑制装置（圧力抑制装置） →へのスプレイ	放射線発生抑制装置（圧力抑制装置） →へのスプレイ	放射線発生抑制装置（圧力抑制装置） →へのスプレイの点検・整備	S/A相当*
		放射線発生抑制装置（圧力抑制装置） →へのスプレイ	放射線発生抑制装置（圧力抑制装置） →へのスプレイ	放射線発生抑制装置（圧力抑制装置） →へのスプレイの点検・整備	S/A相当*
		放射線発生抑制装置（圧力抑制装置） →へのスプレイ	放射線発生抑制装置（圧力抑制装置） →へのスプレイ	放射線発生抑制装置（圧力抑制装置） →へのスプレイの点検・整備	S/A相当*

※1：手順は「1.11 燃料供給に関する手順等」にて整備する。
※2：本文【解説】10項を満足するための代替設備（措置）

相違理由

【大阪】記載方針の相違(女川審査実績反映)
・泊は、女川審査実績を反映し、技術的能力1.2~1.14で整備する手順と用いる設備について第2.1.5表~第2.1.17表に整理し、大規模損壊に特化した手順についてはこれらの表とは別の表(第2.1.18表)として整理するため記載が異なる。記載方針の相違であり、実質的な相違はない。

【大阪】記載方針の相違(女川審査実績反映)
・泊は、流路及び電路として使用する設備を記載する。

【大阪】記載方針の相違(女川審査実績反映)
・泊は、女川審査実績を反映し、水源ごとに対応手段及び設備を整理していることから、表の整理も異なっている。

【大阪】大規模損壊に特化した手順に用いる設備に相違なし。(化学消防自動車による使用済燃料ビットへのスプレイ)

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																		
	<p>第2.1-16表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順(1.13)(8/11)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機能喪失を想定する設計基準事故対処設備</th> <th>対応設備</th> <th>対峙設備</th> <th>手順等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">復水貯蔵タンク サブレーションシリンダ</td> <td rowspan="2">経時的に放射能濃度上昇防止に効果的な貯蔵タンク（圧入注水）</td> <td>軽水代替注水（可搬型）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等）</td> <td>重水事故等対処設備</td> <td>手順は「1.4 原子炉格納容器圧力バウンダリ超限時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部注水の確保（可搬型）」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器上部注水（可搬型）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等）</td> <td>重水事故等対処設備</td> <td>手順は「1.8 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">復水貯蔵タンク</td> <td rowspan="2">原子炉格納容器下部注水（可搬型）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等）</td> <td>軽水代替注水（可搬型）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等）</td> <td>重水事故等対処設備</td> <td>手順は「1.8 原子炉格納容器下部注水の確保（可搬型）」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器上部注水（可搬型）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等）</td> <td>重水事故等対処設備</td> <td>手順は「1.8 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">原子炉格納容器下部注水（可搬型）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等）</td> <td>燃料アール代替注水（常設配管）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド等）</td> <td>重水事故等対処設備</td> <td>手順は「1.11 使用済燃料の燃料棒の冷却のための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>燃料アールスプレイズ（可搬型）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・スプレイズ等）</td> <td>重水事故等対処設備</td> <td>手順は「1.11 使用済燃料の燃料棒の冷却のための手順等」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。 ※2：ホース【接続】160mを調達するための代替設備（積置）</p>	分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応設備	対峙設備	手順等	復水貯蔵タンク サブレーションシリンダ	経時的に放射能濃度上昇防止に効果的な貯蔵タンク（圧入注水）	軽水代替注水（可搬型）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等）	重水事故等対処設備	手順は「1.4 原子炉格納容器圧力バウンダリ超限時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部注水の確保（可搬型）」にて整備する。	原子炉格納容器上部注水（可搬型）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等）	重水事故等対処設備	手順は「1.8 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。	復水貯蔵タンク	原子炉格納容器下部注水（可搬型）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等）	軽水代替注水（可搬型）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等）	重水事故等対処設備	手順は「1.8 原子炉格納容器下部注水の確保（可搬型）」にて整備する。	原子炉格納容器上部注水（可搬型）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等）	重水事故等対処設備	手順は「1.8 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。	-	原子炉格納容器下部注水（可搬型）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等）	燃料アール代替注水（常設配管）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド等）	重水事故等対処設備	手順は「1.11 使用済燃料の燃料棒の冷却のための手順等」にて整備する。	燃料アールスプレイズ（可搬型）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・スプレイズ等）	重水事故等対処設備	手順は「1.11 使用済燃料の燃料棒の冷却のための手順等」にて整備する。	<p>第2.1.16表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順(1.13)(10/17)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設備</th> <th>機能喪失を想定する設計基準事故対処設備</th> <th>対峙設備</th> <th>対応設備</th> <th>手順等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">燃料格納容器</td> <td rowspan="2">可搬型大容量送水ポンプ 可搬型ホース・接続口 ホース延長回収車 注水用ヘッド 燃料格納設備※1</td> <td>可搬型大容量送水ポンプ 可搬型ホース・接続口 ホース延長回収車 注水用ヘッド 燃料格納設備※1</td> <td>重水事故等対処設備</td> <td>手順は「1.10 原子炉格納容器圧力バウンダリ超限時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部注水の確保（可搬型）」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>可搬型大容量送水ポンプ 可搬型ホース・接続口 ホース延長回収車 注水用ヘッド 燃料格納設備※1</td> <td>重水事故等対処設備</td> <td>手順は「1.10 原子炉格納容器圧力バウンダリ超限時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部注水の確保（可搬型）」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">燃料格納容器</td> <td rowspan="2">可搬型大容量送水ポンプ 可搬型ホース・接続口 ホース延長回収車 注水用ヘッド 燃料格納設備※1</td> <td>可搬型大容量送水ポンプ 可搬型ホース・接続口 ホース延長回収車 注水用ヘッド 燃料格納設備※1</td> <td>重水事故等対処設備</td> <td>手順は「1.10 原子炉格納容器圧力バウンダリ超限時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部注水の確保（可搬型）」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>可搬型大容量送水ポンプ 可搬型ホース・接続口 ホース延長回収車 注水用ヘッド 燃料格納設備※1</td> <td>重水事故等対処設備</td> <td>手順は「1.10 原子炉格納容器圧力バウンダリ超限時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部注水の確保（可搬型）」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：手順は「1.11 電源の確保に関する手順等」にて整備する。 ※2：重水事故等発生時に利用可能な設備 ※3：対峙に備える重水事故等対処設備 ※4：自主的措置として整備する重水事故等対処設備</p>	設備	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対峙設備	対応設備	手順等	燃料格納容器	可搬型大容量送水ポンプ 可搬型ホース・接続口 ホース延長回収車 注水用ヘッド 燃料格納設備※1	可搬型大容量送水ポンプ 可搬型ホース・接続口 ホース延長回収車 注水用ヘッド 燃料格納設備※1	重水事故等対処設備	手順は「1.10 原子炉格納容器圧力バウンダリ超限時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部注水の確保（可搬型）」にて整備する。	可搬型大容量送水ポンプ 可搬型ホース・接続口 ホース延長回収車 注水用ヘッド 燃料格納設備※1	重水事故等対処設備	手順は「1.10 原子炉格納容器圧力バウンダリ超限時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部注水の確保（可搬型）」にて整備する。	燃料格納容器	可搬型大容量送水ポンプ 可搬型ホース・接続口 ホース延長回収車 注水用ヘッド 燃料格納設備※1	可搬型大容量送水ポンプ 可搬型ホース・接続口 ホース延長回収車 注水用ヘッド 燃料格納設備※1	重水事故等対処設備	手順は「1.10 原子炉格納容器圧力バウンダリ超限時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部注水の確保（可搬型）」にて整備する。	可搬型大容量送水ポンプ 可搬型ホース・接続口 ホース延長回収車 注水用ヘッド 燃料格納設備※1	重水事故等対処設備	手順は「1.10 原子炉格納容器圧力バウンダリ超限時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部注水の確保（可搬型）」にて整備する。	<p>【大飯】記載方針の相違（女川審査実績反映） ・泊は、女川審査実績を反映し、技術的能力1.2～1.14で整備する手順と用いる設備について第2.1.5表～第2.1.17表に整理し、大規模損壊に特化した手順についてはこれらの表とは別の表（第2.1.18表）として整理するため記載が異なる。記載方針の相違であり、実質的な相違はない。</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川審査実績反映） ・泊は、流路及び電路として使用する設備を記載する。</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川審査実績反映） ・泊は、女川審査実績を反映し、水源ごとに対応手段及び設備を整理していることから、表の整理も異なっている。</p>
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応設備	対峙設備	手順等																																																	
復水貯蔵タンク サブレーションシリンダ	経時的に放射能濃度上昇防止に効果的な貯蔵タンク（圧入注水）	軽水代替注水（可搬型）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等）	重水事故等対処設備	手順は「1.4 原子炉格納容器圧力バウンダリ超限時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部注水の確保（可搬型）」にて整備する。																																																	
		原子炉格納容器上部注水（可搬型）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等）	重水事故等対処設備	手順は「1.8 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。																																																	
復水貯蔵タンク	原子炉格納容器下部注水（可搬型）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等）	軽水代替注水（可搬型）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等）	重水事故等対処設備	手順は「1.8 原子炉格納容器下部注水の確保（可搬型）」にて整備する。																																																	
		原子炉格納容器上部注水（可搬型）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等）	重水事故等対処設備	手順は「1.8 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。																																																	
-	原子炉格納容器下部注水（可搬型）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等）	燃料アール代替注水（常設配管）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド等）	重水事故等対処設備	手順は「1.11 使用済燃料の燃料棒の冷却のための手順等」にて整備する。																																																	
		燃料アールスプレイズ（可搬型）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・スプレイズ等）	重水事故等対処設備	手順は「1.11 使用済燃料の燃料棒の冷却のための手順等」にて整備する。																																																	
設備	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対峙設備	対応設備	手順等																																																	
燃料格納容器	可搬型大容量送水ポンプ 可搬型ホース・接続口 ホース延長回収車 注水用ヘッド 燃料格納設備※1	可搬型大容量送水ポンプ 可搬型ホース・接続口 ホース延長回収車 注水用ヘッド 燃料格納設備※1	重水事故等対処設備	手順は「1.10 原子炉格納容器圧力バウンダリ超限時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部注水の確保（可搬型）」にて整備する。																																																	
		可搬型大容量送水ポンプ 可搬型ホース・接続口 ホース延長回収車 注水用ヘッド 燃料格納設備※1	重水事故等対処設備	手順は「1.10 原子炉格納容器圧力バウンダリ超限時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部注水の確保（可搬型）」にて整備する。																																																	
燃料格納容器	可搬型大容量送水ポンプ 可搬型ホース・接続口 ホース延長回収車 注水用ヘッド 燃料格納設備※1	可搬型大容量送水ポンプ 可搬型ホース・接続口 ホース延長回収車 注水用ヘッド 燃料格納設備※1	重水事故等対処設備	手順は「1.10 原子炉格納容器圧力バウンダリ超限時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部注水の確保（可搬型）」にて整備する。																																																	
		可搬型大容量送水ポンプ 可搬型ホース・接続口 ホース延長回収車 注水用ヘッド 燃料格納設備※1	重水事故等対処設備	手順は「1.10 原子炉格納容器圧力バウンダリ超限時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部注水の確保（可搬型）」にて整備する。																																																	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																						
<p>大阪発電所3/4号炉</p>	<p>第2.1-16表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順(1.13)(9/11)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機能喪失を想定する設計基準事故対処設備</th> <th>対応手段</th> <th>対応設備</th> <th>手順等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">海水系統として記す</td> <td rowspan="4">-</td> <td>原子炉格納罐冷却水ポンプ</td> <td>原子炉格納罐冷却水ポンプ(原子炉格納罐冷却水ポンプを含む)〔原子炉格納罐冷却水ポンプ及び原子炉格納罐冷却水ポンプ〕</td> <td>手順は「1.8 最終セーメントシールへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>最終セーメントシール熱交換機</td> <td>原子炉格納罐冷却水ポンプ(大容量送水ポンプ(タイプ1)、熱交換機ユニット、ポンプ延長回収車、ホース・送熱用ヘッド・接続口等)</td> <td>手順は「1.8 最終セーメントシールへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>大容量送水ポンプ(タイプ1)</td> <td>大容量送水ポンプ(タイプ1)ホース・送熱用ヘッド・接続口貯留槽取水口取水筒海水ポンプ室燃料補給設備*</td> <td>自主対応設備</td> </tr> <tr> <td>大容量送水ポンプ(タイプ2)</td> <td>大容量送水ポンプ(タイプ2)ホース延長回収車取水筒取水口取水筒海水ポンプ室燃料補給設備*</td> <td>重大事故等対応設備</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">はう節水注入系設備として記す</td> <td rowspan="2">-</td> <td>はう節水注入系設備</td> <td>はう節水注入系設備(はう節水注入系ポンプ)</td> <td>手順は「1.11 緊急停止失敗時に発電機出力を制御するための手順等」及び「1.8 原子炉格納罐冷却水ポンプの機能喪失を想定するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>はう節水注入系設備</td> <td>はう節水注入系設備(はう節水注入系ポンプ)</td> <td>重大事故等対応設備</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1 手順は「1.14 放射線レベルを抑制するための手順等」にて整備する。 注2 本文【解説】出項を満足するための代替品(緑色)</p>	分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対応設備	手順等	海水系統として記す	-	原子炉格納罐冷却水ポンプ	原子炉格納罐冷却水ポンプ(原子炉格納罐冷却水ポンプを含む)〔原子炉格納罐冷却水ポンプ及び原子炉格納罐冷却水ポンプ〕	手順は「1.8 最終セーメントシールへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。	最終セーメントシール熱交換機	原子炉格納罐冷却水ポンプ(大容量送水ポンプ(タイプ1)、熱交換機ユニット、ポンプ延長回収車、ホース・送熱用ヘッド・接続口等)	手順は「1.8 最終セーメントシールへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。	大容量送水ポンプ(タイプ1)	大容量送水ポンプ(タイプ1)ホース・送熱用ヘッド・接続口貯留槽取水口取水筒海水ポンプ室燃料補給設備*	自主対応設備	大容量送水ポンプ(タイプ2)	大容量送水ポンプ(タイプ2)ホース延長回収車取水筒取水口取水筒海水ポンプ室燃料補給設備*	重大事故等対応設備	はう節水注入系設備として記す	-	はう節水注入系設備	はう節水注入系設備(はう節水注入系ポンプ)	手順は「1.11 緊急停止失敗時に発電機出力を制御するための手順等」及び「1.8 原子炉格納罐冷却水ポンプの機能喪失を想定するための手順等」にて整備する。	はう節水注入系設備	はう節水注入系設備(はう節水注入系ポンプ)	重大事故等対応設備	<p>第2.1.16表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順(1.13)(11/17)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機能喪失を想定する設計基準事故対処設備</th> <th>対応手段</th> <th>対応設備</th> <th>手順等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">海水系統として記す</td> <td rowspan="4">-</td> <td>原子炉格納罐冷却水ポンプ</td> <td>原子炉格納罐冷却水ポンプ(原子炉格納罐冷却水ポンプを含む)〔原子炉格納罐冷却水ポンプ及び原子炉格納罐冷却水ポンプ〕</td> <td>手順は「1.8 最終セーメントシールへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>最終セーメントシール熱交換機</td> <td>原子炉格納罐冷却水ポンプ(大容量送水ポンプ(タイプ1)、熱交換機ユニット、ポンプ延長回収車、ホース・送熱用ヘッド・接続口等)</td> <td>手順は「1.8 最終セーメントシールへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>大容量送水ポンプ(タイプ1)</td> <td>大容量送水ポンプ(タイプ1)ホース・送熱用ヘッド・接続口貯留槽取水口取水筒海水ポンプ室燃料補給設備*</td> <td>自主対応設備</td> </tr> <tr> <td>大容量送水ポンプ(タイプ2)</td> <td>大容量送水ポンプ(タイプ2)ホース延長回収車取水筒取水口取水筒海水ポンプ室燃料補給設備*</td> <td>重大事故等対応設備</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">はう節水注入系設備として記す</td> <td rowspan="2">-</td> <td>はう節水注入系設備</td> <td>はう節水注入系設備(はう節水注入系ポンプ)</td> <td>手順は「1.11 緊急停止失敗時に発電機出力を制御するための手順等」及び「1.8 原子炉格納罐冷却水ポンプの機能喪失を想定するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>はう節水注入系設備</td> <td>はう節水注入系設備(はう節水注入系ポンプ)</td> <td>重大事故等対応設備</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1 手順は「1.14 放射線レベルを抑制するための手順等」にて整備する。 注2 本文【解説】出項を満足するための代替品(緑色)</p>	分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対応設備	手順等	海水系統として記す	-	原子炉格納罐冷却水ポンプ	原子炉格納罐冷却水ポンプ(原子炉格納罐冷却水ポンプを含む)〔原子炉格納罐冷却水ポンプ及び原子炉格納罐冷却水ポンプ〕	手順は「1.8 最終セーメントシールへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。	最終セーメントシール熱交換機	原子炉格納罐冷却水ポンプ(大容量送水ポンプ(タイプ1)、熱交換機ユニット、ポンプ延長回収車、ホース・送熱用ヘッド・接続口等)	手順は「1.8 最終セーメントシールへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。	大容量送水ポンプ(タイプ1)	大容量送水ポンプ(タイプ1)ホース・送熱用ヘッド・接続口貯留槽取水口取水筒海水ポンプ室燃料補給設備*	自主対応設備	大容量送水ポンプ(タイプ2)	大容量送水ポンプ(タイプ2)ホース延長回収車取水筒取水口取水筒海水ポンプ室燃料補給設備*	重大事故等対応設備	はう節水注入系設備として記す	-	はう節水注入系設備	はう節水注入系設備(はう節水注入系ポンプ)	手順は「1.11 緊急停止失敗時に発電機出力を制御するための手順等」及び「1.8 原子炉格納罐冷却水ポンプの機能喪失を想定するための手順等」にて整備する。	はう節水注入系設備	はう節水注入系設備(はう節水注入系ポンプ)	重大事故等対応設備	<p>相違理由</p> <p>【大阪】記載方針の相違(女川審査実績反映) ・泊は、女川審査実績を反映し、技術的能力1.2~1.14で整備する手順と用いる設備について第2.1.5表~第2.1.17表に整理し、大規模損壊に特化した手順についてはこれらの表とは別の表(第2.1.18表)として整理するため記載が異なる。記載方針の相違であり、実質的な相違はない。</p> <p>【大阪】記載方針の相違(女川審査実績反映) ・泊は、流路及び電路として使用する設備を記載する。</p> <p>【大阪】記載方針の相違(女川審査実績反映) ・泊は、重大事故等対処設備(設計基準拡張)による対応手段を整理している。</p> <p>【大阪】記載方針の相違(女川審査実績反映) ・泊は、女川審査実績を反映し、水源ごとに対応手段及び設備を整理していることから、表の整理も異なっている。</p>
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対応設備	手順等																																																					
海水系統として記す	-	原子炉格納罐冷却水ポンプ	原子炉格納罐冷却水ポンプ(原子炉格納罐冷却水ポンプを含む)〔原子炉格納罐冷却水ポンプ及び原子炉格納罐冷却水ポンプ〕	手順は「1.8 最終セーメントシールへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。																																																					
		最終セーメントシール熱交換機	原子炉格納罐冷却水ポンプ(大容量送水ポンプ(タイプ1)、熱交換機ユニット、ポンプ延長回収車、ホース・送熱用ヘッド・接続口等)	手順は「1.8 最終セーメントシールへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。																																																					
		大容量送水ポンプ(タイプ1)	大容量送水ポンプ(タイプ1)ホース・送熱用ヘッド・接続口貯留槽取水口取水筒海水ポンプ室燃料補給設備*	自主対応設備																																																					
		大容量送水ポンプ(タイプ2)	大容量送水ポンプ(タイプ2)ホース延長回収車取水筒取水口取水筒海水ポンプ室燃料補給設備*	重大事故等対応設備																																																					
はう節水注入系設備として記す	-	はう節水注入系設備	はう節水注入系設備(はう節水注入系ポンプ)	手順は「1.11 緊急停止失敗時に発電機出力を制御するための手順等」及び「1.8 原子炉格納罐冷却水ポンプの機能喪失を想定するための手順等」にて整備する。																																																					
		はう節水注入系設備	はう節水注入系設備(はう節水注入系ポンプ)	重大事故等対応設備																																																					
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対応設備	手順等																																																					
海水系統として記す	-	原子炉格納罐冷却水ポンプ	原子炉格納罐冷却水ポンプ(原子炉格納罐冷却水ポンプを含む)〔原子炉格納罐冷却水ポンプ及び原子炉格納罐冷却水ポンプ〕	手順は「1.8 最終セーメントシールへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。																																																					
		最終セーメントシール熱交換機	原子炉格納罐冷却水ポンプ(大容量送水ポンプ(タイプ1)、熱交換機ユニット、ポンプ延長回収車、ホース・送熱用ヘッド・接続口等)	手順は「1.8 最終セーメントシールへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。																																																					
		大容量送水ポンプ(タイプ1)	大容量送水ポンプ(タイプ1)ホース・送熱用ヘッド・接続口貯留槽取水口取水筒海水ポンプ室燃料補給設備*	自主対応設備																																																					
		大容量送水ポンプ(タイプ2)	大容量送水ポンプ(タイプ2)ホース延長回収車取水筒取水口取水筒海水ポンプ室燃料補給設備*	重大事故等対応設備																																																					
はう節水注入系設備として記す	-	はう節水注入系設備	はう節水注入系設備(はう節水注入系ポンプ)	手順は「1.11 緊急停止失敗時に発電機出力を制御するための手順等」及び「1.8 原子炉格納罐冷却水ポンプの機能喪失を想定するための手順等」にて整備する。																																																					
		はう節水注入系設備	はう節水注入系設備(はう節水注入系ポンプ)	重大事故等対応設備																																																					

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

【比較のため、再掲】

第2.1.16表 重大事故等及び大規模損壊対応設備と整備する手順(1.13) (4/7)

分類	構成要素も想定する設計基準事故対応設備	対応手段	実施手順	整備する手順書	手順の分類
事故防止設備	事故防止ポンプ	可搬型	事故防止ポンプ稼働	高圧注入ポンプを用いた再循環運転により燃料冷却能力を確保する手順	BWRの新しい設備及び特殊設備を記載する。運転手順書
	事故防止ポンプ		事故防止ポンプ稼働	高圧注入ポンプを用いた再循環運転により燃料冷却能力を確保する手順	
	事故防止ポンプ		事故防止ポンプ稼働	高圧注入ポンプを用いた再循環運転により燃料冷却能力を確保する手順	
	事故防止ポンプ		事故防止ポンプ稼働	高圧注入ポンプを用いた再循環運転により燃料冷却能力を確保する手順	
事故防止設備	事故防止ポンプ	比較対象外	事故防止ポンプ稼働	A運転時ポンプを用いた燃料冷却能力を確保する手順	BWRの新しい設備及び特殊設備を記載する。運転手順書
	事故防止ポンプ		事故防止ポンプ稼働	A運転時ポンプを用いた燃料冷却能力を確保する手順	
	事故防止ポンプ		事故防止ポンプ稼働	A運転時ポンプを用いた燃料冷却能力を確保する手順	
	事故防止ポンプ		事故防止ポンプ稼働	A運転時ポンプを用いた燃料冷却能力を確保する手順	
事故防止設備	事故防止ポンプ	比較対象外	事故防止ポンプ稼働	高圧注入ポンプ（高圧ポンプ）を用いた燃料冷却能力を確保する手順	BWRの新しい設備及び特殊設備を記載する。運転手順書
	事故防止ポンプ		事故防止ポンプ稼働	高圧注入ポンプ（高圧ポンプ）を用いた燃料冷却能力を確保する手順	
	事故防止ポンプ		事故防止ポンプ稼働	高圧注入ポンプ（高圧ポンプ）を用いた燃料冷却能力を確保する手順	
	事故防止ポンプ		事故防止ポンプ稼働	高圧注入ポンプ（高圧ポンプ）を用いた燃料冷却能力を確保する手順	
	事故防止ポンプ		事故防止ポンプ稼働	高圧注入ポンプ（高圧ポンプ）を用いた燃料冷却能力を確保する手順	
	事故防止ポンプ		事故防止ポンプ稼働	高圧注入ポンプ（高圧ポンプ）を用いた燃料冷却能力を確保する手順	
	事故防止ポンプ		事故防止ポンプ稼働	高圧注入ポンプ（高圧ポンプ）を用いた燃料冷却能力を確保する手順	
	事故防止ポンプ		事故防止ポンプ稼働	高圧注入ポンプ（高圧ポンプ）を用いた燃料冷却能力を確保する手順	
	事故防止ポンプ		事故防止ポンプ稼働	高圧注入ポンプ（高圧ポンプ）を用いた燃料冷却能力を確保する手順	
	事故防止ポンプ		事故防止ポンプ稼働	高圧注入ポンプ（高圧ポンプ）を用いた燃料冷却能力を確保する手順	

比較対象外

注1：手順は発電所別事故対応設備が使用される構成設備による対応を想定し、上下継ぎ及び上下継ぎに搭載する設備を示す。
 注2：「大規模損壊」は重大事故等発生時における炉心溶融防止のための活動に関する手順書。
 注3：「手順」は「1.1」部中が事故防止のハンドブックに記載した発電所固有の手順書（手順書）として整備する。
 注4：「事故防止ポンプ」は燃料冷却能力を確保する手順書（手順書）として整備する。
 注5：「ポンプ」は運転時ポンプ（高圧ポンプ）を用いた燃料冷却能力を確保する手順書（手順書）として整備する。

第2.1.16表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順(1.13) (13/17)

分類	構成要素も想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	設備の分類	整備する手順書	
					整備する手順書	手順書の分類
事故防止設備	事故防止ポンプ	可搬型	事故防止ポンプ稼働	高圧注入ポンプ	運転時ポンプ	高圧注入ポンプを用いた燃料冷却能力を確保する手順書
			事故防止ポンプ稼働	高圧注入ポンプ		
			事故防止ポンプ稼働	高圧注入ポンプ		
			事故防止ポンプ稼働	高圧注入ポンプ		
			事故防止ポンプ稼働	高圧注入ポンプ		
事故防止設備	事故防止ポンプ	比較対象外	事故防止ポンプ稼働	A運転時ポンプ	運転時ポンプ	A運転時ポンプを用いた燃料冷却能力を確保する手順書
			事故防止ポンプ稼働	A運転時ポンプ		
			事故防止ポンプ稼働	A運転時ポンプ		
			事故防止ポンプ稼働	A運転時ポンプ		
			事故防止ポンプ稼働	A運転時ポンプ		
事故防止設備	事故防止ポンプ	比較対象外	事故防止ポンプ稼働	高圧注入ポンプ	運転時ポンプ	高圧注入ポンプを用いた燃料冷却能力を確保する手順書
			事故防止ポンプ稼働	高圧注入ポンプ		
			事故防止ポンプ稼働	高圧注入ポンプ		
			事故防止ポンプ稼働	高圧注入ポンプ		
			事故防止ポンプ稼働	高圧注入ポンプ		

【大阪】記載方針の相違(女川審査実績反映)
 ・泊は、女川審査実績を反映し、技術的能力1.2~1.14で整備する手順と用いる設備について第2.1.5表~第2.1.17表に整理し、大規模損壊に特化した手順についてはこれらの表とは別の表(第2.1.18表)として整理するため記載が異なる。記載方針の相違であり、実質的な相違はない。
 【大阪】記載方針の相違(女川審査実績反映)
 ・泊は、流路及び電路として使用する設備を記載する。
 【大阪】記載方針の相違(女川審査実績反映)
 ・泊は、重大事故等対応設備(設計基準拡張)による対応手段を整理している。
 【大阪】記載方針の相違(女川審査実績反映)
 ・泊は、女川審査実績を反映し、水源ごとに対応手段及び設備を整理していることから、表の整理も異なっている。

注1：「手順」は「1.1」部中が事故防止のハンドブックに記載した発電所固有の手順書（手順書）として整備する。
 注2：「重大事故等発生時」は炉心溶融防止のための活動に関する手順書。
 注3：「手順」は「1.1」部中が事故防止のハンドブックに記載した発電所固有の手順書（手順書）として整備する。
 注4：「事故防止ポンプ」は燃料冷却能力を確保する手順書（手順書）として整備する。
 注5：「ポンプ」は運転時ポンプ（高圧ポンプ）を用いた燃料冷却能力を確保する手順書（手順書）として整備する。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																
	<p>第2.1-16表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順(1.13)(10/11)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機能喪失を想定する設計基準事故対処設備</th> <th>対応手段</th> <th>対処設備</th> <th>手順等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">機</td> <td rowspan="5">沸騰炉内での燃料棒破断による冷却水の蒸発による炉内水位低下</td> <td rowspan="5">① 炉内水位低下の検出 ② 炉内水位低下の警報 ③ 炉内水位低下の遮断</td> <td>復水貯蔵タンク 大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・送水車ヘッド・接続口 供給水系配管・弁 燃料補給設備 等1</td> <td>重大事故等対応要領書 「復水貯蔵タンクから復水貯蔵タンクへの接続」</td> </tr> <tr> <td>淡水貯水槽(No.1) 等2 淡水貯水槽(No.2) 等2</td> <td>自主避難設備</td> </tr> <tr> <td>復水貯蔵タンク 大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・送水車ヘッド・接続口 ろ過タンク 取水タンク 排水タンク 供給水系配管・弁 ろ過水系配管・弁 燃料補給設備 等1</td> <td>重大事故等対応要領書 「復水貯蔵タンクから復水貯蔵タンクへの接続」</td> </tr> <tr> <td>復水貯蔵タンク 大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・送水車ヘッド・接続口 貯留槽 取水口 取水ポンプ 排水ポンプ 燃料補給設備 等1</td> <td>重大事故等対応要領書 「炉心の復水貯蔵タンクへの接続」</td> </tr> <tr> <td>復水貯蔵タンク 化学消防自動車 ホース 耐熱性防火水樽</td> <td>重大事故等対応要領書 「耐熱性防火水樽から復水貯蔵タンクへの接続」</td> </tr> </tbody> </table> <p>等1：手順は「1.13」(電源の確保に関する手順等)にて整備する。 等2：本表【脚注】(b)項を満足するための代替水源(湧水)</p>	分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順等	機	沸騰炉内での燃料棒破断による冷却水の蒸発による炉内水位低下	① 炉内水位低下の検出 ② 炉内水位低下の警報 ③ 炉内水位低下の遮断	復水貯蔵タンク 大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・送水車ヘッド・接続口 供給水系配管・弁 燃料補給設備 等1	重大事故等対応要領書 「復水貯蔵タンクから復水貯蔵タンクへの接続」	淡水貯水槽(No.1) 等2 淡水貯水槽(No.2) 等2	自主避難設備	復水貯蔵タンク 大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・送水車ヘッド・接続口 ろ過タンク 取水タンク 排水タンク 供給水系配管・弁 ろ過水系配管・弁 燃料補給設備 等1	重大事故等対応要領書 「復水貯蔵タンクから復水貯蔵タンクへの接続」	復水貯蔵タンク 大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・送水車ヘッド・接続口 貯留槽 取水口 取水ポンプ 排水ポンプ 燃料補給設備 等1	重大事故等対応要領書 「炉心の復水貯蔵タンクへの接続」	復水貯蔵タンク 化学消防自動車 ホース 耐熱性防火水樽	重大事故等対応要領書 「耐熱性防火水樽から復水貯蔵タンクへの接続」	<p>第2.1.16表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順(1.13)(14/17)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機能喪失を想定する設計基準事故対処設備</th> <th>対応手段</th> <th>対処設備</th> <th>設備の位置</th> <th>整備する手順等</th> <th>手順等の分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">機</td> <td rowspan="5">沸騰炉内での燃料棒破断による冷却水の蒸発による炉内水位低下</td> <td rowspan="5">① 炉内水位低下の検出 ② 炉内水位低下の警報 ③ 炉内水位低下の遮断</td> <td>復水貯蔵タンク 大容量送水ポンプ 燃料補給設備 ホース延長回収車 ホース・送水車ヘッド・接続口 供給水系配管・弁 燃料補給設備 等1</td> <td>自主避難設備</td> <td>1 炉内水位低下の検出 2 炉内水位低下の警報 3 炉内水位低下の遮断</td> <td>設備及び設計基準事故発生時の対応手順等</td> </tr> <tr> <td>淡水貯水槽(No.1) 等2 淡水貯水槽(No.2) 等2</td> <td>自主避難設備</td> <td>1 炉内水位低下の検出 2 炉内水位低下の警報 3 炉内水位低下の遮断</td> <td>炉心の新しい機器が発生した場合には対応する運転手順等</td> </tr> <tr> <td>復水貯蔵タンク 大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・送水車ヘッド・接続口 ろ過タンク 取水タンク 排水タンク 供給水系配管・弁 ろ過水系配管・弁 燃料補給設備 等1</td> <td>自主避難設備</td> <td>1 炉内水位低下の検出 2 炉内水位低下の警報 3 炉内水位低下の遮断</td> <td>炉心の新しい機器が発生した場合には対応する運転手順等</td> </tr> <tr> <td>復水貯蔵タンク 大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・送水車ヘッド・接続口 貯留槽 取水口 取水ポンプ 排水ポンプ 燃料補給設備 等1</td> <td>自主避難設備</td> <td>1 炉内水位低下の検出 2 炉内水位低下の警報 3 炉内水位低下の遮断</td> <td>炉心の新しい機器が発生した場合には対応する運転手順等</td> </tr> <tr> <td>復水貯蔵タンク 化学消防自動車 ホース 耐熱性防火水樽</td> <td>自主避難設備</td> <td>1 炉内水位低下の検出 2 炉内水位低下の警報 3 炉内水位低下の遮断</td> <td>炉心の新しい機器が発生した場合には対応する運転手順等</td> </tr> </tbody> </table> <p>①：手順は「1.13」(電源の確保に関する手順等)にて整備する。 ②：本表【脚注】(b)項を満足するための代替水源(湧水) ③：当該設備に備わっている設備の位置 ④：自主避難設備として整備する重大事故等対応設備</p>	分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	設備の位置	整備する手順等	手順等の分類	機	沸騰炉内での燃料棒破断による冷却水の蒸発による炉内水位低下	① 炉内水位低下の検出 ② 炉内水位低下の警報 ③ 炉内水位低下の遮断	復水貯蔵タンク 大容量送水ポンプ 燃料補給設備 ホース延長回収車 ホース・送水車ヘッド・接続口 供給水系配管・弁 燃料補給設備 等1	自主避難設備	1 炉内水位低下の検出 2 炉内水位低下の警報 3 炉内水位低下の遮断	設備及び設計基準事故発生時の対応手順等	淡水貯水槽(No.1) 等2 淡水貯水槽(No.2) 等2	自主避難設備	1 炉内水位低下の検出 2 炉内水位低下の警報 3 炉内水位低下の遮断	炉心の新しい機器が発生した場合には対応する運転手順等	復水貯蔵タンク 大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・送水車ヘッド・接続口 ろ過タンク 取水タンク 排水タンク 供給水系配管・弁 ろ過水系配管・弁 燃料補給設備 等1	自主避難設備	1 炉内水位低下の検出 2 炉内水位低下の警報 3 炉内水位低下の遮断	炉心の新しい機器が発生した場合には対応する運転手順等	復水貯蔵タンク 大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・送水車ヘッド・接続口 貯留槽 取水口 取水ポンプ 排水ポンプ 燃料補給設備 等1	自主避難設備	1 炉内水位低下の検出 2 炉内水位低下の警報 3 炉内水位低下の遮断	炉心の新しい機器が発生した場合には対応する運転手順等	復水貯蔵タンク 化学消防自動車 ホース 耐熱性防火水樽	自主避難設備	1 炉内水位低下の検出 2 炉内水位低下の警報 3 炉内水位低下の遮断	炉心の新しい機器が発生した場合には対応する運転手順等	<p>【大飯】記載方針の相違(女川審査実績反映) ・泊は、女川審査実績を反映し、技術的能力1.2~1.14で整備する手順と用いる設備について第2.1.5表~第2.1.17表に整理し、大規模損壊に特化した手順についてはこれらの表とは別の表(第2.1.18表)として整理するため記載が異なる。記載方針の相違であり、実質的な相違はない。</p> <p>【大飯】記載方針の相違(女川審査実績反映) ・泊は、流路及び電路として使用する設備を記載する。</p> <p>【大飯】記載方針の相違(女川審査実績反映) ・泊は、女川審査実績を反映し、水源ごとに対応手段及び設備を整理していることから、表の整理も異なっている。</p>
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順等																																															
機	沸騰炉内での燃料棒破断による冷却水の蒸発による炉内水位低下	① 炉内水位低下の検出 ② 炉内水位低下の警報 ③ 炉内水位低下の遮断	復水貯蔵タンク 大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・送水車ヘッド・接続口 供給水系配管・弁 燃料補給設備 等1	重大事故等対応要領書 「復水貯蔵タンクから復水貯蔵タンクへの接続」																																															
			淡水貯水槽(No.1) 等2 淡水貯水槽(No.2) 等2	自主避難設備																																															
			復水貯蔵タンク 大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・送水車ヘッド・接続口 ろ過タンク 取水タンク 排水タンク 供給水系配管・弁 ろ過水系配管・弁 燃料補給設備 等1	重大事故等対応要領書 「復水貯蔵タンクから復水貯蔵タンクへの接続」																																															
			復水貯蔵タンク 大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・送水車ヘッド・接続口 貯留槽 取水口 取水ポンプ 排水ポンプ 燃料補給設備 等1	重大事故等対応要領書 「炉心の復水貯蔵タンクへの接続」																																															
			復水貯蔵タンク 化学消防自動車 ホース 耐熱性防火水樽	重大事故等対応要領書 「耐熱性防火水樽から復水貯蔵タンクへの接続」																																															
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	設備の位置	整備する手順等	手順等の分類																																													
機	沸騰炉内での燃料棒破断による冷却水の蒸発による炉内水位低下	① 炉内水位低下の検出 ② 炉内水位低下の警報 ③ 炉内水位低下の遮断	復水貯蔵タンク 大容量送水ポンプ 燃料補給設備 ホース延長回収車 ホース・送水車ヘッド・接続口 供給水系配管・弁 燃料補給設備 等1	自主避難設備	1 炉内水位低下の検出 2 炉内水位低下の警報 3 炉内水位低下の遮断	設備及び設計基準事故発生時の対応手順等																																													
			淡水貯水槽(No.1) 等2 淡水貯水槽(No.2) 等2	自主避難設備	1 炉内水位低下の検出 2 炉内水位低下の警報 3 炉内水位低下の遮断	炉心の新しい機器が発生した場合には対応する運転手順等																																													
			復水貯蔵タンク 大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・送水車ヘッド・接続口 ろ過タンク 取水タンク 排水タンク 供給水系配管・弁 ろ過水系配管・弁 燃料補給設備 等1	自主避難設備	1 炉内水位低下の検出 2 炉内水位低下の警報 3 炉内水位低下の遮断	炉心の新しい機器が発生した場合には対応する運転手順等																																													
			復水貯蔵タンク 大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・送水車ヘッド・接続口 貯留槽 取水口 取水ポンプ 排水ポンプ 燃料補給設備 等1	自主避難設備	1 炉内水位低下の検出 2 炉内水位低下の警報 3 炉内水位低下の遮断	炉心の新しい機器が発生した場合には対応する運転手順等																																													
			復水貯蔵タンク 化学消防自動車 ホース 耐熱性防火水樽	自主避難設備	1 炉内水位低下の検出 2 炉内水位低下の警報 3 炉内水位低下の遮断	炉心の新しい機器が発生した場合には対応する運転手順等																																													

2.1 可搬型設備等による対応

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																					
<p>大阪発電所3/4号炉</p>	<p>女川原子力発電所2号炉</p> <p>第2.1-16表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順(1.13)(11/11)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機能喪失を想定する設計基準事故対処設備</th> <th>対応手段</th> <th>対処設備</th> <th>手順等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">水質汚濁</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td> 大容量送水ポンプ(タイプB) ノース延長回収車 ホース 貯留槽 取水口 取水路 高水ポンプ室 燃料油給設備¹⁾ 淡水貯水槽 (No.1) ²⁾ 淡水貯水槽 (No.2) ²⁾ </td> <td> 重大事故等対応準備書「漏から淡水貯水槽への漏れ」 自主対策 </td> </tr> <tr> <td> 海水貯蔵タンク 高圧射心スプレイ系(高圧射心スプレイ系ポンプ) サプレッションチェンバ 高圧射心スプレイ系(高圧射心スプレイ系ポンプ) </td> <td> 非常時操作手順書「漏れ(ボース)」等 非常時操作手順書「設備切」等 「高圧射心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」 「重大事故等対応設備」 </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水質汚濁</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td> 大容量送水ポンプ(タイプB) ノース延長回収車 ホース 貯留槽 取水口 取水路 高水ポンプ室 燃料油給設備¹⁾ 淡水貯水槽 (No.1) ²⁾ 淡水貯水槽 (No.2) ²⁾ </td> <td> 重大事故等対応準備書「漏から淡水貯水槽への漏れ」 自主対策 </td> </tr> <tr> <td> 海水貯蔵タンク サプレッションチェンバ 高圧代替注水系(高水移送ポンプ) 代替備用給排水(代替備用給排水ポンプ) </td> <td> 手順は「1.4 原子炉注水時に発電機周りを冷却するための手順等」、「1.5 原子炉格納容器の過圧状態を防止するための手順等」及び「1.6 原子炉格納容器下部の蓄熱射心水冷却するための手順等」にて整備する。 </td> </tr> </tbody> </table> <p>注1 手順は「1.11 電源の確保に関する手順等」にて整備する。 注2 本表文【備考】3)の項を適用するための代替設備(装置)</p>	分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順等	水質汚濁	-	-	大容量送水ポンプ(タイプB) ノース延長回収車 ホース 貯留槽 取水口 取水路 高水ポンプ室 燃料油給設備 ¹⁾ 淡水貯水槽 (No.1) ²⁾ 淡水貯水槽 (No.2) ²⁾	重大事故等対応準備書「漏から淡水貯水槽への漏れ」 自主対策	海水貯蔵タンク 高圧射心スプレイ系(高圧射心スプレイ系ポンプ) サプレッションチェンバ 高圧射心スプレイ系(高圧射心スプレイ系ポンプ)	非常時操作手順書「漏れ(ボース)」等 非常時操作手順書「設備切」等 「高圧射心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」 「重大事故等対応設備」	水質汚濁	-	-	大容量送水ポンプ(タイプB) ノース延長回収車 ホース 貯留槽 取水口 取水路 高水ポンプ室 燃料油給設備 ¹⁾ 淡水貯水槽 (No.1) ²⁾ 淡水貯水槽 (No.2) ²⁾	重大事故等対応準備書「漏から淡水貯水槽への漏れ」 自主対策	海水貯蔵タンク サプレッションチェンバ 高圧代替注水系(高水移送ポンプ) 代替備用給排水(代替備用給排水ポンプ)	手順は「1.4 原子炉注水時に発電機周りを冷却するための手順等」、「1.5 原子炉格納容器の過圧状態を防止するための手順等」及び「1.6 原子炉格納容器下部の蓄熱射心水冷却するための手順等」にて整備する。	<p>泊発電所3号炉</p> <p>第2.1.16表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順(1.13)(17/17)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機能喪失を想定する設計基準事故対処設備</th> <th>対応手段</th> <th>対処設備</th> <th>設備状態</th> <th>整備する手順等</th> <th>手順等の分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">水質汚濁</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> <td> 燃料油無気化ポンプ 燃料油ポンプ 2次冷却設備(燃料油冷却機) 配管・弁 高水貯留槽(高水貯留槽) 配管・弁 高水貯留槽(高水貯留槽) 配管・弁 原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁 原子炉注水設備 高水貯留槽(高水貯留槽) 1 高水貯留槽(高水貯留槽) 2 燃料油貯留槽(燃料油貯留槽) 1 燃料油貯留槽(燃料油貯留槽) 2 </td> <td> 自主対策 </td> <td> 非常時操作手順書 非常時操作手順書 非常時操作手順書 非常時操作手順書 非常時操作手順書 非常時操作手順書 非常時操作手順書 非常時操作手順書 </td> <td> 設備及び設備の状態等に関する対応手順書 非常時操作手順書 非常時操作手順書 非常時操作手順書 非常時操作手順書 非常時操作手順書 非常時操作手順書 非常時操作手順書 </td> </tr> <tr> <td> 燃料油無気化ポンプ 燃料油ポンプ 2次冷却設備(燃料油冷却機) 配管・弁 高水貯留槽(高水貯留槽) 配管・弁 高水貯留槽(高水貯留槽) 配管・弁 原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁 原子炉注水設備 高水貯留槽(高水貯留槽) 1 高水貯留槽(高水貯留槽) 2 燃料油貯留槽(燃料油貯留槽) 1 燃料油貯留槽(燃料油貯留槽) 2 </td> <td> 自主対策 </td> <td> 非常時操作手順書 非常時操作手順書 非常時操作手順書 非常時操作手順書 非常時操作手順書 非常時操作手順書 非常時操作手順書 非常時操作手順書 </td> <td> 設備及び設備の状態等に関する対応手順書 非常時操作手順書 非常時操作手順書 非常時操作手順書 非常時操作手順書 非常時操作手順書 非常時操作手順書 非常時操作手順書 </td> </tr> </tbody> </table> <p>注1 手順は「1.11 電源の確保に関する手順等」にて整備する。 注2 重大事故等対応において用いる設備の分類 a 対応表本文に適用する重大事故等対応設備 b 対応表本文に適用しない重大事故等対応設備 c 自主対策として整備する重大事故等対応設備</p>	分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	設備状態	整備する手順等	手順等の分類	水質汚濁	-	-	燃料油無気化ポンプ 燃料油ポンプ 2次冷却設備(燃料油冷却機) 配管・弁 高水貯留槽(高水貯留槽) 配管・弁 高水貯留槽(高水貯留槽) 配管・弁 原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁 原子炉注水設備 高水貯留槽(高水貯留槽) 1 高水貯留槽(高水貯留槽) 2 燃料油貯留槽(燃料油貯留槽) 1 燃料油貯留槽(燃料油貯留槽) 2	自主対策	非常時操作手順書 非常時操作手順書 非常時操作手順書 非常時操作手順書 非常時操作手順書 非常時操作手順書 非常時操作手順書 非常時操作手順書	設備及び設備の状態等に関する対応手順書 非常時操作手順書 非常時操作手順書 非常時操作手順書 非常時操作手順書 非常時操作手順書 非常時操作手順書 非常時操作手順書	燃料油無気化ポンプ 燃料油ポンプ 2次冷却設備(燃料油冷却機) 配管・弁 高水貯留槽(高水貯留槽) 配管・弁 高水貯留槽(高水貯留槽) 配管・弁 原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁 原子炉注水設備 高水貯留槽(高水貯留槽) 1 高水貯留槽(高水貯留槽) 2 燃料油貯留槽(燃料油貯留槽) 1 燃料油貯留槽(燃料油貯留槽) 2	自主対策	非常時操作手順書 非常時操作手順書 非常時操作手順書 非常時操作手順書 非常時操作手順書 非常時操作手順書 非常時操作手順書 非常時操作手順書	設備及び設備の状態等に関する対応手順書 非常時操作手順書 非常時操作手順書 非常時操作手順書 非常時操作手順書 非常時操作手順書 非常時操作手順書 非常時操作手順書	<p>相違理由</p> <p>【大阪】記載方針の相違(女川審査実績反映) ・泊は、女川審査実績を反映し、技術的能力1.2~1.14で整備する手順と用いる設備について第2.1.5表~第2.1.17表に整理し、大規模損壊に特化した手順についてはこれらの表とは別の表(第2.1.18表)として整理するため記載が異なる。記載方針の相違であり、実質的な相違はない。</p> <p>【大阪】記載方針の相違(女川審査実績反映) ・泊は、流路及び電路として使用する設備を記載する。</p> <p>【大阪】記載方針の相違(女川審査実績反映) ・泊は、女川審査実績を反映し、水源ごとに対応手段及び設備を整理していることから、表の整理も異なっている。</p>
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順等																																				
水質汚濁	-	-	大容量送水ポンプ(タイプB) ノース延長回収車 ホース 貯留槽 取水口 取水路 高水ポンプ室 燃料油給設備 ¹⁾ 淡水貯水槽 (No.1) ²⁾ 淡水貯水槽 (No.2) ²⁾	重大事故等対応準備書「漏から淡水貯水槽への漏れ」 自主対策																																				
			海水貯蔵タンク 高圧射心スプレイ系(高圧射心スプレイ系ポンプ) サプレッションチェンバ 高圧射心スプレイ系(高圧射心スプレイ系ポンプ)	非常時操作手順書「漏れ(ボース)」等 非常時操作手順書「設備切」等 「高圧射心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」 「重大事故等対応設備」																																				
水質汚濁	-	-	大容量送水ポンプ(タイプB) ノース延長回収車 ホース 貯留槽 取水口 取水路 高水ポンプ室 燃料油給設備 ¹⁾ 淡水貯水槽 (No.1) ²⁾ 淡水貯水槽 (No.2) ²⁾	重大事故等対応準備書「漏から淡水貯水槽への漏れ」 自主対策																																				
			海水貯蔵タンク サプレッションチェンバ 高圧代替注水系(高水移送ポンプ) 代替備用給排水(代替備用給排水ポンプ)	手順は「1.4 原子炉注水時に発電機周りを冷却するための手順等」、「1.5 原子炉格納容器の過圧状態を防止するための手順等」及び「1.6 原子炉格納容器下部の蓄熱射心水冷却するための手順等」にて整備する。																																				
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	設備状態	整備する手順等	手順等の分類																																		
水質汚濁	-	-	燃料油無気化ポンプ 燃料油ポンプ 2次冷却設備(燃料油冷却機) 配管・弁 高水貯留槽(高水貯留槽) 配管・弁 高水貯留槽(高水貯留槽) 配管・弁 原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁 原子炉注水設備 高水貯留槽(高水貯留槽) 1 高水貯留槽(高水貯留槽) 2 燃料油貯留槽(燃料油貯留槽) 1 燃料油貯留槽(燃料油貯留槽) 2	自主対策	非常時操作手順書 非常時操作手順書 非常時操作手順書 非常時操作手順書 非常時操作手順書 非常時操作手順書 非常時操作手順書 非常時操作手順書	設備及び設備の状態等に関する対応手順書 非常時操作手順書 非常時操作手順書 非常時操作手順書 非常時操作手順書 非常時操作手順書 非常時操作手順書 非常時操作手順書																																		
			燃料油無気化ポンプ 燃料油ポンプ 2次冷却設備(燃料油冷却機) 配管・弁 高水貯留槽(高水貯留槽) 配管・弁 高水貯留槽(高水貯留槽) 配管・弁 原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁 原子炉注水設備 高水貯留槽(高水貯留槽) 1 高水貯留槽(高水貯留槽) 2 燃料油貯留槽(燃料油貯留槽) 1 燃料油貯留槽(燃料油貯留槽) 2	自主対策	非常時操作手順書 非常時操作手順書 非常時操作手順書 非常時操作手順書 非常時操作手順書 非常時操作手順書 非常時操作手順書 非常時操作手順書	設備及び設備の状態等に関する対応手順書 非常時操作手順書 非常時操作手順書 非常時操作手順書 非常時操作手順書 非常時操作手順書 非常時操作手順書 非常時操作手順書																																		

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																												
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	<p style="text-align: center;">第2.1-17表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順(1.14) (1/5)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機能喪失を想定する設計基準事故対処設備</th> <th>対応手段</th> <th>対処設備</th> <th>手順書</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>非常用ディーゼル発電機</td> <td>非常用ディーゼル発電機 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁</td> <td>非常用ディーゼル発電機 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁</td> <td>非常用ディーゼル発電機 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁</td> <td>非常用操作手順書（図参照） 「注1」参照 非常用操作手順書（図参照） 「注1」参照 非常用操作手順書（図参照） 「注1」参照 非常用操作手順書（図参照） 「注1」参照 非常用操作手順書（図参照） 「注1」参照 非常用操作手順書（図参照） 「注1」参照</td> </tr> </tbody> </table>	分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順書	非常用ディーゼル発電機	非常用ディーゼル発電機 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁	非常用ディーゼル発電機 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁	非常用ディーゼル発電機 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁	非常用操作手順書（図参照） 「注1」参照 非常用操作手順書（図参照） 「注1」参照 非常用操作手順書（図参照） 「注1」参照 非常用操作手順書（図参照） 「注1」参照 非常用操作手順書（図参照） 「注1」参照 非常用操作手順書（図参照） 「注1」参照	<p style="text-align: center;">第2.1.17表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順 (1.14) (1/5)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">分類</th> <th rowspan="2">機能喪失を想定する設計基準事故対処設備</th> <th rowspan="2">HSE対応</th> <th colspan="2">対応設備</th> <th rowspan="2">整備する手順書</th> <th rowspan="2">手順書の目録</th> </tr> <tr> <th>設備</th> <th>設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">非常用ディーゼル発電機</td> <td rowspan="2">非常用ディーゼル発電機 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁</td> <td rowspan="2">非常用ディーゼル発電機 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁</td> <td>非常用ディーゼル発電機</td> <td>高圧炉心スプレッドディーゼル発電機</td> <td rowspan="2">非常用操作手順書（図参照） 「注1」参照 非常用操作手順書（図参照） 「注1」参照 非常用操作手順書（図参照） 「注1」参照 非常用操作手順書（図参照） 「注1」参照</td> <td rowspan="2">非常用操作手順書（図参照） 「注1」参照 非常用操作手順書（図参照） 「注1」参照 非常用操作手順書（図参照） 「注1」参照 非常用操作手順書（図参照） 「注1」参照</td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁</td> <td>高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁</td> </tr> </tbody> </table>	分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	HSE対応	対応設備		整備する手順書	手順書の目録	設備	設備	非常用ディーゼル発電機	非常用ディーゼル発電機 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁	非常用ディーゼル発電機 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁	非常用ディーゼル発電機	高圧炉心スプレッドディーゼル発電機	非常用操作手順書（図参照） 「注1」参照 非常用操作手順書（図参照） 「注1」参照 非常用操作手順書（図参照） 「注1」参照 非常用操作手順書（図参照） 「注1」参照	非常用操作手順書（図参照） 「注1」参照 非常用操作手順書（図参照） 「注1」参照 非常用操作手順書（図参照） 「注1」参照 非常用操作手順書（図参照） 「注1」参照	非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁	高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁	<p>【大阪】記載方針の相違(女川審査実績反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は、女川審査実績を反映し、技術的能力1.2~1.14で整備する手順と用いる設備について第2.1.5表~第2.1.17表に整理し、大規模損壊に特化した手順についてはこれらの表とは別の表（第2.1.18表）として整理するため記載が異なる。記載方針の相違であり、実質的な相違はない。 <p>【大阪】記載方針の相違(女川審査実績反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は、流路及び電路として使用する設備を記載する。 <p>【大阪】記載方針の相違(女川審査実績反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は、重大事故等対処設備（設計基準損壊）による対応手段を整理している。
	分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順書																										
非常用ディーゼル発電機	非常用ディーゼル発電機 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁	非常用ディーゼル発電機 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁	非常用ディーゼル発電機 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁	非常用操作手順書（図参照） 「注1」参照 非常用操作手順書（図参照） 「注1」参照 非常用操作手順書（図参照） 「注1」参照 非常用操作手順書（図参照） 「注1」参照 非常用操作手順書（図参照） 「注1」参照 非常用操作手順書（図参照） 「注1」参照																											
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	HSE対応	対応設備		整備する手順書	手順書の目録																									
			設備	設備																											
非常用ディーゼル発電機	非常用ディーゼル発電機 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁	非常用ディーゼル発電機 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁	非常用ディーゼル発電機	高圧炉心スプレッドディーゼル発電機	非常用操作手順書（図参照） 「注1」参照 非常用操作手順書（図参照） 「注1」参照 非常用操作手順書（図参照） 「注1」参照 非常用操作手順書（図参照） 「注1」参照	非常用操作手順書（図参照） 「注1」参照 非常用操作手順書（図参照） 「注1」参照 非常用操作手順書（図参照） 「注1」参照 非常用操作手順書（図参照） 「注1」参照																									
			非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁	高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁																											
<p style="text-align: center;">第2.1-17表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順(1.14) (2/5)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機能喪失を想定する設計基準事故対処設備</th> <th>対応手段</th> <th>対処設備</th> <th>手順書</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>非常用ディーゼル発電機</td> <td>非常用ディーゼル発電機 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁</td> <td>非常用ディーゼル発電機 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁</td> <td>非常用ディーゼル発電機 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁</td> <td>非常用操作手順書（図参照） 「注1」参照 非常用操作手順書（図参照） 「注1」参照 非常用操作手順書（図参照） 「注1」参照 非常用操作手順書（図参照） 「注1」参照</td> </tr> </tbody> </table>	分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順書	非常用ディーゼル発電機	非常用ディーゼル発電機 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁	非常用ディーゼル発電機 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁	非常用ディーゼル発電機 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁	非常用操作手順書（図参照） 「注1」参照 非常用操作手順書（図参照） 「注1」参照 非常用操作手順書（図参照） 「注1」参照 非常用操作手順書（図参照） 「注1」参照	<p style="text-align: center;">第2.1.17表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順 (1.14) (2/5)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">分類</th> <th rowspan="2">機能喪失を想定する設計基準事故対処設備</th> <th rowspan="2">HSE対応</th> <th colspan="2">対応設備</th> <th rowspan="2">整備する手順書</th> <th rowspan="2">手順書の目録</th> </tr> <tr> <th>設備</th> <th>設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">非常用ディーゼル発電機</td> <td rowspan="2">非常用ディーゼル発電機 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁</td> <td rowspan="2">非常用ディーゼル発電機 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁</td> <td>非常用ディーゼル発電機</td> <td>高圧炉心スプレッドディーゼル発電機</td> <td rowspan="2">非常用操作手順書（図参照） 「注1」参照 非常用操作手順書（図参照） 「注1」参照 非常用操作手順書（図参照） 「注1」参照 非常用操作手順書（図参照） 「注1」参照</td> <td rowspan="2">非常用操作手順書（図参照） 「注1」参照 非常用操作手順書（図参照） 「注1」参照 非常用操作手順書（図参照） 「注1」参照 非常用操作手順書（図参照） 「注1」参照</td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁</td> <td>高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁</td> </tr> </tbody> </table>	分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	HSE対応	対応設備		整備する手順書	手順書の目録	設備	設備	非常用ディーゼル発電機	非常用ディーゼル発電機 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁	非常用ディーゼル発電機 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁	非常用ディーゼル発電機	高圧炉心スプレッドディーゼル発電機	非常用操作手順書（図参照） 「注1」参照 非常用操作手順書（図参照） 「注1」参照 非常用操作手順書（図参照） 「注1」参照 非常用操作手順書（図参照） 「注1」参照	非常用操作手順書（図参照） 「注1」参照 非常用操作手順書（図参照） 「注1」参照 非常用操作手順書（図参照） 「注1」参照 非常用操作手順書（図参照） 「注1」参照	非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁	高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁	<p>【大阪】記載方針の相違(女川審査実績反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は、重大事故等対処設備（設計基準損壊）による対応手段を整理している。 	
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順書																											
非常用ディーゼル発電機	非常用ディーゼル発電機 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁	非常用ディーゼル発電機 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁	非常用ディーゼル発電機 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁	非常用操作手順書（図参照） 「注1」参照 非常用操作手順書（図参照） 「注1」参照 非常用操作手順書（図参照） 「注1」参照 非常用操作手順書（図参照） 「注1」参照																											
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	HSE対応	対応設備		整備する手順書	手順書の目録																									
			設備	設備																											
非常用ディーゼル発電機	非常用ディーゼル発電機 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁	非常用ディーゼル発電機 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁 非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁 高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁	非常用ディーゼル発電機	高圧炉心スプレッドディーゼル発電機	非常用操作手順書（図参照） 「注1」参照 非常用操作手順書（図参照） 「注1」参照 非常用操作手順書（図参照） 「注1」参照 非常用操作手順書（図参照） 「注1」参照	非常用操作手順書（図参照） 「注1」参照 非常用操作手順書（図参照） 「注1」参照 非常用操作手順書（図参照） 「注1」参照 非常用操作手順書（図参照） 「注1」参照																									
			非常用ディーゼル発電機燃料送配管・弁	高圧炉心スプレッドディーゼル発電機燃料送配管・弁																											

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第2.1.17表 重大事故等及び大規模損壊対応設備と整備する手順(1.14) (1/3)

第2.1-17表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順(1.14)(3/5)

第2.1.17表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順 (1.14) (2/5)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順の分類
非常用交流電源設備 (全交流動力電源)	当直の非常用交流電源 燃料油圧降下ポンプ* 蒸気システム* ポンプローリー* 各種用電力機器用ケーブル (3号~4号) ディーゼル発電機 (3号炉)*	当直の非常用交流電源	非常用交流電源設備による電線の復旧手順	非常用交流電源設備による電線の復旧手順 (3号~4号)	中心の新しい機器及び燃料油圧降下ポンプの燃料油供給を防止する運転手順書
			燃料油圧降下ポンプ	燃料油圧降下ポンプ	
			蒸気システム	蒸気システム	
			ポンプローリー	ポンプローリー	
ディーゼル発電機 (全交流動力)	ディーゼル発電機 (3号~4号) 各種用電力機器用ケーブル (3号~4号) ディーゼル発電機 (3号炉)*	ディーゼル発電機	ディーゼル発電機による電線の復旧手順	ディーゼル発電機による電線の復旧手順 (3号~4号)	中心の新しい機器及び燃料油供給を防止する運転手順書
			各種用電力機器用ケーブル	各種用電力機器用ケーブル	
			ディーゼル発電機	ディーゼル発電機	
			ディーゼル発電機	ディーゼル発電機	

注1：当直の非常用交流電源は、燃料油圧降下ポンプ、蒸気システム、ポンプローリーによる電線の復旧に使用される。
注2：燃料油圧降下ポンプは、燃料油圧降下ポンプの燃料油供給を防止する運転手順書に使用される。
注3：蒸気システムは、3号炉に対しては4号炉、4号炉に対しては3号炉を使用する。
注4：各種用電力機器用ケーブル (1, 2号~3, 4号) は、供給元を1号炉及び2号炉とし、高電圧を2号炉又は4号炉、3号炉及び4号炉とする。

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備 (全交流動力電源喪失)	対応手段	対応設備	整備する手順書
非常用交流電源設備 (全交流動力電源喪失)	非常用交流電源設備 (全交流動力電源喪失)	非常用交流電源設備による電線の復旧手順	非常用交流電源設備による電線の復旧手順	非常用交流電源設備による電線の復旧手順 (7号C (3) 自動受電)
			燃料油圧降下ポンプ	燃料油圧降下ポンプ
			蒸気システム	蒸気システム
			ポンプローリー	ポンプローリー
ディーゼル発電機 (全交流動力)	ディーゼル発電機 (全交流動力)	ディーゼル発電機による電線の復旧手順	ディーゼル発電機による電線の復旧手順	ディーゼル発電機による電線の復旧手順 (7号C (3) 自動受電)
			各種用電力機器用ケーブル	各種用電力機器用ケーブル
			ディーゼル発電機	ディーゼル発電機
			ディーゼル発電機	ディーゼル発電機

注：125V 発電機 (2A)、125V 発電機 (2B) 及び 250V 発電機 (2C) の電圧は、運転員による操作による動作である。

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順の分類
非常用交流電源設備 (全交流動力)	非常用交流電源設備 (全交流動力)	非常用交流電源設備による電線の復旧手順	非常用交流電源設備による電線の復旧手順	非常用交流電源設備による電線の復旧手順 (7号C (3) 自動受電)	中心の新しい機器及び燃料油供給を防止する運転手順書
			燃料油圧降下ポンプ	燃料油圧降下ポンプ	
			蒸気システム	蒸気システム	
			ポンプローリー	ポンプローリー	
ディーゼル発電機 (全交流動力)	ディーゼル発電機 (全交流動力)	ディーゼル発電機による電線の復旧手順	ディーゼル発電機による電線の復旧手順	ディーゼル発電機による電線の復旧手順 (7号C (3) 自動受電)	中心の新しい機器及び燃料油供給を防止する運転手順書
			各種用電力機器用ケーブル	各種用電力機器用ケーブル	
			ディーゼル発電機	ディーゼル発電機	
			ディーゼル発電機	ディーゼル発電機	

*1： 非常用交流電源設備、可搬型非常用交流電源設備に使用される。
*2： ディーゼル発電機燃料油供給ポンプは、可搬型ポンプローリーによるディーゼル発電機燃料油供給設備からの燃料油供給を受けていない場合は、使用しない。
*3： 重大事故等対応において用いる設備の分類。
*4： 当直の非常用交流電源及びディーゼル発電機による電線の復旧に使用される。

【大阪】記載方針の相違 (女川審査実績反映)
・泊は、女川審査実績を反映し、技術的能力 1.2~1.14 で整備する手順と用いる設備について第2.1.5表~第2.1.17表に整理し、大規模損壊に特化した手順についてはこれらの表とは別の表 (第2.1.18表) として整理するため記載が異なる。記載方針の相違であり、実質的な相違はない。

【大阪】記載方針の相違 (女川審査実績反映)
・泊は、流路及び電路として使用する設備を記載する。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉

第2.1.17表 重大事故等及び大規模損壊対応設備と整備する手順(1.14) (2/3)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順書の分類
外部電源設備	ディーゼル発電機 (全交流動力用)	非常電源 (全交流動力用)	非常電源 (全交流動力用)	非常電源による電圧の復旧手順 大規模損壊時に対応する手順	中心の新しい損傷及び特殊故障を抑制する運転手順
	ディーゼル発電機 (全交流動力用) 及び非常電源 (全交流動力用) (常備)	代替電源 (常備) からの電圧 可搬式発電機	可搬式発電機 可搬式発電機	可搬式発電機を用いた 大規模損壊時の手順 大規模損壊時に対応する手順	S A所達**

以下は発電所対策本部が使用する可搬型設備による対応を中心とした手順書及び当該手順書に記載する設備を示す。
※1：「大飯発電所 重大事故等発生時における原子炉施設の保全のための対応に関する手順」

女川原子力発電所2号炉

第2.1-17表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順(1.14) (4/5)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	手順書
外部電源設備	非常用交流電源設備 (全交流動力用) 非常用直流電源設備 (非常用直流電源用)	非常電源 (全交流動力用)	120V 非常電源 250V 非常電源* 120V 非常電源 250V 非常電源 非常用交流電源設備 (全交流動力用) 非常用直流電源設備 (非常用直流電源用) 非常用ディーゼル発電機燃料移送装置* 等 高圧中心冷却システム(ディーゼル発電機燃料移送装置) 等 ガスタービン発電機燃料移送装置* 等	非常用操作手順書 (設備別) 120V 非常電源による 120V 直流主母線 2A-1 (2B-1) への給電 非常用操作手順書 (設備別) 120V 非常電源による 250V 直流主母線 への給電 重大事故等対応手順書 「非常電源による 120V 非常電源及び 250V 非常電源への給電」(B 設備別)
	非常用交流電源設備 (全交流動力用) 非常用直流電源設備 (非常用直流電源用)	非常電源 (全交流動力用)	120V 非常電源及び 120V 非常電源 120V 非常電源 2A-1 及び 120V 非常電源 2B-1 電路 250V 非常電源及び 250V 非常電源 250V 非常電源 電源車～電源車接続口 (原子炉棟内) 電路 電源車接続口 (原子炉棟内) ～120V 直流主母線 2A-1 及び 120V 直流主母線 2B-1 電路 電源車接続口 (原子炉棟内) ～250V 直流主母線電路	重大事故等対応手順書 「非常電源による 120V 非常電源及び 250V 非常電源への給電」(B 設備別)

※1：250V 非常電源からの給電は、運転員による操作不要の動作である。

第2.1-17表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順(1.14) (5/5)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	手順書
外部電源設備	非常用交流電源設備 (全交流動力用) 非常用直流電源設備 (非常用直流電源用)	非常電源 (全交流動力用)	120V 非常電源 250V 非常電源* 120V 非常電源 250V 非常電源 非常用交流電源設備 (全交流動力用) 非常用直流電源設備 (非常用直流電源用) 非常用ディーゼル発電機燃料移送装置* 等 高圧中心冷却システム(ディーゼル発電機燃料移送装置) 等 ガスタービン発電機燃料移送装置* 等	非常用操作手順書 (設備別) 120V 非常電源による 120V 直流主母線 2A-1 (2B-1) への給電 重大事故等対応手順書 「非常電源による 120V 非常電源及び 250V 非常電源への給電」(B 設備別)
	非常用交流電源設備 (全交流動力用) 非常用直流電源設備 (非常用直流電源用)	非常電源 (全交流動力用)	120V 非常電源及び 120V 非常電源 120V 非常電源 2A-1 及び 120V 非常電源 2B-1 電路 250V 非常電源 電源車～電源車接続口 (原子炉棟内) 電路 電源車接続口 (原子炉棟内) ～120V 直流主母線 2A-1 及び 120V 直流主母線 2B-1 電路 電源車接続口 (原子炉棟内) ～250V 直流主母線電路	重大事故等対応手順書 「非常電源による 120V 非常電源及び 250V 非常電源への給電」(B 設備別)

泊発電所3号炉

第2.1.17表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順 (1.14) (3/5)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	設備分類	整備する手順書	手順書の分類
外部電源設備	非常用交流電源設備 (全交流動力用)	非常電源 (全交流動力用)	非常電源 (全交流動力用)	非常電源 (全交流動力用)	非常電源による電圧の復旧手順 大規模損壊時に対応する手順	中心の新しい損傷及び特殊故障を抑制する運転手順
	非常用交流電源設備 (全交流動力用) 及び非常電源 (全交流動力用) (常備)	代替電源 (常備) からの電圧 可搬式発電機	可搬式発電機 可搬式発電機	可搬式発電機 可搬式発電機	可搬式発電機を用いた 大規模損壊時の手順 大規模損壊時に対応する手順	中心の新しい損傷及び特殊故障を抑制する運転手順

以下は発電所対策本部が使用する可搬型設備による対応を中心とした手順書及び当該手順書に記載する設備を示す。
※1：可搬型発電機は、運転員による操作不要の動作である。
※2：最大事故等対応において用いる設備の分類
※3：当該表に適合する最大事故等対応設備 ※3に適合する最大事故等対応設備 ※3の別表として整備する最大事故等対応設備

相違理由

【大飯】記載方針の相違(女川審査実績反映)
・泊は、女川審査実績を反映し、技術的能力 1.2~1.14 で整備する手順と用いる設備について第2.1.5表~第2.1.17表に整理し、大規模損壊に特化した手順についてはこれらの表とは別の表(第2.1.18表)として整理するため記載が異なる。記載方針の相違であり、実質的な相違はない。
【大飯】記載方針の相違(女川審査実績反映)
・泊は、流路及び電路として使用する設備を記載する。

第2.1.17表 重大事故等及び大規模損壊対応設備と整備する手順 (1.14) (3/3)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順書の分類
内部電気設備	非常用交流電源設備 (全交流動力用) 非常用直流電源設備 (非常用直流電源用)	非常電源 (全交流動力用)	120V 非常電源 250V 非常電源* 120V 非常電源 250V 非常電源 非常用交流電源設備 (全交流動力用) 非常用直流電源設備 (非常用直流電源用) 非常用ディーゼル発電機燃料移送装置* 等 高圧中心冷却システム(ディーゼル発電機燃料移送装置) 等 ガスタービン発電機燃料移送装置* 等	非常用操作手順書 (設備別) 120V 非常電源による 120V 直流主母線 2A-1 (2B-1) への給電 重大事故等対応手順書 「非常電源による 120V 非常電源及び 250V 非常電源への給電」(B 設備別)	中心の新しい損傷及び特殊故障を抑制する運転手順
	非常用交流電源設備 (全交流動力用) 非常用直流電源設備 (非常用直流電源用)	非常電源 (全交流動力用)	120V 非常電源及び 120V 非常電源 120V 非常電源 2A-1 及び 120V 非常電源 2B-1 電路 250V 非常電源 電源車～電源車接続口 (原子炉棟内) 電路 電源車接続口 (原子炉棟内) ～120V 直流主母線 2A-1 及び 120V 直流主母線 2B-1 電路 電源車接続口 (原子炉棟内) ～250V 直流主母線電路	重大事故等対応手順書 「非常電源による 120V 非常電源及び 250V 非常電源への給電」(B 設備別)	S A所達**

以下は発電所対策本部が使用する可搬型設備による対応を中心とした手順書及び当該手順書に記載する設備を示す。
※1：「大飯発電所 重大事故等発生時における原子炉施設の保全のための対応に関する手順」
※2：交流式非常用発電機、可搬式及びディーゼル発電機の燃料タンクに使用する。

第2.1.17表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順 (1.14) (4/5)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	設備分類	整備する手順書	手順書の分類
内部電気設備	非常用交流電源設備 (全交流動力用) 非常用直流電源設備 (非常用直流電源用)	非常電源 (全交流動力用)	120V 非常電源 250V 非常電源* 120V 非常電源 250V 非常電源 非常用交流電源設備 (全交流動力用) 非常用直流電源設備 (非常用直流電源用) 非常用ディーゼル発電機燃料移送装置* 等 高圧中心冷却システム(ディーゼル発電機燃料移送装置) 等 ガスタービン発電機燃料移送装置* 等	非常電源 (全交流動力用)	非常電源による電圧の復旧手順 大規模損壊時に対応する手順	中心の新しい損傷及び特殊故障を抑制する運転手順
	非常用交流電源設備 (全交流動力用) 非常用直流電源設備 (非常用直流電源用)	非常電源 (全交流動力用)	120V 非常電源及び 120V 非常電源 120V 非常電源 2A-1 及び 120V 非常電源 2B-1 電路 250V 非常電源 電源車～電源車接続口 (原子炉棟内) 電路 電源車接続口 (原子炉棟内) ～120V 直流主母線 2A-1 及び 120V 直流主母線 2B-1 電路 電源車接続口 (原子炉棟内) ～250V 直流主母線電路	非常電源 (全交流動力用)	可搬式発電機 可搬式発電機	中心の新しい損傷及び特殊故障を抑制する運転手順

以下は発電所対策本部が使用する可搬型設備による対応を中心とした手順書及び当該手順書に記載する設備を示す。
※1：非常用交流電源設備、可搬式及び可搬型燃料移送装置に使用する。
※2：ディーゼル発電機燃料移送装置は、可搬タンクローリーによるディーゼル発電機燃料移送装置からの燃料供給により稼働しない場合に使用する。
※3：最大事故等対応において用いる設備の分類
※4：当該表に適合する最大事故等対応設備 ※3に適合する最大事故等対応設備 ※3の別表として整備する最大事故等対応設備

第2.1.17表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順 (1.14) (5/5)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	設備分類	整備する手順書	手順書の分類
内部電気設備	非常用交流電源設備 (全交流動力用) 非常用直流電源設備 (非常用直流電源用)	非常電源 (全交流動力用)	120V 非常電源 250V 非常電源* 120V 非常電源 250V 非常電源 非常用交流電源設備 (全交流動力用) 非常用直流電源設備 (非常用直流電源用) 非常用ディーゼル発電機燃料移送装置* 等 高圧中心冷却システム(ディーゼル発電機燃料移送装置) 等 ガスタービン発電機燃料移送装置* 等	非常電源 (全交流動力用)	非常電源による電圧の復旧手順 大規模損壊時に対応する手順	中心の新しい損傷及び特殊故障を抑制する運転手順
	非常用交流電源設備 (全交流動力用) 非常用直流電源設備 (非常用直流電源用)	非常電源 (全交流動力用)	120V 非常電源及び 120V 非常電源 120V 非常電源 2A-1 及び 120V 非常電源 2B-1 電路 250V 非常電源 電源車～電源車接続口 (原子炉棟内) 電路 電源車接続口 (原子炉棟内) ～120V 直流主母線 2A-1 及び 120V 直流主母線 2B-1 電路 電源車接続口 (原子炉棟内) ～250V 直流主母線電路	非常電源 (全交流動力用)	可搬式発電機 可搬式発電機	中心の新しい損傷及び特殊故障を抑制する運転手順

以下は発電所対策本部が使用する可搬型設備による対応を中心とした手順書及び当該手順書に記載する設備を示す。
※1：ディーゼル発電機燃料移送装置は、可搬タンクローリーによるディーゼル発電機燃料移送装置からの燃料供給により稼働しない場合に使用する。
※2：最大事故等対応において用いる設備の分類
※3：当該表に適合する最大事故等対応設備 ※3に適合する最大事故等対応設備 ※3の別表として整備する最大事故等対応設備

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

泊3号炉との比較対象なし

第2.1-18表 大規模損壊に特化した手順(1/2)

想定	対応手段	対応手順	対応設備	整備する手順の分類
原子炉格納容器が破損した場合で大気への放射性物質の拡散抑制が必要となる場合	大気への放射性物質の拡散抑制	注水用ヘッジを活用した注水手順	ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッジ 放水船	大規模損壊発生判断後遂行可能な手順
大容量送水ポンプ(タイプ1)による原子炉格納容器下部への注水が必要な場合で注水用ヘッジが使用できない場合	大容量送水ポンプ(タイプ1)と接続口に直接接続した原子炉格納容器下部への注水	大容量送水ポンプ(タイプ1)と接続口に直接接続した原子炉格納容器下部注水手順	ホース延長回収車 ホース・接続口 燃料補給設備	大規模損壊発生判断後遂行可能な手順
大容量送水ポンプ(タイプ1)による原子炉格納容器下部への注水が必要な場合で注水用ヘッジが使用できない場合	原子炉格納容器下部注水用(可搬型)による原子炉格納容器下部への注水	大容量送水ポンプ(タイプ1)と接続口に直接接続した原子炉格納容器下部注水手順	ホース延長回収車 ホース・接続口 燃料補給設備	大規模損壊発生判断後遂行可能な手順
大容量送水ポンプ(タイプ1)による原子炉格納容器下部への注水が必要な場合で注水用ヘッジが使用できない場合	燃料プール代替注水(常設配置)による注水	大容量送水ポンプ(タイプ1)と接続口に直接接続した燃料プール代替注水手順(常設/可搬)	ホース延長回収車 ホース・接続口 燃料補給設備	大規模損壊発生判断後遂行可能な手順
大容量送水ポンプ(タイプ1)による原子炉格納容器下部への注水が必要な場合で注水用ヘッジが使用できない場合	燃料プールのスプレッドによる注水	大容量送水ポンプ(タイプ1)と接続口に直接接続した燃料プールのスプレッド注水手順(常設/可搬)	ホース延長回収車 ホース・接続口 燃料補給設備	大規模損壊発生判断後遂行可能な手順
大容量送水ポンプ(タイプ1)による原子炉格納容器下部への注水が必要な場合で注水用ヘッジが使用できない場合	潜水作業員による注水	大容量送水ポンプ(タイプ1)と接続口に直接接続した潜水作業員による注水手順	ホース延長回収車 ホース・接続口 燃料補給設備	大規模損壊発生判断後遂行可能な手順
大容量送水ポンプ(タイプ1)による注水用ヘッジを活用した大気への放射性物質の拡散抑制が必要となる場合	大気への放射性物質の拡散抑制	大容量送水ポンプ(タイプ1)と放水船による注水手順	ホース延長回収車 ホース 放水船	大規模損壊発生判断後遂行可能な手順

第2.1.18表 大規模損壊に特化した手順(1/2)

想定	対応手段	対応手順	対応設備	整備する手順の分類
原子炉格納容器が破損した場合で大気への放射性物質の拡散抑制が必要となる場合	1次冷却系のフリード フリード	ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッジ 放水船	ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッジ 放水船	大規模損壊発生判断後遂行可能な手順
大容量送水ポンプ(タイプ1)による原子炉格納容器下部への注水が必要な場合で注水用ヘッジが使用できない場合	大容量送水ポンプ(タイプ1)と接続口に直接接続した原子炉格納容器下部注水手順	大容量送水ポンプ(タイプ1)と接続口に直接接続した原子炉格納容器下部注水手順	ホース延長回収車 ホース・接続口 燃料補給設備	大規模損壊発生判断後遂行可能な手順
大容量送水ポンプ(タイプ1)による原子炉格納容器下部への注水が必要な場合で注水用ヘッジが使用できない場合	原子炉格納容器下部注水用(可搬型)による原子炉格納容器下部への注水	大容量送水ポンプ(タイプ1)と接続口に直接接続した原子炉格納容器下部注水手順	ホース延長回収車 ホース・接続口 燃料補給設備	大規模損壊発生判断後遂行可能な手順
大容量送水ポンプ(タイプ1)による原子炉格納容器下部への注水が必要な場合で注水用ヘッジが使用できない場合	燃料プール代替注水(常設配置)による注水	大容量送水ポンプ(タイプ1)と接続口に直接接続した燃料プール代替注水手順(常設/可搬)	ホース延長回収車 ホース・接続口 燃料補給設備	大規模損壊発生判断後遂行可能な手順
大容量送水ポンプ(タイプ1)による原子炉格納容器下部への注水が必要な場合で注水用ヘッジが使用できない場合	燃料プールのスプレッドによる注水	大容量送水ポンプ(タイプ1)と接続口に直接接続した燃料プールのスプレッド注水手順(常設/可搬)	ホース延長回収車 ホース・接続口 燃料補給設備	大規模損壊発生判断後遂行可能な手順
大容量送水ポンプ(タイプ1)による原子炉格納容器下部への注水が必要な場合で注水用ヘッジが使用できない場合	潜水作業員による注水	大容量送水ポンプ(タイプ1)と接続口に直接接続した潜水作業員による注水手順	ホース延長回収車 ホース・接続口 燃料補給設備	大規模損壊発生判断後遂行可能な手順
大容量送水ポンプ(タイプ1)による注水用ヘッジを活用した大気への放射性物質の拡散抑制が必要となる場合	大気への放射性物質の拡散抑制	大容量送水ポンプ(タイプ1)と放水船による注水手順	ホース延長回収車 ホース 放水船	大規模損壊発生判断後遂行可能な手順

【大飯】記載方針の相違(女川審査実績反映)
 ・泊は、女川審査実績を反映し、大規模損壊に特化した手順については、技術的能力1.2~1.14で整備する手順等(第2.1.5表~第2.1.17表)とは別にして整理するため記載が異なる。
 【大飯】記載方針の相違(女川審査実績反映)
 ・泊は、流路及び電路として使用する設備を記載する。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

泊3号炉との比較対象なし

第2.1-18表 大規模損壊に特化した手順(2/2)

想定	対応手段	対応手順	対応設備	整備する手順の分類
航空機燃料火災が発生した場合	航空機燃料火災への消漏剤	消水タンクをへんとした貯水罐による消火手順	大容量消水ポンプ（ライプ）ホース延長回収車 ホース 放水砲 泡消火薬剤混合装置 消水タンク 燃料補給設備	大規模損壊発生に即応可能な手順

第2.1.18表 大規模損壊に特化した手順 (2/2)

想定	対応手段	対応手順	対応設備	整備する手順の分類
可燃型大気送水ポンプ東にえる燃料貯蔵タンクへのスプレイができない場合	燃料貯蔵タンクへのスプレイ	化学消防自動車及び可燃型スプレインジェクタにより、燃料貯蔵タンクへの燃料貯蔵タンクへのスプレイを行う手順	化学消防自動車 可燃型スプレインジェクタ 燃料貯蔵タンク	大規模損壊発生に即応する手順
原子炉格納容器及びアンモニアスプレイが破損している場合又は破損の疑いがある場合で、破損箇所の修復作業が上昇している場合	燃料貯蔵タンクへのスプレイ	燃料貯蔵タンクスプレインジェクタによる原子炉格納容器内へのスプレイの手順	燃料貯蔵タンクスプレインジェクタ 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク	大規模損壊発生に即応する手順
非一格納容器スプレイポンプ（自立設備）による原子炉格納容器内へのスプレイの手順	燃料貯蔵タンクへのスプレイ	非一格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイの手順	非一格納容器スプレイポンプ 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク	大規模損壊発生に即応する手順
消水ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイの手順	燃料貯蔵タンクへのスプレイ	消水ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイの手順	消水ポンプ 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク	大規模損壊発生に即応する手順
可燃型大気送水ポンプ東にえる原子炉格納容器内へのスプレイの手順	燃料貯蔵タンクへのスプレイ	可燃型大気送水ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイの手順	可燃型大気送水ポンプ 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク 燃料貯蔵タンク	大規模損壊発生に即応する手順
非常用内電気設備からの給電が不能となった場合	非常用内電気設備	非常用内電気設備による給電	非常用内電気設備 非常用内電気設備 非常用内電気設備 非常用内電気設備	大規模損壊発生に即応する手順

【大飯】記載方針の相違(女川審査実績反映)

・泊は、女川審査実績を反映し、技術的能力1.2~1.14で整備する手順と用いる設備について第2.1.5表~第2.1.17表に整理し、大規模損壊に特化した手順についてはこれらの表とは別の表(第2.1.18表)として整理するため記載が異なる。記載方針の相違であり、実質的な相違はない。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																			
<p>第2.1.18表 大規模損壊時の対応に係る発電所要員の力量管理について</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>要員</th> <th>必要な任務</th> <th>力量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緊急時対策本部要員 (各班の班長以上)</td> <td>・発電所における災害対策活動の実施</td> <td>・設備、系統の知識（事故状況の把握や処置判断ができること） ・事故時の対応操作（処置判断等を行い、指揮（指示、命令等）が行えること）</td> </tr> <tr> <td>緊急時対策本部要員 (上記以外の要員)</td> <td>・発電所における災害対策活動の実施（班長指示による） ・班長の補佐</td> <td>・設備、系統の知識（事故状況の把握や処置判断ができること） ・事故時の対応操作（班長の補佐や通報連絡等の任務が行えること）</td> </tr> <tr> <td>運転員（当直員含む） 運転支援要員</td> <td>・災害状況の把握 ・事故拡大防止に必要な運転上の措置 ・事故対応時の個別作業（主蒸気逃がし弁操作（手動）、補助給水流量調整（手動）等）他</td> <td>・設備、系統の知識（事故状況の把握や処置判断、操作手順を理解していること） ・事故時の対応操作（処置判断等を行い、指揮（指示、命令等）が行えること、又は運転操作が行えること）</td> </tr> <tr> <td>緊急安全対策要員 (給水要員他)</td> <td>・事故対応時の個別作業（電源確保作業、可搬式代替低圧注水ポンプ起動準備作業、復水ビットへの補給作業、使用済燃料ビットへの注水作業等）他</td> <td>・設備、系統の知識（操作手順を理解していること（設備、資機材の設置位置等を含む）） ・事故時の対応操作（故障対応操作ができること）</td> </tr> </tbody> </table>	要員	必要な任務	力量	緊急時対策本部要員 (各班の班長以上)	・発電所における災害対策活動の実施	・設備、系統の知識（事故状況の把握や処置判断ができること） ・事故時の対応操作（処置判断等を行い、指揮（指示、命令等）が行えること）	緊急時対策本部要員 (上記以外の要員)	・発電所における災害対策活動の実施（班長指示による） ・班長の補佐	・設備、系統の知識（事故状況の把握や処置判断ができること） ・事故時の対応操作（班長の補佐や通報連絡等の任務が行えること）	運転員（当直員含む） 運転支援要員	・災害状況の把握 ・事故拡大防止に必要な運転上の措置 ・事故対応時の個別作業（主蒸気逃がし弁操作（手動）、補助給水流量調整（手動）等）他	・設備、系統の知識（事故状況の把握や処置判断、操作手順を理解していること） ・事故時の対応操作（処置判断等を行い、指揮（指示、命令等）が行えること、又は運転操作が行えること）	緊急安全対策要員 (給水要員他)	・事故対応時の個別作業（電源確保作業、可搬式代替低圧注水ポンプ起動準備作業、復水ビットへの補給作業、使用済燃料ビットへの注水作業等）他	・設備、系統の知識（操作手順を理解していること（設備、資機材の設置位置等を含む）） ・事故時の対応操作（故障対応操作ができること）	<p>第2.1-19表 大規模損壊発生時の対応に係る発電所員の力量管理について</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>要員</th> <th>必要な作業</th> <th>必要な力量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>重大事故等対策要員 ・本部長、本部長、各班長</td> <td>○発電所における災害対策活動の実施（本部長/班長指示による） ○関係箇所への情報提供 ○各班要員の活動状況把握</td> <td>○事故状況の把握 ○運転操作 ○事故対応手順の理解 ○所掌内容の理解 ○対策本部との情報共有 ○各班との連携</td> </tr> <tr> <td>重大事故等対策要員 ・各班員</td> <td>○事故状況の把握 ○事故拡大防止に必要な運転上の措置 ○除熱機能等確保に伴う措置 ○復旧対策の実施</td> <td>○運転操作 ○事故対応手順の理解 ○資機材の把握 ○配置場所の把握 ○所掌内容の理解 ○各班との情報共有 ○各班との連携</td> </tr> <tr> <td>運転員</td> <td>○事故状況の把握 ○事故拡大防止のための運転上の措置 ○除熱機能等確保に伴う措置 ○復旧対策の実施</td> <td>○個別手順の理解 ○資機材の把握 ○配置場所の把握 ○各班との情報共有 ○各班との連携</td> </tr> <tr> <td>実業組織（運転員を除く。）</td> <td>○資機材の移動、電源車による給電、原子炉への注水、使用済燃料プールへの注水等 ○消火活動</td> <td>○個別手順の理解 ○資機材の把握 ○配置場所の把握 ○各班との情報共有 ○各班との連携</td> </tr> <tr> <td>技術支援組織</td> <td>○事故拡大防止対策の検討 ○放射線・放射能の状況把握</td> <td>○各班との情報共有 ○個別手順の理解 ○資機材の把握 ○配置場所の把握</td> </tr> <tr> <td>運営支援組織</td> <td>○資材の調達及び輸送に関する一元管理 ○社外関係機関への通報・連絡</td> <td>○各班との情報共有 ○個別手順の理解 ○資機材の把握 ○配置場所の把握</td> </tr> </tbody> </table>	要員	必要な作業	必要な力量	重大事故等対策要員 ・本部長、本部長、各班長	○発電所における災害対策活動の実施（本部長/班長指示による） ○関係箇所への情報提供 ○各班要員の活動状況把握	○事故状況の把握 ○運転操作 ○事故対応手順の理解 ○所掌内容の理解 ○対策本部との情報共有 ○各班との連携	重大事故等対策要員 ・各班員	○事故状況の把握 ○事故拡大防止に必要な運転上の措置 ○除熱機能等確保に伴う措置 ○復旧対策の実施	○運転操作 ○事故対応手順の理解 ○資機材の把握 ○配置場所の把握 ○所掌内容の理解 ○各班との情報共有 ○各班との連携	運転員	○事故状況の把握 ○事故拡大防止のための運転上の措置 ○除熱機能等確保に伴う措置 ○復旧対策の実施	○個別手順の理解 ○資機材の把握 ○配置場所の把握 ○各班との情報共有 ○各班との連携	実業組織（運転員を除く。）	○資機材の移動、電源車による給電、原子炉への注水、使用済燃料プールへの注水等 ○消火活動	○個別手順の理解 ○資機材の把握 ○配置場所の把握 ○各班との情報共有 ○各班との連携	技術支援組織	○事故拡大防止対策の検討 ○放射線・放射能の状況把握	○各班との情報共有 ○個別手順の理解 ○資機材の把握 ○配置場所の把握	運営支援組織	○資材の調達及び輸送に関する一元管理 ○社外関係機関への通報・連絡	○各班との情報共有 ○個別手順の理解 ○資機材の把握 ○配置場所の把握	<p>第2.1.19表 大規模損壊発生時の対応に係る発電所員の力量管理について</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>要員</th> <th>必要な作業</th> <th>必要な力量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>災害対策本部要員 ・全体指揮者 ・通報連絡責任者 ・通報連絡者 ・消火責任者</td> <td>○発電所における災害対策活動の実施 ・班ごとに定められた職務</td> <td>○事故状況把握、対応判断 ○防災組織と役割、通報連絡基準 ○事故挙動の理解</td> </tr> <tr> <td>災害対策本部要員 ・上記以外の要員</td> <td>○発電所における災害対策活動の実施 ・班ごとに定められた職務</td> <td>○防災組織、相当職種の理解 ○担当する職務に必要な力量 例） ・影響緩和操作検討（持帰班） ・情報整理・状況把握（事務局） ・可搬型設備等の操作（運転班等）</td> </tr> <tr> <td>運転員（当直含む。）</td> <td>○事故状況の把握・整理 ○事故拡大防止のための運転上の措置 ○発電所設備の保全維持</td> <td>○状況判断、運転操作 ○運転手順等の理解 ○事故対応設備、挙動の理解</td> </tr> <tr> <td>発電所災害対策要員 (運転員を除く。) (協力会社含む。)</td> <td>○事故対応時の個別作業 ・電源確保作業 ・発電用原子炉、蒸気発生器への注水 ・原子炉格納容器の冷却 ・使用済燃料ビットへの注水 ・がれき撤去 他</td> <td>○大規模損壊時に対応する手順書に基づき担当する操作を実施できること（担当する手順の理解、可搬型重大事故等対応設備保管場所、操作等の理解）</td> </tr> </tbody> </table>	要員	必要な作業	必要な力量	災害対策本部要員 ・全体指揮者 ・通報連絡責任者 ・通報連絡者 ・消火責任者	○発電所における災害対策活動の実施 ・班ごとに定められた職務	○事故状況把握、対応判断 ○防災組織と役割、通報連絡基準 ○事故挙動の理解	災害対策本部要員 ・上記以外の要員	○発電所における災害対策活動の実施 ・班ごとに定められた職務	○防災組織、相当職種の理解 ○担当する職務に必要な力量 例） ・影響緩和操作検討（持帰班） ・情報整理・状況把握（事務局） ・可搬型設備等の操作（運転班等）	運転員（当直含む。）	○事故状況の把握・整理 ○事故拡大防止のための運転上の措置 ○発電所設備の保全維持	○状況判断、運転操作 ○運転手順等の理解 ○事故対応設備、挙動の理解	発電所災害対策要員 (運転員を除く。) (協力会社含む。)	○事故対応時の個別作業 ・電源確保作業 ・発電用原子炉、蒸気発生器への注水 ・原子炉格納容器の冷却 ・使用済燃料ビットへの注水 ・がれき撤去 他	○大規模損壊時に対応する手順書に基づき担当する操作を実施できること（担当する手順の理解、可搬型重大事故等対応設備保管場所、操作等の理解）	<p>【大阪】記載表現の相違 ・泊は、女川と同様に、技術的能力1.0添付資料1.0.9での整理を踏まえた記載表現としているが、記載内容に相違はない。</p>
要員	必要な任務	力量																																																				
緊急時対策本部要員 (各班の班長以上)	・発電所における災害対策活動の実施	・設備、系統の知識（事故状況の把握や処置判断ができること） ・事故時の対応操作（処置判断等を行い、指揮（指示、命令等）が行えること）																																																				
緊急時対策本部要員 (上記以外の要員)	・発電所における災害対策活動の実施（班長指示による） ・班長の補佐	・設備、系統の知識（事故状況の把握や処置判断ができること） ・事故時の対応操作（班長の補佐や通報連絡等の任務が行えること）																																																				
運転員（当直員含む） 運転支援要員	・災害状況の把握 ・事故拡大防止に必要な運転上の措置 ・事故対応時の個別作業（主蒸気逃がし弁操作（手動）、補助給水流量調整（手動）等）他	・設備、系統の知識（事故状況の把握や処置判断、操作手順を理解していること） ・事故時の対応操作（処置判断等を行い、指揮（指示、命令等）が行えること、又は運転操作が行えること）																																																				
緊急安全対策要員 (給水要員他)	・事故対応時の個別作業（電源確保作業、可搬式代替低圧注水ポンプ起動準備作業、復水ビットへの補給作業、使用済燃料ビットへの注水作業等）他	・設備、系統の知識（操作手順を理解していること（設備、資機材の設置位置等を含む）） ・事故時の対応操作（故障対応操作ができること）																																																				
要員	必要な作業	必要な力量																																																				
重大事故等対策要員 ・本部長、本部長、各班長	○発電所における災害対策活動の実施（本部長/班長指示による） ○関係箇所への情報提供 ○各班要員の活動状況把握	○事故状況の把握 ○運転操作 ○事故対応手順の理解 ○所掌内容の理解 ○対策本部との情報共有 ○各班との連携																																																				
重大事故等対策要員 ・各班員	○事故状況の把握 ○事故拡大防止に必要な運転上の措置 ○除熱機能等確保に伴う措置 ○復旧対策の実施	○運転操作 ○事故対応手順の理解 ○資機材の把握 ○配置場所の把握 ○所掌内容の理解 ○各班との情報共有 ○各班との連携																																																				
運転員	○事故状況の把握 ○事故拡大防止のための運転上の措置 ○除熱機能等確保に伴う措置 ○復旧対策の実施	○個別手順の理解 ○資機材の把握 ○配置場所の把握 ○各班との情報共有 ○各班との連携																																																				
実業組織（運転員を除く。）	○資機材の移動、電源車による給電、原子炉への注水、使用済燃料プールへの注水等 ○消火活動	○個別手順の理解 ○資機材の把握 ○配置場所の把握 ○各班との情報共有 ○各班との連携																																																				
技術支援組織	○事故拡大防止対策の検討 ○放射線・放射能の状況把握	○各班との情報共有 ○個別手順の理解 ○資機材の把握 ○配置場所の把握																																																				
運営支援組織	○資材の調達及び輸送に関する一元管理 ○社外関係機関への通報・連絡	○各班との情報共有 ○個別手順の理解 ○資機材の把握 ○配置場所の把握																																																				
要員	必要な作業	必要な力量																																																				
災害対策本部要員 ・全体指揮者 ・通報連絡責任者 ・通報連絡者 ・消火責任者	○発電所における災害対策活動の実施 ・班ごとに定められた職務	○事故状況把握、対応判断 ○防災組織と役割、通報連絡基準 ○事故挙動の理解																																																				
災害対策本部要員 ・上記以外の要員	○発電所における災害対策活動の実施 ・班ごとに定められた職務	○防災組織、相当職種の理解 ○担当する職務に必要な力量 例） ・影響緩和操作検討（持帰班） ・情報整理・状況把握（事務局） ・可搬型設備等の操作（運転班等）																																																				
運転員（当直含む。）	○事故状況の把握・整理 ○事故拡大防止のための運転上の措置 ○発電所設備の保全維持	○状況判断、運転操作 ○運転手順等の理解 ○事故対応設備、挙動の理解																																																				
発電所災害対策要員 (運転員を除く。) (協力会社含む。)	○事故対応時の個別作業 ・電源確保作業 ・発電用原子炉、蒸気発生器への注水 ・原子炉格納容器の冷却 ・使用済燃料ビットへの注水 ・がれき撤去 他	○大規模損壊時に対応する手順書に基づき担当する操作を実施できること（担当する手順の理解、可搬型重大事故等対応設備保管場所、操作等の理解）																																																				

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

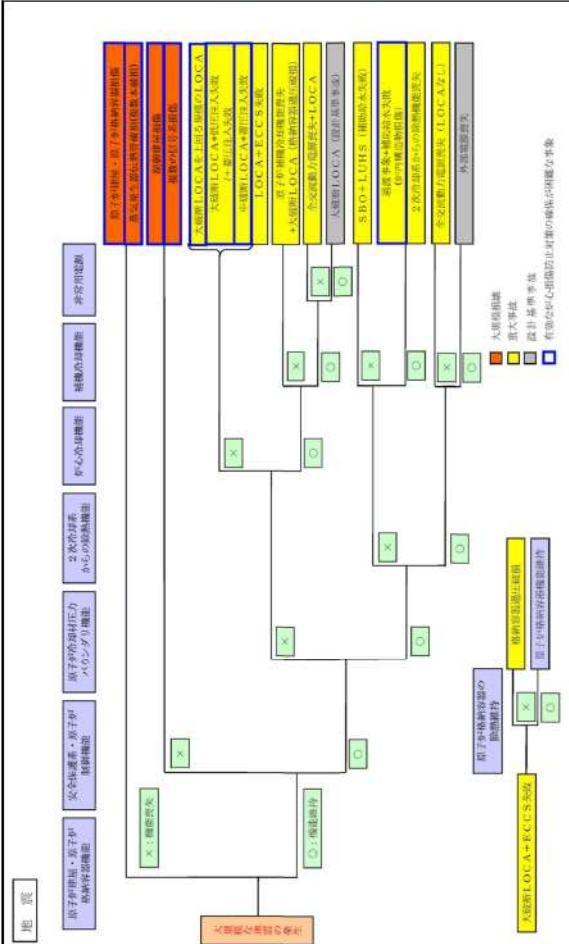
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>① 外部事象の収集 大規模損壊を発生させる可能性のある外部事象を抽出するに当たり、まずは、プラントの安全性に影響を与える可能性のある外部事象を網羅的に収集するため、国内外の基準等で示されている外部事象を参考に74事象を収集</p> <p>② 海外文献等を参考とした外部事象の選定基準の検討 海外文献や国内で検討されている評価手法を参考に以下の選定基準を検討 ・基準1：当該原子炉施設に影響を与えるほど接近した場所に発生しない事象 ・基準2：ハザード事象の進展・発生が遅く、事前にそのリスクを予知・検知することでハザードを排除できる事象 ・基準3：当該原子炉施設的设计上、考慮された事象と比較して、設備等への影響度が同等もしくはそれ以下、又は、プラントの安全性が損なわれることがない事象 ・基準4：影響が他の事象に含まれる事象 ・基準5：発生頻度が他の事象と比較して非常に低い事象 ・基準6：自然現象に該当しない事象[※]</p> <p>③ プラントの安全性に影響を与える可能性のある自然災害の選定 ②の選定基準に基づくスクリーニングにより、以下の11事象をプラントの安全性に影響を与える可能性のある外部事象として選定 ①地震 ⑦凍結 ②津波 ⑧森林火災 ③豪雪（降雪） ⑨生物学的事象 ④暴風（台風） ⑩落雷 ⑤竜巻 ⑪隕石 ⑥火山（火山活動・降灰）</p> <p>④ 自然災害11事象の規模の想定 ③の自然災害11事象について、プラントの安全性に影響を与えるような規模として、設計基準等を越える規模を想定する。</p> <p>⑤ 大規模損壊を発生させる可能性のある自然災害の検討 ④の想定規模を踏まえて、自然災害11事象が与えるプラントへの影響等について個別に整理し、大規模損壊へ至る可能性のある自然災害を検討する。</p> <p>※ 21事象が該当するが、これらは「故意による大型航空機の衝突」に含まれる又は適切な管理により防護できるものと考えられる。</p>	<p>①外部事象の収集 発電用原子炉施設の安全性に影響を与える可能性のある外部事象を網羅的に収集するため、国内外の基準等で示されている外部事象を参考に32事象を収集。</p> <p>②個別の事象に対する発電用原子炉施設安全性への影響度評価（起因事象の特定） 収集した各自然現象について、設計基準を超えるような非常に苛酷な状況を想定した場合に発電用原子炉施設の安全性が損なわれる可能性について評価を実施し、発生し得るプラント状態（起因事象）を特定。</p> <p>③特に発電用原子炉施設の安全性に影響を与える可能性のある自然現象の選定 ②の影響度評価により、そもそも女川原子力発電所において発生する可能性があるか、非常に苛酷な状況を想定した場合、プラントの安全性が損なわれる可能性があるか、影響度の大きさを代表事象による評価が可能かといった観点で、特にプラントの安全性に影響を与える可能性のある事象を下記の通り選定。 ・地震 ・津波 ・地震と津波の重畳 ・竜巻 ・凍結 ・積雪 ・落雷 ・火山の影響 ・森林火災 ・隕石</p> <p>④ケーススタディの対象シナリオ選定 上記で選定された事象の発電用原子炉施設への影響について、重大事故等対策で想定している事故シーケンスに包絡されないものを抽出しさらに他事象での想定シナリオによる代表性を考慮して、大規模損壊のケーススタディの対象とするシナリオを選定。 ・地震 ・津波 ・地震と津波の重畳</p>	<p>(1) 外部事象の収集 発電用原子炉施設の安全性に影響を与える可能性のある外部事象を網羅的に収集するため、国内外の基準等で示されている外部事象を参考に32事象を収集。</p> <p>(2) 個別の事象に対する発電用原子炉施設安全性への影響度評価（起因事象の特定） 収集した各自然現象について、設計基準を超えるような非常に過酷な状況を想定した場合に、発電用原子炉施設の安全性が損なわれる可能性について評価を実施し、発生し得るプラント状態（起因事象）を特定。</p> <p>(3) 特に発電用原子炉施設の安全性に影響を与える可能性のある自然現象の選定 ②の影響度評価により、そもそも泊発電所において発生する可能性があるか、非常に過酷な状況を想定した場合、発電用原子炉施設の安全性が損なわれる可能性があるか、影響度の大きさを代表事象による評価が可能かといった観点で、特に発電用原子炉施設の安全性に影響を与える可能性のある事象を下記の通り選定。 ・地震 ・津波 ・地震と津波の重畳 ・竜巻 ・凍結 ・積雪 ・落雷 ・火山の影響 ・森林火災 ・隕石</p> <p>(4) ケーススタディの対象シナリオ選定 上記で選定された事象の発電用原子炉施設への影響について、重大事故等対策で想定している事故シーケンスに包絡されないものを抽出し、さらに他事象での想定シナリオによる代表性を考慮して、大規模損壊のケーススタディの対象とするシナリオを選定。 ・地震 ・津波 ・地震と津波の重畳</p>	<p>【大阪】検討プロセスの相違（女川審査実績反映） ・泊は、女川審査実績を反映し、網羅的に収集した自然現象55事象について、類似・随伴の観点で整理し32事象として抽出する。各自然現象について、設計基準を超えるような状況を想定して発電用原子炉施設の安全性が損なわれる可能性について検討し10事象を選定している。選定した事象について、重大事故等対策で想定している事故シーケンスに包絡されないものを抽出し、さらに他事象での想定シナリオによる代表性を考慮して、大規模損壊のケーススタディの対象とするシナリオを選定する。 ・大阪は網羅的に収集した外部事象74事象について、国外の基準等の評価手法を参考に定めたスクリーニング基準により原子炉施設の安全性に影響を与える可能性のある自然災害として11事象を選定している。選定した自然災害11事象について、設計基準等を越える規模を想定し、プラントへの影響について個別に整理し、大規模損壊へ至る可能性のある自然災害を検討している。</p>
<p>第 2.1.1 図 大規模損壊を発生させる可能性のある自然災害の検討プロセス概要</p>	<p>第 2.1-1 図 大規模損壊を発生させる可能性のある自然現象の検討プロセスの概要</p>	<p>第 2.1.1 図 大規模損壊を発生させる可能性のある自然現象の検討プロセスの概要</p>	<p>【大阪】記載表現の相違（女川審査実績反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

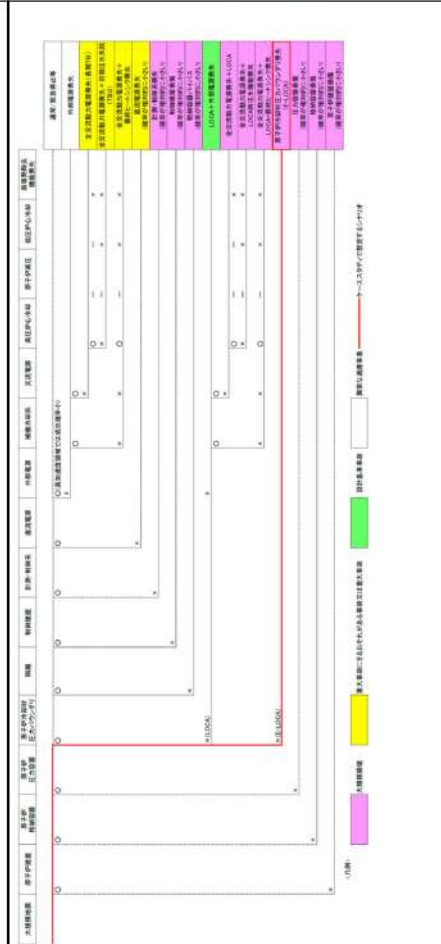
2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉



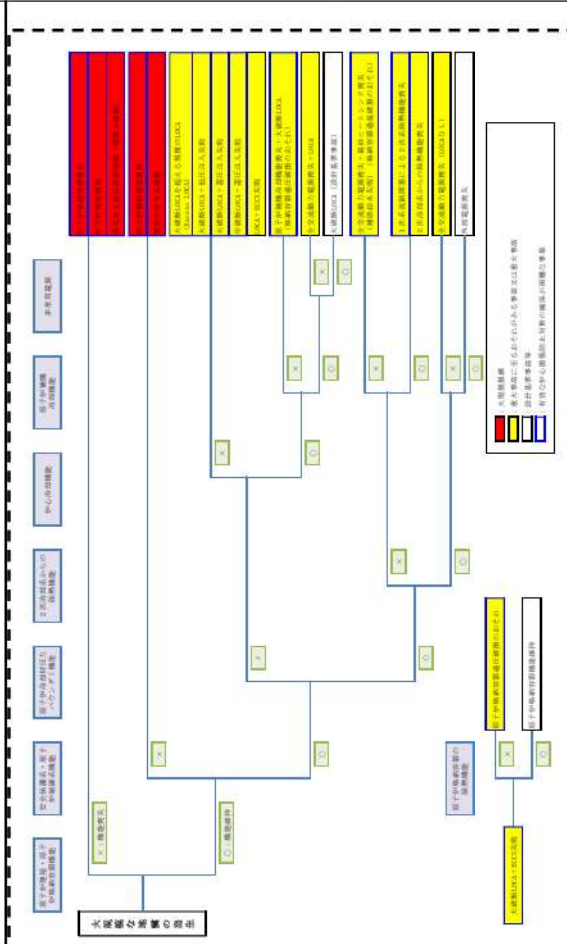
第2.1.2図 大規模な自然災害（地震）により生じうるプラントの状況（1/7）

女川原子力発電所2号炉



第2.1-2図 大規模な自然災害（地震）により生じ得る発電用原子炉施設の状況（1/3）

泊発電所3号炉



第2.1.2図 大規模な自然災害（地震）により生じ得る発電用原子炉施設の状況（1/3）

追而【地震PRAの最終評価結果を反映】

相違理由

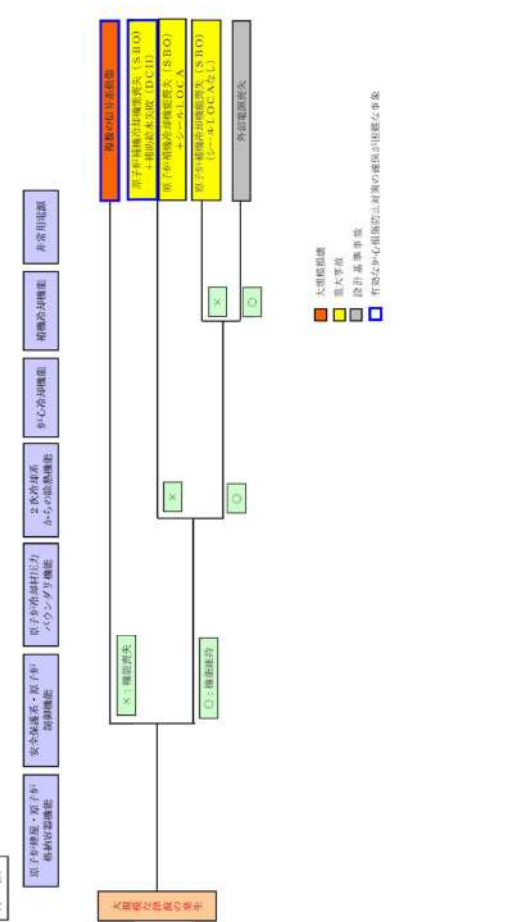
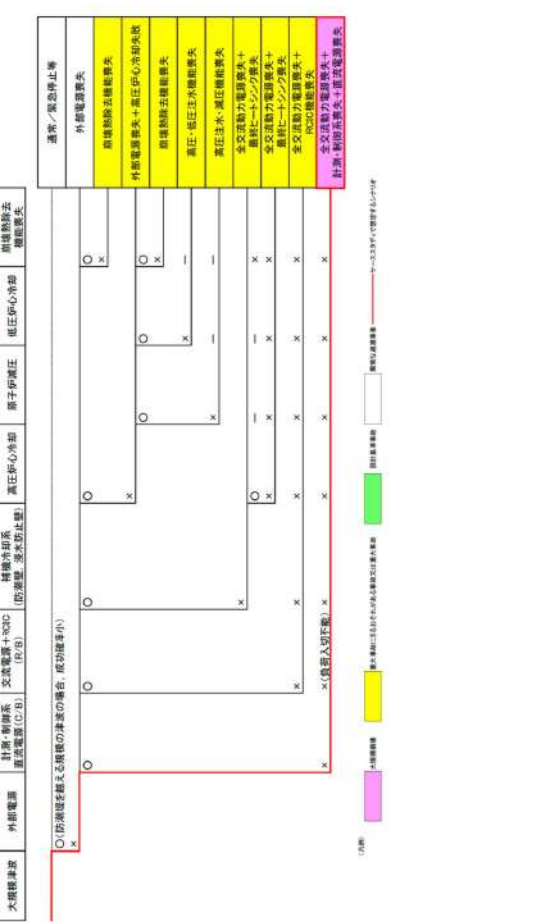
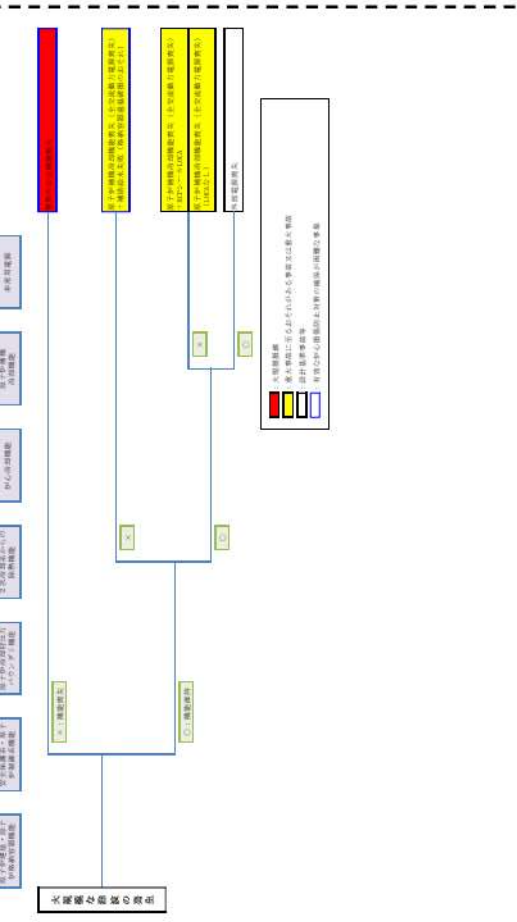
- 【大飯】評価結果に相違なし。
- 【女川】設計の相違
 - ・炉心の著しい損傷に至る可能性がある事故シナリオについては、設計の相違によりPWRとBWRで相違している。

【大飯】記載表現の相違(女川審査実績反映)

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>津波</p>  <p>大規模な自然災害(津波)により生じるプラントの状況 (2/7)</p>	 <p>大規模な自然災害(津波)により生じ得る発電用原子炉施設の状況 (2/3)</p>	 <p>大規模な自然災害(津波)により生じ得る発電用原子炉施設の状況 (2/3)</p> <p>追而【津波PRAの最終評価結果を反映】</p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】評価結果に相違なし。 【女川】設計の相違 ・炉心の著しい損傷に至る可能性がある事故シーケンスについては、設計の相違によりPWRとBWRで相違している。</p> <p>【大飯】記載表現の相違(女川審査実績反映)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="143 316 595 363" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 泊3号炉との比較対象なし </div>	<div data-bbox="667 172 967 1088"> </div> <div data-bbox="676 1125 1214 1181" style="text-align: center;"> 第2.1-2図 大規模な自然災害（地震と津波の重畳）により生じ得る発電用原子炉施設の状況（3/3） </div>	<div data-bbox="1240 172 1787 1088"> </div> <div data-bbox="1240 1125 1796 1181" style="text-align: center;"> 第2.1.2図 大規模な自然災害（地震と津波の重畳）により生じ得る発電用原子炉施設の状況（3/3） </div> <div data-bbox="1335 1212 1800 1264" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 追而【地震PRA、津波PRAの最終評価結果を反映】 </div>	<div data-bbox="1814 172 2145 427"> <p>相違理由</p> <p>【大阪】評価方針の相違(女川審査実績反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は、女川審査実績を反映し、地震と津波に重畳が発電用原子炉施設に及ぼす影響について、イベントツリーにより評価する。 <p>【女川】設計の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 炉心の著しい損傷に至る可能性がある事故シーケンスについては、設計の相違によりPWRとBWRで相違している。 </div>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>第2.1.2図 大規模な自然災害（竜巻）により生じるプラントの状況（3/7）</p>	<p>比較対象なし</p>	<p>比較対象なし</p>	<p>【大飯】記載方針の相違(女川審査実績反映) ・泊は女川審査実績を反映し、発電用原子炉施設において大規模損壊を発生させる可能性のある自然現象である「地震」「津波」「地震と津波の重畳」について、イベントツリーによる事象進展評価を実施することとし、大規模損壊を発生するおそれのない又は上記3つの事象に含まれる他の自然現象については定性的な評価を記載する。（評価の詳細は添付資料2.1.1に示す。）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>豪雪（降雪）</p> <p>火山（降灰）</p>	<p>比較対象なし</p>	<p>比較対象なし</p>	<p>【大阪】記載方針の相違(女川審査実績反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は女川審査実績を反映し、発電用原子炉施設において大規模損壊を発生させる可能性のある自然現象である「地震」「津波」「地震と津波の重畳」について、イベントツリーによる事象進展評価を実施することとし、大規模損壊を発生するおそれのない又は上記3つの事象に含まれる他の自然現象については定性的な評価を記載する。（評価の詳細は添付資料2.1.1に示す。）

第2.1.2 図 大規模な自然災害（豪雪(降雪)、火山(降灰))により生じうるプラントの状況 (4/7)

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>第2.1.2図 大規模な自然災害（暴風(台風)、凍結)により生じるプラントの状況 (5/7)</p>	<p>比較対象なし</p>	<p>比較対象なし</p>	<p>【大阪】記載方針の相違(女川審査実績反映) ・泊は女川審査実績を反映し、発電用原子炉施設において大規模損壊を発生させる可能性のある自然現象である「地震」「津波」「地震と津波の重畳」について、イベントツリーによる事象進展評価を実施することとし、大規模損壊を発生するおそれのない又は上記3つの事象に含まれる他の自然現象については定性的な評価を記載する。(評価の詳細は添付資料2.1.1に示す。)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>第2.1.2図 大規模な自然災害（森林火災、生物学的事象）により生じるプラントの状況（6/7）</p>	<p>比較対象なし</p>	<p>比較対象なし</p>	<p>【大阪】記載方針の相違(女川審査実績反映) ・泊は女川審査実績を反映し、発電用原子炉施設において大規模損壊を発生させる可能性のある自然現象である「地震」「津波」「地震と津波の重畳」について、イベントツリーによる事象進展評価を実施することとし、大規模損壊を発生するおそれのない又は上記3つの事象に含まれる他の自然現象については定性的な評価を記載する。（評価の詳細は添付資料2.1.1に示す。）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>第2.1.2図 大規模な自然災害（落雷）により生じるプラントの状況（7/7）</p>	<p>比較対象なし</p>	<p>比較対象なし</p>	<p>【大阪】記載方針の相違(女川審査実績反映) ・泊は女川審査実績を反映し、発電用原子炉施設において大規模損壊を発生させる可能性のある自然現象である「地震」「津波」「地震と津波の重畳」について、イベントツリーによる事象進展評価を実施することとし、大規模損壊を発生するおそれのない又は上記3つの事象に含まれる他の自然現象については定性的な評価を記載する。（評価の詳細は添付資料2.1.1に示す。）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>大規模な損壊が発生 (プラントの状況把握が困難な場合)</p> <p>プラントの状況の確認 (最優先)</p> <ul style="list-style-type: none"> 初期状態の確認 <ul style="list-style-type: none"> 中央制御室との連絡及びプラントパラメータの監視可否 原子炉停止確認 (停止していない場合は【原子炉手動停止操作】を速やかに試みる。) タービン駆動機放水ポンプ起動確認 (起動していない場合は起動操作を速やかに試みる。) モニタ指示の確認 火災の確認 <p>※1 フルード等によるアクセスルートの確保や事故対応の支障となる火災(アクセスルート上の火災等)の消火活動を実施する。</p> <p>放水ポンプ及び大容量ポンプ(放水応用)の準備</p> <p>【建屋等へのアクセスルート確保※2】</p> <p>プラントの状況の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> 対応可能な要員の確認 通信設備の確認 建屋アクセス性の確認 施設損壊状態の確認 電源系統の確認 機器状態の確認 <p>可搬型設備等を用いて可能な限りプラントの状況把握</p> <p>要員や設備等の残存する資源等を確認し、現場への放射性物質の放出低減を最終目的として大規模損壊所達の間断に基づき操作を選択</p> <p>【大規模な火災への対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> 【冷却、閉じ込める機能の確保】 <ul style="list-style-type: none"> 放射性物質の放出低減 <ul style="list-style-type: none"> 原子炉格納容器、原子炉周辺建屋等が破損している場合に実施 原子炉格納容器の破損緩和 <ul style="list-style-type: none"> 中心の損傷、原子炉格納容器の破損が必要と判断された場合 中心損傷緩和の見直し <ul style="list-style-type: none"> 中心が損傷していないことや原子炉格納容器の破損が必要ないことを確認できた場合 【電源及び水源の確保】 <ul style="list-style-type: none"> 必要な負荷へ供給するための電源、主要な設備へ供給するための水源を確保する場合 燃料給油 <ul style="list-style-type: none"> 可搬型設備へ給油する場合 	<p>大規模な損壊の発生</p> <p>プラント状態の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> 中央制御室との連絡状況 プラント監視機能の確認 アクセスルート確認※1、火災の確認 建屋の損壊状況 <p>対応可能な要員の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> 主要パラメータ確認 可搬型設備等によるパラメータ確認 通信設備の確認 建屋等へのアクセス性確認 電源系統の確認 可搬型設備の確認 資機材等の確認 常設設備の確認 水源の確認 <p>発電所外への放射性物質放出の防止及び抑制を最優先として、対応要員数、可搬型設備、常設設備を含めた残存する資源等を確認し、最大限の努力によって得られる結果を想定して、当面達成すべき目標を設定し、そのために優先すべき戦略を決定する。</p> <p>※1 各事故対応に当たっては、要員の安全確保を最優先とするとともに、人命救助が必要な場合は、原子力災害に対応しつつ、発電所構内内の人員の協力を得て、安全確保の上、人命救助を行う。</p> <p>停止、冷却、閉じ込める機能の確保</p> <p>使用済燃料プール冷却</p> <p>アクセスルート確保※2 (消火活動含む)</p> <p>電源確保</p> <p>放射性物質拡散抑制</p> <p>※2 フルード等によるがれきり除去作業、事故対応を行うためのアクセスルート及び各設備と対策の作業に支障となる火災並びに延焼することにより被害の拡大につながる可能性のある火災の消火活動を優先に実施する。</p>	<p>大規模損壊の発生 (プラントの状況把握が困難な場合)</p> <p>プラントの状況確認 (最優先事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> 初期状態の確認 <ul style="list-style-type: none"> 中央制御室との連絡及びプラントパラメータの監視可否 原子炉停止確認 (停止していない場合は【原子炉停止機能の確保】のための措置を速やかに試みる。) タービン駆動機放水ポンプ起動確認 (起動していない場合は起動操作を速やかに試みる。) モニタ指示の確認 (事故、炉心及び使用済燃料ピットの状況を把握する。) 火災の確認 (火災が発生している場合は、事故対応への支障の有無を確認する。) <p>※1：原子炉格納容器に明らかな破損が確認された場合、可搬型大容量海水ポンプ車を優先して準備する。</p> <p>※2：ホイールロータ等によるアクセスルートの確保や事故対応の支障となる火災(アクセスルート上の火災等)の消火活動を実施する。</p> <p>可搬型大容量海水ポンプ車の準備※1</p> <p>【アクセスルートの確保手段】による建屋等へのアクセスルートの確保※2</p> <p>プラントの状況の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> 対応可能な要員の確認 通信設備の確認 建屋アクセス性の確認 施設損壊状態の確認 電源系統の確認 機器状態の確認 <p>【代替監視装置による監視手段】によるプラントの状況把握</p> <p>要員や設備等の残存する資源等を確認し、現場への放射性物質の放出低減を最終目的として、大規模損壊発生時の対応手順書の判断基準に基づき操作を選択する。</p> <p>【大規模な火災への対応】</p> <p>航空機燃料火災等の大規模火災への対応が必要な場合</p> <p>【冷却、閉じ込める機能の確保】</p> <p>【放射性物質の放出低減】</p> <p>原子炉格納容器、燃料取扱棟が破損している場合</p> <p>原子炉格納容器の破損緩和</p> <p>中心損傷している場合、原子炉格納容器の破損が必要と判断された場合</p> <p>【中心損傷の緩和】</p> <p>中心が損傷していないことや原子炉格納容器の破損が必要ないことを確認できた場合</p> <p>【電源の確保及び水源の確保】</p> <p>必要な負荷へ供給するための電源、主要な設備へ供給するための水源を確保する場合</p> <p>【燃料供給】</p> <p>可搬型設備へ給油する場合</p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】 【女川】 運用の相違 (可搬型設備の先行準備)</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は、大規模損壊が発生した場合 (又は発生が疑われる場合) には、応用範囲が広い (炉心注水、格納容器スプレイ、格納容器内自然対流冷却、使用済燃料ピット注水・スプレイ、燃料取替用ホビット・補助給水ピット補給、消火等) 可搬型大型送水ポンプ車の準備を速やかに開始する。ただし、原子炉格納容器の外観に明らかな破損が確認された場合には、可搬型大容量海水送水ポンプ車及び放水砲等を優先して準備する。(伊方3号と同様の考え方) <p>【女川】 運用の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 女川は、得られたプラントの情報を基に当面達成すべき目標を設定し、優先すべき戦略を決定する。 泊は、大飯と同様に、得られたプラントの情報を基に、判断フローに従って実施する戦略を選択する。大規模損壊時には、対策本部要員も含め限られた要員かつ限定的なプラント情報での対応が想定されることから、指揮者が極力判断に迷うことのない手順となるように、目標設定については明示せず、判断フローを充実させる方針としている。 <p>【大飯】 記載表現の相違 (女川審査実績反映)</p>
<p>第2.1.3 図 大規模損壊発生時の対応全体フロー (プラント状況把握が困難な場合)</p>	<p>第2.1-3 図 大規模損壊発生時の対応全体概略フロー (プラント状況把握が困難な場合)</p>	<p>第2.1.3 図 大規模損壊発生時の対応全体概略フロー (プラント状況把握が困難な場合)</p>	

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																												
<p>添付資料 2.1.1 大規模損壊を発生させる可能性のある大規模な自然災害の抽出プロセスについて</p> <p>(1) 外部事象の選定 大飯発電所での設計上考慮すべき事象の選定にあたっては、安全性の観点から考慮すべき外部事象を幅広く検討するために、以下の資料を参考に網羅的に自然現象(表1.1)及び外部人為事象(表1.2)の抽出を行い、74事象を収集した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料1: Specific Safety Guide No. SSG-3 "Development and Application of Level Probabilistic Safety Assessment for Nuclear Power Plants", IAEA, April 2010 資料2: Safety Requirements No. NS-R-3 "Site Evaluation for Nuclear Installations", IAEA, November 2003 資料3: NUREG/CR-2300 "PRA PROCEDURES GUIDE", NRC, January 1983 資料4: NUREG-1407 "Procedural and Submittal Guidance for the Individual Plant Examination of External Events (IPEEE) for Severe Accident Vulnerabilities", NRC, June 1991 資料5: ASME/ANS RA-Sa-2009 "Addenda to ASME/ANS RA-S-2008 Standard for Level 1/Large Early Release Frequency Probabilistic Risk Assessment for Nuclear Power Plant Applications", February 2009 資料6: NEI 12-06[Rev.0] "DIVERSE AND FLEXIBLE COPING STRATEGIES (FLEX) IMPLEMENTATION GUIDE", NEI, August 2012 資料7: 実用発電用原子炉及びその附属施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則の解釈 資料8: 実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則及びその解釈 資料9: 「日本の自然災害」国会資料編纂会、1998年 資料10: 「産業災害全史」、日外アソシエーツ、2010年1月 資料11: 「日本災害史事典 1868-2009」、日外アソシエーツ、2010年9月 資料12: NEI 06-12 "B.5.b Phase2&3 Submittal Guideline", NEI, December 2006 	<p>添付資料 2.1.1 大規模損壊を発生させる可能性のある大規模な自然現象の抽出プロセスについて</p> <p>1. 外部事象の収集 女川原子力発電所で設計上考慮すべき事象の選定にあたっては、安全性の観点から考慮すべき外部事象を幅広く検討するために、以下の資料を参考に網羅的に自然現象55事象(第1表参照)の収集を行った。 類似・随件事象の観点から前述の収集事象を整理した結果、自然現象32事象(第2表参照)を選定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①DIVERSE AND FLEXIBLE COPING STRATEGIES (FLEX) IMPLEMENTATION GUIDE (NEI12-06 August 2012) ②「日本の自然災害」国会資料編纂会 1998年 ③Specific Safety Guide (SSG-3) "Development and Application of Level 1 Probabilistic Safety Assessment for Nuclear Power Plants", IAEA, April 2010 ④「実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則の解釈」(制定:平成25年6月19日) ⑤NUREG/CR-2300 "PRA Procedures Guide", NRC, January 1983 ⑥「実用発電用原子炉及びその附属施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則の解釈」(制定:平成25年6月19日) ⑦ASME/ANS RA-Sa-2009 "Addenda to ASME ANS RA-S-2008 Standard for level 1/Large Early Release Frequency probabilistic Risk Assessment for Nuclear Power Plant Applications" ⑧B.5.b Phase 2&3 Submittal Guideline (NEI 06-12 December 2006)- 2011.5 NRC発表 ⑨「外部ハザードに対するリスク評価方法の選定に関する実施基準:2014」一般社団法人 日本原子力学会 2014年12月 ⑩Safety Requirements No. NS-R-3 "Site Evaluation for Nuclear Installation", IAEA, November 2003 ⑪NUREG 1407 "Procedural and Submittal Guidance for the Individual Plant Examination of External Events (IPEEE) for Severe Accident Vulnerabilities, NRC, June 1991 ⑫「産業災害全史」、日外アソシエーツ、2010年1月 ⑬「日本災害史辞典 1868-2009」、日外アソシエーツ、2010年9月 	<p>添付資料 2.1.1 大規模損壊を発生させる可能性のある大規模な自然災害の抽出プロセスについて</p> <p>1. 外部事象の収集 泊発電所での設計上考慮すべき事象の選定にあたっては、安全性の観点から考慮すべき外部事象を幅広く検討するために、以下の資料を参考に網羅的に自然現象55事象(第1表参照)の収集を行った。 類似・随件事象の観点から前述の収集事象を整理した結果、自然現象32事象(第2表参照)を選定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①DIVERSE AND FLEXIBLE COPING STRATEGIES (FLEX) IMPLEMENTATION GUIDE (NEI 12-06 August 2012) ②「日本の自然災害」国会資料編纂会 1998年 ③Specific Safety Guide (SSG-3) "Development and Application of Level 1 Probabilistic Safety Assessment for Nuclear Power Plants", IAEA, April 2010 ④「実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則の解釈」(制定:平成25年6月19日) ⑤NUREG/CR-2300 "PRA Procedures Guide", NRC, January 1983 ⑥「実用発電用原子炉及びその附属施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則の解釈」(制定:平成25年6月19日) ⑦ASME/ANS RA-Sa-2009 "Addenda to ASME/ANS RA-S-2008 Standard for Level 1/Large Early Release Frequency Probabilistic Risk Assessment for Nuclear Power Plant Applications" ⑧B.5.b Phase 2&3 Submittal Guideline (NEI 06-12 December 2006)- 2011.5 NRC公表 ⑨「外部ハザードに対するリスク評価方法の選定に関する実施基準:2014」一般社団法人 日本原子力学会 2014年12月 ⑩Safety Requirements No. NS-R-3 "Site Evaluation for Nuclear Installations", IAEA, November 2003 ⑪NUREG-1407 "Procedural and Submittal Guidance for the Individual Plant Examination of External Events (IPEEE) for Severe Accident Vulnerabilities", NRC, June 1991 ⑫「産業災害全史」日外アソシエーツ 2010年1月 ⑬「日本災害史辞典 1868-2009」日外アソシエーツ 2010年9月 	<p>【大飯】記載表現の相違(女川審査実績反映)</p> <p>【大飯】事象数の相違(女川審査実績反映) ・泊は、女川と同様に、国内外の基準を参考に網羅的に自然現象を収集し、55事象を収集した。 ・大飯は、外部人為事象を含めて外部事象を収集し、そのうち、自然災害として53事象を収集している。事象数が泊と異なっているのは、泊では個別の自然現象として収集したものについて、大飯では1つの事象として収集(具体的には、「海水面高(満潮)」及び「霧、もや」)したことによるものであるため、収集した事象数に実質的な相違はない。</p> <p>【大飯】参考にした文献の対応は以下のとおり。</p> <table border="0"> <tr> <td>大飯</td> <td>泊(女川も同様)</td> </tr> <tr> <td>・資料6 ⇔</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>・資料9 ⇔</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>・資料1 ⇔</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>・資料8 ⇔</td> <td>④</td> </tr> <tr> <td>・資料3 ⇔</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>・資料7 ⇔</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>・資料5 ⇔</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>・資料12 ⇔</td> <td>⑧</td> </tr> <tr> <td>該当なし⇔</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>・資料2 ⇔</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>・資料4 ⇔</td> <td>⑪</td> </tr> <tr> <td>・資料10 ⇔</td> <td>⑫</td> </tr> <tr> <td>・資料11 ⇔</td> <td>⑬</td> </tr> </table>	大飯	泊(女川も同様)	・資料6 ⇔	①	・資料9 ⇔	②	・資料1 ⇔	③	・資料8 ⇔	④	・資料3 ⇔	⑤	・資料7 ⇔	⑥	・資料5 ⇔	⑦	・資料12 ⇔	⑧	該当なし⇔	⑨	・資料2 ⇔	⑩	・資料4 ⇔	⑪	・資料10 ⇔	⑫	・資料11 ⇔	⑬
大飯	泊(女川も同様)																														
・資料6 ⇔	①																														
・資料9 ⇔	②																														
・資料1 ⇔	③																														
・資料8 ⇔	④																														
・資料3 ⇔	⑤																														
・資料7 ⇔	⑥																														
・資料5 ⇔	⑦																														
・資料12 ⇔	⑧																														
該当なし⇔	⑨																														
・資料2 ⇔	⑩																														
・資料4 ⇔	⑪																														
・資料10 ⇔	⑫																														
・資料11 ⇔	⑬																														

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	<p style="text-align: center;">第2表 自然現象の整理</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>自然現象</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>地震</td><td>(1-7)、土壌の収縮又は膨張(1-9)、土砂崩れ(山崩れ、がけ崩れ)(1-22)、陥没・地盤沈下・地割れ(1-36)、地面の隆起(1-40)、地下水による浸食(1-41)、地下水による地滑り(1-47)、泥涌出(1-52)</td></tr> <tr><td>2</td><td>津波</td><td>静浪(1-46)、(1-11)、波浪・高波(1-13)、満潮(1-27)、海面高低(1-45)、海面高低(1-40)</td></tr> <tr><td>3</td><td>凍結</td><td>(1-1)、氷結(1-29)、氷壁(1-31)</td></tr> <tr><td>4</td><td>隕石</td><td>(1-2)</td></tr> <tr><td>5</td><td>降水</td><td>(1-3)</td></tr> <tr><td>6</td><td>河川の迂回</td><td>(1-4)</td></tr> <tr><td>7</td><td>砂嵐(塩を含んだ嵐)</td><td>(1-5)</td></tr> <tr><td>8</td><td>積雪</td><td>(1-8)</td></tr> <tr><td>9</td><td>高潮</td><td>(1-10)</td></tr> <tr><td>10</td><td>火山の影響</td><td>(1-12)、水蒸気(1-54)、毒性ガス(1-55)</td></tr> <tr><td>11</td><td>雪崩</td><td>(1-14)</td></tr> <tr><td>12</td><td>生物学的事象</td><td>(1-15)、動物(1-41)、水中の有機物(1-48)</td></tr> <tr><td>13</td><td>海岸侵食</td><td>(1-16)</td></tr> <tr><td>14</td><td>干ばつ</td><td>(1-17)</td></tr> <tr><td>15</td><td>洪水</td><td>(1-18)</td></tr> <tr><td>16</td><td>嵐(台風)</td><td>(1-19)、ハリケーン(1-28)</td></tr> <tr><td>17</td><td>竜巻</td><td>(1-20)、ひょう・あられ(1-25)、極限的な圧力(気圧高低)(1-37)</td></tr> <tr><td>18</td><td>濃霧</td><td>(1-21)</td></tr> <tr><td>19</td><td>森林火災</td><td>(1-22)、草原火災(1-24)、毒性ガス(1-55)</td></tr> <tr><td>20</td><td>霜・白霜</td><td>(1-23)</td></tr> <tr><td>21</td><td>極高温</td><td>(1-26)</td></tr> <tr><td>22</td><td>氷害</td><td>(1-30)</td></tr> <tr><td>23</td><td>落雷</td><td>(1-33)</td></tr> <tr><td>24</td><td>渇又は河川の水位低下</td><td>(1-34)</td></tr> <tr><td>25</td><td>渇又は河川の水位上昇</td><td>(1-35)</td></tr> <tr><td>26</td><td>もや</td><td>(1-38)</td></tr> <tr><td>27</td><td>塩害・塩害</td><td>(1-39)</td></tr> <tr><td>28</td><td>地滑り</td><td>(1-42)、土石流(1-53)</td></tr> <tr><td>29</td><td>カルスト</td><td>(1-43)</td></tr> <tr><td>30</td><td>太陽フレア、磁気嵐</td><td>(1-49)</td></tr> <tr><td>31</td><td>高温水(海水高温)</td><td>(1-50)</td></tr> <tr><td>32</td><td>低温水(海水低温)</td><td>(1-51)</td></tr> </tbody> </table> <p>※()内の番号は「表1 文献より収集した自然現象」における番号</p>	No.	自然現象	備考	1	地震	(1-7)、土壌の収縮又は膨張(1-9)、土砂崩れ(山崩れ、がけ崩れ)(1-22)、陥没・地盤沈下・地割れ(1-36)、地面の隆起(1-40)、地下水による浸食(1-41)、地下水による地滑り(1-47)、泥涌出(1-52)	2	津波	静浪(1-46)、(1-11)、波浪・高波(1-13)、満潮(1-27)、海面高低(1-45)、海面高低(1-40)	3	凍結	(1-1)、氷結(1-29)、氷壁(1-31)	4	隕石	(1-2)	5	降水	(1-3)	6	河川の迂回	(1-4)	7	砂嵐(塩を含んだ嵐)	(1-5)	8	積雪	(1-8)	9	高潮	(1-10)	10	火山の影響	(1-12)、水蒸気(1-54)、毒性ガス(1-55)	11	雪崩	(1-14)	12	生物学的事象	(1-15)、動物(1-41)、水中の有機物(1-48)	13	海岸侵食	(1-16)	14	干ばつ	(1-17)	15	洪水	(1-18)	16	嵐(台風)	(1-19)、ハリケーン(1-28)	17	竜巻	(1-20)、ひょう・あられ(1-25)、極限的な圧力(気圧高低)(1-37)	18	濃霧	(1-21)	19	森林火災	(1-22)、草原火災(1-24)、毒性ガス(1-55)	20	霜・白霜	(1-23)	21	極高温	(1-26)	22	氷害	(1-30)	23	落雷	(1-33)	24	渇又は河川の水位低下	(1-34)	25	渇又は河川の水位上昇	(1-35)	26	もや	(1-38)	27	塩害・塩害	(1-39)	28	地滑り	(1-42)、土石流(1-53)	29	カルスト	(1-43)	30	太陽フレア、磁気嵐	(1-49)	31	高温水(海水高温)	(1-50)	32	低温水(海水低温)	(1-51)	<p style="text-align: center;">第2表 自然現象の整理</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>自然現象</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>地震</td><td>(1-7)、土壌の収縮又は膨張(1-9)、土砂崩れ(山崩れ、崖崩れ)(1-22)、陥没・地盤沈下・地割れ(1-36)、地面の隆起(1-40)、地下水による浸食(1-41)、地下水による地滑り(1-47)、泥涌出(1-52)</td></tr> <tr><td>2</td><td>津波</td><td>静浪(1-46)、(1-11)、波浪・高波(1-13)、満潮(1-27)、海面高低(1-45)、海面高低(1-40)</td></tr> <tr><td>3</td><td>凍結</td><td>(1-1)、氷結(1-29)</td></tr> <tr><td>4</td><td>隕石</td><td>(1-2)</td></tr> <tr><td>5</td><td>降水</td><td>(1-3)</td></tr> <tr><td>6</td><td>河川の迂回</td><td>(1-4)</td></tr> <tr><td>7</td><td>砂嵐(塩を含んだ嵐)</td><td>(1-5)</td></tr> <tr><td>8</td><td>積雪</td><td>(1-8)</td></tr> <tr><td>9</td><td>高潮</td><td>(1-10)</td></tr> <tr><td>10</td><td>火山の影響</td><td>(1-12)、水蒸気(1-54)、毒性ガス(1-55)</td></tr> <tr><td>11</td><td>雪崩</td><td>(1-14)</td></tr> <tr><td>12</td><td>生物学的事象</td><td>(1-15)、動物(1-41)、水中の有機物(1-48)</td></tr> <tr><td>13</td><td>海岸侵食</td><td>(1-16)</td></tr> <tr><td>14</td><td>干ばつ</td><td>(1-17)</td></tr> <tr><td>15</td><td>洪水(外海洪水)</td><td>(1-18)</td></tr> <tr><td>16</td><td>嵐(台風)</td><td>(1-19)、ハリケーン(1-28)</td></tr> <tr><td>17</td><td>竜巻</td><td>(1-20)、ひょう・あられ(1-25)、極限的な圧力(気圧高低)(1-37)</td></tr> <tr><td>18</td><td>濃霧</td><td>(1-21)</td></tr> <tr><td>19</td><td>森林火災</td><td>(1-22)、草原火災(1-24)、毒性ガス(1-55)</td></tr> <tr><td>20</td><td>霜・白霜</td><td>(1-23)</td></tr> <tr><td>21</td><td>極高温</td><td>(1-26)</td></tr> <tr><td>22</td><td>氷害</td><td>(1-30)</td></tr> <tr><td>23</td><td>落雷</td><td>(1-33)</td></tr> <tr><td>24</td><td>渇又は河川の水位低下</td><td>(1-34)</td></tr> <tr><td>25</td><td>渇又は河川の水位上昇</td><td>(1-35)</td></tr> <tr><td>26</td><td>もや</td><td>(1-38)</td></tr> <tr><td>27</td><td>塩害・塩害</td><td>(1-39)</td></tr> <tr><td>28</td><td>地滑り</td><td>(1-42)、土石流(1-53)</td></tr> <tr><td>29</td><td>カルスト</td><td>(1-43)</td></tr> <tr><td>30</td><td>太陽フレア、磁気嵐</td><td>(1-49)</td></tr> <tr><td>31</td><td>高温水(海水高温)</td><td>(1-50)</td></tr> <tr><td>32</td><td>低温水(海水低温)</td><td>(1-51)</td></tr> </tbody> </table> <p>※()内の番号は「第1表 文献より収集した自然現象」における番号</p>	No.	自然現象	備考	1	地震	(1-7)、土壌の収縮又は膨張(1-9)、土砂崩れ(山崩れ、崖崩れ)(1-22)、陥没・地盤沈下・地割れ(1-36)、地面の隆起(1-40)、地下水による浸食(1-41)、地下水による地滑り(1-47)、泥涌出(1-52)	2	津波	静浪(1-46)、(1-11)、波浪・高波(1-13)、満潮(1-27)、海面高低(1-45)、海面高低(1-40)	3	凍結	(1-1)、氷結(1-29)	4	隕石	(1-2)	5	降水	(1-3)	6	河川の迂回	(1-4)	7	砂嵐(塩を含んだ嵐)	(1-5)	8	積雪	(1-8)	9	高潮	(1-10)	10	火山の影響	(1-12)、水蒸気(1-54)、毒性ガス(1-55)	11	雪崩	(1-14)	12	生物学的事象	(1-15)、動物(1-41)、水中の有機物(1-48)	13	海岸侵食	(1-16)	14	干ばつ	(1-17)	15	洪水(外海洪水)	(1-18)	16	嵐(台風)	(1-19)、ハリケーン(1-28)	17	竜巻	(1-20)、ひょう・あられ(1-25)、極限的な圧力(気圧高低)(1-37)	18	濃霧	(1-21)	19	森林火災	(1-22)、草原火災(1-24)、毒性ガス(1-55)	20	霜・白霜	(1-23)	21	極高温	(1-26)	22	氷害	(1-30)	23	落雷	(1-33)	24	渇又は河川の水位低下	(1-34)	25	渇又は河川の水位上昇	(1-35)	26	もや	(1-38)	27	塩害・塩害	(1-39)	28	地滑り	(1-42)、土石流(1-53)	29	カルスト	(1-43)	30	太陽フレア、磁気嵐	(1-49)	31	高温水(海水高温)	(1-50)	32	低温水(海水低温)	(1-51)	<p>【大飯】検討プロセスの相違に伴う記載内容の相違(女川審査実績反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、女川と同様に、網羅的に収集した自然現象について、類似・随伴の観点で整理している。 ・大飯は、表1.3の除外基準において「影響が他の事象に包含される。」(基準4)を設定しており、これに該当する事象は検討から除外することから、大規模損壊を発生させる可能性のある大規模な自然災害の抽出プロセスとしては実質的に相違はない。 																																																																																																																																																																			
No.	自然現象	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
1	地震	(1-7)、土壌の収縮又は膨張(1-9)、土砂崩れ(山崩れ、がけ崩れ)(1-22)、陥没・地盤沈下・地割れ(1-36)、地面の隆起(1-40)、地下水による浸食(1-41)、地下水による地滑り(1-47)、泥涌出(1-52)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
2	津波	静浪(1-46)、(1-11)、波浪・高波(1-13)、満潮(1-27)、海面高低(1-45)、海面高低(1-40)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
3	凍結	(1-1)、氷結(1-29)、氷壁(1-31)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
4	隕石	(1-2)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
5	降水	(1-3)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
6	河川の迂回	(1-4)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
7	砂嵐(塩を含んだ嵐)	(1-5)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
8	積雪	(1-8)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
9	高潮	(1-10)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
10	火山の影響	(1-12)、水蒸気(1-54)、毒性ガス(1-55)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
11	雪崩	(1-14)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
12	生物学的事象	(1-15)、動物(1-41)、水中の有機物(1-48)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
13	海岸侵食	(1-16)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
14	干ばつ	(1-17)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
15	洪水	(1-18)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
16	嵐(台風)	(1-19)、ハリケーン(1-28)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
17	竜巻	(1-20)、ひょう・あられ(1-25)、極限的な圧力(気圧高低)(1-37)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
18	濃霧	(1-21)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
19	森林火災	(1-22)、草原火災(1-24)、毒性ガス(1-55)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
20	霜・白霜	(1-23)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
21	極高温	(1-26)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
22	氷害	(1-30)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
23	落雷	(1-33)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
24	渇又は河川の水位低下	(1-34)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
25	渇又は河川の水位上昇	(1-35)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
26	もや	(1-38)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
27	塩害・塩害	(1-39)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
28	地滑り	(1-42)、土石流(1-53)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
29	カルスト	(1-43)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
30	太陽フレア、磁気嵐	(1-49)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
31	高温水(海水高温)	(1-50)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
32	低温水(海水低温)	(1-51)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
No.	自然現象	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
1	地震	(1-7)、土壌の収縮又は膨張(1-9)、土砂崩れ(山崩れ、崖崩れ)(1-22)、陥没・地盤沈下・地割れ(1-36)、地面の隆起(1-40)、地下水による浸食(1-41)、地下水による地滑り(1-47)、泥涌出(1-52)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
2	津波	静浪(1-46)、(1-11)、波浪・高波(1-13)、満潮(1-27)、海面高低(1-45)、海面高低(1-40)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
3	凍結	(1-1)、氷結(1-29)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
4	隕石	(1-2)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
5	降水	(1-3)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
6	河川の迂回	(1-4)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
7	砂嵐(塩を含んだ嵐)	(1-5)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
8	積雪	(1-8)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
9	高潮	(1-10)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
10	火山の影響	(1-12)、水蒸気(1-54)、毒性ガス(1-55)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
11	雪崩	(1-14)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
12	生物学的事象	(1-15)、動物(1-41)、水中の有機物(1-48)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
13	海岸侵食	(1-16)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
14	干ばつ	(1-17)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
15	洪水(外海洪水)	(1-18)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
16	嵐(台風)	(1-19)、ハリケーン(1-28)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
17	竜巻	(1-20)、ひょう・あられ(1-25)、極限的な圧力(気圧高低)(1-37)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
18	濃霧	(1-21)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
19	森林火災	(1-22)、草原火災(1-24)、毒性ガス(1-55)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
20	霜・白霜	(1-23)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
21	極高温	(1-26)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
22	氷害	(1-30)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
23	落雷	(1-33)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
24	渇又は河川の水位低下	(1-34)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
25	渇又は河川の水位上昇	(1-35)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
26	もや	(1-38)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
27	塩害・塩害	(1-39)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
28	地滑り	(1-42)、土石流(1-53)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
29	カルスト	(1-43)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
30	太陽フレア、磁気嵐	(1-49)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
31	高温水(海水高温)	(1-50)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
32	低温水(海水低温)	(1-51)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
<p style="text-align: center;">表 1.2 事象の抽出結果(外部人為事象)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事象</th> <th>運用</th> <th>保守</th> <th>建設</th> <th>設計</th> <th>製造</th> <th>輸送</th> <th>設置</th> <th>取組</th> <th>廃止</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>6</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>7</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>8</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>9</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>10</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>11</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>12</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>13</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>14</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>15</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>16</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>17</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>18</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>19</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>20</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>21</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>22</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>23</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>24</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>25</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>26</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>27</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>28</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>29</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>30</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>31</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>32</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	事象	運用	保守	建設	設計	製造	輸送	設置	取組	廃止	その他	1	○										2	○										3	○										4	○										5	○										6	○										7	○										8	○										9	○										10	○										11	○										12	○										13	○										14	○										15	○										16	○										17	○										18	○										19	○										20	○										21	○										22	○										23	○										24	○										25	○										26	○										27	○										28	○										29	○										30	○										31	○										32	○										<p>【大飯】収集事象の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大飯は文献より抽出した外部人為事象についても、表1.3の除外基準のうち「自然現象に該当しない。」(基準6)により除外することから、大規模損壊を発生させる可能性のある大規模な自然災害の抽出プロセスとしては実質的に相違はない。(なお、泊の第6条まとめ資料では文献より人為事象23事象を抽出しており、大飯の表1.2で抽出されている21事象を網羅している。泊では、人為事象による影響は故意による大型航空機の衝突のシナリオに代表できると整理している。)
事象	運用	保守	建設	設計	製造	輸送	設置	取組	廃止	その他																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
1	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
2	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
3	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
4	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
5	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
6	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
7	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
8	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
9	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
10	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
11	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
12	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
13	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
14	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
15	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
16	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
17	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
18	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
19	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
20	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
21	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
22	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
23	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
24	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
25	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
26	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
27	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
28	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
29	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
30	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
31	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
32	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											

灰色：泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由												
<p>(2) 自然現象及び外部人為事象の選定基準の設定</p> <p>(1)で網羅的に抽出した事象について、大飯発電所において考慮すべき事象を選定するため、海外での評価手法※を参考とした表1.3の除外基準のいずれかに該当するものは除外して事象の選定を行った。</p> <p>表1.3 考慮すべき事象の除外基準 (参考1参照)</p> <table border="1" data-bbox="91 368 593 596"> <tr> <td>基準1</td> <td>当該原子炉施設に影響を与えるほど接近した場所に発生しない。</td> </tr> <tr> <td>基準2</td> <td>ハザード進展・機束が遅く、事前にそのリスクを予知・検知することでハザードを排除できる。</td> </tr> <tr> <td>基準3</td> <td>当該原子炉施設の設計上、考慮された事象と比較して設備等への影響度が同等若しくはそれ以下、又は当該原子炉施設の安全性が損なわれない。</td> </tr> <tr> <td>基準4</td> <td>影響が他の事象に包含される。</td> </tr> <tr> <td>基準5</td> <td>発生頻度が他の事象と比較して非常に低い。</td> </tr> <tr> <td>基準6</td> <td>自然現象に該当しない。</td> </tr> </table> <p>※ ASME/ANS RA-Sa-2009 “Addenda to ASME/ANS RA-S-2008 Standard for Level 1/ Large Early Release Frequency Probabilistic Risk Assessment for Nuclear Power Plant Applications”</p> <p>(3) 選定結果</p> <p>(2)で検討した除外基準に基づき、大飯発電所において考慮すべき事象を選定し表1.4及び表1.5に示す。この結果、以下の11事象を選定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地震 ・津波 ・暴風(台風) ・竜巻 ・凍結 ・豪雪(降雪) ・落雷 ・火山(火山活動、降灰) ・生物学的事象 ・森林火災 ・隕石 <p>【比較のため、女川原子力発電所2号炉技術的能力2.1まとめ資料本文 目次より再掲】</p> <p>添付資料2.1.2 竜巻事象に対する事故シーケンス抽出 添付資料2.1.3 凍結事象に対する事故シーケンス抽出 添付資料2.1.4 積雪事象に対する事故シーケンス抽出 添付資料2.1.5 落雷事象に対する事故シーケンス抽出 添付資料2.1.6 火山の影響に対する事故シーケンス抽出 添付資料2.1.7 森林火災事象に対する事故シーケンス抽出 添付資料2.1.8 自然現象の重畳に対する事故シーケンス抽出</p>	基準1	当該原子炉施設に影響を与えるほど接近した場所に発生しない。	基準2	ハザード進展・機束が遅く、事前にそのリスクを予知・検知することでハザードを排除できる。	基準3	当該原子炉施設の設計上、考慮された事象と比較して設備等への影響度が同等若しくはそれ以下、又は当該原子炉施設の安全性が損なわれない。	基準4	影響が他の事象に包含される。	基準5	発生頻度が他の事象と比較して非常に低い。	基準6	自然現象に該当しない。	<p>(1) 各事象の影響度評価と選定</p> <p>各自然現象について、想定される発電所への影響(損傷・機能喪失モード)を踏まえ、設計基準を超えるような非常に苛酷な状況を想定した場合に考え得る起回事象について評価し、その結果から特にプラントの安全性に影響を与える可能性がある事象を選定した。(第3表参照)</p> <p>選定に当たっては、そもそも女川原子力発電所において発生する可能性があるか、非常に苛酷な状況を想定した場合、プラントの安全性が損なわれる可能性があるか、影響度の大きさから代表事象による評価が可能かといった観点で確認した。</p> <p>(2) 選定結果</p> <p>上記評価の結果、苛酷な状況となる可能性がある事象であって、影響の程度評価を行うべき外部事象を以下のとおり選定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地震 ・津波 ・竜巻 ・凍結 ・積雪 ・落雷 ・火山の影響 ・森林火災 ・隕石 <p>【補足資料】 補足(1)：竜巻事象に対する事故シーケンス抽出 補足(2)：凍結事象に対する事故シーケンス抽出 補足(3)：積雪事象に対する事故シーケンス抽出 補足(4)：落雷事象に対する事故シーケンス抽出 補足(5)：火山の影響に対する事故シーケンス抽出 補足(6)：森林火災事象に対する事故シーケンス抽出 補足(7)：自然現象の重畳に対する事故シーケンス抽出</p>	<p>(1) 各事象の影響度評価と選定</p> <p>各自然現象について、想定される発電所への影響(損傷・機能喪失モード)を踏まえ、設計基準を超えるような非常に過酷な状況を想定した場合に考え得る起回事象について評価し、その結果から特にプラントの安全性に影響を与える可能性がある事象を選定した(第3表参照)。</p> <p>選定に当たっては、そもそも泊発電所において発生する可能性があるか、非常に過酷な状況を想定した場合、プラントの安全性が損なわれる可能性があるか、影響度の大きさから代表事象による評価が可能かといった観点で確認した。</p> <p>(2) 選定結果</p> <p>上記評価の結果、過酷な状況となる可能性がある事象であって、影響の程度評価を行うべき外部事象を以下のとおり選定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地震 ・津波 ・竜巻 ・凍結 ・積雪 ・落雷 ・火山の影響 ・森林火災 ・隕石 <p>(補足資料) 補足(1)：竜巻事象に対する事故シーケンス抽出 補足(2)：凍結事象に対する事故シーケンス抽出 補足(3)：積雪事象に対する事故シーケンス抽出 補足(4)：落雷事象に対する事故シーケンス抽出 補足(5)：火山の影響に対する事故シーケンス抽出 補足(6)：森林火災事象に対する事故シーケンス抽出 補足(7)：自然現象の重畳に対する事故シーケンス抽出</p>	<p>【大飯】記載表現の相違(女川審査実績反映)</p> <p>【大飯】検討プロセスの相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大飯は海外での評価手法に基づき、収集した自然災害のスクリーニングを実施。 ・泊は、女川同様に、収集し整理した各自然現象について考え得る起回事象について評価し、その結果から特にプラントの安全性に影響を与える可能性がある事象を選定している。 <p>【女川】記載表現の相違(用語の統一)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、本文と同様に、「過酷」で統一する。(島根2号と同様。) <p>【大飯】記載表現の相違(女川審査実績反映)</p> <p>【大飯】評価結果の相違(女川審査実績反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大飯の「暴風(台風)」「生物学的事象」については、泊は他事象に包含される又は安全性に影響を与えないと判断していることから、女川と同様、選定対象外と整理する。 <p>【大飯】【女川】資料の位置付けの相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、各事象に対する詳細検討資料は、本添付資料の補足資料としている。(第37条 添付1 別紙1と同様の整理としている。また、川内1/2号及び玄海3/4号でも同様に、一部の事象に対する詳細検討資料を添付している。) ・大飯は、各事象についてイベントツリーにより事象進展を評価し、その結果を本文に示しており、同様の資料はない。
基準1	当該原子炉施設に影響を与えるほど接近した場所に発生しない。														
基準2	ハザード進展・機束が遅く、事前にそのリスクを予知・検知することでハザードを排除できる。														
基準3	当該原子炉施設の設計上、考慮された事象と比較して設備等への影響度が同等若しくはそれ以下、又は当該原子炉施設の安全性が損なわれない。														
基準4	影響が他の事象に包含される。														
基準5	発生頻度が他の事象と比較して非常に低い。														
基準6	自然現象に該当しない。														

灰色：泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

表 1.4 事象の選定結果(自然現象)(1/3)

第3表 自然現象の評価結果(1/11)

第3表 自然現象の評価結果(1/11)

No.	事象名	選定基準						備考
		基準1	基準2	基準3	基準4	基準5	基準6	
1	停電							○ 評価対象とする。
2	停役、地震式、地震		✓	✓				× 安全施設の機能に影響を及ぼす可能性は極めて低い。地震の脆弱性に関する影響であるため、「地震」の影響評価に包含される。
3	地震発生			✓	✓			× 安全施設の機能に影響を及ぼす可能性は極めて低い。地震の脆弱性に関する影響であるため、「地震」の影響評価に包含される。
4	地震有感			✓	✓			× 安全施設の機能に影響を及ぼす可能性は極めて低い。地震の脆弱性に関する影響であるため、「地震」の影響評価に包含される。
5	地下水による地盤り		✓	✓				× 安全施設の機能に影響を及ぼす可能性は極めて低い。地盤の脆弱性に関する影響であるため、「地盤」の影響評価に包含される。
6	配油漏		✓	✓				○ 安全施設の機能に影響を及ぼすことのないことから除外する。
7	山崩れ、崖崩れ			✓				× 安全施設の機能に影響を及ぼす可能性は極めて低い。地盤の脆弱性に関する影響であるため、「地盤」の影響評価に包含される。
8	停電							○ 評価対象とする。
9	停電	✓		✓				× 安全施設の機能に影響を及ぼす可能性は極めて低い。影響は津波と同様と考えられるため、「津波」の影響評価に包含される。
10	高潮		✓	✓				× 影響は津波と同様と考えられるため、「津波」の影響評価に包含される。
11	波浪・高波		✓	✓				× 影響は津波と同様と考えられるため、「津波」の影響評価に包含される。
12	海水面高（高潮）		✓	✓				× 影響は津波と同様と考えられるため、「津波」の影響評価に包含される。
13	海水面低		✓	✓				× 影響は津波と同様と考えられるため、「津波」の影響評価に包含される。
14	ハリケーン		✓	✓				× 台風と同様の気象現象であるため、「風（台風）」の影響評価に包含される。
15	雪崩（雪崩）							○ 地域特性を結ぶまで評価対象とする。
16	雪崩							○ 地域特性を結ぶまで評価対象とする。
17	砂嵐	✓						× 大飯発電所及びその周辺には砂嵐がないため発生しない。
18	強制的な気圧		✓	✓				× 事前評価として気圧による荷重を考慮するため、「地震」の影響評価に包含される。
19	洪水	✓		✓				× 事前評価が可能であると共に、津波が建つ時間的余裕があり、安全施設の機能に影響を及ぼす可能性はない。「津波」による影響に包含される。
20	洪水	✓		✓				× 概測評定は、堤防及び黄泥水の状況等から判断し、洪水による被害は考えられない。「津波」による影響に包含される。

No.	自然現象	設備等の損傷・機能喪失モードの抽出	想定される起因事象等	
			選定結果	備考
1	運送 選定理由：1.3参照 資料1.1.3参照	屋外タンク及び配管内液体の漏洩 ヒートシシク（雨水）の凍結	船舶タンク等の軽船が凍結するとともに、外部電源喪失が原因として、非常用ディーゼル発電機等の燃料タンクの燃料供給により「全交流動力電源喪失」に至るシナリオ。 雨水貯蔵タンク等の保水が凍固した場合、雨水補給システムの喪失により「計画外停電」に至るシナリオ。	○
2	土石	電次的影響 荷重 浸水	活断層や断層により発生することによって相関関係を起こし、「外部電源喪失」に至るシナリオ。	○
3	降水	降水	安全施設の機能に影響を及ぼす可能性がある事象は、極低湿度を発生させる可能性がある事象として選定する。	-
4	河川の氾濫	降水	津波の評価に包含される。	-
5	砂嵐 (嵐を含んだ嵐)	降水 荷重 浸水	津波の評価に包含される。 (No.6参照) 女川原子力発電所は海水を冷却用としていることから、河川等からの取水は不当によるプラントへの影響はないと判断。 周辺に砂嵐発生がないため考慮しない。	-

No.	自然現象	設備等の損傷・機能喪失モードの抽出	想定される起因事象等	
			選定結果	備考
1	凍結 選定理由：選定(2)参照	屋外タンク及び配管内液体の凍結 ヒートシシク（海水）の凍結	ディーゼル発電機燃料油タンク及びディーゼル発電機冷却油タンクから燃料タンクとスタックまでの配管及び外の配管が凍結した場合、「ディーゼル発電機が機能喪失」することにより、「手動停止」に至る。 「全交流動力電源喪失」に至る。 「全交流動力電源喪失」に至る。	○
2	限石	電次的影響 荷重 浸水	活断層や断層により発生することによって相関関係を起こし、「外部電源喪失」に至るシナリオ。 安全施設の機能に影響を及ぼす可能性がある事象は、極低湿度な事象として選定する。 ・荷重（積雪）については、地震と同じ起因事象等が発生する可能性がある。 ・浸水については、津波と同じ起因事象等が発生する可能性がある。	○
3	降水	降水による設備の浸水	積雪の崩壊に包含される。 (No.6参照)	-
4	河川の氾濫	設備の浸水	泊発電所は海水を冷却用としていることから、河川等からの取水によるプラントへの影響はないと判断。 また、泊発電所周辺において記載することによる安全施設の機能に影響を及ぼすような河川はないことから、本事業から事故シナリオの抽出に当たっては考慮すべき起因事象の発生はないと判断。	-
5	砂嵐 (嵐を含んだ嵐)	空気フィルタの閉塞	周辺に砂嵐発生がないため考慮しない。 発生を想定してもその影響は火山の影響（No.8）の評価に包含される。 なお、概測評定においては、熱交換器の取水取入口に設置されたフィルタにより大粒分を捕集可能であること、また、容易に閉塞又は取替え可能であることから、安全施設の機能に影響を及ぼすことはない。したがって、本事業から事故シナリオの抽出に当たっては考慮すべき起因事象の発生はないと判断。	-
6	積雪 選定理由：選定(3)参照	荷重（堆積）	原子炉建屋屋上が積雪荷重により崩壊した場合には、その直下に設置している燃料取扱用ホッチャーが物理的に損傷し、機能喪失することにより、「原子炉建屋屋上崩壊」に至るシナリオ。 原子炉建屋屋上が積雪荷重により崩壊した場合には、その直下に設置している原子炉冷却水ポンプが物理的に損傷し、機能喪失することにより、「原子炉建屋屋上崩壊」に至るシナリオ。	○

【大飯】検討プロセスの相違に伴う記載内容の相違(女川審査実績反映)
 ・泊は、女川と同様に、収集し整理した各自然現象について考え得る起因事象について評価した結果を記載している。
 ・大飯は、収集した自然災害に対して、表1.3の除外基準に基づいた選定の結果について記載している。

【女川】個別評価による相違

灰色：泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

表 1.4 事象の選定結果(自然現象)(2/3)

第3表 自然現象の評価結果(2/11)

第3表 自然現象の評価結果(2/11)

No.	事象 ^{注1)}	選定基準 ^{注2)}						選定結果	備考
		基準1	基準2	基準3	基準4	基準5	基準6		
21	土石流				✓			×	土の流を堆積のり評価で考慮するため、「堆積のり」の影響評価に包含される。
22	降雹		✓		✓			×	安全施設の機能に影響を及ぼす可能性は極めて低い、電管評価として想定される設計対象物による影響度を考慮するため、「電管」の影響評価に包含される。
23	落雷							○	地域特性を踏まえて評価対象とする。
24	森林火災							○	地域特性を踏まえて評価対象とする。
25	夜間火災				✓			×	外部火災評価として発電所周辺の発生を適切に考慮するため、「森林火災」の影響評価に包含される。
26	遊性ガス				✓			×	地層から湧出する天然ガス等が地層の特性に由来するため、「地層」による影響評価に包含される。
27	高風		✓					×	長期的には気象変化は緩慢であること、建内機器は海水をヒートシンクとして冷却することなどから、安全施設の機能に影響を及ぼす可能性は低いことから除外する。
28	乾雪							○	地域特性を踏まえて評価対象とする。
29	氷害				✓			×	「凍結」による影響評価に包含される。
30	氷害				✓			×	「凍結」による影響評価に包含される。
31	氷害				✓			×	「凍結」による影響評価に包含される。
32	高水害		✓					×	長期的に高水害は緩慢なものであること、且時的には水害に付随する影響を考慮することから、出力低下等の影響を考慮することができるため、安全機能を損なうおそれはない。
33	低水害		✓					×	大飯発電所付近は取水源(海水)が凍結することはない。
34	干ばつ				✓			×	設備に影響を及ぼさないため、安全機能を損なうおそれはない。なお、取水源は海水であり、干ばつの影響を受けない。
35	霜				✓			×	設備に影響を及ぼさないため、安全機能を損なうおそれはない。
36	霞、もや				✓			×	設備に影響を及ぼさないため、安全機能を損なうおそれはない。
37	火山(火山活動、噴火)							○	地域特性を踏まえて火山の影響評価を行う。
38	熱害		✓					×	設備に影響を及ぼさないため、安全機能を損なうおそれはない。

注1：表1.1の事象は、設計許可基準規則の解釈例表に列示されている事象に該当する事象。
 注2：選定基準は以下のとおり。
 基準1：当該事象が施設に影響を及ぼすおそれのある地域に発生しない。
 基準2：ハード対策・構築が速く、事前にそのリスクを予知・検知することでハードを排除できる。
 基準3：当該事象が施設設計上、考慮された事象と比較して設備等への影響が同等若しくはそれ以下、又は当該事象が施設の安全性が損なわれることがない。
 基準4：影響が他の事象に包含される。
 基準5：発生頻度が他の事象と比較して非常に低い。
 基準6：自然現象に該当しない。
 注3：選定結果において「×」としている事象は、発生する可能性を検討した結果、考慮する必要がないと判断した事象。

No.	自然現象	設備等の損傷・機能喪失モードの抽出	選定結果
6	降雪 ※評価は付 2.1.1.参考	設備等の損傷・機能喪失モードの抽出	○

No.	自然現象	設備等の損傷・機能喪失モードの抽出	選定結果
6	降雪 ※評価は満足(3) 参照	設備等の損傷・機能喪失モードの抽出	○

【大飯】検討プロセスの相違に伴う記載内容の相違(女川審査実績反映)
 ・泊は、女川と同様に、収集し整理した各自然現象について考え得る起因事象について評価した結果を記載している。
 ・大飯は、収集した自然災害に対して、表1.3の除外基準に基づいた選定の結果について記載している。

【女川】個別評価による相違

灰色：泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉

表 1.4 事象の選定結果(自然現象)(3/3)

No.	事象 ¹⁾	選定基準 ²⁾						選定結果	備考
		基準1	基準2	基準3	基準4	基準5	基準6		
39	地震(巨震)							○	地域特性を踏まえて被害の影響評価を行う。
40	雪崩	✓						×	周辺の地形から、積雪荷重以上の影響がある雪崩は発生しない。
41	生物学的事象							○	地域特性を踏まえて生物学的事象の影響評価を行う。
42	動物			✓	✓			×	「生物学的事象」の影響評価に包含される。
43	伝音		✓					×	伝音の発生は、積雪荷重以上の影響がある雪崩は発生しない。
44	雷打					✓		○	大飯発電所では、雷害は発生しない。
45	土壌の収縮・膨張(沈下現象)				✓			×	「地震」の支持力の評価に包含される。
46	海草の発生		✓					×	海草の発生は、積雪荷重以上の影響がある雪崩は発生しない。
47	積雪による浸食				✓			×	積雪による浸食は、積雪荷重以上の影響がある雪崩は発生しない。
48	ガレキ		✓					×	大飯発電所では、ガレキは発生しない。
49	積雪による土壌の崩壊		✓					×	積雪による土壌の崩壊は、積雪荷重以上の影響がある雪崩は発生しない。
50	積雪による土壌の崩壊		✓					×	積雪による土壌の崩壊は、積雪荷重以上の影響がある雪崩は発生しない。
51	水中の有機物			✓	✓			×	「生物学的事象」の影響評価に包含される。
52	太陽フレア、磁気嵐			✓				×	太陽フレア、磁気嵐による影響は、積雪荷重以上の影響がある雪崩は発生しない。
53	河川の氾濫、閉塞		✓					×	大飯発電所では、河川の氾濫は発生しない。

注1：特種Aの事象は、設置許可基準規程の解釈(第6条)に例示されている事象に該当する事象。
 注2：選定基準は以下のとおり。
 基準1：当該事象が施設に影響を及ぼすおそれがない場合。
 基準2：当該事象が施設に影響を及ぼすおそれがある場合、そのリスクを予知・検知することでハザードを排除できる。
 基準3：当該事象が施設の設計上、考慮された事象と比較して設備等への影響度が同等若しくはそれ以下、又は当該事象が施設の安全性が損なわれることがない。
 基準4：影響が他の事象に包含される。
 基準5：発生頻度が他の事象と比較して非常に低い。
 基準6：自然現象に該当しない。
 注3：選定結果において「×」としている事象は、発生する可能性を検討した結果、考慮する必要がないと判断した事象。

女川原子力発電所2号炉

第3表 自然現象の評価結果(3/11)

No.	自然現象	設備等の損傷・機能喪失モードの抽出	損傷等の損傷・機能喪失モードの抽出
6	積雪 ※評価は添付2.1.1.5参照	荷重(積積) 電氣的影響	着雪による送電線の相間短絡 給気口等の閉塞 (積雪等)

泊発電所3号炉

第3表 自然現象の評価結果(3/11)

No.	自然現象	設備等の損傷・機能喪失モードの抽出	損傷等の損傷・機能喪失モードの抽出
6	積雪 ※評価は添付(3)参照	荷重(積積) 電氣的影響 着雪による送電線の相間短絡	燃料貯蔵タンク等の損傷が燃料貯蔵タンクにより発生した場合、ディーゼル発電機燃料供給装置の機能喪失により、「手動停止」に至るシナリオ。外部電源喪失の同時発生を想定した場合、「全交流動力電源喪失」に至るシナリオ。 積雪荷重によりディーゼル発電機の付随機器が損傷した場合、ディーゼル発電機が機能喪失すること、「手動停止」に至るシナリオ。 積雪荷重により主蒸気発生炉が損傷した場合、主蒸気発生炉が機能喪失すること、「手動停止」に至るシナリオ。 積雪荷重によりタービン駆動機が損傷した場合、タービン駆動機が機能喪失すること、「手動停止」に至るシナリオ。 積雪荷重によりタービン駆動機が損傷した場合、タービン駆動機が機能喪失すること、「手動停止」に至るシナリオ。 積雪荷重によりタービン駆動機が損傷した場合、タービン駆動機が機能喪失すること、「手動停止」に至るシナリオ。 積雪荷重によりタービン駆動機が損傷した場合、タービン駆動機が機能喪失すること、「手動停止」に至るシナリオ。 積雪荷重によりタービン駆動機が損傷した場合、タービン駆動機が機能喪失すること、「手動停止」に至るシナリオ。
7	高潮	浸水	高潮による設備の浸水
8	火山の影響 ※評価は添付(3)参照	荷重(積積)	火山の影響による設備の浸水

相違理由

【大飯】検討プロセスの相違に伴う記載内容の相違(女川審査実績反映)
 ・泊は、女川と同様に、収集し整理した各自然現象について考え得る起因事象について評価した結果を記載している。
 ・大飯は、収集した自然災害に対して、表1.3の除外基準に基づいた選定の結果について記載している。

【女川】個別評価による相違

灰色：泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																														
	<p style="text-align: center;">第3表 自然現象の評価結果 (9/11)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>自然現象</th> <th>設備等の損傷・機能喪失モードの抽出</th> <th>想定される原因事象等</th> <th>想定結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15</td> <td>地震 ※詳細は添付資料 2.1.2参照</td> <td>荷重 (構造)</td> <td>非常用ディーゼル発電機が建屋外壁を貫通した廃棄物が衝突して機能喪失した場合、非常用ディーゼル発電機等の機能喪失、仮に外部電源喪失の同時発生を想定した場合、「空送動力電源喪失」に至るシナリオ。 燃料ポンプに建屋外壁を貫通した廃棄物が衝突して機能喪失した場合、非常用ディーゼル発電機等の機能喪失、仮に外部電源喪失の同時発生を想定した場合、「空送動力電源喪失」に至るシナリオ。 吹切熱源弁弁、(閉鎖機)に建屋外壁を貫通した廃棄物が衝突して機能喪失した場合、「封鎖外停止」に至るシナリオ。 原子炉建屋に設置している気体汚染物処理施設に建屋外壁を貫通した廃棄物が衝突して機能喪失した場合、「隔離事象」に至るシナリオ。 タービン建屋に設置しているタービンや発電機に建屋外壁を貫通した廃棄物が衝突して機能喪失した場合、「閉鎖事象」に至るシナリオ。 タービン建屋に設置している新設空冷排気装置が建屋外壁を貫通した廃棄物が衝突して機能喪失した場合、「タービン・セプト・冷却」に至るシナリオ。 廃棄物が取水口周辺の欄に入り取水口を閉塞させる可能性があるが、取水口は仮かみ口が広く、閉塞させるほどの質機材や運搬等の飛散は考えられないことから、本現象から大飯格納罐シナリオ種別は発生し得ない。同種原因事象の発生は発生しない。</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>16</td> <td>濃霧</td> <td>—</td> <td>及至濃霧の発生が顕著なわけではない。本現象から大飯格納罐シナリオ種別に当たっては発生し得ない。</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>17</td> <td>森林火災 ※詳細は添付資料 2.1.7参照</td> <td>温度 放射熱 閉塞 (煙気等)</td> <td>森林火災の発生により外部電源喪失が顕著な場合、「外部電源喪失」に至るシナリオ。 想定し得る最大の火災影響評価において、防火扉外壁(水素側)から十分な遮断効果があることを考慮すること。設備等が損傷することはない。 ばい煙により循環水ポンプの空気の清浄性が顕著な場合、廃水装置が異常に発生し、「隔離事象」に至るシナリオ。</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	No.	自然現象	設備等の損傷・機能喪失モードの抽出	想定される原因事象等	想定結果	15	地震 ※詳細は添付資料 2.1.2参照	荷重 (構造)	非常用ディーゼル発電機が建屋外壁を貫通した廃棄物が衝突して機能喪失した場合、非常用ディーゼル発電機等の機能喪失、仮に外部電源喪失の同時発生を想定した場合、「空送動力電源喪失」に至るシナリオ。 燃料ポンプに建屋外壁を貫通した廃棄物が衝突して機能喪失した場合、非常用ディーゼル発電機等の機能喪失、仮に外部電源喪失の同時発生を想定した場合、「空送動力電源喪失」に至るシナリオ。 吹切熱源弁弁、(閉鎖機)に建屋外壁を貫通した廃棄物が衝突して機能喪失した場合、「封鎖外停止」に至るシナリオ。 原子炉建屋に設置している気体汚染物処理施設に建屋外壁を貫通した廃棄物が衝突して機能喪失した場合、「隔離事象」に至るシナリオ。 タービン建屋に設置しているタービンや発電機に建屋外壁を貫通した廃棄物が衝突して機能喪失した場合、「閉鎖事象」に至るシナリオ。 タービン建屋に設置している新設空冷排気装置が建屋外壁を貫通した廃棄物が衝突して機能喪失した場合、「タービン・セプト・冷却」に至るシナリオ。 廃棄物が取水口周辺の欄に入り取水口を閉塞させる可能性があるが、取水口は仮かみ口が広く、閉塞させるほどの質機材や運搬等の飛散は考えられないことから、本現象から大飯格納罐シナリオ種別は発生し得ない。同種原因事象の発生は発生しない。	○	16	濃霧	—	及至濃霧の発生が顕著なわけではない。本現象から大飯格納罐シナリオ種別に当たっては発生し得ない。	—	17	森林火災 ※詳細は添付資料 2.1.7参照	温度 放射熱 閉塞 (煙気等)	森林火災の発生により外部電源喪失が顕著な場合、「外部電源喪失」に至るシナリオ。 想定し得る最大の火災影響評価において、防火扉外壁(水素側)から十分な遮断効果があることを考慮すること。設備等が損傷することはない。 ばい煙により循環水ポンプの空気の清浄性が顕著な場合、廃水装置が異常に発生し、「隔離事象」に至るシナリオ。	○	<p style="text-align: center;">第3表 自然現象の評価結果 (9/11)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>自然現象</th> <th>設備等の損傷・機能喪失モードの抽出</th> <th>想定される原因事象等</th> <th>想定結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15</td> <td>地震 ※詳細は補足(1) 参照</td> <td>荷重 (構造)</td> <td>原子炉建屋に設置している原子炉格納罐冷却ポンプが建屋外壁や天井を貫通した廃棄物の衝突により損傷し、機能喪失することで、「原子炉補給炉機能喪失」に至るシナリオ。 原子炉建屋に設置している空冷排気装置が建屋外壁や天井を貫通した廃棄物の衝突により損傷し、機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。 原子炉補助建屋に設置している中気排気装置が建屋外壁や天井を貫通した廃棄物の衝突により損傷し、機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。 原子炉補助建屋に設置している空冷排気装置が建屋外壁や天井を貫通した廃棄物の衝突により損傷し、機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。 原子炉補助建屋に設置している新設空冷排気装置が建屋外壁や天井を貫通した廃棄物の衝突により損傷し、機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。 原子炉補助建屋に設置している補助建屋空冷排気装置が建屋外壁や天井を貫通した廃棄物の衝突により損傷し、機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。 原子炉補助建屋に設置している燃料採取空冷排気装置が建屋外壁や天井を貫通した廃棄物の衝突により損傷し、機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。 タービン建屋に設置しているディーゼル発電機が建屋外壁や天井を貫通した廃棄物の衝突により損傷し、機能喪失することで、「空送動力電源喪失」に至るシナリオ。 タービン建屋に設置しているタービンや発電機が建屋外壁や天井を貫通した廃棄物の衝突により損傷し、機能喪失することで、「隔離事象」に至るシナリオ。 タービン建屋に設置している新設空冷排気装置が建屋外壁や天井を貫通した廃棄物の衝突により損傷し、機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。 循環水ポンプ建屋に設置している循環水ポンプが建屋外壁や天井を貫通した廃棄物の衝突により損傷し、機能喪失することで、「過渡事象」又は「手動停止」に至るシナリオ。 循環水ポンプ建屋に設置している原子炉補給炉冷却ポンプが建屋外壁を貫通した廃棄物の衝突により損傷し、機能喪失することで、「原子炉補給炉機能喪失」に至るシナリオ。 外排気装置が建屋外壁を貫通した廃棄物の衝突により損傷し、機能喪失することで、「隔離事象」又は「手動停止」に至るシナリオ。 気体汚染物処理施設に設置している気体汚染物処理施設の排気装置が建屋外壁や天井を貫通した廃棄物の衝突により損傷し、機能喪失することで、「過渡事象」又は「手動停止」に至るシナリオ。</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	No.	自然現象	設備等の損傷・機能喪失モードの抽出	想定される原因事象等	想定結果	15	地震 ※詳細は補足(1) 参照	荷重 (構造)	原子炉建屋に設置している原子炉格納罐冷却ポンプが建屋外壁や天井を貫通した廃棄物の衝突により損傷し、機能喪失することで、「原子炉補給炉機能喪失」に至るシナリオ。 原子炉建屋に設置している空冷排気装置が建屋外壁や天井を貫通した廃棄物の衝突により損傷し、機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。 原子炉補助建屋に設置している中気排気装置が建屋外壁や天井を貫通した廃棄物の衝突により損傷し、機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。 原子炉補助建屋に設置している空冷排気装置が建屋外壁や天井を貫通した廃棄物の衝突により損傷し、機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。 原子炉補助建屋に設置している新設空冷排気装置が建屋外壁や天井を貫通した廃棄物の衝突により損傷し、機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。 原子炉補助建屋に設置している補助建屋空冷排気装置が建屋外壁や天井を貫通した廃棄物の衝突により損傷し、機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。 原子炉補助建屋に設置している燃料採取空冷排気装置が建屋外壁や天井を貫通した廃棄物の衝突により損傷し、機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。 タービン建屋に設置しているディーゼル発電機が建屋外壁や天井を貫通した廃棄物の衝突により損傷し、機能喪失することで、「空送動力電源喪失」に至るシナリオ。 タービン建屋に設置しているタービンや発電機が建屋外壁や天井を貫通した廃棄物の衝突により損傷し、機能喪失することで、「隔離事象」に至るシナリオ。 タービン建屋に設置している新設空冷排気装置が建屋外壁や天井を貫通した廃棄物の衝突により損傷し、機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。 循環水ポンプ建屋に設置している循環水ポンプが建屋外壁や天井を貫通した廃棄物の衝突により損傷し、機能喪失することで、「過渡事象」又は「手動停止」に至るシナリオ。 循環水ポンプ建屋に設置している原子炉補給炉冷却ポンプが建屋外壁を貫通した廃棄物の衝突により損傷し、機能喪失することで、「原子炉補給炉機能喪失」に至るシナリオ。 外排気装置が建屋外壁を貫通した廃棄物の衝突により損傷し、機能喪失することで、「隔離事象」又は「手動停止」に至るシナリオ。 気体汚染物処理施設に設置している気体汚染物処理施設の排気装置が建屋外壁や天井を貫通した廃棄物の衝突により損傷し、機能喪失することで、「過渡事象」又は「手動停止」に至るシナリオ。	○	<p>【大飯】検討プロセスの相違に伴う記載内容の相違(女川審査実績反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は、女川と同様に、収集し整理した各自然現象について考え得る起因事象について評価した結果を記載している。 <p>【女川】個別評価による相違</p>
No.	自然現象	設備等の損傷・機能喪失モードの抽出	想定される原因事象等	想定結果																													
15	地震 ※詳細は添付資料 2.1.2参照	荷重 (構造)	非常用ディーゼル発電機が建屋外壁を貫通した廃棄物が衝突して機能喪失した場合、非常用ディーゼル発電機等の機能喪失、仮に外部電源喪失の同時発生を想定した場合、「空送動力電源喪失」に至るシナリオ。 燃料ポンプに建屋外壁を貫通した廃棄物が衝突して機能喪失した場合、非常用ディーゼル発電機等の機能喪失、仮に外部電源喪失の同時発生を想定した場合、「空送動力電源喪失」に至るシナリオ。 吹切熱源弁弁、(閉鎖機)に建屋外壁を貫通した廃棄物が衝突して機能喪失した場合、「封鎖外停止」に至るシナリオ。 原子炉建屋に設置している気体汚染物処理施設に建屋外壁を貫通した廃棄物が衝突して機能喪失した場合、「隔離事象」に至るシナリオ。 タービン建屋に設置しているタービンや発電機に建屋外壁を貫通した廃棄物が衝突して機能喪失した場合、「閉鎖事象」に至るシナリオ。 タービン建屋に設置している新設空冷排気装置が建屋外壁を貫通した廃棄物が衝突して機能喪失した場合、「タービン・セプト・冷却」に至るシナリオ。 廃棄物が取水口周辺の欄に入り取水口を閉塞させる可能性があるが、取水口は仮かみ口が広く、閉塞させるほどの質機材や運搬等の飛散は考えられないことから、本現象から大飯格納罐シナリオ種別は発生し得ない。同種原因事象の発生は発生しない。	○																													
16	濃霧	—	及至濃霧の発生が顕著なわけではない。本現象から大飯格納罐シナリオ種別に当たっては発生し得ない。	—																													
17	森林火災 ※詳細は添付資料 2.1.7参照	温度 放射熱 閉塞 (煙気等)	森林火災の発生により外部電源喪失が顕著な場合、「外部電源喪失」に至るシナリオ。 想定し得る最大の火災影響評価において、防火扉外壁(水素側)から十分な遮断効果があることを考慮すること。設備等が損傷することはない。 ばい煙により循環水ポンプの空気の清浄性が顕著な場合、廃水装置が異常に発生し、「隔離事象」に至るシナリオ。	○																													
No.	自然現象	設備等の損傷・機能喪失モードの抽出	想定される原因事象等	想定結果																													
15	地震 ※詳細は補足(1) 参照	荷重 (構造)	原子炉建屋に設置している原子炉格納罐冷却ポンプが建屋外壁や天井を貫通した廃棄物の衝突により損傷し、機能喪失することで、「原子炉補給炉機能喪失」に至るシナリオ。 原子炉建屋に設置している空冷排気装置が建屋外壁や天井を貫通した廃棄物の衝突により損傷し、機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。 原子炉補助建屋に設置している中気排気装置が建屋外壁や天井を貫通した廃棄物の衝突により損傷し、機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。 原子炉補助建屋に設置している空冷排気装置が建屋外壁や天井を貫通した廃棄物の衝突により損傷し、機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。 原子炉補助建屋に設置している新設空冷排気装置が建屋外壁や天井を貫通した廃棄物の衝突により損傷し、機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。 原子炉補助建屋に設置している補助建屋空冷排気装置が建屋外壁や天井を貫通した廃棄物の衝突により損傷し、機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。 原子炉補助建屋に設置している燃料採取空冷排気装置が建屋外壁や天井を貫通した廃棄物の衝突により損傷し、機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。 タービン建屋に設置しているディーゼル発電機が建屋外壁や天井を貫通した廃棄物の衝突により損傷し、機能喪失することで、「空送動力電源喪失」に至るシナリオ。 タービン建屋に設置しているタービンや発電機が建屋外壁や天井を貫通した廃棄物の衝突により損傷し、機能喪失することで、「隔離事象」に至るシナリオ。 タービン建屋に設置している新設空冷排気装置が建屋外壁や天井を貫通した廃棄物の衝突により損傷し、機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。 循環水ポンプ建屋に設置している循環水ポンプが建屋外壁や天井を貫通した廃棄物の衝突により損傷し、機能喪失することで、「過渡事象」又は「手動停止」に至るシナリオ。 循環水ポンプ建屋に設置している原子炉補給炉冷却ポンプが建屋外壁を貫通した廃棄物の衝突により損傷し、機能喪失することで、「原子炉補給炉機能喪失」に至るシナリオ。 外排気装置が建屋外壁を貫通した廃棄物の衝突により損傷し、機能喪失することで、「隔離事象」又は「手動停止」に至るシナリオ。 気体汚染物処理施設に設置している気体汚染物処理施設の排気装置が建屋外壁や天井を貫通した廃棄物の衝突により損傷し、機能喪失することで、「過渡事象」又は「手動停止」に至るシナリオ。	○																													

灰色：泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由
		第3表 自然現象の評価結果 (11/11)		第3表 自然現象の評価結果 (11/11)		
No	自然現象	設備等の損傷・機能喪失モードの抽出	想定される起回事象等	No.	自然現象	設備等の損傷・機能喪失モードの抽出
22	湖又は河川の水位低下	工業用水の枯渇	女川原子力発電所は湖本を冷却源としていないこと、また、湖内には河川、湖は存在しない。したがって、本現象によるグラントへの影響はなく、本現象から大飯原積層シナリオ検討に当たって考慮すべき起回事象の発生はないと判断。	22	湖又は河川の水位低下	工業用水の枯渇
23	湖又は河川の水位上昇	湖又は河川の水位上昇	女川原子力発電所は湖本を冷却源としていないこと、また、湖内には河川、湖は存在しない。したがって、本現象によるグラントへの影響はなく、本現象から大飯原積層シナリオ検討に当たって考慮すべき起回事象の発生はないと判断。	23	湖又は河川の水位上昇	設備の浸水
24	もや	—	安全施設の機能が阻害されることはないが、本現象から大飯原積層シナリオ検討に当たって考慮すべき起回事象の発生はないと判断。	24	もや	—
25	地震、地震	地震による腐食	震害は、震源の距離に依存する時間スケールで地震発生直後、保安設備の稼働に支障をきたす可能性があるが、本現象から大飯原積層シナリオ検討に当たって考慮すべき起回事象の発生はないと判断。	25	地震・地震	地震による化学的影響
26	地震り	荷重 (変位、傾斜)	地震は、震源の距離に依存する時間スケールで地震発生直後、保安設備の稼働に支障をきたす可能性があるが、本現象から大飯原積層シナリオ検討に当たって考慮すべき起回事象の発生はないと判断。	26	地震り	荷重 (衝突)
27	カルスト	荷重 (変位、傾斜)	女川原子力発電所の周囲にカルスト地質はない。したがって、本現象によるグラントへの影響はないこと、本現象から大飯原積層シナリオ検討に当たって考慮すべき起回事象の発生はないと判断。	27	カルスト	地震安定性
28	風圧アレー、風気流	風気流による腐食	通常の評価に抽出される。(No. 21参照)	28	太陽アレー、感電風	建屋、屋外設備の損傷
29	高温水 (海水温高)	温度	湖本温の上昇に伴う取水温度の上昇により、取水温度が低下し、定常出力稼働が困難な場合が生じても、出力低下又はグラント停止措置を講ずることにより、安全施設の機能が影響を及ぼすことはない。したがって、本現象から大飯原積層シナリオ検討に当たって考慮すべき起回事象の発生はないと判断。	29	高温水 (海水温高)	温度
30	低温水 (海水温低)	温度	湖本温の低下により取水温度が低下するが、安全施設の冷却性能に影響を及ぼすことはないため、本現象から大飯原積層シナリオ検討に当たって考慮すべき起回事象の発生はないと判断。	30	低温水 (海水温低)	温度

【大飯】検討プロセスの相違に伴う記載内容の相違(女川審査実績反映)
 ・泊は、女川と同様に、収集し整理した各自然現象について考え得る起回事象について評価した結果を記載している。
 【女川】個別評価による相違

No.	自然現象	設備等の損傷・機能喪失モードの抽出	想定される起回事象等
22	湖又は河川の水位低下	工業用水の枯渇	泊発電所は湖本を冷却源としていないこと、湖本温の上昇により取水温度が低下すること及び泊発電所周囲において安全施設の機能が影響を及ぼすような湖や河川の発生はないと判断。
23	湖又は河川の水位上昇	設備の浸水	泊発電所は湖本を冷却源としていないこと及び泊発電所周囲において安全施設の機能が影響を及ぼすような湖や河川の発生はないと判断。
24	もや	—	安全施設の機能が阻害されることはないが、本現象から大飯原積層シナリオ検討に当たって考慮すべき起回事象の発生はないと判断。
25	地震・地震	地震による化学的影響	湖内については、屋外設備表面には腐食性の酸液(アクリルアミド樹脂系又はシリコン樹脂系)が塗布されており腐食の抑制効果が考えられること、腐食の進展速度の遅さを考慮し、適切な保全管理が可能なことから、本現象から大飯原積層シナリオ検討に当たって考慮すべき起回事象の発生はないと判断。
26	地震り	荷重 (衝突)	発電所敷地内において、地震りが発生する可能性があるが、安全上重要な設備とは十分な耐地震性を有しており、グラントの安全性が損なわれるような影響は発生しない。したがって、本現象から大飯原積層シナリオ検討に当たって考慮すべき起回事象の発生はないと判断。
27	カルスト	地震安定性	泊発電所の周囲にカルスト地形はない。したがって、本現象によるグラントへの影響はないこと、本現象から大飯原積層シナリオ検討に当たって考慮すべき起回事象の発生はないと判断。
28	太陽アレー、感電風	建屋、屋外設備の損傷	震害の範囲に包括される。(No. 21参照)
29	高温水 (海水温高)	温度	長期継続することはなく、長期的には湖面上昇は懸念されることから、出力低下等の措置を講ずることができ、安全施設の冷却性能に影響を及ぼすことはないが、本現象から大飯原積層シナリオ検討に当たって考慮すべき起回事象の発生はないと判断。
30	低温水 (海水温低)	温度	湖本温の低下により取水温度が低下するが、安全施設の冷却性能に影響を及ぼすことはないため、本現象から大飯原積層シナリオ検討に当たって考慮すべき起回事象の発生はないと判断。

灰色：泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

表 1.5 事象の選定結果（人為によるもの（故意によるものを除く。））

No.	事象 ⁽¹⁾	選定基準 ⁽²⁾						選定 ⁽³⁾ 結果	備考
		基準1	基準2	基準3	基準4	基準5	基準6		
1	人工物の落下						✓	×	自然現象に該当しない
2	爆発物（航空機落下）						✓	×	自然現象に該当しない
3	工業施設又は軍事施設事故（爆発、化学物質放出）	✓					✓	×	自然現象に該当しない
4	パイプライン事故（爆発、化学物質放出）	✓					✓	×	自然現象に該当しない
5	自動車又は船舶の爆発			✓			✓	×	自然現象に該当しない
6	掘削工事（掘削事故）、土木建設現場の事故（爆発、化学物質放出）	✓		✓			✓	×	自然現象に該当しない
7	船舶の衝突						✓	×	自然現象に該当しない
8	船舶事故（固体汚泥流出）			✓			✓	×	自然現象に該当しない
9	空難事故（化学物質流出含む）			✓			✓	×	自然現象に該当しない
10	タービンミサイル（他のユニットからのミサイル）						✓	×	自然現象に該当しない
11	雷直撃						✓	×	自然現象に該当しない
12	ガムの燃焼						✓	×	自然現象に該当しない
13	爆発（プラント外での爆発）						✓	×	自然現象に該当しない
14	火災（掘削現場での火災）						✓	×	自然現象に該当しない
15	軍事施設からのミサイル						✓	×	自然現象に該当しない
16	サイト内貯蔵の化学物質流出		✓				✓	×	自然現象に該当しない
17	プラント外での化学物質流出			✓			✓	×	自然現象に該当しない
18	放射線障害						✓	×	自然現象に該当しない
19	内爆火災						✓	×	自然現象に該当しない
20	内爆火災（他のユニットからの内爆火災）						✓	×	自然現象に該当しない
21	水中への化学物質放出	✓					✓	×	自然現象に該当しない

(注1) 特種火の事象は、選定許可基準範囲の解釈範囲に属している事象に該当する事象。
 (注2) 選定基準は以下のとおり。
 基準1：当該原子力施設に影響を与えるほど限定した場所に発生しない。
 基準2：ハザード燃料・燃料が運く、事前にそのリスクを予知・検知することでハザードを排除できる。
 基準3：当該原子力施設的设计上、考慮された事象と比較して設備等への影響度が同等若しくはそれ以下、又は当該原子力施設の安全性が損なわれることのない。
 基準4：影響が他の事象に含まれる。
 基準5：発生頻度が他の事象と比較して非常に低い。
 基準6：自然現象に該当しない。
 (注3) 選定結果において「×」としている事象は、発生する可能性を検討した結果、考慮する必要がないと判断した事象。

【大飯】収集事象の相違
 ・大飯は文献より抽出した外部人為事象について記載している。いずれの事象についても、表 1.3 の除外基準のうち「自然現象に該当しない。」（基準6）により除外することから、大規模損壊を発生させる可能性のある大規模な自然災害の抽出プロセスとしては実質的に相違はない。（なお、泊の第6条まとめ資料では文献より人為事象 23 事象を抽出しており、大飯の表 1.2 で抽出されている 21 事象を網羅している。泊では、人為事象による影響は故意による大型航空機の衝突のシナリオに代表できると整理している。）

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p><参考1></p> <p>基準1：当該原子炉施設に影響を与えるほど接近した場所に発生しない。</p> <p>発電所の立地点の自然環境は一樣ではなく、発生する自然現象は地域性があるため、発電所立地点において明らかに起こり得ない事象は対象外とする。</p> <p>基準2：ハザード進展・襲来が遅く、事前にそのリスクを予知・検知することでハザードを排除できる</p> <p>事象発生時の発電所への影響の進展が緩慢であって、影響の緩和又は排除の対策が容易に講じることが出来る事象は対象外とする。例えば、発電所で海岸の浸食の事象が発生しても、進展が遅いため補強工事等により浸食を食い止めることができる。</p> <p>基準3：当該原子炉施設的设计上、考慮された事象と比較して設備等への影響度が同等若しくはそれ以下、又は当該原子炉施設の安全性が損なわれることがない。</p> <p>事象が発生しても、プラントへの影響が極めて限定的で炉心損傷事故のような重大な事故には繋がらない事象は対象外とする。例えば、外気温が上昇しても、屋外設備でも故障に至る可能性は小さく、また、冷却海水の温度が直ちに上昇しないことから冷房は維持できるので、影響は限定的である。</p> <p>基準4：影響が他の事象に包絡される。</p> <p>プラントに対する影響が同様とみなせる事象については、相対的に影響が大きいと判断される事象に包含して合理的に検討する。例えば、地滑り、山崩れ、崖崩れ等は程度の差はあれ同じ影響を与える事象であるので、まとめて検討できる。</p> <p>基準5：発生頻度が他の事象と比較して非常に低い。</p> <p>タービンミサイル、航空機落下の評価では発生頻度が低い事象（10⁻⁷/年以下）は考慮すべき事象の対象外としており、同様に発生頻度がごく稀な事象は対象外とする。</p> <p>基準6：自然現象に該当しない。</p> <p>自然現象に該当しないものについては、対象外とする。</p>			<p>【大阪】 検討プロセスの相違に伴う記載内容の相違(女川審査実績反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> 大阪は海外での評価手法に基づき、自然災害のスクリーニングを実施しており、その除外基準について記載している。

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">比較対象なし</p> <p>【比較のため、島根原子力発電所2号炉技術的能力2.1まとめ資料 添付資料2.1.2より引用】</p> <p>具体的には、以下に示す建物及び屋外設置の設備等を評価対象として選定した。ただし、屋内設備については、飛来物の建物外壁貫通を考慮すると屋内設備に影響が及ぶ可能性が考えられるため、飛来物が直接衝突する壁は損傷し、その一つ内側の壁との間に設置されている設備等を対象とする。</p>	<p style="text-align: center;">添付資料 2.1.2</p> <p style="text-align: center;">竜巻事象に対する事故シーケンス抽出</p> <p>1. 起回事象の特定</p> <p>(1) 構築物、系統及び機器（以下「設備等」という。）の損傷・機能喪失モードの抽出</p> <p>竜巻事象により設備等に発生する可能性のある影響について、国外の評価事例、国内で発生したトラブル事例も参照し、以下のとおり、損傷・機能喪失モードを抽出した。</p> <p>①風荷重及び気圧差荷重による建屋や設備等の損傷</p> <p>②飛来物の衝撃荷重による建屋や設備等の損傷</p> <p>③風荷重、気圧差荷重及び飛来物の衝撃荷重を組み合わせた荷重による建屋や設備等の損傷</p> <p>④竜巻により取水口周辺の海に飛散した資機材等による取水口閉塞</p> <p>⑤竜巻襲来後のがれき散乱によるアクセス性や作業性の悪化</p> <p>(2) 評価対象設備の選定</p> <p>(1)で抽出した損傷・機能喪失モードに対し、影響を受ける可能性のある設備等のうち、プラントの運転継続や安全性に影響を及ぼす可能性のある設備等を評価対象設備として選定する。</p> <p>具体的には、以下に示す建屋及び屋外設置の設備等を評価対象設備として選定した。ただし、屋内設備については、飛来物の建物外壁貫通を考慮すると屋内設備に影響が及ぶ可能性が考えられるため、地上1階以上かつ原子炉格納容器外の機器については破損を前提とする。</p> <p>①風荷重及び気圧差荷重による建屋や設備等の損傷</p> <p><建屋></p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉建屋（原子炉棟，付属棟） ・制御建屋 <p>・タービン建屋</p> <p><屋外設備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部電源系（275kV開閉所，66kV開閉所，変圧器，送電線） ・軽油タンク ・排気筒 	<p style="text-align: center;">補足(1)</p> <p style="text-align: center;">竜巻事象に対する事故シーケンス抽出</p> <p>1. 起回事象の特定</p> <p>(1) 構築物、系統及び機器（以下「設備等」という。）の損傷・機能喪失モードの抽出</p> <p>竜巻事象により設備等に発生する可能性のある影響について、国外の評価事例、国内で発生したトラブル事例も参照し、以下のとおり、損傷・機能喪失モードを抽出した。</p> <p>①風荷重及び気圧差荷重による建屋や設備等の損傷</p> <p>②飛来物の衝撃荷重による建屋や設備等の損傷</p> <p>③風荷重、気圧差荷重及び飛来物の衝撃荷重を組み合わせた荷重による建屋や設備等の損傷</p> <p>④竜巻により取水口周辺の海に飛散した資機材等による取水口閉塞</p> <p>⑤竜巻襲来後のがれき散乱によるアクセス性や作業性の悪化</p> <p>(2) 評価対象設備の選定</p> <p>(1)で抽出した損傷・機能喪失モードに対し、影響を受ける可能性のある設備等のうち、プラントの運転継続や安全性に影響を及ぼす可能性のある設備等を評価対象設備として選定する。</p> <p>具体的には、以下に示す建屋及び屋外設置の設備等を評価対象設備として選定した。ただし、屋内設備については、飛来物の建物外壁貫通を考慮すると屋内設備に影響が及ぶ可能性が考えられるため、飛来物が直接衝突する壁は損傷し、その一つ内側の壁との間に設置されている設備等を対象とする。</p> <p>①風荷重及び気圧差荷重による建屋や設備等の損傷</p> <p><建屋></p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉建屋 ・原子炉補助建屋 <p>・タービン建屋</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ディーゼル発電機建屋 ・循環水ポンプ建屋 ・電気建屋 <p><屋外設備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部電源系（275kV開閉所，66kV開閉所（後備用），変圧器，送電線） ・ディーゼル発電機燃料油貯油槽 ・排気筒 	<p>【大阪】検討プロセスの相違に伴う資料構成の相違(女川審査実績反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然災害の抽出プロセスの相違により、大阪には泊の添付資料2.1.1の補足資料に相当する資料はない。 <p>(このため、本補足資料の泊欄の記載は、女川との相違について識別する。)</p> <p>【女川】資料の位置付けの相違</p> <p>【女川】評価方法の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊では、飛来物が直接衝突する壁のみの貫通を想定している。（東海第二，島根2号と同様） <p>【女川】設計の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラントの設計、設備・建屋の配置等の相違により、自然現象の影響を考慮する建屋が異なる。 <p>(以降、本補足資料においては相違理由の記載を省略する。)</p> <p>【女川】設備名称の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・制御建屋⇔原子炉補助建屋 ・66kV開閉所⇔66kV開閉所（後備用） ・軽油タンク⇔ディーゼル発電機燃料油貯油槽 <p>(以降、本補足資料においては相違理由の記載を省略する。)</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<ul style="list-style-type: none"> ・非常用ガス処理系（屋外露出部） ・復水貯蔵タンク ・非常用ディーゼル発電機等の付属設備（排気消音器等） ・原子炉補機冷却海水系 ・高圧炉心スプレイ補機冷却海水系 ・タービン補機冷却海水系 ・循環水系 <p><屋内設備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央制御室換気空調系 ・計測制御電源室換気空調系 ・原子炉補機室空調系 ・原子炉建屋給排気隔離弁 <p>②飛来物の衝撃荷重による建屋や設備等の損傷</p> <p><建屋></p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉建屋（原子炉棟，付属棟） ・制御建屋 ・タービン建屋 <p><屋外設備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部電源系（275kV開閉所，66kV開閉所，変圧器，送電線） ・排気筒 ・非常用ガス処理系（屋外露出部） ・復水貯蔵タンク ・非常用ディーゼル発電機等の付属設備（排気ファン，吸気口等） ・原子炉補機冷却海水系 ・高圧炉心スプレイ補機冷却海水系 ・タービン補機冷却海水系 ・循環水系 	<ul style="list-style-type: none"> ・ディーゼル発電機の付属機器（排気消音器等） ・主蒸気逃がし弁消音器 ・主蒸気安全弁排気管 ・タービン動補助給水ポンプ排気管 ・ディーゼル発電機燃料油貯油槽ベント管 <p><屋内設備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・制御用空気圧縮機室換気装置 ・電動補助給水ポンプ室換気装置 ・ディーゼル発電機室換気装置 ・タービン動補助給水ポンプ室換気装置 ・主蒸気管室換気装置 ・中央制御室空調装置 ・安全補機開閉器室空調装置 ・蓄電池室排気装置 ・補助建屋空調装置 ・試料採取室空調装置 <p>②飛来物の衝撃荷重による建屋や設備等の損傷</p> <p><建屋></p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉建屋 ・原子炉補助建屋 ・タービン建屋 ・ディーゼル発電機建屋 ・循環水ポンプ建屋 ・電気建屋 <p><屋外設備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部電源系（275kV開閉所，66kV開閉所（後備用），変圧器，送電線） ・排気筒 ・ディーゼル発電機の付属機器（排気消音器等） ・主蒸気逃がし弁消音器 ・主蒸気安全弁排気管 ・タービン動補助給水ポンプ排気管 ・ディーゼル発電機燃料油貯油槽ベント管 	<p>【女川】設計の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラントの設計，設備・建屋の配置等の相違により，自然現象の影響を考慮する機器が異なる。 <p>（以降，本補足資料においては相違理由の記載を省略する。）</p> <p>【女川】設備名称の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非常用ディーゼル発電機等⇔ディーゼル発電機 ・中央制御室換気空調系⇔中央制御室空調装置 <p>（以降，本補足資料においては相違理由の記載を省略する。）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p><屋内設備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉補機冷却水系サージタンク ・ほう酸水注入系 ・可燃性ガス濃度制御系 ・非常用ガス処理系 ・原子炉建屋給排気隔離弁 ・原子炉補機室換気空調系 <ul style="list-style-type: none"> ・非常用ディーゼル発電設備 ・燃料デイトンク ・残留熱除去系熱交換器 ・気体廃棄物処理系 ・タービン補機冷却水サージタンク ・タービン及び発電機 <p>③風荷重、気圧差荷重及び飛来物の衝撃荷重を組み合わせた荷重による建屋や設備等の損傷</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①及び②にて選定した設備等 <p>④竜巻により取水口周辺の海に飛散した資機材等による取水口閉塞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取水口 <p>【比較のため、島根原子力発電所2号炉技術的能力2.1まとめ資料 添付資料2.1.2より引用】</p> <p>⑤竜巻襲来後のがれき散乱によるアクセス性や作業性の悪化－（アクセスルート）</p>	<p><屋内設備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉補機冷却水サージタンク ・ほう酸水注入系 ・可燃性ガス濃度制御系 ・非常用ガス処理系 ・原子炉建屋給排気隔離弁 ・原子炉補機室換気空調系 <ul style="list-style-type: none"> ・非常用ディーゼル発電設備 ・燃料デイトンク ・残留熱除去系熱交換器 ・気体廃棄物処理系 ・タービン補機冷却水サージタンク ・タービン及び発電機 <p>③風荷重、気圧差荷重及び飛来物の衝撃荷重を組み合わせた荷重による建屋や設備等の損傷</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①及び②にて選定した設備等 <p>④竜巻により取水口周辺の海に飛散した資機材等による取水口閉塞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取水口 <p>⑤竜巻襲来後のがれき散乱によるアクセス性や作業性の悪化－（アクセスルート）</p>	<p><屋内設備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・炉内核計測装置の付属機器 ・制御用空気圧縮装置 ・補助給水設備 ・1次系純水タンク ・ブローダウン設備 ・制御棒駆動装置電源 ・原子炉トリップ遮断器盤 ・制御棒制御装置 ・主蒸気管室空調装置 ・主蒸気管等 ・燃料取替用水ピット ・原子炉補機冷却水サージタンク ・空調用冷水膨張タンク ・中央制御室空調装置 ・安全補機閉閉器室空調装置 ・蓄電池室排気装置 ・補助建屋空調装置 ・試料採取室空調装置 ・ディーゼル発電機 <ul style="list-style-type: none"> ・タービン及び発電機 ・給水設備 ・循環水ポンプ ・原子炉補機冷却海水ポンプ ・2次系設備及び電気系設備の制御盤 <p>③風荷重、気圧差荷重及び飛来物の衝撃荷重を組み合わせた荷重による建屋や設備等の損傷</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①及び②にて選定した設備等 <p>④竜巻により取水口周辺の海に飛散した資機材等による取水口閉塞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取水口 <p>⑤竜巻襲来後のがれき散乱によるアクセス性や作業性の悪化－（アクセスルート）</p>	<p>【女川】設備名称の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉補機冷却水サージタンク系⇔原子炉補機冷却水サージタンク ・非常用ディーゼル発電設備⇔ディーゼル発電機 <p>（以降、本補足資料においては相違理由の記載を省略する。）</p> <p>【女川】記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、(1)項で抽出した各損傷・機能喪失モードに対し、評価対象設備がない場合には、「－」として記載している。（島根2号と同様。）

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(3) 起因事象になり得るシナリオの選定 (1)で抽出した各損傷・機能喪失モードに対して、(2)で選定した評価対象設備への影響を検討の上、発生可能性のあるシナリオを選定した。</p> <p>①風荷重及び気圧差荷重による建屋や設備等の損傷 建屋及び屋内外設備に対する風荷重及び気圧差荷重により発生可能性のあるシナリオは以下のとおり。 <建屋> ・原子炉建屋 原子炉建屋（原子炉棟、付属棟）は十分な厚さを有した鉄筋コンクリート造であり、風荷重よりも大きい地震荷重に対して設計されていることから、極めて発生することが稀な設計基準を超える風荷重を想定しても建屋の頑健性は維持されと考えるため、シナリオの選定は不要である。 また、風荷重に加えて気圧差荷重が作用した場合であっても、風荷重と気圧差荷重を組み合わせた荷重は、原子炉建屋設計時の地震荷重よりも小さく、建屋の頑健性は維持されと考えるため、シナリオの選定は不要である。 ただし、原子炉建屋原子炉棟外壁に設置されているブローアウトパネルは建屋内外の差圧による開放に至る場合に「計画外停止」に至るシナリオを選定する。</p> <p>・制御建屋 原子炉建屋同様、制御建屋は十分な厚さを有した鉄筋コンクリート造であり、風荷重よりも大きい地震荷重に対して設計されていることから、極めて発生することが稀な設計基準を超える風荷重を想定しても建屋の頑健性は維持されと考える。また、風荷重に加えて気圧差荷重が作用した場合であっても、風荷重と気圧差荷重を組み合わせた荷重は、制御建屋設計時の地震荷重よりも小さく、建屋の頑健性は維持されと考えるため、シナリオの選定は不要である。</p>	<p>(3) 起因事象になり得るシナリオの選定 (1)で抽出した各損傷・機能喪失モードに対して、(2)で選定した評価対象設備への影響を検討の上、発生可能性のあるシナリオを選定した。</p> <p>①風荷重及び気圧差荷重による建屋や設備等の損傷 建屋及び屋内外設備に対する風荷重及び気圧差荷重により発生可能性のあるシナリオは以下のとおり。 <建屋> ・原子炉建屋 原子炉建屋は十分な厚さを有した鉄筋コンクリート造であり、風荷重よりも大きい地震荷重に対して設計されていることから、極めて発生することが稀な設計基準を超える風荷重を想定しても建屋の頑健性は維持されと考えるため、シナリオの選定は不要である。 また、風荷重に加えて気圧差荷重が作用した場合であっても、風荷重と気圧差荷重を組み合わせた荷重は、原子炉建屋設計時の地震荷重よりも小さく、建屋の頑健性は維持されと考えるため、シナリオの選定は不要である。</p> <p>・原子炉補助建屋 原子炉建屋同様、原子炉補助建屋は十分な厚さを有した鉄筋コンクリート造であり、風荷重よりも大きい地震荷重に対して設計されていることから、極めて発生することが稀な設計基準を超える風荷重を想定しても建屋の頑健性は維持されとえられる。また、風荷重に加えて気圧差荷重が作用した場合であっても、風荷重と気圧差荷重を組み合わせた荷重は、原子炉補助建屋設計時の地震荷重よりも小さく、建屋の頑健性は維持されと考えるため、シナリオの選定は不要である。</p> <p>・ディーゼル発電機建屋 原子炉建屋同様、ディーゼル発電機建屋は十分な厚さを有した鉄筋コンクリート造であり、風荷重よりも大きい地震荷重に対して設計されていることから、極めて発生することが稀な設計基準を超える風荷重を想定しても建屋の頑健性は維持されとえられる。また、風荷重に加えて気圧差荷重が作用した場合であっても、風荷重と気圧差荷重を組み合わせた荷重は、ディーゼル発電機建屋設計時の地震荷重よりも小さく、建屋の頑健性は維持されと考えるため、シナリオの選定は不要である。</p>	<p>【女川】個別評価による相違 ・施設構造が異なることにより機能喪失によるシナリオも異なる。 （以降、本補足資料においては相違理由の記載を省略する。）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>・タービン建屋 タービン建屋は、建屋上層部は鉄骨造である。万一、風荷重及び気圧差荷重による破損に至るような場合に、建屋最上階に設置しているタービンや発電機に影響が及び「非隔離事象」に至るシナリオ また、タービン補機冷却水サージタンクに影響が及び、「タービン・サポート系故障」に至るシナリオ</p> <p><屋外設備> ・外部電源系（275kV 開閉所、66kV 開閉所、変圧器、送電線） 風荷重及び気圧差荷重により275kV 開閉所、66kV 開閉所、変圧器又は送電線に影響が及び「外部電源喪失」に至るシナリオ</p> <p>・軽油タンク 軽油タンクは地下に設置されており、風荷重の影響を受けないことから、発生することが極めて稀な設計基準を超える風荷重を想定しても軽油タンクの頑健性は維持されることが考えられるため、シナリオの選定は不要である。</p> <p>・排気筒 排気筒は風荷重に対して裕度を持った設計がなされていることから、発生することが極めて稀な設計基準を超える風荷重を想定しても排気筒の頑健性は維持されることが考えられるため、シナリオの選定は不要である。</p>	<p>・タービン建屋 タービン建屋は、建屋上層部は鉄骨造である。万一、風荷重及び気圧差荷重による破損に至るような場合に、建屋上層階に設置しているタービンや発電機が物理的に損傷し、機能喪失することで、「過渡事象」に至るシナリオ。 また、建屋上層階に設置している給水設備が物理的に損傷し、機能喪失することで、「主給水流量喪失」に至るシナリオ。</p> <p>・循環水ポンプ建屋 循環水ポンプ建屋上層部は鉄骨造である。万一、風荷重及び気圧差荷重による破損に至るような場合に、建屋上層階に設置している循環水ポンプが物理的に損傷し、機能喪失することで、「過渡事象」又は「手動停止」に至るシナリオ。</p> <p>・電気建屋 原子炉建屋同様、電気建屋は十分な厚さを有した鉄筋コンクリート造であり、風荷重よりも大きい地震荷重に対して設計されていることから、極めて発生することが稀な設計基準を超える風荷重を想定しても建屋の頑健性は維持されることが考えられる。また、風荷重に加えて気圧差荷重が作用した場合であっても、風荷重と気圧差荷重を組み合わせた荷重は、電気建屋設計時の地震荷重よりも小さく、建屋の頑健性は維持されることが考えられるため、シナリオの選定は不要である。</p> <p><屋外設備> ・外部電源系（275kV 開閉所、66kV 開閉所（後備用）、変圧器、送電線） 風荷重及び気圧差荷重により275kV 開閉所、66kV 開閉所（後備用）、変圧器又は送電線が物理的に損傷し、機能喪失することで、「外部電源喪失」に至るシナリオ。</p> <p>・ディーゼル発電機燃料油貯油槽 ディーゼル発電機燃料油貯油槽は地下に設置されており、風荷重の影響を受けないことから、発生することが極めて稀な設計基準を超える風荷重を想定してもディーゼル発電機燃料油貯油槽の頑健性は維持されることが考えられるため、シナリオの選定は不要である。</p> <p>・排気筒 排気筒は風荷重に対して裕度を持った設計がなされていることから、発生することが極めて稀な設計基準を超える風荷重を想定しても排気筒の頑健性は維持されることが考えられるため、シナリオの選定は不要である。</p>	<p>【女川】記載表現の相違 ・泊は、竜巻の影響を受ける設備等が建屋の最上階に設置されているとは限らないため、「上層」階という表現で統一している。 (以降、本補足資料においては相違理由の記載を省略する。)</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>・非常用ガス処理系（屋外露出部） 非常用ガス処理系（屋外露出部）は風荷重に対して裕度を持った設計がなされていることから、発生することが極めて稀な設計基準を超える風荷重を想定しても非常用ガス処理系の屋外配管の頑健性は維持されると考えられるため、シナリオの選定は不要である。</p> <p>・復水貯蔵タンク 風荷重及び気圧差荷重により復水貯蔵タンクが損傷した場合、復水補給水系の喪失により「計画外停止」に至るシナリオ</p> <p>・非常用ディーゼル発電機等の付属機器 風荷重により非常用ディーゼル発電機等の付属機器が損傷した場合、非常用ディーゼル発電機等の機能喪失、仮に外部電源喪失の同時発生を想定した場合、「全交流動力電源喪失」に至るシナリオ</p> <p>・原子炉補機冷却海水系 風荷重により原子炉補機冷却海水系が損傷した場合、原子炉補機冷却海水系の機能喪失による「最終ヒートシンク喪失」に至るシナリオ</p> <p>・高圧炉心スプレー補機冷却海水系 風荷重により高圧炉心スプレー補機冷却海水系が損傷した場合、高圧炉心スプレー系の機能喪失による「計画外停止」に至るシナリオ</p> <p>・タービン補機冷却海水系 風荷重によりタービン補機冷却海水系が損傷した場合、タービン補機冷却水系喪失による「タービン・サポート系故障」に至るシナリオ</p> <p>・循環水系 風荷重により循環水系が損傷した場合、復水器真空度喪失による「隔離事象」に至るシナリオ</p>	<p>・ディーゼル発電機の付属機器 ディーゼル発電機の付属機器は風荷重に対して裕度を持った設計がなされていることから、発生することが極めて稀な設計基準を超える風荷重を想定してもディーゼル発電機の付属機器の頑健性は維持されると考えられるため、シナリオの選定は不要である。</p> <p>・主蒸気逃がし弁消音器 主蒸気逃がし弁消音器は風荷重に対して裕度を持った設計がなされていることから、発生することが極めて稀な設計基準を超える風荷重を想定しても主蒸気逃がし弁消音器の頑健性は維持されると考えられるため、シナリオの選定は不要である。</p> <p>・主蒸気安全弁排気管 主蒸気安全弁排気管は風荷重に対して裕度を持った設計がなされていることから、発生することが極めて稀な設計基準を超える風荷重を想定しても主蒸気安全弁排気管の頑健性は維持されると考えられるため、シナリオの選定は不要である。</p> <p>・タービン動補助給水ポンプ排気管 タービン動補助給水ポンプ排気管は風荷重に対して裕度を持った設計がなされていることから、発生することが極めて稀な設計基準を超える風荷重を想定してもタービン動補助給水ポンプ排気管の頑健性は維持されると考えられるため、シナリオの選定は不要である。</p> <p>・ディーゼル発電機燃料油貯油槽ベント管 ディーゼル発電機燃料油貯油槽ベント管は風荷重に対して裕度を持った設計がなされていることから、発生することが極めて稀な設計基準を超える風荷重を想定してもディーゼル発電機燃料油貯油槽ベント管の頑健性は維持されると考えられるため、シナリオの選定は不要である。</p>	<p>【女川】評価結果の相違</p> <p>・泊は、第6条での検討結果を踏まえ、設計基準を超える風荷重を想定しても頑健性は維持されると判断している。</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p><屋内設備></p> <ul style="list-style-type: none"> 中央制御室換気空調系 中央制御室換気空調系は、制御建屋に設置されており、気圧差荷重によりダクト、ファン、ダンパ等の損傷が考えられる。中央制御室換気空調系が損傷した場合、中央制御室換気空調系が機能喪失し、「計画外停止」に至るシナリオ なお、それらの設備の損傷により中央制御室の換気が困難になった場合、中央制御室の温度が上昇するが、即、中央制御室の機器へ影響が及ぶことはなく、また、竜巻の影響は瞬時であり、竜巻襲来後の対応は十分可能であるため計測・制御系喪失により制御不能に至るシナリオの選定は不要である。 計測制御電源室換気空調系 気圧差荷重により計測制御電源室換気空調系が損傷した場合、計測制御電源室換気空調系の機能喪失による「計画外停止」に至るシナリオ 原子炉補機室空調系 気圧差荷重により原子炉補機室空調系が損傷した場合、原子炉補機室空調系の機能喪失による「計画外停止」に至るシナリオ 原子炉建屋給排気隔離弁 気圧差荷重により原子炉建屋給排気隔離弁が損傷した場合、原子炉建屋給排気隔離弁の機能喪失による「計画外停止」に至るシナリオ 	<p><屋内設備></p> <ul style="list-style-type: none"> 制御用空気圧縮機室換気装置 気圧差荷重により制御用空気圧縮機室換気装置が物理的に損傷し、機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。 電動補助給水ポンプ室換気装置 気圧差荷重により電動補助給水ポンプ室換気装置が物理的に損傷し、機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。 ディーゼル発電機室換気装置 気圧差荷重によりディーゼル発電機室換気装置が物理的に損傷し、機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。 タービン動補助給水ポンプ室換気装置 気圧差荷重によりタービン動補助給水ポンプ室換気装置が物理的に損傷し、機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。 主蒸気管室換気装置 気圧差荷重により主蒸気管室換気装置が物理的に損傷し、機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。 中央制御室空調装置 中央制御室空調装置は、原子炉補助建屋に設置されており、気圧差荷重によりダクト、ファン、ダンパ等の損傷が考えられる。中央制御室空調装置が物理的に損傷し、機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。 なお、それらの設備の損傷により中央制御室の換気が困難になった場合、中央制御室の温度が上昇するが、即、中央制御室の機器へ影響が及ぶことはなく、また、竜巻の影響は瞬時であり、竜巻襲来後の対応は十分可能であるため、複数の信号系損傷により制御不能に至るシナリオの選定は不要である。 安全補機閉器室空調装置 気圧差荷重により安全補機閉器室空調装置が物理的に損傷し、機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。 蓄電池室排気装置 気圧差荷重により蓄電池室排気装置が物理的に損傷し、機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。 補助建屋空調装置 気圧差荷重により補助建屋空調装置が物理的に損傷し、機能喪失することで「手動停止」に至るシナリオ。 試料採取室空調装置 気圧差荷重により試料採取室空調装置が物理的に損傷し、機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。 	<p>[女川] 記載表現の相違</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>②飛来物の衝撃荷重による建屋や設備等の損傷 建屋及び屋内外設備に対する飛来物の衝撃荷重により発生可能性のあるシナリオは以下のとおり。</p> <p><建屋> 飛来物が建屋外壁を貫通することにより、屋内設備に波及的影響を及ぼすことが考えられるが、発生可能性のあるシナリオについては、<屋内設備>で選定する。</p> <p><屋外設備> ・外部電源系（275kV 開閉所，66kV 開閉所，変圧器，送電線） 風荷重により発生可能性のあるシナリオと同様</p> <p>・排気筒 飛来物の衝撃荷重により排気筒が損傷した場合、「隔離事象」に至るシナリオ</p> <p>・非常用ガス処理系（屋外露出部） 飛来物の衝撃荷重により非常用ガス処理系（屋外露出部）が損傷した場合、「計画外停止」に至るシナリオ</p> <p>・復水貯蔵タンク 風荷重により発生可能性のあるシナリオと同様</p> <p>・非常用ディーゼル発電機等の付属機器 風荷重により発生可能性のあるシナリオと同様</p> <p>・原子炉補機冷却海水系 風荷重により発生可能性のあるシナリオと同様</p> <p>・高圧炉心スプレィ補機冷却海水系 風荷重により発生可能性のあるシナリオと同様</p> <p>・タービン補機冷却海水系 風荷重により発生可能性のあるシナリオと同様</p> <p>・循環水系 風荷重により発生可能性のあるシナリオと同様</p>	<p>②飛来物の衝撃荷重による建屋や設備等の損傷 建屋及び屋内外設備に対する飛来物の衝撃荷重により発生可能性のあるシナリオは以下のとおり。</p> <p><建屋> 飛来物が建屋外壁を貫通することにより、屋内設備に波及的影響を及ぼすことが考えられるが、発生可能性のあるシナリオについては、<屋内設備>で選定する。</p> <p><屋外設備> ・外部電源系（275kV 開閉所，66kV 開閉所（後備用），変圧器，送電線） 風荷重により発生可能性のあるシナリオと同様。</p> <p>・排気筒 飛来物の衝撃荷重により排気筒が損傷した場合、アニュラス空気浄化設備が機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。</p> <p>・ディーゼル発電機の付属機器 飛来物の衝撃荷重によりディーゼル発電機の付属機器が損傷した場合、ディーゼル発電機が機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。仮に外部電源喪失の同時発生を想定した場合、「全交流動力電源喪失」に至る。</p> <p>・主蒸気逃がし弁消音器 飛来物の衝撃荷重により主蒸気逃がし弁消音器が損傷した場合、主蒸気逃がし弁が機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。</p> <p>・主蒸気安全弁排気管 飛来物の衝撃荷重により主蒸気安全弁排気管が損傷した場合、主蒸気安全弁が機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。</p> <p>・タービン動補助給水ポンプ排気管 飛来物の衝撃荷重によりタービン動補助給水ポンプ排気管が損傷した場合、タービン動補助給水ポンプが機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。</p> <p>・ディーゼル発電機燃料油貯油槽ベント管 飛来物の衝撃荷重によりディーゼル発電機燃料油貯油槽ベント管が損傷した場合、ディーゼル発電機が機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。外部電源喪失の同時発生を想定した場合、「全交流動力電源喪失」に至る。</p>	<p>【女川】設計の相違</p> <p>・泊は、風荷重に対しては十分裕度のある設計となっておりシナリオの選定は不要としているが、飛来物の衝突荷重に対しては、女川と同様にシナリオとして選定している。</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p><屋内設備></p>	<p><屋内設備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・炉内核計測装置 原子炉建屋に設置している炉内核計測装置の付属機器が建屋外壁を貫通した飛来物の衝突により損傷した場合、炉内核計測装置が機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。 ・制御用空気圧縮装置 原子炉建屋に設置している制御用空気圧縮装置が建屋外壁を貫通した飛来物の衝突により物理的に損傷し、機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。 ・補助給水設備 原子炉建屋に設置している補助給水設備が建屋外壁を貫通した飛来物の衝突により物理的に損傷し、機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。 ・1次系純水タンク 原子炉建屋に設置している1次系純水タンクが建屋外壁を貫通した飛来物の衝突により物理的に損傷し、機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。 ・ブローダウン設備 原子炉建屋に設置しているブローダウン設備が建屋外壁を貫通した飛来物の衝突により物理的に損傷し、機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。 ・制御棒駆動装置電源 原子炉建屋に設置している制御棒駆動装置電源が建屋外壁を貫通した飛来物の衝突により物理的に損傷し、機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。 ・原子炉トリップ遮断器盤 原子炉建屋に設置している原子炉トリップ遮断器盤が建屋外壁を貫通した飛来物の衝突により物理的に損傷し、機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。 ・制御棒制御装置 原子炉建屋に設置している制御棒制御装置が建屋外壁を貫通した飛来物の衝突により物理的に損傷し、機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。 ・主蒸気管室空調装置 原子炉建屋に設置している主蒸気管室空調装置が建屋外壁を貫通した飛来物の衝突により物理的に損傷し、機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。 ・主蒸気管等 原子炉建屋に設置している主蒸気管等が建屋外壁や天井を貫通した飛来物の衝突により物理的に損傷し、機能喪失することで、「2次冷却系の破断」又は「手動停止」に至るシナリオ。 ・燃料取替用水ピット 原子炉建屋に設置している燃料取替用水ピットが建屋外壁や天井を貫通した飛来物の衝突により物理的に損傷し、機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。 	

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>原子炉建屋最上階に設置している原子炉補機冷却水系のサージタンクに建屋外壁を貫通した飛来物が衝突して機能喪失した場合、「最終ヒートシンク喪失」に至るシナリオ、</p> <p>原子炉補機室換気空調系に建屋外壁を貫通した飛来物が衝突して機能喪失した場合、「計画外停止」に至るシナリオ、</p> <p>原子炉建屋給排気隔離弁に建屋外壁を貫通した飛来物が衝突して機能喪失した場合、「計画外停止」に至るシナリオ、</p> <p>ほう酸水注入系に建屋外壁を貫通した飛来物が衝突して機能喪失した場合、「計画外停止」に至るシナリオ、</p> <p>可燃性ガス濃度制御系に建屋外壁を貫通した飛来物が衝突して機能喪失した場合、「計画外停止」に至るシナリオ、</p> <p>非常用ガス処理系に建屋外壁を貫通した飛来物が衝突して機能喪失した場合、「計画外停止」に至るシナリオ、</p> <p>非常用ディーゼル発電設備に建屋外壁を貫通した飛来物が衝突して機能喪失した場合、非常用ディーゼル発電機等の機能喪失、仮に外部電源喪失の同時発生を想定した場合、「全交流動力電源喪失」に至るシナリオ、</p> <p>燃料デイトンクに建屋外壁を貫通した飛来物が衝突して機能喪失した場合、非常用ディーゼル発電機等の機能喪失、仮に外部電源喪失の同時発生を想定した場合、「全交流動力電源喪失」に至るシナリオ、</p>	<p>・原子炉補機冷却水サージタンク 原子炉建屋に設置している原子炉補機冷却水サージタンクが建屋外壁や天井を貫通した飛来物の衝突により物理的に損傷し、機能喪失することで、「原子炉補機冷却機能喪失」に至るシナリオ。</p> <p>・空調用冷水膨張タンク 原子炉建屋に設置している空調用冷水膨張タンクが建屋外壁や天井を貫通した飛来物の衝突により物理的に損傷し、機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。</p> <p>・中央制御室空調装置 原子炉補助建屋に設置している中央制御室空調装置が建屋外壁や天井を貫通した飛来物の衝突により物理的に損傷し、機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。 なお、それらの設備の損傷により中央制御室の換気が困難になった場合、中央制御室の温度が上昇するが、即、中央制御室の機器へ影響が及ぶことはなく、また、竜巻の影響は瞬時であり、竜巻襲来後の対応は十分可能であるため、複数の信号系損傷により制御不能に至るシナリオの選定は不要である。</p> <p>・安全補機開閉器室空調装置 原子炉補助建屋に設置している安全補機開閉器室空調装置が建屋外壁や天井を貫通した飛来物の衝突により物理的に損傷し、機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。</p> <p>・蓄電池室排気装置 原子炉補助建屋に設置している蓄電池室排気装置が建屋外壁や天井を貫通した飛来物の衝突により物理的に損傷し、機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。</p> <p>・補助建屋空調装置 原子炉補助建屋に設置している補助建屋空調装置が建屋外壁や天井を貫通した飛来物の衝突により物理的に損傷し、機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。</p> <p>・試料採取室空調装置 原子炉補助建屋に設置している試料採取室空調装置が建屋外壁や天井を貫通した飛来物の衝突により物理的に損傷し、機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。</p> <p>・ディーゼル発電機 ディーゼル発電機建屋に設置しているディーゼル発電機が建屋外壁や天井を貫通した飛来物の衝突により物理的に損傷し、機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。外部電源喪失の同時発生を想定した場合、「全交流動力電源喪失」に至る。</p>	<p>【女川】記載表現の相違</p> <p>・泊は他の評価対象設備における記載と表現を統一している。</p> <p>【女川】記載表現の相違</p> <p>・泊は他の評価対象設備における記載と表現を統一している。</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>残留熱除去系熱交換器に建屋外壁を貫通した飛来物が衝突して機能喪失した場合、「計画外停止」に至るシナリオ</p> <p>タービン建屋に設置している気体廃棄物処理系に建屋外壁を貫通した飛来物が衝突して機能喪失した場合、「隔離事象」に至るシナリオ。</p> <p>タービン建屋に設置しているタービンや発電機に建屋外壁を貫通した飛来物が衝突して機能喪失した場合、「非隔離事象」に至るシナリオ、タービン補機冷却水サージタンクに建屋外壁を貫通した飛来物が衝突して機能喪失した場合、「タービン・サポート系故障」に至るシナリオ</p> <p>③風荷重、気圧差荷重及び飛来物の衝撃荷重を組み合わせた荷重による建屋や設備等の損傷 建屋及び屋内外設備に対する組み合わせ荷重により発生可能性のあるシナリオについては、①、②に包絡される。</p> <p>④竜巻により取水口周辺の海に飛散した資機材等による取水口閉塞 竜巻により飛散した資機材、車両等が取水口周辺の海に入り取水口を閉塞させる可能性があるが、取水口は呑み口が広く、閉塞させるほどの資機材や車両等の飛散は考えられないことから考慮不要とする。</p>	<p>・タービン及び発電機 タービン建屋に設置しているタービンや発電機が建屋外壁や天井を貫通した飛来物の衝突により物理的に損傷し、機能喪失することで、「過渡事象」に至るシナリオ。</p> <p>・給水設備 タービン建屋に設置している給水設備が建屋外壁や天井を貫通した飛来物の衝突により物理的に損傷し、機能喪失することで、「主給水流量喪失」に至るシナリオ。</p> <p>・循環水ポンプ 循環水ポンプ建屋に設置している循環水ポンプが建屋外壁や天井を貫通した飛来物の衝突により物理的に損傷し、機能喪失することで、「過渡事象」又は「手動停止」に至るシナリオ。</p> <p>・原子炉補機冷却海水ポンプ 取水ピットポンプ室に設置している原子炉補機冷却海水ポンプが建屋外壁を貫通した飛来物の衝突により物理的に損傷し、機能喪失することで、「原子炉補機冷却機能喪失」に至るシナリオ。外部電源喪失の同時発生を想定した場合、「全交流動力電源喪失」に至る。</p> <p>・2次系設備及び電気系設備の制御盤 電気建屋に設置している2次系設備や電気系設備の制御盤が建屋外壁や天井を貫通した飛来物の衝突により物理的に損傷し、機能喪失することで、「過渡事象」又は「手動停止」に至るシナリオ。</p> <p>③風荷重、気圧差荷重及び飛来物の衝撃荷重を組み合わせた荷重による建屋や設備等の損傷 建屋及び屋内外設備に対する組み合わせ荷重により発生可能性のあるシナリオについては、①、②に包絡される。</p> <p>④竜巻により取水口周辺の海に飛散した資機材等による取水口閉塞 竜巻により飛散した資機材、車両等が取水口周辺の海に入り取水口を閉塞させる可能性があるが、取水口は呑み口が広く、閉塞させるほどの資機材や車両等の飛散は考えられないことから考慮不要とする。</p>	<p>【女川】記載表現の相違</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>⑤竜巻襲来後のがれき散乱によるアクセス性や作業性の悪化 竜巻襲来後のがれき散乱により屋外現場へのアクセス性や屋外での作業性に影響が及ぶ可能性があるものの、設計基準事故対処設備のみで対応可能なシナリオであれば基本的に屋外現場対応はなく、仮にアクセス性や屋外作業へ影響がおよんだ場合であっても問題はない。 そのため①～④の影響評価の結果として、可搬型代替交流電源設備の接続といった屋外での作業が必要となるケースが確認された場合に、別途、詳細検討するものとする。</p> <p>(4) 起回事象の特定 (3)で選定した各シナリオについて、想定を超える風荷重、気圧差荷重及び飛来物の衝撃荷重に対しての裕度評価（起回事象発生可能性評価）を実施し、事故シーケンスグループ抽出に当たって考慮すべき起回事象の特定を行った。</p> <p>①風荷重及び気圧差荷重による建屋や設備等の損傷 <建屋> 建屋内外差圧の発生に伴う原子炉建屋外側ブローアウトパネルの開放による計画外停止に至るシナリオは考えられるため、起回事象として特定する。 タービン建屋上層部は鉄骨造であり、風荷重に対して設計上の配慮はなされているものの、想定を超える風荷重が建屋に作用した場合、建屋が損傷してタービン、発電機及びタービン補機冷却水サージタンクに影響を及ぼす可能性は否定できず、タービン建屋損傷に伴う非隔離事象、タービン・サポート系故障に至るシナリオは考えられるため、起回事象として特定する。</p> <p><屋外設備> 外部電源系が損傷した場合、風荷重に対して設計上の配慮はなされているものの、想定を超える風荷重に対しては発生を否定できず、外部電源系の損傷に伴う外部電源喪失に至るシナリオは考えられるため、起回事象として特定する。 復水貯蔵タンクが損傷した場合、復水補給水系が喪失し、計画外停止に至るシナリオは考えられるため、起回事象として特定する。</p>	<p>⑤竜巻襲来後のがれき散乱によるアクセス性や作業性の悪化 竜巻襲来後のがれき散乱により屋外現場へのアクセス性や屋外での作業性に影響が及ぶ可能性があるものの、設計基準事故対処設備のみで対応可能なシナリオであれば基本的に屋外現場対応はなく、仮にアクセス性や屋外作業へ影響が及んだ場合であっても問題はない。 そのため①～④の影響評価の結果として、可搬型代替交流電源設備の接続といった屋外での作業が必要となるケースが確認された場合に、別途、詳細検討するものとする。</p> <p>(4) 起回事象の特定 (3)で選定した各シナリオについて、想定を超える風荷重、気圧差荷重及び飛来物の衝撃荷重に対しての裕度評価（起回事象発生可能性評価）を実施し、事故シーケンスグループ抽出に当たって考慮すべき起回事象の特定を行った。</p> <p>①風荷重及び気圧差荷重による建屋や設備等の損傷 <建屋> タービン建屋上層部は鉄骨造であり、風荷重に対して設計上の配慮はなされているものの、想定を超える風荷重が建屋に作用した場合、建屋が損傷してタービン、発電機及び給水設備に影響を及ぼす可能性は否定できず、タービン建屋損傷に伴う過渡事象及び主給水流量喪失に至るシナリオは考えられるため、起回事象として特定する。 循環水ポンプ建屋上層部は鉄骨造であり、風荷重に対して設計上の配慮はなされているものの、想定を超える風荷重が建屋に作用した場合、建屋が損傷して循環水ポンプに影響を及ぼす可能性は否定できず、循環水ポンプ建屋損傷に伴う過渡事象又は手動停止に至るシナリオは考えられるため、起回事象として特定する。</p> <p><屋外設備> 外部電源系は、風荷重に対して設計上の配慮はなされているものの、想定を超える風荷重に対しては損傷の発生を否定できず、外部電源系の損傷に伴う外部電源喪失に至るシナリオは考えられるため、起回事象として特定する。</p>	<p>【女川】記載表現の相違</p> <p>【女川】個別評価による相違 ・施設構造が異なることにより特定された起回事象も異なる。 (以降、本補足資料においては相違理由の記載を省略する。)</p> <p>【女川】記載表現の相違 ・泊は、<建屋>での記載表現と整合を図っている。</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>非常用ディーゼル発電機等の付属機器が損傷した場合、非常用ディーゼル発電機等の機能喪失、また、外部電源喪失の同時発生による全交流動力電源喪失に至るシナリオは考えられるため、起回事象として特定する。</p> <p>原子炉補機冷却海水系が損傷した場合、最終ヒートシンク喪失に至るシナリオが考えられるため、起回事象として特定する。</p> <p>高圧炉心スプレイ補機冷却海水系が損傷した場合、高圧炉心スプレイ系の機能喪失による計画外停止に至るシナリオが考えられるため、起回事象として特定する。</p> <p>タービン補機冷却海水系が損傷した場合、タービン補機冷却水系喪失によるタービン・サポート系故障に至るシナリオが考えられるため、起回事象として特定する。</p> <p>循環水系が損傷した場合、復水器真空度喪失に伴う隔離事象に至るシナリオが考えられるため、起回事象として特定する。</p> <p><屋内設備></p> <p>中央制御室換気空調系が損傷した場合、中央制御室換気空調系が機能喪失し、計画外停止に至るシナリオは考えられるため、起回事象として特定する。</p> <p>計測制御電源室換気空調系が損傷した場合、計測制御電源室換気空調系が機能喪失し、計画外停止に至るシナリオは考えられるため、起回事象として特定する。</p> <p>原子炉補機室空調系が損傷した場合、原子炉補機室空調系が機能喪失し、計画外停止に至るシナリオは考えられるため、起回事象として特定する。</p>	<p><屋内設備></p> <p>制御用空気圧縮機室換気装置が物理的に損傷し、機能喪失することで、手動停止に至るシナリオは考えられるため、起回事象として特定する。</p> <p>電動補助給水ポンプ室換気装置が物理的に損傷し、機能喪失することで、手動停止に至るシナリオは考えられるため、起回事象として特定する。</p> <p>ディーゼル発電機室換気装置が物理的に損傷し、機能喪失することで、手動停止に至るシナリオは考えられるため、起回事象として特定する。</p> <p>タービン動補助給水ポンプ室換気装置が物理的に損傷し、機能喪失することで、手動停止に至るシナリオは考えられるため、起回事象として特定する。</p> <p>主蒸気管室換気装置が物理的に損傷し、機能喪失することで、手動停止に至るシナリオは考えられるため、起回事象として特定する。</p> <p>中央制御室空調装置が物理的に損傷し、機能喪失することで、手動停止に至るシナリオは考えられるため、起回事象として特定する。</p> <p>安全補機開閉器室空調装置が物理的に損傷し、機能喪失することで、手動停止に至るシナリオは考えられるため、起回事象として特定する。</p> <p>蓄電池室排気装置が物理的に損傷し、機能喪失することで、手動停止に至るシナリオは考えられるため、起回事象として特定する。</p> <p>補助建屋空調装置が物理的に損傷し、機能喪失することで、手動停止に至るシナリオは考えられるため、起回事象として特定する。</p>	<p>【女川】記載表現の相違</p> <p>・泊は(3)項での記載と表現を統一している。</p> <p>(以降、本補足資料においては相違理由の記載を省略する。)</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>②飛来物の衝撃荷重による建屋や設備等の損傷</p> <p><建屋> 原子炉建屋、制御建屋及びタービン建屋は、飛来物が建屋を貫通することにより、屋内設備に波及的影響を及ぼすが、<屋内設備>として起回事象を特定する。</p> <p><屋外設備> 外部電源系が飛来物により損傷した場合、(4)①と同様に外部電源系の損傷に伴う外部電源喪失に至るシナリオは考えられるため、起回事象として特定する。 排気筒が飛来物により損傷した場合、気体廃棄物処理系の機能喪失に伴う隔離事象に至るシナリオは考えられるため、起回事象として特定する。 非常用ガス処理系が飛来物により損傷した場合、非常用ガス処理系の機能喪失による計画外停止に至るシナリオは考えられるため、起回事象として特定する。 復水貯蔵タンクが飛来物により損傷した場合、(4)①と同様に復水補給水系が喪失し、計画外停止に至るシナリオは考えられるため、起回事象として特定する。 非常用ディーゼル発電機等の付属機器が飛来物により損傷した場合、(4)①と同様に非常用ディーゼル発電機等の機能喪失、また、外部電源喪失の同時発生による全交流動力電源喪失に至るシナリオは考えられるため、起回事象として特定する。 原子炉補機冷却海水系が飛来物により損傷した場合、(4)①と同様に原子炉補機冷却海水系の機能喪失による最終ヒートシンク喪失に至るシナリオは考えられるため、起回事象として特定する。 高圧炉心スプレイ補機冷却海水系が飛来物により損傷した場合、(4)①と同様に高圧炉心スプレイ補機冷却海水系の機能喪失による計画外停止に至るシナリオは考えられるため、起回事象として特定する。 タービン補機冷却海水系が飛来物により損傷した場合、(4)①と同様にタービン補機冷却水系喪失によるタービン・サポート系故障に至るシナリオは考えられるため、起回事象として特定する。 循環水系が飛来物により機能喪失した場合、(4)①と同様に復水器真空度喪失に伴う隔離事象に至るシナリオは考えられるため、起回事象として特定する。</p>	<p>試料採取室空調装置が物理的に損傷し、機能喪失すること で、手動停止に至るシナリオは考えられるため、起回事象として特定する。</p> <p>②飛来物の衝撃荷重による建屋や設備等の損傷</p> <p><建屋> 原子炉建屋、原子炉補助建屋、タービン建屋、ディーゼル発電機建屋、循環水ポンプ建屋及び電気建屋は、飛来物が建屋を貫通することにより、屋内設備に波及的影響を及ぼすが、<屋内設備>として起回事象を特定する。</p> <p><屋外設備> 外部電源系が飛来物により損傷した場合、(4)①と同様に外部電源系の損傷に伴う外部電源喪失に至るシナリオは考えられるため、起回事象として特定する。 排気筒が飛来物により損傷した場合、アンユラス空気浄化装置が機能喪失することで、手動停止に至るシナリオは考えられるため、起回事象として特定する。</p> <p>ディーゼル発電機の付属機器が飛来物により損傷した場合、ディーゼル発電機が機能喪失することで、手動停止に至るシナリオは考えられるため、起回事象として特定する。</p> <p>主蒸気逃がし弁消音器が飛来物により損傷した場合、主蒸気逃がし弁が機能喪失することで、手動停止に至るシナリオは考えられるため、起回事象として特定する。 主蒸気安全弁排気管が飛来物により損傷した場合、主蒸気安全弁が機能喪失することで、手動停止に至るシナリオは考えられるため、起回事象として特定する。 タービン動補助給水ポンプ排気管が飛来物により損傷した場合、タービン動補助給水ポンプが機能喪失することで、手動停止に至るシナリオは考えられるため、起回事象として特定する。 ディーゼル発電機燃料油貯油槽ベント管が飛来物により損傷した場合、ディーゼル発電機設備が機能喪失することで、手動停止に至るシナリオは考えられるため、起回事象として特定する。</p>	<p>相違理由</p> <p>【女川】記載表現の相違</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p><屋内設備> 飛来物が原子炉建屋へ衝突し、貫通した場合、屋内設備の損傷の可能性を否定できないことから、 原子炉補機冷却系の機能喪失に伴う最終ヒートシンク喪失、 原子炉建屋給排気隔離弁の機能喪失に伴う計画外停止、 原子炉補機室換気空調系の機能喪失に伴う計画外停止、 ほう酸水注入系の機能喪失に伴う計画外停止、 可燃性ガス濃度制御系の機能喪失に伴う計画外停止、 非常用ガス処理系の機能喪失に伴う計画外停止、 非常用ディーゼル発電設備の機能喪失に伴う非常用ディーゼル発電機等の機能喪失、かつ、外部電源喪失の同時発生による全交流動力電源喪失、 燃料デイトンクの機能喪失に伴う非常用ディーゼル発電機等の機能喪失、かつ、外部電源喪失の同時発生による全交流動力電源喪失、 残留熱除去系熱交換器の機能喪失に伴う計画外停止</p> <p>は考えられるため、起回事象として特定する。</p> <p>飛来物がタービン建屋へ衝突、貫通した場合、(4)①と同様に タービン、発電機の損傷に伴う非隔離事象、 タービン補機冷却水系の機能喪失に伴うタービン・サポート系故障、 気体廃棄物処理系の機能喪失に伴う隔離事象 は考えられるため、起回事象として特定する。</p>	<p><屋内設備> 飛来物が原子炉建屋へ衝突し、貫通した場合、屋内設備の損傷の可能性を否定できないことから、 炉内核計測装置の機能喪失に伴う手動停止、 制御用空気圧縮装置の機能喪失に伴う手動停止、 補助給水設備の機能喪失に伴う手動停止、 1次系純水タンクの機能喪失に伴う手動停止、 ブローダウン設備の機能喪失に伴う手動停止、 制御棒駆動装置電源の機能喪失に伴う手動停止、 原子炉トリップ遮断器盤の機能喪失に伴う手動停止、 制御棒制御装置の機能喪失に伴う手動停止、 主蒸気管室空調装置の機能喪失に伴う手動停止、 主蒸気管等の機能喪失に伴う2次冷却系の破断、 燃料取替用水ピットの機能喪失に伴う手動停止、 原子炉補機冷却水サージタンクの機能喪失に伴う原子炉補機冷却機能喪失、 空調用冷水膨張タンクの機能喪失に伴う手動停止</p> <p>は考えられるため、起回事象として特定する。</p> <p>飛来物が原子炉補助建屋へ衝突し、貫通した場合、屋内設備の損傷の可能性を否定できないことから、 中央制御室空調装置の機能喪失に伴う手動停止、 安全補機開閉器室空調装置の機能喪失に伴う手動停止、 蓄電池室排気装置の機能喪失に伴う手動停止、 補助建屋空調装置の機能喪失に伴う手動停止、 試料採取室空調装置の機能喪失に伴う手動停止 は考えられるため、起回事象として特定する。</p> <p>飛来物がディーゼル発電機建屋へ衝突し、貫通した場合、屋内設備の損傷の可能性を否定できないことから、ディーゼル発電機の機能喪失に伴う手動停止は考えられるため、起回事象として特定する。</p> <p>飛来物がタービン建屋へ衝突し、貫通した場合、(4)①と同様に タービン、発電機の損傷に伴う過渡事象、 給水設備の損傷に伴う主給水流量喪失 は考えられるため、起回事象として特定する。</p>	

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、島根原子力発電所2号炉技術的能力2.1まとめ資料 添付資料2.1.2より引用】</p>	<p>③風荷重、気圧差荷重及び飛来物の衝撃荷重を組み合わせた荷重による建屋や設備等の損傷 (3)③のとおり、建屋及び屋内外設備に対する組合せ荷重により発生可能性のあるシナリオについては、①、②に包絡されるため、起回事象として特定不要であると判断した。</p> <p>④竜巻により取水口周辺の海に飛散した資機材等による取水口閉塞 (3)④のとおり、この損傷・機能喪失モードは考慮しないため、起回事象として特定しない。</p>	<p>飛来物が循環水ポンプ建屋へ衝突し、貫通した場合、屋内設備の損傷の可能性を否定できないことから、 循環水ポンプの損傷に伴う過渡事象又は手動停止、 原子炉補機冷却海水ポンプの損傷に伴う原子炉補機冷却機能喪失 は考えられるため、起回事象として特定する。</p> <p>飛来物が電気建屋へ衝突し、貫通した場合、屋内設備の損傷の可能性を否定できないことから、2次系設備や電気系設備の制御盤の機能喪失に伴う手動停止は考えられるため、起回事象として特定する。</p> <p>③風荷重、気圧差荷重及び飛来物の衝撃荷重を組み合わせた荷重による建屋や設備等の損傷 (3)③のとおり、建屋及び屋内外設備に対する組合せ荷重により発生可能性のあるシナリオについては、①、②に包絡されるため、起回事象として特定不要であると判断した。</p> <p>④竜巻により取水口周辺の海に飛散した資機材等による取水口閉塞 (3)④のとおり、この損傷・機能喪失モードは考慮しないため、起回事象として特定しない。</p>	<p>相違理由</p>
<p>2. 事故シーケンスの特定</p>	<p>2. 炉心損傷事故シーケンスの特定</p> <p>1. にて設計基準を超える竜巻事象に対し発生可能性のある起回事象として以下を選定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉建屋外側ブローアウトパネルの開放に伴う計画外停止 ・タービン補機冷却水系の機能喪失に伴うタービン・サポート系故障 ・タービン、発電機の損傷に伴う非隔離事象 ・外部電源系の損傷に伴う外部電源喪失 ・復水貯蔵タンクの損傷に伴う計画外停止 ・非常用ディーゼル発電機等の付属機器の損傷、かつ外部電源喪失の同時発生に伴う全交流動力電源喪失 ・原子炉補機冷却海水系の機能喪失に伴う最終ヒートシンク喪失 ・高圧炉心スプレィ補機冷却海水系の機能喪失に伴う計画外停止 ・タービン補機冷却海水系の機能喪失に伴うタービン・サポート系故障 ・循環水系の機能喪失に伴う隔離事象 ・中央制御室換気空調系の機能喪失に伴う計画外停止 ・計測制御電源室換気空調系の機能喪失に伴う計画外停止 ・原子炉補機室空調系の機能喪失に伴う計画外停止 ・原子炉建屋給排気隔離弁の機能喪失に伴う計画外停止 	<p>2. 事故シーケンスの特定</p> <p>1. にて設計基準を超える竜巻事象に対し発生可能性のある起回事象として以下を選定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タービン、発電機の損傷に伴う過渡事象 ・給水設備の損傷に伴う主給水流量喪失 ・循環水ポンプの損傷に伴う過渡事象又は手動停止 ・外部電源系の損傷に伴う外部電源喪失 ・制御用空気圧縮機室換気装置の損傷に伴う手動停止 ・電動補助給水ポンプ室換気装置の損傷に伴う手動停止 ・ディーゼル発電機室換気装置の損傷に伴う手動停止 ・タービン動補助給水ポンプ室換気装置の損傷に伴う手動停止 ・主蒸気管室換気装置の損傷に伴う手動停止 ・中央制御室空調装置の損傷に伴う手動停止 ・安全補機閉器室空調装置の損傷に伴う手動停止 ・蓄電池室排気装置の損傷に伴う手動停止 ・補助建屋空調装置の損傷に伴う手動停止 ・試料採取室空調装置の損傷に伴う手動停止 ・排気筒の損傷に伴う手動停止 ・ディーゼル発電機の付属機器の損傷に伴う手動停止 ・炉内核計測装置の損傷に伴う手動停止 ・制御用空気圧縮装置の損傷に伴う手動停止 ・補助給水設備の損傷に伴う手動停止 	<p>【女川】記載表現の相違 ・泊は、他の補足資料と記載表現を統一している。（東海第二、島根2号と同様。）</p> <p>【女川】個別評価による相違 ・1. 項における検討で特定された起回事象に相違はあるが、本自然現象により追加すべき新たな事故シーケンスは生じないことに相違はない。</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 排気筒の損傷に伴う隔離事象 ・ 非常用ガス処理系の機能喪失に伴う計画外停止 ・ 原子炉補機冷却水系のサージタンクの損傷に伴う最終ヒートシンク喪失 ・ ほう酸水注入系の機能喪失に伴う計画外停止 ・ 可燃性ガス濃度制御系の損傷に伴う計画外停止 ・ 非常用ディーゼル発電設備の損傷、かつ外部電源喪失の同時発生に伴う全交流動力電源喪失 ・ 燃料デイトankの損傷、かつ外部電源喪失の同時発生に伴う全交流動力電源喪失 ・ 残留熱除去系熱交換器の損傷に伴う計画外停止 ・ 気体廃棄物処理系の機能喪失に伴う隔離事象 <p>上記起因事象については、いずれも運転時の内部事象や地震、津波レベル1 PRAにて考慮していることから、追加すべき新しい事故シーケンスではない。</p> <p>よって、竜巻を起因とする有意な頻度又は影響のある事故シーケンスは新たに生じないと判断した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次系純水タンクの損傷に伴う手動停止 ・ ブローダウン設備の損傷に伴う手動停止 ・ 制御棒駆動装置電源の損傷に伴う手動停止 ・ 原子炉トリップ遮断器盤の損傷に伴う手動停止 ・ 制御棒制御装置の損傷に伴う手動停止 ・ 主蒸気管室空調装置の損傷に伴う手動停止 ・ 主蒸気管等の損傷に伴う2次冷却系の破断 ・ 燃料取替用水ピットの損傷に伴う手動停止 ・ 原子炉補機冷却水サージタンクの損傷に伴う原子炉補機冷却機能喪失 ・ 空調用冷水膨張タンクの損傷に伴う手動停止 ・ ディーゼル発電機の損傷に伴う手動停止 ・ 原子炉補機冷却海水ポンプの損傷に伴う原子炉補機冷却機能喪失 ・ 2次系設備や電気系設備の制御盤の損傷に伴う手動停止 <p>上記起因事象については、いずれも運転時の内部事象や地震、津波レベル1 PRAにて考慮していることから、追加すべき新しい事故シーケンスではない。</p> <p>よって、竜巻を起因とする有意な頻度又は影響のある事故シーケンスは新たに生じないと判断した。</p>	

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">比較対象なし</p>	<p style="text-align: right; color: blue;">添付資料 2.1.3</p> <p style="text-align: center;">凍結事象に対する事故シーケンス抽出</p> <p>1. 起回事象の特定</p> <p>(1) 構築物、系統及び機器（以下「設備等」という。）の損傷・機能喪失モードの抽出</p> <p>低温事象により設備等に発生する可能性のある影響について、国外の評価事例や国内で発生したトラブル事例も参照し、以下のとおり、損傷・機能喪失モードを抽出した。</p> <p>①屋外タンク及び配管内流体の凍結</p> <p>②ヒートシンク（海水）の凍結</p> <p>③着氷による送電線の相間短絡</p> <p>(2) 評価対象設備の選定</p> <p>(1)で抽出した損傷・機能喪失モードに対し、影響を受ける可能性のある設備等のうち、プラントの運転継続や安全性に影響を及ぼす可能性のある設備等を評価対象設備として選定する。</p> <p>具体的には、以下に示す屋外設置の設備等を評価対象設備として選定した。</p> <p>①屋外タンク及び配管内流体の凍結</p> <p>・軽油タンク、非常用ディーゼル発電機等の燃料移送系（以下「軽油タンク等」という。）</p> <p>・復水貯蔵タンク及び付属配管（以下「復水貯蔵タンク等」という。）</p> <p>②ヒートシンク（海水）の凍結</p> <p>・取水設備（海水）</p> <p>③着氷による送電線の相間短絡</p> <p>・送電線</p>	<p style="text-align: right; color: blue;">補足 (2)</p> <p style="text-align: center;">凍結事象に対する事故シーケンス抽出</p> <p>1. 起回事象の特定</p> <p>(1) 構築物、系統及び機器（以下「設備等」という。）の損傷・機能喪失モードの抽出</p> <p>低温事象により設備等に発生する可能性のある影響について、国外の評価事例や国内で発生したトラブル事例も参照し、以下のとおり、損傷・機能喪失モードを抽出した。</p> <p>①屋外タンク及び配管内流体の凍結</p> <p>②ヒートシンク（海水）の凍結</p> <p>③着氷による送電線の相間短絡</p> <p>(2) 評価対象設備の選定</p> <p>(1)で抽出した損傷・機能喪失モードに対し、影響を受ける可能性のある設備等のうち、プラントの運転継続や安全性に影響を及ぼす可能性のある設備等を評価対象設備として選定する。</p> <p>具体的には、以下に示す屋外設置の設備等を評価対象設備として選定した。</p> <p>①屋外タンク及び配管内流体の凍結</p> <p>・ディーゼル発電機燃料油貯油槽及びディーゼル発電機燃料油貯油槽からサービスタンクまでの配管及び弁（以下「燃料油貯油槽等」という。）</p> <p>②ヒートシンク（海水）の凍結</p> <p>・取水設備（海水）</p> <p>③着氷による送電線の相間短絡</p> <p>・送電線</p>	<p>【大阪】検討プロセスの相違に伴う資料構成の相違(女川審査実績反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然災害の抽出プロセスの相違により、大阪には泊の添付資料 2.1.1 の補足資料に相当する資料はない。 <p>(このため、本補足資料の泊欄の記載は、女川との相違について識別する。)</p> <p>【女川】資料の位置付けの相違</p> <p>【女川】設備名称の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・軽油タンク⇄ディーゼル発電機燃料油貯油槽 ・非常用ディーゼル発電機等の燃料移送系⇄ディーゼル発電機燃料油貯油槽からサービスタンクまでの配管及び弁 ・軽油タンク等⇄燃料油貯油槽等 <p>(以降、相違理由の記載を省略する。)</p> <p>【女川】設計の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、機能喪失により起回事象となり得るタンク類は屋内に設置されている。 <p>(以降、本補足資料においては相違理由の記載を省略する。)</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(3) 起因事象になり得るシナリオの選定 (1)で抽出した各損傷・機能喪失モードに対して、(2)で選定した評価対象設備への影響を検討の上、発生可能性のあるシナリオを選定した。</p> <p>①屋外タンク及び配管内流体の凍結 ・軽油タンク等の凍結 低温によって軽油タンク等の軽油が凍結するとともに、以下③に示す外部電源喪失が発生している状況下においては、非常用ディーゼル発電機等の燃料ダイタンの燃料枯渇により「全交流動力電源喪失」に至るシナリオ</p> <p>・復水貯蔵タンク等の凍結 低温によって復水貯蔵タンク等の保有水が凍結した場合、復水補給水系の喪失により「計画外停止」に至るシナリオ</p> <p>②ヒートシンク（海水）の凍結 低温によって女川原子力発電所周辺の海水が凍結することは起こり得ないと考えられるため、この損傷・機能喪失モードは考慮しない。</p> <p>③着氷による送電線の相間短絡 ・送電線の地絡、短絡 送電線や碍子へ着氷することによって相間短絡を起こし、「外部電源喪失」に至るシナリオ</p> <p>(4) 起因事象の特定 (3)で選定した各シナリオについて、想定を超える凍結事象に対しての裕度評価（起因事象発生可能性評価）を実施し、事故シナリオグループ抽出に当たって考慮すべき起因事象の特定を行った。</p> <p>①屋外タンク及び配管内流体の凍結 ・軽油タンク等の凍結 燃料移送系が凍結するような低温事象は、事前に予測が可能であり、燃料移送系の循環運転等による凍結防止対策が可能であることから、燃料移送系が凍結する可能性は非常に稀であり、有意な頻度又は影響のある事故シナリオの要因にはなり得ないと考えられるため、考慮すべき起因事象としては特定不要であると判断した。</p>	<p>(3) 起因事象になり得るシナリオの選定 (1)で抽出した各損傷・機能喪失モードに対して、(2)で選定した評価対象設備への影響を検討の上、発生可能性のあるシナリオを選定した。</p> <p>①屋外タンク及び配管内流体の凍結 ・燃料油貯油槽等の凍結 低温によって燃料油貯油槽等の軽油が凍結した場合に、ディーゼル発電機設備が機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。仮に③の外部電源喪失の同時発生を想定した場合、「全交流動力電源喪失」に至る。</p> <p>②ヒートシンク（海水）の凍結 低温によって泊発電所周辺の海水が凍結することは起こり得ないと考えられるため、この損傷・機能喪失モードについては考慮しない。</p> <p>③着氷による送電線の相間短絡 ・送電線の地絡、短絡 送電線や碍子へ着氷することによって相間短絡を起こし、「外部電源喪失」に至るシナリオ。</p> <p>(4) 起因事象の特定 (3)で選定した各シナリオについて、想定を超える凍結事象に対しての裕度評価（起因事象発生可能性評価）を実施し、事故シナリオグループ抽出に当たって考慮すべき起因事象の特定を行った。</p> <p>①屋外タンク及び配管内流体の凍結 ・燃料油貯油槽等の凍結 ディーゼル発電機の燃料として使用している軽油は低温時の使用環境を考慮した油種としており、また、燃料油貯油槽等は地中に埋設されていることから、燃料油貯油槽等が凍結する可能性は非常に稀であり、有意な頻度又は影響のある事故シナリオの要因にはなり得ないと考えられるため、考慮すべき起因事象としては特定不要であると判断した。</p>	<p>【女川】個別評価による相違 ・施設構造が異なることにより機能喪失によるシナリオも異なる。 (以降、本補足資料においては相違理由の記載を省略する。)</p> <p>【女川】評価方針の相違 ・泊は、外部電源喪失後の非常用所内交流電源喪失による全交流動力電源喪失については事故シナリオとしており、起因事象として扱っていない。 (以降、本補足資料においては相違理由の記載を省略する。)</p> <p>【女川】設計の相違 ・泊は、凍結防止対策として、軽油の凍結対策及び設備設計の考慮が施されている。</p>

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>・復水貯蔵タンク等の凍結 復水貯蔵タンクの保有水が凍結するような低温事象は、事前に予測が可能であり、復水貯蔵タンク等の循環運転等による凍結防止対策が可能であることから、保有水が凍結する可能性は非常に稀であり、有意な頻度又は影響のある事故シーケンスの要因にはなり得ないと考えられるため、考慮すべき起回事象としては特定不要であると判断した。</p> <p>②ヒートシンク（海水）の凍結 (3)②のとおり、この損傷・機能喪失モードは考慮しないため、起回事象として特定しない。</p> <p>③着氷による送電線の相間短絡 ・送電線の地絡、短絡 着氷に対して設計上の配慮はなされているものの、設計基準を超える低温事象に対しては発生を否定できず、送電線の損傷に伴う外部電源喪失に至るシナリオは考えられるため、起回事象として特定する。</p> <p>2. 事故シーケンスの特定 1. にて設計基準を超える低温事象に対し発生可能性のある起回事象として外部電源喪失を特定したが、運転時の内部事象や地震、津波レベル1 PRAにて考慮していることから、追加すべき新しい事故シーケンスではない。 よって、凍結を起因とする有意な頻度又は影響のある事故シーケンスは新たに生じないと判断した。</p>	<p>②ヒートシンク（海水）の凍結 (3)②のとおり、この損傷・機能喪失モードは考慮しないため、起回事象として特定しない。</p> <p>③着氷による送電線の相間短絡 ・送電線の地絡、短絡 着氷に対して設計上の配慮はなされているものの、設計基準を超える低温事象に対しては発生を否定できず、送電線の相間短絡による外部電源喪失に至るシナリオは考えられるため、起回事象として特定する。</p> <p>2. 事故シーケンスの特定 1. にて設計基準を超える低温事象に対し発生可能性のある起回事象として外部電源喪失を特定したが、運転時の内部事象や地震、津波レベル1 PRAにて考慮していることから、追加すべき新しい事故シーケンスではない。 よって、凍結を起因とする有意な頻度又は影響のある事故シーケンスは新たに生じないと判断した。</p>	<p>【女川】記載表現の相違 ・泊は、(3)③項と記載を統一している。</p>

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">比較対象なし</p>	<p style="text-align: right; color: green;">添付資料 2.1.4</p> <p style="text-align: center;">積雪事象に対する事故シーケンス抽出</p> <p>1. 起回事象の特定</p> <p>(1) 構築物、系統及び機器（以下「設備等」という。）の損傷・機能喪失モードの抽出</p> <p>積雪事象により設備等に発生する可能性のある影響について、国外の評価事例や国内で発生したトラブル事例も参照し、以下のとおり、損傷・機能喪失モードを抽出した。</p> <p>①建屋天井や屋外設備に対する積雪荷重</p> <p>②着雪による送電線の相間短絡</p> <p>③給気口等の閉塞</p> <p>④積雪によるアクセス性や作業性の悪化</p> <p>(2) 評価対象設備の選定</p> <p>(1)で抽出した損傷・機能喪失モードに対し、影響を受ける可能性のある設備等のうち、プラントの運転継続や安全性に影響を及ぼす可能性のある設備等を評価対象設備として選定する。</p> <p>具体的には、以下に示す建屋及び屋外設置（屋外に面した設備含む。）の設備等を評価対象設備として選定した。</p> <p>①建屋天井や屋外設備に対する積雪荷重</p> <p><建屋></p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉建屋（原子炉棟，付属棟） ・制御建屋 ・タービン建屋 <p><屋外設備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部電源系（275kV 開閉所，66kV 開閉所，変圧器） ・軽油タンク，非常用ディーゼル発電機等の燃料移送系（以下「軽油タンク等」という。） ・非常用ディーゼル発電機等の付属機器（排気消音器等） ・復水貯蔵タンク ・原子炉補機冷却海水系 ・高圧炉心スプレイ補機冷却海水系 ・タービン補機冷却海水系 ・循環水系 	<p style="text-align: right; color: blue;">補足(3)</p> <p style="text-align: center;">積雪事象に対する事故シーケンス抽出</p> <p>1. 起回事象の特定</p> <p>(1) 構築物、系統及び機器（以下「設備等」という。）の損傷・機能喪失モードの抽出</p> <p>積雪事象により設備等に発生する可能性のある影響について、国外の評価事例や国内で発生したトラブル事例も参照し、以下のとおり、損傷・機能喪失モードを抽出した。</p> <p>①建屋屋上や屋外設備に対する積雪荷重</p> <p>②着雪による送電線の相間短絡</p> <p>③給気口等の閉塞</p> <p>④積雪によるアクセス性や作業性の悪化</p> <p>(2) 評価対象設備の選定</p> <p>(1)で抽出した損傷・機能喪失モードに対し、影響を受ける可能性のある設備等のうち、プラントの運転継続や安全性に影響を及ぼす可能性のある設備等を評価対象設備として選定する。</p> <p>具体的には、以下に示す建屋及び屋外設置（屋外に面した設備含む。）の設備等を評価対象設備として選定した。</p> <p>①建屋屋上や屋外設備に対する積雪荷重</p> <p><建屋></p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉建屋 ・原子炉補助建屋 ・タービン建屋 ・ディーゼル発電機建屋 ・循環水ポンプ建屋 ・電気建屋 <p><屋外設備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部電源系（275kV 開閉所，66kV 開閉所（後備用），変圧器） ・ディーゼル発電機燃料油貯油槽及び付属配管（以下「燃料油貯油槽等」という。） ・ディーゼル発電機の付属機器（排気消音器等） ・主蒸気逃がし弁消音器 ・主蒸気安全弁排気管 ・タービン動補助給水ポンプ排気管 	<p>【大阪】検討プロセスの相違に伴う資料構成の相違(女川審査実績反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然災害の抽出プロセスの相違により、大阪には泊の添付資料 2.1.1 の補足資料に相当する資料はない。 <p>(このため、本資料の泊欄の記載は、女川との相違について識別する。)</p> <p>【女川】資料の位置付けの相違</p> <p>【女川】記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、建屋において積雪荷重がかかる箇所として、各建屋の屋上という表現で統一している。 (以降、本補足資料においては相違理由の記載を省略する。) <p>【女川】設計の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラントの設計、設備・建屋の配置等の相違により、自然現象の影響を考慮する建屋、機器が異なる。 (以降、本補足資料においては相違理由の記載を省略する。) <p>【女川】設備名称の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・制御建屋⇔原子炉補助建屋 ・66kV 開閉所⇔66kV 開閉所（後備用） ・軽油タンク⇔ディーゼル発電機燃料油貯油槽 ・燃料移送系⇔付属配管 ・非常用ディーゼル発電機⇔ディーゼル発電機 <p>(以降、本補足資料においては相違理由の記載を省略する。)</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、島根原子力発電所2号炉技術的能力2.1まとめ資料 添付資料2.1.4より引用】</p> <p>④積雪によるアクセス性や作業性の悪化 －（アクセスルート）</p>	<p>②着雪による送電線の相間短絡 ・送電線</p> <p>③給気口等の閉塞 ・非常用ディーゼル発電機等の付属機器（給気口、吸気口） ・中央制御室換気空調系（給気口） ・計測制御電源室換気空調系（給気口） ・原子炉補機冷却海水系（電動機） ・高圧炉心スプレィ補機冷却海水系（電動機） ・タービン補機冷却海水系（電動機） ・循環水系（電動機）</p> <p>(3) 起因事象になり得るシナリオの選定 (1)で抽出した各損傷・機能喪失モードに対して、(2)で選定した評価対象設備への影響を検討の上、発生可能性のあるシナリオを選定した。</p> <p>①建屋天井や屋外設備に対する積雪荷重 <建屋> ・原子炉建屋</p> <p>原子炉建屋の天井が積雪荷重により崩落した場合に、建屋最上階に設置している原子炉補機冷却水系のサージタンクが物理的に損傷し、機能喪失することで、原子炉補機冷却水系が喪失し、「最終ヒートシンク喪失」に至るシナリオ</p>	<p>②着雪による送電線の相間短絡 ・送電線</p> <p>③給気口等の閉塞 ・ディーゼル発電機の付属機器（給気口、吸気口） ・原子炉建屋給気ガラリ（外気取入口） ・主蒸気管室給気ガラリ（外気取入口）</p> <p>④積雪によるアクセス性や作業性の悪化 －（アクセスルート）</p> <p>(3) 起因事象になり得るシナリオの選定 (1)で抽出した各損傷・機能喪失モードに対して、(2)で選定した評価対象設備への影響を検討の上、発生可能性のあるシナリオを選定した。</p> <p>①建屋屋上や屋外設備に対する積雪荷重 <建屋> ・原子炉建屋 原子炉建屋屋上が積雪荷重により崩落した場合に、その直下に設置している燃料取替用水ピットが物理的に損傷し、機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。</p> <p>原子炉建屋屋上が積雪荷重により崩落した場合に、その直下に設置している原子炉補機冷却水サージタンクが物理的に損傷し、機能喪失することで、「原子炉補機冷却機能喪失」に至るシナリオ。</p>	<p>【女川】記載方針の相違 ・泊は、(1)項で抽出した各損傷・機能喪失モードに対し、評価対象設備がない場合には、「－」として記載している。（島根2号と同様。）</p> <p>【女川】個別評価による相違 ・施設構造が異なることにより機能喪失によるシナリオも異なる。（以降、本補足資料においては相違理由の記載を省略する。）</p> <p>【女川】記載表現の相違 ・泊は、屋上が崩落した場合に影響を受ける設備等が建屋の最上階に設置されているとは限らないため、「その直下に」という表現で統一している。（以降、本補足資料においては相違理由の記載を省略する。）</p> <p>【女川】設備名称の相違 ・原子炉補機冷却水系のサージタンク⇔原子炉補機冷却水サージタンク （以降、本補足資料においては相違理由の記載を省略する。）</p> <p>【女川】名称の相違 ・最終ヒートシンク喪失⇔原子炉補機冷却機能喪失 （以降、本補足資料においては相違理由の記載を省略する。）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>原子炉建屋付属棟屋上が積雪荷重により崩落した場合に、建屋最上階に設置している燃料デイトンクが全数機能喪失した場合で、かつ外部電源喪失に至っているとすると、非常用ディーゼル発電機の機能喪失により「全交流動力電源喪失」に至るシナリオ</p> <p>原子炉建屋付属棟屋上が積雪荷重により崩落した場合に、建屋最上階に設置している原子炉建屋排気隔離弁の機能喪失による「計画外停止」に至るシナリオ</p> <p>【比較のため、本ページ後段より引用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・制御建屋 制御建屋の天井が積雪荷重により崩落した場合に、建屋最上階に設置している中央制御室が物理的又は積雪（雪融け水含む。）の影響により機能喪失し、計測・制御系機能喪失に至るシナリオ。その後、中央制御室の下階に位置している直流電源設備が内部溢水により機能喪失に至るシナリオ ・タービン建屋 タービン建屋屋上が積雪荷重により崩落した場合に、建屋最上階に設置しているタービンや発電機に影響が及び、「非隔離事象」に至るシナリオ タービン建屋屋上が積雪荷重により崩落した場合に、建屋最上階に設置しているタービン補機冷却水サージタンクに影響が及び、「タービン・サポート系故障」に至るシナリオ ・制御建屋 制御建屋の天井が積雪荷重により崩落した場合に、建屋最上階に設置している中央制御室が物理的又は積雪（雪融け水含む。）の影響により機能喪失し、計測・制御系機能喪失に至るシナリオ。その後、中央制御室の下階に位置している直流電源設備が内部溢水により機能喪失に至るシナリオ 	<p>原子炉建屋屋上が積雪荷重により崩落した場合に、その直下に設置している主蒸気管等が物理的に損傷し、機能喪失することで、「2次冷却系の破断」又は「手動停止」に至るシナリオ。</p> <p>原子炉建屋屋上が積雪荷重により崩落した場合に、その直下に設置しているアニュラス空気浄化設備が物理的に損傷し、機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。</p> <p>原子炉建屋屋上が積雪荷重により崩落した場合に、その直下に設置している空調用冷水膨張タンクが物理的に損傷し、機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉補助建屋 原子炉補助建屋屋上が積雪荷重により崩落した場合に、その直下に設置している中央制御室が物理的又は積雪（雪融け水含む。）の影響により機能喪失し、「複数の信号系損傷」に至るシナリオ。 原子炉補助建屋屋上が積雪荷重により崩落した場合に、その直下に設置している中央制御室空調装置、安全補機開閉器室空調装置、蓄電池室空調装置、補助建屋空調装置又は試料採取室空調装置が物理的に損傷し、機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。 ・ディーゼル発電機建屋 ディーゼル発電機建屋屋上が積雪荷重により崩落した場合に、その直下に設置しているディーゼル発電機が物理的に損傷し、機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。仮に②の外部電源喪失の同時発生を想定した場合、「全交流動力電源喪失」に至る。 ・タービン建屋 タービン建屋屋上が積雪荷重により崩落した場合に、その直下に設置しているタービンや発電機が物理的に損傷し、機能喪失することで、「過渡事象」に至るシナリオ。 タービン建屋屋上が積雪荷重により崩落した場合に、その直下に設置している給水設備が物理的に損傷し、機能喪失することで、「主給水流量喪失」に至るシナリオ。 	<p>相違理由</p> <ul style="list-style-type: none"> 【女川】名称の相違 ・計測・制御系機能喪失⇨複数の信号系損傷 (以降、本補足資料においては相違理由の記載を省略する。) 【女川】評価方針の相違 ・泊は、外部電源喪失後の非常用所内交流電源喪失による全交流動力電源喪失については事故シーケンスとしており、起回事象として扱っていない。 (以降、本補足資料においては相違理由の記載を省略する。) 【女川】記載表現の相違 ・泊では、設備が損傷し機能喪失するものに対し、「物理的に損傷し、機能喪失する」で表現を統一している。 (以降、本補足資料においては相違理由の記載を省略する。)

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p><屋外設備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・軽油タンク等 軽油タンク室頂版が積雪荷重により崩落した場合に、軽油タンク機能喪失に至り、②に示す外部電源喪失が発生している状況下においては、非常用ディーゼル発電機等の燃料デイトンクの燃料枯渇により「全交流動力電源喪失」に至るシナリオ ・外部電源系（275kV 開閉所，66kV 開閉所，変圧器） 275kV 開閉所屋上，66kV 開閉所，変圧器が積雪荷重により崩落し、外部電源系に影響が及び、「外部電源喪失」に至るシナリオ 【比較のため、本ページ前段より引用】 ・軽油タンク等 軽油タンク室頂版が積雪荷重により崩落した場合に、軽油タンク機能喪失に至り、②に示す外部電源喪失が発生している状況下においては、非常用ディーゼル発電機等の燃料デイトンクの燃料枯渇により「全交流動力電源喪失」に至るシナリオ ・非常用ディーゼル発電機等の付属機器 積雪荷重により非常用ディーゼル発電機等の付属機器が損傷した場合、非常用ディーゼル発電機等の機能喪失、仮に②の外部電源喪失の同時発生を想定した場合、「全交流動力電源喪失」に至るシナリオ ・復水貯蔵タンク 復水貯蔵タンク天板が積雪荷重により崩落し、保有水が喪失した場合、復水補給水系の喪失により「計画外停止」に至るシナリオ ・原子炉補機冷却海水系 積雪荷重により原子炉補機冷却海水ポンプが損傷した場合、原子炉補機冷却海水系の機能喪失による「最終ヒートシンク喪失」に至るシナリオ 	<p><屋外設備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・循環水ポンプ建屋 循環水ポンプ建屋屋上が積雪荷重により崩落した場合に、その直下に設置している循環水ポンプが物理的に損傷し、機能喪失することで、復水設備が機能喪失し、「過渡事象」又は「手動停止」に至るシナリオ。 ・電気建屋 電気建屋屋上が積雪荷重により崩落した場合に、その直下に設置している2次系設備や電気系設備の制御盤が物理的に損傷し、機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。 ・外部電源系（275kV 開閉所，66kV 開閉所（後備用），変圧器） 275kV 開閉所，66kV 開閉所（後備用），変圧器が積雪荷重により物理的に損傷し、機能喪失することで、「外部電源喪失」に至るシナリオ。 ・燃料油貯油槽等 燃料油貯油槽タンク室の頂版が積雪荷重により崩落し、その直下に設置している燃料油貯油槽等が損傷した場合、ディーゼル発電機が機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。仮に②の外部電源喪失の同時発生を想定した場合、「全交流動力電源喪失」に至る。 ・ディーゼル発電機の付属機器 積雪荷重によりディーゼル発電機の付属機器が損傷した場合、ディーゼル発電機が機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。仮に②の外部電源喪失の同時発生を想定した場合、「全交流動力電源喪失」に至る。 ・主蒸気逃がし弁消音器 積雪荷重により主蒸気逃がし弁消音器が損傷した場合、主蒸気逃がし弁が機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。 ・主蒸気安全弁排気管 積雪荷重により主蒸気安全弁排気管が損傷した場合、主蒸気安全弁が機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。 ・タービン動補助給水ポンプ排気管 積雪荷重によりタービン動補助給水ポンプ排気管が損傷した場合、タービン動補助給水ポンプが機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。 	<p>【女川】設備名称の相違 ・軽油タンク室⇔燃料油貯油槽タンク室 (以降、本補足資料においては相違理由の記載を省略する。)</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>・高圧炉心スプレー補機冷却海水系 積雪荷重により高圧炉心スプレー補機冷却海水ポンプが損傷した場合、高圧炉心スプレー系の機能喪失による「計画外停止」に至るシナリオ</p> <p>・タービン補機冷却海水系 積雪荷重によりタービン補機冷却海水ポンプが損傷した場合、タービン補機冷却海水系の機能喪失による「タービン・サポート系故障」に至るシナリオ</p> <p>・循環水系 積雪荷重により循環水ポンプが損傷した場合、復水器真空度喪失による「隔離事象」に至るシナリオ</p> <p>②着雪による送電線の相間短絡 送電線や碼子へ雪が着雪することによって相間短絡を起こし、「外部電源喪失」に至るシナリオ</p> <p>③給気口等の閉塞</p> <p>・非常用ディーゼル発電機等の付属機器の閉塞 積雪により非常用ディーゼル発電機等の給気口、吸気口が閉塞した場合、非常用ディーゼル発電機等の機能喪失、仮に②の外部電源喪失の同時発生を想定した場合、「全交流動力電源喪失」に至るシナリオ</p> <p>・中央制御室換気空調系の給気口の閉塞 中央制御室換気空調系の給気口は、地面より約15mに設置されており、堆積物による閉塞は考え難いため、シナリオの選定は不要である。</p> <p>・計測制御電源室換気空調系の給気口の閉塞 計測制御電源室換気空調系の給気口は、地面より約15mに設置されており、堆積物による閉塞は考え難いため、シナリオの選定は不要である。</p> <p>・海水ポンプ用電動機空気冷却器給気口の閉塞 積雪により原子炉補機冷却海水ポンプ用電動機の空気冷却器給気口が閉塞した場合、原子炉補機冷却海水系の機能喪失による「最終ヒートシンク喪失」に至るシナリオ</p> <p>高圧炉心スプレー補機冷却海水ポンプ用電動機の空気冷却器給気口が閉塞した場合、高圧炉心スプレー系の機能喪失による「計画外停止」に至るシナリオ</p> <p>タービン補機冷却海水ポンプ用電動機の空気冷却器給気口が閉塞した場合、タービン補機冷却水系喪失による「タービン・サポート系故障」に至るシナリオ</p> <p>循環水ポンプ用電動機の空気冷却器給気口が閉塞した場合、復水器真空度喪失による「隔離事象」に至るシナリオ</p>	<p>②着雪による送電線の相間短絡 送電線や碼子へ着雪することによって相間短絡を起こし、「外部電源喪失」に至るシナリオ。</p> <p>③給気口等の閉塞</p> <p>・ディーゼル発電機の付属機器の閉塞 積雪によりディーゼル発電機の給気口、吸気口が閉塞した場合、ディーゼル発電機が機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。仮に②の外部電源喪失の同時発生を想定した場合、「全交流動力電源喪失」に至る。</p> <p>・原子炉建屋給気ガラの外気取入口の閉塞 積雪により原子炉建屋給気ガラの外気取入口が閉塞した場合、制御用空気圧縮機室換気装置、電動補助給水ポンプ室換気装置及びディーゼル発電機室換気装置が機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。</p> <p>・補助建屋給気ガラの外気取入口の閉塞 補助建屋給気ガラの外気取入口は、地面より約13mに設置されており、堆積物による閉塞は考え難いため、シナリオの選定は不要である。</p> <p>・主蒸気管室給気ガラの外気取入口の閉塞 積雪により主蒸気管室給気ガラの外気取入口が閉塞した場合、タービン動補助給水ポンプ室換気装置及び主蒸気管室換気装置が機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。</p>	

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>④積雪によるアクセス性や作業性の悪化 積雪により屋外現場へのアクセス性や屋外での作業性に影響を及ぼす可能性があるものの、設計基準事故対処設備のみで対応可能なシナリオであれば基本的に屋外での現場対応はなく、仮にアクセス性や屋外の作業性へ影響が及んだ場合であっても構内の道路又はアクセスルートについては、除雪を行うことから問題はない。 そのため①～③の影響評価の結果として、可搬型代替交流電源設備の接続といった屋外での作業が必要になるケースが確認された場合に、別途、詳細検討するものとする。</p> <p>(4) 起因事象の特定 (3)で選定した各シナリオについて、想定を超える積雪事象に対するの裕度評価（起因事象発生可能性評価）を実施し、事故シーケンスグループ抽出に当たって考慮すべき起因事象の特定を行った。</p> <p>①建屋天井や屋外設備に対する積雪荷重 積雪事象が各建屋天井や屋外設備の許容荷重を上回った場合には、(3)にて選定した各シナリオが発生する可能性はあるが、各建屋天井の崩落や屋外設備が損傷するような積雪事象は、積雪事象の進展速度を踏まえると除雪管理が可能であることから、発生可能性は非常に稀であり、有意な頻度又は影響のある事故シーケンスの要因にはなり得ないと考えられるため、考慮すべき起因事象としては選定不要であると判断した。</p> <p>②着雪による送電線の相間短絡 着雪に対して設計上の配慮はなされているものの、設計基準を超える積雪事象に対しては発生を否定できず、送電線の着雪による短絡を想定した場合、外部電源喪失に至るシナリオは考えられるため、起因事象として選定する。</p> <p>③給気口等の閉塞 積雪事象により非常用ディーゼル発電機等の給気口、吸気口が閉塞した場合には、(3)にて選定したシナリオが発生する可能性があるが、非常用ディーゼル発電機等の給気口、吸気口が閉塞するような積雪事象は、積雪事象の進展速度を踏まえると除雪管理が可能であることから、発生可能性は非常に稀であり、有意な頻度又は影響のある事故シーケンスの要因にはなり得ないと考えられるため、考慮すべき起因事象としては選定不要であると判断した。</p>	<p>④積雪によるアクセス性や作業性の悪化 積雪により屋外現場へのアクセス性や屋外での作業性に影響を及ぼす可能性があるものの、設計基準事故対処設備のみで対応可能なシナリオであれば基本的に屋外での現場対応はなく、仮にアクセス性や屋外の作業性へ影響が及んだ場合であっても構内の道路又はアクセスルートについては、除雪を行うことから問題はない。 そのため①～③の影響評価の結果として、可搬型代替交流電源設備の接続といった屋外での作業が必要になるケースが確認された場合に、別途、詳細検討するものとする。</p> <p>(4) 起因事象の特定 (3)で選定した各シナリオについて、想定を超える積雪事象に対するの裕度評価（起因事象発生可能性評価）を実施し、事故シーケンスグループ抽出に当たって考慮すべき起因事象の特定を行った。</p> <p>①建屋屋上や屋外設備に対する積雪荷重 積雪事象が各建屋屋上や屋外設備の許容荷重を上回った場合には、(3)にて選定した各シナリオが発生する可能性はあるが、各建屋屋上の崩落や屋外設備が損傷するような積雪事象は、積雪事象の進展速度を踏まえると除雪管理が可能であることから、発生可能性は非常に稀であり、有意な頻度又は影響のある事故シーケンスの要因にはなり得ないと考えられるため、考慮すべき起因事象としては特定不要であると判断した。</p> <p>②着雪による送電線の相間短絡 着雪に対して設計上の配慮はなされているものの、設計基準を超える積雪事象に対しては発生を否定できず、送電線の着雪による短絡を想定した場合、外部電源喪失に至るシナリオは考えられるため、起因事象として特定する。</p> <p>③給気口等の閉塞 積雪事象によりディーゼル発電機の給気口、吸気口が閉塞した場合には、(3)にて選定したシナリオが発生する可能性があるが、ディーゼル発電機の給気口、吸気口が閉塞するような積雪事象は、積雪事象の進展速度を踏まえると除雪管理が可能であることから、発生可能性は非常に稀であり、有意な頻度又は影響のある事故シーケンスの要因にはなり得ないと考えられるため、考慮すべき起因事象としては特定不要であると判断した。</p>	<p>【女川】記載表現の相違 ・泊は、本項において起因事象の特定を行うため、「特定」で表現を統一している。 （以降、本補足資料においては相違理由の記載を省略する。）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>また、電動機空気冷却器給気口が閉塞した場合には、(3)で選定したシナリオが発生する可能性があるが、電動機空気冷却器給気口が閉塞するような積雪事象は、積雪事象の進展速度を踏まえると除雪管理が可能であることから、発生可能性は非常に稀であり、有意な頻度又は影響のある事故シーケンスの要因にはなり得ないと考えられるため、考慮すべき起回事象としては選定不要であると判断した。</p> <p>2. 事故シーケンスの特定</p> <p>1. にて設計基準を超える積雪事象に対し発生可能性のある起回事象として外部電源喪失を特定したが、運転時の内部事象や地震、津波レベル1PRAにて考慮していることから、追加すべき新しい事故シーケンスではない。</p> <p>よって、積雪を起因とする有意な頻度又は影響のある事故シーケンスは新たに生じないと判断した。</p>	<p>また、原子炉建屋給気ガラリ及び主蒸気管室給気ガラリの外気取入口が閉塞した場合には、(3)で選定したシナリオが発生する可能性があるが、原子炉建屋給気ガラリ及び主蒸気管室給気ガラリの外気取入口が閉塞するような積雪事象は、積雪事象の進展速度を踏まえると除雪管理が可能であることから、発生可能性は非常に稀であり、有意な頻度又は影響のある事故シーケンスの要因にはなり得ないと考えられるため、考慮すべき起回事象としては特定不要であると判断した。</p> <p>2. 事故シーケンスの特定</p> <p>1. にて設計基準を超える積雪事象に対し発生可能性のある起回事象として外部電源喪失を特定したが、運転時の内部事象や地震、津波レベル1PRAにて考慮していることから、追加すべき新しい事故シーケンスではない。</p> <p>よって、積雪を起因とする有意な頻度又は影響のある事故シーケンスは新たに生じないと判断した。</p>	

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">比較対象なし</p>	<p style="text-align: right; color: blue;">添付資料 2.1.5</p> <p style="text-align: center;">落雷事象に対する事故シーケンス抽出</p> <p>1. 起回事象の特定</p> <p>(1) 構築物、系統及び機器（以下「設備等」という。）の損傷・機能喪失モードの抽出</p> <p>落雷事象により設備等に発生する可能性のある影響について、国外の評価事例、国内で発生したトラブル事例も参照し、以下のとおり、損傷・機能喪失モードを抽出した。</p> <p>①屋内外計測制御設備に発生するノイズ</p> <p>②直撃雷による設備損傷</p> <p>③誘導雷サージによる電気盤内の回路損傷</p> <p>(2) 評価対象設備の選定</p> <p>(1)で抽出した損傷・機能喪失モードに対し、影響を受ける可能性のある設備等のうち、プラントの運転継続や安全性に影響を及ぼす可能性のある設備等を評価対象設備として選定する。</p> <p>具体的には、以下に示す屋内設置の設備等、屋外設置の設備等を評価対象設備として選定した。</p> <p>①屋内外計測制御設備に発生するノイズ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計測制御系 <p>②直撃雷による設備損傷</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部電源系 <p>・原子炉補機冷却海水系</p> <p>・高圧炉心スプレィ補機冷却海水系</p> <p>・タービン補機冷却海水系</p> <p>・循環水系</p> <p>③誘導雷サージによる電気盤内の回路損傷</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計測制御系 	<p style="text-align: right; color: blue;">補足(4)</p> <p style="text-align: center;">落雷事象に対する事故シーケンス抽出</p> <p>1. 起回事象の特定</p> <p>(1) 構築物、系統及び機器（以下「設備等」という。）の損傷・機能喪失モードの抽出</p> <p>落雷事象により設備等に発生する可能性のある影響について、国外の評価事例、国内で発生したトラブル事例も参照し、以下のとおり、損傷・機能喪失モードを抽出した。</p> <p>①屋内外計測制御設備に発生するノイズ</p> <p>②直撃雷による設備損傷</p> <p>③誘導雷サージによる電気盤内の回路損傷</p> <p>(2) 評価対象施設の選定</p> <p>(1)で抽出した損傷・機能喪失モードに対し、影響を受ける可能性のある設備等のうち、プラントの運転継続や安全性に影響を及ぼす可能性のある設備等を評価対象設備として選定する。</p> <p>具体的には、以下に示す屋内設置の設備等及び屋外設置の設備等を評価対象設備として選定した。</p> <p>①屋内外計測制御設備に発生するノイズ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計測制御設備 <p>②直撃雷による設備損傷</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部電源系（275kV開閉所、66kV開閉所（後備用）、変圧器、送電線） <p>③誘導雷サージによる電気盤内の回路損傷</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計測制御設備 	<p>【大阪】検討プロセスの相違に伴う資料構成の相違(女川審査実績反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然災害の抽出プロセスの相違により、大阪には泊の添付資料 2.1.1 の補足資料に相当する資料はない。 <p>(このため、本補足資料の泊欄の記載は、女川との相違について識別する。)</p> <p>【女川】資料の位置付けの相違</p> <p>【女川】記載表現の相違</p> <p>【女川】設備名称の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計測制御系⇔計測制御設備 <p>(以降、本補足資料においては相違理由の記載を省略する。)</p> <p>【女川】記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、外部電源系の設備について記載し、他の補足資料と表現を統一した。 <p>【女川】設計の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、機能喪失により起回事象となり得る原子炉補機冷却海水系や循環水系の機器を循環水ポンプ建屋内の地下階に設置しており、直撃雷の影響を受けない。 ・女川は、地下ピット構造の海水ポンプ室に各海水ポンプを設置しており、周辺の構築物よりも低位置であるため落雷の影響を受けにくいものの、電動機は屋外にあるため、評価対象設備として選定している。 <p>(以降、本補足資料においては相違理由の記載を省略する。)</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(3) 起因事象になり得るシナリオの選定 (1)で抽出した各損傷・機能喪失モードに対して、(2)で選定した評価対象設備への影響を検討の上、発生可能性のあるシナリオを選定した。</p> <p>①屋内外計測制御設備に発生するノイズ ・計測制御系 ノイズにより安全保護回路が誤動作した場合、「隔離事象」又は「RPS 誤動作等」に至るシナリオ ノイズにより安全保護回路以外の計測制御系が誤動作した場合、「非隔離事象」、「全給水喪失」又は「水位低下事象」に至るシナリオ</p> <p>②直撃雷による設備損傷 ・外部電源系 直撃雷により外部電源系が損傷した場合、外部電源系の機能喪失による「外部電源喪失」に至るシナリオ ・原子炉補機冷却海水系 直撃雷により原子炉補機冷却海水ポンプが損傷した場合、原子炉補機冷却海水系の機能喪失による「最終ヒートシンク喪失」に至るシナリオ ・高圧炉心スプレイ補機冷却海水系 直撃雷により高圧炉心スプレイ補機冷却海水ポンプが損傷した場合、高圧炉心スプレイ系の機能喪失による「計画外停止」に至るシナリオ ・タービン補機冷却海水系 直撃雷によりタービン補機冷却海水ポンプが損傷した場合、タービン補機冷却海水系の機能喪失による「タービン・サポー ト系故障」に至るシナリオ ・循環水系 直撃雷により循環水ポンプが損傷した場合、復水器真空度喪失による「隔離事象」に至るシナリオ</p> <p>③誘導雷サージによる電気盤内の回路損傷 ・計測制御系 誘導雷サージにより計測制御系が損傷した場合、計測・制御系喪失により制御不能に至るシナリオ</p>	<p>(3) 起因事象になり得るシナリオの選定 (1)で抽出した各損傷・機能喪失モードに対して、(2)で選定した評価対象設備への影響を検討の上、発生可能性のあるシナリオを選定した。</p> <p>①屋内外計測制御設備に発生するノイズ ・計測制御設備 ノイズにより安全保護回路が誤動作した場合に、「過渡事象」又は「手動停止」に至るシナリオ。 ノイズにより安全保護回路以外の計測制御設備が誤動作した場合に、「過渡事象」、「主給水流量喪失」又は「手動停止」に至るシナリオ。</p> <p>②直撃雷による設備損傷 ・外部電源系（275kV 開閉所，66kV 開閉所（後備用），変圧器，送電線） 直撃雷により外部電源系が損傷し，機能喪失することで、「外部電源喪失」に至るシナリオ。</p> <p>③誘導雷サージによる電気盤内の回路損傷 ・計測制御設備 誘導雷サージにより計測制御設備が損傷した場合に、「複数の信号系損傷」に至るシナリオ。</p>	<p>【女川】個別評価による相違 ・施設構造が異なることにより機能喪失によるシナリオも異なる。 (以降、本補足資料においては相違理由の記載を省略する。)</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、島根原子力発電所2号炉技術的能力2.1まとめ資料 添付資料2.1.5より引用】</p> <p>(4) 起回事象の特定</p> <p>(3)項で選定した各シナリオについて、想定を超える落雷事象に対するの裕度評価（起回事象発生可能性評価）を実施し、事故シケンスグループ抽出に当たって考慮すべき起回事象の特定を行った。</p>	<p>(4) 起回事象の特定</p> <p>(3)で選定した各シナリオについて、想定を上回る落雷に対する起回事象発生可能性評価を実施し、事故シケンスグループ抽出に当たって考慮すべき起回事象の特定を行った。</p> <p>①屋内外計測制御設備に発生するノイズ 落雷によって安全保護回路に発生するノイズの影響により誤動作する可能性を否定できず、隔離事象又はRPS誤動作等に至るシナリオは考えられるため、起回事象として特定する。 また、落雷によって安全保護回路以外の計測制御系に発生するノイズの影響により誤動作する可能性を否定できず、非隔離事象、全給水喪失又は水位低下事象に至るシナリオは考えられるため、起回事象として特定する。 なお、上記事象以外の誤動作（ポンプの誤起動等）については、設備の機能喪失には至らず、かつ復旧についても容易であることから、起回事象としては特定しない。</p> <p>②直撃雷による設備損傷 外部電源系に過渡な電流が発生した場合、機器には雷サージの影響を緩和するため保安器が設置されているが、落雷が発生した場合、外部電源喪失に至るシナリオは考えられるため、起回事象として特定する。 原子炉補機冷却海水系は、地下ピット構造の海水ポンプ室に設置していることから落雷の影響を受けにくい、電動機部に関しては落雷によって機能喪失する可能性を否定できない。また、区分分離が実施された複数の系統に期待できるが、同時に機能喪失することを保守的に考慮し、最終ヒートシンク喪失に至るシナリオは考えられるため起回事象として特定する。 高圧炉心スプレイ補機冷却海水系は、地下ピット構造の海水ポンプ室に設置していることから落雷の影響を受けにくい、海水ポンプ用電動機部に関しては落雷によって機能喪失する可能性を否定できないため、計画外停止に至るシナリオは考えられるため起回事象として特定する。 タービン補機冷却海水系は、地下ピット構造の海水ポンプ室に設置していることから落雷の影響を受けにくい、海水ポンプ用電動機に関しては落雷によって機能喪失する可能性を否定できないことから、タービン・サポート系故障に至るシナリオは考えられるため起回事象として特定する。 循環水ポンプ用電動機部に関しては落雷によって機能喪失する可能性を否定できないため、隔離事象に至るシナリオは考えられるため起回事象として特定する。</p>	<p>(4) 起回事象の特定</p> <p>(3)で選定した各シナリオについて、想定を超える落雷事象に対するの裕度評価（起回事象発生可能性評価）を実施し、事故シケンスグループ抽出に当たって考慮すべき起回事象の特定を行った。</p> <p>①屋内外計測制御設備に発生するノイズ 落雷によって安全保護回路に発生するノイズの影響により誤動作する可能性を否定できず、過渡事象又は手動停止に至るシナリオは考えられるため、起回事象として特定する。 また、落雷によって安全保護回路以外の計測制御設備に発生するノイズの影響により誤動作する可能性を否定できず、過渡事象、主給水流量喪失又は手動停止に至るシナリオは考えられるため、起回事象として特定する。 なお、上記事象以外の誤動作（ポンプの誤起動等）については、設備の機能喪失には至らず、かつ復旧についても容易であることから、起回事象としては特定しない。</p> <p>②直撃雷による設備損傷 外部電源系に過渡な電流が発生した場合、機器には雷サージの影響を緩和するため保安器が設置されているが、落雷が発生した場合、外部電源喪失に至るシナリオは考えられるため、起回事象として特定する。</p>	<p>【女川】個別評価による相違 ・施設構造が異なることにより特定された起回事象も異なる。 (以降、本補足資料においては相違理由の記載を省略する。)</p> <p>【女川】記載表現の相違 ・泊は、他の補足資料と記載表現を統一している。(島根2号と同様。)</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>③誘導雷サージによる電気盤内の回路損傷</p> <p>落雷による誘導雷サージを接地網に効果的に導くことができない場合には、電気盤内の絶縁耐力が低い回路が損傷し、発電用原子炉施設の安全保護系機能が喪失する。しかし、安全保護回路は金属シールド付ケーブルを使用し、屋内に設置されているため、損傷に至る有意なサージの侵入はないものと判断されることから、考慮すべき起因事象としては特定不要であると判断した。</p> <p>なお、安全保護回路以外の計測制御系は、誘導雷サージの影響により損傷し、安全保護回路以外の計測・制御系喪失により制御不能に至る可能性を否定できない。制御不能となった場合は、非隔離事象、全給水喪失又は水位低下事象に至る可能性は考えられるため、起因事象として特定する。</p> <p>2. 事故シーケンスの特定</p> <p>1. にて設計基準を超える落雷事象に対し発生可能性のある起因事象として以下を特定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全保護回路に発生するノイズの影響に伴う隔離事象又はRPS誤動作等 ・安全保護回路以外の計測制御系に発生するノイズの影響に伴う非隔離事象、全給水喪失又は水位低下事象 ・外部電源系の損傷に伴う外部電源喪失 ・原子炉補機冷却海水系の損傷に伴う最終ヒートシンク喪失 ・高圧炉心スプレィ補機冷却海水系の損傷に伴う計画外停止 ・タービン補機冷却海水系の損傷に伴うタービン・サポート系故障 ・循環水系の損傷に伴う復水器真空度喪失による隔離事象 ・安全保護回路以外の計測制御系の損傷に伴う非隔離事象、全給水喪失又は水位低下事象 <p>上記起因事象については、いずれも運転時の内部事象や地震、津波レベル1 PRAにて考慮していることから、追加すべき新しい事故シーケンスではない。</p> <p>よって、落雷を起因とする有意な頻度又は影響のある事故シーケンスは新たに生じないと判断した。</p>	<p>③誘導雷サージによる電気盤内の回路損傷</p> <p>落雷による誘導雷サージを接地網に効果的に導くことができない場合には、電気盤内の絶縁耐力が低い回路が損傷し、発電用原子炉施設の安全保護系機能が喪失する。しかし、安全保護回路は金属シールド付ケーブルを使用し、屋内に設置されているため、損傷に至る有意なサージの侵入はないものと判断されることから、考慮すべき起因事象としては特定不要であると判断した。</p> <p>なお、安全保護回路以外の計測制御設備は、誘導雷サージの影響により損傷し、機能喪失することにより制御不能に至る可能性を否定できない。制御不能となった場合は、過渡事象、主給水流量喪失又は手動停止に至る可能性は考えられるため、起因事象として特定する。</p> <p>2. 事故シーケンスの特定</p> <p>1. にて設計基準を超える落雷事象に対し発生可能性のある起因事象として以下を特定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全保護回路に発生するノイズの影響に伴う過渡事象又は手動停止 ・安全保護回路以外の計測制御設備に発生するノイズの影響に伴う過渡事象、主給水流量喪失又は手動停止 ・外部電源系の損傷に伴う外部電源喪失 <p>・安全保護回路以外の計測制御設備の損傷に伴う過渡事象、主給水流量喪失又は手動停止</p> <p>上記起因事象については、いずれも運転時の内部事象や地震、津波レベル1 PRAにて考慮していることから、追加すべき新しい事故シーケンスではない。</p> <p>よって、落雷を起因とする有意な頻度又は影響のある事故シーケンスは新たに生じないと判断した。</p>	<p>相違理由</p> <p>【女川】記載表現の相違</p> <p>【女川】個別評価による相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1. 項における検討で特定された起因事象に相違はあるが、本自然現象により追加すべき新たな事故シーケンスは生じないことに相違はない。

灰色：泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">比較対象なし</p>	<p style="text-align: center;">添付資料 2.1.6 火山の影響に対する事故シナシス抽出</p> <p>1. 起回事象の特定 (1) 構築物、系統及び機器（以下「設備等」という。）の損傷・機能喪失の抽出 火山事象のうち、火山性土石流といった原子力発電所の火山影響評価ガイド（平成25年6月19日 原規技発第13061910号 原子力規制委員会決定）（以下「影響評価ガイド」という。）において設計対応不可とされている事象については、影響評価ガイドに基づく立地評価にて原子力発電所の運用期間中に影響を及ぼす可能性がないと判断されている。よって、個々の火山事象への設計対応及び運転対応の妥当性について評価を行うため抽出した降下火砕物を対象に原子力発電所への影響を検討するものとする。 降下火砕物により設備等に発生する可能性のある影響について、影響評価ガイドも参照し、以下のとおり、損傷・機能喪失モードを抽出した。 ①建屋天井や屋外設備に対する降下火砕物の堆積荷重 ②降下火砕物による海水ストレーナ等の閉塞 ③降下火砕物による給気口等の閉塞 ④降下火砕物に付着している腐食成分による化学的影響 ⑤降下火砕物の付着による送電線の相間短絡 ⑥降下火砕物によるアクセス性や作業性の悪化</p> <p>(2) 評価対象設備の選定 (1)で抽出した損傷・機能喪失モードに対し、影響を受ける可能性のある設備等のうち、プラントの運転継続や安全性に影響を及ぼす可能性のある設備等を評価対象設備として選定する。 具体的には、以下に示す建屋、屋外設置（屋外に面した設備含む。）の設備等を評価対象設備として選定した。 ①建屋天井や屋外設備に対する降下火砕物の堆積荷重 <建屋> ・原子炉建屋（原子炉棟、付属棟） ・制御建屋 ・タービン建屋</p>	<p style="text-align: center;">補足(5) 火山の影響に対する事故シナシス抽出</p> <p>1. 起回事象の特定 (1) 構築物、系統及び機器（以下「設備等」という。）の損傷・機能喪失モードの抽出 火山事象のうち、火山性土石流といった原子力発電所の火山影響評価ガイド（平成25年6月19日 原規技発第13061910号 原子力規制委員会決定）（以下「影響評価ガイド」という。）において設計対応不可とされている事象については、影響評価ガイドに基づく立地評価にて原子力発電所の運用期間中に影響を及ぼす可能性がないと判断されている。よって、個々の火山事象への設計対応及び運転対応の妥当性について評価を行うため抽出した降下火砕物を対象に原子力発電所への影響を検討するものとする。 降下火砕物により設備等に発生する可能性のある影響について、影響評価ガイドも参照し、以下のとおり、損傷・機能喪失モードを抽出した。 ①建屋屋上や屋外設備に対する降下火砕物の堆積荷重 ②降下火砕物による海水ストレーナ等の閉塞 ③降下火砕物による給気口等の閉塞 ④降下火砕物に付着している腐食成分による化学的影響 ⑤降下火砕物の付着による送電線の相間短絡 ⑥降下火砕物によるアクセス性や作業性の悪化</p> <p>(2) 評価対象設備の選定 (1)で抽出した損傷・機能喪失モードに対し、影響を受ける可能性のある設備等のうち、プラントの運転継続や安全性に影響を及ぼす可能性のある設備等を評価対象設備として選定する。 具体的には、以下に示す建屋及び屋外設置（屋外に面した設備含む。）の設備等を評価対象設備として選定した。 ①建屋屋上や屋外設備に対する降下火砕物の堆積荷重 <建屋> ・原子炉建屋 ・原子炉補助建屋 ・タービン建屋 ・ディーゼル発電機建屋 ・循環水ポンプ建屋 ・電気建屋</p>	<p>【大阪】 検討プロセスの相違に伴う資料構成の相違(女川審査実績反映) ・自然災害の抽出プロセスの相違により、大阪には泊の添付資料2.1.1の補足資料に相当する資料はない。 (このため、本補足資料の泊欄の記載は、女川との相違について識別する。)</p> <p>【女川】 資料の位置付けの相違</p> <p>【女川】 記載表現の相違 ・泊は、建屋において降下火砕物の堆積荷重がかかる箇所として、各建屋の屋上という表現で統一している。 (以降、本補足資料においては相違理由の記載を省略する。)</p> <p>【女川】 設計の相違 ・プラントの設計、設備・建屋の配置等の相違により、自然現象の影響を考慮する建屋、機器が異なる。 (以降、本補足資料においては相違理由の記載を省略する。)</p> <p>【女川】 設備名称の相違 ・制御建屋⇔原子炉補助建屋 (以降、本補足資料においては相違理由の記載を省略する。)</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p><屋外設備></p> <p>・軽油タンク、非常用ディーゼル発電設備燃料移送系（以下「軽油タンク等」という。）</p> <p>・外部電源系（275kV 開閉所，66kV 開閉所，変圧器）</p> <p>【比較のため、前段より引用】</p> <p>・軽油タンク、非常用ディーゼル発電設備燃料移送系（以下「軽油タンク等」という。）</p> <p>・復水貯蔵タンク</p> <p>・原子炉補機冷却海水系</p> <p>・高圧炉心スプレイ補機冷却海水系</p> <p>・タービン補機冷却海水系</p> <p>・循環水系</p> <p>②降下火砕物による海水ストレーナ等の閉塞</p> <p>・原子炉補機冷却海水系</p> <p>・高圧炉心スプレイ補機冷却海水系</p> <p>・タービン補機冷却海水系</p> <p>・循環水系</p> <p>③降下火砕物による給気口等の閉塞</p> <p>・中央制御室換気空調系（給気口）</p> <p>・非常用ディーゼル発電機等の付属機器（給気口，吸気口）</p> <p>・計測制御電源室換気空調系（給気口）</p> <p>・原子炉補機冷却海水系（電動機）</p> <p>・高圧炉心スプレイ補機冷却海水系（電動機）</p> <p>・タービン補機冷却海水系（電動機）</p> <p>・循環水系（電動機）</p> <p>④降下火砕物に付着している腐食成分による化学的影響</p> <p>・屋外設備全般</p> <p>⑤降下火砕物の付着による送電線の相間短絡</p> <p>・送電線</p> <p>⑥降下火砕物によるアクセス性や作業性の悪化</p> <p>－（アクセスルート）</p>	<p><屋外設備></p> <p>・外部電源系（275kV 開閉所，66kV 開閉所（後備用），変圧器）</p> <p>・ディーゼル発電機燃料油貯槽及び付属配管（以下「燃料油貯槽等」という。）</p> <p>・ディーゼル発電機の付属機器（排気消音器等）</p> <p>・主蒸気逃がし弁消音器</p> <p>・主蒸気安全弁排気管</p> <p>・タービン動補助給水ポンプ排気管</p> <p>②降下火砕物による海水ストレーナ等の閉塞</p> <p>・原子炉補機冷却海水系</p> <p>・循環水系</p> <p>③降下火砕物による給気口等の閉塞</p> <p>・ディーゼル発電機の付属機器（給気口，吸気口）</p> <p>・原子炉建屋給気ガラリ（外気取入口）</p> <p>・主蒸気管室給気ガラリ（外気取入口）</p> <p>④降下火砕物に付着している腐食成分による化学的影響</p> <p>・屋外設備全般</p> <p>・海水系機器</p> <p>⑤降下火砕物の付着による送電線の相間短絡</p> <p>・送電線</p> <p>⑥降下火砕物によるアクセス性や作業性の悪化</p> <p>－（アクセスルート）</p>	<p>【女川】設備名称の相違</p> <p>・66kV 開閉所⇔66kV 開閉所（後備用）</p> <p>・軽油タンク⇔ディーゼル発電機燃料油貯槽</p> <p>・燃料移送系⇔付属配管</p> <p>・非常用ディーゼル発電機等⇔ディーゼル発電機</p> <p>（以降、本補足資料においては相違理由の記載を省略する。）</p> <p>【女川】評価方針の相違(大阪審査実績反映)</p> <p>・泊は、大阪（第37条）審査実績を反映し、降下火砕物が混入した海水による影響を検討するため、海水系機器についても評価対象設備として選定した。</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(3) 起因事象になり得るシナリオの選定</p> <p>(1)で抽出した損傷・機能喪失モードに対して、(2)で選定した評価対象設備への影響を検討の上、発生可能性のあるシナリオを選定した。</p> <p>①建屋天井や屋外設備に対する降下火砕物の堆積荷重</p> <p><建屋></p> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉建屋 <p>原子炉建屋の天井が降下火砕物堆積荷重により崩落した場合に、建屋最上階に設置している原子炉補機冷却水系のサージタンクが物理的に損傷し、機能喪失することで、原子炉補機冷却水系が喪失し、「最終ヒートシンク喪失」に至るシナリオ</p> <p>原子炉建屋付属棟屋上が降下火砕物による堆積荷重により崩落した場合に、建屋最上階に設置している非常用ディーゼル発電設備燃料デイトンクの全数機能喪失した場合で、かつ外部電源喪失に至っているとすると、非常用ディーゼル発電機の機能喪失により「全交流動力電源喪失」に至るシナリオ</p> <p>原子炉建屋付属棟屋上が降下火砕物による堆積荷重により崩落した場合に、建屋最上階に設置している原子炉建屋排気隔離弁の機能喪失による「計画外停止」に至るシナリオ</p> <p>【比較のため、次ページより引用】</p> <ul style="list-style-type: none"> 制御建屋 <p>制御建屋の天井が降下火砕物堆積荷重により崩落した場合に、建屋最上階に設置している中央制御室内設備が物理的に損傷し、「計測・制御系機能喪失」に至るシナリオ</p>	<p>(3) 起因事象になり得るシナリオの選定</p> <p>(1)で抽出した各損傷・機能喪失モードに対して、(2)で選定した評価対象設備への影響を検討の上、発生可能性のあるシナリオを選定した。</p> <p>①建屋屋上や屋外設備に対する降下火砕物の堆積荷重</p> <p><建屋></p> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉建屋 <p>原子炉建屋屋上が降下火砕物の堆積荷重により崩落した場合に、その直下に設置している燃料取替用水ピットが物理的に損傷し、機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。</p> <p>原子炉建屋屋上が降下火砕物の堆積荷重により崩落した場合に、その直下に設置している原子炉補機冷却水サージタンクが物理的に損傷し、機能喪失することで、「原子炉補機冷却機能喪失」に至るシナリオ。</p> <p>原子炉建屋屋上が降下火砕物の堆積荷重により崩落した場合に、その直下に設置している主蒸気管等が物理的に損傷し、機能喪失することで、「2次冷却系の破断」又は「手動停止」に至るシナリオ。</p> <p>原子炉建屋屋上が降下火砕物の堆積荷重により崩落した場合に、その直下に設置しているアニュラス空気浄化設備が物理的に損傷し、機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。</p> <p>原子炉建屋屋上が降下火砕物の堆積荷重により崩落した場合に、その直下に設置している空調用冷水膨張タンクが物理的に損傷し、機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉補助建屋 <p>原子炉補助建屋屋上が降下火砕物の堆積荷重により崩落した場合に、その直下に設置している中央制御室内設備が物理的に損傷し、機能喪失することで、「複数の信号系損傷」に至るシナリオ。</p> <p>原子炉補助建屋屋上が降下火砕物の荷重により崩落した場合に、その直下に設置している中央制御室空調装置、安全補機閉器室空調装置、蓄電池室空調装置、補助建屋空調装置又は試料採取室空調装置が物理的に損傷し、機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ディーゼル発電機建屋 <p>ディーゼル発電機建屋屋上が降下火砕物の堆積荷重により崩落した場合に、その直下に設置しているディーゼル発電機が物理的に損傷し、機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。仮に⑤の外部電源喪失の同時発生を想定した場合、「全交流動力電源喪失」に至る。</p>	<p>(3) 起因事象になり得るシナリオの選定</p> <p>(1)で抽出した各損傷・機能喪失モードに対して、(2)で選定した評価対象設備への影響を検討の上、発生可能性のあるシナリオを選定した。</p> <p>①建屋屋上や屋外設備に対する降下火砕物の堆積荷重</p> <p><建屋></p> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉建屋 <p>原子炉建屋屋上が降下火砕物の堆積荷重により崩落した場合に、その直下に設置している燃料取替用水ピットが物理的に損傷し、機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。</p> <p>原子炉建屋屋上が降下火砕物の堆積荷重により崩落した場合に、その直下に設置している原子炉補機冷却水サージタンクが物理的に損傷し、機能喪失することで、「原子炉補機冷却機能喪失」に至るシナリオ。</p> <p>原子炉建屋屋上が降下火砕物の堆積荷重により崩落した場合に、その直下に設置している主蒸気管等が物理的に損傷し、機能喪失することで、「2次冷却系の破断」又は「手動停止」に至るシナリオ。</p> <p>原子炉建屋屋上が降下火砕物の堆積荷重により崩落した場合に、その直下に設置しているアニュラス空気浄化設備が物理的に損傷し、機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。</p> <p>原子炉建屋屋上が降下火砕物の堆積荷重により崩落した場合に、その直下に設置している空調用冷水膨張タンクが物理的に損傷し、機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉補助建屋 <p>原子炉補助建屋屋上が降下火砕物の堆積荷重により崩落した場合に、その直下に設置している中央制御室内設備が物理的に損傷し、機能喪失することで、「複数の信号系損傷」に至るシナリオ。</p> <p>原子炉補助建屋屋上が降下火砕物の荷重により崩落した場合に、その直下に設置している中央制御室空調装置、安全補機閉器室空調装置、蓄電池室空調装置、補助建屋空調装置又は試料採取室空調装置が物理的に損傷し、機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ディーゼル発電機建屋 <p>ディーゼル発電機建屋屋上が降下火砕物の堆積荷重により崩落した場合に、その直下に設置しているディーゼル発電機が物理的に損傷し、機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。仮に⑤の外部電源喪失の同時発生を想定した場合、「全交流動力電源喪失」に至る。</p>	<p>相違理由</p> <p>【女川】個別評価による相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設構造が異なることにより機能喪失によるシナリオも異なる。 (以降、本補足資料においては相違理由の記載を省略する。) <p>【女川】記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は、屋上が崩落した場合に影響を受ける設備等が建屋の最上階に設置されているとは限らないため、「その直下に」という表現で統一している。 また、①項の項目名にあわせ、「降下火砕物の堆積荷重」で統一している。 (以降、本補足資料においては相違理由の記載を省略する。) <p>【女川】設備名称の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉補機冷却水系のサージタンク⇔原子炉補機冷却水サージタンク (以降、本補足資料においては相違理由の記載を省略する。) <p>【女川】名称の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 最終ヒートシンク喪失⇔原子炉補機冷却機能喪失 計測・制御系機能喪失⇔複数の信号系損傷 (以降、本補足資料においては相違理由の記載を省略する。) <p>【女川】評価方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は、外部電源喪失後の非常用所内交流電源喪失による全交流動力電源喪失については事故シーケンスとしており、起因事象として扱っていない。 (以降、本補足資料においては相違理由の記載を省略する。)

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>・タービン建屋 タービン建屋屋上が降下火砕物による堆積荷重により崩落した場合に、建屋最上階に設置しているタービンや発電機に影響が及び、「非隔離事象」に至るシナリオ タービン補機冷却水サージタンクに影響が及び、「タービン・サポート系故障」に至るシナリオ</p> <p>・制御建屋 制御建屋の天井が降下火砕物堆積荷重により崩落した場合に、建屋最上階に設置している中央制御室内設備が物理的に損傷し、「計測・制御系機能喪失」に至るシナリオ</p> <p><屋外設備> ・軽油タンク等 軽油タンク室頂版が降下火砕物堆積荷重により崩落した場合に、軽油タンクの機能喪失に至り、⑤に示す外部電源喪失が発生している状況下においては、非常用ディーゼル発電設備（燃料デイトンク）の燃料枯渇により、「全交流動力電源喪失」に至るシナリオ</p> <p>・外部電源系（275kV 開閉所，66kV 開閉所，変圧器） 275kV 開閉所屋上，66kV 開閉所，変圧器が降下火砕物による堆積荷重により崩落し，外部電源系に影響が及び、「外部電源喪失」に至るシナリオ</p> <p>【比較のため、本ページ前段より引用】</p> <p>・軽油タンク等 軽油タンク室頂版が降下火砕物堆積荷重により崩落した場合に、軽油タンクの機能喪失に至り、⑤に示す外部電源喪失が発生している状況下においては、非常用ディーゼル発電設備（燃料デイトンク）の燃料枯渇により、「全交流動力電源喪失」に至るシナリオ</p>	<p>・タービン建屋 タービン建屋屋上が降下火砕物の堆積荷重により崩落した場合に、その直下に設置しているタービンや発電機が物理的に損傷し、機能喪失することで、「過渡事象」に至るシナリオ。 タービン建屋屋上が降下火砕物の堆積荷重により崩落した場合に、その直下に設置している給水設備が物理的に損傷し、機能喪失することで、「主給水流量喪失」に至るシナリオ。</p> <p>・循環水ポンプ建屋 循環水ポンプ建屋屋上が降下火砕物の堆積荷重により崩落した場合に、その直下に設置している循環水ポンプが物理的に損傷し、機能喪失することで、復水設備が機能喪失し、「過渡事象」又は「手動停止」に至るシナリオ。</p> <p>・電気建屋 電気建屋屋上が降下火砕物の堆積荷重により崩落した場合に、その直下に設置している2次系設備や電気系設備の制御盤が物理的に損傷し、機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。</p> <p><屋外設備></p> <p>・外部電源系（275kV 開閉所，66kV 開閉所（後備用），変圧器） 275kV 開閉所，66kV 開閉所（後備用），変圧器が降下火砕物の堆積荷重により物理的に損傷し，機能喪失することで、「外部電源喪失」に至るシナリオ。</p> <p>・燃料油貯油槽等 燃料油貯油槽タンク室の頂版が降下火砕物の堆積荷重により崩落し，その直下に設置している燃料油貯油槽等が損傷した場合に，ディーゼル発電機が機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。仮に⑤の外部電源喪失の同時発生を想定した場合、「全交流動力電源喪失」に至る。</p> <p>・ディーゼル発電機の付属機器 降下火砕物の堆積荷重によりディーゼル発電機の付属機器が損傷した場合に，ディーゼル発電機が機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。仮に⑤の外部電源喪失の同時発生を想定した場合、「全交流動力電源喪失」に至る。</p>	<p>【女川】記載表現の相違</p> <p>【女川】設備名称の相違 ・軽油タンク室⇔燃料油貯油槽タンク室 (以降、本補足資料においては相違理由の記載を省略する。)</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、島根原子力発電所2号炉技術的能力2.1まとめ資料 添付資料2.1.6より引用】</p> <p>○原子炉補機海水ポンプ、高圧炉心スプレィ補機海水ポンプ、タービン補機海水ポンプ及び循環水ポンプ</p> <p>海水系については、海水中の降下火砕物が高濃度な場合には、熱交換器の伝熱管、海水ポンプ軸受の閉塞による異常摩耗や海水ストレーナの閉塞により、原子炉補機海水ポンプが機能喪失し補機冷却系喪失に至るシナリオ、高圧炉心スプレィ補機海水ポンプが機能喪失し手動停止に至るシナリオ、タービン補機海水ポンプが機能喪失しタービン・サポート系故障に至るシナリオ及び循環水ポンプが機能喪失し隔離事象に至るシナリオ。</p>	<p>・復水貯蔵タンク 復水貯蔵タンク天板が降下火砕物による堆積荷重により崩落し、保有水が喪失した場合、補給水系の喪失により「計画外停止」に至るシナリオ</p> <p>・原子炉補機冷却海水系 降下火砕物による堆積荷重により原子炉補機冷却海水ポンプが損傷した場合、「最終ヒートシンク喪失」に至るシナリオ</p> <p>・高圧炉心スプレィ補機冷却海水系 降下火砕物による堆積荷重により高圧炉心スプレィ補機冷却海水ポンプが損傷した場合、「計画外停止」に至るシナリオ</p> <p>・タービン補機冷却海水系 降下火砕物による堆積荷重によりタービン補機冷却海水ポンプが損傷した場合、「タービン・サポート系故障」に至るシナリオ</p> <p>・循環水系 降下火砕物による堆積荷重により循環水ポンプが損傷した場合、復水器真空度喪失による「隔離事象」に至るシナリオ</p> <p>②降下火砕物による海水ストレーナ等の閉塞</p> <p>海水ストレーナや熱交換器の目開きは、降下火砕物の粒径より大きいことから閉塞し難いため、シナリオの選定は不要である。</p> <p>海水中への降下火砕物によって海水ポンプ軸受が異常摩耗した場合、原子炉補機冷却海水系の機能喪失による「最終ヒートシンク喪失」に至るシナリオ、高圧炉心スプレィ補機冷却海水系の機能喪失による「計画外停止」に至るシナリオ、タービン補機冷却海水系の機能喪失による「タービン・サポート系故障」に至るシナリオ、循環水系の機能喪失に伴う復水器真空度喪失による「隔離事象」に至るシナリオ</p>	<p>・主蒸気逃がし弁消音器 降下火砕物の堆積荷重により主蒸気逃がし弁消音器が損傷した場合に、主蒸気逃がし弁が機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。</p> <p>・主蒸気安全弁排気管 降下火砕物の堆積荷重により主蒸気安全弁排気管が損傷した場合に、主蒸気安全弁が機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。</p> <p>・タービン動補助給水ポンプ排気管 降下火砕物の堆積荷重によりタービン動補助給水ポンプ排気管が損傷した場合に、タービン動補助給水ポンプが機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。</p> <p>②降下火砕物による海水ストレーナ等の閉塞</p> <p>・原子炉補機冷却海水系及び循環水系</p> <p>海水中の降下火砕物が高濃度な場合には、熱交換器の伝熱管及び伝熱板、海水ポンプ軸受の異常摩耗や海水ストレーナの閉塞により、原子炉補機冷却海水系が機能喪失することで「原子炉補機冷却機能喪失」に至るシナリオ及び循環水系が機能喪失することで「過渡事象」又は「手動停止」に至るシナリオ。</p>	<p>相違理由</p> <p>【女川】記載表現の相違 ・泊は、他の項目（①項等）と同様に、評価対象設備を記載した上で、発生可能性のあるシナリオの選定について記載している。</p> <p>【女川】設備の相違による評価の相違 ・泊は、海水中への降下火砕物により海水ストレーナが閉塞することを想定して発生可能性のあるシナリオを選定した。（島根2号と同様。）</p> <p>【女川】記載方針の相違 ・泊は、海水中の降下火砕物の影響として熱交換器の異常摩耗についても記載している。（島根2号と同様。）なお、女川も後段の(4)②項では熱交換器の伝熱管の異常摩耗について考慮しており、実質的に相違はない。</p> <p>【女川】記載表現の相違（設備設計） ・泊は、原子炉補機冷却水冷却器にプレート型を採用しているため、「伝熱板」も記載している。（以降、本補足資料においては相違理由の記載を省略する。）</p>

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>③降下火砕物による給気口等の閉塞 【比較のため、本ページ後段より引用】</p> <ul style="list-style-type: none"> 非常用ディーゼル発電機等の付属機器の閉塞 降下火砕物の吸込み又は給気口への堆積により非常用ディーゼル発電機等の給気口、吸気口が閉塞した場合、非常用ディーゼル発電機等の機能喪失、仮に⑤の外部電源喪失の同時発生を想定した場合、「全交流動力電源喪失」に至るシナリオ 中央制御室換気空調系給気口の閉塞 中央制御室換気空調系の給気口は、地面より約15mの高さに設置されており、堆積物による閉塞は考え難いためシナリオの選定は不要である。また、給気口への降下火砕物の吸込みにより給気口が閉塞した場合でも、フィルタの取替え及び清掃が可能であることからシナリオの選定は不要である。 計測制御電源室換気空調系給気口の閉塞 計測制御電源室換気空調系の給気口は、地面より約15mに設置されており、堆積物による閉塞は考え難いためシナリオの選定は不要である。また、給気口への降下火砕物の吸込みにより給気口が閉塞した場合でも、フィルタの取替え及び清掃が可能であることからシナリオの選定は不要である。 非常用ディーゼル発電機等の付属機器の閉塞 降下火砕物の吸込み又は給気口への堆積により非常用ディーゼル発電機等の給気口、吸気口が閉塞した場合、非常用ディーゼル発電機等の機能喪失、仮に⑤の外部電源喪失の同時発生を想定した場合、「全交流動力電源喪失」に至るシナリオ 海水ポンプ用電動機空気冷却器給気口の閉塞 降下火砕物の吸込み又は給気口への堆積により原子炉補機冷却海水ポンプ用電動機の空気冷却器給気口が閉塞した場合、原子炉補機冷却海水系の機能喪失による「最終ヒートシンク喪失」に至るシナリオ 高圧炉心スプレー補機冷却海水ポンプ用電動機の空気冷却器給気口が閉塞した場合、高圧炉心スプレー系の機能喪失による「計画外停止」に至るシナリオ タービン補機冷却海水ポンプ用電動機の空気冷却器給気口が閉塞した場合、タービン補機冷却海水系喪失による「タービン・サポート系故障」に至るシナリオ 循環水ポンプ用電動機の空気冷却器給気口が閉塞した場合、復水器真空度喪失による「隔離事象」に至るシナリオ 	<p>③降下火砕物による給気口等の閉塞</p> <ul style="list-style-type: none"> ディーゼル発電機の付属機器の閉塞 降下火砕物の吸込み又は給気口への堆積によりディーゼル発電機の給気口、吸気口が閉塞した場合、ディーゼル発電機が機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。仮に⑤の外部電源喪失の同時発生を想定した場合、「全交流動力電源喪失」に至る。 原子炉建屋給気ガラの外気取入口の閉塞 降下火砕物により原子炉建屋給気ガラの外気取入口が閉塞した場合に、制御用空気圧縮機室換気装置、電動補助給水ポンプ室換気装置及びディーゼル発電機室換気装置が機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。 補助建屋給気ガラの外気取入口の閉塞 補助建屋給気ガラの外気取入口は、地面より約13mに設置されており、堆積物による閉塞は考え難いため、シナリオの選定は不要である。また、外気取入口への降下火砕物の吸込みにより外気取入口が閉塞した場合でも、フィルタの取替え及び清掃が可能であることからシナリオの選定は不要である。 主蒸気管室給気ガラの外気取入口の閉塞 降下火砕物により主蒸気管室給気ガラの外気取入口が閉塞した場合に、タービン動補助給水ポンプ室換気装置及び主蒸気管室換気装置が機能喪失することで、「手動停止」に至るシナリオ。 	<p>【女川】記載表現の相違</p>

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【大飯発電所3/4号炉 第37条 付録1 別紙1より引用】 また、海水ポンプ、取水設備、海水管等の海水が直接接 触する部分についても、エポキシ系等の耐食性塗料（ライ ニングを含む。）が施工されており、火山灰が混入した海 水を取水しても、腐食の進展には十分な時間があると判 断し、考慮すべきシナリオとしては抽出不要とする。</p>	<p>④降下火砕物に付着している腐食成分による化学的影響 降下火砕物が屋外設備に付着することによる腐食につい ては、屋外設備表面には耐食性の塗装（エポキシ樹脂系等）が施 されており腐食の抑制効果が考えられること、腐食の進展速度 の遅さを考慮し、適切な保全管理が可能と判断したため、この 損傷・機能喪失モードについては考慮しない。</p> <p>⑤降下火砕物の付着による送電線の相間短絡 降下火砕物が送電線や碍子へ付着し、水分を吸収すること によって、相間短絡を起こし「外部電源喪失」に至るシナリオ</p> <p>⑥降下火砕物によるアクセス性や作業性の悪化 降下火砕物により屋外現場へのアクセス性や屋外での作業性 に影響を及ぼす可能性があるものの、設計基準事故対処設備の みで対応可能なシナリオであれば基本的に屋外での現場対応は なく、仮にアクセス性や屋外の作業性へ影響が及んだ場合であ っても構内の道路又はアクセスルートについては、除灰を行う ことから問題はない。 そのため上記①～⑥の影響評価の結果として、可搬型代替交 流電源設備の接続といった屋外での作業が必要になるケースが 確認された場合に、別途、詳細検討するものとする。</p>	<p>④降下火砕物に付着している腐食成分による化学的影響 ・屋外設備全般 降下火砕物が屋外設備に付着することによる腐食につい ては、屋外設備表面には耐食性の塗装（アクリルシリコン樹脂系 又はシリコン樹脂系）が施されており腐食の抑制効果が考えら れること、腐食の進展速度の遅さを考慮し、適切な保全管理が 可能と判断したため、この損傷・機能喪失モードについては考 慮しない。 ・海水系機器 降下火砕物が混入した海水を取水することによる腐食につ いては、海水が直接接する部分には耐食性のある材料の使用や 塗装（エポキシ樹脂系）（ライニングを含む。）が施されてお り腐食の抑制効果が考えられること、腐食の進展速度の遅さを 考慮し、適切な保全管理が可能と判断したため、この損傷・機 能喪失モードについては考慮しない。</p> <p>⑤降下火砕物の付着による送電線の相間短絡 降下火砕物が送電線や碍子へ付着し、水分を吸収すること によって、相間短絡を起こし、「外部電源喪失」に至るシナリ オ。</p> <p>⑥降下火砕物によるアクセス性や作業性の悪化 降下火砕物により屋外現場へのアクセス性や屋外での作業性 に影響を及ぼす可能性があるものの、設計基準事故対処設備の みで対応可能なシナリオであれば基本的に屋外での現場対応は なく、仮にアクセス性や屋外の作業性へ影響が及んだ場合であ っても構内の道路又はアクセスルートについては、除灰を行う ことから問題はない。 そのため上記①～⑥の影響評価の結果として、可搬型代替交 流電源設備の接続といった屋外での作業が必要になるケースが 確認された場合に、別途、詳細検討するものとする。</p>	<p>相違理由</p> <p>【女川】記載表現の相違 ・泊は、(2)③項の記載に合わせて「屋外設 備全般」と「海水系機器」に分けて記載 している。 【女川】設備設計の相違</p> <p>【女川】評価方針の相違(大飯審査実績反映) ・泊は、大飯（第37条）審査実績を反映 し、降下火砕物が混入した海水による影 響を検討し、腐食対策の実施や適切な保 全管理によって、その影響は考慮不要と 判断している。 ・女川も、第6条（火山）にて、水循環系 に対する化学的影響（腐食）に対して塗 装やライニング、耐食性材料の使用等の 腐食対策の実施により設備の健全性に影 響を与えるものではないと評価してお り、実質的に相違はない。 (以降、本補足資料においては相違理由の 記載を省略する。) 【大飯（第37条）】記載表現の相違 ・泊は、「・屋外設備全般」の記載と表現 の整合を図っている。</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、島根原子力発電所2号炉技術的能力2.1まとめ資料 添付資料2.1.6より引用】</p> <p>○原子炉補機海水ポンプ、高圧炉心スプレイ補機海水ポンプ、タービン補機海水ポンプ及び循環水ポンプ</p> <p>海水中の降下火砕物による海水系への影響については、降下火砕物の性質である硬度を考慮すると、海水中の降下火砕物によって熱交換器の伝熱管、海水ポンプ軸受の閉塞による異常摩耗は進展しにくく、また、降灰事象の進展速度を踏まえると、海水ストレーナの差圧が上昇した場合は切替えて清掃することによって機能喪失することは考えにくいと、考慮すべき起回事象として選定不要であると判断した。</p>	<p>(4) 起回事象の特定</p> <p>(3)で選定した各シナリオについて、想定を超える降下火砕物に対するの裕度評価（起回事象発生可能性評価）を実施し、事故シーケンスグループ抽出に当たって考慮すべき起回事象の特定を行った。</p> <p>①建屋天井や屋外設備に対する降下火砕物の堆積荷重</p> <p>降下火砕物の堆積が各建屋天井や屋外設備の許容荷重を上回った場合には、(3)①にて選定した各シナリオが発生する可能性はあるが、各建屋天井の崩落や屋外設備が損傷するような火山事象は、火山事象の進展速度を踏まえると除灰管理が可能であることから、発生可能性は非常に稀であり、有意な頻度又は影響のある事故シーケンスの要因にはなり得ないと考えられるため、考慮すべき起回事象としては特定不要であると判断した。</p> <p>②降下火砕物による海水ストレーナ等の閉塞</p> <p>海水ポンプ軸受の異常摩耗については、降下火砕物の硬度を考慮すると、海水中の降下火砕物によって熱交換器の伝熱管や海水ポンプ軸受の異常摩耗は進展しにくいため、考慮すべき起回事象としては特定不要であると判断した。</p> <p>③降下火砕物による給気口等の閉塞</p> <p>降下火砕物の吸込み又は給気口への堆積により原子炉補機室換気空調系等の給気口、吸気口が閉塞した場合には、(3)③にて選定したシナリオが発生する可能性があるが、原子炉補機室換気空調系等の給気口、吸気口が閉塞するような火山事象は、火山事象の進展速度を踏まえると除灰管理又はフィルタの取替えが可能であることから、発生可能性は非常に稀であり、有意な頻度又は影響のある事故シーケンスの要因にはなり得ないと考えられるため、考慮すべき起回事象としては特定不要であると判断した。</p> <p>また、電動機空気冷却器給気口が閉塞した場合には、(3)③にて選定したシナリオが発生する可能性があるが、電動機空気冷却器給気口が閉塞するような火山事象は、火山事象の進展速度を踏まえると除灰管理が可能であることから、発生可能性は非常に稀であり、有意な頻度又は影響のある事故シーケンスの要因にはなり得ないと考えられるため、考慮すべき起回事象としては選定不要であると判断した。</p>	<p>(4) 起回事象の特定</p> <p>(3)で選定した各シナリオについて、想定を超える降下火砕物に対するの裕度評価（起回事象発生可能性評価）を実施し、事故シーケンスグループ抽出に当たって考慮すべき起回事象の特定を行った。</p> <p>①建屋屋上や屋外設備に対する降下火砕物の堆積荷重</p> <p>降下火砕物の堆積が各建屋屋上や屋外設備の許容荷重を上回った場合には、(3)①にて選定した各シナリオが発生する可能性はあるが、各建屋屋上の崩落や屋外設備が損傷するような火山事象は、火山事象の進展速度を踏まえると除灰管理が可能であることから、発生可能性は非常に稀であり、有意な頻度又は影響のある事故シーケンスの要因にはなり得ないと考えられるため、考慮すべき起回事象としては特定不要であると判断した。</p> <p>②降下火砕物による海水ストレーナ等の閉塞</p> <p>海水中の降下火砕物による海水系への影響については、降下火砕物の性質である硬度を考慮すると、海水中の降下火砕物によって熱交換器の伝熱管及び伝熱板や海水ポンプ軸受の異常摩耗は進展しにくく、また、火山事象の進展速度を踏まえると、海水ストレーナの差圧が上昇した場合は切替えて清掃することによって機能喪失することは考えにくいと、考慮すべき起回事象として特定不要であると判断した。</p> <p>③降下火砕物による給気口等の閉塞</p> <p>降下火砕物の吸込み又は給気口若しくは吸気口への堆積によりディーゼル発電機の給気口、吸気口が閉塞した場合には、(3)③で選定したシナリオが発生する可能性があるが、ディーゼル発電機の給気口、吸気口が閉塞するような火山事象は、火山事象の進展速度を踏まえると除灰管理又はフィルタの取替えが可能であることから、発生可能性は非常に稀であり、有意な頻度又は影響のある事故シーケンスの要因にはなり得ないと考えられるため、考慮すべき起回事象としては特定不要であると判断した。</p> <p>また、原子炉建屋給気ガラリ及び主蒸気管室給気ガラリの外気取入口が閉塞した場合には、(3)③で選定したシナリオが発生する可能性があるが、原子炉建屋給気ガラリ及び主蒸気管室給気ガラリの外気取入口が閉塞するような火山事象は、火山事象の進展速度を踏まえると除灰管理又はフィルタの取替えが可能であることから、発生可能性は非常に稀であり、有意な頻度又は影響のある事故シーケンスの要因にはなり得ないと考えられるため、考慮すべき起回事象としては特定不要であると判断した。</p>	<p>【女川】個別評価による相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設構造が異なることにより特定された起回事象も異なる。 <p>(以降、本補足資料においては相違理由の記載を省略する。)</p> <p>【女川】記載表現の相違(島根2号と同様。)</p> <p>【女川】評価の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、降下火砕物による海水ストレーナの閉塞に伴うシナリオを想定したが、事象進展速度を踏まえると、ストレーナの切替、清掃により適切に管理できることから、考慮すべき起回事象として特定は不要と判断した。(島根2号と同様。なお、女川では、降下火砕物によって海水ストレーナは閉塞し難いため、シナリオ選定を不要としている。)

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>④降下火砕物に付着している腐食成分による化学的影響 降下火砕物が屋外設備に付着することによる腐食については、(3)④のとおり、この損傷・機能喪失モードは考慮しないため、起因事象として特定しない。</p> <p>⑤降下火砕物の付着による送電線の相間短絡 降下火砕物の影響を受ける可能性がある送電線は、発電所内外の広範囲に渡り、全域における管理が困難なことを踏まえると設備等の不具合による外部電源喪失に至るシナリオは考えられるため、起因事象として特定する。</p> <p>2. 事故シーケンスの特定 1. にて設計基準を超える火山事象に対し発生可能性のある起因事象として外部電源喪失を特定したが、運転時の内部事象や地震、津波レベル1PRAにて考慮していることから、追加すべき新しい事故シーケンスではない。 よって、火山の影響を起因とする有意な頻度又は影響のある事故シーケンスは新たに生じないと判断した。</p>	<p>④降下火砕物に付着している腐食成分による化学的影響 降下火砕物の付着及び降下火砕物が混入した海水の取水による腐食については、(3)④のとおり、この損傷・機能喪失モードは考慮しないため、起因事象として特定しない。</p> <p>⑤降下火砕物の付着による送電線の相間短絡 降下火砕物の影響を受ける可能性がある送電線は、発電所内外の広範囲にわたり、全域における管理が困難なことを踏まえると設備等の不具合による外部電源喪失に至るシナリオは考えられるため、起因事象として特定する。</p> <p>2. 事故シーケンスの特定 1. にて設計基準を超える火山事象に対し発生可能性のある起因事象として外部電源喪失を特定したが、運転時の内部事象や地震、津波レベル1PRAにて考慮していることから、追加すべき新しい事故シーケンスではない。 よって、火山の影響を起因とする有意な頻度又は影響のある事故シーケンスは新たに生じないと判断した。</p>	<p></p>

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">比較対象なし</p>	<p style="text-align: right;">添付資料 2.1.7</p> <p style="text-align: center;">森林火災事象に対する事故シーケンス抽出</p> <p>1. 起回事象の特定</p> <p>(1) 構築物、系統及び機器（以下「設備等」という。）の損傷・機能喪失の抽出</p> <p>森林火災により設備等に発生する可能性のある影響について、国外の評価事例、国内で発生したトラブル事例も参照し、以下のとおり、損傷・機能喪失モードを抽出した。</p> <p>①輻射熱による建屋や設備等の損傷</p> <p>②ばい煙による設備等の閉塞</p> <p>(2) 評価対象設備の選定</p> <p>(1)で抽出した損傷・機能喪失モードに対し、影響を受ける可能性のある設備等のうち、プラントの運転継続や安全性に影響を及ぼす可能性のある設備等を評価対象設備として選定する。</p> <p>具体的には、以下に示す建屋、屋外設置の設備等を評価対象設備として選定した。</p> <p>①輻射熱による建屋や設備等への損傷</p> <p><建屋></p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉建屋（原子炉棟，附属棟） ・制御建屋 ・タービン建屋 <p><屋外設備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部電源系（275kV 開閉所，66kV 開閉所，変圧器，送電線） <p>・復水貯蔵タンク</p> <p>・非常用ディーゼル発電機等の付属設備（排気消音器等）</p> <p>・排気筒</p> <p>・非常用ガス処理系（屋外露出部）</p> <p>・原子炉補機冷却海水系</p> <p>・高圧炉心スプレィ補機冷却海水系</p> <p>・タービン補機冷却海水系</p> <p>・循環水系</p>	<p style="text-align: right;">補足(6)</p> <p style="text-align: center;">森林火災事象に対する事故シーケンス抽出</p> <p>1. 起回事象の特定</p> <p>(1) 構築物、系統及び機器（以下「設備等」という。）の損傷・機能喪失モードの抽出</p> <p>森林火災により設備等に発生する可能性のある影響について、国外の評価事例、国内で発生したトラブル事例も参照し、以下のとおり、損傷・機能喪失モードを抽出した。</p> <p>①輻射熱による建屋や設備等の損傷</p> <p>②ばい煙による設備等の閉塞</p> <p>(2) 評価対象設備の選定</p> <p>(1)で抽出した損傷・機能喪失モードに対し、影響を受ける可能性のある設備等のうち、プラントの運転継続や安全性に影響を及ぼす可能性のある設備等を評価対象設備として選定する。</p> <p>具体的には、以下に示す建屋、屋外設置の設備等を評価対象設備として選定した。</p> <p>①輻射熱による建屋や設備等の損傷</p> <p><建屋></p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉建屋 ・原子炉補助建屋 ・タービン建屋 ・ディーゼル発電機建屋 ・循環水ポンプ建屋 ・電気建屋 <p><屋外設備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部電源系（275kV 開閉所，66kV 開閉所（後備用），変圧器，送電線） <p>・ディーゼル発電機の付属機器（排気消音器等）</p> <p>・排気筒</p> <p>・主蒸気逃がし弁消音器</p> <p>・主蒸気安全弁排気管</p> <p>・タービン動補助給水ポンプ排気管</p>	<p>【大阪】検討プロセスの相違に伴う資料構成の相違(女川審査実績反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然災害の抽出プロセスの相違により、大阪には泊の添付資料 2.1.1 の補足資料に相当する資料はない。 <p>(このため、本補足資料の泊欄の記載は、女川との相違について識別する。)</p> <p>【女川】資料の位置付けの相違</p> <p>【女川】設計の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラントの設計、設備・建屋の配置等の相違により、自然現象の影響を考慮する建屋、機器が異なる。 <p>(以降、本補足資料においては相違理由の記載を省略する。)</p> <p>【女川】設備名称の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・制御建屋⇔原子炉補助建屋 ・66kV 開閉所⇔66kV 開閉所（後備用） ・非常用ディーゼル発電機⇔ディーゼル発電機 <p>(以降、本補足資料においては相違理由の記載を省略する。)</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>②ばい煙による設備等の閉塞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非常用ディーゼル発電機等の付属設備（吸気口等） ・中央制御室換気空調系 ・原子炉補機冷却海水系（電動機） ・高圧炉心スプレイ補機冷却海水系（電動機） ・タービン補機冷却海水系（電動機） ・循環水系（電動機） <p>(3) 起因事象になり得るシナリオの選定</p> <p>(1)で抽出した各損傷・機能喪失モードに対して、(2)で選定した評価対象設備への影響を検討の上、発生可能性のあるシナリオを選定した。</p> <p>①輻射熱による建屋や設備等への損傷</p> <p><建屋></p> <p>森林火災の輻射熱による建屋への影響については、想定し得る最大の火災影響評価において、防火帯外縁（火災側）から十分な離隔距離があることを考慮すると、建屋の許容温度を下回り、建屋が損傷することはない。また、森林火災の輻射熱による建屋影響について、24時間駐在している初期消火要員（消防車隊）による早期の消火活動も可能であり、森林火災に対する影響緩和策を講じることができることから、シナリオの選定は不要である。</p> <p><屋外設備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部電源系（275kV 開閉所，66kV 開閉所，変圧器，送電線） <p>森林火災の輻射熱により外部電源系が損傷した場合、「外部電源喪失」に至るシナリオ</p> <p>なお、外部電源系への影響については、想定し得る最大の火災影響評価において、防火帯外縁（火災側）から十分な離隔距離があることを考慮すると、敷地内の外部電源系が損傷することはない。また、森林火災の輻射熱による影響について、24時間駐在している初期消火要員（消防車隊）による早期の消火活動も可能であり、森林火災に対する影響緩和策を講じることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・復水貯蔵タンク <p>森林火災の輻射熱による復水貯蔵タンクへの影響については、想定し得る最大の火災影響評価において、防火帯外縁（火災側）から十分な離隔距離があることを考慮すると、復水貯蔵タンク水の最高使用温度を下回り、タンクが損傷することはない。また、森林火災の輻射熱による影響について、24時間駐在している初期消火要員（消防車隊）による早期の消火活動も可能であり、森林火災に対する影響緩和策を講じることができることから、シナリオの選定は不要である。</p>	<p>②ばい煙による設備等の閉塞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ディーゼル発電機の付属機器（給気口，吸気口） ・原子炉建屋給気ガラリ（外気取入口） ・補助建屋給気ガラリ（外気取入口） ・電気建屋給気ガラリ（外気取入口） <p>(3) 起因事象になり得るシナリオの選定</p> <p>(1)で抽出した各損傷・機能喪失モードに対して、(2)で選定した評価対象設備への影響を検討の上、発生可能性のあるシナリオを選定した。</p> <p>①輻射熱による建屋や設備等への損傷</p> <p><建屋></p> <p>森林火災の輻射熱による建屋への影響については、想定し得る最大の火災影響評価において、防火帯外縁（火災側）から十分な離隔距離があることを考慮すると、建屋の許容温度を下回り、建屋が損傷することはない。また、森林火災の輻射熱による建屋影響について、24時間駐在している初期消火要員による早期の消火活動も可能であり、森林火災に対する影響緩和策を講じることができることから、シナリオの選定は不要である。</p> <p><屋外設備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部電源系（275kV 開閉所，66kV 開閉所（後備用），変圧器，送電線） <p>森林火災の輻射熱により外部電源系が損傷した場合、「外部電源喪失」に至るシナリオ。</p> <p>なお、外部電源系への影響については、想定し得る最大の火災影響評価において、防火帯外縁（火災側）から十分な離隔距離があることを考慮すると、防火帯内の外部電源系が損傷することはない。また、森林火災の輻射熱による影響について、24時間駐在している初期消火要員による早期の消火活動も可能であり、森林火災に対する影響緩和策を講じることができる。</p>	<p>【女川】記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、他の自然現象と記載表現を統一している。（以降、本補足資料においては相違理由の記載を省略する。） <p>【女川】個別評価による相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設構造が異なることにより機能喪失によるシナリオも異なる。（以降、本補足資料においては相違理由の記載を省略する。） <p>【女川】記載表現の相違</p> <p>【女川】要員名称の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初期消火要員（消防車隊）⇔初期消火要員 <p>（以降、本補足資料においては相違理由の記載を省略する。）</p> <p>【女川】記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表現の適切化

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>・非常用ディーゼル発電機等の付属設備（排気消音器等） 森林火災の輻射熱による非常用ディーゼル発電機等の付属設備への影響については、想定し得る最大の火災影響評価において、防火帯外縁（火炎側）から十分な離隔距離があることを考慮すると、非常用ディーゼル発電機等の付属設備が受ける輻射強度は低いため、非常用ディーゼル発電機等の付属設備が損傷することはない。また、森林火災の輻射熱による影響について、24時間駐在している初期消火要員（消防車隊）による早期の消火活動も可能であり、森林火災に対する影響緩和策を講じることができることから、シナリオの選定は不要である。</p> <p>・排気筒 森林火災の輻射熱による排気筒への影響については、想定し得る最大の火災影響評価において、防火帯外縁（火炎側）から十分な離隔距離があることを考慮すると、排気筒が受ける輻射強度は低いため、排気筒が損傷することはない。また、森林火災の輻射熱による影響について、24時間駐在している初期消火要員（消防車隊）による早期の消火活動も可能であり、森林火災に対する影響緩和策を講じることができることから、シナリオの選定は不要である。</p> <p>・非常用ガス処理系（屋外露出部） 森林火災の輻射熱による非常用ガス処理系配管への影響については、想定し得る最大の火災影響評価において、防火帯外縁（火炎側）から十分な離隔距離があることを考慮すると、非常用ガス処理系配管が受ける輻射強度は低いため、非常用ガス処理系配管が損傷することはない。また、森林火災の輻射熱による影響について、24時間駐在している初期消火要員（消防車隊）による早期の消火活動も可能であり、森林火災に対する影響緩和策を講じることができることから、シナリオの選定は不要である。</p> <p>・原子炉補機冷却海水系/高圧炉心スプレイ補機冷却海水系/タービン補機冷却海水系/循環水系（以下「海水系」という。） 森林火災の輻射熱による海水系への影響については、想定し得る最大の火災影響評価において、防火帯外縁（火炎側）から十分な離隔距離があることを考慮すると、海水系が受ける輻射強度は低いため、海水系が損傷することはない。また、森林火災の輻射熱による影響について、24時間駐在している初期消火要員（消防車隊）による早期の消火活動も可能であり、森林火災に対する影響緩和策を講じることができることから、シナリオの選定は不要である。</p>	<p>・ディーゼル発電機の付属機器（排気消音器等） 森林火災の輻射熱によるディーゼル発電機の付属設備への影響については、想定し得る最大の火災影響評価において、防火帯外縁（火炎側）から十分な離隔距離があることを考慮すると、ディーゼル発電機の付属設備が受ける輻射強度は低いため、ディーゼル発電機の付属設備が損傷することはない。また、森林火災の輻射熱による影響について、24時間駐在している初期消火要員による早期の消火活動も可能であり、森林火災に対する影響緩和策を講じることができることから、シナリオの選定は不要である。</p> <p>・排気筒 森林火災の輻射熱による排気筒への影響については、想定し得る最大の火災影響評価において、防火帯外縁（火炎側）から十分な離隔距離があることを考慮すると、排気筒が受ける輻射強度は低いため、排気筒が損傷することはない。また、森林火災の輻射熱による影響について、24時間駐在している初期消火要員による早期の消火活動も可能であり、森林火災に対する影響緩和策を講じることができることから、シナリオの選定は不要である。</p> <p>・主蒸気逃がし弁消音器 森林火災の輻射熱による主蒸気逃がし弁消音器への影響については、想定し得る最大の火災影響評価において、防火帯外縁（火炎側）から十分な離隔距離があることを考慮すると、主蒸気逃がし弁消音器が受ける輻射強度は低いため、主蒸気逃がし弁消音器が損傷することはない。また、森林火災の輻射熱による影響について、24時間駐在している初期消火要員による早期の消火活動も可能であり、森林火災に対する影響緩和策を講じることができることから、シナリオの選定は不要である。</p> <p>・主蒸気安全弁排気管 森林火災の輻射熱による主蒸気安全弁排気管への影響については、想定し得る最大の火災影響評価において、防火帯外縁（火炎側）から十分な離隔距離があることを考慮すると、主蒸気安全弁排気管が受ける輻射強度は低いため、主蒸気安全弁排気管が損傷することはない。また、森林火災の輻射熱による影響について、24時間駐在している初期消火要員による早期の消火活動も可能であり、森林火災に対する影響緩和策を講じることができることから、シナリオの選定は不要である。</p>	

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>②ばい煙による設備等の閉塞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非常用ディーゼル発電機等の付属設備（吸気口等）の閉塞 森林火災で発生するばい煙の非常用ディーゼル発電機等の吸気口への吸込みにより吸気口が閉塞した場合でも、フィルタの取替え及び清掃が可能であることからシナリオの選定は不要である。 ・中央制御室換気空調系の閉塞 森林火災で発生するばい煙の中央制御室換気空調系給気口への吸込みにより給気口が閉塞した場合でも、フィルタの取替え及び清掃が可能であることからシナリオの選定は不要である。 ・海水系（循環水系を除く。）ポンプモータ空気冷却器給気口の閉塞 海水系ポンプモータは外気を取込まない構造であり、また、空冷モータの冷却流路の口径は、ばい煙の粒径より広いことから閉塞し難いため、シナリオの選定は不要である。 ・循環水系 ばい煙により循環水ポンプの空気冷却器が閉塞した場合、復水器真空度喪失による「隔離事象」に至るシナリオ <p>(4) 起回事象の特定</p> <p>(3)で選定した各シナリオについて、森林火災に対しての裕度評価（起回事象発生可能性評価）を実施し、事故シーケンスグループ抽出に当たって考慮すべき起回事象の特定を行った。</p> <p>①輻射熱による建屋や設備等への損傷 <建屋> 森林火災の輻射熱による各建屋の損傷については、(3)①のとおり、考慮すべき起回事象としては特定不要であると判断した。</p>	<p>・タービン動補助給水ポンプ排気管 森林火災の輻射熱によるタービン動補助給水ポンプ排気管への影響については、想定し得る最大の火災影響評価において、防火帯外縁（火炎側）から十分な離隔距離があることを考慮すると、タービン動補助給水ポンプ排気管が受ける輻射強度は低いため、タービン動補助給水ポンプ排気管が損傷することはない。また、森林火災の輻射熱による影響について、24時間駐在している初期消火要員による早期の消火活動も可能であり、森林火災に対する影響緩和策を講じることができることから、シナリオの選定は不要である。</p> <p>②ばい煙による設備等の閉塞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ディーゼル発電機の付属機器（給気口、吸気口）の閉塞 森林火災で発生するばい煙のディーゼル発電機の吸気口への吸込みにより吸気口が閉塞した場合でも、フィルタの取替え及び清掃が可能であることからシナリオの選定は不要である。 ・原子炉建屋給気ガラの外気取入口の閉塞 森林火災で発生するばい煙の原子炉建屋給気ガラの外気取入口への吸込みにより給気口が閉塞した場合でも、フィルタの取替え及び清掃が可能であることからシナリオの選定は不要である。 ・主蒸気管室給気ガラの外気取入口の閉塞 森林火災で発生するばい煙の補助建屋給気ガラの外気取入口への吸込みにより給気口が閉塞した場合でも、フィルタの取替え及び清掃が可能であることからシナリオの選定は不要である。 <p>(4) 起回事象の特定</p> <p>(3)で選定した各シナリオについて、森林火災に対しての裕度評価（起回事象発生可能性評価）を実施し、事故シーケンスグループ抽出に当たって考慮すべき起回事象の特定を行った。</p> <p>①輻射熱による建屋や設備等への影響 <建屋> 森林火災の輻射熱による各建屋の損傷については、(3)①のとおり、考慮すべき起回事象としては特定不要であると判断した。</p>	

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p><屋外設備> 森林火災の輻射熱により送電線が損傷する可能性が否定できず、送電線の損傷に伴う外部電源喪失に至るシナリオは考えられるため、起回事象として特定する。 その他の屋外設備についての損傷のシナリオについては、(3)①のとおり、考慮すべき起回事象としては特定不要であると判断した。</p> <p>②ばい煙による設備等の閉塞 森林火災のばい煙等により循環水ポンプの空気冷却器が閉塞する可能性が否定できず、復水器真空度喪失による隔離事象に至るシナリオは考えられるため、起回事象として特定する。</p> <p>2. 事故シーケンスの特定 1. にて森林火災に対し発生可能性のある起回事象として外部電源喪失及び隔離事象を特定したが、運転時の内部事象や地震、津波レベル1 PRAにて考慮していることから、追加すべき新しい事故シーケンスではない。 よって、森林火災を起因とする有意な頻度又は影響のある事故シーケンスは新たに生じないと判断した。</p>	<p><屋外設備> 森林火災の輻射熱により送電線が損傷する可能性が否定できず、送電線の損傷に伴う外部電源喪失に至るシナリオは考えられるため、起回事象として特定する。 その他の屋外設備についての損傷のシナリオについては、(3)①のとおり、考慮すべき起回事象としては特定不要であると判断した。</p> <p>②ばい煙による設備等の閉塞 森林火災のばい煙等により設備等が閉塞した場合には、(3)②のとおり、考慮すべき起回事象としては特定不要であると判断した。</p> <p>2. 事故シーケンスの特定 1. にて森林火災に対し発生可能性のある起回事象として外部電源喪失を特定したが、運転時の内部事象や地震、津波レベル1 PRAにて考慮していることから、追加すべき新しい事故シーケンスではない。 よって、森林火災を起因とする有意な頻度又は影響のある事故シーケンスは新たに生じないと判断した。</p>	<p><屋外設備> 森林火災の輻射熱により送電線が損傷する可能性が否定できず、送電線の損傷に伴う外部電源喪失に至るシナリオは考えられるため、起回事象として特定する。 その他の屋外設備についての損傷のシナリオについては、(3)①のとおり、考慮すべき起回事象としては特定不要であると判断した。</p> <p>②ばい煙による設備等の閉塞 森林火災のばい煙等により設備等が閉塞した場合には、(3)②のとおり、考慮すべき起回事象としては特定不要であると判断した。</p> <p>2. 事故シーケンスの特定 1. にて森林火災に対し発生可能性のある起回事象として外部電源喪失を特定したが、運転時の内部事象や地震、津波レベル1 PRAにて考慮していることから、追加すべき新しい事故シーケンスではない。 よって、森林火災を起因とする有意な頻度又は影響のある事故シーケンスは新たに生じないと判断した。</p>	<p>相違理由</p> <p>【女川】評価結果の相違 ・泊は、(3)②項において起回事象となり得るシナリオが選定されなかったため、記載が異なる。</p> <p>【女川】個別評価による相違 ・1. 項における検討で特定された起回事象に相違はあるが、本自然現象により追加すべき新たな事故シーケンスは生じないことに相違はない。</p>

灰色：泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">比較対象なし</p> <p>【比較のため、島根原子力発電所2号炉技術的能力2.1まとめ資料 添付資料2.1.9より引用】</p> <p>2. 自然現象の重畳によるシナリオの選定</p>	<p style="text-align: right;">添付資料2.1.8</p> <p style="text-align: center;">自然現象の重畳に対する事故シーケンス抽出</p> <p>1. 設計基準を超える自然現象の重畳の考慮について (1) 自然現象の重畳影響 自然現象の重畳評価については、損傷・機能喪失モードの相違に応じて、以下に示す影響を考慮する。 I. 各自然現象から同じ影響がそれぞれ作用し、重ね合わさって増長するケース（例：積雪と降下火砕物による堆積荷重の増加。） II. ある自然現象の防護施設が他の自然現象によって機能喪失することにより影響が増長するケース（例：地震により浸水防止機能が喪失して浸水量が増加。） III-1. 他の自然現象の作用により前提条件が変化し、影響が増長するケース（例：降水による降下火砕物密度の増加。） III-2. 他の自然現象の作用により影響が及ぶようになるケース（例：斜面に降下火砕物が堆積した後に大量の降水により滑り、プラント周辺まで降下火砕物を含んだ水が押し寄せる状態。単独事象としては想定していない。）</p> <p>(2) 重畳を考慮する自然現象 添付資料2.1.1において収集した自然現象55事象のうち、類似・随伴事象の観点から整理した32事象について、添付資料2.1.1の第3表に示す評価結果により、以下の観点から除外した事象については、重畳影響について考慮不要と判断し、地震、津波、竜巻、凍結、積雪、落雷、火山の影響、森林火災の8事象に加え、単独事象においては除塵装置等に期待することで影響がないと判断した生物学的事象を加えた9事象を重畳影響として評価する。 ○女川原子力発電所及びその周辺では発生しない（若しくは、発生が極めて稀。）と判断した事象 No.2：隕石、 No.4：河川の迂回、 No.5：砂嵐（塩を含んだ嵐）、 No.9：雪崩、 No.12：干ばつ、 No.13：洪水、 No.22：湖又は河川の水位低下、 No.23：湖又は河川の水位上昇、 No.26：地滑り、 No.27：カルスト</p>	<p style="text-align: right;">補足(7)</p> <p style="text-align: center;">自然現象の重畳に対する事故シーケンス抽出</p> <p>1. 設計基準を超える自然現象の重畳の考慮について (1) 自然現象の重畳影響 自然現象の重畳評価については、損傷・機能喪失モードの相違に応じて、以下に示す影響を考慮する。 I. 各自然現象から同じ影響がそれぞれ作用し、重ね合わさって増長するケース（例：積雪と降下火砕物による堆積荷重の増加） II. ある自然現象の防護施設が他の自然現象によって機能喪失することにより影響が増長するケース（例：地震により浸水防止機能が喪失して浸水量が増加） III-1. 他の自然現象の作用により前提条件が変化し、影響が増長するケース（例：降水による降下火砕物密度の増加） III-2. 他の自然現象の作用により影響が及ぶようになるケース（例：斜面に降下火砕物が堆積した後に大量の降水により滑り、プラント周辺まで降下火砕物を含んだ水が押し寄せる状態。単独事象としては想定していない。）</p> <p>(2) 自然現象の重畳によるシナリオの選定 添付資料2.1.1において収集した自然現象55事象のうち、類似・随伴事象の観点から整理した32事象について、添付資料2.1.1の第3表に示す評価結果により、以下の観点から除外した事象については、重畳評価について考慮不要と判断し、地震、津波、竜巻、凍結、積雪、落雷、火山の影響、森林火災の8事象に加え、単独事象においては除塵設備等に期待することで影響がないと判断した生物学的事象を加えた9事象を重畳影響として評価する。 ○泊発電所及びその周辺では発生しない（又は、発生が極めて稀。）と判断した事象 No.2：隕石、 No.4：河川の迂回、 No.5：砂嵐（塩を含んだ嵐）、 No.9：雪崩、 No.12：干ばつ、 No.13：洪水、 No.20：氷晶、 No.22：湖又は河川の水位低下、 No.23：湖又は河川の水位上昇、 No.27：カルスト</p>	<p>【大阪】検討プロセスの相違に伴う資料構成の相違(女川審査実績反映) ・自然災害の抽出プロセスの相違により、大阪には泊の添付資料2.1.1の補足資料に相当する資料はない。 (このため、本補足資料の目録の記載は、女川との相違について識別する。)</p> <p>【女川】資料の位置付けの相違</p> <p>【女川】記載表現の相違 ・泊は、(2)項にて自然現象の重畳による影響の確認結果に基づくシナリオの選定まで記載することを踏まえた項目名称としている。(第37条付録1別紙1と同様の整理。また、島根2号と同様。)</p> <p>【女川】設備名称の相違</p> <p>【女川】個別評価の相違 (No.20「氷晶」、No.26「地滑り」) ・添付資料2.1.1における評価結果より、重畳の考慮を不要とする観点は異なるが、いずれの事象も重畳評価の考慮を不要と判断していることに相違はない。(以降、本補足資料においては相違理由の記載を省略する。)</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>○単独事象での評価において設備等への影響がない（若しくは、非常に小さい。）と判断した事象で、他の事象との重畳を考慮しても明らかに設備等への影響がないと判断した事象</p> <p>No. 11：海岸侵食， No. 16：濃霧， No. 18：霜・白霜， No. 19：極高温， No. 24：もや， No. 25：塩害・塩雲，</p> <p>No. 29：高温水（海水温高）， No. 30：低温水（海水温低）</p> <p>○影響が他の事象に包絡されると分類した事象（包絡する側の事象を評価することで、重畳影響も包絡される。）</p> <p>No. 3：降水， No. 7：高潮， No. 14：風（台風）， No. 20：氷晶， No. 28：太陽フレア，磁気嵐</p> <p>確認結果を第1表及び第2表に示す。 確認した結果としては、重畳影響Ⅰ～Ⅲ-1については、以下に示す理由から、単独事象での評価において抽出されたシナリオ以外のシナリオが生じることはなく、重畳影響Ⅲ-2については、該当するケースはなかった。</p> <p>Ⅰ. 各自然現象から同じ影響がそれぞれ作用し、重ね合わさって増長するケース 重畳により影響度合いが大きくなるのみであり、単独で設計基準を超える事象に対してシナリオの抽出を行っていることを踏まえると、新たなシナリオは生じない。</p> <p>Ⅱ. ある自然現象の防護施設が他の自然現象によって機能喪失することにより、影響が増長するケース 単独の自然現象に対するシナリオの選定において、設計基準を超える事象を評価対象としているということは、つまり設備耐力や防護対策に期待していないということであり、単独事象の評価において抽出された以外の新たなシナリオは生じない。</p> <p>Ⅲ-1. 他の自然現象の作用により前提条件が変化し、影響が増長するケース 一方の自然現象の前提条件が、他方の自然現象により変化し、元の自然現象の影響度が大きくなったとしても、Ⅰ.と同様、単独で設計基準を超える事象に対してシナリオ抽出を行っているため、新たなシナリオは生じない。</p>	<p>○単独事象での評価において設備等への影響がない（又は、非常に小さい）と判断した事象で、他の事象との重畳を考慮しても明らかに設備等への影響がないと判断した事象</p> <p>No. 11：海岸侵食， No. 16：濃霧， No. 18：霜・白霜， No. 19：極高温， No. 24：もや， No. 25：塩害・塩雲， No. 26：地滑り， No. 29：高温水（海水温高）， No. 30：低温水（海水温低）</p> <p>○影響が他の事象に包絡されると分類した事象（包絡する側の事象を評価することで、重畳影響も包絡される。）</p> <p>No. 3：降水， No. 7：高潮， No. 14：風（台風）， No. 28：太陽フレア，磁気嵐</p> <p>確認結果を第1表及び第2表に示す。 確認した結果としては、重畳影響Ⅰ～Ⅲ-1については、以下に示す理由から、単独事象での評価において抽出されたシナリオ以外のシナリオが生じることはなく、重畳影響Ⅲ-2については、該当するケースはなかった。</p> <p>Ⅰ. 各自然現象から同じ影響がそれぞれ作用し、重ね合わさって増長するケース 重畳により影響度合いが大きくなるのみであり、単独で設計基準を超える事象に対してシナリオの抽出を行っていることを踏まえると、新たなシナリオは生じない。</p> <p>Ⅱ. ある自然現象の防護施設が他の自然現象によって機能喪失することにより、影響が増長するケース 単独の自然現象に対するシナリオの選定において、設計基準を超える事象を評価対象としているということは、つまり設備耐力や防護対策に期待していないということであり、単独事象の評価において抽出された以外の新たなシナリオは生じない。</p> <p>Ⅲ-1. 他の自然現象の作用により前提条件が変化し、影響が増長するケース 一方の自然現象の前提条件が、他方の自然現象により変化し、元の自然現象の影響度が大きくなったとしても、Ⅰ.と同様、単独で設計基準を超える事象に対してシナリオ抽出を行っているため、新たなシナリオは生じない。</p>	<p>○単独事象での評価において設備等への影響がない（又は、非常に小さい）と判断した事象で、他の事象との重畳を考慮しても明らかに設備等への影響がないと判断した事象</p> <p>No. 11：海岸侵食， No. 16：濃霧， No. 18：霜・白霜， No. 19：極高温， No. 24：もや， No. 25：塩害・塩雲， No. 26：地滑り， No. 29：高温水（海水温高）， No. 30：低温水（海水温低）</p> <p>○影響が他の事象に包絡されると分類した事象（包絡する側の事象を評価することで、重畳影響も包絡される。）</p> <p>No. 3：降水， No. 7：高潮， No. 14：風（台風）， No. 28：太陽フレア，磁気嵐</p> <p>確認結果を第1表及び第2表に示す。 確認した結果としては、重畳影響Ⅰ～Ⅲ-1については、以下に示す理由から、単独事象での評価において抽出されたシナリオ以外のシナリオが生じることはなく、重畳影響Ⅲ-2については、該当するケースはなかった。</p> <p>Ⅰ. 各自然現象から同じ影響がそれぞれ作用し、重ね合わさって増長するケース 重畳により影響度合いが大きくなるのみであり、単独で設計基準を超える事象に対してシナリオの抽出を行っていることを踏まえると、新たなシナリオは生じない。</p> <p>Ⅱ. ある自然現象の防護施設が他の自然現象によって機能喪失することにより、影響が増長するケース 単独の自然現象に対するシナリオの選定において、設計基準を超える事象を評価対象としているということは、つまり設備耐力や防護対策に期待していないということであり、単独事象の評価において抽出された以外の新たなシナリオは生じない。</p> <p>Ⅲ-1. 他の自然現象の作用により前提条件が変化し、影響が増長するケース 一方の自然現象の前提条件が、他方の自然現象により変化し、元の自然現象の影響度が大きくなったとしても、Ⅰ.と同様、単独で設計基準を超える事象に対してシナリオ抽出を行っているため、新たなシナリオは生じない。</p>	<p>【女川】記載表現の相違（用語の統一） ・泊は、「侵食」で統一する。</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、島根原子力発電所2号炉技術的能力2.1まとめ資料 添付資料2.1.9より引用】</p> <p>3. 重畳影響評価のまとめ</p>	<p>(3) 重畳影響評価のまとめ</p> <p>事故シーケンスの抽出という観点においては、上述のとおり、自然現象が重畳することにより、単独事象の評価で特定されたシナリオに対し新たなものが生じることはなく、自然現象の重畳により新たに追加すべき事故シーケンスは発生しないものと判断した。</p>	<p>(3) 重畳影響評価のまとめ</p> <p>事故シーケンスの抽出という観点においては、上述のとおり、自然現象が重畳することにより、単独事象の評価で特定されたシナリオに対し新たなものが生じることはなく、自然現象の重畳により追加すべき新たな事故シーケンスは発生しないものと判断した。</p>	<p>【女川】記載表現の相違(島根2号と同様)</p>

灰色：泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第2表 事象の重畳 個別検討結果 (1/5)

No.	重畳事象 (事象1) × 事象2)	評価	相違理由
1	地震 (電圧の影響) × 積雪 (電圧の影響)	I	送電線への付着物の増加により、送電線の損傷状態による外部短絡事故が考えられる。一方々の事象で外部短絡事故発生想定と同等、新たに想定すべきシナリオは発生しない。
2	津波 (電圧の影響) × 山崩 (電圧の影響)	I	送電線への付着物の増加により、送電線の損傷状態による外部短絡事故が考えられる。一方々の事象で外部短絡事故発生想定と同等、新たに想定すべきシナリオは発生しない。
3	津波 (電圧の影響) × 積雪 (電圧の影響)	II-I	津波による高圧上流電圧の増大により、送電線の損傷状態による外部短絡事故が考えられる。一方々の事象で外部短絡事故発生想定と同等、新たに想定すべきシナリオは発生しない。また、津波については、事前の予備検査により、あらかじめ対策を講じておくことが可能である。
4	地震 (積雪 (地震)) × 津波 (積雪 (地震))	II	津波による高圧上流電圧の増大により、送電線の損傷状態による外部短絡事故が考えられる。一方々の事象で外部短絡事故発生想定と同等、新たに想定すべきシナリオは発生しない。
5	地震 (積雪 (地震)) × 津波 (積雪 (地震))	II	津波による高圧上流電圧の増大により、送電線の損傷状態による外部短絡事故が考えられる。一方々の事象で外部短絡事故発生想定と同等、新たに想定すべきシナリオは発生しない。
6	地震 (積雪 (地震)) × 津波 (積雪 (地震))	II-I	津波による高圧上流電圧の増大により、送電線の損傷状態による外部短絡事故が考えられる。一方々の事象で外部短絡事故発生想定と同等、新たに想定すべきシナリオは発生しない。
7	地震 (積雪 (地震)) × 津波 (積雪 (地震))	I	津波による高圧上流電圧の増大により、送電線の損傷状態による外部短絡事故が考えられる。一方々の事象で外部短絡事故発生想定と同等、新たに想定すべきシナリオは発生しない。
8	地震 (積雪 (地震)) × 津波 (積雪 (地震))	I	津波による高圧上流電圧の増大により、送電線の損傷状態による外部短絡事故が考えられる。一方々の事象で外部短絡事故発生想定と同等、新たに想定すべきシナリオは発生しない。
9	地震 (積雪 (地震)) × 津波 (積雪 (地震))	I	津波による高圧上流電圧の増大により、送電線の損傷状態による外部短絡事故が考えられる。一方々の事象で外部短絡事故発生想定と同等、新たに想定すべきシナリオは発生しない。
10	地震 (積雪 (地震)) × 津波 (積雪 (地震))	I	津波による高圧上流電圧の増大により、送電線の損傷状態による外部短絡事故が考えられる。一方々の事象で外部短絡事故発生想定と同等、新たに想定すべきシナリオは発生しない。
11	積雪 (積雪 (地震)) × 津波 (積雪 (地震))	II-I	津波による高圧上流電圧の増大により、送電線の損傷状態による外部短絡事故が考えられる。一方々の事象で外部短絡事故発生想定と同等、新たに想定すべきシナリオは発生しない。
12	積雪 (積雪 (地震)) × 津波 (積雪 (地震))	I	津波による高圧上流電圧の増大により、送電線の損傷状態による外部短絡事故が考えられる。一方々の事象で外部短絡事故発生想定と同等、新たに想定すべきシナリオは発生しない。

第2表 事象の重畳 個別検討結果 (1/5)

No.	重畳事象 (事象1) × 事象2)	評価	相違理由
1	津波 (電圧の影響) × 積雪 (電圧の影響)	I	送電線への付着物の増加により、送電線の損傷状態による外部短絡事故が考えられる。一方々の事象で外部短絡事故発生想定と同等、新たに想定すべきシナリオは発生しない。
2	津波 (電圧の影響) × 山崩 (電圧の影響)	I	送電線への付着物の増加により、送電線の損傷状態による外部短絡事故が考えられる。一方々の事象で外部短絡事故発生想定と同等、新たに想定すべきシナリオは発生しない。
3	津波 (積雪 (地震)) × 積雪 (積雪 (地震))	III-I	津波による高圧上流電圧の増大により、送電線の損傷状態による外部短絡事故が考えられる。一方々の事象で外部短絡事故発生想定と同等、新たに想定すべきシナリオは発生しない。また、津波については、事前の予備検査により、あらかじめ対策を講じておくことが可能である。
4	地震 (積雪 (地震)) × 津波 (積雪 (地震))	II	津波による高圧上流電圧の増大により、送電線の損傷状態による外部短絡事故が考えられる。一方々の事象で外部短絡事故発生想定と同等、新たに想定すべきシナリオは発生しない。
5	地震 (積雪 (地震)) × 津波 (積雪 (地震))	II	津波による高圧上流電圧の増大により、送電線の損傷状態による外部短絡事故が考えられる。一方々の事象で外部短絡事故発生想定と同等、新たに想定すべきシナリオは発生しない。
6	地震 (積雪 (地震)) × 津波 (積雪 (地震))	III-I	津波による高圧上流電圧の増大により、送電線の損傷状態による外部短絡事故が考えられる。一方々の事象で外部短絡事故発生想定と同等、新たに想定すべきシナリオは発生しない。
7	地震 (積雪 (地震)) × 津波 (積雪 (地震))	II	津波による高圧上流電圧の増大により、送電線の損傷状態による外部短絡事故が考えられる。一方々の事象で外部短絡事故発生想定と同等、新たに想定すべきシナリオは発生しない。
8	地震 (積雪 (地震)) × 津波 (積雪 (地震))	I	津波による高圧上流電圧の増大により、送電線の損傷状態による外部短絡事故が考えられる。一方々の事象で外部短絡事故発生想定と同等、新たに想定すべきシナリオは発生しない。
9	地震 (積雪 (地震)) × 津波 (積雪 (地震))	I	津波による高圧上流電圧の増大により、送電線の損傷状態による外部短絡事故が考えられる。一方々の事象で外部短絡事故発生想定と同等、新たに想定すべきシナリオは発生しない。
10	地震 (積雪 (地震)) × 津波 (積雪 (地震))	II	津波による高圧上流電圧の増大により、送電線の損傷状態による外部短絡事故が考えられる。一方々の事象で外部短絡事故発生想定と同等、新たに想定すべきシナリオは発生しない。
11	積雪 (積雪 (地震)) × 津波 (積雪 (地震))	I	津波による高圧上流電圧の増大により、送電線の損傷状態による外部短絡事故が考えられる。一方々の事象で外部短絡事故発生想定と同等、新たに想定すべきシナリオは発生しない。

【女川】個別評価結果の相違

・施設構造が異なることにより重畳影響の評価結果が異なる。ただし、いずれの重畳影響についても、単独事象の評価で選定されたシナリオに対し新たなものが生じることはなく、自然現象の重畳により追加すべき新たな事故シナリオは発生しないと判断していることに相違はない。

灰色：泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																				
	<p>第2表 事象の重畳 個別検討結果 (2/5)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>重畳事象 (事象1) × 事象2)</th> <th>影響</th> <th>検討結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>13</td> <td>積雪 (電気の影響) × 凍結 (電気の影響)</td> <td>I</td> <td>積雪への付着物の増加により、送電線の断面積による外部短絡誘起が考えられる。 一時的な断線で外部短絡誘起は発生しており、断りに対応すべきシナリオは発生しない。</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>積雪 (電気の影響) × 氷山の影響 (電気の影響)</td> <td>I</td> <td>一時的な断線で外部短絡誘起は発生しており、断りに対応すべきシナリオは発生しない。</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>積雪 (積雪 (積雪等)) × 氷山の影響 (積雪 (積雪等))</td> <td>I</td> <td>積雪への付着物の増加により、送電線の断面積による外部短絡誘起が考えられる。 一時的な断線で外部短絡誘起は発生しており、断りに対応すべきシナリオは発生しない。</td> </tr> <tr> <td>16</td> <td>積雪 (積雪 (積雪等)) × 電巻 (積雪 (積雪))</td> <td>III-I</td> <td>積雪への付着物の増加により、送電線の断面積による外部短絡誘起が考えられる。 一時的な断線で外部短絡誘起は発生しており、断りに対応すべきシナリオは発生しない。</td> </tr> <tr> <td>17</td> <td>積雪 (積雪 (積雪等)) × 積雪 (積雪 (積雪))</td> <td>I</td> <td>積雪への付着物の増加により、送電線の断面積による外部短絡誘起が考えられる。 一時的な断線で外部短絡誘起は発生しており、断りに対応すべきシナリオは発生しない。</td> </tr> <tr> <td>18</td> <td>積雪 (積雪 (積雪等)) × 積雪 (積雪 (積雪))</td> <td>I</td> <td>積雪への付着物の増加により、送電線の断面積による外部短絡誘起が考えられる。 一時的な断線で外部短絡誘起は発生しており、断りに対応すべきシナリオは発生しない。</td> </tr> <tr> <td>19</td> <td>積雪 (積雪 (積雪等)) × 積雪 (積雪 (積雪))</td> <td>III-I</td> <td>積雪への付着物の増加により、送電線の断面積による外部短絡誘起が考えられる。 一時的な断線で外部短絡誘起は発生しており、断りに対応すべきシナリオは発生しない。</td> </tr> <tr> <td>20</td> <td>積雪 (積雪 (積雪等)) × 積雪 (積雪 (積雪))</td> <td>I</td> <td>積雪への付着物の増加により、送電線の断面積による外部短絡誘起が考えられる。 一時的な断線で外部短絡誘起は発生しており、断りに対応すべきシナリオは発生しない。</td> </tr> <tr> <td>21</td> <td>積雪 (積雪 (積雪等)) × 電巻 (積雪 (積雪))</td> <td>I</td> <td>積雪への付着物の増加により、送電線の断面積による外部短絡誘起が考えられる。 一時的な断線で外部短絡誘起は発生しており、断りに対応すべきシナリオは発生しない。</td> </tr> <tr> <td>22</td> <td>積雪 (積雪 (積雪等)) × 電巻 (電気の影響 (積雪等))</td> <td>I</td> <td>積雪への付着物の増加により、送電線の断面積による外部短絡誘起が考えられる。 一時的な断線で外部短絡誘起は発生しており、断りに対応すべきシナリオは発生しない。</td> </tr> <tr> <td>23</td> <td>積雪 (積雪 (積雪等)) × 積雪 (積雪 (積雪))</td> <td>I</td> <td>積雪への付着物の増加により、送電線の断面積による外部短絡誘起が考えられる。 一時的な断線で外部短絡誘起は発生しており、断りに対応すべきシナリオは発生しない。</td> </tr> <tr> <td>24</td> <td>積雪 (積雪 (積雪等)) × 電巻 (積雪 (積雪))</td> <td>III-I</td> <td>積雪への付着物の増加により、送電線の断面積による外部短絡誘起が考えられる。 一時的な断線で外部短絡誘起は発生しており、断りに対応すべきシナリオは発生しない。</td> </tr> </tbody> </table>	No.	重畳事象 (事象1) × 事象2)	影響	検討結果	13	積雪 (電気の影響) × 凍結 (電気の影響)	I	積雪への付着物の増加により、送電線の断面積による外部短絡誘起が考えられる。 一時的な断線で外部短絡誘起は発生しており、断りに対応すべきシナリオは発生しない。	14	積雪 (電気の影響) × 氷山の影響 (電気の影響)	I	一時的な断線で外部短絡誘起は発生しており、断りに対応すべきシナリオは発生しない。	15	積雪 (積雪 (積雪等)) × 氷山の影響 (積雪 (積雪等))	I	積雪への付着物の増加により、送電線の断面積による外部短絡誘起が考えられる。 一時的な断線で外部短絡誘起は発生しており、断りに対応すべきシナリオは発生しない。	16	積雪 (積雪 (積雪等)) × 電巻 (積雪 (積雪))	III-I	積雪への付着物の増加により、送電線の断面積による外部短絡誘起が考えられる。 一時的な断線で外部短絡誘起は発生しており、断りに対応すべきシナリオは発生しない。	17	積雪 (積雪 (積雪等)) × 積雪 (積雪 (積雪))	I	積雪への付着物の増加により、送電線の断面積による外部短絡誘起が考えられる。 一時的な断線で外部短絡誘起は発生しており、断りに対応すべきシナリオは発生しない。	18	積雪 (積雪 (積雪等)) × 積雪 (積雪 (積雪))	I	積雪への付着物の増加により、送電線の断面積による外部短絡誘起が考えられる。 一時的な断線で外部短絡誘起は発生しており、断りに対応すべきシナリオは発生しない。	19	積雪 (積雪 (積雪等)) × 積雪 (積雪 (積雪))	III-I	積雪への付着物の増加により、送電線の断面積による外部短絡誘起が考えられる。 一時的な断線で外部短絡誘起は発生しており、断りに対応すべきシナリオは発生しない。	20	積雪 (積雪 (積雪等)) × 積雪 (積雪 (積雪))	I	積雪への付着物の増加により、送電線の断面積による外部短絡誘起が考えられる。 一時的な断線で外部短絡誘起は発生しており、断りに対応すべきシナリオは発生しない。	21	積雪 (積雪 (積雪等)) × 電巻 (積雪 (積雪))	I	積雪への付着物の増加により、送電線の断面積による外部短絡誘起が考えられる。 一時的な断線で外部短絡誘起は発生しており、断りに対応すべきシナリオは発生しない。	22	積雪 (積雪 (積雪等)) × 電巻 (電気の影響 (積雪等))	I	積雪への付着物の増加により、送電線の断面積による外部短絡誘起が考えられる。 一時的な断線で外部短絡誘起は発生しており、断りに対応すべきシナリオは発生しない。	23	積雪 (積雪 (積雪等)) × 積雪 (積雪 (積雪))	I	積雪への付着物の増加により、送電線の断面積による外部短絡誘起が考えられる。 一時的な断線で外部短絡誘起は発生しており、断りに対応すべきシナリオは発生しない。	24	積雪 (積雪 (積雪等)) × 電巻 (積雪 (積雪))	III-I	積雪への付着物の増加により、送電線の断面積による外部短絡誘起が考えられる。 一時的な断線で外部短絡誘起は発生しており、断りに対応すべきシナリオは発生しない。	<p>第2表 事象の重畳 個別検討結果 (2/5)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>重畳事象 (事象1) × 事象2)</th> <th>影響</th> <th>検討結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>13</td> <td>積雪 (積雪 (積雪等)) × 積雪 (積雪 (積雪))</td> <td>I</td> <td>積雪への付着物の増加により、送電線の断面積による外部短絡誘起が考えられる。 一時的な断線で外部短絡誘起は発生しており、断りに対応すべきシナリオは発生しない。</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>積雪 (積雪 (積雪等)) × 氷山の影響 (積雪 (積雪))</td> <td>I</td> <td>積雪への付着物の増加により、送電線の断面積による外部短絡誘起が考えられる。 一時的な断線で外部短絡誘起は発生しており、断りに対応すべきシナリオは発生しない。</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>積雪 (電気の影響) × 積雪 (電気の影響)</td> <td>I</td> <td>積雪への付着物の増加により、送電線の断面積による外部短絡誘起が考えられる。 一時的な断線で外部短絡誘起は発生しており、断りに対応すべきシナリオは発生しない。</td> </tr> <tr> <td>16</td> <td>積雪 (積雪 (積雪等)) × 氷山の影響 (積雪 (積雪))</td> <td>I</td> <td>積雪への付着物の増加により、送電線の断面積による外部短絡誘起が考えられる。 一時的な断線で外部短絡誘起は発生しており、断りに対応すべきシナリオは発生しない。</td> </tr> <tr> <td>17</td> <td>積雪 (積雪 (積雪等)) × 電巻 (積雪 (積雪))</td> <td>III-I</td> <td>積雪への付着物の増加により、送電線の断面積による外部短絡誘起が考えられる。 一時的な断線で外部短絡誘起は発生しており、断りに対応すべきシナリオは発生しない。</td> </tr> <tr> <td>18</td> <td>積雪 (積雪 (積雪等)) × 森林火災 (積雪 (積雪))</td> <td>I</td> <td>積雪への付着物の増加により、送電線の断面積による外部短絡誘起が考えられる。 一時的な断線で外部短絡誘起は発生しており、断りに対応すべきシナリオは発生しない。</td> </tr> <tr> <td>19</td> <td>積雪 (積雪 (積雪等)) × 積雪 (積雪 (積雪))</td> <td>I</td> <td>積雪への付着物の増加により、送電線の断面積による外部短絡誘起が考えられる。 一時的な断線で外部短絡誘起は発生しており、断りに対応すべきシナリオは発生しない。</td> </tr> <tr> <td>20</td> <td>積雪 (積雪 (積雪等)) × 積雪 (積雪 (積雪))</td> <td>III-I</td> <td>積雪への付着物の増加により、送電線の断面積による外部短絡誘起が考えられる。 一時的な断線で外部短絡誘起は発生しており、断りに対応すべきシナリオは発生しない。</td> </tr> <tr> <td>21</td> <td>積雪 (積雪 (積雪等)) × 電巻 (積雪 (積雪))</td> <td>I</td> <td>積雪への付着物の増加により、送電線の断面積による外部短絡誘起が考えられる。 一時的な断線で外部短絡誘起は発生しており、断りに対応すべきシナリオは発生しない。</td> </tr> <tr> <td>22</td> <td>積雪 (積雪 (積雪等)) × 電巻 (積雪 (積雪))</td> <td>I</td> <td>積雪への付着物の増加により、送電線の断面積による外部短絡誘起が考えられる。 一時的な断線で外部短絡誘起は発生しており、断りに対応すべきシナリオは発生しない。</td> </tr> <tr> <td>23</td> <td>積雪 (積雪 (積雪等)) × 電巻 (積雪 (積雪))</td> <td>II</td> <td>積雪への付着物の増加により、送電線の断面積による外部短絡誘起が考えられる。 一時的な断線で外部短絡誘起は発生しており、断りに対応すべきシナリオは発生しない。</td> </tr> </tbody> </table>	No.	重畳事象 (事象1) × 事象2)	影響	検討結果	13	積雪 (積雪 (積雪等)) × 積雪 (積雪 (積雪))	I	積雪への付着物の増加により、送電線の断面積による外部短絡誘起が考えられる。 一時的な断線で外部短絡誘起は発生しており、断りに対応すべきシナリオは発生しない。	14	積雪 (積雪 (積雪等)) × 氷山の影響 (積雪 (積雪))	I	積雪への付着物の増加により、送電線の断面積による外部短絡誘起が考えられる。 一時的な断線で外部短絡誘起は発生しており、断りに対応すべきシナリオは発生しない。	15	積雪 (電気の影響) × 積雪 (電気の影響)	I	積雪への付着物の増加により、送電線の断面積による外部短絡誘起が考えられる。 一時的な断線で外部短絡誘起は発生しており、断りに対応すべきシナリオは発生しない。	16	積雪 (積雪 (積雪等)) × 氷山の影響 (積雪 (積雪))	I	積雪への付着物の増加により、送電線の断面積による外部短絡誘起が考えられる。 一時的な断線で外部短絡誘起は発生しており、断りに対応すべきシナリオは発生しない。	17	積雪 (積雪 (積雪等)) × 電巻 (積雪 (積雪))	III-I	積雪への付着物の増加により、送電線の断面積による外部短絡誘起が考えられる。 一時的な断線で外部短絡誘起は発生しており、断りに対応すべきシナリオは発生しない。	18	積雪 (積雪 (積雪等)) × 森林火災 (積雪 (積雪))	I	積雪への付着物の増加により、送電線の断面積による外部短絡誘起が考えられる。 一時的な断線で外部短絡誘起は発生しており、断りに対応すべきシナリオは発生しない。	19	積雪 (積雪 (積雪等)) × 積雪 (積雪 (積雪))	I	積雪への付着物の増加により、送電線の断面積による外部短絡誘起が考えられる。 一時的な断線で外部短絡誘起は発生しており、断りに対応すべきシナリオは発生しない。	20	積雪 (積雪 (積雪等)) × 積雪 (積雪 (積雪))	III-I	積雪への付着物の増加により、送電線の断面積による外部短絡誘起が考えられる。 一時的な断線で外部短絡誘起は発生しており、断りに対応すべきシナリオは発生しない。	21	積雪 (積雪 (積雪等)) × 電巻 (積雪 (積雪))	I	積雪への付着物の増加により、送電線の断面積による外部短絡誘起が考えられる。 一時的な断線で外部短絡誘起は発生しており、断りに対応すべきシナリオは発生しない。	22	積雪 (積雪 (積雪等)) × 電巻 (積雪 (積雪))	I	積雪への付着物の増加により、送電線の断面積による外部短絡誘起が考えられる。 一時的な断線で外部短絡誘起は発生しており、断りに対応すべきシナリオは発生しない。	23	積雪 (積雪 (積雪等)) × 電巻 (積雪 (積雪))	II	積雪への付着物の増加により、送電線の断面積による外部短絡誘起が考えられる。 一時的な断線で外部短絡誘起は発生しており、断りに対応すべきシナリオは発生しない。	<p>【女川】個別評価結果の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設構造が異なることにより重畳影響の評価結果が異なる。ただし、いずれの重畳影響についても、単独事象の評価で選定されたシナリオに対し新たなものが生じることはなく、自然現象の重畳により追加すべき新たな事故シナリオは発生しないと判断していることに相違はない。
No.	重畳事象 (事象1) × 事象2)	影響	検討結果																																																																																																				
13	積雪 (電気の影響) × 凍結 (電気の影響)	I	積雪への付着物の増加により、送電線の断面積による外部短絡誘起が考えられる。 一時的な断線で外部短絡誘起は発生しており、断りに対応すべきシナリオは発生しない。																																																																																																				
14	積雪 (電気の影響) × 氷山の影響 (電気の影響)	I	一時的な断線で外部短絡誘起は発生しており、断りに対応すべきシナリオは発生しない。																																																																																																				
15	積雪 (積雪 (積雪等)) × 氷山の影響 (積雪 (積雪等))	I	積雪への付着物の増加により、送電線の断面積による外部短絡誘起が考えられる。 一時的な断線で外部短絡誘起は発生しており、断りに対応すべきシナリオは発生しない。																																																																																																				
16	積雪 (積雪 (積雪等)) × 電巻 (積雪 (積雪))	III-I	積雪への付着物の増加により、送電線の断面積による外部短絡誘起が考えられる。 一時的な断線で外部短絡誘起は発生しており、断りに対応すべきシナリオは発生しない。																																																																																																				
17	積雪 (積雪 (積雪等)) × 積雪 (積雪 (積雪))	I	積雪への付着物の増加により、送電線の断面積による外部短絡誘起が考えられる。 一時的な断線で外部短絡誘起は発生しており、断りに対応すべきシナリオは発生しない。																																																																																																				
18	積雪 (積雪 (積雪等)) × 積雪 (積雪 (積雪))	I	積雪への付着物の増加により、送電線の断面積による外部短絡誘起が考えられる。 一時的な断線で外部短絡誘起は発生しており、断りに対応すべきシナリオは発生しない。																																																																																																				
19	積雪 (積雪 (積雪等)) × 積雪 (積雪 (積雪))	III-I	積雪への付着物の増加により、送電線の断面積による外部短絡誘起が考えられる。 一時的な断線で外部短絡誘起は発生しており、断りに対応すべきシナリオは発生しない。																																																																																																				
20	積雪 (積雪 (積雪等)) × 積雪 (積雪 (積雪))	I	積雪への付着物の増加により、送電線の断面積による外部短絡誘起が考えられる。 一時的な断線で外部短絡誘起は発生しており、断りに対応すべきシナリオは発生しない。																																																																																																				
21	積雪 (積雪 (積雪等)) × 電巻 (積雪 (積雪))	I	積雪への付着物の増加により、送電線の断面積による外部短絡誘起が考えられる。 一時的な断線で外部短絡誘起は発生しており、断りに対応すべきシナリオは発生しない。																																																																																																				
22	積雪 (積雪 (積雪等)) × 電巻 (電気の影響 (積雪等))	I	積雪への付着物の増加により、送電線の断面積による外部短絡誘起が考えられる。 一時的な断線で外部短絡誘起は発生しており、断りに対応すべきシナリオは発生しない。																																																																																																				
23	積雪 (積雪 (積雪等)) × 積雪 (積雪 (積雪))	I	積雪への付着物の増加により、送電線の断面積による外部短絡誘起が考えられる。 一時的な断線で外部短絡誘起は発生しており、断りに対応すべきシナリオは発生しない。																																																																																																				
24	積雪 (積雪 (積雪等)) × 電巻 (積雪 (積雪))	III-I	積雪への付着物の増加により、送電線の断面積による外部短絡誘起が考えられる。 一時的な断線で外部短絡誘起は発生しており、断りに対応すべきシナリオは発生しない。																																																																																																				
No.	重畳事象 (事象1) × 事象2)	影響	検討結果																																																																																																				
13	積雪 (積雪 (積雪等)) × 積雪 (積雪 (積雪))	I	積雪への付着物の増加により、送電線の断面積による外部短絡誘起が考えられる。 一時的な断線で外部短絡誘起は発生しており、断りに対応すべきシナリオは発生しない。																																																																																																				
14	積雪 (積雪 (積雪等)) × 氷山の影響 (積雪 (積雪))	I	積雪への付着物の増加により、送電線の断面積による外部短絡誘起が考えられる。 一時的な断線で外部短絡誘起は発生しており、断りに対応すべきシナリオは発生しない。																																																																																																				
15	積雪 (電気の影響) × 積雪 (電気の影響)	I	積雪への付着物の増加により、送電線の断面積による外部短絡誘起が考えられる。 一時的な断線で外部短絡誘起は発生しており、断りに対応すべきシナリオは発生しない。																																																																																																				
16	積雪 (積雪 (積雪等)) × 氷山の影響 (積雪 (積雪))	I	積雪への付着物の増加により、送電線の断面積による外部短絡誘起が考えられる。 一時的な断線で外部短絡誘起は発生しており、断りに対応すべきシナリオは発生しない。																																																																																																				
17	積雪 (積雪 (積雪等)) × 電巻 (積雪 (積雪))	III-I	積雪への付着物の増加により、送電線の断面積による外部短絡誘起が考えられる。 一時的な断線で外部短絡誘起は発生しており、断りに対応すべきシナリオは発生しない。																																																																																																				
18	積雪 (積雪 (積雪等)) × 森林火災 (積雪 (積雪))	I	積雪への付着物の増加により、送電線の断面積による外部短絡誘起が考えられる。 一時的な断線で外部短絡誘起は発生しており、断りに対応すべきシナリオは発生しない。																																																																																																				
19	積雪 (積雪 (積雪等)) × 積雪 (積雪 (積雪))	I	積雪への付着物の増加により、送電線の断面積による外部短絡誘起が考えられる。 一時的な断線で外部短絡誘起は発生しており、断りに対応すべきシナリオは発生しない。																																																																																																				
20	積雪 (積雪 (積雪等)) × 積雪 (積雪 (積雪))	III-I	積雪への付着物の増加により、送電線の断面積による外部短絡誘起が考えられる。 一時的な断線で外部短絡誘起は発生しており、断りに対応すべきシナリオは発生しない。																																																																																																				
21	積雪 (積雪 (積雪等)) × 電巻 (積雪 (積雪))	I	積雪への付着物の増加により、送電線の断面積による外部短絡誘起が考えられる。 一時的な断線で外部短絡誘起は発生しており、断りに対応すべきシナリオは発生しない。																																																																																																				
22	積雪 (積雪 (積雪等)) × 電巻 (積雪 (積雪))	I	積雪への付着物の増加により、送電線の断面積による外部短絡誘起が考えられる。 一時的な断線で外部短絡誘起は発生しており、断りに対応すべきシナリオは発生しない。																																																																																																				
23	積雪 (積雪 (積雪等)) × 電巻 (積雪 (積雪))	II	積雪への付着物の増加により、送電線の断面積による外部短絡誘起が考えられる。 一時的な断線で外部短絡誘起は発生しており、断りに対応すべきシナリオは発生しない。																																																																																																				

灰色：泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																				
	<p>第2表 事象の重畳 個別検討結果 (4/5)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事象</th> <th>評価</th> <th>相違理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>36 生物学的事象 (閉塞 (海水系)) × 地震 (陸地)</td> <td>I</td> <td>クワガタ等の昆虫や動物と植物による生態系の変化の同時発生によって、取水設備の稼働は保たれるが、一部取水設備で発生する可能性のある故障として、取水ポンプを想定しており、新たに想定すべきシナリオは発生しない。</td> </tr> <tr> <td>37 生物学的事象 (閉塞 (海水系)) × 火山の噴煙 (閉塞 (海水系))</td> <td>I</td> <td>クワガタ等の昆虫や動物と植物と動物との同時発生によって、取水ポンプを想定しており、新たに想定すべきシナリオは発生しない。</td> </tr> <tr> <td>38 生物学的事象 (閉塞 (海水系)) × 地震 (陸地)</td> <td>I</td> <td>クワガタ等の昆虫や動物と植物による生態系の変化の同時発生によって、取水ポンプを想定しており、新たに想定すべきシナリオは発生しない。</td> </tr> <tr> <td>39 地震 (陸地) × 噴煙 (海水系)</td> <td>I</td> <td>地震の発生による噴煙等の発生は、取水ポンプを想定しており、新たに想定すべきシナリオは発生しない。</td> </tr> <tr> <td>40 地震 (陸地) × 噴煙 (海水系)</td> <td>I</td> <td>地震の発生による噴煙等の発生は、取水ポンプを想定しており、新たに想定すべきシナリオは発生しない。</td> </tr> <tr> <td>41 地震 (陸地) × 噴煙 (海水系)</td> <td>I</td> <td>地震の発生による噴煙等の発生は、取水ポンプを想定しており、新たに想定すべきシナリオは発生しない。</td> </tr> <tr> <td>42 地震 (陸地) × 噴煙 (海水系)</td> <td>II</td> <td>地震の発生による噴煙等の発生は、取水ポンプを想定しており、新たに想定すべきシナリオは発生しない。</td> </tr> <tr> <td>43 地震 (陸地) × 森林火災 (地震)</td> <td>III-I</td> <td>地震の発生による森林火災等の発生は、取水ポンプを想定しており、新たに想定すべきシナリオは発生しない。</td> </tr> <tr> <td>44 地震 (陸地) × 森林火災 (地震)</td> <td>III-I</td> <td>地震の発生による森林火災等の発生は、取水ポンプを想定しており、新たに想定すべきシナリオは発生しない。</td> </tr> <tr> <td>45 地震 (陸地) × 地震 (電気の影響 (地震))</td> <td>II</td> <td>地震によって地震の発生による電気の供給が停止する可能性のある故障として、空冷設備の稼働を想定しており、新たに想定すべきシナリオは発生しない。</td> </tr> <tr> <td>46 地震 (陸地) × 地震 (電気の影響 (地震))</td> <td>II</td> <td>地震によって地震の発生による電気の供給が停止する可能性のある故障として、空冷設備の稼働を想定しており、新たに想定すべきシナリオは発生しない。</td> </tr> <tr> <td>47 地震 (陸地) × 地震 (電気の影響 (地震))</td> <td>I</td> <td>地震によって地震の発生による電気の供給が停止する可能性のある故障として、空冷設備の稼働を想定しており、新たに想定すべきシナリオは発生しない。</td> </tr> <tr> <td>48 地震 (陸地) × 地震 (電気の影響 (地震))</td> <td>I</td> <td>地震によって地震の発生による電気の供給が停止する可能性のある故障として、空冷設備の稼働を想定しており、新たに想定すべきシナリオは発生しない。</td> </tr> <tr> <td>49 地震 (陸地) × 地震 (電気の影響 (地震))</td> <td>II</td> <td>地震によって地震の発生による電気の供給が停止する可能性のある故障として、空冷設備の稼働を想定しており、新たに想定すべきシナリオは発生しない。</td> </tr> </tbody> </table>	事象	評価	相違理由	36 生物学的事象 (閉塞 (海水系)) × 地震 (陸地)	I	クワガタ等の昆虫や動物と植物による生態系の変化の同時発生によって、取水設備の稼働は保たれるが、一部取水設備で発生する可能性のある故障として、取水ポンプを想定しており、新たに想定すべきシナリオは発生しない。	37 生物学的事象 (閉塞 (海水系)) × 火山の噴煙 (閉塞 (海水系))	I	クワガタ等の昆虫や動物と植物と動物との同時発生によって、取水ポンプを想定しており、新たに想定すべきシナリオは発生しない。	38 生物学的事象 (閉塞 (海水系)) × 地震 (陸地)	I	クワガタ等の昆虫や動物と植物による生態系の変化の同時発生によって、取水ポンプを想定しており、新たに想定すべきシナリオは発生しない。	39 地震 (陸地) × 噴煙 (海水系)	I	地震の発生による噴煙等の発生は、取水ポンプを想定しており、新たに想定すべきシナリオは発生しない。	40 地震 (陸地) × 噴煙 (海水系)	I	地震の発生による噴煙等の発生は、取水ポンプを想定しており、新たに想定すべきシナリオは発生しない。	41 地震 (陸地) × 噴煙 (海水系)	I	地震の発生による噴煙等の発生は、取水ポンプを想定しており、新たに想定すべきシナリオは発生しない。	42 地震 (陸地) × 噴煙 (海水系)	II	地震の発生による噴煙等の発生は、取水ポンプを想定しており、新たに想定すべきシナリオは発生しない。	43 地震 (陸地) × 森林火災 (地震)	III-I	地震の発生による森林火災等の発生は、取水ポンプを想定しており、新たに想定すべきシナリオは発生しない。	44 地震 (陸地) × 森林火災 (地震)	III-I	地震の発生による森林火災等の発生は、取水ポンプを想定しており、新たに想定すべきシナリオは発生しない。	45 地震 (陸地) × 地震 (電気の影響 (地震))	II	地震によって地震の発生による電気の供給が停止する可能性のある故障として、空冷設備の稼働を想定しており、新たに想定すべきシナリオは発生しない。	46 地震 (陸地) × 地震 (電気の影響 (地震))	II	地震によって地震の発生による電気の供給が停止する可能性のある故障として、空冷設備の稼働を想定しており、新たに想定すべきシナリオは発生しない。	47 地震 (陸地) × 地震 (電気の影響 (地震))	I	地震によって地震の発生による電気の供給が停止する可能性のある故障として、空冷設備の稼働を想定しており、新たに想定すべきシナリオは発生しない。	48 地震 (陸地) × 地震 (電気の影響 (地震))	I	地震によって地震の発生による電気の供給が停止する可能性のある故障として、空冷設備の稼働を想定しており、新たに想定すべきシナリオは発生しない。	49 地震 (陸地) × 地震 (電気の影響 (地震))	II	地震によって地震の発生による電気の供給が停止する可能性のある故障として、空冷設備の稼働を想定しており、新たに想定すべきシナリオは発生しない。	<p>第2表 事象の重畳 個別検討結果 (4/5)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事象</th> <th>評価</th> <th>相違理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>36 生物学的事象 (事象 I × 事象 2)</td> <td>II</td> <td>クワガタ等の昆虫や動物と植物と地震による生態系の変化の同時発生によって、取水設備の稼働は保たれるが、一部取水設備で発生する可能性のある故障として、取水ポンプを想定しており、新たに想定すべきシナリオは発生しない。</td> </tr> <tr> <td>37 生物学的事象 (閉塞 (海水系)) × 地震 (陸地) (地震)</td> <td>I</td> <td>クワガタ等の昆虫や動物と植物と地震による生態系の変化の同時発生によって、取水ポンプを想定しており、新たに想定すべきシナリオは発生しない。</td> </tr> <tr> <td>38 生物学的事象 (閉塞 (海水系)) × 津波 (閉塞 (海水系))</td> <td>I</td> <td>クワガタ等の昆虫や動物と植物と津波による生態系の変化の同時発生によって、取水ポンプを想定しており、新たに想定すべきシナリオは発生しない。</td> </tr> <tr> <td>39 生物学的事象 (閉塞 (海水系)) × 火山の影響 (閉塞 (海水系))</td> <td>I</td> <td>クワガタ等の昆虫や動物と植物と火山の影響による生態系の変化の同時発生によって、取水ポンプを想定しており、新たに想定すべきシナリオは発生しない。</td> </tr> <tr> <td>40 生物学的事象 (閉塞 (海水系)) × 地震 (閉塞 (海水系))</td> <td>I</td> <td>クワガタ等の昆虫や動物と植物と地震による生態系の変化の同時発生によって、取水ポンプを想定しており、新たに想定すべきシナリオは発生しない。</td> </tr> <tr> <td>41 地震 (陸地) × 地震 (陸地)</td> <td>I</td> <td>地震の発生による地震の同時発生によって、取水ポンプを想定しており、新たに想定すべきシナリオは発生しない。</td> </tr> <tr> <td>42 地震 (陸地) × 津波 (閉塞 (陸地))</td> <td>I</td> <td>地震の発生による津波の同時発生によって、取水ポンプを想定しており、新たに想定すべきシナリオは発生しない。</td> </tr> <tr> <td>43 地震 (陸地) × 津波 (陸地)</td> <td>II</td> <td>地震の発生による津波の同時発生によって、取水ポンプを想定しており、新たに想定すべきシナリオは発生しない。</td> </tr> <tr> <td>44 地震 (陸地) × 森林火災 (地震)</td> <td>III-I</td> <td>地震の発生による森林火災等の発生は、取水ポンプを想定しており、新たに想定すべきシナリオは発生しない。</td> </tr> <tr> <td>45 地震 (陸地) × 地震 (電気の影響 (地震))</td> <td>II</td> <td>地震によって地震の発生による電気の供給が停止する可能性のある故障として、空冷設備の稼働を想定しており、新たに想定すべきシナリオは発生しない。</td> </tr> <tr> <td>46 地震 (陸地) × 地震 (陸地)</td> <td>I</td> <td>地震の発生による地震の同時発生によって、取水ポンプを想定しており、新たに想定すべきシナリオは発生しない。</td> </tr> <tr> <td>47 地震 (陸地) × 津波 (閉塞 (陸地))</td> <td>I</td> <td>地震の発生による津波の同時発生によって、取水ポンプを想定しており、新たに想定すべきシナリオは発生しない。</td> </tr> </tbody> </table>	事象	評価	相違理由	36 生物学的事象 (事象 I × 事象 2)	II	クワガタ等の昆虫や動物と植物と地震による生態系の変化の同時発生によって、取水設備の稼働は保たれるが、一部取水設備で発生する可能性のある故障として、取水ポンプを想定しており、新たに想定すべきシナリオは発生しない。	37 生物学的事象 (閉塞 (海水系)) × 地震 (陸地) (地震)	I	クワガタ等の昆虫や動物と植物と地震による生態系の変化の同時発生によって、取水ポンプを想定しており、新たに想定すべきシナリオは発生しない。	38 生物学的事象 (閉塞 (海水系)) × 津波 (閉塞 (海水系))	I	クワガタ等の昆虫や動物と植物と津波による生態系の変化の同時発生によって、取水ポンプを想定しており、新たに想定すべきシナリオは発生しない。	39 生物学的事象 (閉塞 (海水系)) × 火山の影響 (閉塞 (海水系))	I	クワガタ等の昆虫や動物と植物と火山の影響による生態系の変化の同時発生によって、取水ポンプを想定しており、新たに想定すべきシナリオは発生しない。	40 生物学的事象 (閉塞 (海水系)) × 地震 (閉塞 (海水系))	I	クワガタ等の昆虫や動物と植物と地震による生態系の変化の同時発生によって、取水ポンプを想定しており、新たに想定すべきシナリオは発生しない。	41 地震 (陸地) × 地震 (陸地)	I	地震の発生による地震の同時発生によって、取水ポンプを想定しており、新たに想定すべきシナリオは発生しない。	42 地震 (陸地) × 津波 (閉塞 (陸地))	I	地震の発生による津波の同時発生によって、取水ポンプを想定しており、新たに想定すべきシナリオは発生しない。	43 地震 (陸地) × 津波 (陸地)	II	地震の発生による津波の同時発生によって、取水ポンプを想定しており、新たに想定すべきシナリオは発生しない。	44 地震 (陸地) × 森林火災 (地震)	III-I	地震の発生による森林火災等の発生は、取水ポンプを想定しており、新たに想定すべきシナリオは発生しない。	45 地震 (陸地) × 地震 (電気の影響 (地震))	II	地震によって地震の発生による電気の供給が停止する可能性のある故障として、空冷設備の稼働を想定しており、新たに想定すべきシナリオは発生しない。	46 地震 (陸地) × 地震 (陸地)	I	地震の発生による地震の同時発生によって、取水ポンプを想定しており、新たに想定すべきシナリオは発生しない。	47 地震 (陸地) × 津波 (閉塞 (陸地))	I	地震の発生による津波の同時発生によって、取水ポンプを想定しており、新たに想定すべきシナリオは発生しない。	<p>相違理由</p> <p>【女川】個別評価結果の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設構造が異なることにより重畳影響の評価結果が異なる。ただし、いずれの重畳影響についても、単独事象の評価で選定されたシナリオに対し新たなものが生じることはなく、自然現象の重畳により追加すべき新たな事故シナリオは発生しないと判断していることに相違はない。
事象	評価	相違理由																																																																																					
36 生物学的事象 (閉塞 (海水系)) × 地震 (陸地)	I	クワガタ等の昆虫や動物と植物による生態系の変化の同時発生によって、取水設備の稼働は保たれるが、一部取水設備で発生する可能性のある故障として、取水ポンプを想定しており、新たに想定すべきシナリオは発生しない。																																																																																					
37 生物学的事象 (閉塞 (海水系)) × 火山の噴煙 (閉塞 (海水系))	I	クワガタ等の昆虫や動物と植物と動物との同時発生によって、取水ポンプを想定しており、新たに想定すべきシナリオは発生しない。																																																																																					
38 生物学的事象 (閉塞 (海水系)) × 地震 (陸地)	I	クワガタ等の昆虫や動物と植物による生態系の変化の同時発生によって、取水ポンプを想定しており、新たに想定すべきシナリオは発生しない。																																																																																					
39 地震 (陸地) × 噴煙 (海水系)	I	地震の発生による噴煙等の発生は、取水ポンプを想定しており、新たに想定すべきシナリオは発生しない。																																																																																					
40 地震 (陸地) × 噴煙 (海水系)	I	地震の発生による噴煙等の発生は、取水ポンプを想定しており、新たに想定すべきシナリオは発生しない。																																																																																					
41 地震 (陸地) × 噴煙 (海水系)	I	地震の発生による噴煙等の発生は、取水ポンプを想定しており、新たに想定すべきシナリオは発生しない。																																																																																					
42 地震 (陸地) × 噴煙 (海水系)	II	地震の発生による噴煙等の発生は、取水ポンプを想定しており、新たに想定すべきシナリオは発生しない。																																																																																					
43 地震 (陸地) × 森林火災 (地震)	III-I	地震の発生による森林火災等の発生は、取水ポンプを想定しており、新たに想定すべきシナリオは発生しない。																																																																																					
44 地震 (陸地) × 森林火災 (地震)	III-I	地震の発生による森林火災等の発生は、取水ポンプを想定しており、新たに想定すべきシナリオは発生しない。																																																																																					
45 地震 (陸地) × 地震 (電気の影響 (地震))	II	地震によって地震の発生による電気の供給が停止する可能性のある故障として、空冷設備の稼働を想定しており、新たに想定すべきシナリオは発生しない。																																																																																					
46 地震 (陸地) × 地震 (電気の影響 (地震))	II	地震によって地震の発生による電気の供給が停止する可能性のある故障として、空冷設備の稼働を想定しており、新たに想定すべきシナリオは発生しない。																																																																																					
47 地震 (陸地) × 地震 (電気の影響 (地震))	I	地震によって地震の発生による電気の供給が停止する可能性のある故障として、空冷設備の稼働を想定しており、新たに想定すべきシナリオは発生しない。																																																																																					
48 地震 (陸地) × 地震 (電気の影響 (地震))	I	地震によって地震の発生による電気の供給が停止する可能性のある故障として、空冷設備の稼働を想定しており、新たに想定すべきシナリオは発生しない。																																																																																					
49 地震 (陸地) × 地震 (電気の影響 (地震))	II	地震によって地震の発生による電気の供給が停止する可能性のある故障として、空冷設備の稼働を想定しており、新たに想定すべきシナリオは発生しない。																																																																																					
事象	評価	相違理由																																																																																					
36 生物学的事象 (事象 I × 事象 2)	II	クワガタ等の昆虫や動物と植物と地震による生態系の変化の同時発生によって、取水設備の稼働は保たれるが、一部取水設備で発生する可能性のある故障として、取水ポンプを想定しており、新たに想定すべきシナリオは発生しない。																																																																																					
37 生物学的事象 (閉塞 (海水系)) × 地震 (陸地) (地震)	I	クワガタ等の昆虫や動物と植物と地震による生態系の変化の同時発生によって、取水ポンプを想定しており、新たに想定すべきシナリオは発生しない。																																																																																					
38 生物学的事象 (閉塞 (海水系)) × 津波 (閉塞 (海水系))	I	クワガタ等の昆虫や動物と植物と津波による生態系の変化の同時発生によって、取水ポンプを想定しており、新たに想定すべきシナリオは発生しない。																																																																																					
39 生物学的事象 (閉塞 (海水系)) × 火山の影響 (閉塞 (海水系))	I	クワガタ等の昆虫や動物と植物と火山の影響による生態系の変化の同時発生によって、取水ポンプを想定しており、新たに想定すべきシナリオは発生しない。																																																																																					
40 生物学的事象 (閉塞 (海水系)) × 地震 (閉塞 (海水系))	I	クワガタ等の昆虫や動物と植物と地震による生態系の変化の同時発生によって、取水ポンプを想定しており、新たに想定すべきシナリオは発生しない。																																																																																					
41 地震 (陸地) × 地震 (陸地)	I	地震の発生による地震の同時発生によって、取水ポンプを想定しており、新たに想定すべきシナリオは発生しない。																																																																																					
42 地震 (陸地) × 津波 (閉塞 (陸地))	I	地震の発生による津波の同時発生によって、取水ポンプを想定しており、新たに想定すべきシナリオは発生しない。																																																																																					
43 地震 (陸地) × 津波 (陸地)	II	地震の発生による津波の同時発生によって、取水ポンプを想定しており、新たに想定すべきシナリオは発生しない。																																																																																					
44 地震 (陸地) × 森林火災 (地震)	III-I	地震の発生による森林火災等の発生は、取水ポンプを想定しており、新たに想定すべきシナリオは発生しない。																																																																																					
45 地震 (陸地) × 地震 (電気の影響 (地震))	II	地震によって地震の発生による電気の供給が停止する可能性のある故障として、空冷設備の稼働を想定しており、新たに想定すべきシナリオは発生しない。																																																																																					
46 地震 (陸地) × 地震 (陸地)	I	地震の発生による地震の同時発生によって、取水ポンプを想定しており、新たに想定すべきシナリオは発生しない。																																																																																					
47 地震 (陸地) × 津波 (閉塞 (陸地))	I	地震の発生による津波の同時発生によって、取水ポンプを想定しており、新たに想定すべきシナリオは発生しない。																																																																																					

灰色：泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第2表 事象の重畳 個別検討結果 (5/5)

No.	重畳事象 (事象1×事象2)	影響	検討結果
49	電巻 (荷重 (樹木)) × 津波 (浸水) × 津波 (電気の停電 (停電部))	II	電巻による重畳事象の発生は、原子炉建屋、燃料貯蔵庫等の設備に与える影響は、単独発生時よりも大きい。津波による浸水により、燃料貯蔵庫等の設備が浸水し、燃料貯蔵庫内の燃料が流出する可能性がある。また、津波による浸水により、燃料貯蔵庫内の燃料が流出し、燃料貯蔵庫内の燃料が流出する可能性がある。また、津波による浸水により、燃料貯蔵庫内の燃料が流出し、燃料貯蔵庫内の燃料が流出する可能性がある。
50	森林火災 (煙害 (熱気等)) × 地震 (傾斜 (風))	III-1	森林火災による煙害の発生は、地震による傾斜の発生により、煙害の発生が促進される可能性がある。また、地震による傾斜の発生により、煙害の発生が促進される可能性がある。
51	森林火災 (煙害 (熱気等)) × 津波 (浸水)	I	森林火災による煙害の発生は、津波による浸水の発生により、煙害の発生が促進される可能性がある。また、津波による浸水の発生により、煙害の発生が促進される可能性がある。
52	森林火災 (煙害 (熱気等)) × 火山の噴霧 (煙害 (熱気等))	I	森林火災による煙害の発生は、火山の噴霧の発生により、煙害の発生が促進される可能性がある。また、火山の噴霧の発生により、煙害の発生が促進される可能性がある。
53	森林火災 (煙害 (熱気等)) × 地震 (傾斜 (風))	III-1	森林火災による煙害の発生は、地震による傾斜の発生により、煙害の発生が促進される可能性がある。また、地震による傾斜の発生により、煙害の発生が促進される可能性がある。
54	森林火災 (煙害 (熱気等)) × 津波 (浸水)	I	森林火災による煙害の発生は、津波による浸水の発生により、煙害の発生が促進される可能性がある。また、津波による浸水の発生により、煙害の発生が促進される可能性がある。
55	森林火災 (煙害 (熱気等)) × 津波 (浸水)	I	森林火災による煙害の発生は、津波による浸水の発生により、煙害の発生が促進される可能性がある。また、津波による浸水の発生により、煙害の発生が促進される可能性がある。
56	森林火災 (煙害 (熱気等)) × 地震 (傾斜 (風))	III-1	森林火災による煙害の発生は、地震による傾斜の発生により、煙害の発生が促進される可能性がある。また、地震による傾斜の発生により、煙害の発生が促進される可能性がある。
57	森林火災 (煙害 (熱気等)) × 津波 (浸水)	I	森林火災による煙害の発生は、津波による浸水の発生により、煙害の発生が促進される可能性がある。また、津波による浸水の発生により、煙害の発生が促進される可能性がある。

第2表 事象の重畳 個別検討結果 (5/5)

No.	重畳事象 (事象1×事象2)	影響	検討結果
48	電巻 (荷重 (樹木)) × 津波 (浸水) × 津波 (電気の停電 (停電部))	II	電巻による重畳事象の発生は、原子炉建屋等の設備に与える影響は、単独発生時よりも大きい。津波による浸水により、燃料貯蔵庫等の設備が浸水し、燃料貯蔵庫内の燃料が流出する可能性がある。また、津波による浸水により、燃料貯蔵庫内の燃料が流出し、燃料貯蔵庫内の燃料が流出する可能性がある。
49	電巻 (荷重 (樹木)) × 生物学的事象 (樹木 (樹木))	II	電巻による重畳事象の発生は、生物学的事象の発生により、電巻の発生が促進される可能性がある。また、生物学的事象の発生により、電巻の発生が促進される可能性がある。
50	電巻 (荷重 (樹木)) × 津波 (浸水) × 津波 (電気の停電 (停電部))	II	電巻による重畳事象の発生は、津波による浸水の発生により、電巻の発生が促進される可能性がある。また、津波による浸水の発生により、電巻の発生が促進される可能性がある。
51	電巻 (煙害 (熱気)) × 地震 (傾斜 (風))	III-1	電巻による煙害の発生は、地震による傾斜の発生により、煙害の発生が促進される可能性がある。また、地震による傾斜の発生により、煙害の発生が促進される可能性がある。
52	電巻 (煙害 (熱気)) × 津波 (浸水)	I	電巻による煙害の発生は、津波による浸水の発生により、煙害の発生が促進される可能性がある。また、津波による浸水の発生により、煙害の発生が促進される可能性がある。
53	電巻 (煙害 (熱気)) × 生物学的事象 (樹木 (樹木))	I	電巻による煙害の発生は、生物学的事象の発生により、煙害の発生が促進される可能性がある。また、生物学的事象の発生により、煙害の発生が促進される可能性がある。
54	森林火災 (煙害 (熱気)) × 地震 (傾斜 (風))	III-1	森林火災による煙害の発生は、地震による傾斜の発生により、煙害の発生が促進される可能性がある。また、地震による傾斜の発生により、煙害の発生が促進される可能性がある。
55	森林火災 (煙害 (熱気)) × 煙害 (煙害 (熱気等))	I	森林火災による煙害の発生は、煙害の発生により、煙害の発生が促進される可能性がある。また、煙害の発生により、煙害の発生が促進される可能性がある。
56	森林火災 (煙害 (熱気)) × 火山の噴霧 (煙害 (熱気))	I	森林火災による煙害の発生は、火山の噴霧の発生により、煙害の発生が促進される可能性がある。また、火山の噴霧の発生により、煙害の発生が促進される可能性がある。
57	森林火災 (煙害 (熱気)) × 地震 (傾斜 (風))	III-1	森林火災による煙害の発生は、地震による傾斜の発生により、煙害の発生が促進される可能性がある。また、地震による傾斜の発生により、煙害の発生が促進される可能性がある。

【女川】個別評価結果の相違

・施設構造が異なることにより重畳影響の評価結果が異なる。ただし、いずれの重畳影響についても、単独事象の評価で選定されたシナリオに対し新たなものが生じることはなく、自然現象の重畳により追加すべき新たな事故シナリオは発生しないと判断していることに相違はない。

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>添付資料 2.1.2 PRAの結果に基づく事故シーケンスグループ選定にて抽出しなかった事故シーケンス等への対応について</p> <p>レベル1 PRAにより抽出された事故シーケンスのうち、炉心損傷防止が困難な事故シーケンスを以下に挙げる。</p> <p>a. 蒸気発生器伝熱管破損（複数本破損） b. 原子炉建屋損傷 c. 原子炉格納容器損傷 d. 制御建屋損傷</p> <p>e. 複数の信号系損傷</p> <p>f. ECCS注水機能喪失 ・大破断LOCAを上回る規模のLOCA ・大破断LOCA+低圧注入失敗 ・大破断LOCA+蓄圧注入失敗 ・中破断LOCA+蓄圧注入失敗</p> <p>g. 原子炉補機冷却機能喪失 ・原子炉補機冷却機能喪失+補助給水失敗</p> <p>h. 2次冷却系からの除熱機能喪失 ・1次系流路閉塞による2次系除熱機能喪失</p> <p>以上の事故シーケンスのうち、a.～e.の5つの事故シーケンスについては、外部事象による建屋・格納容器等の大規模な損傷を想定していることから、原子炉格納容器の閉じ込め機能に期待できない場合も想定されるシーケンスであるが、これらの全炉心損傷頻度への寄与割合は極めて小さく、すべてを合計しても0.1%以下であり有意な頻度ではない。</p>	<p>添付資料 2.1.9 PRAで選定しなかった事故シーケンス等への対応について</p> <p>レベル1 PRAより抽出された事故シーケンスのうち、有効な炉心損傷防止対策の確保が困難な事故シーケンスは以下のとおりである。 【比較のため、a.～h.の記載順序を入れ替えている。】</p> <p>g. 格納容器バイパス a. 原子炉建屋損傷 b. 格納容器損傷 e. 制御建屋損傷</p> <p>f. 計測・制御系喪失 h. 複数の安全機能喪失</p> <p>c. 圧力容器損傷 d. ECCS容量を超える原子炉冷却材圧力バウンダリ喪失（E-LOCA）</p> <p>i. 大破断LOCA+HPCS失敗+低圧ECCS失敗 j. 全交流動力電源喪失（外部電源喪失+DG失敗）+HPCS失敗+原子炉停止失敗</p> <p>以上の事故シーケンスのうち、a.～h.の事故シーケンスについては、外部事象による建屋・格納容器等の大規模な損傷を想定していることから、原子炉格納容器の閉じ込め機能に期待できない場合も想定されるシーケンスであるが、これらの全炉心損傷頻度への寄与割合は1%未満と小さく、有意な頻度ではない。</p>	<p>添付資料 2.1.2 PRAで選定しなかった事故シーケンス等への対応について</p> <p>レベル1 PRAより抽出された事故シーケンスのうち、有効な炉心損傷防止対策の確保が困難な事故シーケンスは以下のとおりである。</p> <p>a. 蒸気発生器伝熱管破損（複数本破損） b. 原子炉建屋損傷 c. 原子炉格納容器損傷 d. 原子炉補助建屋損傷</p> <p>e. 複数の信号系損傷 f. 複数の安全機能喪失</p> <p>g. ECCS注水機能喪失 ・大破断LOCAを上回る規模のLOCA（Excess LOCA） ・大破断LOCA+低圧注入失敗 ・大破断LOCA+蓄圧注入失敗 ・中破断LOCA+蓄圧注入失敗</p> <p>h. 原子炉補機冷却機能喪失 ・原子炉補機冷却機能喪失+補助給水失敗</p> <p>i. 2次冷却系からの除熱機能喪失 ・1次系流路閉塞による2次系除熱機能喪失</p> <p>以上の事故シーケンスのうち、a.～f.の事故シーケンスについては、外部事象による建屋・原子炉格納容器等の大規模な損傷を想定していることから、原子炉格納容器の閉じ込め機能に期待できない場合も想定されるシーケンスであるが、これらの全炉心損傷頻度への寄与割合は0.1%程度と小さく、有意な頻度ではない。</p> <p>追而【地震PRA、津波PRAの最終評価結果を反映】</p>	<p>【女川】資料番号の相違 【大阪】資料名称の相違</p> <p>【大阪】記載表現の相違(女川審査実績反映)</p> <p>【大阪】【女川】名称の相違 ・格納容器バイパス⇔蒸気発生器伝熱管破損（複数本破損） ・計測・制御系喪失⇔複数の信号系損傷 ・制御建屋⇔原子炉補助建屋 ・格納容器⇔原子炉格納容器 ・ECCS容量を超える原子炉冷却材圧力バウンダリ喪失(E-LOCA)⇔大破断LOCAを上回る規模のLOCA (Excess LOCA) (以降、相違理由の記載を省略する。)</p> <p>【大阪】整理方法の相違(女川審査実績反映) ・大阪は、「複数の信号系損傷」を地震及び津波特有の事故シーケンスとして定義している。 ・泊は、女川審査実績を踏まえ、「複数の信号系損傷」を地震特有、「複数の安全機能喪失」を津波特有の事故シーケンスとして分類し定義している。</p> <p>【女川】評価方針の相違 ・女川の「圧力容器損傷」については、PWRでは原子炉容器破損を「Excess LOCA」に含めて評価しており、記載が異なる。</p> <p>【女川】設計の相違 ・炉心の著しい損傷に至る可能性がある事故シーケンスについては、設計の相違によりPWRとBWRで相違している。</p> <p>【大阪】記載表現の相違(女川審査実績反映)</p> <p>【大阪】【女川】個別評価による相違</p>

灰色：泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉

【比較のため、大飯3/4号炉 技術的能力 2.1まとめ資料 2.1-124 ページの表より d, e 項の記載を抜粋し引用する】

事故シナリオグループ	事象の想定	CDF (/炉年)	対応手順
a. 蒸気発生器伝熱管破損(複数本破損)	複数の蒸気発生器伝熱管が破損することにより、大規模な LOCA が発生し、ECCS 注入も無効であり、炉心損傷に至るとともに、格納容器がバイパスが発生する。	3.9E-08	「大規模地震発生時の対応」に含まれる。
d. 制御建屋損傷	制御建屋が損傷することで、制御建屋内の電気盤(メタクラ、直流き電盤等)が損傷し、代替電源の接続・供給ができない状況で、「外部電源喪失+非常用内交流電源喪失」が発生することにより、各種制御が不能となり監視系や補助給水系の機能喪失も想定されることから、炉心損傷に至る。	3.5E-08	
e. 複数の信号系損傷	主盤(原子炉盤)等が損傷することで、各種制御が不能となり、補助給水流量調整失敗や主蒸気逃がし弁を含む工学的安全施設の動作不能を想定し、2 次系からの除熱機能喪失と炉心損傷に至る。	2.6E-08	「大規模地震発生時の対応」または「大規模津波発生時の対応」に含まれる。(SBO 発生時のシナリオ LOCA と同様な事象となる)

女川原子力発電所2号炉

【比較のため、第1表 各事故シナリオの扱い(2/4)、(3/4)より f, h 項の記載を抜粋し引用する】

第1表 各事故シナリオの扱い

事故シナリオグループ	事象の想定	CDF (/炉年)	対応手順
e. 制御建屋損傷	制御建屋の損傷により非常用電源、直流電源等の非常用電源の稼働が停止し、炉心損傷に至る事象となる。想定評価時に考慮されている主要な設備の劣化や故障による事象は、本評価において考慮されていない。原子炉本体機械及び格納容器損傷による事象シナリオとして整理している。	1.9E-7	大規模地震発生時の対応に含まれる。
f. 計測・制御系喪失	地震による計測・制御系機器の同時機能喪失により、非常用電源、ECCS等、広域監視設備が喪失することにより炉心損傷に至る事象シナリオである。大規模な地震により制御室内及び建屋内に浸水し、外部電源、非常用電源、ECCS等、広域監視設備が喪失することから、全ての設備が喪失し、格納容器の冷却が不能となり炉心損傷に至る事象シナリオとして整理している。	3.7E-7	大規模津波発生時の対応に含まれる。
h. 複数の安全機能喪失	地震による計測・制御系機器の同時機能喪失による補助給水系の機能喪失、外部電源、非常用電源、ECCS等、広域監視設備が喪失することにより炉心損傷に至る事象シナリオである。大規模な地震により制御室内及び建屋内に浸水し、外部電源、非常用電源、ECCS等、広域監視設備が喪失することから、全ての設備が喪失し、格納容器の冷却が不能となり炉心損傷に至る事象シナリオとして整理している。	7.3E-07	大規模津波発生時の対応に含まれる。

泊発電所3号炉

第1表 各事故シナリオの扱い (2/4)

事故シナリオグループ	事象の想定	CDF (/炉年)	対応手順
d. 原子炉補助建屋損傷	原子炉補助建屋の損傷により非常用電源、直流電源等の非常用電源が喪失し、代替電源の接続・供給ができない状況で「外部電源喪失+非常用内交流電源喪失」が発生し、ECCS 注入も無効であり、炉心損傷に至るとともに、格納容器がバイパスが発生する。	1.0E-15未満	「大規模地震発生時の対応」に含まれる。
e. 複数の信号系損傷	地震による計測・制御系機器の同時機能喪失により、非常用電源、ECCS等、広域監視設備が喪失することにより炉心損傷に至る事象シナリオである。大規模な地震により制御室内及び建屋内に浸水し、外部電源、非常用電源、ECCS等、広域監視設備が喪失することから、全ての設備が喪失し、格納容器の冷却が不能となり炉心損傷に至る事象シナリオとして整理している。	1.2E-07	「大規模津波発生時の対応」に含まれる。(SBO 発生時のシナリオ LOCA + 2 次冷却系からの除熱機能喪失事象と同様な対応を行う。)
f. 複数の安全機能喪失	地震による計測・制御系機器の同時機能喪失による補助給水系の機能喪失、外部電源、非常用電源、ECCS等、広域監視設備が喪失することにより炉心損傷に至る事象シナリオである。大規模な地震により制御室内及び建屋内に浸水し、外部電源、非常用電源、ECCS等、広域監視設備が喪失することから、全ての設備が喪失し、格納容器の冷却が不能となり炉心損傷に至る事象シナリオとして整理している。	2.9E-07	「大規模津波発生時の対応」に含まれる。

追而【地震 PRA、津波 PRA の最終評価結果を反映】

相違理由

【大飯】記載表現の相違(女川審査実績反映)
 ・泊は、女川と同様に、表題に記載する。

【大飯】整理方法の相違(女川審査実績反映)
 ・大飯は、「複数の信号系損傷」を地震及び津波特有の事故シナリオとして定義している。(このため、「対応手順」としては『「大規模地震発生時の対応」又は「大規模津波発生時の対応」に含まれる。』としている。)
 ・泊は、女川審査実績を踏まえ、「複数の信号系損傷」を地震特有、「複数の安全機能喪失」を津波特有の事故シナリオとして分類し定義している。

「事象の想定」欄について
 【大飯】記載内容、表現の相違
 ・泊は、第 37 条付録 1 での記載を踏まえ、記載内容を充実化している。

「CDF (/炉年)」欄について
 【大飯】【女川】個別評価による相違

灰色：泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																
<p>また、炉心損傷後に格納容器バイパスに至る以下の格納容器破損モードに対して、整備した手順書により緩和措置を行うことが可能である。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【比較のため、伊方3号炉技術的能力2.1まとめ資料添付資料2.1.2より引用】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;"> <p>第2.1.2-2表 炉心損傷防止が困難な事故シナリオ発生が含まれる格納容器破損モードへの対応手順</p> </td> <td style="width: 50%; text-align: center;"> <p>第2.1.2-3表 炉心損傷防止が困難な事故シナリオ発生が含まれる格納容器破損モードへの対応手順</p> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 30%;">事故シナリオグループ</th> <th style="width: 30%;">CDF (/炉年)</th> <th style="width: 30%;">対応手順</th> </tr> <tr> <td>1. 温度誘因蒸気発生器伝熱管破損 (TI-SGTR)</td> <td style="text-align: center;">1.9E-07</td> <td>「大規模地震発生時の対応」に含まれる。 ただし、炉心損傷防止対策として、「1次系への注水」が有効である。</td> </tr> </table> </td> <td style="text-align: center;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 30%;">事故シナリオグループ</th> <th style="width: 30%;">CDF (/炉年)</th> <th style="width: 30%;">対応手順</th> </tr> <tr> <td>1. 温度誘因蒸気発生器伝熱管破損 (TI-SGTR)</td> <td style="text-align: center;">8.4E-8</td> <td>「大規模地震発生時の対応」に含まれる。 ただし、炉心損傷防止対策として、「1次系への注水」が有効である。</td> </tr> </table> </td> </tr> </table> </div>	<p>第2.1.2-2表 炉心損傷防止が困難な事故シナリオ発生が含まれる格納容器破損モードへの対応手順</p>	<p>第2.1.2-3表 炉心損傷防止が困難な事故シナリオ発生が含まれる格納容器破損モードへの対応手順</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 30%;">事故シナリオグループ</th> <th style="width: 30%;">CDF (/炉年)</th> <th style="width: 30%;">対応手順</th> </tr> <tr> <td>1. 温度誘因蒸気発生器伝熱管破損 (TI-SGTR)</td> <td style="text-align: center;">1.9E-07</td> <td>「大規模地震発生時の対応」に含まれる。 ただし、炉心損傷防止対策として、「1次系への注水」が有効である。</td> </tr> </table>	事故シナリオグループ	CDF (/炉年)	対応手順	1. 温度誘因蒸気発生器伝熱管破損 (TI-SGTR)	1.9E-07	「大規模地震発生時の対応」に含まれる。 ただし、炉心損傷防止対策として、「1次系への注水」が有効である。	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 30%;">事故シナリオグループ</th> <th style="width: 30%;">CDF (/炉年)</th> <th style="width: 30%;">対応手順</th> </tr> <tr> <td>1. 温度誘因蒸気発生器伝熱管破損 (TI-SGTR)</td> <td style="text-align: center;">8.4E-8</td> <td>「大規模地震発生時の対応」に含まれる。 ただし、炉心損傷防止対策として、「1次系への注水」が有効である。</td> </tr> </table>	事故シナリオグループ	CDF (/炉年)	対応手順	1. 温度誘因蒸気発生器伝熱管破損 (TI-SGTR)	8.4E-8	「大規模地震発生時の対応」に含まれる。 ただし、炉心損傷防止対策として、「1次系への注水」が有効である。	<p>第2表 炉心損傷後に格納容器バイパスに至る格納容器破損モードの対応の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【比較のため、伊方3号炉技術的能力2.1まとめ資料添付資料2.1.2より引用】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;"> <p>第2.1.2-2表 炉心損傷防止が困難な事故シナリオ発生が含まれる格納容器破損モードへの対応手順</p> </td> <td style="width: 50%; text-align: center;"> <p>第2.1.2-3表 炉心損傷防止が困難な事故シナリオ発生が含まれる格納容器破損モードへの対応手順</p> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 30%;">事故シナリオグループ</th> <th style="width: 30%;">CDF (/炉年)</th> <th style="width: 30%;">対応手順</th> </tr> <tr> <td>1. 温度誘因蒸気発生器伝熱管破損 (TI-SGTR)</td> <td style="text-align: center;">8.4E-8</td> <td>「大規模地震発生時の対応」に含まれる。 ただし、炉心損傷防止対策として、「1次系への注水」が有効である。</td> </tr> </table> </td> <td style="text-align: center;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 30%;">事故シナリオグループ</th> <th style="width: 30%;">CDF (/炉年)</th> <th style="width: 30%;">対応手順</th> </tr> <tr> <td>1. 温度誘因蒸気発生器伝熱管破損 (TI-SGTR)</td> <td style="text-align: center;">8.4E-8</td> <td>「大規模地震発生時の対応」に含まれる。 ただし、炉心損傷防止対策として、「1次系への注水」が有効である。</td> </tr> </table> </td> </tr> </table> </div>	<p>第2.1.2-2表 炉心損傷防止が困難な事故シナリオ発生が含まれる格納容器破損モードへの対応手順</p>	<p>第2.1.2-3表 炉心損傷防止が困難な事故シナリオ発生が含まれる格納容器破損モードへの対応手順</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 30%;">事故シナリオグループ</th> <th style="width: 30%;">CDF (/炉年)</th> <th style="width: 30%;">対応手順</th> </tr> <tr> <td>1. 温度誘因蒸気発生器伝熱管破損 (TI-SGTR)</td> <td style="text-align: center;">8.4E-8</td> <td>「大規模地震発生時の対応」に含まれる。 ただし、炉心損傷防止対策として、「1次系への注水」が有効である。</td> </tr> </table>	事故シナリオグループ	CDF (/炉年)	対応手順	1. 温度誘因蒸気発生器伝熱管破損 (TI-SGTR)	8.4E-8	「大規模地震発生時の対応」に含まれる。 ただし、炉心損傷防止対策として、「1次系への注水」が有効である。	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 30%;">事故シナリオグループ</th> <th style="width: 30%;">CDF (/炉年)</th> <th style="width: 30%;">対応手順</th> </tr> <tr> <td>1. 温度誘因蒸気発生器伝熱管破損 (TI-SGTR)</td> <td style="text-align: center;">8.4E-8</td> <td>「大規模地震発生時の対応」に含まれる。 ただし、炉心損傷防止対策として、「1次系への注水」が有効である。</td> </tr> </table>	事故シナリオグループ	CDF (/炉年)	対応手順	1. 温度誘因蒸気発生器伝熱管破損 (TI-SGTR)	8.4E-8	「大規模地震発生時の対応」に含まれる。 ただし、炉心損傷防止対策として、「1次系への注水」が有効である。	<p>第2表 炉心損傷後に格納容器バイパスに至る格納容器破損モードの対応の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【比較のため、伊方3号炉技術的能力2.1まとめ資料添付資料2.1.2より引用】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;"> <p>第2.1.2-2表 炉心損傷防止が困難な事故シナリオ発生が含まれる格納容器破損モードへの対応手順</p> </td> <td style="width: 50%; text-align: center;"> <p>第2.1.2-3表 炉心損傷防止が困難な事故シナリオ発生が含まれる格納容器破損モードへの対応手順</p> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 30%;">事故シナリオグループ</th> <th style="width: 30%;">CDF (/炉年)</th> <th style="width: 30%;">対応手順</th> </tr> <tr> <td>1. 温度誘因蒸気発生器伝熱管破損 (TI-SGTR)</td> <td style="text-align: center;">1.9E-07</td> <td>「大規模地震発生時の対応」に含まれる。 ただし、炉心損傷防止対策として、「1次系への注水」が有効である。</td> </tr> </table> </td> <td style="text-align: center;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 30%;">事故シナリオグループ</th> <th style="width: 30%;">CDF (/炉年)</th> <th style="width: 30%;">対応手順</th> </tr> <tr> <td>1. 温度誘因蒸気発生器伝熱管破損 (TI-SGTR)</td> <td style="text-align: center;">8.4E-8</td> <td>「大規模地震発生時の対応」に含まれる。 ただし、炉心損傷防止対策として、「1次系への注水」が有効である。</td> </tr> </table> </td> </tr> </table> </div>	<p>第2.1.2-2表 炉心損傷防止が困難な事故シナリオ発生が含まれる格納容器破損モードへの対応手順</p>	<p>第2.1.2-3表 炉心損傷防止が困難な事故シナリオ発生が含まれる格納容器破損モードへの対応手順</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 30%;">事故シナリオグループ</th> <th style="width: 30%;">CDF (/炉年)</th> <th style="width: 30%;">対応手順</th> </tr> <tr> <td>1. 温度誘因蒸気発生器伝熱管破損 (TI-SGTR)</td> <td style="text-align: center;">1.9E-07</td> <td>「大規模地震発生時の対応」に含まれる。 ただし、炉心損傷防止対策として、「1次系への注水」が有効である。</td> </tr> </table>	事故シナリオグループ	CDF (/炉年)	対応手順	1. 温度誘因蒸気発生器伝熱管破損 (TI-SGTR)	1.9E-07	「大規模地震発生時の対応」に含まれる。 ただし、炉心損傷防止対策として、「1次系への注水」が有効である。	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 30%;">事故シナリオグループ</th> <th style="width: 30%;">CDF (/炉年)</th> <th style="width: 30%;">対応手順</th> </tr> <tr> <td>1. 温度誘因蒸気発生器伝熱管破損 (TI-SGTR)</td> <td style="text-align: center;">8.4E-8</td> <td>「大規模地震発生時の対応」に含まれる。 ただし、炉心損傷防止対策として、「1次系への注水」が有効である。</td> </tr> </table>	事故シナリオグループ	CDF (/炉年)	対応手順	1. 温度誘因蒸気発生器伝熱管破損 (TI-SGTR)	8.4E-8	「大規模地震発生時の対応」に含まれる。 ただし、炉心損傷防止対策として、「1次系への注水」が有効である。	<p>相違理由</p> <p>【大阪】記載表現の相違(女川審査実績反映) ・泊は、女川と同様に、表題を記載する。</p> <p>【女川】設計の相違 ・蒸気発生器の有無により、格納容器破損モードが相違している。</p> <p>「格納容器破損モード」欄について 【大阪】 【女川】記載表現の相違 ・泊は、レベル1.5PRAにより抽出された格納容器破損モードを示すことから、項目名について整合を図っている。(伊方3号、玄海3/4号、島根2号、東海第二と同様。)</p> <p>「事象の想定」欄について 【大阪】記載表現の相違(用語の統一) ・1次系⇔1次冷却系 ・2次系⇔2次冷却系 【大阪】記載表現の相違(女川審査実績反映)</p> <p>「CDF (/炉年)」欄について 【大阪】個別評価による相違</p>
<p>第2.1.2-2表 炉心損傷防止が困難な事故シナリオ発生が含まれる格納容器破損モードへの対応手順</p>	<p>第2.1.2-3表 炉心損傷防止が困難な事故シナリオ発生が含まれる格納容器破損モードへの対応手順</p>																																																		
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 30%;">事故シナリオグループ</th> <th style="width: 30%;">CDF (/炉年)</th> <th style="width: 30%;">対応手順</th> </tr> <tr> <td>1. 温度誘因蒸気発生器伝熱管破損 (TI-SGTR)</td> <td style="text-align: center;">1.9E-07</td> <td>「大規模地震発生時の対応」に含まれる。 ただし、炉心損傷防止対策として、「1次系への注水」が有効である。</td> </tr> </table>	事故シナリオグループ	CDF (/炉年)	対応手順	1. 温度誘因蒸気発生器伝熱管破損 (TI-SGTR)	1.9E-07	「大規模地震発生時の対応」に含まれる。 ただし、炉心損傷防止対策として、「1次系への注水」が有効である。	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 30%;">事故シナリオグループ</th> <th style="width: 30%;">CDF (/炉年)</th> <th style="width: 30%;">対応手順</th> </tr> <tr> <td>1. 温度誘因蒸気発生器伝熱管破損 (TI-SGTR)</td> <td style="text-align: center;">8.4E-8</td> <td>「大規模地震発生時の対応」に含まれる。 ただし、炉心損傷防止対策として、「1次系への注水」が有効である。</td> </tr> </table>	事故シナリオグループ	CDF (/炉年)	対応手順	1. 温度誘因蒸気発生器伝熱管破損 (TI-SGTR)	8.4E-8	「大規模地震発生時の対応」に含まれる。 ただし、炉心損傷防止対策として、「1次系への注水」が有効である。																																						
事故シナリオグループ	CDF (/炉年)	対応手順																																																	
1. 温度誘因蒸気発生器伝熱管破損 (TI-SGTR)	1.9E-07	「大規模地震発生時の対応」に含まれる。 ただし、炉心損傷防止対策として、「1次系への注水」が有効である。																																																	
事故シナリオグループ	CDF (/炉年)	対応手順																																																	
1. 温度誘因蒸気発生器伝熱管破損 (TI-SGTR)	8.4E-8	「大規模地震発生時の対応」に含まれる。 ただし、炉心損傷防止対策として、「1次系への注水」が有効である。																																																	
<p>第2.1.2-2表 炉心損傷防止が困難な事故シナリオ発生が含まれる格納容器破損モードへの対応手順</p>	<p>第2.1.2-3表 炉心損傷防止が困難な事故シナリオ発生が含まれる格納容器破損モードへの対応手順</p>																																																		
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 30%;">事故シナリオグループ</th> <th style="width: 30%;">CDF (/炉年)</th> <th style="width: 30%;">対応手順</th> </tr> <tr> <td>1. 温度誘因蒸気発生器伝熱管破損 (TI-SGTR)</td> <td style="text-align: center;">8.4E-8</td> <td>「大規模地震発生時の対応」に含まれる。 ただし、炉心損傷防止対策として、「1次系への注水」が有効である。</td> </tr> </table>	事故シナリオグループ	CDF (/炉年)	対応手順	1. 温度誘因蒸気発生器伝熱管破損 (TI-SGTR)	8.4E-8	「大規模地震発生時の対応」に含まれる。 ただし、炉心損傷防止対策として、「1次系への注水」が有効である。	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 30%;">事故シナリオグループ</th> <th style="width: 30%;">CDF (/炉年)</th> <th style="width: 30%;">対応手順</th> </tr> <tr> <td>1. 温度誘因蒸気発生器伝熱管破損 (TI-SGTR)</td> <td style="text-align: center;">8.4E-8</td> <td>「大規模地震発生時の対応」に含まれる。 ただし、炉心損傷防止対策として、「1次系への注水」が有効である。</td> </tr> </table>	事故シナリオグループ	CDF (/炉年)	対応手順	1. 温度誘因蒸気発生器伝熱管破損 (TI-SGTR)	8.4E-8	「大規模地震発生時の対応」に含まれる。 ただし、炉心損傷防止対策として、「1次系への注水」が有効である。																																						
事故シナリオグループ	CDF (/炉年)	対応手順																																																	
1. 温度誘因蒸気発生器伝熱管破損 (TI-SGTR)	8.4E-8	「大規模地震発生時の対応」に含まれる。 ただし、炉心損傷防止対策として、「1次系への注水」が有効である。																																																	
事故シナリオグループ	CDF (/炉年)	対応手順																																																	
1. 温度誘因蒸気発生器伝熱管破損 (TI-SGTR)	8.4E-8	「大規模地震発生時の対応」に含まれる。 ただし、炉心損傷防止対策として、「1次系への注水」が有効である。																																																	
<p>第2.1.2-2表 炉心損傷防止が困難な事故シナリオ発生が含まれる格納容器破損モードへの対応手順</p>	<p>第2.1.2-3表 炉心損傷防止が困難な事故シナリオ発生が含まれる格納容器破損モードへの対応手順</p>																																																		
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 30%;">事故シナリオグループ</th> <th style="width: 30%;">CDF (/炉年)</th> <th style="width: 30%;">対応手順</th> </tr> <tr> <td>1. 温度誘因蒸気発生器伝熱管破損 (TI-SGTR)</td> <td style="text-align: center;">1.9E-07</td> <td>「大規模地震発生時の対応」に含まれる。 ただし、炉心損傷防止対策として、「1次系への注水」が有効である。</td> </tr> </table>	事故シナリオグループ	CDF (/炉年)	対応手順	1. 温度誘因蒸気発生器伝熱管破損 (TI-SGTR)	1.9E-07	「大規模地震発生時の対応」に含まれる。 ただし、炉心損傷防止対策として、「1次系への注水」が有効である。	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 30%;">事故シナリオグループ</th> <th style="width: 30%;">CDF (/炉年)</th> <th style="width: 30%;">対応手順</th> </tr> <tr> <td>1. 温度誘因蒸気発生器伝熱管破損 (TI-SGTR)</td> <td style="text-align: center;">8.4E-8</td> <td>「大規模地震発生時の対応」に含まれる。 ただし、炉心損傷防止対策として、「1次系への注水」が有効である。</td> </tr> </table>	事故シナリオグループ	CDF (/炉年)	対応手順	1. 温度誘因蒸気発生器伝熱管破損 (TI-SGTR)	8.4E-8	「大規模地震発生時の対応」に含まれる。 ただし、炉心損傷防止対策として、「1次系への注水」が有効である。																																						
事故シナリオグループ	CDF (/炉年)	対応手順																																																	
1. 温度誘因蒸気発生器伝熱管破損 (TI-SGTR)	1.9E-07	「大規模地震発生時の対応」に含まれる。 ただし、炉心損傷防止対策として、「1次系への注水」が有効である。																																																	
事故シナリオグループ	CDF (/炉年)	対応手順																																																	
1. 温度誘因蒸気発生器伝熱管破損 (TI-SGTR)	8.4E-8	「大規模地震発生時の対応」に含まれる。 ただし、炉心損傷防止対策として、「1次系への注水」が有効である。																																																	

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉 添付資料 2.1.3 大規模損壊発生時の対応	女川原子力発電所2号炉 添付資料 2.1.10 大規模損壊発生時の対応	泊発電所3号炉 添付資料 2.1.3 大規模損壊発生時の対応	相違理由
<p>大規模な自然災害又は故意による大型航空機の衝突その他のテロリズム発生時の対応概要</p> <p>大規模な自然災害又は故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムによる大規模損壊発生時には、プラントの監視機能及び制御機能の喪失や航空機墜落等による大規模火災等の発生が想定され、このような状況において、初動対応を行う上で最も優先すべきはプラントの状況を把握することである。</p> <p>このため、事象が発生した場合、緊急時対策本部要員は大まかなプラント状況の確認、把握を行った後、速やかに「大規模損壊時プラント状態確認チェックシート」を用いて、具体的にプラント被災状況、対応可能要員の把握等を行い、その事象に応じた適切な対応を行っていく。</p> <p>【比較のため、島根原子力発電所2号炉技術的能力2.1まとめ資料添付資料2.1.11より引用】</p> <p>このため、事象が発生した場合、緊急時対策本部は、中央制御室の状況、大まかなプラント状況の確認、把握を可能な範囲で行った後、速やかに「プラント状態確認チェックシート」を用いて、具体的にプラント被災状況、対応可能要員の把握等を行う。</p>	<p>大規模な自然災害又は故意による大型航空機の衝突その他のテロリズム発生時の対応概要</p> <p>大規模な自然災害又は故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムによる大規模損壊発生時には、プラントの監視及び制御機能の喪失や航空機墜落等による大規模火災等の発生が想定され、このような状況において、初動対応を行う上で最も優先すべきはプラントの状況を把握することである。</p> <p>事象が発生した場合、原子力防災管理者は、中央制御室の状況、プラント状態の大まかな確認及び把握（プラント状態確認チェックシートを活用。）により、得られた情報から大規模損壊に相当する事象と認知した場合、大規模損壊の発生を判断する。これは、直ちに大規模損壊に至る場合においても大規模損壊に相当する事象と認知した時点で大規模損壊の発生を判断する。</p> <p>また、中央制御室との連絡、発電所対策本部の設置、重大事故等対応要員の招集を行う。</p> <p>大規模損壊を判断した場合は、発電所外への放射性物質放出の防止及び抑制を最優先として、対応要員数、可搬設備、常設設備を含めた残存する資源等を確認し、最大限の努力によって得られる結果を想定して、当面達成すべき目標を設定し、そのために優先すべき戦略を決定する。また、事象進展によりプラント状況が変化した場合、プラント状況に応じて、設定する目標も随時見直し対応する。</p> <p>大規模損壊を判断した場合は、技術的能力に係る審査基準1.2から1.14で整備した手順を活用し、さらに可搬型設備を本来の用途とは別の用途で使用するという柔軟な対応ができるよう大規模損壊に特化した手順を整備する。</p> <p>この大規模損壊に特化した手順は、技術的能力に係る審査基準の各項で整備した手順が使用困難な場合に、プラント状態、可搬型設備の状況、設置時間等を総合的に判断し使用する。</p>	<p>大規模な自然災害又は故意による大型航空機の衝突その他のテロリズム発生時の対応概要</p> <p>大規模な自然災害又は故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムによる大規模損壊発生時には、プラントの監視機能及び制御機能の喪失や航空機墜落等による大規模火災等の発生が想定され、このような状況において、初動対応を行う上で最も優先すべきはプラントの状況を把握することである。</p> <p>このため、事象が発生した場合、発電所対策本部は、中央制御室の状況、大まかなプラント状況の確認及び把握を可能な範囲で行った後、速やかに「プラント状態確認チェックシート」を用いて、具体的にプラント被災状況、対応可能要員の把握等を行う。</p> <p>また、中央制御室との連絡、発電所対策本部の設置、発電所災害対策要員の招集を行う。</p> <p>大規模損壊発生時には、発電所外への放射性物質放出の防止及び抑制を最優先として、対応要員数、可搬設備、常設設備を含めた残存する資源等を確認し、緩和操作を選択するための判断フローに基づき、事象進展に応じた対応操作を選定する。</p> <p>大規模損壊を判断した場合は、技術的能力に係る審査基準1.2から1.14で整備した手順を活用し、さらに可搬型設備を本来の用途とは別の用途で使用するという柔軟な対応ができるよう大規模損壊に特化した手順を整備する。</p> <p>この大規模損壊に特化した手順は、技術的能力に係る審査基準の各項で整備した手順が使用困難な場合に、プラント状態、可搬型設備の状況、設置時間等を総合的に判断し使用する。</p>	<p>【女川】資料番号の相違</p> <p>【女川】記載表現の相違</p> <p>【大飯】【女川】記載表現の相違（島根2号と同様。）</p> <p>【大飯】名称の相違（女川審査実績反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模損壊時プラント状態確認チェックシート⇔プラント状態確認チェックシート <p>（以降、相違理由の記載を省略する。）</p> <p>【女川】運用の相違（チェックシートの活用）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川は、緊急体制が発令するような事象が発生した時点より、チェックシートを活用し、得られた情報より大規模損壊の発生を判断する。 ・泊は、大飯と同様に、大規模損壊の発生を判断した場合に、大規模損壊発生時の対応手順書に基づく活動に移行し、チェックシート等を活用して情報を収集する。 <p>（以降、相違理由の記載を省略する。）</p> <p>【大飯】記載内容の相違（女川審査実績反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、女川審査実績を反映し、大飯欄の「その事象に応じた適切な対応」に係る記載を充実化した。 <p>【女川】運用の相違（目標設定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川は、得られたプラントの情報を基に当面達成すべき目標を設定し、優先すべき戦略を決定する。 ・泊は、大飯と同様に、得られたプラントの情報を基に、判断フローに従って実施する戦略を選択する。大規模損壊時には、対策本部要員も含め限られた要員かつ限定的なプラント情報での対応が想定されることから、指揮者が極力判断に迷うことのない手順となるように、目標設定については明示せず、判断フローを充実させる方針としている。

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>以下に、事象に応じた対応概要、大規模損壊発生時の初動対応フロー及び大規模損壊時プラント状態確認チェックシートを示す。</p>	<p>以下に、初期対応の概要、発電所対策本部で使用する対応フロー、プラント状態確認チェックシートを示す。</p>	<p>以下に、初期対応の概要、大規模損壊発生時の初動対応フロー及びプラント状態確認チェックシートを示す。</p>	<p>【大阪】記載表現の相違(女川審査実績反映) 【女川】記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川は、初動対応フロー及び個別戦略フローを示すことから「発電所対策本部で使用する対応フロー」としている。 ・泊は、大阪と同様に、ここでは初動対応フローを示すため、記載表現が異なる。 (以降、相違理由の記載を省略する。)

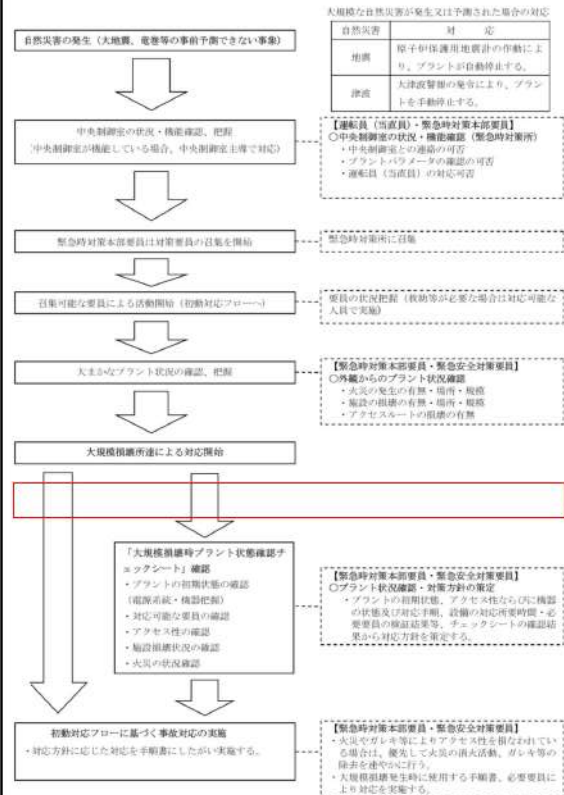
灰色：泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉

a. 大規模な自然災害又は故意による大型航空機の衝突時の対応概要（川内ヒアリング）
 (a) 初期対応の全体フロー概略（大地震、竜巻等の事前予測ができない事象の場合）



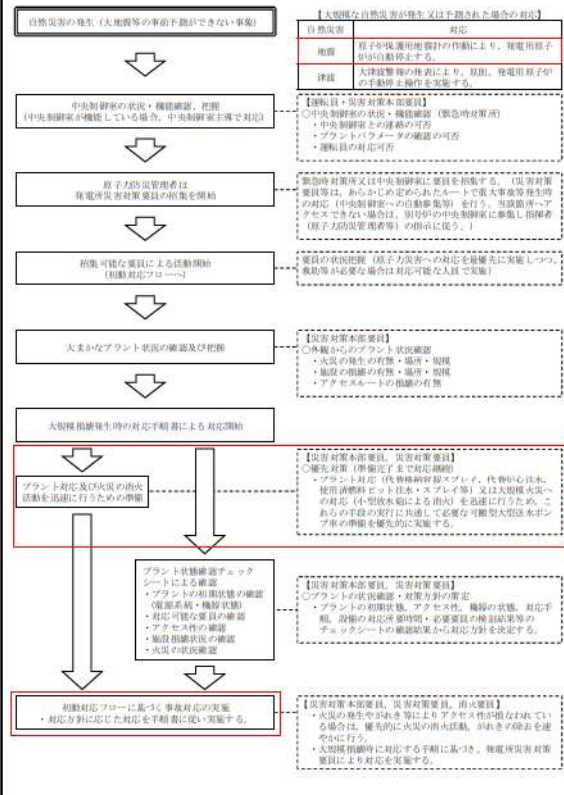
女川原子力発電所2号炉

1. 大規模な自然災害又は故意による大型航空機の衝突時の対応概要
 (1) 対応の全体フロー概略（大地震等の事前予測ができない事象の場合）



泊発電所3号炉

1. 大規模な自然災害又は故意による大型航空機の衝突時の対応概要
 (1) 対応の全体フロー概略（大地震等の事前予測ができない事象の場合）



相違理由

- 【大飯】記載表現の相違
- 【女川】運用の相違（目標設定）
 - 女川は、得られたプラントの情報に基づき当面達成すべき目標を設定し、優先すべき戦略を決定する。
 - 泊は、大飯と同様に、得られたプラントの情報に基づき、判断フローに従って実施する戦略を選択する。大規模損壊時には、対策本部要員も含め限られた要員かつ限定的なプラント情報での対応が想定されることから、指揮者が極力判断に迷うことのない手順となるように、目標設定については明示せず、判断フローを充実させる方針としている。
- 【大飯】【女川】運用の相違（可搬型設備の先行準備）
 - 泊は、大規模損壊が発生した場合（又は発生が疑われる場合）には、応用範囲が広い（炉心注水、格納容器スプレイ、格納容器内自然対流冷却、使用済燃料ビット注水・スプレイ、燃料取替用ビット・補助給水ビット補給、消火等）可搬型大型送水ポンプ車の準備を速やかに開始する。ただし、原子炉格納容器の外観に明らかな破損が確認された場合には、可搬型大容量海水送水ポンプ車及び放水砲等を優先して準備する。（伊方3号と同様の考え方）

灰色：泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p>(b) 初期対応の全体フロー概略（大津波警報の発令（事前予測ができる事象）の場合）</p> <p>自然災害の発生（大津波警報の発令）</p> <p>緊急時対策本部委員は対策委員の召集を開始（津波の影響が考えられる場合は、運転員（当直員）は一旦高台へ避難する）</p> <p>体制確立後、第2波、第3波の津波の情報を継続的に収集し、活動開始（初期対応フロー）</p> <p>大まかなプラント状況の確認、把握</p> <p>中央制御室の状況・機能確認、把握 ※ 津波到達後の状況把握</p> <p>大規模損壊発生による対応開始</p> <p>「大規模損壊時プラント状態確認チェックシート」確認 ・プラントの初期状態の確認（電源系、機器状態） ・対応可能な要員の確認 ・アクセス性の確認 ・施設損壊状況の確認 ・火災の状況確認</p> <p>初期対応フローに基づく事故対応の実施 ・対応方針に応じた対応手順書にしたがい実施する。</p> <p>【緊急時対策本部委員・緊急安全対策委員】 ・火災や爆発等によりアクセス不能となっている場合は、優先して火災の消火活動、ガス等の除去を速やかに行う。 ・大規模損壊発生時に使用する手順書。必要要員により対応を実施する。</p>	<p>(2) 対応の全体フロー概略（大津波警報の発表（事前予測が出来る事象）の場合）</p> <p>大津波警報発表</p> <p>警戒対策体制発令</p> <p>原子炉が停止、高台への避難</p> <p>大規模な津波襲来</p> <p>緊急体制発令事象</p> <p>建屋等へのアクセス確認 ・アクセスルート確認（保管エリア含む） ・火災発生の有無 ・建屋の損壊状況</p> <p>中央制御室との連絡 主要パラメータの確認</p> <p>消火活動</p> <p>要員の安全確保^{※1}</p> <p>プラント状態の大まかな確認及び把握により得られた情報から大規模損壊に相当する事象と認知した時点で、大規模損壊の発生を判断する。</p> <p>発電所外への放射性物質放出の防止及び抑圧を最優先として、対応要員数、可能設備、常設設備を含めた残存する資源等を確保（プラント状態チェックシートを活用し、最大限の努力によって得られる結果を想定して、当面達成すべき目標を設定し、そのために優先すべき戦略を決定する。</p> <p>※1 各事故対応に当たっては、要員の安全確保を最優先とするとともに、人命救助が必要な場合は、原子力災害に対応しつつ、発電所構内の人員の協力を得て、安全確保の上、人命救助を行う。</p> <p>停止、冷却、閉じ込めの機能の確保</p> <p>使用済燃料プール冷却</p> <p>アクセスルート確保^{※2}（消火活動含む）</p> <p>電源確保</p> <p>放射性物質拡散抑制</p> <p>※2 プラント等によるおれき撤去作業、事故対応を行うためのアクセスルート及び各影響種別対策の作業に大規模な火災発生に類似することにより被害の拡大につながる可能性のある状況の消火活動を優先に実施する。</p>	<p>(2) 対応の全体フロー概略（大津波警報の発表（事前予測ができる事象）の場合）</p> <p>自然災害の発生（大津波警報の発令）</p> <p>大津波の発生を確認</p> <p>原子力防災管理者は発生状況や対策委員の到着を開始（津波の影響が考えられる場合は、運転員は、一旦高台へ避難する）</p> <p>体制確立後、第2波、第3波の津波の情報を継続的に収集し、対応を開始する（初期対応フロー）</p> <p>大まかなプラント状況の確認及び把握</p> <p>中央制御室の状況・機能確認、把握（津波到達後の状況把握）</p> <p>大規模損壊発生時の対応手順書による対応開始</p> <p>「大規模損壊時プラント状態確認チェックシート」による確認 ・プラントの初期状態の確認（電源系・機器状態） ・対応可能な要員の確認 ・アクセス性の確認 ・施設損壊状況の確認 ・火災の状況確認</p> <p>初期対応フローに基づく事故対応の実施 ・対応方針に応じた対応手順書にしたがい実施する。</p> <p>【大規模な自然災害が発生し予測された場合の対応】 自然災害 対応 地震 原子炉保護用機器の作動により、発電用原子炉が自動停止する。 津波 大津波警報の発表により、原則、発電用原子炉の手動停止操作を実施する。</p> <p>【緊急時対策委員又は中央制御室に要員を招集する。（災害対策委員等は、あらかじめ定められたルートで最大事故発生時の対応（中央制御室への初期参集等）を行う。当該箇所へアクセスできない場合は、原子炉の中央制御室に集積し関係者（原子力防災管理者等）の指示に従う。）】 要員の状況把握（原子力災害への対応を最優先に実施しつつ、救助が必要な場合は対応可能な人員で実施）</p> <p>【災害対策本部委員、災害対策委員、消火要員】 ・火災の発生状況等によりアクセス不能となっている場合は、優先して火災の消火活動、おれきの除去を速やかに行う。 ・大規模損壊発生時に使用する手順書。必要要員により対応を実施する。</p>	<p>【大飯】記載表現の相違（女川審査実績反映）</p> <p>【女川】運用の相違（目標設定）</p> <ul style="list-style-type: none"> 女川は、得られたプラントの情報を基に当面達成すべき目標を設定し、優先すべき戦略を決定する。 泊は、大飯と同様に、得られたプラントの情報を基に、判断フローに従って実施する戦略を選択する。大規模損壊時には、対策本部委員も含め限られた要員かつ限定的なプラント情報での対応が想定されることから、指揮者が極力判断に迷うことのない手順となるように、目標設定については明示せず、判断フローを充実させる方針としている。

灰色：泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>特開の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p>(3) 対応の全体フロー概略（大型航空機の衝突の場合）</p> <p>大型航空機の衝突</p> <p>緊急体制整合事象</p> <p>プラント状態の大きな確認及び把握により得られた情報から大規模損壊に相当する事象と認知した時点で、大規模損壊の発生を判断する。</p> <p>要員の安全確保^{※1}</p> <p>発電所外への放射性物質放出の防止及び抑制を最優先として、対応要員数、可搬設備、常設設備を含めた残存する資源等を確認（プラント状態チェックシートを活用し、最大限の努力によって得られる結果を想定して、当面達成すべき目標を設定し、そのために優先すべき戦略を決定する。</p> <p>※1 各事故対応に当たっては、要員の安全確保を最優先とするとともに、人命救助が必要な場合は、原子力災害に対応しつつ、発電所構内の人員の協力を得て、安全確保の上、人命救助を行う。</p> <p>停止、治理、閉じ込め機能の維持</p> <p>使用済燃料プール冷却</p> <p>アクセスルート確保^{※2}（消火活動含む）</p> <p>電源確保</p> <p>放射性物質拡散抑制</p> <p>※2 プランナー等による消火活動作業、事故対応を行うためのアクセスルート及び各制御室と対策作業に支障となる火災並びに延焼することにより機器の拡大につながる可能性のある火災の消火活動を優先に実施する。</p>	<p>(3) 対応の全体フロー概略（大型航空機の衝突の場合）</p> <p>大型航空機の衝突の発生</p> <p>中央制御室の状況・機体確認、把握（中央制御室が機能している場合、中央制御室主導で対応）</p> <p>原子力防災管理者は、発電所災害対策委員の招集を開始</p> <p>体制確立後、招集可能な要員での活動開始（初期対応フローへ）</p> <p>大きなプラント状況の確認及び把握</p> <p>大規模損壊発生時の対応手順書による対応開始</p> <p>プラント対応及び火災の消火活動を活動に行うための準備</p> <p>プラント状態確認チェックシートによる確認</p> <p>プラントの初期状態の確認</p> <p>電源系統・機体状態</p> <p>対応可能な要員の確認</p> <p>アクセス性の確認</p> <p>施設相違状態の確認</p> <p>火災の状況確認</p> <p>初期対応フローに基づき事故対応の実施・対応方針に応じた対応手順書に依り実施する。</p> <p>【運転員・災害対策本部要員】 ◎中央制御室の状況・機体確認（緊急時対応所） ・中央制御室との連絡の可否 ・プラントパラメータの確認の可否 ・運転員の対応可否</p> <p>【災害対策本部要員、災害対策委員】 ◎緊急時対応所又は中央制御室に要員を招集する。（災害対策委員等は、あらかじめ定められたルートで重大事故発生時の対応（中央制御室への自動通報等）を行う。当該階層へアクセスできない場合は、初発の中央制御室に参集し関係者（原子力防災管理者等）の指示に従う。）</p> <p>【災害対策本部要員】 ◎外観からのプラント状況確認 ・火災の発生の有無・場所・規模 ・施設の損壊の有無・場所・規模 ・アクセスルートの損壊の有無</p> <p>【災害対策本部要員、災害対策委員】 ◎優先対策（準備完了まで対応継続） ・プラント対応（代替格納容器スプレィ、代替中心注水、使用済燃料ビット注水・スプレィ等）又は大規模火災への対応（初期状態による消火）を迅速に行うため、これらの手段の実行に共通して必要な可搬型大型送水ポンプ車の準備を優先的に実施する。 ・ただし、原子力発電所設備に類する設備が確認された場合には、可搬型大容量海水送水ポンプ車を優先して準備する。</p> <p>【災害対策本部要員、災害対策委員、消火要員】 ・火災の発生や消火等によりアクセス性が損なわれている場合は、優先的に火災の消火活動、おぼやきの除去を速やかに行う。 ・大規模損壊時に対応する手順に基づき、発電所災害対策委員により対応を実施する。</p>	<p>相違理由</p> <p>【女川】運用の相違（目標設定）</p> <ul style="list-style-type: none"> 女川は、得られたプラントの情報を基に当面達成すべき目標を設定し、優先すべき戦略を決定する。 泊は、大阪と同様に、得られたプラントの情報を基に、判断フローに従って実施する戦略を選択する。大規模損壊時には、対策本部要員も含め限られた要員かつ限定的なプラント情報での対応が想定されることから、指揮者が極力判断に迷うことのない手順となるように、目標設定については明示せず、判断フローを充実させる方針としている。 <p>【大阪】【女川】運用の相違（可搬型設備の先行準備）</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は、大規模損壊が発生した場合（又は発生が疑われる場合）には、応用範囲が広い（炉心注水、格納容器スプレィ、格納容器内自然対流冷却、使用済燃料ビット注水・スプレィ、燃料取替用水ビット・補助給水ビット補給、消火等）可搬型大型送水ポンプ車の準備を速やかに開始する。ただし、原子炉格納容器の外観に明らかな破損が確認された場合には、可搬型大容量海水送水ポンプ車及び放水砲等を優先して準備する。（伊方3号と同様の考え方）

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>特開みの範囲は機密に係る事項ですので公開できません。</p>	<p>(4) 対応の全体フロー概略（テロリズムの発生の場合）</p> <p>特開みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p>(4) 対応の全体フロー概略（テロリズムの発生の場合）</p> <p>特開みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p>相違理由</p> <p>【女川】運用の相違（目標設定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川は、得られたプラントの情報を基に当面達成すべき目標を設定し、優先すべき戦略を決定する。 ・泊は、大阪と同様に、得られたプラントの情報を基に、判断フローに従って実施する戦略を選択する。大規模損壊時には、対策本部要員も含め限られた要員かつ限定的なプラント情報での対応が想定されることから、指揮者が極力判断に迷うことのない手順となるように、目標設定については明示せず、判断フローを充実させる方針としている。 <p>【大阪】【女川】運用の相違（可搬型設備の先行準備）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、大規模損壊が発生した場合（又は発生が疑われる場合）には、応用範囲が広い（炉心注水、格納容器スプレイ、格納容器内自然対流冷却、使用済燃料ビット注水・スプレイ、燃料取替用水ビット・補助給水ビット補給、消火等）可搬型大型送水ポンプ車の準備を速やかに開始する。ただし、原子炉格納容器の外観に明らかな破損が確認された場合には、可搬型大容量海水送水ポンプ車及び放水砲等を優先して準備する。（伊方3号と同様の考え方）

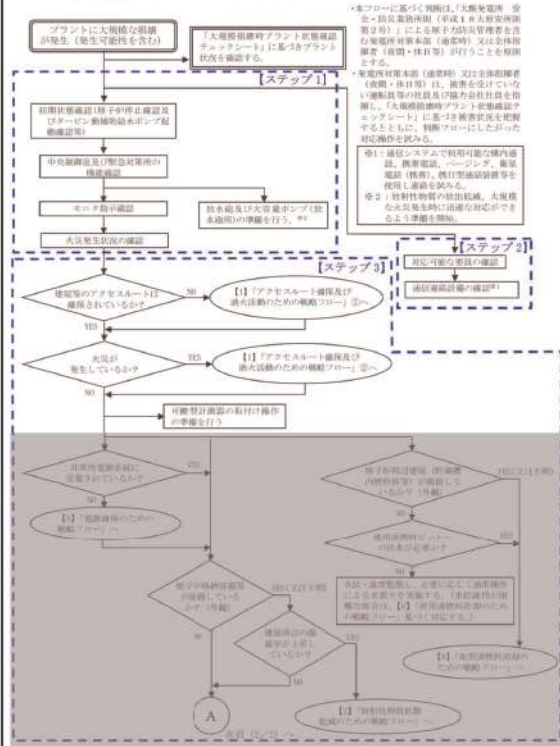
灰色：泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所 3 / 4号炉

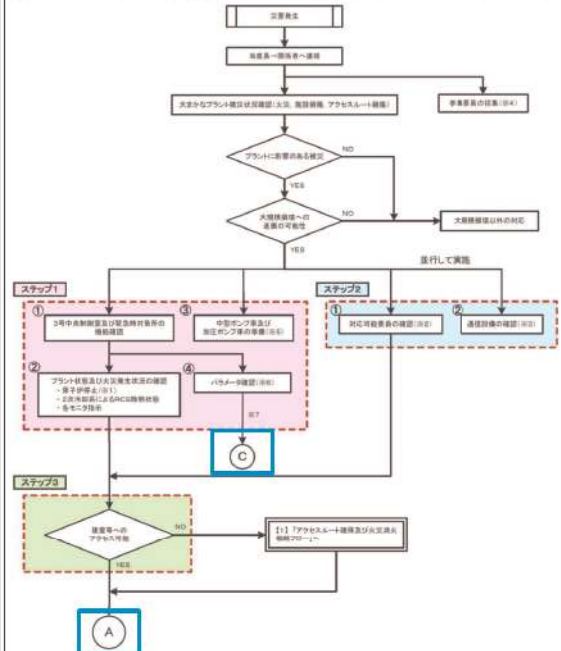
b. 大規模損壊発生時の初動対応フロー（1/2）



女川原子力発電所 2号炉

【比較のため、伊方3号炉技術的能力 2.1 まとめ資料添付資料 2.1.3 より引用】

第 2.1.3-2 図 大規模損壊発生時の初動対応フロー（1/3）



■本フローに基づく判断は、「伊方発電所防災計画（原子力災害編）」による原子力防災管理を含む発電所災害対策本部（通報時）又は連絡責任者（休日・夜間時）が行うこととされている。

■本フローに記載のステップ数は、「伊方3号炉プラント状態確認チェックシート」での確認ステップ番号を示している。

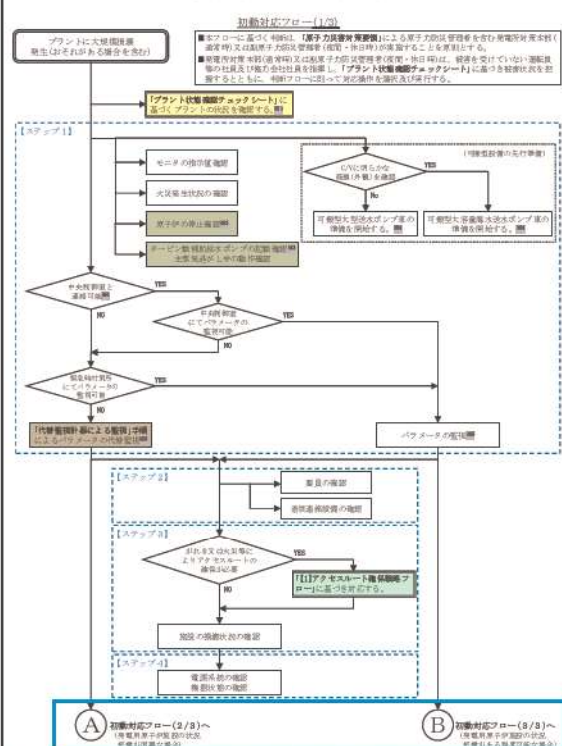
■発電所災害対策本部（通報時）又は連絡責任者（休日・夜間時）は、被害を受けていない発電所災害対策本部員を待機し、「伊方3号炉プラント状態確認チェックシート」に基づき被災状況を把握するとともに、初動対応フローに従った判断および連絡対応を試みる。

※1：原子炉が停止していない場合は、手動による原子炉停止を実施する。
 ※2：通報時は、発電所災害対策本部員のうち対応可能な者が初動対応を行う。
 ※3：通報時は、連絡責任者（注1）の連絡責任者及び、2. 3号炉当班員のうち、対応可能な者が初動対応を行う。
 ※4：連絡設備で利用可能な構内電話、携帯電話（PHS）、携帯電話及び有線電話等を使用して、連絡を試みる。
 ※5：参事委員の位置は、休日・夜間時に行う。
 ※6：プラント対応又は大規模損壊発生時の迅速な対応に備えて中規模ポンプ車及び加圧ポンプ車の準備を開始する。中規模ポンプ車及び加圧ポンプ車の準備ができない場合は、原子炉格納容器に十分な水量が確認された場合でかつ海水取水のためのアクセスルートが確保されている場合は、大型ポンプ車の準備を開始する。
 ※7：パワープラント監視機能喪失時は、可搬型燃料貯蔵タンクによるパワープラント監視作業を開始する。確認対象のパワープラントは、「大規模損壊発生時」に確認するプラント/パワープラントによる。
 ※8：炉心出口温度、1次冷却材圧力、原子炉格納容器内圧力、使用済燃料ピット水位を中央制御室にて採取し、採取値より対応が必要な監視項目へ移行する。

泊発電所 3号炉

2. 大規模損壊発生時の初動対応フロー

初動対応フロー（1/3）



■本フローに基づく判断は、「伊方発電所防災計画（原子力災害編）」による原子力防災管理を含む発電所災害対策本部（通報時）又は連絡責任者（休日・夜間時）が行うこととされている。

■本フローに記載のステップ数は、「伊方3号炉プラント状態確認チェックシート」での確認ステップ番号を示している。

■発電所災害対策本部（通報時）又は連絡責任者（休日・夜間時）は、被害を受けていない発電所災害対策本部員を待機し、「伊方3号炉プラント状態確認チェックシート」に基づき被災状況を把握するとともに、初動対応フローに従った判断および連絡対応を試みる。

※1：原子炉が停止していない場合は、手動による原子炉停止を実施する。
 ※2：通報時は、発電所災害対策本部員のうち対応可能な者が初動対応を行う。
 ※3：通報時は、連絡責任者（注1）の連絡責任者及び、2. 3号炉当班員のうち、対応可能な者が初動対応を行う。
 ※4：連絡設備で利用可能な構内電話、携帯電話（PHS）、携帯電話及び有線電話等を使用して、連絡を試みる。
 ※5：参事委員の位置は、休日・夜間時に行う。
 ※6：プラント対応又は大規模損壊発生時の迅速な対応に備えて中規模ポンプ車及び加圧ポンプ車の準備を開始する。中規模ポンプ車及び加圧ポンプ車の準備ができない場合は、原子炉格納容器に十分な水量が確認された場合でかつ海水取水のためのアクセスルートが確保されている場合は、大型ポンプ車の準備を開始する。
 ※7：パワープラント監視機能喪失時は、可搬型燃料貯蔵タンクによるパワープラント監視作業を開始する。確認対象のパワープラントは、「大規模損壊発生時」に確認するプラント/パワープラントによる。
 ※8：炉心出口温度、1次冷却材圧力、原子炉格納容器内圧力、使用済燃料ピット水位を中央制御室にて採取し、採取値より対応が必要な監視項目へ移行する。

相違理由
 （泊の初動対応フローは、女川のフローとは構成が大きく異なるため、ここでは大飯との比較を示すこととし、女川のフローは後掲する。）

【大飯】フローの構成の相違
 ・泊は、発電用原子炉施設の状況把握が困難な場合とある程度可能な場合とで、フローの飛び先を変える構成としている（伊方3号、玄海3/4号と同様。）が、対応方針には実質的な相違はない。

灰色：泊3号炉と比較対象とならない記載内容

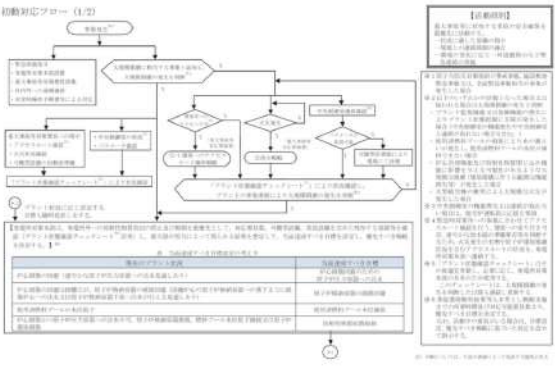
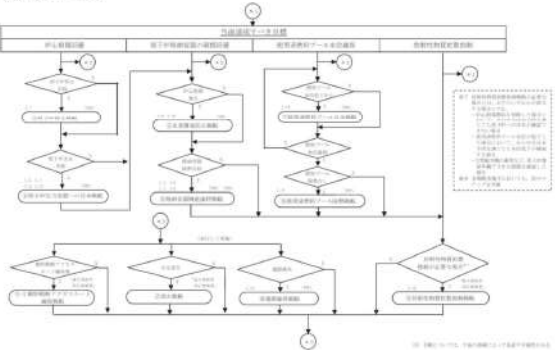
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、再掲】</p> <p>b. 大規模損壊発生時の初動対応フロー（1/2）</p> <p>b. 大規模損壊発生時の初動対応フロー（2/2）</p>	<p>【比較のため、伊方3号炉技術的能力2.1まとめ資料添付資料2.1.3より引用】</p> <p>第2.1.3-2図 大規模損壊発生時の初動対応フロー（2/3）</p> <p>※8： 野村モ2号機停機上原の有無に依らず炉心の有無を確認する。 ※9： 「炉心が損傷した号機」→号機が緊急降圧設計を実施し実施するが、立ち止まらない場合は炉心が損傷していると判断する。 ※10： 炉心が損傷していると判断した場合は、「[E] 原子炉格納容器格納経路（格納炉心室）」を優先的に実施する。 ※11： 原子炉格納容器に損傷が認められた場合において、原子炉格納容器内圧力が大気圧程度である場合は、「[G] 水素発生抑制経路」を実施しない。 ※12： 炉心破口位置、1次側格納圧力、原子炉格納容器圧力、格納炉心室圧力→水質→水質、対応が必要で格納経路へ遷移する。 ※13： 水1号炉A時は、「[F] 炉心格納経路（炉心室による原子炉停機）」は実施しない。</p>	<p>初動対応フロー（2/3）</p> <p>※1： 原子炉格納容器に損傷が認められた場合において、原子炉格納容器内圧力が大気圧程度である場合は、「[G] 水素発生抑制経路」は実施しない。</p>	<p>（泊の初動対応フローは、女川のフローとは構成が大きく異なるため、ここでは大飯との比較を示すこととし、女川のフローは後掲する。）</p> <p>【大飯】フローの構成の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、発電用原子炉施設の状態把握が困難な場合とある程度可能な場合とで、フローの飛び先を変える構成としている（伊方3号、玄海3/4号と同様。）が、対応方針には実質的な相違はない。

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>2. 発電所対策本部で使用する対応フロー</p> <p>初動対応フロー (1/2)</p>  <p>初動対応フロー (2/2)</p> 		<p>相違理由</p> <p>【女川】運用の相違（目標設定）</p> <ul style="list-style-type: none"> 女川は、得られたプラントの情報を基に当面達成すべき目標を設定し、優先すべき戦略を決定する。 泊は、大飯と同様、得られたプラントの情報を基に、判断フローに従って実施する戦略を選択する。大規模損壊時には、対策本部要員も含め限られた要員かつ限定的なプラント情報での対応が想定されることから、指揮者が極力判断に迷うことのない手順となるように、目標設定については明示せず、判断フローを充実させる方針としている。

灰色：泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 100px; margin: auto;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: center;">①-1 建屋へのアクセスルート確保戦略</p> <p>①-1 建屋へのアクセスルート確保戦略 （3号炉発電所とは異なる）</p> <p style="text-align: center;">①-2 個別戦略アクセスルート確保戦略</p> <p>①-2 個別戦略アクセスルート確保戦略 （3号炉発電所とは異なる）</p> <p style="text-align: center;">② 消火戦略</p> <p>② 消火戦略 （3号炉発電所とは異なる）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>② 消火戦略の相違</p> <p>① 消火戦略の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 消火戦略の相違 ② 消火戦略の相違 ③ 消火戦略の相違 ④ 消火戦略の相違 ⑤ 消火戦略の相違 ⑥ 消火戦略の相違 ⑦ 消火戦略の相違 ⑧ 消火戦略の相違 ⑨ 消火戦略の相違 ⑩ 消火戦略の相違 ⑪ 消火戦略の相違 ⑫ 消火戦略の相違 ⑬ 消火戦略の相違 ⑭ 消火戦略の相違 ⑮ 消火戦略の相違 ⑯ 消火戦略の相違 ⑰ 消火戦略の相違 ⑱ 消火戦略の相違 ⑲ 消火戦略の相違 ⑳ 消火戦略の相違 ㉑ 消火戦略の相違 ㉒ 消火戦略の相違 ㉓ 消火戦略の相違 ㉔ 消火戦略の相違 ㉕ 消火戦略の相違 ㉖ 消火戦略の相違 ㉗ 消火戦略の相違 ㉘ 消火戦略の相違 ㉙ 消火戦略の相違 ㉚ 消火戦略の相違 ㉛ 消火戦略の相違 ㉜ 消火戦略の相違 ㉝ 消火戦略の相違 ㉞ 消火戦略の相違 ㉟ 消火戦略の相違 ㊱ 消火戦略の相違 ㊲ 消火戦略の相違 ㊳ 消火戦略の相違 ㊴ 消火戦略の相違 ㊵ 消火戦略の相違 ㊶ 消火戦略の相違 ㊷ 消火戦略の相違 ㊸ 消火戦略の相違 ㊹ 消火戦略の相違 ㊺ 消火戦略の相違 ㊻ 消火戦略の相違 ㊼ 消火戦略の相違 ㊽ 消火戦略の相違 ㊾ 消火戦略の相違 ㊿ 消火戦略の相違 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 100px; margin: auto;">比較対象なし</div>	<p>【女川】記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊の個別戦略フローについては別冊資料にて説明する。

灰色：泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="241 197 495 248" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<div data-bbox="663 165 922 189" style="color: blue;">⑨使用済燃料プール除熱戦略</div> <div data-bbox="663 201 1216 563"> </div> <div data-bbox="663 603 904 627" style="color: blue;">⑩放射性物質拡散抑制戦略</div> <div data-bbox="663 632 1216 1007"> </div> <div data-bbox="663 1038 804 1062" style="color: blue;">⑪電源確保戦略</div> <div data-bbox="663 1074 1216 1436"> </div>	<div data-bbox="1393 197 1646 248" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p>【女川】記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊の個別戦略フローについては別冊資料にて説明する。

灰色：泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																								
<p>c. 大規模損壊時プラント状態確認チェックシート 大規模損壊時プラント状態確認チェックシート(案) 大規模損壊時プラント状態確認チェックシート(1/9) 大規模損壊時プラント状態確認チェックシート(1/9)</p> <p>【注意事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 初動が正常に上りたが、速やかに1〜4回の確認を実施した後、5〜14回の確認を実施する。 2. 原子力が停止している場合は停止操作、タービン駆動補助給水ポンプの起動が必要で起動していない場合は駆動操作を「運転操作時間」にしたがって優先的に実施する。 3. 確認結果が項目ごとに適宜全体市報者へ報告する。 4. 建屋等の損傷状況、周辺線量率及び火災等の状況に十分注意しながらチェックする。 5. チェックシート採取時は、線量率計及び電話可能な通信設備を稼働する。 6. プラント状態の確認は、複数人で実施する。 7. 状態の確認については <ol style="list-style-type: none"> (1)「はい」：機器状態の確認については、機器に損傷がない場合は動作可能とみなす。 (2)「いいえ」：機器状態の確認については、機器に損傷が見られる場合は動作不能とする。 (3)「不明」：建屋等の損傷(火災、浸水等)がによりチェックできない場合、不明は動作不能とみなす。 (4)「調査中」：未確認のもの。 (5)「不明」の場合はアクセスルートが確保され確認可能となれば確認を行う。 	<p>3. プラント状態確認チェックシートによる確認</p> <p>第2.1表 プラント状態確認チェックシートによる確認(1/10)</p> <p>【注意事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. チェックシートは、待機班の取りまどり、確認、本部内に随時共有する。 2. プラント状態の確認(その1)を系統先に実施し大規模損壊に至る恐れがあるが判断する。その後、プラント状態の確認(その2)を実施する。実施した後の各項目のチェックは、適宜変更する。 3. 異種の状況に十分注意しながらチェックし、チェック困難な場合には「不明」とする。(建屋の損傷状況、周辺線量率等に注意) 4. 動作可能及び使用可能は外観、警報等で判断する。 <p>1. プラント状態の確認(その1)【優先確認事項】</p> <p>(1)中央制御室の状況</p> <table border="1" data-bbox="672 399 1209 478"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>中央制御室との連絡</td> <td>可能・不可</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>中央制御室使用可否</td> <td>可能・不可</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>プラントパラメータ確認</td> <td>可能・不可</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2)使用済燃料プールの状況</p> <table border="1" data-bbox="672 494 1209 558"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>使用済燃料プールの水位</td> <td>適常水位・水位低下傾向・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>使用済燃料プール上部空間放射線モニタ指示</td> <td>上昇なし・上昇あり・不明</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(3)炉心冷却機能及び放射性物質閉じ込め機能</p> <table border="1" data-bbox="672 574 1209 845"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>原子炉停止確認</td> <td>成功・失敗・不明 (確認日時 / :)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>原子炉への注水</td> <td>注水中・無注水・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>炉内空間内放射性物質放射線モニタ指示</td> <td>上昇なし・上昇あり・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>モニタリングポスト指示</td> <td>上昇なし・上昇あり・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>交流電機</td> <td>あり・なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>直流電源(自給・買入電源)</td> <td>あり・なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>アクセスルート1</td> <td>障害物なし・障害物あり</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>アクセスルート2</td> <td>障害物なし・障害物あり</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>保管エリア1の状態</td> <td>異常なし・異常あり</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>保管エリア2の状態</td> <td>異常なし・異常あり</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>保管エリア3の状態</td> <td>異常なし・異常あり</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>保管エリア4の状態</td> <td>異常なし・異常あり</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(4)大型航空機の衝突または大規模な火災</p> <table border="1" data-bbox="672 861 1209 989"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>航空機の建屋への衝突</td> <td>なし・あり</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>航空機燃料による火災</td> <td>火災なし・火災あり・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>保管エリア、接続口及び接続口までのアクセスルートに影響を与える火災</td> <td>火災なし・火災あり・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>上記以外による火災</td> <td>火災なし・火災あり・不明</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	項目	状態	備考	1	中央制御室との連絡	可能・不可		2	中央制御室使用可否	可能・不可		3	プラントパラメータ確認	可能・不可		番号	項目	状態	備考	1	使用済燃料プールの水位	適常水位・水位低下傾向・不明		2	使用済燃料プール上部空間放射線モニタ指示	上昇なし・上昇あり・不明		番号	項目	状態	備考	1	原子炉停止確認	成功・失敗・不明 (確認日時 / :)		2	原子炉への注水	注水中・無注水・不明		3	炉内空間内放射性物質放射線モニタ指示	上昇なし・上昇あり・不明		4	モニタリングポスト指示	上昇なし・上昇あり・不明		5	交流電機	あり・なし		6	直流電源(自給・買入電源)	あり・なし		7	アクセスルート1	障害物なし・障害物あり		8	アクセスルート2	障害物なし・障害物あり		9	保管エリア1の状態	異常なし・異常あり		10	保管エリア2の状態	異常なし・異常あり		11	保管エリア3の状態	異常なし・異常あり		12	保管エリア4の状態	異常なし・異常あり		番号	項目	状態	備考	1	航空機の建屋への衝突	なし・あり		2	航空機燃料による火災	火災なし・火災あり・不明		3	保管エリア、接続口及び接続口までのアクセスルートに影響を与える火災	火災なし・火災あり・不明		4	上記以外による火災	火災なし・火災あり・不明		<p>3. プラント状態確認チェックシートによる確認</p> <p>第1表 プラント状態確認チェックシートによる確認(1/9)</p> <p>プラント状態確認チェックシート</p> <p>【注意事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. チェックシートは、発着班対策本部長(又は代行者)の指示に基づき確認した情報又は各班が必要に応じて確認した情報を記載する。 2. 確認結果は、発着班対策本部長(夜間及び休日については、各班班長)に報告する。発着班対策本部長(夜間及び休日については、各班班長)は、報告された確認結果を取りまどり、本部内に随時共有する。 3. 本チェックシートの確認者は、建屋の損傷状況、周辺線量率、異種の状況に十分注意しながらチェックを実施し、チェック困難な場合には「不明」又は「調査中」とし、確認可能なものから実施する。(「不明」は火災や浸水等の影響により状況が確認できないもの、「調査中」は未確認のもの) 4. 「不明」の場合には、その時点において使用不能と見なすが、アクセスルートが確保され確認可能となれば再度確認する。 5. 設備の起動可能及び使用可能については、外観、警報等による判断に加え、サブシステム等の状況も含めて判断する。 <p>【ステップ1】</p> <p>1. 初期状態の確認 (確認日時: 年 月 日 時 分) (確認者:)</p> <table border="1" data-bbox="1232 446 1792 670"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態*</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-1</td> <td>2号炉中央制御室との連絡可否</td> <td>連絡可能・連絡不可</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1-2</td> <td>1号炉及び2号炉中央制御室との連絡可否</td> <td>連絡可能・連絡不可</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1-3</td> <td>中央制御室でのプラントパラメータ確認</td> <td>可能・不可</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1-4</td> <td>緊急時対応班でのプラントパラメータ確認</td> <td>可能・不可</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1-5</td> <td>原子炉停止</td> <td>停止確認・停止不可・不明 (確認日時 / :)</td> <td>中央制御室(トリップ)連絡済表示、中核(手動指示)で確認できない場合は、現場(トリップ)連絡済表示にて確認する。</td> </tr> <tr> <td>1-6</td> <td>タービン駆動補助給水ポンプ</td> <td>稼働可能 可能・不可・不明 (確認日時 / :)</td> <td>中央制御室で確認できない場合は、現場にて確認する。</td> </tr> <tr> <td>1-7</td> <td>主蒸気発生機が作動</td> <td>動作可能 可能・不可・不明</td> <td>中央制御室で確認できない場合は、現場からの蒸気発生機を確認する。</td> </tr> <tr> <td>1-8</td> <td>可搬型大気冷却ポンプ車の準備*</td> <td>準備中・準備不可・不明</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>2. モニタリング指示の確認 (確認日時: 年 月 日 時 分) (確認者:)</p> <table border="1" data-bbox="1232 686 1792 813"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2-1</td> <td>モニタリングポスト及びモニタリングシステム指示</td> <td>指示値上昇 あり・なし・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2-2</td> <td>アクセスモニタ</td> <td>指示値上昇 あり・なし・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2-3</td> <td>アクセスモニタ</td> <td>指示値上昇 あり・なし・不明</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3. 火災の確認 (確認日時: 年 月 日 時 分) (確認者:)</p> <table border="1" data-bbox="1232 829 1792 973"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3-1</td> <td>航空機燃料等による火災</td> <td>火災あり・火災なし・不明</td> <td>□1号炉の原子炉格納容器 □2号炉の燃料格納容器 □3号炉の燃料格納容器 □4号炉の燃料格納容器</td> </tr> <tr> <td>3-2</td> <td>可搬型設備保管場所、接続口及び接続口までのアクセスルートに影響を与える火災</td> <td>火災あり・火災なし・不明</td> <td>□保管場所() □接続口周辺() □アクセスルート() □保管場所()</td> </tr> <tr> <td>3-3</td> <td>上記以外による火災</td> <td>火災あり・火災なし・不明</td> <td>□発生場所() □発生場所()</td> </tr> </tbody> </table>	番号	項目	状態*	備考	1-1	2号炉中央制御室との連絡可否	連絡可能・連絡不可		1-2	1号炉及び2号炉中央制御室との連絡可否	連絡可能・連絡不可		1-3	中央制御室でのプラントパラメータ確認	可能・不可		1-4	緊急時対応班でのプラントパラメータ確認	可能・不可		1-5	原子炉停止	停止確認・停止不可・不明 (確認日時 / :)	中央制御室(トリップ)連絡済表示、中核(手動指示)で確認できない場合は、現場(トリップ)連絡済表示にて確認する。	1-6	タービン駆動補助給水ポンプ	稼働可能 可能・不可・不明 (確認日時 / :)	中央制御室で確認できない場合は、現場にて確認する。	1-7	主蒸気発生機が作動	動作可能 可能・不可・不明	中央制御室で確認できない場合は、現場からの蒸気発生機を確認する。	1-8	可搬型大気冷却ポンプ車の準備*	準備中・準備不可・不明		番号	項目	状態	備考	2-1	モニタリングポスト及びモニタリングシステム指示	指示値上昇 あり・なし・不明		2-2	アクセスモニタ	指示値上昇 あり・なし・不明		2-3	アクセスモニタ	指示値上昇 あり・なし・不明		番号	項目	状態	備考	3-1	航空機燃料等による火災	火災あり・火災なし・不明	□1号炉の原子炉格納容器 □2号炉の燃料格納容器 □3号炉の燃料格納容器 □4号炉の燃料格納容器	3-2	可搬型設備保管場所、接続口及び接続口までのアクセスルートに影響を与える火災	火災あり・火災なし・不明	□保管場所() □接続口周辺() □アクセスルート() □保管場所()	3-3	上記以外による火災	火災あり・火災なし・不明	□発生場所() □発生場所()	<p>【大飯】設備及び運用の相違に伴うプラント状態確認項目等の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大飯の1. の事項については、泊の1. の事項に対応している。また、泊の2. 及び3. の事項については、大飯は3. 及び4. (チェックシート(2/9))の事項に対応している。 <p>【女川】設備及び運用の相違に伴うプラント状態確認項目等の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川は、緊急体制が発令するような事象が発生した時点より、チェックシートを活用し、得られた情報より大規模損壊の発生を判断する。このため、大規模損壊の発生判断のための確認事項を「1. プラント状態の確認(その1)」として整理している。 ・泊は、大飯と同様に、大規模損壊の発生を判断した場合に、大規模損壊発生時の対応手順書に基づく活動に移行し、チェックシート等を活用した対応を実施することから、チェックシートを使用する場面の想定が女川とは異なる。なお、女川の1. の事項については、泊の1. ～3. の事項に対応している。
番号	項目	状態	備考																																																																																																																																																																								
1	中央制御室との連絡	可能・不可																																																																																																																																																																									
2	中央制御室使用可否	可能・不可																																																																																																																																																																									
3	プラントパラメータ確認	可能・不可																																																																																																																																																																									
番号	項目	状態	備考																																																																																																																																																																								
1	使用済燃料プールの水位	適常水位・水位低下傾向・不明																																																																																																																																																																									
2	使用済燃料プール上部空間放射線モニタ指示	上昇なし・上昇あり・不明																																																																																																																																																																									
番号	項目	状態	備考																																																																																																																																																																								
1	原子炉停止確認	成功・失敗・不明 (確認日時 / :)																																																																																																																																																																									
2	原子炉への注水	注水中・無注水・不明																																																																																																																																																																									
3	炉内空間内放射性物質放射線モニタ指示	上昇なし・上昇あり・不明																																																																																																																																																																									
4	モニタリングポスト指示	上昇なし・上昇あり・不明																																																																																																																																																																									
5	交流電機	あり・なし																																																																																																																																																																									
6	直流電源(自給・買入電源)	あり・なし																																																																																																																																																																									
7	アクセスルート1	障害物なし・障害物あり																																																																																																																																																																									
8	アクセスルート2	障害物なし・障害物あり																																																																																																																																																																									
9	保管エリア1の状態	異常なし・異常あり																																																																																																																																																																									
10	保管エリア2の状態	異常なし・異常あり																																																																																																																																																																									
11	保管エリア3の状態	異常なし・異常あり																																																																																																																																																																									
12	保管エリア4の状態	異常なし・異常あり																																																																																																																																																																									
番号	項目	状態	備考																																																																																																																																																																								
1	航空機の建屋への衝突	なし・あり																																																																																																																																																																									
2	航空機燃料による火災	火災なし・火災あり・不明																																																																																																																																																																									
3	保管エリア、接続口及び接続口までのアクセスルートに影響を与える火災	火災なし・火災あり・不明																																																																																																																																																																									
4	上記以外による火災	火災なし・火災あり・不明																																																																																																																																																																									
番号	項目	状態*	備考																																																																																																																																																																								
1-1	2号炉中央制御室との連絡可否	連絡可能・連絡不可																																																																																																																																																																									
1-2	1号炉及び2号炉中央制御室との連絡可否	連絡可能・連絡不可																																																																																																																																																																									
1-3	中央制御室でのプラントパラメータ確認	可能・不可																																																																																																																																																																									
1-4	緊急時対応班でのプラントパラメータ確認	可能・不可																																																																																																																																																																									
1-5	原子炉停止	停止確認・停止不可・不明 (確認日時 / :)	中央制御室(トリップ)連絡済表示、中核(手動指示)で確認できない場合は、現場(トリップ)連絡済表示にて確認する。																																																																																																																																																																								
1-6	タービン駆動補助給水ポンプ	稼働可能 可能・不可・不明 (確認日時 / :)	中央制御室で確認できない場合は、現場にて確認する。																																																																																																																																																																								
1-7	主蒸気発生機が作動	動作可能 可能・不可・不明	中央制御室で確認できない場合は、現場からの蒸気発生機を確認する。																																																																																																																																																																								
1-8	可搬型大気冷却ポンプ車の準備*	準備中・準備不可・不明																																																																																																																																																																									
番号	項目	状態	備考																																																																																																																																																																								
2-1	モニタリングポスト及びモニタリングシステム指示	指示値上昇 あり・なし・不明																																																																																																																																																																									
2-2	アクセスモニタ	指示値上昇 あり・なし・不明																																																																																																																																																																									
2-3	アクセスモニタ	指示値上昇 あり・なし・不明																																																																																																																																																																									
番号	項目	状態	備考																																																																																																																																																																								
3-1	航空機燃料等による火災	火災あり・火災なし・不明	□1号炉の原子炉格納容器 □2号炉の燃料格納容器 □3号炉の燃料格納容器 □4号炉の燃料格納容器																																																																																																																																																																								
3-2	可搬型設備保管場所、接続口及び接続口までのアクセスルートに影響を与える火災	火災あり・火災なし・不明	□保管場所() □接続口周辺() □アクセスルート() □保管場所()																																																																																																																																																																								
3-3	上記以外による火災	火災あり・火災なし・不明	□発生場所() □発生場所()																																																																																																																																																																								
<p>1. 初期状態の確認</p> <p>【ステップ1】</p> <table border="1" data-bbox="89 542 627 925"> <thead> <tr> <th>確認者</th> <th>確認日時</th> <th>年</th> <th>月</th> <th>日</th> <th>時</th> <th>分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>番号</td> <td>項目</td> <td>状態</td> <td>備考</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1-1</td> <td>原子炉停止 (確認日時 / :)</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1-2</td> <td>タービン駆動補助給水ポンプ 運転可能</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> <td>プラント監視機能喪失時は、機能に損傷がない場合は「はい」とする。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1-3</td> <td>主蒸気発生機が作動可能</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1-4</td> <td>中央制御室と連絡可能</td> <td>はい・いいえ</td> <td>緊急時対応班と中央制御室の連絡が可能であれば「はい」とする。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1-5</td> <td>プラント状態の確認が可能</td> <td>はい・いいえ</td> <td>緊急時対応班又は、中央制御室のプラント監視機能が稼働していることが確認できれば「はい」とする。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1-6</td> <td>ECCS作動なし</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1-7</td> <td>水密扉の閉止</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> <td>津波警報又は大津波警報発令時に確認する。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		確認者	確認日時	年	月	日	時	分	番号	項目	状態	備考				1-1	原子炉停止 (確認日時 / :)	はい・いいえ・不明・調査中					1-2	タービン駆動補助給水ポンプ 運転可能	はい・いいえ・不明・調査中	プラント監視機能喪失時は、機能に損傷がない場合は「はい」とする。				1-3	主蒸気発生機が作動可能	はい・いいえ・不明・調査中					1-4	中央制御室と連絡可能	はい・いいえ	緊急時対応班と中央制御室の連絡が可能であれば「はい」とする。				1-5	プラント状態の確認が可能	はい・いいえ	緊急時対応班又は、中央制御室のプラント監視機能が稼働していることが確認できれば「はい」とする。				1-6	ECCS作動なし	はい・いいえ・不明・調査中					1-7	水密扉の閉止	はい・いいえ・不明・調査中	津波警報又は大津波警報発令時に確認する。				<p>(注) プラント状態確認チェックシートは、今後の訓練によって見直し可能がある</p>		<p>(注) プラント状態確認チェックシートは、今後の訓練によって見直し可能がある</p>																																																																																																								
確認者	確認日時	年	月	日	時	分																																																																																																																																																																					
番号	項目	状態	備考																																																																																																																																																																								
1-1	原子炉停止 (確認日時 / :)	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																									
1-2	タービン駆動補助給水ポンプ 運転可能	はい・いいえ・不明・調査中	プラント監視機能喪失時は、機能に損傷がない場合は「はい」とする。																																																																																																																																																																								
1-3	主蒸気発生機が作動可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																									
1-4	中央制御室と連絡可能	はい・いいえ	緊急時対応班と中央制御室の連絡が可能であれば「はい」とする。																																																																																																																																																																								
1-5	プラント状態の確認が可能	はい・いいえ	緊急時対応班又は、中央制御室のプラント監視機能が稼働していることが確認できれば「はい」とする。																																																																																																																																																																								
1-6	ECCS作動なし	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																									
1-7	水密扉の閉止	はい・いいえ・不明・調査中	津波警報又は大津波警報発令時に確認する。																																																																																																																																																																								

灰色：泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所 3 / 4号炉				
大規模損壊時プラント状態確認チェックシート (2/9)				
大規模損壊時プラント状態確認チェックシート (2/9)				
2. 炉本体及び大規模炉内「放水ポンプ」の確認 【ステップ1】				
確認者	確認日時	平成	年	月
番号	項目	状態	備考	
2-1	放水砲及び大容量ポンプ(放水砲用) 稼働可能	はい・いいえ・不明・調査中	外観に損傷がなく稼働できる状況であれば「はい」とする。	
3. モニタ指示の確認				
確認者	確認日時	平成	年	月
番号	項目	状態	備考	
3-1	モニタリングステーション及びモニタリングポスト 指示上昇	はい・いいえ・不明・調査中	プラント機能喪失時は、1、2号炉中央制御室にて確認する。確認できない場合は、可搬式モニタリングポスト等にて確認する。	
3-2	プロセスモニタ 指示上昇	はい・いいえ・不明・調査中		
3-3	エリアモニタ 指示上昇	はい・いいえ・不明・調査中	プラント機能喪失時は、基物管理室にて確認する。	
4. 火災の確認				
確認者	確認日時	平成	年	月
番号	項目	状態	備考	
4-1	軌道機衝突による火災が発生していない	はい・いいえ・不明・調査中	監視カメラ又は現場目視により確認する。	
4-2	上記以外による火災が発生していない	はい・いいえ・不明・調査中		
5. 対応可能な要員の確認 【ステップ2】				
確認者	確認日時	平成	年	月
番号	項目	要員数(名)	備考	
5-1	緊急時対応本部要員	6名*		
5-2	対応可能な運転員数	運転員* 1、2号炉：10名 3、4号炉：12名		
5-3	対応可能な緊急安全対策要員数 (消火活動要員)	20名*		
5-4	化学消防自動車 使用可能	はい・いいえ	外観に損傷がなく稼働できる状況であれば「はい」とする。	
	小型動力ポンプ付水筒車 使用可能	はい・いいえ		
	泡消火用等噴霧車 使用可能	はい・いいえ		
	泡消火用等噴霧車 使用可能	はい・いいえ		
	中型放水機 使用可能	はい・いいえ		
	送水車(消火用) 使用可能	はい・いいえ		
* 休日・夜間の対応要員数(停止時の要員数は異なる。)				

女川原子力発電所 2号炉				
第2.1表 プラント状態確認チェックシートによる確認 (2/10)				
2. プラント状態の確認(その2)				
(1) プラントパラメータ確認				
確認日時	平成	年	月	日
番号	項目	状態	備考	
1	原子炉注水	不明		
2	原子炉圧力	不明		
3	原子炉格納罐圧力	不明		
4	プロセスモニタ表示	上昇なし・上昇あり・不明		
5	エリアモニタ表示	上昇なし・上昇あり・不明		
(2) 対応可能な要員の確認				
確認日時	平成	年	月	日
番号	項目	要員数(名)	備考	
1	原子炉防炎管理者(6)	6		
2	原子炉主任技術者(4)	4		
3	副防炎管理者(1)	1		
4	2号炉運転員(7)	7		
5	上記1~4以外の重大事故等対策要員(22)	22		
6	1号炉及び3号炉運転員(6)	6		
7	期間消火要員(消防本部)(6)	6		
* 1)内は夜間及び休日(平日の勤務時間以外)において必要な要員として発電所内に確保している人数				
(3) 通信関係の確認				
確認日時	平成	年	月	日
番号	項目	状態	備考	
1	送受話器(バーゲンツ)	使用可能・使用不可・不明		
2	電力保安通信用電話設備	使用可能・使用不可・不明		
3	専用電話設備(固定型)	使用可能・使用不可・不明		
4	専用電話設備(携帯型)	使用可能・使用不可・不明		
5	無線連絡設備(固定型)	使用可能・使用不可・不明		
6	無線連絡設備(携帯型)	使用可能・使用不可・不明		
7	安全パワータ表示システム(SPOG)	使用可能・使用不可・不明		
8	加入電話機	使用可能・使用不可・不明		
9	加入FAX	使用可能・使用不可・不明		
10	テレビ会議システム	使用可能・使用不可・不明		
11	専用電話設備(地方公共団体用ホットライン)	使用可能・使用不可・不明		
12	IP電話	使用可能・使用不可・不明		
13	IP-FAX	使用可能・使用不可・不明		
注) プラント状態確認チェックシートは、今後の訓練によって見直し可能性がある				

泊発電所 3号炉				
第1表 プラント状態確認チェックシートによる確認 (2/9)				
【ステップ2】				
4. 要員の確認 (確認日時: 平成 年 月 日 時 分) (確認者)				
確認者	確認日時	平成	年	月
番号	項目	要員数(名)	備考	
4-1	原子炉防炎管理者 (6)	6		
4-2	原子炉主任技術者 (4)	4		
4-3	副原子炉防炎管理者 (1)	1		
4-4	上記以外の重大事故等対策要員 (22)	22		
4-5	3号炉運転員 (6)	6		
4-6	安全対策要員 (4)	4		
4-7	消防要員 (支援) (14)	14		
4-8	消防要員 (常) (6)	6		
4-9	1号及び2号炉運転員 (3)	3		
* 1)内は夜間及び休日(平日の勤務時間以外)において必要な要員として発電所内に確保している人数				
5. 通信関係の確認 (確認日時: 平成 年 月 日 時 分) (確認者)				
確認者	確認日時	平成	年	月
番号	項目	状態	備考	
5-1	運転室設備	使用可能	可搬・不可・不明・調査中	
5-2	電力保安通信用電話設備	使用可能	可搬・不可・不明・調査中	
5-3	保安電話 (携帯)	使用可能	可搬・不可・不明・調査中	
5-4	保安電話 (固定)	使用可能	可搬・不可・不明・調査中	
5-5	無線連絡設備(固定型)	使用可能	可搬・不可・不明・調査中	
5-6	無線連絡設備(携帯型)	使用可能	可搬・不可・不明・調査中	
5-7	携行型連絡設備	使用可能	可搬・不可・不明・調査中	
5-8	加入電話設備(固定型)	使用可能	可搬・不可・不明・調査中	
5-9	加入電話設備(携帯型)	使用可能	可搬・不可・不明・調査中	
5-10	加入電話機	使用可能	可搬・不可・不明・調査中	
5-11	加入FAX	使用可能	可搬・不可・不明・調査中	
5-12	加入電話設備	使用可能	可搬・不可・不明・調査中	
5-13	加入FAX	使用可能	可搬・不可・不明・調査中	
5-14	携帯電話	使用可能	可搬・不可・不明・調査中	
5-15	専用電話設備(固定型)	使用可能	可搬・不可・不明・調査中	
5-16	専用電話設備(携帯)	使用可能	可搬・不可・不明・調査中	
5-17	統合原子炉防炎ネットワークを用いた連絡設備	使用可能	可搬・不可・不明・調査中	
5-18	IP電話	使用可能	可搬・不可・不明・調査中	
5-19	IP-FAX	使用可能	可搬・不可・不明・調査中	
5-20	社内テレビ会議システム	使用可能	可搬・不可・不明・調査中	
注) プラント状態確認チェックシートは、今後の訓練によって見直し可能性がある				

相違理由

【大飯】設備及び運用の相違に伴うプラント状態確認項目等の相違

- 大飯の2、~4、の事項については、泊の1、~3、(チェックシート(1/9))の事項に対応している。また、泊の5、の事項については、大飯の6、(チェックシート(3/9))の事項に対応している。

【女川】設備及び運用の相違に伴うプラント状態確認項目等の相違

- 女川の2、(1)のうちモニタ指示を除いた事項については、泊では個別戦略選定における確認パラメータとして初動対応フロー中に整理している。
- 女川の2、(2)及び(3)の事項については、泊の4、及び5、(チェックシート(2/9))の事項に対応している。

灰色：泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
<p>大規模損壊時プラント状態確認チェックシート (3/9)</p> <p>大規模損壊時プラント状態確認チェックシート (3/9)</p> <p>6. 通信連絡設備の確認 【ステータス】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>確認日時</th> <th>年</th> <th>月</th> <th>日</th> <th>時</th> <th>分</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>6-1</td><td>遠隔指令設備</td><td>使用可能</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>「はい・いいえ」・不明・調査中</td><td></td></tr> <tr><td>6-2</td><td>保安電話 (原則)</td><td>使用可能</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>「はい・いいえ」・不明・調査中</td><td></td></tr> <tr><td>6-3</td><td>保安電話 (機密)</td><td>使用可能</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>「はい・いいえ」・不明・調査中</td><td></td></tr> <tr><td>6-4</td><td>衛星保安電話</td><td>使用可能</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>「はい・いいえ」・不明・調査中</td><td></td></tr> <tr><td>6-5</td><td>衛星電話 (原則)</td><td>使用可能</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>「はい・いいえ」・不明・調査中</td><td></td></tr> <tr><td>6-6</td><td>社内TV会議システム</td><td>使用可能</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>「はい・いいえ」・不明・調査中</td><td></td></tr> <tr><td>6-7</td><td>衛星電話 (可搬)</td><td>使用可能</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>「はい・いいえ」・不明・調査中</td><td></td></tr> <tr><td>6-8</td><td>インナーフォン</td><td>使用可能</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>「はい・いいえ」・不明・調査中</td><td></td></tr> <tr><td>6-9</td><td>緊急時衛星通信システム</td><td>使用可能</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>「はい・いいえ」・不明・調査中</td><td></td></tr> <tr><td>6-10</td><td>加入電話</td><td>使用可能</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>「はい・いいえ」・不明・調査中</td><td></td></tr> <tr><td>6-11</td><td>加入ファクシミリ</td><td>使用可能</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>「はい・いいえ」・不明・調査中</td><td></td></tr> <tr><td>6-12</td><td>無線通話装置</td><td>使用可能</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>「はい・いいえ」・不明・調査中</td><td></td></tr> <tr><td>6-13</td><td>統合原子力防災ネットワークに接続する通信機設備</td><td>使用可能</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>「はい・いいえ」・不明・調査中</td><td></td></tr> <tr><td>6-14</td><td>SPDS (安全パラメータ表示システム) 表示装置</td><td>使用可能</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>「はい・いいえ」・不明・調査中</td><td></td></tr> <tr><td>6-15</td><td>携帯型通話装置</td><td>使用可能</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>「はい・いいえ」・不明・調査中</td><td></td></tr> <tr><td>6-16</td><td>衛星電話 (機密)</td><td>使用可能</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>「はい・いいえ」・不明・調査中</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>※ 緊急時対策所の通信連絡設備を確認する。通信形態の確認は発信音ありの場合又は起動して使用することができる場合は「はい」とする。</p>	番号	項目	確認日時	年	月	日	時	分	状態	備考	6-1	遠隔指令設備	使用可能						「はい・いいえ」・不明・調査中		6-2	保安電話 (原則)	使用可能						「はい・いいえ」・不明・調査中		6-3	保安電話 (機密)	使用可能						「はい・いいえ」・不明・調査中		6-4	衛星保安電話	使用可能						「はい・いいえ」・不明・調査中		6-5	衛星電話 (原則)	使用可能						「はい・いいえ」・不明・調査中		6-6	社内TV会議システム	使用可能						「はい・いいえ」・不明・調査中		6-7	衛星電話 (可搬)	使用可能						「はい・いいえ」・不明・調査中		6-8	インナーフォン	使用可能						「はい・いいえ」・不明・調査中		6-9	緊急時衛星通信システム	使用可能						「はい・いいえ」・不明・調査中		6-10	加入電話	使用可能						「はい・いいえ」・不明・調査中		6-11	加入ファクシミリ	使用可能						「はい・いいえ」・不明・調査中		6-12	無線通話装置	使用可能						「はい・いいえ」・不明・調査中		6-13	統合原子力防災ネットワークに接続する通信機設備	使用可能						「はい・いいえ」・不明・調査中		6-14	SPDS (安全パラメータ表示システム) 表示装置	使用可能						「はい・いいえ」・不明・調査中		6-15	携帯型通話装置	使用可能						「はい・いいえ」・不明・調査中		6-16	衛星電話 (機密)	使用可能						「はい・いいえ」・不明・調査中		<p>第2.1表 プラント状態確認チェックシートによる確認 (3/10)</p> <p>(4) 建屋等へのアクセス性の確認</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>確認日時</th> <th>年</th> <th>月</th> <th>日</th> <th>時</th> <th>分</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>原子炉建屋へのアクセス</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>可能・不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td>制御建屋へのアクセス</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>可能・不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td>中央制御室へのアクセス</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>可能・不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td>廃水ポンプエリアへのアクセス</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>可能・不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td>取水口へのアクセス</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>可能・不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>6</td><td>可搬型設備接続口 (原子炉建屋 北側) (取水設備タンク接続口含む)</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>7</td><td>可搬型設備接続口 (原子炉建屋 東側)</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>8</td><td>可搬型設備接続口 (原子炉建屋 西側)</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>9</td><td>可搬型設備接続口 (制御建屋 建屋内)</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>10</td><td>可搬型設備接続口 (制御建屋 南側)</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>11</td><td>可搬型設備接続口 (原子炉建屋 建屋内)</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>(5) 施設損壊状態確認</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>確認日時</th> <th>年</th> <th>月</th> <th>日</th> <th>時</th> <th>分</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>原子炉建屋損傷</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>損傷なし・損傷あり・不明</td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td>タービン建屋損傷</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>損傷なし・損傷あり・不明</td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td>制御建屋損傷</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>損傷なし・損傷あり・不明</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>(注) プラント状態確認チェックシートは、今後の訓練によって見直し可能性がある</p>	番号	項目	確認日時	年	月	日	時	分	状態	備考	1	原子炉建屋へのアクセス							可能・不可・不明		2	制御建屋へのアクセス							可能・不可・不明		3	中央制御室へのアクセス							可能・不可・不明		4	廃水ポンプエリアへのアクセス							可能・不可・不明		5	取水口へのアクセス							可能・不可・不明		6	可搬型設備接続口 (原子炉建屋 北側) (取水設備タンク接続口含む)	使用可能・使用不可・不明								7	可搬型設備接続口 (原子炉建屋 東側)	使用可能・使用不可・不明								8	可搬型設備接続口 (原子炉建屋 西側)	使用可能・使用不可・不明								9	可搬型設備接続口 (制御建屋 建屋内)	使用可能・使用不可・不明								10	可搬型設備接続口 (制御建屋 南側)	使用可能・使用不可・不明								11	可搬型設備接続口 (原子炉建屋 建屋内)	使用可能・使用不可・不明								番号	項目	確認日時	年	月	日	時	分	状態	備考	1	原子炉建屋損傷							損傷なし・損傷あり・不明		2	タービン建屋損傷							損傷なし・損傷あり・不明		3	制御建屋損傷							損傷なし・損傷あり・不明		<p>第1表 プラント状態確認チェックシートによる確認 (3/9)</p> <p>【ステータス】</p> <p>6. 建屋等へのアクセス性の確認 (確認日時) 年 月 日 時 分 (確認者) 上</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>確認日時</th> <th>年</th> <th>月</th> <th>日</th> <th>時</th> <th>分</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>6-1</td><td>原子炉建屋</td><td>アクセス可能</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>可能・不可・不明・調査中</td><td></td></tr> <tr><td>6-2</td><td>原子炉建屋</td><td>アクセス可能</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>可能・不可・不明・調査中</td><td></td></tr> <tr><td>6-3</td><td>タービン建屋</td><td>アクセス可能</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>可能・不可・不明・調査中</td><td></td></tr> <tr><td>6-4</td><td>電気建屋</td><td>アクセス可能</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>可能・不可・不明・調査中</td><td></td></tr> <tr><td>6-5</td><td>タービン建屋</td><td>アクセス可能</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>可能・不可・不明・調査中</td><td></td></tr> <tr><td>6-6</td><td>廃水ポンプ建屋</td><td>アクセス可能</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>可能・不可・不明・調査中</td><td></td></tr> <tr><td>6-7</td><td>無人可搬型設備電源接続口</td><td>使用可能</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>可能・不可・不明・調査中</td><td></td></tr> <tr><td>6-8</td><td>1号可搬型設備電源接続口</td><td>使用可能</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>可能・不可・不明・調査中</td><td></td></tr> <tr><td>6-9</td><td>可搬型設備電源接続口</td><td>使用可能</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>可能・不可・不明・調査中</td><td></td></tr> <tr><td>6-10</td><td>可搬型設備電源接続口</td><td>使用可能</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>可能・不可・不明・調査中</td><td></td></tr> <tr><td>6-11</td><td>可搬型設備電源接続口</td><td>使用可能</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>可能・不可・不明・調査中</td><td></td></tr> <tr><td>6-12</td><td>燃料貯蔵施設電源接続口</td><td>使用可能</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>可能・不可・不明・調査中</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>7. 施設損壊状態の確認 (確認日時) 年 月 日 時 分 (確認者) 上</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>確認日時</th> <th>年</th> <th>月</th> <th>日</th> <th>時</th> <th>分</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>7-1</td><td>原子炉建屋損傷</td><td>損傷</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>あり・なし・不明・調査中</td><td></td></tr> <tr><td>7-2</td><td>燃料貯蔵施設損傷</td><td>損傷</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>あり・なし・不明・調査中</td><td></td></tr> <tr><td>7-3</td><td>原子炉建屋損傷</td><td>損傷</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>あり・なし・不明・調査中</td><td></td></tr> <tr><td>7-4</td><td>タービン建屋損傷</td><td>損傷</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>あり・なし・不明・調査中</td><td></td></tr> <tr><td>7-5</td><td>電気建屋</td><td>損傷</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>あり・なし・不明・調査中</td><td></td></tr> <tr><td>7-6</td><td>タービン建屋</td><td>損傷</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>あり・なし・不明・調査中</td><td></td></tr> <tr><td>7-7</td><td>廃水ポンプ建屋</td><td>損傷</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>あり・なし・不明・調査中</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>8. 建屋等へのアクセス性の確認 (確認日時) 年 月 日 時 分 (確認者) 上</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>確認日時</th> <th>年</th> <th>月</th> <th>日</th> <th>時</th> <th>分</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>8-1</td><td>使用済燃料セット</td><td>アクセス可能</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>可能・不可・不明・調査中</td><td></td></tr> <tr><td>8-2</td><td>使用済燃料セット</td><td>損傷</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>あり・なし・不明・調査中</td><td></td></tr> <tr><td>8-3</td><td>中央制御室へのアクセス</td><td>アクセス可能</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>可能・不可・不明・調査中</td><td></td></tr> <tr><td>8-4</td><td>主変圧器室へのアクセス</td><td>アクセス可能</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>可能・不可・不明・調査中</td><td></td></tr> <tr><td>8-5</td><td>安全補給機建屋へのアクセス</td><td>アクセス可能</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>可能・不可・不明・調査中</td><td></td></tr> <tr><td>8-6</td><td>安全補給機建屋へのアクセス</td><td>アクセス可能</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>可能・不可・不明・調査中</td><td></td></tr> <tr><td>8-7</td><td>常圧蒸気発生器へのアクセス</td><td>アクセス可能</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>可能・不可・不明・調査中</td><td></td></tr> <tr><td>8-8</td><td>熱源蒸気発生器へのアクセス</td><td>アクセス可能</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>可能・不可・不明・調査中</td><td></td></tr> <tr><td>8-9</td><td>可搬型大型取水ポンプ車体接続口</td><td>使用可能</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>可能・不可・不明・調査中</td><td></td></tr> <tr><td>8-10</td><td>可搬型大型取水ポンプ車体接続口</td><td>使用可能</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>可能・不可・不明・調査中</td><td></td></tr> <tr><td>8-11</td><td>可搬型大型取水ポンプ車体給水ライン接続口</td><td>使用可能</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>可能・不可・不明・調査中</td><td></td></tr> <tr><td>8-12</td><td>可搬型大型取水ポンプ車体給水ライン接続口</td><td>使用可能</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>可能・不可・不明・調査中</td><td></td></tr> <tr><td>8-13</td><td>可搬型大型取水ポンプ車体給水ライン接続口</td><td>使用可能</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>可能・不可・不明・調査中</td><td></td></tr> <tr><td>8-14</td><td>可搬型大型取水ポンプ車体給水ライン接続口</td><td>使用可能</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>可能・不可・不明・調査中</td><td></td></tr> <tr><td>8-15</td><td>燃料貯蔵施設建屋内接続口</td><td>使用可能</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>可能・不可・不明・調査中</td><td></td></tr> <tr><td>8-16</td><td>燃料貯蔵施設建屋内接続口</td><td>使用可能</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>可能・不可・不明・調査中</td><td></td></tr> <tr><td>8-17</td><td>可搬型大型取水ポンプ車体給水ライン接続口</td><td>使用可能</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>可能・不可・不明・調査中</td><td></td></tr> <tr><td>8-18</td><td>可搬型大型取水ポンプ車体給水ライン接続口</td><td>使用可能</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>可能・不可・不明・調査中</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>(注) プラント状態確認チェックシートは、今後の訓練によって見直し可能性があると。</p>	番号	項目	確認日時	年	月	日	時	分	状態	備考	6-1	原子炉建屋	アクセス可能						可能・不可・不明・調査中		6-2	原子炉建屋	アクセス可能						可能・不可・不明・調査中		6-3	タービン建屋	アクセス可能						可能・不可・不明・調査中		6-4	電気建屋	アクセス可能						可能・不可・不明・調査中		6-5	タービン建屋	アクセス可能						可能・不可・不明・調査中		6-6	廃水ポンプ建屋	アクセス可能						可能・不可・不明・調査中		6-7	無人可搬型設備電源接続口	使用可能						可能・不可・不明・調査中		6-8	1号可搬型設備電源接続口	使用可能						可能・不可・不明・調査中		6-9	可搬型設備電源接続口	使用可能						可能・不可・不明・調査中		6-10	可搬型設備電源接続口	使用可能						可能・不可・不明・調査中		6-11	可搬型設備電源接続口	使用可能						可能・不可・不明・調査中		6-12	燃料貯蔵施設電源接続口	使用可能						可能・不可・不明・調査中		番号	項目	確認日時	年	月	日	時	分	状態	備考	7-1	原子炉建屋損傷	損傷						あり・なし・不明・調査中		7-2	燃料貯蔵施設損傷	損傷						あり・なし・不明・調査中		7-3	原子炉建屋損傷	損傷						あり・なし・不明・調査中		7-4	タービン建屋損傷	損傷						あり・なし・不明・調査中		7-5	電気建屋	損傷						あり・なし・不明・調査中		7-6	タービン建屋	損傷						あり・なし・不明・調査中		7-7	廃水ポンプ建屋	損傷						あり・なし・不明・調査中		番号	項目	確認日時	年	月	日	時	分	状態	備考	8-1	使用済燃料セット	アクセス可能						可能・不可・不明・調査中		8-2	使用済燃料セット	損傷						あり・なし・不明・調査中		8-3	中央制御室へのアクセス	アクセス可能						可能・不可・不明・調査中		8-4	主変圧器室へのアクセス	アクセス可能						可能・不可・不明・調査中		8-5	安全補給機建屋へのアクセス	アクセス可能						可能・不可・不明・調査中		8-6	安全補給機建屋へのアクセス	アクセス可能						可能・不可・不明・調査中		8-7	常圧蒸気発生器へのアクセス	アクセス可能						可能・不可・不明・調査中		8-8	熱源蒸気発生器へのアクセス	アクセス可能						可能・不可・不明・調査中		8-9	可搬型大型取水ポンプ車体接続口	使用可能						可能・不可・不明・調査中		8-10	可搬型大型取水ポンプ車体接続口	使用可能						可能・不可・不明・調査中		8-11	可搬型大型取水ポンプ車体給水ライン接続口	使用可能						可能・不可・不明・調査中		8-12	可搬型大型取水ポンプ車体給水ライン接続口	使用可能						可能・不可・不明・調査中		8-13	可搬型大型取水ポンプ車体給水ライン接続口	使用可能						可能・不可・不明・調査中		8-14	可搬型大型取水ポンプ車体給水ライン接続口	使用可能						可能・不可・不明・調査中		8-15	燃料貯蔵施設建屋内接続口	使用可能						可能・不可・不明・調査中		8-16	燃料貯蔵施設建屋内接続口	使用可能						可能・不可・不明・調査中		8-17	可搬型大型取水ポンプ車体給水ライン接続口	使用可能						可能・不可・不明・調査中		8-18	可搬型大型取水ポンプ車体給水ライン接続口	使用可能						可能・不可・不明・調査中		<p>【大飯】 設備及び運用の相違に伴うプラント状態確認項目等の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 大飯の6. の事項については、泊の5. (チェックシート(2/9)) の事項に対応している。 <p>【女川】 設備及び運用の相違に伴うプラント状態確認項目等の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 女川の2. (4)及び(5)の事項については、泊の6. 及び7. (チェックシート(3/9)) の事項に対応している。
番号	項目	確認日時	年	月	日	時	分	状態	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
6-1	遠隔指令設備	使用可能						「はい・いいえ」・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
6-2	保安電話 (原則)	使用可能						「はい・いいえ」・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
6-3	保安電話 (機密)	使用可能						「はい・いいえ」・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
6-4	衛星保安電話	使用可能						「はい・いいえ」・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
6-5	衛星電話 (原則)	使用可能						「はい・いいえ」・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
6-6	社内TV会議システム	使用可能						「はい・いいえ」・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
6-7	衛星電話 (可搬)	使用可能						「はい・いいえ」・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
6-8	インナーフォン	使用可能						「はい・いいえ」・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
6-9	緊急時衛星通信システム	使用可能						「はい・いいえ」・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
6-10	加入電話	使用可能						「はい・いいえ」・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
6-11	加入ファクシミリ	使用可能						「はい・いいえ」・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
6-12	無線通話装置	使用可能						「はい・いいえ」・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
6-13	統合原子力防災ネットワークに接続する通信機設備	使用可能						「はい・いいえ」・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
6-14	SPDS (安全パラメータ表示システム) 表示装置	使用可能						「はい・いいえ」・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
6-15	携帯型通話装置	使用可能						「はい・いいえ」・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
6-16	衛星電話 (機密)	使用可能						「はい・いいえ」・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
番号	項目	確認日時	年	月	日	時	分	状態	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
1	原子炉建屋へのアクセス							可能・不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
2	制御建屋へのアクセス							可能・不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
3	中央制御室へのアクセス							可能・不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
4	廃水ポンプエリアへのアクセス							可能・不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
5	取水口へのアクセス							可能・不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
6	可搬型設備接続口 (原子炉建屋 北側) (取水設備タンク接続口含む)	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
7	可搬型設備接続口 (原子炉建屋 東側)	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
8	可搬型設備接続口 (原子炉建屋 西側)	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
9	可搬型設備接続口 (制御建屋 建屋内)	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
10	可搬型設備接続口 (制御建屋 南側)	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
11	可搬型設備接続口 (原子炉建屋 建屋内)	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
番号	項目	確認日時	年	月	日	時	分	状態	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
1	原子炉建屋損傷							損傷なし・損傷あり・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
2	タービン建屋損傷							損傷なし・損傷あり・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
3	制御建屋損傷							損傷なし・損傷あり・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
番号	項目	確認日時	年	月	日	時	分	状態	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
6-1	原子炉建屋	アクセス可能						可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
6-2	原子炉建屋	アクセス可能						可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
6-3	タービン建屋	アクセス可能						可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
6-4	電気建屋	アクセス可能						可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
6-5	タービン建屋	アクセス可能						可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
6-6	廃水ポンプ建屋	アクセス可能						可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
6-7	無人可搬型設備電源接続口	使用可能						可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
6-8	1号可搬型設備電源接続口	使用可能						可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
6-9	可搬型設備電源接続口	使用可能						可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
6-10	可搬型設備電源接続口	使用可能						可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
6-11	可搬型設備電源接続口	使用可能						可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
6-12	燃料貯蔵施設電源接続口	使用可能						可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
番号	項目	確認日時	年	月	日	時	分	状態	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
7-1	原子炉建屋損傷	損傷						あり・なし・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
7-2	燃料貯蔵施設損傷	損傷						あり・なし・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
7-3	原子炉建屋損傷	損傷						あり・なし・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
7-4	タービン建屋損傷	損傷						あり・なし・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
7-5	電気建屋	損傷						あり・なし・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
7-6	タービン建屋	損傷						あり・なし・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
7-7	廃水ポンプ建屋	損傷						あり・なし・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
番号	項目	確認日時	年	月	日	時	分	状態	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
8-1	使用済燃料セット	アクセス可能						可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
8-2	使用済燃料セット	損傷						あり・なし・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
8-3	中央制御室へのアクセス	アクセス可能						可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
8-4	主変圧器室へのアクセス	アクセス可能						可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
8-5	安全補給機建屋へのアクセス	アクセス可能						可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
8-6	安全補給機建屋へのアクセス	アクセス可能						可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
8-7	常圧蒸気発生器へのアクセス	アクセス可能						可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
8-8	熱源蒸気発生器へのアクセス	アクセス可能						可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
8-9	可搬型大型取水ポンプ車体接続口	使用可能						可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
8-10	可搬型大型取水ポンプ車体接続口	使用可能						可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
8-11	可搬型大型取水ポンプ車体給水ライン接続口	使用可能						可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
8-12	可搬型大型取水ポンプ車体給水ライン接続口	使用可能						可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
8-13	可搬型大型取水ポンプ車体給水ライン接続口	使用可能						可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
8-14	可搬型大型取水ポンプ車体給水ライン接続口	使用可能						可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
8-15	燃料貯蔵施設建屋内接続口	使用可能						可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
8-16	燃料貯蔵施設建屋内接続口	使用可能						可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
8-17	可搬型大型取水ポンプ車体給水ライン接続口	使用可能						可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
8-18	可搬型大型取水ポンプ車体給水ライン接続口	使用可能						可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					

灰色：泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
<p style="text-align: center;">大規模損壊時プラント状態確認チェックシート(4/9) 大規模損壊時プラント状態確認チェックシート(4/9)</p> <p>7. 電源系統の確認 【ステップ3】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>確認日時</th> <th>平成</th> <th>年</th> <th>月</th> <th>日</th> <th>時</th> <th>分</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>7-1</td><td>外部電源</td><td>受電可能</td><td>は</td><td>い</td><td>い</td><td>い</td><td>い</td><td>い</td><td>不明・調査中</td><td></td></tr> <tr><td>7-2</td><td>ディーゼル発電機</td><td>運転可能</td><td>は</td><td>い</td><td>い</td><td>い</td><td>い</td><td>い</td><td>不明・調査中</td><td></td></tr> <tr><td>7-3</td><td>空冷式非常用発電機</td><td>運転可能</td><td>は</td><td>い</td><td>い</td><td>い</td><td>い</td><td>い</td><td>不明・調査中</td><td></td></tr> <tr><td>7-4</td><td>非常用高圧母線</td><td>受電可能</td><td>は</td><td>い</td><td>い</td><td>い</td><td>い</td><td>い</td><td>不明・調査中</td><td></td></tr> <tr><td>7-5</td><td>非常用低圧母線</td><td>受電可能</td><td>は</td><td>い</td><td>い</td><td>い</td><td>い</td><td>い</td><td>不明・調査中</td><td></td></tr> <tr><td>7-6</td><td>ディーゼル発電機(他号炉)</td><td>運転可能</td><td>は</td><td>い</td><td>い</td><td>い</td><td>い</td><td>い</td><td>不明・調査中</td><td></td></tr> <tr><td>7-7</td><td>蓄電池(安全設備用)</td><td>動作可能</td><td>は</td><td>い</td><td>い</td><td>い</td><td>い</td><td>い</td><td>不明・調査中</td><td></td></tr> <tr><td>7-8</td><td>号機間電力融通ケーブル(3号~4号)</td><td>使用可能</td><td>は</td><td>い</td><td>い</td><td>い</td><td>い</td><td>い</td><td>不明・調査中</td><td></td></tr> <tr><td>7-9</td><td>号機間電力融通予備ケーブル(3号~4号)</td><td>使用可能</td><td>は</td><td>い</td><td>い</td><td>い</td><td>い</td><td>い</td><td>不明・調査中</td><td></td></tr> <tr><td>7-10</td><td>号機間電力融通予備ケーブル(1、2号~3、4号)</td><td>使用可能</td><td>は</td><td>い</td><td>い</td><td>い</td><td>い</td><td>い</td><td>不明・調査中</td><td></td></tr> <tr><td>7-11</td><td>代替用内能気設備</td><td>受電可能</td><td>は</td><td>い</td><td>い</td><td>い</td><td>い</td><td>い</td><td>不明・調査中</td><td></td></tr> <tr><td>7-12</td><td>電源車</td><td>運転可能</td><td>は</td><td>い</td><td>い</td><td>い</td><td>い</td><td>い</td><td>不明・調査中</td><td></td></tr> <tr><td>7-13</td><td>%1予備電力供給ケーブル</td><td>使用可能</td><td>は</td><td>い</td><td>い</td><td>い</td><td>い</td><td>い</td><td>不明・調査中</td><td></td></tr> <tr><td>7-14</td><td>%2予備電力供給ケーブル</td><td>使用可能</td><td>は</td><td>い</td><td>い</td><td>い</td><td>い</td><td>い</td><td>不明・調査中</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>8. 建屋等へのアクセス性の確認*</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>確認日時</th> <th>平成</th> <th>年</th> <th>月</th> <th>日</th> <th>時</th> <th>分</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>8-1</td><td>原子炉格納容器</td><td>アクセス可能</td><td>は</td><td>い</td><td>い</td><td>い</td><td>い</td><td>い</td><td>不明・調査中</td><td rowspan="8">外観を監視カメラ又は現場目視により確認する。</td></tr> <tr><td>8-2</td><td>制御建屋</td><td>アクセス可能</td><td>は</td><td>い</td><td>い</td><td>い</td><td>い</td><td>い</td><td>不明・調査中</td></tr> <tr><td>8-3</td><td>廃棄物処理建屋</td><td>アクセス可能</td><td>は</td><td>い</td><td>い</td><td>い</td><td>い</td><td>い</td><td>不明・調査中</td></tr> <tr><td>8-4</td><td>原子炉周辺建屋(管理棟)</td><td>アクセス可能</td><td>は</td><td>い</td><td>い</td><td>い</td><td>い</td><td>い</td><td>不明・調査中</td></tr> <tr><td>8-5</td><td>原子炉周辺建屋(非管理棟)</td><td>アクセス可能</td><td>は</td><td>い</td><td>い</td><td>い</td><td>い</td><td>い</td><td>不明・調査中</td></tr> <tr><td>8-6</td><td>原子炉周辺建屋(行政棟内燃機棟等)</td><td>アクセス可能</td><td>は</td><td>い</td><td>い</td><td>い</td><td>い</td><td>い</td><td>不明・調査中</td></tr> <tr><td>8-7</td><td>タービン建屋</td><td>アクセス可能</td><td>は</td><td>い</td><td>い</td><td>い</td><td>い</td><td>い</td><td>不明・調査中</td></tr> <tr><td>8-8</td><td>永久構台</td><td>アクセス可能</td><td>は</td><td>い</td><td>い</td><td>い</td><td>い</td><td>い</td><td>不明・調査中</td></tr> </tbody> </table> <p>* 建屋の損壊状態を含め、事故対応への支障の有無の観点から確認すること。</p>	番号	項目	確認日時	平成	年	月	日	時	分	状態	備考	7-1	外部電源	受電可能	は	い	い	い	い	い	不明・調査中		7-2	ディーゼル発電機	運転可能	は	い	い	い	い	い	不明・調査中		7-3	空冷式非常用発電機	運転可能	は	い	い	い	い	い	不明・調査中		7-4	非常用高圧母線	受電可能	は	い	い	い	い	い	不明・調査中		7-5	非常用低圧母線	受電可能	は	い	い	い	い	い	不明・調査中		7-6	ディーゼル発電機(他号炉)	運転可能	は	い	い	い	い	い	不明・調査中		7-7	蓄電池(安全設備用)	動作可能	は	い	い	い	い	い	不明・調査中		7-8	号機間電力融通ケーブル(3号~4号)	使用可能	は	い	い	い	い	い	不明・調査中		7-9	号機間電力融通予備ケーブル(3号~4号)	使用可能	は	い	い	い	い	い	不明・調査中		7-10	号機間電力融通予備ケーブル(1、2号~3、4号)	使用可能	は	い	い	い	い	い	不明・調査中		7-11	代替用内能気設備	受電可能	は	い	い	い	い	い	不明・調査中		7-12	電源車	運転可能	は	い	い	い	い	い	不明・調査中		7-13	%1予備電力供給ケーブル	使用可能	は	い	い	い	い	い	不明・調査中		7-14	%2予備電力供給ケーブル	使用可能	は	い	い	い	い	い	不明・調査中		番号	項目	確認日時	平成	年	月	日	時	分	状態	備考	8-1	原子炉格納容器	アクセス可能	は	い	い	い	い	い	不明・調査中	外観を監視カメラ又は現場目視により確認する。	8-2	制御建屋	アクセス可能	は	い	い	い	い	い	不明・調査中	8-3	廃棄物処理建屋	アクセス可能	は	い	い	い	い	い	不明・調査中	8-4	原子炉周辺建屋(管理棟)	アクセス可能	は	い	い	い	い	い	不明・調査中	8-5	原子炉周辺建屋(非管理棟)	アクセス可能	は	い	い	い	い	い	不明・調査中	8-6	原子炉周辺建屋(行政棟内燃機棟等)	アクセス可能	は	い	い	い	い	い	不明・調査中	8-7	タービン建屋	アクセス可能	は	い	い	い	い	い	不明・調査中	8-8	永久構台	アクセス可能	は	い	い	い	い	い	不明・調査中	<p>第2.1表 プラント状態確認チェックシートによる確認(4/10)</p> <p>(6) 電源系統の確認</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>確認日時</th> <th>平成</th> <th>年</th> <th>月</th> <th>日</th> <th>時</th> <th>分</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>外部電源受電</td><td>受電中・停電中・使用不可・不明</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td>非常用ディーゼル発電機(A)</td><td>運転中・待機中・使用不可・不明</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td>非常用M/C(C)受電</td><td>受電中・停電中・使用不可・不明</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td>非常用P/C(C)受電</td><td>受電中・停電中・使用不可・不明</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td>123V 直流主母線盤 2A、2A-1受電</td><td>受電中・停電中・使用不可・不明</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>6</td><td>123V 蓄電池 2A</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>7</td><td>250V 直流主母線盤受電</td><td>受電中・停電中・使用不可・不明</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>8</td><td>250V 蓄電池</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>9</td><td>非常用ディーゼル発電機(B)</td><td>運転中・待機中・使用不可・不明</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>10</td><td>非常用M/C(D)受電</td><td>受電中・停電中・使用不可・不明</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>11</td><td>非常用P/C(D)受電</td><td>受電中・停電中・使用不可・不明</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>12</td><td>123V 直流主母線盤 2B、2B-1受電</td><td>受電中・停電中・使用不可・不明</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>13</td><td>123V 蓄電池 2B</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>14</td><td>高圧中心スプレッドディーゼル発電機</td><td>運転中・待機中・使用不可・不明</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>15</td><td>非常用M/C(H)受電</td><td>受電中・停電中・使用不可・不明</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>16</td><td>123V 直流主母線盤 2C受電</td><td>受電中・停電中・使用不可・不明</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>17</td><td>123V 蓄電池 2C</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>18</td><td>ガスタービン発電機(A)</td><td>運転中・待機中・使用不可・不明</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>19</td><td>ガスタービン発電機(B)</td><td>運転中・待機中・使用不可・不明</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>20</td><td>緊急用高圧母線(F)受電</td><td>受電中・停電中・使用不可・不明</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>21</td><td>緊急用高圧母線(G)受電</td><td>受電中・停電中・使用不可・不明</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>22</td><td>123V 代替蓄電池</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>23</td><td>軽油タンク A系</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>24</td><td>軽油タンク B系</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>25</td><td>軽油タンク 燃料系</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>26</td><td>ガスタービン発電機軽油タンク</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>27</td><td>他号炉電源融通設備</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>注) プラント状態確認チェックシートは、今後の訓練によって見直し可能性がある。</p>	番号	項目	確認日時	平成	年	月	日	時	分	状態	備考	1	外部電源受電	受電中・停電中・使用不可・不明									2	非常用ディーゼル発電機(A)	運転中・待機中・使用不可・不明									3	非常用M/C(C)受電	受電中・停電中・使用不可・不明									4	非常用P/C(C)受電	受電中・停電中・使用不可・不明									5	123V 直流主母線盤 2A、2A-1受電	受電中・停電中・使用不可・不明									6	123V 蓄電池 2A	使用可能・使用不可・不明									7	250V 直流主母線盤受電	受電中・停電中・使用不可・不明									8	250V 蓄電池	使用可能・使用不可・不明									9	非常用ディーゼル発電機(B)	運転中・待機中・使用不可・不明									10	非常用M/C(D)受電	受電中・停電中・使用不可・不明									11	非常用P/C(D)受電	受電中・停電中・使用不可・不明									12	123V 直流主母線盤 2B、2B-1受電	受電中・停電中・使用不可・不明									13	123V 蓄電池 2B	使用可能・使用不可・不明									14	高圧中心スプレッドディーゼル発電機	運転中・待機中・使用不可・不明									15	非常用M/C(H)受電	受電中・停電中・使用不可・不明									16	123V 直流主母線盤 2C受電	受電中・停電中・使用不可・不明									17	123V 蓄電池 2C	使用可能・使用不可・不明									18	ガスタービン発電機(A)	運転中・待機中・使用不可・不明									19	ガスタービン発電機(B)	運転中・待機中・使用不可・不明									20	緊急用高圧母線(F)受電	受電中・停電中・使用不可・不明									21	緊急用高圧母線(G)受電	受電中・停電中・使用不可・不明									22	123V 代替蓄電池	使用可能・使用不可・不明									23	軽油タンク A系	使用可能・使用不可・不明									24	軽油タンク B系	使用可能・使用不可・不明									25	軽油タンク 燃料系	使用可能・使用不可・不明									26	ガスタービン発電機軽油タンク	使用可能・使用不可・不明									27	他号炉電源融通設備	使用可能・使用不可・不明									<p>第1表 プラント状態確認チェックシートによる確認(4/9)</p> <p>(6) 電源系統の確認 【ステップ3】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>確認日時</th> <th>平成</th> <th>年</th> <th>月</th> <th>日</th> <th>時</th> <th>分</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>9-1</td><td>外部電源</td><td>使用可能</td><td>可</td><td>能</td><td>・</td><td>不</td><td>可</td><td>・</td><td>不明・調査中</td><td></td></tr> <tr><td>9-2</td><td>A-ディーゼル発電機</td><td>運転可能</td><td>可</td><td>能</td><td>・</td><td>不</td><td>可</td><td>・</td><td>不明・調査中</td><td></td></tr> <tr><td>9-3</td><td>B-ディーゼル発電機</td><td>運転可能</td><td>可</td><td>能</td><td>・</td><td>不</td><td>可</td><td>・</td><td>不明・調査中</td><td></td></tr> <tr><td>9-4</td><td>代替用発電機</td><td>運転可能</td><td>可</td><td>能</td><td>・</td><td>不</td><td>可</td><td>・</td><td>不明・調査中</td><td></td></tr> <tr><td>9-5</td><td>9-2 A母線</td><td>使用可能</td><td>可</td><td>能</td><td>・</td><td>不</td><td>可</td><td>・</td><td>不明・調査中</td><td></td></tr> <tr><td>9-6</td><td>9-3 B母線</td><td>使用可能</td><td>可</td><td>能</td><td>・</td><td>不</td><td>可</td><td>・</td><td>不明・調査中</td><td></td></tr> <tr><td>9-7</td><td>1 A-1 1 B-ディーゼル発電機</td><td>運転可能</td><td>可</td><td>能</td><td>・</td><td>不</td><td>可</td><td>・</td><td>不明・調査中</td><td></td></tr> <tr><td>9-8</td><td>2 A-1 2 B-ディーゼル発電機</td><td>運転可能</td><td>可</td><td>能</td><td>・</td><td>不</td><td>可</td><td>・</td><td>不明・調査中</td><td></td></tr> <tr><td>9-9</td><td>2 B-1 2 B-ディーゼル発電機</td><td>運転可能</td><td>可</td><td>能</td><td>・</td><td>不</td><td>可</td><td>・</td><td>不明・調査中</td><td></td></tr> <tr><td>9-10</td><td>号機間電力ケーブル</td><td>使用可能</td><td>可</td><td>能</td><td>・</td><td>不</td><td>可</td><td>・</td><td>不明・調査中</td><td></td></tr> <tr><td>9-11</td><td>号機間電力予備ケーブル</td><td>使用可能</td><td>可</td><td>能</td><td>・</td><td>不</td><td>可</td><td>・</td><td>不明・調査中</td><td></td></tr> <tr><td>9-12</td><td>代替用内能気設備</td><td>使用可能</td><td>可</td><td>能</td><td>・</td><td>不</td><td>可</td><td>・</td><td>不明・調査中</td><td></td></tr> <tr><td>9-13</td><td>A-直流母線</td><td>使用可能</td><td>可</td><td>能</td><td>・</td><td>不</td><td>可</td><td>・</td><td>不明・調査中</td><td></td></tr> <tr><td>9-14</td><td>B-直流母線</td><td>使用可能</td><td>可</td><td>能</td><td>・</td><td>不</td><td>可</td><td>・</td><td>不明・調査中</td><td></td></tr> <tr><td>9-15</td><td>A-蓄電池(非常用)</td><td>使用可能</td><td>可</td><td>能</td><td>・</td><td>不</td><td>可</td><td>・</td><td>不明・調査中</td><td></td></tr> <tr><td>9-16</td><td>B-蓄電池(非常用)</td><td>使用可能</td><td>可</td><td>能</td><td>・</td><td>不</td><td>可</td><td>・</td><td>不明・調査中</td><td></td></tr> <tr><td>9-17</td><td>A-後備蓄電池</td><td>使用可能</td><td>可</td><td>能</td><td>・</td><td>不</td><td>可</td><td>・</td><td>不明・調査中</td><td></td></tr> <tr><td>9-18</td><td>B-後備蓄電池</td><td>使用可能</td><td>可</td><td>能</td><td>・</td><td>不</td><td>可</td><td>・</td><td>不明・調査中</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>注1) 機器の状態が「可能」には、運転中・待機中を含む。 注2) 当該エリアに備置台を配備する設備は、運転可能・使用可能な台数を確認し記載する。</p> <p>注) プラント状態確認チェックシートは、今後の訓練によって見直し可能性がある。</p>	番号	項目	確認日時	平成	年	月	日	時	分	状態	備考	9-1	外部電源	使用可能	可	能	・	不	可	・	不明・調査中		9-2	A-ディーゼル発電機	運転可能	可	能	・	不	可	・	不明・調査中		9-3	B-ディーゼル発電機	運転可能	可	能	・	不	可	・	不明・調査中		9-4	代替用発電機	運転可能	可	能	・	不	可	・	不明・調査中		9-5	9-2 A母線	使用可能	可	能	・	不	可	・	不明・調査中		9-6	9-3 B母線	使用可能	可	能	・	不	可	・	不明・調査中		9-7	1 A-1 1 B-ディーゼル発電機	運転可能	可	能	・	不	可	・	不明・調査中		9-8	2 A-1 2 B-ディーゼル発電機	運転可能	可	能	・	不	可	・	不明・調査中		9-9	2 B-1 2 B-ディーゼル発電機	運転可能	可	能	・	不	可	・	不明・調査中		9-10	号機間電力ケーブル	使用可能	可	能	・	不	可	・	不明・調査中		9-11	号機間電力予備ケーブル	使用可能	可	能	・	不	可	・	不明・調査中		9-12	代替用内能気設備	使用可能	可	能	・	不	可	・	不明・調査中		9-13	A-直流母線	使用可能	可	能	・	不	可	・	不明・調査中		9-14	B-直流母線	使用可能	可	能	・	不	可	・	不明・調査中		9-15	A-蓄電池(非常用)	使用可能	可	能	・	不	可	・	不明・調査中		9-16	B-蓄電池(非常用)	使用可能	可	能	・	不	可	・	不明・調査中		9-17	A-後備蓄電池	使用可能	可	能	・	不	可	・	不明・調査中		9-18	B-後備蓄電池	使用可能	可	能	・	不	可	・	不明・調査中		<p>【大飯】設備及び運用の相違に伴うプラント状態確認項目等の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大飯の7.の事項については、泊の9.（チェックシート(4/9)）の事項に対応している。 ・大飯の8.の事項については、泊の6.の事項に対応している。 <p>【女川】設備及び運用の相違に伴うプラント状態確認項目等の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川の2.（6）の事項については、泊の9.（チェックシート(4/9)）の事項に対応している。
番号	項目	確認日時	平成	年	月	日	時	分	状態	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
7-1	外部電源	受電可能	は	い	い	い	い	い	不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
7-2	ディーゼル発電機	運転可能	は	い	い	い	い	い	不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
7-3	空冷式非常用発電機	運転可能	は	い	い	い	い	い	不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
7-4	非常用高圧母線	受電可能	は	い	い	い	い	い	不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
7-5	非常用低圧母線	受電可能	は	い	い	い	い	い	不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
7-6	ディーゼル発電機(他号炉)	運転可能	は	い	い	い	い	い	不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
7-7	蓄電池(安全設備用)	動作可能	は	い	い	い	い	い	不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
7-8	号機間電力融通ケーブル(3号~4号)	使用可能	は	い	い	い	い	い	不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
7-9	号機間電力融通予備ケーブル(3号~4号)	使用可能	は	い	い	い	い	い	不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
7-10	号機間電力融通予備ケーブル(1、2号~3、4号)	使用可能	は	い	い	い	い	い	不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
7-11	代替用内能気設備	受電可能	は	い	い	い	い	い	不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
7-12	電源車	運転可能	は	い	い	い	い	い	不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
7-13	%1予備電力供給ケーブル	使用可能	は	い	い	い	い	い	不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
7-14	%2予備電力供給ケーブル	使用可能	は	い	い	い	い	い	不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
番号	項目	確認日時	平成	年	月	日	時	分	状態	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
8-1	原子炉格納容器	アクセス可能	は	い	い	い	い	い	不明・調査中	外観を監視カメラ又は現場目視により確認する。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
8-2	制御建屋	アクセス可能	は	い	い	い	い	い	不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
8-3	廃棄物処理建屋	アクセス可能	は	い	い	い	い	い	不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
8-4	原子炉周辺建屋(管理棟)	アクセス可能	は	い	い	い	い	い	不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
8-5	原子炉周辺建屋(非管理棟)	アクセス可能	は	い	い	い	い	い	不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
8-6	原子炉周辺建屋(行政棟内燃機棟等)	アクセス可能	は	い	い	い	い	い	不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
8-7	タービン建屋	アクセス可能	は	い	い	い	い	い	不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
8-8	永久構台	アクセス可能	は	い	い	い	い	い	不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
番号	項目	確認日時	平成	年	月	日	時	分	状態	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
1	外部電源受電	受電中・停電中・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
2	非常用ディーゼル発電機(A)	運転中・待機中・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
3	非常用M/C(C)受電	受電中・停電中・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
4	非常用P/C(C)受電	受電中・停電中・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
5	123V 直流主母線盤 2A、2A-1受電	受電中・停電中・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
6	123V 蓄電池 2A	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
7	250V 直流主母線盤受電	受電中・停電中・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
8	250V 蓄電池	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
9	非常用ディーゼル発電機(B)	運転中・待機中・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
10	非常用M/C(D)受電	受電中・停電中・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
11	非常用P/C(D)受電	受電中・停電中・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
12	123V 直流主母線盤 2B、2B-1受電	受電中・停電中・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
13	123V 蓄電池 2B	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
14	高圧中心スプレッドディーゼル発電機	運転中・待機中・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
15	非常用M/C(H)受電	受電中・停電中・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
16	123V 直流主母線盤 2C受電	受電中・停電中・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
17	123V 蓄電池 2C	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
18	ガスタービン発電機(A)	運転中・待機中・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
19	ガスタービン発電機(B)	運転中・待機中・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
20	緊急用高圧母線(F)受電	受電中・停電中・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
21	緊急用高圧母線(G)受電	受電中・停電中・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
22	123V 代替蓄電池	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
23	軽油タンク A系	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
24	軽油タンク B系	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
25	軽油タンク 燃料系	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
26	ガスタービン発電機軽油タンク	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
27	他号炉電源融通設備	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
番号	項目	確認日時	平成	年	月	日	時	分	状態	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
9-1	外部電源	使用可能	可	能	・	不	可	・	不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
9-2	A-ディーゼル発電機	運転可能	可	能	・	不	可	・	不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
9-3	B-ディーゼル発電機	運転可能	可	能	・	不	可	・	不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
9-4	代替用発電機	運転可能	可	能	・	不	可	・	不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
9-5	9-2 A母線	使用可能	可	能	・	不	可	・	不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
9-6	9-3 B母線	使用可能	可	能	・	不	可	・	不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
9-7	1 A-1 1 B-ディーゼル発電機	運転可能	可	能	・	不	可	・	不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
9-8	2 A-1 2 B-ディーゼル発電機	運転可能	可	能	・	不	可	・	不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
9-9	2 B-1 2 B-ディーゼル発電機	運転可能	可	能	・	不	可	・	不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
9-10	号機間電力ケーブル	使用可能	可	能	・	不	可	・	不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
9-11	号機間電力予備ケーブル	使用可能	可	能	・	不	可	・	不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
9-12	代替用内能気設備	使用可能	可	能	・	不	可	・	不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
9-13	A-直流母線	使用可能	可	能	・	不	可	・	不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
9-14	B-直流母線	使用可能	可	能	・	不	可	・	不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
9-15	A-蓄電池(非常用)	使用可能	可	能	・	不	可	・	不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
9-16	B-蓄電池(非常用)	使用可能	可	能	・	不	可	・	不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
9-17	A-後備蓄電池	使用可能	可	能	・	不	可	・	不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
9-18	B-後備蓄電池	使用可能	可	能	・	不	可	・	不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																

灰色：泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所 3 / 4号炉

大規模損壊時プラント状態確認チェックシート (5/9)

大規模損壊時プラント状態確認チェックシート (5/9)

番号	項目	確認日時 平成 年 月 日 時 分	状態	備考
9-1	原子炉格納容器		損傷なし	外観を写真カメラ又は現場目視により確認する。
9-2	制御建屋		はい、いいえ、不明・調査中	
9-3	廃棄物処理建屋		はい、いいえ、不明・調査中	
9-4	原子炉周辺建屋(管理区域)		損傷なし	
9-5	原子炉周辺建屋(非管理区域)		はい、いいえ、不明・調査中	
9-6	原子炉周辺建屋(非管理区域等)		損傷なし	
9-7	タービン建屋		はい、いいえ、不明・調査中	

10. 建屋等の内部確認

番号	項目	確認日時 平成 年 月 日 時 分	状態	備考
10-1	使用済燃料ピット		アクセス可能	外観を写真カメラ又は現場目視により確認する。
10-2	使用済燃料ピット		損傷なし	
10-3	中央制御室		アクセス可能	
10-4	主要気配管室		アクセス可能	
10-5	安全補綴制御室		アクセス可能	
10-6	原子炉周辺建屋(原子炉・C/V注水設備)		はい、いいえ、不明・調査中	
10-7	使用済燃料ピット(格納口)		はい、いいえ、不明・調査中	
10-8	原子炉周辺建屋(廃棄物処理設備)		はい、いいえ、不明・調査中	

※1 現場目視による水位低下又は漏えい、輸送管からの漏水がないか確認しているとする。
 ※2 該当箇所へのアクセスが可能で機械室等の破損がなく確認が可能であれば「はい」とする。

女川原子力発電所 2号炉

第2.1表 プラント状態確認チェックシートによる確認 (5/10)

(7)常設設備の確認 (1/2)

番号	項目	確認日時 年 月 日 時 分	状態	備考
1	制御棟駆動水圧系		運転中・停止中・電源なし、使用不可・不明	
2	ほう水注入系		運転中・停止中・電源なし、使用不可・不明	
3	原子炉隔離時冷却系		運転中・待機中、使用不可・不明	
4	高圧代替注水系		運転中・待機中、使用不可・不明	
5	高圧炉心スプレイ系		運転中・停止中・電源なし、使用不可・不明	
6	主要気流がし安全弁		使用可能・使用不可・不明	
7	高圧冷却ガス供給系		使用可能・使用不可・不明	
8	代替高圧冷却ガス供給系		使用可能・使用不可・不明	
9	低圧炉心スプレイ系		運転中・停止中・電源なし、使用不可・不明	
10	廃棄物除去系 (A)		運転中・停止中・電源なし、使用不可・不明	
11	廃棄物除去系 (B)		運転中・停止中・電源なし、使用不可・不明	
12	廃棄物除去系 (C)		運転中・停止中・電源なし、使用不可・不明	
13	代替補綴冷却系		運転中・停止中・電源なし、使用不可・不明	
14	直流駆動低圧注水系		運転中・停止中・電源なし、使用不可・不明	
15	排水系		運転中・停止中・電源なし、使用不可・不明	
16	給水系		運転中・停止中・電源なし、使用不可・不明	
17	取水補給水系		運転中・停止中・電源なし、使用不可・不明	
18	純水補給水系		運転中・停止中・電源なし、使用不可・不明	
19	ろ過水系		運転中・停止中・電源なし、使用不可・不明	
20	原子炉冷却材浄化系		運転中・停止中・電源なし、使用不可・不明	
21	ドワイヤル冷却系		運転中・停止中・電源なし、使用不可・不明	

(注) プラント状態確認チェックシートは、今後の訓練によって見直し可能性がある。

泊発電所 3号炉

第1表 プラント状態確認チェックシートによる確認 (5/9)

10. 機器状態の確認	(1) 3号炉原子炉建屋 (確認日時) 年 月 日 時 分 (確認者)	備考
10-01-1	10-01-1 10-01-1 10-01-1	
10-01-2	10-01-2 10-01-2 10-01-2	
10-01-3	10-01-3 10-01-3 10-01-3	
10-01-4	10-01-4 10-01-4 10-01-4	
10-01-5	10-01-5 10-01-5 10-01-5	
10-01-6	10-01-6 10-01-6 10-01-6	
10-01-7	10-01-7 10-01-7 10-01-7	
10-01-8	10-01-8 10-01-8 10-01-8	
10-01-9	10-01-9 10-01-9 10-01-9	
10-01-10	10-01-10 10-01-10 10-01-10	
10-01-11	10-01-11 10-01-11 10-01-11	
10-01-12	10-01-12 10-01-12 10-01-12	
10-01-13	10-01-13 10-01-13 10-01-13	
10-01-14	10-01-14 10-01-14 10-01-14	
10-01-15	10-01-15 10-01-15 10-01-15	
10-01-16	10-01-16 10-01-16 10-01-16	
10-01-17	10-01-17 10-01-17 10-01-17	
10-01-18	10-01-18 10-01-18 10-01-18	
10-01-19	10-01-19 10-01-19 10-01-19	
10-01-20	10-01-20 10-01-20 10-01-20	
10-01-21	10-01-21 10-01-21 10-01-21	
10-01-22	10-01-22 10-01-22 10-01-22	
10-01-23	10-01-23 10-01-23 10-01-23	
10-01-24	10-01-24 10-01-24 10-01-24	
10-01-25	10-01-25 10-01-25 10-01-25	
10-01-26	10-01-26 10-01-26 10-01-26	
10-01-27	10-01-27 10-01-27 10-01-27	
10-01-28	10-01-28 10-01-28 10-01-28	
10-01-29	10-01-29 10-01-29 10-01-29	
10-01-30	10-01-30 10-01-30 10-01-30	
10-01-31	10-01-31 10-01-31 10-01-31	
10-01-32	10-01-32 10-01-32 10-01-32	
10-01-33	10-01-33 10-01-33 10-01-33	

※1：機器の状態の「可能」には、運転中・動作中を含む。
 ※2：当該エリアに複数台も配置する設備は、運転可能・使用可能な数を確認し記載する。

(注) プラント状態確認チェックシートは、今後の訓練によって見直し可能性がある。

相違理由

- 【大飯】設備及び運用の相違に伴うプラント状態確認項目等の相違
- ・大飯の9.の事項については、泊の7. (チェックシート(3/9))の事項に対応している。
- ・大飯の10.の事項については、泊の8. (チェックシート(3/9))の事項に対応している。
- 【女川】設備及び運用の相違に伴うプラント状態確認項目等の相違
- ・女川の2. (7)の事項については、泊の10. (1)～(5) (チェックシート(6/9)～(7/9))の事項に対応している。

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
<p style="text-align: center;">大規模損壊時プラント状態確認チェックシート(6/9)</p> <p style="text-align: center;">大規模損壊時プラント状態確認チェックシート(6/9)</p> <p>1. 機器状態の確認 【ステップ4】</p> <p>(1) 代替電源等で運転又は使用可能な機器*</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>確認者</th> <th>確認日時</th> <th>平成</th> <th>年</th> <th>月</th> <th>日</th> <th>時</th> <th>分</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>番号</td> <td>項目</td> <td>状態</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>11-01-1</td> <td>タービン駆動補助給水ポンプ</td> <td>運転可能</td> <td>はい</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>11-01-2</td> <td>主蒸気減圧弁弁</td> <td>使用可能</td> <td>はい</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>11-01-3</td> <td>加圧減速弁弁</td> <td>使用可能</td> <td>はい</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>11-01-4</td> <td>恒設代替給圧注水ポンプ</td> <td>運転可能</td> <td>はい</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>11-01-5</td> <td>アミン系空気浄化装置</td> <td>運転可能</td> <td>はい</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>11-01-6</td> <td>消泡ポンプ</td> <td>運転可能</td> <td>はい</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>11-01-7</td> <td>蒸気発生器補助給油放散用ポンプ(電動)</td> <td>運転可能</td> <td>はい</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>不明・調査中</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ プラント監視機能が喪失している場合は、運転中(使用中)の場合は機器に損傷がなければ「はい」とする。ただし、加圧減速弁弁については可能性バッテリー、電表がシベ(又は、可搬式空気浄化装置)が健全で原子炉格納容器の液位がなければ「はい」とする。</p> <p>(2) 常設電源で運転する機器*</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>確認者</th> <th>確認日時</th> <th>平成</th> <th>年</th> <th>月</th> <th>日</th> <th>時</th> <th>分</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>番号</td> <td>項目</td> <td>状態</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>11-02-1</td> <td>電動補助給水ポンプ</td> <td>運転可能</td> <td>はい</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>11-02-2</td> <td>全熱除去ポンプ</td> <td>運転可能</td> <td>はい</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>11-02-3</td> <td>定電圧ポンプ</td> <td>運転可能</td> <td>はい</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>11-02-4</td> <td>高圧注入ポンプ</td> <td>運転可能</td> <td>はい</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>11-02-5</td> <td>格納容器スプレイポンプ</td> <td>運転可能</td> <td>はい</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>11-02-6</td> <td>海水ポンプ</td> <td>運転可能</td> <td>はい</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>11-02-7</td> <td>原子炉補機冷却海水ポンプ</td> <td>運転可能</td> <td>はい</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>11-02-8</td> <td>使用済燃料ピットポンプ</td> <td>運転可能</td> <td>はい</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>11-02-9</td> <td>新鮮用空気圧縮機</td> <td>運転可能</td> <td>はい</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>不明・調査中</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ プラント監視機能が喪失している場合は、運転中又は発電中であり、機器に損傷がない場合は「はい」とする。大規模損壊時プラント状態確認チェックシート(7/9)</p> <p>(3) 静電機器*</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>確認者</th> <th>確認日時</th> <th>平成</th> <th>年</th> <th>月</th> <th>日</th> <th>時</th> <th>分</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>番号</td> <td>項目</td> <td>状態</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>11-03-1</td> <td>格納容器再循環ユニット</td> <td>使用可能</td> <td>はい</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>11-03-2</td> <td>燃料池替用排水ピット</td> <td>損傷なし</td> <td>はい</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>11-03-3</td> <td>復水ピット</td> <td>損傷なし</td> <td>はい</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>11-03-4</td> <td>復水タンク</td> <td>損傷なし</td> <td>はい</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>11-03-5</td> <td>1次系純水タンク</td> <td>損傷なし</td> <td>はい</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>不明・調査中</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ プラント監視機能が喪失している場合は、外観により損傷がなければ「はい」とする。ただし、格納容器再循環ユニットは原子炉格納容器の液位がなければ「はい」とする。</p>	確認者	確認日時	平成	年	月	日	時	分	備考	番号	項目	状態							11-01-1	タービン駆動補助給水ポンプ	運転可能	はい	・	・	・	・	不明・調査中	11-01-2	主蒸気減圧弁弁	使用可能	はい	・	・	・	・	不明・調査中	11-01-3	加圧減速弁弁	使用可能	はい	・	・	・	・	不明・調査中	11-01-4	恒設代替給圧注水ポンプ	運転可能	はい	・	・	・	・	不明・調査中	11-01-5	アミン系空気浄化装置	運転可能	はい	・	・	・	・	不明・調査中	11-01-6	消泡ポンプ	運転可能	はい	・	・	・	・	不明・調査中	11-01-7	蒸気発生器補助給油放散用ポンプ(電動)	運転可能	はい	・	・	・	・	不明・調査中	確認者	確認日時	平成	年	月	日	時	分	備考	番号	項目	状態							11-02-1	電動補助給水ポンプ	運転可能	はい	・	・	・	・	不明・調査中	11-02-2	全熱除去ポンプ	運転可能	はい	・	・	・	・	不明・調査中	11-02-3	定電圧ポンプ	運転可能	はい	・	・	・	・	不明・調査中	11-02-4	高圧注入ポンプ	運転可能	はい	・	・	・	・	不明・調査中	11-02-5	格納容器スプレイポンプ	運転可能	はい	・	・	・	・	不明・調査中	11-02-6	海水ポンプ	運転可能	はい	・	・	・	・	不明・調査中	11-02-7	原子炉補機冷却海水ポンプ	運転可能	はい	・	・	・	・	不明・調査中	11-02-8	使用済燃料ピットポンプ	運転可能	はい	・	・	・	・	不明・調査中	11-02-9	新鮮用空気圧縮機	運転可能	はい	・	・	・	・	不明・調査中	確認者	確認日時	平成	年	月	日	時	分	備考	番号	項目	状態							11-03-1	格納容器再循環ユニット	使用可能	はい	・	・	・	・	不明・調査中	11-03-2	燃料池替用排水ピット	損傷なし	はい	・	・	・	・	不明・調査中	11-03-3	復水ピット	損傷なし	はい	・	・	・	・	不明・調査中	11-03-4	復水タンク	損傷なし	はい	・	・	・	・	不明・調査中	11-03-5	1次系純水タンク	損傷なし	はい	・	・	・	・	不明・調査中	<p style="text-align: center;">第2.1表 プラント状態確認チェックシートによる確認(6/10)</p> <p style="text-align: center;">(7)常設設備の確認(2/2)</p> <p style="text-align: center;">確認日時 年 月 日 時 分</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>22</td> <td>原子炉格納容器フィルタバント系</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>23</td> <td>凝汽機化バント系</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>24</td> <td>タービンバイパス弁</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>25</td> <td>非常用ガス処理系</td> <td>運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>26</td> <td>燃料プール冷却処理系</td> <td>運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>27</td> <td>燃料プール補給水系</td> <td>運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>28</td> <td>燃料プール注水系(常設配管)</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>29</td> <td>燃料プールスプレイ系(常設配管)</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>30</td> <td>可燃性ガス濃度検知系</td> <td>運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>31</td> <td>静的無電圧電源再結合装置</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>32</td> <td>原子炉補機冷却海水系(A)</td> <td>運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>33</td> <td>原子炉補機冷却海水系(B)</td> <td>運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>34</td> <td>原子炉補機冷却海水系(A)</td> <td>運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>35</td> <td>原子炉補機冷却海水系(B)</td> <td>運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>36</td> <td>高圧が心スプレイ補機冷却海水系</td> <td>運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>37</td> <td>高圧が心スプレイ補機冷却海水系</td> <td>運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>38</td> <td>タービン凝機冷却海水系</td> <td>運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>39</td> <td>タービン補機冷却海水系</td> <td>運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>40</td> <td>地下水位低下設備</td> <td>運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>41</td> <td>原子炉格納容器1段調整弁</td> <td>運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">(注) プラント状態確認チェックシートは、今後の訓練によって見直し可能性がある。</p>	番号	項目	状態	備考	22	原子炉格納容器フィルタバント系	使用可能・使用不可・不明		23	凝汽機化バント系	使用可能・使用不可・不明		24	タービンバイパス弁	使用可能・使用不可・不明		25	非常用ガス処理系	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明		26	燃料プール冷却処理系	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明		27	燃料プール補給水系	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明		28	燃料プール注水系(常設配管)	使用可能・使用不可・不明		29	燃料プールスプレイ系(常設配管)	使用可能・使用不可・不明		30	可燃性ガス濃度検知系	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明		31	静的無電圧電源再結合装置	使用可能・使用不可・不明		32	原子炉補機冷却海水系(A)	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明		33	原子炉補機冷却海水系(B)	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明		34	原子炉補機冷却海水系(A)	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明		35	原子炉補機冷却海水系(B)	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明		36	高圧が心スプレイ補機冷却海水系	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明		37	高圧が心スプレイ補機冷却海水系	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明		38	タービン凝機冷却海水系	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明		39	タービン補機冷却海水系	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明		40	地下水位低下設備	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明		41	原子炉格納容器1段調整弁	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明		<p style="text-align: center;">第1表 プラント状態確認チェックシートによる確認(6/9)</p> <p style="text-align: center;">【ステップ4】</p> <p>(2) 3号炉ディーゼル発電機機検 (確認日時: 年 月 日 時 分) (確認者:)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10-C0-1</td> <td>A-ディーゼル発電機燃料供給ポンプ</td> <td>運転可能</td> <td>可動・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>10-C0-2</td> <td>B-ディーゼル発電機燃料供給ポンプ</td> <td>運転可能</td> <td>可動・不可・不明・調査中</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 3号炉原子炉補機機検 (確認日時: 年 月 日 時 分) (確認者:)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10-C0-3</td> <td>A-冷却水ポンプ</td> <td>運転可能</td> <td>可動・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>10-C0-4</td> <td>B-冷却水ポンプ</td> <td>運転可能</td> <td>可動・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>10-C0-5</td> <td>C-冷却水ポンプ</td> <td>運転可能</td> <td>可動・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>10-C0-6</td> <td>A-格納容器スプレイポンプ</td> <td>運転可能</td> <td>可動・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>10-C0-7</td> <td>B-格納容器スプレイポンプ</td> <td>運転可能</td> <td>可動・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>10-C0-8</td> <td>A-高圧注入ポンプ</td> <td>運転可能</td> <td>可動・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>10-C0-9</td> <td>B-高圧注入ポンプ</td> <td>運転可能</td> <td>可動・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>10-C0-10</td> <td>A-全熱除去ポンプ</td> <td>運転可能</td> <td>可動・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>10-C0-11</td> <td>A-海水ピットポンプ</td> <td>運転可能</td> <td>可動・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>10-C0-12</td> <td>B-海水ピットポンプ</td> <td>運転可能</td> <td>可動・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>10-C0-13</td> <td>A-ほう電ポンプ</td> <td>運転可能</td> <td>可動・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>10-C0-14</td> <td>使用済燃料ピット可搬型スライダモータ</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>10-C0-15</td> <td>固定式減圧弁用バッテリー</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>10-C0-16</td> <td>可搬型減圧弁機器</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明・調査中</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 3号炉格納容器建屋 (確認日時: 年 月 日 時 分) (確認者:)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10-E0-1</td> <td>A-原子炉格納容器海水ポンプ</td> <td>運転可能</td> <td>可動・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>10-E0-2</td> <td>B-原子炉格納容器海水ポンプ</td> <td>運転可能</td> <td>可動・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>10-E0-3</td> <td>C-原子炉格納容器海水ポンプ</td> <td>運転可能</td> <td>可動・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>10-E0-4</td> <td>D-原子炉格納容器海水ポンプ</td> <td>運転可能</td> <td>可動・不可・不明・調査中</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1: 機器の状態が「可動」には、運転中・電源中を含む。 ※2: 当該エリアに機器が設置されている場合は、運転可能・使用可能な状態を確認し記載する。</p> <p style="text-align: center;">(注) プラント状態確認チェックシートは、今後の訓練によって見直し可能性がある。</p>	番号	項目	状態	備考	10-C0-1	A-ディーゼル発電機燃料供給ポンプ	運転可能	可動・不可・不明・調査中	10-C0-2	B-ディーゼル発電機燃料供給ポンプ	運転可能	可動・不可・不明・調査中	番号	項目	状態	備考	10-C0-3	A-冷却水ポンプ	運転可能	可動・不可・不明・調査中	10-C0-4	B-冷却水ポンプ	運転可能	可動・不可・不明・調査中	10-C0-5	C-冷却水ポンプ	運転可能	可動・不可・不明・調査中	10-C0-6	A-格納容器スプレイポンプ	運転可能	可動・不可・不明・調査中	10-C0-7	B-格納容器スプレイポンプ	運転可能	可動・不可・不明・調査中	10-C0-8	A-高圧注入ポンプ	運転可能	可動・不可・不明・調査中	10-C0-9	B-高圧注入ポンプ	運転可能	可動・不可・不明・調査中	10-C0-10	A-全熱除去ポンプ	運転可能	可動・不可・不明・調査中	10-C0-11	A-海水ピットポンプ	運転可能	可動・不可・不明・調査中	10-C0-12	B-海水ピットポンプ	運転可能	可動・不可・不明・調査中	10-C0-13	A-ほう電ポンプ	運転可能	可動・不可・不明・調査中	10-C0-14	使用済燃料ピット可搬型スライダモータ	使用可能	可動・不可・不明・調査中	10-C0-15	固定式減圧弁用バッテリー	使用可能	可動・不可・不明・調査中	10-C0-16	可搬型減圧弁機器	使用可能	可動・不可・不明・調査中	番号	項目	状態	備考	10-E0-1	A-原子炉格納容器海水ポンプ	運転可能	可動・不可・不明・調査中	10-E0-2	B-原子炉格納容器海水ポンプ	運転可能	可動・不可・不明・調査中	10-E0-3	C-原子炉格納容器海水ポンプ	運転可能	可動・不可・不明・調査中	10-E0-4	D-原子炉格納容器海水ポンプ	運転可能	可動・不可・不明・調査中	<p>【大飯】 設備及び運用の相違に伴うプラント状態確認項目等の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大飯の11. (1)~(3)の事項については、常設設備の整理方針は異なるものの、泊の10. (1)~(5) (チェックシート(6/9)~(7/9)) にて建屋内外の常設設備を確認項目としている。 <p>【女川】 設備及び運用の相違に伴うプラント状態確認項目等の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川の2. (7)の事項については、泊の10. (1)~(5) (チェックシート(6/9)~(7/9)) の事項に対応している。
確認者	確認日時	平成	年	月	日	時	分	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
番号	項目	状態																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
11-01-1	タービン駆動補助給水ポンプ	運転可能	はい	・	・	・	・	不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
11-01-2	主蒸気減圧弁弁	使用可能	はい	・	・	・	・	不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
11-01-3	加圧減速弁弁	使用可能	はい	・	・	・	・	不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
11-01-4	恒設代替給圧注水ポンプ	運転可能	はい	・	・	・	・	不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
11-01-5	アミン系空気浄化装置	運転可能	はい	・	・	・	・	不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
11-01-6	消泡ポンプ	運転可能	はい	・	・	・	・	不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
11-01-7	蒸気発生器補助給油放散用ポンプ(電動)	運転可能	はい	・	・	・	・	不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
確認者	確認日時	平成	年	月	日	時	分	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
番号	項目	状態																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
11-02-1	電動補助給水ポンプ	運転可能	はい	・	・	・	・	不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
11-02-2	全熱除去ポンプ	運転可能	はい	・	・	・	・	不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
11-02-3	定電圧ポンプ	運転可能	はい	・	・	・	・	不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
11-02-4	高圧注入ポンプ	運転可能	はい	・	・	・	・	不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
11-02-5	格納容器スプレイポンプ	運転可能	はい	・	・	・	・	不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
11-02-6	海水ポンプ	運転可能	はい	・	・	・	・	不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
11-02-7	原子炉補機冷却海水ポンプ	運転可能	はい	・	・	・	・	不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
11-02-8	使用済燃料ピットポンプ	運転可能	はい	・	・	・	・	不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
11-02-9	新鮮用空気圧縮機	運転可能	はい	・	・	・	・	不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
確認者	確認日時	平成	年	月	日	時	分	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
番号	項目	状態																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
11-03-1	格納容器再循環ユニット	使用可能	はい	・	・	・	・	不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
11-03-2	燃料池替用排水ピット	損傷なし	はい	・	・	・	・	不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
11-03-3	復水ピット	損傷なし	はい	・	・	・	・	不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
11-03-4	復水タンク	損傷なし	はい	・	・	・	・	不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
11-03-5	1次系純水タンク	損傷なし	はい	・	・	・	・	不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
番号	項目	状態	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
22	原子炉格納容器フィルタバント系	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
23	凝汽機化バント系	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
24	タービンバイパス弁	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
25	非常用ガス処理系	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
26	燃料プール冷却処理系	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
27	燃料プール補給水系	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
28	燃料プール注水系(常設配管)	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
29	燃料プールスプレイ系(常設配管)	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
30	可燃性ガス濃度検知系	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
31	静的無電圧電源再結合装置	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
32	原子炉補機冷却海水系(A)	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
33	原子炉補機冷却海水系(B)	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
34	原子炉補機冷却海水系(A)	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
35	原子炉補機冷却海水系(B)	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
36	高圧が心スプレイ補機冷却海水系	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
37	高圧が心スプレイ補機冷却海水系	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
38	タービン凝機冷却海水系	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
39	タービン補機冷却海水系	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
40	地下水位低下設備	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
41	原子炉格納容器1段調整弁	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
番号	項目	状態	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
10-C0-1	A-ディーゼル発電機燃料供給ポンプ	運転可能	可動・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
10-C0-2	B-ディーゼル発電機燃料供給ポンプ	運転可能	可動・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
番号	項目	状態	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
10-C0-3	A-冷却水ポンプ	運転可能	可動・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
10-C0-4	B-冷却水ポンプ	運転可能	可動・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
10-C0-5	C-冷却水ポンプ	運転可能	可動・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
10-C0-6	A-格納容器スプレイポンプ	運転可能	可動・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
10-C0-7	B-格納容器スプレイポンプ	運転可能	可動・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
10-C0-8	A-高圧注入ポンプ	運転可能	可動・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
10-C0-9	B-高圧注入ポンプ	運転可能	可動・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
10-C0-10	A-全熱除去ポンプ	運転可能	可動・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
10-C0-11	A-海水ピットポンプ	運転可能	可動・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
10-C0-12	B-海水ピットポンプ	運転可能	可動・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
10-C0-13	A-ほう電ポンプ	運転可能	可動・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
10-C0-14	使用済燃料ピット可搬型スライダモータ	使用可能	可動・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
10-C0-15	固定式減圧弁用バッテリー	使用可能	可動・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
10-C0-16	可搬型減圧弁機器	使用可能	可動・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
番号	項目	状態	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
10-E0-1	A-原子炉格納容器海水ポンプ	運転可能	可動・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
10-E0-2	B-原子炉格納容器海水ポンプ	運転可能	可動・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
10-E0-3	C-原子炉格納容器海水ポンプ	運転可能	可動・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
10-E0-4	D-原子炉格納容器海水ポンプ	運転可能	可動・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
<p>大規模損壊時プラント状態確認チェックシート (7/9)</p> <p>大規模損壊時プラント状態確認チェックシート (7/9)</p> <p>(4) 可搬型大型保安等対応設備等 【ステップ4】</p> <p>a. 1, 2号前面廊下エリア 地上+約3m以上^{※1}</p> <p>確認者 確認日時 平成 年 月 日 時 分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>11-(0)-1</td><td>4号 電線車</td><td>運転可能</td><td>はい・いいえ・不明・調査中</td></tr> <tr><td>11-(0)-2</td><td>4号 電線車 (可搬式代替貯留注水ポンプ用)</td><td>運転可能</td><td>はい・いいえ・不明・調査中</td></tr> <tr><td>11-(0)-3</td><td>4号 可搬式代替貯留注水ポンプ</td><td>運転可能</td><td>はい・いいえ・不明・調査中</td></tr> <tr><td>11-(0)-4</td><td>4号 スプレッドヘッド</td><td>使用可能</td><td>はい・いいえ・不明・調査中</td></tr> <tr><td>11-(0)-5</td><td>4号 仮設組立式水槽</td><td>使用可能</td><td>はい・いいえ・不明・調査中</td></tr> <tr><td>11-(0)-6</td><td>大容量ポンプ</td><td>運転可能</td><td>はい・いいえ・不明・調査中</td></tr> <tr><td>11-(0)-7</td><td>大容量ポンプ(放水用)</td><td>運転可能</td><td>はい・いいえ・不明・調査中</td></tr> <tr><td>11-(0)-8</td><td>放水船</td><td>使用可能</td><td>はい・いいえ・不明・調査中</td></tr> <tr><td>11-(0)-9</td><td>溶融炉</td><td>使用可能</td><td>はい・いいえ・不明・調査中</td></tr> <tr><td>11-(0)-10</td><td>タンクローリー</td><td>使用可能</td><td>はい・いいえ・不明・調査中</td></tr> <tr><td>11-(0)-11</td><td>シフトフェンス</td><td>使用可能</td><td>はい・いいえ・不明・調査中</td></tr> <tr><td>11-(0)-12</td><td>電線車(緊急時対策用)</td><td>運転可能</td><td>はい・いいえ・不明・調査中</td></tr> <tr><td>11-(0)-13</td><td>ブルドーザ</td><td>運転可能</td><td>はい・いいえ・不明・調査中</td></tr> <tr><td>11-(0)-14</td><td>4号 送水車</td><td>運転可能</td><td>はい・いいえ・不明・調査中</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 本体に損傷がなく稼働できる状況であれば「はい」とする。 ※2 健全台数を確認し備考欄へ記載する。</p> <p>b. 3, 4号前面廊下エリア 地上+約3m以上^{※1}</p> <p>確認者 確認日時 平成 年 月 日 時 分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>11-(0)-15</td><td>3号 空冷式非常用発電装置</td><td>運転可能</td><td>はい・いいえ・不明・調査中</td></tr> <tr><td>11-(0)-16</td><td>ポンプ車</td><td>運転可能</td><td>はい・いいえ・不明・調査中</td></tr> <tr><td>11-(0)-17</td><td>3号 電線車</td><td>運転可能</td><td>はい・いいえ・不明・調査中</td></tr> <tr><td>11-(0)-18</td><td>3号 電線車 (可搬式代替貯留注水ポンプ用)</td><td>運転可能</td><td>はい・いいえ・不明・調査中</td></tr> <tr><td>11-(0)-19</td><td>3号 可搬式代替貯留注水ポンプ</td><td>運転可能</td><td>はい・いいえ・不明・調査中</td></tr> <tr><td>11-(0)-20</td><td>3号 スプレッドヘッド</td><td>使用可能</td><td>はい・いいえ・不明・調査中</td></tr> <tr><td>11-(0)-21</td><td>3号 仮設組立式水槽</td><td>使用可能</td><td>はい・いいえ・不明・調査中</td></tr> <tr><td>11-(0)-22</td><td>3号 送水車</td><td>運転可能</td><td>はい・いいえ・不明・調査中</td></tr> <tr><td>11-(0)-23</td><td>4号 空冷式非常用発電装置</td><td>運転可能</td><td>はい・いいえ・不明・調査中</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 本体に損傷がなく稼働又は使用できる状況であれば「はい」とする。 ※2 健全台数を確認し備考欄へ記載する。</p>	番号	項目	状態	備考	11-(0)-1	4号 電線車	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中	11-(0)-2	4号 電線車 (可搬式代替貯留注水ポンプ用)	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中	11-(0)-3	4号 可搬式代替貯留注水ポンプ	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中	11-(0)-4	4号 スプレッドヘッド	使用可能	はい・いいえ・不明・調査中	11-(0)-5	4号 仮設組立式水槽	使用可能	はい・いいえ・不明・調査中	11-(0)-6	大容量ポンプ	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中	11-(0)-7	大容量ポンプ(放水用)	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中	11-(0)-8	放水船	使用可能	はい・いいえ・不明・調査中	11-(0)-9	溶融炉	使用可能	はい・いいえ・不明・調査中	11-(0)-10	タンクローリー	使用可能	はい・いいえ・不明・調査中	11-(0)-11	シフトフェンス	使用可能	はい・いいえ・不明・調査中	11-(0)-12	電線車(緊急時対策用)	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中	11-(0)-13	ブルドーザ	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中	11-(0)-14	4号 送水車	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中	番号	項目	状態	備考	11-(0)-15	3号 空冷式非常用発電装置	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中	11-(0)-16	ポンプ車	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中	11-(0)-17	3号 電線車	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中	11-(0)-18	3号 電線車 (可搬式代替貯留注水ポンプ用)	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中	11-(0)-19	3号 可搬式代替貯留注水ポンプ	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中	11-(0)-20	3号 スプレッドヘッド	使用可能	はい・いいえ・不明・調査中	11-(0)-21	3号 仮設組立式水槽	使用可能	はい・いいえ・不明・調査中	11-(0)-22	3号 送水車	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中	11-(0)-23	4号 空冷式非常用発電装置	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中	<p>第2.1表 プラント状態確認チェックシートによる確認 (7/10)</p> <p>(8) 可搬型設備及び容機材の確認 (1/4)</p> <p>8-1 第1保管エリア</p> <p>確認日時 平成 年 月 日 時 分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>ブルドーザ</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td>大容量送水ポンプ (タイプ1)</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td>原子炉機械代替冷却水系熱交換器ユニット</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td>薬液補給装置</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td>可搬型薬液交換装置</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>6</td><td>大容量送水ポンプ (タイプ2)</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>7</td><td>小型船舶</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>8</td><td>ホイールローダ</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>9</td><td>パンクホウ</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>10</td><td>大型化学汚染廃水車</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>11</td><td>高圧洗浄機</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>12</td><td>モニタリングカー</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>13</td><td>放水船</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>14</td><td>シフトフェンス</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>15</td><td>放射性物質廃棄材</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>16</td><td>可搬型モニタリングポスト</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>17</td><td>高圧水素酸濃度装置</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>(注) プラント状態確認チェックシートは、今後の訓練によって見直し可能性がある。</p>	番号	項目	状態	備考	1	ブルドーザ	使用可能・使用不可・不明		2	大容量送水ポンプ (タイプ1)	使用可能・使用不可・不明		3	原子炉機械代替冷却水系熱交換器ユニット	使用可能・使用不可・不明		4	薬液補給装置	使用可能・使用不可・不明		5	可搬型薬液交換装置	使用可能・使用不可・不明		6	大容量送水ポンプ (タイプ2)	使用可能・使用不可・不明		7	小型船舶	使用可能・使用不可・不明		8	ホイールローダ	使用可能・使用不可・不明		9	パンクホウ	使用可能・使用不可・不明		10	大型化学汚染廃水車	使用可能・使用不可・不明		11	高圧洗浄機	使用可能・使用不可・不明		12	モニタリングカー	使用可能・使用不可・不明		13	放水船	使用可能・使用不可・不明		14	シフトフェンス	使用可能・使用不可・不明		15	放射性物質廃棄材	使用可能・使用不可・不明		16	可搬型モニタリングポスト	使用可能・使用不可・不明		17	高圧水素酸濃度装置	使用可能・使用不可・不明		<p>第1表 プラント状態確認チェックシートによる確認 (7/9)</p> <p>(注) (4)</p> <p>(a) 届外</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>10-(0)-1</td><td>ブローパ4駆動式ポンプ</td><td>運転可能</td><td>可能・不可・不明・調査中</td></tr> <tr><td>10-(0)-2</td><td>電線補給車式ポンプ</td><td>運転可能</td><td>可能・不可・不明・調査中</td></tr> <tr><td>10-(0)-3</td><td>A-2-燃料供給機構</td><td>使用可能</td><td>可能・不可・不明・調査中</td></tr> <tr><td>10-(0)-4</td><td>B-2-燃料供給機構</td><td>使用可能</td><td>可能・不可・不明・調査中</td></tr> <tr><td>10-(0)-5</td><td>A-1-燃料供給機構</td><td>使用可能</td><td>可能・不可・不明・調査中</td></tr> <tr><td>10-(0)-6</td><td>B-1-燃料供給機構</td><td>使用可能</td><td>可能・不可・不明・調査中</td></tr> <tr><td>10-(0)-7</td><td>燃料タンク (2号)</td><td>使用可能</td><td>可能・不可・不明・調査中</td></tr> <tr><td>10-(0)-8</td><td>燃料タンク (3号)</td><td>使用可能</td><td>可能・不可・不明・調査中</td></tr> <tr><td>10-(0)-9</td><td>取水車</td><td>使用可能</td><td>可能・不可・不明・調査中</td></tr> <tr><td>10-(0)-10</td><td>2号炉取水ポンプ</td><td>使用可能</td><td>可能・不可・不明・調査中</td></tr> <tr><td>10-(0)-11</td><td>1, 2号炉取水ポンプ</td><td>使用可能</td><td>可能・不可・不明・調査中</td></tr> <tr><td>10-(0)-12</td><td>3号炉取水ポンプ</td><td>使用可能</td><td>可能・不可・不明・調査中</td></tr> <tr><td>10-(0)-13</td><td>3号炉取水ポンプ</td><td>使用可能</td><td>可能・不可・不明・調査中</td></tr> <tr><td>10-(0)-14</td><td>3号炉取水ポンプ</td><td>使用可能</td><td>可能・不可・不明・調査中</td></tr> <tr><td>10-(0)-15</td><td>3号炉取水ポンプ</td><td>使用可能</td><td>可能・不可・不明・調査中</td></tr> <tr><td>10-(0)-16</td><td>1, 2号炉取水ポンプ</td><td>使用可能</td><td>可能・不可・不明・調査中</td></tr> <tr><td>10-(0)-17</td><td>1, 2号炉取水ポンプ</td><td>使用可能</td><td>可能・不可・不明・調査中</td></tr> </tbody> </table> <p>(b) 5号倉庫・車庫エリア</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>10-(0)-18</td><td>可搬型大型送水ポンプ車</td><td>運転可能</td><td>可能・不可・不明・調査中 (c, 自方自)</td></tr> <tr><td>10-(0)-19</td><td>可搬型スプレッドヘッド</td><td>使用可能</td><td>可能・不可・不明・調査中 (c, 自方自)</td></tr> <tr><td>10-(0)-20</td><td>可搬型大容量高圧送水ポンプ車</td><td>運転可能</td><td>可能・不可・不明・調査中</td></tr> <tr><td>10-(0)-21</td><td>放水車</td><td>使用可能</td><td>可能・不可・不明・調査中</td></tr> <tr><td>10-(0)-22</td><td>溶融炉</td><td>運転可能</td><td>可能・不可・不明・調査中</td></tr> <tr><td>10-(0)-23</td><td>放射線計測機</td><td>使用可能</td><td>可能・不可・不明・調査中</td></tr> <tr><td>10-(0)-24</td><td>放射線計測機</td><td>使用可能</td><td>可能・不可・不明・調査中</td></tr> <tr><td>10-(0)-25</td><td>放射線計測機</td><td>使用可能</td><td>可能・不可・不明・調査中</td></tr> <tr><td>10-(0)-26</td><td>放射線計測機</td><td>使用可能</td><td>可能・不可・不明・調査中</td></tr> <tr><td>10-(0)-27</td><td>放射線計測機</td><td>使用可能</td><td>可能・不可・不明・調査中</td></tr> <tr><td>10-(0)-28</td><td>放射線計測機</td><td>使用可能</td><td>可能・不可・不明・調査中</td></tr> <tr><td>10-(0)-29</td><td>放射線計測機</td><td>使用可能</td><td>可能・不可・不明・調査中</td></tr> <tr><td>10-(0)-30</td><td>放射線計測機</td><td>使用可能</td><td>可能・不可・不明・調査中</td></tr> <tr><td>10-(0)-31</td><td>放射線計測機</td><td>使用可能</td><td>可能・不可・不明・調査中</td></tr> <tr><td>10-(0)-32</td><td>放射線計測機</td><td>使用可能</td><td>可能・不可・不明・調査中</td></tr> <tr><td>10-(0)-33</td><td>放射線計測機</td><td>使用可能</td><td>可能・不可・不明・調査中</td></tr> <tr><td>10-(0)-34</td><td>放射線計測機</td><td>使用可能</td><td>可能・不可・不明・調査中</td></tr> <tr><td>10-(0)-35</td><td>放射線計測機</td><td>使用可能</td><td>可能・不可・不明・調査中</td></tr> <tr><td>10-(0)-36</td><td>放射線計測機</td><td>使用可能</td><td>可能・不可・不明・調査中</td></tr> <tr><td>10-(0)-37</td><td>放射線計測機</td><td>使用可能</td><td>可能・不可・不明・調査中</td></tr> <tr><td>10-(0)-38</td><td>放射線計測機</td><td>使用可能</td><td>可能・不可・不明・調査中</td></tr> <tr><td>10-(0)-39</td><td>放射線計測機</td><td>使用可能</td><td>可能・不可・不明・調査中</td></tr> <tr><td>10-(0)-40</td><td>放射線計測機</td><td>使用可能</td><td>可能・不可・不明・調査中</td></tr> <tr><td>10-(0)-41</td><td>放射線計測機</td><td>使用可能</td><td>可能・不可・不明・調査中</td></tr> <tr><td>10-(0)-42</td><td>放射線計測機</td><td>使用可能</td><td>可能・不可・不明・調査中</td></tr> <tr><td>10-(0)-43</td><td>放射線計測機</td><td>使用可能</td><td>可能・不可・不明・調査中</td></tr> <tr><td>10-(0)-44</td><td>放射線計測機</td><td>使用可能</td><td>可能・不可・不明・調査中</td></tr> <tr><td>10-(0)-45</td><td>放射線計測機</td><td>使用可能</td><td>可能・不可・不明・調査中</td></tr> <tr><td>10-(0)-46</td><td>放射線計測機</td><td>使用可能</td><td>可能・不可・不明・調査中</td></tr> <tr><td>10-(0)-47</td><td>放射線計測機</td><td>使用可能</td><td>可能・不可・不明・調査中</td></tr> <tr><td>10-(0)-48</td><td>放射線計測機</td><td>使用可能</td><td>可能・不可・不明・調査中</td></tr> <tr><td>10-(0)-49</td><td>放射線計測機</td><td>使用可能</td><td>可能・不可・不明・調査中</td></tr> <tr><td>10-(0)-50</td><td>放射線計測機</td><td>使用可能</td><td>可能・不可・不明・調査中</td></tr> </tbody> </table> <p>(注) 1 機器の状態の「可能」には、運転中・運用中を含む。 ※1 当該エリアに複数台を配備する設備は、運転可能・使用可能な台数を確認し記載する。</p> <p>(注) プラント状態確認チェックシートは、今後の訓練によって見直し可能性がある。</p>	番号	項目	状態	備考	10-(0)-1	ブローパ4駆動式ポンプ	運転可能	可能・不可・不明・調査中	10-(0)-2	電線補給車式ポンプ	運転可能	可能・不可・不明・調査中	10-(0)-3	A-2-燃料供給機構	使用可能	可能・不可・不明・調査中	10-(0)-4	B-2-燃料供給機構	使用可能	可能・不可・不明・調査中	10-(0)-5	A-1-燃料供給機構	使用可能	可能・不可・不明・調査中	10-(0)-6	B-1-燃料供給機構	使用可能	可能・不可・不明・調査中	10-(0)-7	燃料タンク (2号)	使用可能	可能・不可・不明・調査中	10-(0)-8	燃料タンク (3号)	使用可能	可能・不可・不明・調査中	10-(0)-9	取水車	使用可能	可能・不可・不明・調査中	10-(0)-10	2号炉取水ポンプ	使用可能	可能・不可・不明・調査中	10-(0)-11	1, 2号炉取水ポンプ	使用可能	可能・不可・不明・調査中	10-(0)-12	3号炉取水ポンプ	使用可能	可能・不可・不明・調査中	10-(0)-13	3号炉取水ポンプ	使用可能	可能・不可・不明・調査中	10-(0)-14	3号炉取水ポンプ	使用可能	可能・不可・不明・調査中	10-(0)-15	3号炉取水ポンプ	使用可能	可能・不可・不明・調査中	10-(0)-16	1, 2号炉取水ポンプ	使用可能	可能・不可・不明・調査中	10-(0)-17	1, 2号炉取水ポンプ	使用可能	可能・不可・不明・調査中	番号	項目	状態	備考	10-(0)-18	可搬型大型送水ポンプ車	運転可能	可能・不可・不明・調査中 (c, 自方自)	10-(0)-19	可搬型スプレッドヘッド	使用可能	可能・不可・不明・調査中 (c, 自方自)	10-(0)-20	可搬型大容量高圧送水ポンプ車	運転可能	可能・不可・不明・調査中	10-(0)-21	放水車	使用可能	可能・不可・不明・調査中	10-(0)-22	溶融炉	運転可能	可能・不可・不明・調査中	10-(0)-23	放射線計測機	使用可能	可能・不可・不明・調査中	10-(0)-24	放射線計測機	使用可能	可能・不可・不明・調査中	10-(0)-25	放射線計測機	使用可能	可能・不可・不明・調査中	10-(0)-26	放射線計測機	使用可能	可能・不可・不明・調査中	10-(0)-27	放射線計測機	使用可能	可能・不可・不明・調査中	10-(0)-28	放射線計測機	使用可能	可能・不可・不明・調査中	10-(0)-29	放射線計測機	使用可能	可能・不可・不明・調査中	10-(0)-30	放射線計測機	使用可能	可能・不可・不明・調査中	10-(0)-31	放射線計測機	使用可能	可能・不可・不明・調査中	10-(0)-32	放射線計測機	使用可能	可能・不可・不明・調査中	10-(0)-33	放射線計測機	使用可能	可能・不可・不明・調査中	10-(0)-34	放射線計測機	使用可能	可能・不可・不明・調査中	10-(0)-35	放射線計測機	使用可能	可能・不可・不明・調査中	10-(0)-36	放射線計測機	使用可能	可能・不可・不明・調査中	10-(0)-37	放射線計測機	使用可能	可能・不可・不明・調査中	10-(0)-38	放射線計測機	使用可能	可能・不可・不明・調査中	10-(0)-39	放射線計測機	使用可能	可能・不可・不明・調査中	10-(0)-40	放射線計測機	使用可能	可能・不可・不明・調査中	10-(0)-41	放射線計測機	使用可能	可能・不可・不明・調査中	10-(0)-42	放射線計測機	使用可能	可能・不可・不明・調査中	10-(0)-43	放射線計測機	使用可能	可能・不可・不明・調査中	10-(0)-44	放射線計測機	使用可能	可能・不可・不明・調査中	10-(0)-45	放射線計測機	使用可能	可能・不可・不明・調査中	10-(0)-46	放射線計測機	使用可能	可能・不可・不明・調査中	10-(0)-47	放射線計測機	使用可能	可能・不可・不明・調査中	10-(0)-48	放射線計測機	使用可能	可能・不可・不明・調査中	10-(0)-49	放射線計測機	使用可能	可能・不可・不明・調査中	10-(0)-50	放射線計測機	使用可能	可能・不可・不明・調査中	<p>【大飯】設備及び運用の相違に伴うプラント状態確認項目等の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大飯の11. (4)の事項については、泊の10. (6)～(13) (チェックシート(7/9)～(9/9))の事項に対応している。 <p>【女川】設備及び運用の相違に伴うプラント状態確認項目等の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川の2. (8)のうち、8-1～8-5の事項については、泊の10. (6)～(13) (チェックシート(7/9)～(9/9))の事項に対応している。
番号	項目	状態	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
11-(0)-1	4号 電線車	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
11-(0)-2	4号 電線車 (可搬式代替貯留注水ポンプ用)	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
11-(0)-3	4号 可搬式代替貯留注水ポンプ	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
11-(0)-4	4号 スプレッドヘッド	使用可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
11-(0)-5	4号 仮設組立式水槽	使用可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
11-(0)-6	大容量ポンプ	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
11-(0)-7	大容量ポンプ(放水用)	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
11-(0)-8	放水船	使用可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
11-(0)-9	溶融炉	使用可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
11-(0)-10	タンクローリー	使用可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
11-(0)-11	シフトフェンス	使用可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
11-(0)-12	電線車(緊急時対策用)	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
11-(0)-13	ブルドーザ	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
11-(0)-14	4号 送水車	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
番号	項目	状態	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
11-(0)-15	3号 空冷式非常用発電装置	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
11-(0)-16	ポンプ車	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
11-(0)-17	3号 電線車	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
11-(0)-18	3号 電線車 (可搬式代替貯留注水ポンプ用)	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
11-(0)-19	3号 可搬式代替貯留注水ポンプ	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
11-(0)-20	3号 スプレッドヘッド	使用可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
11-(0)-21	3号 仮設組立式水槽	使用可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
11-(0)-22	3号 送水車	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
11-(0)-23	4号 空冷式非常用発電装置	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
番号	項目	状態	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
1	ブルドーザ	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
2	大容量送水ポンプ (タイプ1)	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
3	原子炉機械代替冷却水系熱交換器ユニット	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
4	薬液補給装置	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
5	可搬型薬液交換装置	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
6	大容量送水ポンプ (タイプ2)	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
7	小型船舶	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
8	ホイールローダ	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
9	パンクホウ	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
10	大型化学汚染廃水車	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
11	高圧洗浄機	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
12	モニタリングカー	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
13	放水船	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
14	シフトフェンス	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
15	放射性物質廃棄材	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
16	可搬型モニタリングポスト	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
17	高圧水素酸濃度装置	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
番号	項目	状態	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-(0)-1	ブローパ4駆動式ポンプ	運転可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-(0)-2	電線補給車式ポンプ	運転可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-(0)-3	A-2-燃料供給機構	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-(0)-4	B-2-燃料供給機構	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-(0)-5	A-1-燃料供給機構	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-(0)-6	B-1-燃料供給機構	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-(0)-7	燃料タンク (2号)	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-(0)-8	燃料タンク (3号)	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-(0)-9	取水車	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-(0)-10	2号炉取水ポンプ	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-(0)-11	1, 2号炉取水ポンプ	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-(0)-12	3号炉取水ポンプ	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-(0)-13	3号炉取水ポンプ	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-(0)-14	3号炉取水ポンプ	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-(0)-15	3号炉取水ポンプ	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-(0)-16	1, 2号炉取水ポンプ	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-(0)-17	1, 2号炉取水ポンプ	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
番号	項目	状態	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-(0)-18	可搬型大型送水ポンプ車	運転可能	可能・不可・不明・調査中 (c, 自方自)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-(0)-19	可搬型スプレッドヘッド	使用可能	可能・不可・不明・調査中 (c, 自方自)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-(0)-20	可搬型大容量高圧送水ポンプ車	運転可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-(0)-21	放水車	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-(0)-22	溶融炉	運転可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-(0)-23	放射線計測機	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-(0)-24	放射線計測機	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-(0)-25	放射線計測機	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-(0)-26	放射線計測機	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-(0)-27	放射線計測機	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-(0)-28	放射線計測機	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-(0)-29	放射線計測機	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-(0)-30	放射線計測機	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-(0)-31	放射線計測機	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-(0)-32	放射線計測機	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-(0)-33	放射線計測機	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-(0)-34	放射線計測機	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-(0)-35	放射線計測機	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-(0)-36	放射線計測機	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-(0)-37	放射線計測機	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-(0)-38	放射線計測機	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-(0)-39	放射線計測機	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-(0)-40	放射線計測機	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-(0)-41	放射線計測機	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-(0)-42	放射線計測機	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-(0)-43	放射線計測機	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-(0)-44	放射線計測機	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-(0)-45	放射線計測機	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-(0)-46	放射線計測機	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-(0)-47	放射線計測機	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-(0)-48	放射線計測機	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-(0)-49	放射線計測機	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-(0)-50	放射線計測機	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												

灰色：泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																				
<p>大規模損壊時プラント状態確認チェックシート (8/9)</p> <p>大規模損壊時プラント状態確認チェックシート (8/9)</p> <p>c. 3、4号重油タンク応答エリア (重し+約10m以上) * 【ステップ4】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11-(0)-24</td> <td>ブレード</td> <td>運転可能</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> </tr> </tbody> </table> <p>* 本体に損傷がなく移動できる状況であれば「はい」とする。</p> <p>d. 1、2号重油タンク応答エリア (重し+約10m以上) *</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11-(0)-25</td> <td>3号 電機車</td> <td>運転可能</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>11-(0)-26</td> <td>4号 電機車</td> <td>運転可能</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>11-(0)-27</td> <td>3号 電機車 (可搬式代替低圧注水ポンプ用)</td> <td>運転可能</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>11-(0)-28</td> <td>4号 電機車 (可搬式代替低圧注水ポンプ用)</td> <td>運転可能</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>11-(0)-29</td> <td>3号 可搬式代替低圧注水ポンプ</td> <td>運転可能</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>11-(0)-30</td> <td>3号 取組組立式水櫃</td> <td>使用可能</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>11-(0)-31</td> <td>4号 可搬式代替低圧注水ポンプ</td> <td>運転可能</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>11-(0)-32</td> <td>4号 取組組立式水櫃</td> <td>使用可能</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>11-(0)-33</td> <td>大容量ポンプ</td> <td>運転可能</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>11-(0)-34</td> <td>3号 送水車</td> <td>運転可能</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>11-(0)-35</td> <td>4号 送水車</td> <td>運転可能</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>11-(0)-36</td> <td>シルトファン</td> <td>使用可能</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>11-(0)-37</td> <td>タンクローリー</td> <td>使用可能</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> </tr> </tbody> </table> <p>* 本体に損傷がなく移動できる状況であれば「はい」とする。</p>	番号	項目	状態	備考	11-(0)-24	ブレード	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中	番号	項目	状態	備考	11-(0)-25	3号 電機車	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中	11-(0)-26	4号 電機車	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中	11-(0)-27	3号 電機車 (可搬式代替低圧注水ポンプ用)	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中	11-(0)-28	4号 電機車 (可搬式代替低圧注水ポンプ用)	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中	11-(0)-29	3号 可搬式代替低圧注水ポンプ	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中	11-(0)-30	3号 取組組立式水櫃	使用可能	はい・いいえ・不明・調査中	11-(0)-31	4号 可搬式代替低圧注水ポンプ	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中	11-(0)-32	4号 取組組立式水櫃	使用可能	はい・いいえ・不明・調査中	11-(0)-33	大容量ポンプ	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中	11-(0)-34	3号 送水車	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中	11-(0)-35	4号 送水車	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中	11-(0)-36	シルトファン	使用可能	はい・いいえ・不明・調査中	11-(0)-37	タンクローリー	使用可能	はい・いいえ・不明・調査中	<p>第2.1表 プラント状態確認チェックシートによる確認 (8/10)</p> <p>(8) 可搬型設備及び資機材の確認 (2/4)</p> <p>8-2 第2保管エリア</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>大容量送水ポンプ (タイプ1)</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>大容量送水ポンプ (タイプ2)</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>電機車</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>タンクローリー</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>ホース延長回収車</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>可搬式コンタクトボックス</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>代替緊急電源設備</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>8-3 第3保管エリア</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>大容量送水ポンプ (タイプ1)</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>原子炉建屋代替冷却水送熱交換機ユニット</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>電機車</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>タンクローリー</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>ホース延長回収車</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>化学消防自動車</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>送電設備車</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) プラント状態確認チェックシートは、今後の訓練によって見直し可能性がある。</p>	番号	項目	状態	備考	1	大容量送水ポンプ (タイプ1)	使用可能・使用不可・不明		2	大容量送水ポンプ (タイプ2)	使用可能・使用不可・不明		3	電機車	使用可能・使用不可・不明		4	タンクローリー	使用可能・使用不可・不明		5	ホース延長回収車	使用可能・使用不可・不明		6	可搬式コンタクトボックス	使用可能・使用不可・不明		7	代替緊急電源設備	使用可能・使用不可・不明		番号	項目	状態	備考	1	大容量送水ポンプ (タイプ1)	使用可能・使用不可・不明		2	原子炉建屋代替冷却水送熱交換機ユニット	使用可能・使用不可・不明		3	電機車	使用可能・使用不可・不明		4	タンクローリー	使用可能・使用不可・不明		5	ホース延長回収車	使用可能・使用不可・不明		6	化学消防自動車	使用可能・使用不可・不明		7	送電設備車	使用可能・使用不可・不明		<p>第1表 プラント状態確認チェックシートによる確認 (8/9)</p> <p>【ステップ4】</p> <p>(7) 緊急時対策用エリア (確認日時: 年 月 日 時 分) (確認者:)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10-(0)-1</td> <td>緊急時対策用発電機</td> <td>運転可能</td> <td>可搬・不可・不明・調査中 (総合点)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(8) 1号炉内側3mエリア (確認日時: 年 月 日 時 分) (確認者:)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10-(0)-1</td> <td>可搬型代替送水ポンプ車</td> <td>運転可能</td> <td>可搬・不可・不明・調査中 (総合点)</td> </tr> <tr> <td>10-(0)-2</td> <td>可搬型代替送水ポンプ車</td> <td>運転可能</td> <td>可搬・不可・不明・調査中 (総合点)</td> </tr> <tr> <td>10-(0)-3</td> <td>可搬型タンクローリー</td> <td>運転可能</td> <td>可搬・不可・不明・調査中 (総合点)</td> </tr> <tr> <td>10-(0)-4</td> <td>小型船舶</td> <td>使用可能</td> <td>可搬・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>10-(0)-5</td> <td>ホイールローダ</td> <td>運転可能</td> <td>可搬・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>10-(0)-6</td> <td>バックホウ</td> <td>運転可能</td> <td>可搬・不可・不明・調査中</td> </tr> </tbody> </table> <p>(9) 1、2号炉内側3mエリア (確認日時: 年 月 日 時 分) (確認者:)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10-(0)-1</td> <td>可搬型大容量送水ポンプ車</td> <td>運転可能</td> <td>可搬・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>10-(0)-2</td> <td>取水設備</td> <td>使用可能</td> <td>可搬・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>10-(0)-3</td> <td>送水設備</td> <td>運転可能</td> <td>可搬・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>10-(0)-4</td> <td>可搬型送水ポンプ</td> <td>運転可能</td> <td>可搬・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>10-(0)-5</td> <td>ホース延長・回収車 (取水専用)</td> <td>運転可能</td> <td>可搬・不可・不明・調査中</td> </tr> </tbody> </table> <p>(10) 2号炉内側3mエリア(a) (確認日時: 年 月 日 時 分) (確認者:)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10-(0)-1</td> <td>可搬型代替送水ポンプ車</td> <td>運転可能</td> <td>可搬・不可・不明・調査中 (総合点)</td> </tr> <tr> <td>10-(0)-2</td> <td>可搬型スライプス</td> <td>使用可能</td> <td>可搬・不可・不明・調査中 (総合点)</td> </tr> <tr> <td>10-(0)-3</td> <td>可搬型代替送水ポンプ</td> <td>運転可能</td> <td>可搬・不可・不明・調査中 (総合点)</td> </tr> <tr> <td>10-(0)-4</td> <td>緊急時対策用発電機</td> <td>運転可能</td> <td>可搬・不可・不明・調査中 (総合点)</td> </tr> <tr> <td>10-(0)-5</td> <td>緊急時対策用発電機</td> <td>運転可能</td> <td>可搬・不可・不明・調査中 (総合点)</td> </tr> <tr> <td>10-(0)-6</td> <td>集水側シルトファン</td> <td>使用可能</td> <td>可搬・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>10-(0)-7</td> <td>ホース延長・回収車 (送水専用)</td> <td>運転可能</td> <td>可搬・不可・不明・調査中 (総合点)</td> </tr> <tr> <td>10-(0)-8</td> <td>ホイールローダ (送水対策用)</td> <td>運転可能</td> <td>可搬・不可・不明・調査中</td> </tr> </tbody> </table> <p>(11) 2号炉内側3mエリア(b) (確認日時: 年 月 日 時 分) (確認者:)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10-(0)-1</td> <td>可搬型大容量送水ポンプ車</td> <td>運転可能</td> <td>可搬・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>10-(0)-2</td> <td>可搬型代替送水ポンプ車</td> <td>運転可能</td> <td>可搬・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>10-(0)-3</td> <td>可搬型タンクローリー</td> <td>運転可能</td> <td>可搬・不可・不明・調査中 (総合点)</td> </tr> <tr> <td>10-(0)-4</td> <td>ホイールローダ</td> <td>運転可能</td> <td>可搬・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>10-(0)-5</td> <td>バックホウ</td> <td>運転可能</td> <td>可搬・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>10-(0)-6</td> <td>緊急時対策用発電機</td> <td>運転可能</td> <td>可搬・不可・不明・調査中 (総合点)</td> </tr> <tr> <td>10-(0)-7</td> <td>小型船舶</td> <td>使用可能</td> <td>可搬・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>10-(0)-8</td> <td>ホース延長・回収車 (送水専用)</td> <td>運転可能</td> <td>可搬・不可・不明・調査中</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1: 補給の必要がない「可搬」には、運転中・乗付中を含む。 ※2: 当該エリアに複数台も配備する設備は、運転可能・使用可能な台数を確認し記載する。</p> <p>注) プラント状態確認チェックシートは、今後の訓練によって見直し可能性がある。</p>	番号	項目	状態	備考	10-(0)-1	緊急時対策用発電機	運転可能	可搬・不可・不明・調査中 (総合点)	番号	項目	状態	備考	10-(0)-1	可搬型代替送水ポンプ車	運転可能	可搬・不可・不明・調査中 (総合点)	10-(0)-2	可搬型代替送水ポンプ車	運転可能	可搬・不可・不明・調査中 (総合点)	10-(0)-3	可搬型タンクローリー	運転可能	可搬・不可・不明・調査中 (総合点)	10-(0)-4	小型船舶	使用可能	可搬・不可・不明・調査中	10-(0)-5	ホイールローダ	運転可能	可搬・不可・不明・調査中	10-(0)-6	バックホウ	運転可能	可搬・不可・不明・調査中	番号	項目	状態	備考	10-(0)-1	可搬型大容量送水ポンプ車	運転可能	可搬・不可・不明・調査中	10-(0)-2	取水設備	使用可能	可搬・不可・不明・調査中	10-(0)-3	送水設備	運転可能	可搬・不可・不明・調査中	10-(0)-4	可搬型送水ポンプ	運転可能	可搬・不可・不明・調査中	10-(0)-5	ホース延長・回収車 (取水専用)	運転可能	可搬・不可・不明・調査中	番号	項目	状態	備考	10-(0)-1	可搬型代替送水ポンプ車	運転可能	可搬・不可・不明・調査中 (総合点)	10-(0)-2	可搬型スライプス	使用可能	可搬・不可・不明・調査中 (総合点)	10-(0)-3	可搬型代替送水ポンプ	運転可能	可搬・不可・不明・調査中 (総合点)	10-(0)-4	緊急時対策用発電機	運転可能	可搬・不可・不明・調査中 (総合点)	10-(0)-5	緊急時対策用発電機	運転可能	可搬・不可・不明・調査中 (総合点)	10-(0)-6	集水側シルトファン	使用可能	可搬・不可・不明・調査中	10-(0)-7	ホース延長・回収車 (送水専用)	運転可能	可搬・不可・不明・調査中 (総合点)	10-(0)-8	ホイールローダ (送水対策用)	運転可能	可搬・不可・不明・調査中	番号	項目	状態	備考	10-(0)-1	可搬型大容量送水ポンプ車	運転可能	可搬・不可・不明・調査中	10-(0)-2	可搬型代替送水ポンプ車	運転可能	可搬・不可・不明・調査中	10-(0)-3	可搬型タンクローリー	運転可能	可搬・不可・不明・調査中 (総合点)	10-(0)-4	ホイールローダ	運転可能	可搬・不可・不明・調査中	10-(0)-5	バックホウ	運転可能	可搬・不可・不明・調査中	10-(0)-6	緊急時対策用発電機	運転可能	可搬・不可・不明・調査中 (総合点)	10-(0)-7	小型船舶	使用可能	可搬・不可・不明・調査中	10-(0)-8	ホース延長・回収車 (送水専用)	運転可能	可搬・不可・不明・調査中	<p>【大飯】設備及び運用の相違に伴うプラント状態確認項目等の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大飯の11.(4)の事項については、泊の10.(6)~(13) (チェックシート(7/9)~(9/9))の事項に対応している。 <p>【女川】設備及び運用の相違に伴うプラント状態確認項目等の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川の2.(8)のうち、8-1~8-5の事項については、泊の10.(6)~(13) (チェックシート(7/9)~(9/9))の事項に対応している。
番号	項目	状態	備考																																																																																																																																																																																																																																																																				
11-(0)-24	ブレード	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																				
番号	項目	状態	備考																																																																																																																																																																																																																																																																				
11-(0)-25	3号 電機車	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																				
11-(0)-26	4号 電機車	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																				
11-(0)-27	3号 電機車 (可搬式代替低圧注水ポンプ用)	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																				
11-(0)-28	4号 電機車 (可搬式代替低圧注水ポンプ用)	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																				
11-(0)-29	3号 可搬式代替低圧注水ポンプ	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																				
11-(0)-30	3号 取組組立式水櫃	使用可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																				
11-(0)-31	4号 可搬式代替低圧注水ポンプ	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																				
11-(0)-32	4号 取組組立式水櫃	使用可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																				
11-(0)-33	大容量ポンプ	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																				
11-(0)-34	3号 送水車	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																				
11-(0)-35	4号 送水車	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																				
11-(0)-36	シルトファン	使用可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																				
11-(0)-37	タンクローリー	使用可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																				
番号	項目	状態	備考																																																																																																																																																																																																																																																																				
1	大容量送水ポンプ (タイプ1)	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																					
2	大容量送水ポンプ (タイプ2)	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																					
3	電機車	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																					
4	タンクローリー	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																					
5	ホース延長回収車	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																					
6	可搬式コンタクトボックス	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																					
7	代替緊急電源設備	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																					
番号	項目	状態	備考																																																																																																																																																																																																																																																																				
1	大容量送水ポンプ (タイプ1)	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																					
2	原子炉建屋代替冷却水送熱交換機ユニット	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																					
3	電機車	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																					
4	タンクローリー	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																					
5	ホース延長回収車	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																					
6	化学消防自動車	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																					
7	送電設備車	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																					
番号	項目	状態	備考																																																																																																																																																																																																																																																																				
10-(0)-1	緊急時対策用発電機	運転可能	可搬・不可・不明・調査中 (総合点)																																																																																																																																																																																																																																																																				
番号	項目	状態	備考																																																																																																																																																																																																																																																																				
10-(0)-1	可搬型代替送水ポンプ車	運転可能	可搬・不可・不明・調査中 (総合点)																																																																																																																																																																																																																																																																				
10-(0)-2	可搬型代替送水ポンプ車	運転可能	可搬・不可・不明・調査中 (総合点)																																																																																																																																																																																																																																																																				
10-(0)-3	可搬型タンクローリー	運転可能	可搬・不可・不明・調査中 (総合点)																																																																																																																																																																																																																																																																				
10-(0)-4	小型船舶	使用可能	可搬・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																				
10-(0)-5	ホイールローダ	運転可能	可搬・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																				
10-(0)-6	バックホウ	運転可能	可搬・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																				
番号	項目	状態	備考																																																																																																																																																																																																																																																																				
10-(0)-1	可搬型大容量送水ポンプ車	運転可能	可搬・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																				
10-(0)-2	取水設備	使用可能	可搬・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																				
10-(0)-3	送水設備	運転可能	可搬・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																				
10-(0)-4	可搬型送水ポンプ	運転可能	可搬・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																				
10-(0)-5	ホース延長・回収車 (取水専用)	運転可能	可搬・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																				
番号	項目	状態	備考																																																																																																																																																																																																																																																																				
10-(0)-1	可搬型代替送水ポンプ車	運転可能	可搬・不可・不明・調査中 (総合点)																																																																																																																																																																																																																																																																				
10-(0)-2	可搬型スライプス	使用可能	可搬・不可・不明・調査中 (総合点)																																																																																																																																																																																																																																																																				
10-(0)-3	可搬型代替送水ポンプ	運転可能	可搬・不可・不明・調査中 (総合点)																																																																																																																																																																																																																																																																				
10-(0)-4	緊急時対策用発電機	運転可能	可搬・不可・不明・調査中 (総合点)																																																																																																																																																																																																																																																																				
10-(0)-5	緊急時対策用発電機	運転可能	可搬・不可・不明・調査中 (総合点)																																																																																																																																																																																																																																																																				
10-(0)-6	集水側シルトファン	使用可能	可搬・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																				
10-(0)-7	ホース延長・回収車 (送水専用)	運転可能	可搬・不可・不明・調査中 (総合点)																																																																																																																																																																																																																																																																				
10-(0)-8	ホイールローダ (送水対策用)	運転可能	可搬・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																				
番号	項目	状態	備考																																																																																																																																																																																																																																																																				
10-(0)-1	可搬型大容量送水ポンプ車	運転可能	可搬・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																				
10-(0)-2	可搬型代替送水ポンプ車	運転可能	可搬・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																				
10-(0)-3	可搬型タンクローリー	運転可能	可搬・不可・不明・調査中 (総合点)																																																																																																																																																																																																																																																																				
10-(0)-4	ホイールローダ	運転可能	可搬・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																				
10-(0)-5	バックホウ	運転可能	可搬・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																				
10-(0)-6	緊急時対策用発電機	運転可能	可搬・不可・不明・調査中 (総合点)																																																																																																																																																																																																																																																																				
10-(0)-7	小型船舶	使用可能	可搬・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																				
10-(0)-8	ホース延長・回収車 (送水専用)	運転可能	可搬・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																				

灰色：泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																								
<p style="text-align: center;">大規模損壊時プラント状態確認チェックシート (9/9)</p> <p style="text-align: center;">大飯原子力発電所3/4号炉プラント状態確認チェックシート (9/9)</p> <p>1. 監視システム（監視用） 1.1. 監視システム（監視用） 【ステップ4】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11-(4)-38</td> <td>電源車（予備機）</td> <td>運転可能</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>11-(4)-39</td> <td>電源車（可搬式） （予備機）</td> <td>運転可能</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>11-(4)-40</td> <td>可搬式代替給水ポンプ（予備機）</td> <td>運転可能</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>11-(4)-41</td> <td>仮設組立式水槽（予備機）</td> <td>使用可能</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>11-(4)-42</td> <td>スプレッドヘッド（予備機）</td> <td>使用可能</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>11-(4)-43</td> <td>送水車（予備機）</td> <td>運転可能</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>11-(4)-44</td> <td>シルトファン（予備機）</td> <td>使用可能</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>11-(4)-45</td> <td>放水船（予備機）</td> <td>使用可能</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>11-(4)-46</td> <td>泡混合器（予備機）</td> <td>使用可能</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>11-(4)-47</td> <td>電源車（緊急時対応用） （予備機）</td> <td>運転可能</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>11-(4)-48</td> <td>大容量ポンプ（予備機）</td> <td>運転可能</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 本表に損壊がなく移動できる状況であれば「はい」とする。</p> <p>1.2. 炉心状態の確認及び1次冷却系からの大規模な漏えいの確認 【ステップ5】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12-1</td> <td>炉心損傷なし</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12-2</td> <td>1次冷却系から大規模な漏えいなし</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ プラント監視機能が喪失している場合は、初動対応フローに示すパラメータを可搬型計測器により測定する。</p> <p>1.3. 原子炉格納容器の確認 【ステップ6】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>13-1</td> <td>原子炉格納容器の減圧不要</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ プラント監視機能が喪失している場合は、初動対応フローに示すパラメータを可搬型計測器により測定する。</p> <p>1.4. 1次冷却系からの漏えいの確認 【ステップ7】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>14-1</td> <td>1次冷却系から漏えいなし</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ プラント監視機能が喪失している場合は、初動対応フローに示すパラメータを可搬型計測器により測定する。</p>	番号	項目	状態	備考	11-(4)-38	電源車（予備機）	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中	11-(4)-39	電源車（可搬式） （予備機）	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中	11-(4)-40	可搬式代替給水ポンプ（予備機）	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中	11-(4)-41	仮設組立式水槽（予備機）	使用可能	はい・いいえ・不明・調査中	11-(4)-42	スプレッドヘッド（予備機）	使用可能	はい・いいえ・不明・調査中	11-(4)-43	送水車（予備機）	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中	11-(4)-44	シルトファン（予備機）	使用可能	はい・いいえ・不明・調査中	11-(4)-45	放水船（予備機）	使用可能	はい・いいえ・不明・調査中	11-(4)-46	泡混合器（予備機）	使用可能	はい・いいえ・不明・調査中	11-(4)-47	電源車（緊急時対応用） （予備機）	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中	11-(4)-48	大容量ポンプ（予備機）	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中	番号	項目	状態	備考	12-1	炉心損傷なし	はい・いいえ・不明・調査中		12-2	1次冷却系から大規模な漏えいなし	はい・いいえ・不明・調査中		番号	項目	状態	備考	13-1	原子炉格納容器の減圧不要	はい・いいえ・不明・調査中		番号	項目	状態	備考	14-1	1次冷却系から漏えいなし	はい・いいえ・不明・調査中		<p style="text-align: center;">第2.1表 プラント状態確認チェックシートによる確認 (9/10)</p> <p>(8) 可搬型設備及び資機材の確認 (3/4)</p> <p>8-4 第4保管エリア</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>大容量送水ポンプ（タイプ1）</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>兼用給水装置</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>可搬型兼用ガス供給装置</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>大容量送水ポンプ（タイプ2）</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>電源車</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>バックホウ</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>ホイールローダ</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>ホース延長回収車</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>取水船</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>シルトファン</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>放射線物質回収車</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>可搬型モニタリングポスト</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>代替気象観測設備</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>送水用兼用給水装置</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>原子炉格納容器代替冷却水熱交換器ユニット</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>16</td> <td>タンクローリ</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>17</td> <td>小型船舶</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>18</td> <td>ブルドーザ</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>19</td> <td>北学消防自動車</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>20</td> <td>大型化学処理放水車</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>21</td> <td>高圧洗車機</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">※1 プラント状態確認チェックシートは、今後の訓練によって見直す可能性がある。</p>	番号	項目	状態	備考	1	大容量送水ポンプ（タイプ1）	使用可能・使用不可・不明		2	兼用給水装置	使用可能・使用不可・不明		3	可搬型兼用ガス供給装置	使用可能・使用不可・不明		4	大容量送水ポンプ（タイプ2）	使用可能・使用不可・不明		5	電源車	使用可能・使用不可・不明		6	バックホウ	使用可能・使用不可・不明		7	ホイールローダ	使用可能・使用不可・不明		8	ホース延長回収車	使用可能・使用不可・不明		9	取水船	使用可能・使用不可・不明		10	シルトファン	使用可能・使用不可・不明		11	放射線物質回収車	使用可能・使用不可・不明		12	可搬型モニタリングポスト	使用可能・使用不可・不明		13	代替気象観測設備	使用可能・使用不可・不明		14	送水用兼用給水装置	使用可能・使用不可・不明		15	原子炉格納容器代替冷却水熱交換器ユニット	使用可能・使用不可・不明		16	タンクローリ	使用可能・使用不可・不明		17	小型船舶	使用可能・使用不可・不明		18	ブルドーザ	使用可能・使用不可・不明		19	北学消防自動車	使用可能・使用不可・不明		20	大型化学処理放水車	使用可能・使用不可・不明		21	高圧洗車機	使用可能・使用不可・不明		<p style="text-align: center;">第1表 プラント状態確認チェックシートによる確認 (9/9)</p> <p>(12) 保管台管理用道路脇のモニタリングポスト 【ステップ4】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10-01-1</td> <td>可搬型大型送水ポンプ</td> <td>運転可能</td> <td>可搬・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>10-01-2</td> <td>ホース延長・回収車（送水車用）</td> <td>運転可能</td> <td>可搬・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>10-01-3</td> <td>可搬式送水ポンプ</td> <td>運転可能</td> <td>可搬・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>10-01-4</td> <td>可搬式兼用給水装置</td> <td>運転可能</td> <td>可搬・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>10-01-5</td> <td>ホイールローダ（送水車用）</td> <td>運転可能</td> <td>可搬・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>10-01-6</td> <td>大規模損壊対応用給水装置</td> <td>使用可能</td> <td>可搬・不可・不明・調査中</td> </tr> </tbody> </table> <p>(13) その他のエリア 【ステップ5】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10-01-1</td> <td>可搬型モニタリングポスト</td> <td>使用可能</td> <td>可搬・不可・不明・調査中 （船内）船内保管場所内</td> </tr> <tr> <td>10-01-2</td> <td>可搬型気象観測設備</td> <td>使用可能</td> <td>可搬・不可・不明・調査中 （船内）船内保管場所内</td> </tr> <tr> <td>10-01-3</td> <td>送水用兼用給水装置</td> <td>使用可能</td> <td>可搬・不可・不明・調査中 （式）式内保管場所内</td> </tr> <tr> <td>10-01-4</td> <td>気圧式兼用ポンプ式送水車</td> <td>運転可能</td> <td>可搬・不可・不明・調査中 機内保管場所</td> </tr> <tr> <td>10-01-5</td> <td>ブルドーザ</td> <td>運転可能</td> <td>可搬・不可・不明・調査中 機内保管場所</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：機器の状態の「可搬」には、運転中・使用中を含む。 ※2：当該エリアに複数台を配備する設備は、運転可能・使用可能台数を確認し記載する。</p> <p style="text-align: right;">出 プラント状態確認チェックシートは、今後の訓練によって見直す可能性がある。</p>	番号	項目	状態	備考	10-01-1	可搬型大型送水ポンプ	運転可能	可搬・不可・不明・調査中	10-01-2	ホース延長・回収車（送水車用）	運転可能	可搬・不可・不明・調査中	10-01-3	可搬式送水ポンプ	運転可能	可搬・不可・不明・調査中	10-01-4	可搬式兼用給水装置	運転可能	可搬・不可・不明・調査中	10-01-5	ホイールローダ（送水車用）	運転可能	可搬・不可・不明・調査中	10-01-6	大規模損壊対応用給水装置	使用可能	可搬・不可・不明・調査中	番号	項目	状態	備考	10-01-1	可搬型モニタリングポスト	使用可能	可搬・不可・不明・調査中 （船内）船内保管場所内	10-01-2	可搬型気象観測設備	使用可能	可搬・不可・不明・調査中 （船内）船内保管場所内	10-01-3	送水用兼用給水装置	使用可能	可搬・不可・不明・調査中 （式）式内保管場所内	10-01-4	気圧式兼用ポンプ式送水車	運転可能	可搬・不可・不明・調査中 機内保管場所	10-01-5	ブルドーザ	運転可能	可搬・不可・不明・調査中 機内保管場所	<p>【大飯】 設備及び運用の相違に伴うプラント状態確認項目等の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 大飯の11. (4)の事項については、泊の10. (6)～(13)（チェックシート(7/9)～(9/9)）の事項に対応している。 大飯の12. ～14. の事項については、泊では個別戦略選定における確認パラメータとして初動対応フロー中に整理している。 <p>【女川】 設備及び運用の相違に伴うプラント状態確認項目等の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 女川の2. (8)のうち、8-1～8-5の事項については、泊の10. (6)～(13)（チェックシート(7/9)～(9/9)）の事項に対応している。
番号	項目	状態	備考																																																																																																																																																																																																																								
11-(4)-38	電源車（予備機）	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																								
11-(4)-39	電源車（可搬式） （予備機）	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																								
11-(4)-40	可搬式代替給水ポンプ（予備機）	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																								
11-(4)-41	仮設組立式水槽（予備機）	使用可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																								
11-(4)-42	スプレッドヘッド（予備機）	使用可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																								
11-(4)-43	送水車（予備機）	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																								
11-(4)-44	シルトファン（予備機）	使用可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																								
11-(4)-45	放水船（予備機）	使用可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																								
11-(4)-46	泡混合器（予備機）	使用可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																								
11-(4)-47	電源車（緊急時対応用） （予備機）	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																								
11-(4)-48	大容量ポンプ（予備機）	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																								
番号	項目	状態	備考																																																																																																																																																																																																																								
12-1	炉心損傷なし	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																									
12-2	1次冷却系から大規模な漏えいなし	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																									
番号	項目	状態	備考																																																																																																																																																																																																																								
13-1	原子炉格納容器の減圧不要	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																									
番号	項目	状態	備考																																																																																																																																																																																																																								
14-1	1次冷却系から漏えいなし	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																									
番号	項目	状態	備考																																																																																																																																																																																																																								
1	大容量送水ポンプ（タイプ1）	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																									
2	兼用給水装置	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																									
3	可搬型兼用ガス供給装置	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																									
4	大容量送水ポンプ（タイプ2）	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																									
5	電源車	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																									
6	バックホウ	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																									
7	ホイールローダ	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																									
8	ホース延長回収車	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																									
9	取水船	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																									
10	シルトファン	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																									
11	放射線物質回収車	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																									
12	可搬型モニタリングポスト	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																									
13	代替気象観測設備	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																									
14	送水用兼用給水装置	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																									
15	原子炉格納容器代替冷却水熱交換器ユニット	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																									
16	タンクローリ	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																									
17	小型船舶	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																									
18	ブルドーザ	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																									
19	北学消防自動車	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																									
20	大型化学処理放水車	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																									
21	高圧洗車機	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																									
番号	項目	状態	備考																																																																																																																																																																																																																								
10-01-1	可搬型大型送水ポンプ	運転可能	可搬・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																								
10-01-2	ホース延長・回収車（送水車用）	運転可能	可搬・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																								
10-01-3	可搬式送水ポンプ	運転可能	可搬・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																								
10-01-4	可搬式兼用給水装置	運転可能	可搬・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																								
10-01-5	ホイールローダ（送水車用）	運転可能	可搬・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																								
10-01-6	大規模損壊対応用給水装置	使用可能	可搬・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																								
番号	項目	状態	備考																																																																																																																																																																																																																								
10-01-1	可搬型モニタリングポスト	使用可能	可搬・不可・不明・調査中 （船内）船内保管場所内																																																																																																																																																																																																																								
10-01-2	可搬型気象観測設備	使用可能	可搬・不可・不明・調査中 （船内）船内保管場所内																																																																																																																																																																																																																								
10-01-3	送水用兼用給水装置	使用可能	可搬・不可・不明・調査中 （式）式内保管場所内																																																																																																																																																																																																																								
10-01-4	気圧式兼用ポンプ式送水車	運転可能	可搬・不可・不明・調査中 機内保管場所																																																																																																																																																																																																																								
10-01-5	ブルドーザ	運転可能	可搬・不可・不明・調査中 機内保管場所																																																																																																																																																																																																																								

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																
	<p>第2.1表 プラント状態確認チェックシートによる確認(10/10)</p> <p>(8)可搬型設備及び資機材の確認 (4/4)</p> <p>8-5 緊急時対策建屋</p> <p style="text-align: center;">確認日時 年 月 日 時 分</p> <table border="1" data-bbox="680 260 1214 320"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>電源車(緊急時対策用)</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>8-6 建屋内</p> <p style="text-align: center;">確認日時 年 月 日 時 分</p> <table border="1" data-bbox="680 384 1214 587"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>使用済燃料プール注水コース</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>使用済燃料プールスプレイノズル</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>高圧窒素ガスポンプ</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>逃がし安全弁用可搬型蓄電池</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>建屋内敷設用コース</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(9)水源状態の確認</p> <p style="text-align: center;">確認日時 年 月 日 時 分</p> <table border="1" data-bbox="680 651 1214 922"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>復水貯蔵タンク</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>ろ過水タンク</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>淡水貯水槽</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>雨水タンク</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>原水タンク</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>防火水槽</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>耐震性防火水槽</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; font-size: small;">注1 プラント状態確認チェックシートは、今後の演習によって見直し可能性がある</p>	番号	項目	状態	備考	1	電源車(緊急時対策用)	使用可能・使用不可・不明		番号	項目	状態	備考	1	使用済燃料プール注水コース	使用可能・使用不可・不明		2	使用済燃料プールスプレイノズル	使用可能・使用不可・不明		3	高圧窒素ガスポンプ	使用可能・使用不可・不明		4	逃がし安全弁用可搬型蓄電池	使用可能・使用不可・不明		5	建屋内敷設用コース	使用可能・使用不可・不明		番号	項目	状態	備考	1	復水貯蔵タンク	使用可能・使用不可・不明		2	ろ過水タンク	使用可能・使用不可・不明		3	淡水貯水槽	使用可能・使用不可・不明		4	雨水タンク	使用可能・使用不可・不明		5	原水タンク	使用可能・使用不可・不明		6	防火水槽	使用可能・使用不可・不明		7	耐震性防火水槽	使用可能・使用不可・不明			<p>【女川】設備及び運用の相違に伴うプラント状態確認項目等の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川の2.(8)のうち、8-1～8-5の事項については、泊の10.(6)～(13)（チェックシート(7/9)～(9/9)）の事項に対応している。8-6については、泊の10.(1)～(5)（チェックシート(6/9)～(7/9)）にて建屋内の可搬型重大事故等対処設備を確認項目としている。 ・女川の2.(9)の事項については、泊の10.(1)～(5)（チェックシート(6/9)～(7/9)）にて建屋内外の水源を確認項目としている。
番号	項目	状態	備考																																																																
1	電源車(緊急時対策用)	使用可能・使用不可・不明																																																																	
番号	項目	状態	備考																																																																
1	使用済燃料プール注水コース	使用可能・使用不可・不明																																																																	
2	使用済燃料プールスプレイノズル	使用可能・使用不可・不明																																																																	
3	高圧窒素ガスポンプ	使用可能・使用不可・不明																																																																	
4	逃がし安全弁用可搬型蓄電池	使用可能・使用不可・不明																																																																	
5	建屋内敷設用コース	使用可能・使用不可・不明																																																																	
番号	項目	状態	備考																																																																
1	復水貯蔵タンク	使用可能・使用不可・不明																																																																	
2	ろ過水タンク	使用可能・使用不可・不明																																																																	
3	淡水貯水槽	使用可能・使用不可・不明																																																																	
4	雨水タンク	使用可能・使用不可・不明																																																																	
5	原水タンク	使用可能・使用不可・不明																																																																	
6	防火水槽	使用可能・使用不可・不明																																																																	
7	耐震性防火水槽	使用可能・使用不可・不明																																																																	

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>添付資料 2.1.4 大規模損壊発生時に使用する対応手順一覧</p> <p>大規模損壊発生時において、以下に示す【1】～【9】の各戦略による対応が必要と判断された場合には、個別戦略フローに基づいて当該の手順書を選択し、事故緩和措置を実施する。</p>	<p>添付資料 2.1.11 個別戦略フローにおける対応手順書等及び設備一覧について</p> <p>大規模損壊発生時に初動対応フローから選択する個別戦略の決定に当たっては、要員及び設備を含めた残存する資源から必要な手順等を確認し、有効な戦略を迅速かつ確実に選定する必要がある。</p> <p>第1表に示す個別戦略による対応が必要と判断された場合には、個別戦略フローに基づいて当該の手順書等を選択し、事故緩和措置を実施する。</p> <p>また、第1図に大規模損壊発生時の対応手順書等の体系図を示す。</p>	<p>添付資料 2.1.4 大規模損壊発生時に使用する対応手順書等及び設備一覧について</p> <p>大規模損壊発生時に初動対応フローから選択する個別戦略の決定に当たっては、要員及び設備を含めた残存する資源から必要な手順等を確認し、有効な戦略を迅速かつ確実に選定する必要がある。</p> <p>第1表に示す個別戦略による対応が必要と判断された場合には、個別戦略フローに基づいて当該の手順書等を選択し、事故緩和措置を実施する。</p>	<p>相違理由</p> <p>【女川】資料番号の相違</p> <p>【大阪】記載内容の相違に伴う資料名称の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、女川と同様に、各対応手順にて使用する設備等についても整理していることを踏まえた資料名称としている。（以降、相違理由の記載を省略する。） <p>【女川】資料名称の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、大規模損壊発生時に使用する対応手順全般（個別戦略フローにて考慮する対応手順を包含する）について整理していることを踏まえた資料名称としている。（以降、相違理由の記載を省略する。） <p>【大阪】記載内容の相違(女川審査実績反映)</p> <p>【大阪】記載表現の相違(女川審査実績反映)</p> <p>【女川】記載箇所の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1.及び2.項において、対応手順書の体系図について記載していることから、ここでは記載しない。

灰色：泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																					
<p>大規模損壊発生時の対応手順一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応フロー图中的の 手順</th> <th>手順書名称(案)</th> <th>技術的能力に係る 審査基準の当該項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">【アクセスルート確保】</td> </tr> <tr> <td colspan="3">【1】「アクセスルート確保及び消火活動のための戦略」</td> </tr> <tr> <td>大災消火①</td> <td>【大規模損壊所達】 【初期消火手順】 ・初期消火に関する手順</td> <td>1.12</td> </tr> <tr> <td>大災消火②</td> <td>【大規模損壊所達】 ・放水砲による放射性物質拡散抑制手順</td> <td>1.12</td> </tr> <tr> <td>構内道路補修・ ガレキ除去</td> <td>【大規模損壊所達】 ・非常災害時のアクセスルートの確保のための手順</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td colspan="3">【閉じ込める機能の確保】</td> </tr> <tr> <td colspan="3">【3】「放射性物質拡散抑制のための戦略」</td> </tr> <tr> <td colspan="3">【3】「格納容器破損防止（破損中心冠水）のための戦略」</td> </tr> <tr> <td colspan="3">【4】「格納容器過圧破損防止のための戦略」</td> </tr> <tr> <td colspan="3">【9】「本家専発抑制のための戦略」</td> </tr> <tr> <td>C/V スプレィ①</td> <td>【炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する 運転手順書】 ・相設代替低圧注水ポンプを用いた代替格納容器スプレィの手順</td> <td>1.4, 1.6 1.7, 1.8</td> </tr> <tr> <td>C/V スプレィ②</td> <td>【炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する 運転手順書】 ・消火ポンプを用いた代替格納容器スプレィの手順</td> <td>1.4, 1.6 1.7, 1.8</td> </tr> <tr> <td>C/V スプレィ③</td> <td>【炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する 運転手順書】 ・A格納容器スプレィポンプ（自己冷却）を用いた代替 格納容器スプレィの手順 【大規模損壊所達】 ・格納容器スプレィポンプ自己冷却配管接続の手順</td> <td>1.6, 1.7 1.8</td> </tr> <tr> <td>C/V スプレィ④</td> <td>【炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する 運転手順書】 ・可搬式代替低圧注水ポンプを用いた代替格納容器スプレィの手順 【大規模損壊所達】 ・可搬式代替低圧注水ポンプによる格納容器スプレィ 準備の手順</td> <td>1.4, 1.6 1.7, 1.8</td> </tr> </tbody> </table>	対応フロー图中的の 手順	手順書名称(案)	技術的能力に係る 審査基準の当該項目	【アクセスルート確保】			【1】「アクセスルート確保及び消火活動のための戦略」			大災消火①	【大規模損壊所達】 【初期消火手順】 ・初期消火に関する手順	1.12	大災消火②	【大規模損壊所達】 ・放水砲による放射性物質拡散抑制手順	1.12	構内道路補修・ ガレキ除去	【大規模損壊所達】 ・非常災害時のアクセスルートの確保のための手順	-	【閉じ込める機能の確保】			【3】「放射性物質拡散抑制のための戦略」			【3】「格納容器破損防止（破損中心冠水）のための戦略」			【4】「格納容器過圧破損防止のための戦略」			【9】「本家専発抑制のための戦略」			C/V スプレィ①	【炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する 運転手順書】 ・相設代替低圧注水ポンプを用いた代替格納容器スプレィの手順	1.4, 1.6 1.7, 1.8	C/V スプレィ②	【炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する 運転手順書】 ・消火ポンプを用いた代替格納容器スプレィの手順	1.4, 1.6 1.7, 1.8	C/V スプレィ③	【炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する 運転手順書】 ・A格納容器スプレィポンプ（自己冷却）を用いた代替 格納容器スプレィの手順 【大規模損壊所達】 ・格納容器スプレィポンプ自己冷却配管接続の手順	1.6, 1.7 1.8	C/V スプレィ④	【炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する 運転手順書】 ・可搬式代替低圧注水ポンプを用いた代替格納容器スプレィの手順 【大規模損壊所達】 ・可搬式代替低圧注水ポンプによる格納容器スプレィ 準備の手順	1.4, 1.6 1.7, 1.8	<p>第1表 個別戦略における対応手順書等及び設備一覧(1/8)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>設備名</th> <th>仕様</th> <th>数量</th> <th>位置</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">格納容器破損防止用 格納容器スプレィポンプ</td> <td>格納容器スプレィポンプ</td> <td>型式：S-1000 容量：1000L</td> <td>10台</td> <td>格納容器内</td> <td>運転時、格納容器内での使用が可能。</td> </tr> <tr> <td>格納容器スプレィポンプ</td> <td>型式：S-1000 容量：1000L</td> <td>10台</td> <td>格納容器外</td> <td>格納容器外での使用が可能。</td> </tr> <tr> <td>格納容器スプレィポンプ</td> <td>型式：S-1000 容量：1000L</td> <td>10台</td> <td>格納容器内</td> <td>運転時、格納容器内での使用が可能。</td> </tr> <tr> <td>格納容器スプレィポンプ</td> <td>型式：S-1000 容量：1000L</td> <td>10台</td> <td>格納容器外</td> <td>格納容器外での使用が可能。</td> </tr> <tr> <td>格納容器スプレィポンプ</td> <td>型式：S-1000 容量：1000L</td> <td>10台</td> <td>格納容器内</td> <td>運転時、格納容器内での使用が可能。</td> </tr> <tr> <td>格納容器スプレィポンプ</td> <td>型式：S-1000 容量：1000L</td> <td>10台</td> <td>格納容器外</td> <td>格納容器外での使用が可能。</td> </tr> <tr> <td>格納容器スプレィポンプ</td> <td>型式：S-1000 容量：1000L</td> <td>10台</td> <td>格納容器内</td> <td>運転時、格納容器内での使用が可能。</td> </tr> <tr> <td>格納容器スプレィポンプ</td> <td>型式：S-1000 容量：1000L</td> <td>10台</td> <td>格納容器外</td> <td>格納容器外での使用が可能。</td> </tr> <tr> <td>格納容器スプレィポンプ</td> <td>型式：S-1000 容量：1000L</td> <td>10台</td> <td>格納容器内</td> <td>運転時、格納容器内での使用が可能。</td> </tr> <tr> <td>格納容器スプレィポンプ</td> <td>型式：S-1000 容量：1000L</td> <td>10台</td> <td>格納容器外</td> <td>格納容器外での使用が可能。</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">消火ポンプ</td> <td>消火ポンプ</td> <td>型式：P-1000 容量：1000L</td> <td>10台</td> <td>格納容器内</td> <td>運転時、格納容器内での使用が可能。</td> </tr> <tr> <td>消火ポンプ</td> <td>型式：P-1000 容量：1000L</td> <td>10台</td> <td>格納容器外</td> <td>格納容器外での使用が可能。</td> </tr> <tr> <td>消火ポンプ</td> <td>型式：P-1000 容量：1000L</td> <td>10台</td> <td>格納容器内</td> <td>運転時、格納容器内での使用が可能。</td> </tr> <tr> <td>消火ポンプ</td> <td>型式：P-1000 容量：1000L</td> <td>10台</td> <td>格納容器外</td> <td>格納容器外での使用が可能。</td> </tr> <tr> <td>消火ポンプ</td> <td>型式：P-1000 容量：1000L</td> <td>10台</td> <td>格納容器内</td> <td>運転時、格納容器内での使用が可能。</td> </tr> <tr> <td>消火ポンプ</td> <td>型式：P-1000 容量：1000L</td> <td>10台</td> <td>格納容器外</td> <td>格納容器外での使用が可能。</td> </tr> <tr> <td>消火ポンプ</td> <td>型式：P-1000 容量：1000L</td> <td>10台</td> <td>格納容器内</td> <td>運転時、格納容器内での使用が可能。</td> </tr> <tr> <td>消火ポンプ</td> <td>型式：P-1000 容量：1000L</td> <td>10台</td> <td>格納容器外</td> <td>格納容器外での使用が可能。</td> </tr> <tr> <td>消火ポンプ</td> <td>型式：P-1000 容量：1000L</td> <td>10台</td> <td>格納容器内</td> <td>運転時、格納容器内での使用が可能。</td> </tr> <tr> <td>消火ポンプ</td> <td>型式：P-1000 容量：1000L</td> <td>10台</td> <td>格納容器外</td> <td>格納容器外での使用が可能。</td> </tr> </tbody> </table> <p>注：本資料は、訓練等の実施により見直し可能性があり、使用設備、所要時間、必要人員等は最終的に各手順書に反映する。</p>	項目	設備名	仕様	数量	位置	備考	格納容器破損防止用 格納容器スプレィポンプ	格納容器スプレィポンプ	型式：S-1000 容量：1000L	10台	格納容器内	運転時、格納容器内での使用が可能。	格納容器スプレィポンプ	型式：S-1000 容量：1000L	10台	格納容器外	格納容器外での使用が可能。	格納容器スプレィポンプ	型式：S-1000 容量：1000L	10台	格納容器内	運転時、格納容器内での使用が可能。	格納容器スプレィポンプ	型式：S-1000 容量：1000L	10台	格納容器外	格納容器外での使用が可能。	格納容器スプレィポンプ	型式：S-1000 容量：1000L	10台	格納容器内	運転時、格納容器内での使用が可能。	格納容器スプレィポンプ	型式：S-1000 容量：1000L	10台	格納容器外	格納容器外での使用が可能。	格納容器スプレィポンプ	型式：S-1000 容量：1000L	10台	格納容器内	運転時、格納容器内での使用が可能。	格納容器スプレィポンプ	型式：S-1000 容量：1000L	10台	格納容器外	格納容器外での使用が可能。	格納容器スプレィポンプ	型式：S-1000 容量：1000L	10台	格納容器内	運転時、格納容器内での使用が可能。	格納容器スプレィポンプ	型式：S-1000 容量：1000L	10台	格納容器外	格納容器外での使用が可能。	消火ポンプ	消火ポンプ	型式：P-1000 容量：1000L	10台	格納容器内	運転時、格納容器内での使用が可能。	消火ポンプ	型式：P-1000 容量：1000L	10台	格納容器外	格納容器外での使用が可能。	消火ポンプ	型式：P-1000 容量：1000L	10台	格納容器内	運転時、格納容器内での使用が可能。	消火ポンプ	型式：P-1000 容量：1000L	10台	格納容器外	格納容器外での使用が可能。	消火ポンプ	型式：P-1000 容量：1000L	10台	格納容器内	運転時、格納容器内での使用が可能。	消火ポンプ	型式：P-1000 容量：1000L	10台	格納容器外	格納容器外での使用が可能。	消火ポンプ	型式：P-1000 容量：1000L	10台	格納容器内	運転時、格納容器内での使用が可能。	消火ポンプ	型式：P-1000 容量：1000L	10台	格納容器外	格納容器外での使用が可能。	消火ポンプ	型式：P-1000 容量：1000L	10台	格納容器内	運転時、格納容器内での使用が可能。	消火ポンプ	型式：P-1000 容量：1000L	10台	格納容器外	格納容器外での使用が可能。	<p>第1表 大規模損壊発生時に使用する対応手順書等及び設備一覧(1/8)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>設備名</th> <th>仕様</th> <th>数量</th> <th>位置</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">格納容器破損防止用 格納容器スプレィポンプ</td> <td>格納容器スプレィポンプ</td> <td>型式：S-1000 容量：1000L</td> <td>10台</td> <td>格納容器内</td> <td>運転時、格納容器内での使用が可能。</td> </tr> <tr> <td>格納容器スプレィポンプ</td> <td>型式：S-1000 容量：1000L</td> <td>10台</td> <td>格納容器外</td> <td>格納容器外での使用が可能。</td> </tr> <tr> <td>格納容器スプレィポンプ</td> <td>型式：S-1000 容量：1000L</td> <td>10台</td> <td>格納容器内</td> <td>運転時、格納容器内での使用が可能。</td> </tr> <tr> <td>格納容器スプレィポンプ</td> <td>型式：S-1000 容量：1000L</td> <td>10台</td> <td>格納容器外</td> <td>格納容器外での使用が可能。</td> </tr> <tr> <td>格納容器スプレィポンプ</td> <td>型式：S-1000 容量：1000L</td> <td>10台</td> <td>格納容器内</td> <td>運転時、格納容器内での使用が可能。</td> </tr> <tr> <td>格納容器スプレィポンプ</td> <td>型式：S-1000 容量：1000L</td> <td>10台</td> <td>格納容器外</td> <td>格納容器外での使用が可能。</td> </tr> <tr> <td>格納容器スプレィポンプ</td> <td>型式：S-1000 容量：1000L</td> <td>10台</td> <td>格納容器内</td> <td>運転時、格納容器内での使用が可能。</td> </tr> <tr> <td>格納容器スプレィポンプ</td> <td>型式：S-1000 容量：1000L</td> <td>10台</td> <td>格納容器外</td> <td>格納容器外での使用が可能。</td> </tr> <tr> <td>格納容器スプレィポンプ</td> <td>型式：S-1000 容量：1000L</td> <td>10台</td> <td>格納容器内</td> <td>運転時、格納容器内での使用が可能。</td> </tr> <tr> <td>格納容器スプレィポンプ</td> <td>型式：S-1000 容量：1000L</td> <td>10台</td> <td>格納容器外</td> <td>格納容器外での使用が可能。</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">消火ポンプ</td> <td>消火ポンプ</td> <td>型式：P-1000 容量：1000L</td> <td>10台</td> <td>格納容器内</td> <td>運転時、格納容器内での使用が可能。</td> </tr> <tr> <td>消火ポンプ</td> <td>型式：P-1000 容量：1000L</td> <td>10台</td> <td>格納容器外</td> <td>格納容器外での使用が可能。</td> </tr> <tr> <td>消火ポンプ</td> <td>型式：P-1000 容量：1000L</td> <td>10台</td> <td>格納容器内</td> <td>運転時、格納容器内での使用が可能。</td> </tr> <tr> <td>消火ポンプ</td> <td>型式：P-1000 容量：1000L</td> <td>10台</td> <td>格納容器外</td> <td>格納容器外での使用が可能。</td> </tr> <tr> <td>消火ポンプ</td> <td>型式：P-1000 容量：1000L</td> <td>10台</td> <td>格納容器内</td> <td>運転時、格納容器内での使用が可能。</td> </tr> <tr> <td>消火ポンプ</td> <td>型式：P-1000 容量：1000L</td> <td>10台</td> <td>格納容器外</td> <td>格納容器外での使用が可能。</td> </tr> <tr> <td>消火ポンプ</td> <td>型式：P-1000 容量：1000L</td> <td>10台</td> <td>格納容器内</td> <td>運転時、格納容器内での使用が可能。</td> </tr> <tr> <td>消火ポンプ</td> <td>型式：P-1000 容量：1000L</td> <td>10台</td> <td>格納容器外</td> <td>格納容器外での使用が可能。</td> </tr> <tr> <td>消火ポンプ</td> <td>型式：P-1000 容量：1000L</td> <td>10台</td> <td>格納容器内</td> <td>運転時、格納容器内での使用が可能。</td> </tr> <tr> <td>消火ポンプ</td> <td>型式：P-1000 容量：1000L</td> <td>10台</td> <td>格納容器外</td> <td>格納容器外での使用が可能。</td> </tr> </tbody> </table> <p>注：本資料は、訓練等の実施により見直し可能性があり、使用設備、所要時間、必要人員等は最終的に各手順書に反映する。</p>	項目	設備名	仕様	数量	位置	備考	格納容器破損防止用 格納容器スプレィポンプ	格納容器スプレィポンプ	型式：S-1000 容量：1000L	10台	格納容器内	運転時、格納容器内での使用が可能。	格納容器スプレィポンプ	型式：S-1000 容量：1000L	10台	格納容器外	格納容器外での使用が可能。	格納容器スプレィポンプ	型式：S-1000 容量：1000L	10台	格納容器内	運転時、格納容器内での使用が可能。	格納容器スプレィポンプ	型式：S-1000 容量：1000L	10台	格納容器外	格納容器外での使用が可能。	格納容器スプレィポンプ	型式：S-1000 容量：1000L	10台	格納容器内	運転時、格納容器内での使用が可能。	格納容器スプレィポンプ	型式：S-1000 容量：1000L	10台	格納容器外	格納容器外での使用が可能。	格納容器スプレィポンプ	型式：S-1000 容量：1000L	10台	格納容器内	運転時、格納容器内での使用が可能。	格納容器スプレィポンプ	型式：S-1000 容量：1000L	10台	格納容器外	格納容器外での使用が可能。	格納容器スプレィポンプ	型式：S-1000 容量：1000L	10台	格納容器内	運転時、格納容器内での使用が可能。	格納容器スプレィポンプ	型式：S-1000 容量：1000L	10台	格納容器外	格納容器外での使用が可能。	消火ポンプ	消火ポンプ	型式：P-1000 容量：1000L	10台	格納容器内	運転時、格納容器内での使用が可能。	消火ポンプ	型式：P-1000 容量：1000L	10台	格納容器外	格納容器外での使用が可能。	消火ポンプ	型式：P-1000 容量：1000L	10台	格納容器内	運転時、格納容器内での使用が可能。	消火ポンプ	型式：P-1000 容量：1000L	10台	格納容器外	格納容器外での使用が可能。	消火ポンプ	型式：P-1000 容量：1000L	10台	格納容器内	運転時、格納容器内での使用が可能。	消火ポンプ	型式：P-1000 容量：1000L	10台	格納容器外	格納容器外での使用が可能。	消火ポンプ	型式：P-1000 容量：1000L	10台	格納容器内	運転時、格納容器内での使用が可能。	消火ポンプ	型式：P-1000 容量：1000L	10台	格納容器外	格納容器外での使用が可能。	消火ポンプ	型式：P-1000 容量：1000L	10台	格納容器内	運転時、格納容器内での使用が可能。	消火ポンプ	型式：P-1000 容量：1000L	10台	格納容器外	格納容器外での使用が可能。	<p>相違理由</p> <p>【大飯】【女川】記載表現の相違</p> <p>【大飯】記載内容の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は、女川と同様に、各対応手順書で使用する設備や所要時間、必要人数等についても合わせて記載している。 <p>【女川】個別の対応手順の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 炉型の相違等により整備する手順等は異なるが、表中の記載内容に相違はない。
対応フロー图中的の 手順	手順書名称(案)	技術的能力に係る 審査基準の当該項目																																																																																																																																																																																																																																																																						
【アクセスルート確保】																																																																																																																																																																																																																																																																								
【1】「アクセスルート確保及び消火活動のための戦略」																																																																																																																																																																																																																																																																								
大災消火①	【大規模損壊所達】 【初期消火手順】 ・初期消火に関する手順	1.12																																																																																																																																																																																																																																																																						
大災消火②	【大規模損壊所達】 ・放水砲による放射性物質拡散抑制手順	1.12																																																																																																																																																																																																																																																																						
構内道路補修・ ガレキ除去	【大規模損壊所達】 ・非常災害時のアクセスルートの確保のための手順	-																																																																																																																																																																																																																																																																						
【閉じ込める機能の確保】																																																																																																																																																																																																																																																																								
【3】「放射性物質拡散抑制のための戦略」																																																																																																																																																																																																																																																																								
【3】「格納容器破損防止（破損中心冠水）のための戦略」																																																																																																																																																																																																																																																																								
【4】「格納容器過圧破損防止のための戦略」																																																																																																																																																																																																																																																																								
【9】「本家専発抑制のための戦略」																																																																																																																																																																																																																																																																								
C/V スプレィ①	【炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する 運転手順書】 ・相設代替低圧注水ポンプを用いた代替格納容器スプレィの手順	1.4, 1.6 1.7, 1.8																																																																																																																																																																																																																																																																						
C/V スプレィ②	【炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する 運転手順書】 ・消火ポンプを用いた代替格納容器スプレィの手順	1.4, 1.6 1.7, 1.8																																																																																																																																																																																																																																																																						
C/V スプレィ③	【炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する 運転手順書】 ・A格納容器スプレィポンプ（自己冷却）を用いた代替 格納容器スプレィの手順 【大規模損壊所達】 ・格納容器スプレィポンプ自己冷却配管接続の手順	1.6, 1.7 1.8																																																																																																																																																																																																																																																																						
C/V スプレィ④	【炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する 運転手順書】 ・可搬式代替低圧注水ポンプを用いた代替格納容器スプレィの手順 【大規模損壊所達】 ・可搬式代替低圧注水ポンプによる格納容器スプレィ 準備の手順	1.4, 1.6 1.7, 1.8																																																																																																																																																																																																																																																																						
項目	設備名	仕様	数量	位置	備考																																																																																																																																																																																																																																																																			
格納容器破損防止用 格納容器スプレィポンプ	格納容器スプレィポンプ	型式：S-1000 容量：1000L	10台	格納容器内	運転時、格納容器内での使用が可能。																																																																																																																																																																																																																																																																			
	格納容器スプレィポンプ	型式：S-1000 容量：1000L	10台	格納容器外	格納容器外での使用が可能。																																																																																																																																																																																																																																																																			
	格納容器スプレィポンプ	型式：S-1000 容量：1000L	10台	格納容器内	運転時、格納容器内での使用が可能。																																																																																																																																																																																																																																																																			
	格納容器スプレィポンプ	型式：S-1000 容量：1000L	10台	格納容器外	格納容器外での使用が可能。																																																																																																																																																																																																																																																																			
	格納容器スプレィポンプ	型式：S-1000 容量：1000L	10台	格納容器内	運転時、格納容器内での使用が可能。																																																																																																																																																																																																																																																																			
	格納容器スプレィポンプ	型式：S-1000 容量：1000L	10台	格納容器外	格納容器外での使用が可能。																																																																																																																																																																																																																																																																			
	格納容器スプレィポンプ	型式：S-1000 容量：1000L	10台	格納容器内	運転時、格納容器内での使用が可能。																																																																																																																																																																																																																																																																			
	格納容器スプレィポンプ	型式：S-1000 容量：1000L	10台	格納容器外	格納容器外での使用が可能。																																																																																																																																																																																																																																																																			
	格納容器スプレィポンプ	型式：S-1000 容量：1000L	10台	格納容器内	運転時、格納容器内での使用が可能。																																																																																																																																																																																																																																																																			
	格納容器スプレィポンプ	型式：S-1000 容量：1000L	10台	格納容器外	格納容器外での使用が可能。																																																																																																																																																																																																																																																																			
消火ポンプ	消火ポンプ	型式：P-1000 容量：1000L	10台	格納容器内	運転時、格納容器内での使用が可能。																																																																																																																																																																																																																																																																			
	消火ポンプ	型式：P-1000 容量：1000L	10台	格納容器外	格納容器外での使用が可能。																																																																																																																																																																																																																																																																			
	消火ポンプ	型式：P-1000 容量：1000L	10台	格納容器内	運転時、格納容器内での使用が可能。																																																																																																																																																																																																																																																																			
	消火ポンプ	型式：P-1000 容量：1000L	10台	格納容器外	格納容器外での使用が可能。																																																																																																																																																																																																																																																																			
	消火ポンプ	型式：P-1000 容量：1000L	10台	格納容器内	運転時、格納容器内での使用が可能。																																																																																																																																																																																																																																																																			
	消火ポンプ	型式：P-1000 容量：1000L	10台	格納容器外	格納容器外での使用が可能。																																																																																																																																																																																																																																																																			
	消火ポンプ	型式：P-1000 容量：1000L	10台	格納容器内	運転時、格納容器内での使用が可能。																																																																																																																																																																																																																																																																			
	消火ポンプ	型式：P-1000 容量：1000L	10台	格納容器外	格納容器外での使用が可能。																																																																																																																																																																																																																																																																			
	消火ポンプ	型式：P-1000 容量：1000L	10台	格納容器内	運転時、格納容器内での使用が可能。																																																																																																																																																																																																																																																																			
	消火ポンプ	型式：P-1000 容量：1000L	10台	格納容器外	格納容器外での使用が可能。																																																																																																																																																																																																																																																																			
項目	設備名	仕様	数量	位置	備考																																																																																																																																																																																																																																																																			
格納容器破損防止用 格納容器スプレィポンプ	格納容器スプレィポンプ	型式：S-1000 容量：1000L	10台	格納容器内	運転時、格納容器内での使用が可能。																																																																																																																																																																																																																																																																			
	格納容器スプレィポンプ	型式：S-1000 容量：1000L	10台	格納容器外	格納容器外での使用が可能。																																																																																																																																																																																																																																																																			
	格納容器スプレィポンプ	型式：S-1000 容量：1000L	10台	格納容器内	運転時、格納容器内での使用が可能。																																																																																																																																																																																																																																																																			
	格納容器スプレィポンプ	型式：S-1000 容量：1000L	10台	格納容器外	格納容器外での使用が可能。																																																																																																																																																																																																																																																																			
	格納容器スプレィポンプ	型式：S-1000 容量：1000L	10台	格納容器内	運転時、格納容器内での使用が可能。																																																																																																																																																																																																																																																																			
	格納容器スプレィポンプ	型式：S-1000 容量：1000L	10台	格納容器外	格納容器外での使用が可能。																																																																																																																																																																																																																																																																			
	格納容器スプレィポンプ	型式：S-1000 容量：1000L	10台	格納容器内	運転時、格納容器内での使用が可能。																																																																																																																																																																																																																																																																			
	格納容器スプレィポンプ	型式：S-1000 容量：1000L	10台	格納容器外	格納容器外での使用が可能。																																																																																																																																																																																																																																																																			
	格納容器スプレィポンプ	型式：S-1000 容量：1000L	10台	格納容器内	運転時、格納容器内での使用が可能。																																																																																																																																																																																																																																																																			
	格納容器スプレィポンプ	型式：S-1000 容量：1000L	10台	格納容器外	格納容器外での使用が可能。																																																																																																																																																																																																																																																																			
消火ポンプ	消火ポンプ	型式：P-1000 容量：1000L	10台	格納容器内	運転時、格納容器内での使用が可能。																																																																																																																																																																																																																																																																			
	消火ポンプ	型式：P-1000 容量：1000L	10台	格納容器外	格納容器外での使用が可能。																																																																																																																																																																																																																																																																			
	消火ポンプ	型式：P-1000 容量：1000L	10台	格納容器内	運転時、格納容器内での使用が可能。																																																																																																																																																																																																																																																																			
	消火ポンプ	型式：P-1000 容量：1000L	10台	格納容器外	格納容器外での使用が可能。																																																																																																																																																																																																																																																																			
	消火ポンプ	型式：P-1000 容量：1000L	10台	格納容器内	運転時、格納容器内での使用が可能。																																																																																																																																																																																																																																																																			
	消火ポンプ	型式：P-1000 容量：1000L	10台	格納容器外	格納容器外での使用が可能。																																																																																																																																																																																																																																																																			
	消火ポンプ	型式：P-1000 容量：1000L	10台	格納容器内	運転時、格納容器内での使用が可能。																																																																																																																																																																																																																																																																			
	消火ポンプ	型式：P-1000 容量：1000L	10台	格納容器外	格納容器外での使用が可能。																																																																																																																																																																																																																																																																			
	消火ポンプ	型式：P-1000 容量：1000L	10台	格納容器内	運転時、格納容器内での使用が可能。																																																																																																																																																																																																																																																																			
	消火ポンプ	型式：P-1000 容量：1000L	10台	格納容器外	格納容器外での使用が可能。																																																																																																																																																																																																																																																																			

灰色：泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																											
<p>【比較のため、前ページより再掲】</p> <p>大規模損壊発生時の対応手順一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応フロー中の手順</th> <th>手順書名称(案)</th> <th>技術的能力に係る審査基準の当該項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">【アクセスルート確保】</td> </tr> <tr> <td colspan="3">【1】「アクセスルート確保及び消火活動のための戦略」</td> </tr> <tr> <td>大規模火①</td> <td>【大規模損壊所達】 【初期消火に關する手順】</td> <td>1.12</td> </tr> <tr> <td>大規模火②</td> <td>【大規模損壊所達】 ・放水前による放射性物質拡散抑制手順</td> <td>1.12</td> </tr> <tr> <td>構内道路補修・ガレキ除去</td> <td>【大規模損壊所達】 ・非常災害時のアクセスルートの確保のための手順</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td colspan="3">【閉じ込める機能の確保】</td> </tr> <tr> <td colspan="3">【2】「放射性物質拡散抑制のための戦略」</td> </tr> <tr> <td colspan="3">【3】「格納容器破損防止（破損炉心冠水）のための戦略」</td> </tr> <tr> <td colspan="3">【4】「格納容器過圧破損防止のための戦略」</td> </tr> <tr> <td colspan="3">【9】「水素発生抑制のための戦略」</td> </tr> <tr> <td>C/V スプレイ①</td> <td>【伊心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書】 ・格設代替低圧注水ポンプを用いた代替格納容器スプレィの手順</td> <td>1.4, 1.6 1.7, 1.8</td> </tr> <tr> <td>C/V スプレイ②</td> <td>【伊心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書】 ・消火ポンプを用いた代替格納容器スプレィの手順</td> <td>1.4, 1.6 1.7, 1.8</td> </tr> <tr> <td>C/V スプレイ③</td> <td>【伊心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書】 ・A格納容器スプレィポンプ（自己冷却）を用いた代替格納容器スプレィの手順 【大規模損壊所達】 ・格納容器スプレィポンプ自己冷却配管接続の手順</td> <td>1.6, 1.7 1.8</td> </tr> <tr> <td>C/V スプレイ④</td> <td>【伊心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書】 ・可搬式代替低圧注水ポンプを用いた代替格納容器スプレィの手順 【大規模損壊所達】 ・可搬式代替低圧注水ポンプによる格納容器スプレィ準備の手順</td> <td>1.4, 1.6 1.7, 1.8</td> </tr> </tbody> </table>	対応フロー中の手順	手順書名称(案)	技術的能力に係る審査基準の当該項目	【アクセスルート確保】			【1】「アクセスルート確保及び消火活動のための戦略」			大規模火①	【大規模損壊所達】 【初期消火に關する手順】	1.12	大規模火②	【大規模損壊所達】 ・放水前による放射性物質拡散抑制手順	1.12	構内道路補修・ガレキ除去	【大規模損壊所達】 ・非常災害時のアクセスルートの確保のための手順	-	【閉じ込める機能の確保】			【2】「放射性物質拡散抑制のための戦略」			【3】「格納容器破損防止（破損炉心冠水）のための戦略」			【4】「格納容器過圧破損防止のための戦略」			【9】「水素発生抑制のための戦略」			C/V スプレイ①	【伊心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書】 ・格設代替低圧注水ポンプを用いた代替格納容器スプレィの手順	1.4, 1.6 1.7, 1.8	C/V スプレイ②	【伊心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書】 ・消火ポンプを用いた代替格納容器スプレィの手順	1.4, 1.6 1.7, 1.8	C/V スプレイ③	【伊心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書】 ・A格納容器スプレィポンプ（自己冷却）を用いた代替格納容器スプレィの手順 【大規模損壊所達】 ・格納容器スプレィポンプ自己冷却配管接続の手順	1.6, 1.7 1.8	C/V スプレイ④	【伊心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書】 ・可搬式代替低圧注水ポンプを用いた代替格納容器スプレィの手順 【大規模損壊所達】 ・可搬式代替低圧注水ポンプによる格納容器スプレィ準備の手順	1.4, 1.6 1.7, 1.8	<p>第1表 個別戦略における対応手順書等及び設備一覧(2/8)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>設備</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>格納容器スプレィポンプ</td> <td>格納容器スプレィポンプ</td> <td>1.4, 1.6, 1.7, 1.8</td> </tr> <tr> <td>消火ポンプ</td> <td>消火ポンプ</td> <td>1.4, 1.6, 1.7, 1.8</td> </tr> <tr> <td>可搬式代替低圧注水ポンプ</td> <td>可搬式代替低圧注水ポンプ</td> <td>1.4, 1.6, 1.7, 1.8</td> </tr> <tr> <td>格納容器スプレィポンプ自己冷却配管</td> <td>格納容器スプレィポンプ自己冷却配管</td> <td>1.6, 1.7, 1.8</td> </tr> </tbody> </table>	項目	設備	備考	格納容器スプレィポンプ	格納容器スプレィポンプ	1.4, 1.6, 1.7, 1.8	消火ポンプ	消火ポンプ	1.4, 1.6, 1.7, 1.8	可搬式代替低圧注水ポンプ	可搬式代替低圧注水ポンプ	1.4, 1.6, 1.7, 1.8	格納容器スプレィポンプ自己冷却配管	格納容器スプレィポンプ自己冷却配管	1.6, 1.7, 1.8	<p>第1表 大規模損壊発生時に使用する対応手順書等及び設備一覧(2/8)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>設備</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>格納容器スプレィポンプ</td> <td>格納容器スプレィポンプ</td> <td>1.4, 1.6, 1.7, 1.8</td> </tr> <tr> <td>消火ポンプ</td> <td>消火ポンプ</td> <td>1.4, 1.6, 1.7, 1.8</td> </tr> <tr> <td>可搬式代替低圧注水ポンプ</td> <td>可搬式代替低圧注水ポンプ</td> <td>1.4, 1.6, 1.7, 1.8</td> </tr> <tr> <td>格納容器スプレィポンプ自己冷却配管</td> <td>格納容器スプレィポンプ自己冷却配管</td> <td>1.6, 1.7, 1.8</td> </tr> </tbody> </table>	項目	設備	備考	格納容器スプレィポンプ	格納容器スプレィポンプ	1.4, 1.6, 1.7, 1.8	消火ポンプ	消火ポンプ	1.4, 1.6, 1.7, 1.8	可搬式代替低圧注水ポンプ	可搬式代替低圧注水ポンプ	1.4, 1.6, 1.7, 1.8	格納容器スプレィポンプ自己冷却配管	格納容器スプレィポンプ自己冷却配管	1.6, 1.7, 1.8	<p>【大飯】【女川】記載表現の相違</p> <p>【大飯】記載内容の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は、女川と同様に、各対応手順書で使用する設備や所要時間、必要人数等についても合わせて記載している。 <p>【女川】個別の対応手順の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 炉型の相違等により整備する手順等は異なるが、表中の記載内容に相違はない。
対応フロー中の手順	手順書名称(案)	技術的能力に係る審査基準の当該項目																																																																												
【アクセスルート確保】																																																																														
【1】「アクセスルート確保及び消火活動のための戦略」																																																																														
大規模火①	【大規模損壊所達】 【初期消火に關する手順】	1.12																																																																												
大規模火②	【大規模損壊所達】 ・放水前による放射性物質拡散抑制手順	1.12																																																																												
構内道路補修・ガレキ除去	【大規模損壊所達】 ・非常災害時のアクセスルートの確保のための手順	-																																																																												
【閉じ込める機能の確保】																																																																														
【2】「放射性物質拡散抑制のための戦略」																																																																														
【3】「格納容器破損防止（破損炉心冠水）のための戦略」																																																																														
【4】「格納容器過圧破損防止のための戦略」																																																																														
【9】「水素発生抑制のための戦略」																																																																														
C/V スプレイ①	【伊心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書】 ・格設代替低圧注水ポンプを用いた代替格納容器スプレィの手順	1.4, 1.6 1.7, 1.8																																																																												
C/V スプレイ②	【伊心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書】 ・消火ポンプを用いた代替格納容器スプレィの手順	1.4, 1.6 1.7, 1.8																																																																												
C/V スプレイ③	【伊心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書】 ・A格納容器スプレィポンプ（自己冷却）を用いた代替格納容器スプレィの手順 【大規模損壊所達】 ・格納容器スプレィポンプ自己冷却配管接続の手順	1.6, 1.7 1.8																																																																												
C/V スプレイ④	【伊心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書】 ・可搬式代替低圧注水ポンプを用いた代替格納容器スプレィの手順 【大規模損壊所達】 ・可搬式代替低圧注水ポンプによる格納容器スプレィ準備の手順	1.4, 1.6 1.7, 1.8																																																																												
項目	設備	備考																																																																												
格納容器スプレィポンプ	格納容器スプレィポンプ	1.4, 1.6, 1.7, 1.8																																																																												
消火ポンプ	消火ポンプ	1.4, 1.6, 1.7, 1.8																																																																												
可搬式代替低圧注水ポンプ	可搬式代替低圧注水ポンプ	1.4, 1.6, 1.7, 1.8																																																																												
格納容器スプレィポンプ自己冷却配管	格納容器スプレィポンプ自己冷却配管	1.6, 1.7, 1.8																																																																												
項目	設備	備考																																																																												
格納容器スプレィポンプ	格納容器スプレィポンプ	1.4, 1.6, 1.7, 1.8																																																																												
消火ポンプ	消火ポンプ	1.4, 1.6, 1.7, 1.8																																																																												
可搬式代替低圧注水ポンプ	可搬式代替低圧注水ポンプ	1.4, 1.6, 1.7, 1.8																																																																												
格納容器スプレィポンプ自己冷却配管	格納容器スプレィポンプ自己冷却配管	1.6, 1.7, 1.8																																																																												

注) 本資料は、訓練等の実施により見直し可能性があり、使用設備、所要時間、必要人数等は最終的に各手順書に反映する。

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉			女川原子力発電所2号炉			泊発電所3号炉			相違理由
大規模損壊発生時の対応手順一覧			第1表 個別戦略における対応手順書等及び設備一覧(3/8)			第1表 大規模損壊発生時に使用する対応手順書等及び設備一覧(3/8)			【大飯】【女川】記載表現の相違
対応フロー图中的の 手順	手順書名称(案)	技術的能力に係る審査基準の当該項目							【大飯】記載内容の相違 ・泊は、女川と同様に、各対応手順書で使用する設備や所要時間、必要人数等についても合わせて記載している。
C/V スプレィ⑤	【大規模損壊所達】 ・化学消防自動車による格納容器スプレィのための手順	1.4、1.6 1.7、1.8 1.12							【女川】個別の対応手順の相違 ・炉型の相違等により整備する手順等は異なるが、表中の記載内容に相違はない。
C/V放水	【大規模損壊所達】 ・放水砲・シルトフェンスによる放射性物質拡散抑制手順	1.12							
C/V冷却	【伊心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書】 ・格納容器再循環ユニットを用いた格納容器内自然対流冷却の手順 【大規模損壊所達】 ・大容量ポンプによる原子炉補機冷却水系通水の手順	1.5、1.6 1.7							
水素爆発抑制・監視①	【伊心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書】 ・全交流動力電源が喪失した場合のアンユラス空気浄化設備起動のための手順 【伊心の著しい損傷が発生した場合に対する運転手順書】 ・水素濃度監視及び低減の手順 【大規模損壊所達】 ・大容量ポンプによる原子炉補機冷却水系通水の手順 ・アンユラス部水素濃度推定の手順	1.10							
水素爆発抑制・監視②	【伊心の著しい損傷が発生した場合に対する運転手順書】 ・水素濃度監視及び低減の手順 【大規模損壊所達】 ・大容量ポンプによる原子炉補機冷却水系通水の手順	1.9							
水素爆発抑制・監視③	【伊心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書】 ・全交流動力電源喪失時の原子炉格納容器水素燃焼装置起動手順 ・水素濃度監視及び低減の手順	1.9							
【使用済燃料冷却機能、閉じ込める機能の確保】 【8】「使用済燃料冷却のための戦略」									
SFP 注水	【故障及び設計基準事故に対処する運転手順書】 ・使用済燃料ピットの故障時の対応手順	1.11							

注) 本資料は、訓練等の実施により見直し可能性があり、使用設備、所要時間、必要人数等は最終的に各手順書に反映する。

灰色：泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉			女川原子力発電所2号炉			泊発電所3号炉			相違理由
大規模損壊発生時の対応手順一覧			第1表 個別戦略における対応手順書等及び設備一覧(4/8)			第1表 大規模損壊発生時に使用する対応手順書等及び設備一覧(4/8)			【大飯】【女川】記載表現の相違
対応フロー图中的の 手順	手順書名称(案)	技術的能力に係る 審査基準の当該項目	表名	表番号	表内容	表名	表番号	表内容	【大飯】記載内容の相違 ・泊は、女川と同様に、各対応手順書で使用する設備や所要時間、必要人数等についても合わせて記載している。
SFP スプレー①	【大規模損壊所達】 ・N0.2淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水（屋内消火栓） ・N0.2淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水（屋外消火栓） ・ポンプ車によるN0.3淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水手順 ・ポンプ車によるN0.2淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水手順 ・1次系統水タンクから使用済燃料ピットへの注水手順 ・海水から使用済燃料ピットへの注水手順	L.11, L.13	表1	表1-1	表1-1	表1	表1-1	表1-1	【女川】個別の対応手順の相違 ・炉型の相違等により整備する手順等は異なるが、表中の記載内容に相違はない。
SFP スプレー②	【大規模損壊所達】 ・送水車による使用済燃料ピットへのスプレイのための手順 ・原子炉周辺壁量への放水砲・シルトフェンスによる放射性物質拡散抑制手順	L.11, L.13	表1	表1-2	表1-2	表1	表1-2	表1-2	
SFP 監視	【大規模損壊所達】 ・使用済燃料ピット状況確認のための手順	L.11	表1	表1-3	表1-3	表1	表1-3	表1-3	
SFP 漏えい緩和	【大規模損壊所達】 ・使用済燃料ピット破損状況確認、漏えい抑制のための手順	L.11	表1	表1-4	表1-4	表1	表1-4	表1-4	
【原子炉停止機能の確保】			【原子炉停止機能の確保】			【原子炉停止機能の確保】			
原子炉停止操作	【事故時操作所開（第2章）】 ・ATWS緩和設備の作動と確認する手順 ・原子炉手動トリップにより原子炉を停止する手順 ・タービン手動トリップ及び補助給水確保の手順 ・緊急ほう酸注入の手順	(L.1)	表1	表1-5	表1-5	表1	表1-5	表1-5	
【冷却機能の確保】			【冷却機能の確保】			【冷却機能の確保】			
SG注水①	【炉心の著しい損傷及び特納容器破損を防止する運転手順書】 ・補助給水ポンプ機能回復の手順	L.2, L.3 L.4, L.5	表1	表1-6	表1-6	表1	表1-6	表1-6	
SG注水②	【炉心の著しい損傷及び特納容器破損を防止する運転手順書】	L.2, L.3 L.4, L.5	表1	表1-7	表1-7	表1	表1-7	表1-7	

注）本資料は、訓練等の実施により見直し可能性があり、使用設備、所要時間、必要人数等は最終的に各手順書に反映する。

灰色：泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																	
<p>【比較のため、前ページより再掲】 大規模損壊発生時の対応手順一覧</p>	<p>第1表 個別戦略における対応手順書等及び設備一覧(5/8)</p>	<p>第1表 大規模損壊発生時に使用する対応手順書等及び設備一覧(5/8)</p>	<p>【大飯】【女川】記載表現の相違</p>																																																																																																																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>対応フロー图中的の 手順</th> <th>手順書名称(案)</th> <th>技術的能力に係る 審査基準の当該項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>【大規模損壊所達】 ・N6.2淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水（屋外消火栓） ・N6.2淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水（屋外消火栓） ・ポンプ車によるN6.3淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水手順 ・ポンプ車によるN6.2淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水手順 ・1次系純水タンクから使用済燃料ピットへの注水手順 ・海水から使用済燃料ピットへの注水手順</td> <td></td> </tr> <tr> <td>SFP スプレィ①</td> <td>【大規模損壊所達】 ・送水車による使用済燃料ピットへのスプレィのための手順 ・原子炉周辺建屋への防水絶・シールドフェンスによる放射性物質拡散抑制手順</td> <td>1.11, 1.13</td> </tr> <tr> <td>SFP スプレィ②</td> <td>【大規模損壊所達】 ・化学消防自動車による使用済燃料ピットへのスプレィのための手順</td> <td>1.11, 1.13</td> </tr> <tr> <td>SFP 監視</td> <td>【大規模損壊所達】 ・使用済燃料ピット状況確認のための手順</td> <td>1.11</td> </tr> <tr> <td>SFP 漏えい緩和</td> <td>【大規模損壊所達】 ・使用済燃料ピット破損状況確認、漏えい抑制のための手順</td> <td>1.11</td> </tr> <tr> <td colspan="3">【原子炉停止機能の確保】</td> </tr> <tr> <td>原子炉停止操作</td> <td>【事故時操作所則（第2部）】 ・ATRS 緩和設備の作動を確認する手順 ・原子炉手動トリップにより原子炉を停止する手順 ・タービン手動トリップ及び補助給水確保の手順 ・緊急ほう酸注入の手順</td> <td>(1.1)</td> </tr> <tr> <td colspan="3">【冷却機能の確保】</td> </tr> <tr> <td colspan="3">【6】「炉心冷却のための戦略」</td> </tr> <tr> <td colspan="3">【7】「ISG による原子炉冷却のための戦略」</td> </tr> <tr> <td>SG 注水①</td> <td>【炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する 運転手順書】 ・補助給水ポンプ機能回復の手順</td> <td>1.2, 1.3 1.4, 1.5</td> </tr> <tr> <td>SG 注水②</td> <td>【炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する 運転手順書】</td> <td>1.2, 1.3 1.4, 1.5</td> </tr> </tbody> </table>	対応フロー图中的の 手順	手順書名称(案)	技術的能力に係る 審査基準の当該項目		【大規模損壊所達】 ・N6.2淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水（屋外消火栓） ・N6.2淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水（屋外消火栓） ・ポンプ車によるN6.3淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水手順 ・ポンプ車によるN6.2淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水手順 ・1次系純水タンクから使用済燃料ピットへの注水手順 ・海水から使用済燃料ピットへの注水手順		SFP スプレィ①	【大規模損壊所達】 ・送水車による使用済燃料ピットへのスプレィのための手順 ・原子炉周辺建屋への防水絶・シールドフェンスによる放射性物質拡散抑制手順	1.11, 1.13	SFP スプレィ②	【大規模損壊所達】 ・化学消防自動車による使用済燃料ピットへのスプレィのための手順	1.11, 1.13	SFP 監視	【大規模損壊所達】 ・使用済燃料ピット状況確認のための手順	1.11	SFP 漏えい緩和	【大規模損壊所達】 ・使用済燃料ピット破損状況確認、漏えい抑制のための手順	1.11	【原子炉停止機能の確保】			原子炉停止操作	【事故時操作所則（第2部）】 ・ATRS 緩和設備の作動を確認する手順 ・原子炉手動トリップにより原子炉を停止する手順 ・タービン手動トリップ及び補助給水確保の手順 ・緊急ほう酸注入の手順	(1.1)	【冷却機能の確保】			【6】「炉心冷却のための戦略」			【7】「ISG による原子炉冷却のための戦略」			SG 注水①	【炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する 運転手順書】 ・補助給水ポンプ機能回復の手順	1.2, 1.3 1.4, 1.5	SG 注水②	【炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する 運転手順書】	1.2, 1.3 1.4, 1.5	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>項目名</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">原子炉停止操作</td> <td>原子炉停止操作</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>タービン手動トリップ</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>緊急ほう酸注入</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">SG注水</td> <td>SG注水①</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>SG注水②</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>...</td> <td>...</td> </tr> </tbody> </table>	項目	項目名	備考	原子炉停止操作	原子炉停止操作	...	タービン手動トリップ	...	緊急ほう酸注入	SG注水	SG注水①	...	SG注水②	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>項目名</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">原子炉停止操作</td> <td>原子炉停止操作</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>タービン手動トリップ</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>緊急ほう酸注入</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">SG注水</td> <td>SG注水①</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>SG注水②</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>...</td> <td>...</td> </tr> </tbody> </table>	項目	項目名	備考	原子炉停止操作	原子炉停止操作	...	タービン手動トリップ	...	緊急ほう酸注入	SG注水	SG注水①	...	SG注水②	<p>【大飯】記載内容の相違 ・泊は、女川と同様に、各対応手順書で使用する設備や所要時間、必要人数等についても合わせて記載している。</p> <p>【女川】個別の対応手順の相違 ・炉型の相違等により整備する手順等は異なるが、表中の記載内容に相違はない。</p>
対応フロー图中的の 手順	手順書名称(案)	技術的能力に係る 審査基準の当該項目																																																																																																																																		
	【大規模損壊所達】 ・N6.2淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水（屋外消火栓） ・N6.2淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水（屋外消火栓） ・ポンプ車によるN6.3淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水手順 ・ポンプ車によるN6.2淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水手順 ・1次系純水タンクから使用済燃料ピットへの注水手順 ・海水から使用済燃料ピットへの注水手順																																																																																																																																			
SFP スプレィ①	【大規模損壊所達】 ・送水車による使用済燃料ピットへのスプレィのための手順 ・原子炉周辺建屋への防水絶・シールドフェンスによる放射性物質拡散抑制手順	1.11, 1.13																																																																																																																																		
SFP スプレィ②	【大規模損壊所達】 ・化学消防自動車による使用済燃料ピットへのスプレィのための手順	1.11, 1.13																																																																																																																																		
SFP 監視	【大規模損壊所達】 ・使用済燃料ピット状況確認のための手順	1.11																																																																																																																																		
SFP 漏えい緩和	【大規模損壊所達】 ・使用済燃料ピット破損状況確認、漏えい抑制のための手順	1.11																																																																																																																																		
【原子炉停止機能の確保】																																																																																																																																				
原子炉停止操作	【事故時操作所則（第2部）】 ・ATRS 緩和設備の作動を確認する手順 ・原子炉手動トリップにより原子炉を停止する手順 ・タービン手動トリップ及び補助給水確保の手順 ・緊急ほう酸注入の手順	(1.1)																																																																																																																																		
【冷却機能の確保】																																																																																																																																				
【6】「炉心冷却のための戦略」																																																																																																																																				
【7】「ISG による原子炉冷却のための戦略」																																																																																																																																				
SG 注水①	【炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する 運転手順書】 ・補助給水ポンプ機能回復の手順	1.2, 1.3 1.4, 1.5																																																																																																																																		
SG 注水②	【炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する 運転手順書】	1.2, 1.3 1.4, 1.5																																																																																																																																		
項目	項目名	備考																																																																																																																																		
原子炉停止操作	原子炉停止操作	...																																																																																																																																		
	タービン手動トリップ	...																																																																																																																																		
	緊急ほう酸注入	...																																																																																																																																		
																																																																																																																																		
																																																																																																																																		
																																																																																																																																		
																																																																																																																																		
																																																																																																																																		
																																																																																																																																		
																																																																																																																																		
SG注水	SG注水①	...																																																																																																																																		
	SG注水②	...																																																																																																																																		
																																																																																																																																		
																																																																																																																																		
																																																																																																																																		
																																																																																																																																		
																																																																																																																																		
																																																																																																																																		
																																																																																																																																		
																																																																																																																																		
項目	項目名	備考																																																																																																																																		
原子炉停止操作	原子炉停止操作	...																																																																																																																																		
	タービン手動トリップ	...																																																																																																																																		
	緊急ほう酸注入	...																																																																																																																																		
																																																																																																																																		
																																																																																																																																		
																																																																																																																																		
																																																																																																																																		
																																																																																																																																		
																																																																																																																																		
																																																																																																																																		
SG注水	SG注水①	...																																																																																																																																		
	SG注水②	...																																																																																																																																		
																																																																																																																																		
																																																																																																																																		
																																																																																																																																		
																																																																																																																																		
																																																																																																																																		
																																																																																																																																		
																																																																																																																																		
																																																																																																																																		
<p>【注】本資料は、訓練等の実施により見直し可能性があり、使用設備、所要時間、必要人数等は最終的に各手順書に反映する。</p>																																																																																																																																				

灰色：泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉			女川原子力発電所2号炉			泊発電所3号炉			相違理由
大規模損壊発生時の対応手順一覧			第1表 個別戦略における対応手順書等及び設備一覧(6/8)			第1表 大規模損壊発生時に使用する対応手順書等及び設備一覧(6/8)			<p>【大飯】【女川】記載表現の相違</p> <p>【大飯】記載内容の相違</p> <p>・泊は、女川と同様に、各対応手順書で使用する設備や所要時間、必要人数等についても合わせて記載している。</p> <p>【女川】個別の対応手順の相違</p> <p>・炉型の相違等により整備する手順等は異なるが、表中の記載内容に相違はない。</p>
対応フロー図中の手順	手順書名称(案)	技術的能力に係る審査基準の当該項目	項目名	項目番号	備考	項目名	項目番号	備考	
SG注水①	・全交流電源喪失時の対応手順 【伊心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書】 ・蒸気発生器の除熱機能を維持又は代替する手順 【大規模損壊所達】 ・蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプによる蒸気発生器への注水のための手順	1.2, 1.3 1.4, 1.5	注水ポンプの稼働	1.1.1		注水ポンプの稼働	1.1.1		
SG手動減圧	【伊心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書】 ・主蒸気逃がし弁機能回復の手順	1.2, 1.3 1.4, 1.5	減圧弁の稼働	1.1.2		減圧弁の稼働	1.1.2		
RCS減圧	【伊心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書】 ・加圧器逃がし弁機能回復の手順 【大規模損壊所達】 ・加圧器逃がし弁に電源を供給する手順	1.2, 1.3	加圧器の稼働	1.1.3		加圧器の稼働	1.1.3		
伊心注水①	【伊心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書】 ・恒設代替低圧注水ポンプを用いた代替伊心注水により原子炉を冷却する手順	1.4, 1.8	伊心注水ポンプの稼働	1.1.4		伊心注水ポンプの稼働	1.1.4		
伊心注水②	【伊心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書】 ・B充てんポンプ(自己冷却)を用いた代替伊心注水により原子炉を冷却する手順 【大規模損壊所達】 ・充てんポンプ/自己冷却配管接続の手順	1.4, 1.8	伊心注水ポンプの稼働	1.1.5		伊心注水ポンプの稼働	1.1.5		
炉心注水③	【伊心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書】 ・A格納容器スプレイポンプ(自己冷却)を用いた代替炉心注水により原子炉を冷却する手順 【大規模損壊所達】 ・格納容器スプレイポンプ自己冷却配管接続の手順	1.4, 1.8	炉心注水ポンプの稼働	1.1.6		炉心注水ポンプの稼働	1.1.6		
伊心注水④	【伊心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書】 ・消火ポンプを用いた代替伊心注水により原子炉を冷却する手順	1.4, 1.8	伊心注水ポンプの稼働	1.1.7		伊心注水ポンプの稼働	1.1.7		
伊心注水⑤	【伊心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する	1.4, 1.8	伊心注水ポンプの稼働	1.1.8		伊心注水ポンプの稼働	1.1.8		

灰色：泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																														
<p>大規模損壊発生時の対応手順一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応フロー图中的の 手順</th> <th>手順書名称(案)</th> <th>技術的能力に係る 審査基準の当該項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td> 運転手順書 ・可搬式代替低圧注水ポンプを用いた代替炉心注水により炉心を冷却する手順 【大規模損壊所達】 ・可搬式代替低圧注水ポンプによる炉心注水の手順 【大規模損壊所達】 ・化学消防自動車による原子炉容器への注水のための手順 </td> <td>1.4, 1.8</td> </tr> <tr> <td colspan="3"> 【電源の確保】 【5】「電源確保のための戦略」 </td> </tr> <tr> <td>電源復旧①</td> <td> 【炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書】 ・空冷式非常用発電装置による電源の復旧手順 </td> <td>1.14</td> </tr> <tr> <td>電源復旧②</td> <td> 【炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書】 ・No. 1予備変圧器2次側仮設ケーブルを用いた号機間融通による電源の復旧手順（3号～4号） ・No. 2予備変圧器2次側仮設ケーブルを用いた号機間融通による電源の復旧手順（3号～4号） </td> <td>1.14</td> </tr> <tr> <td>電源復旧③</td> <td> 【大規模損壊所達】 ・仮設ケーブルを用いた号機間融通による電源の復旧手順（1, 2号～3, 4号） ・仮設ケーブルを用いた号機間融通による電源の復旧手順（3号～4号） ・予備ケーブルを用いた号機間融通による電源の復旧手順 </td> <td>1.14</td> </tr> <tr> <td>電源復旧④</td> <td> 【大規模損壊所達】 ・電源車による電源復旧手順 </td> <td>1.14</td> </tr> <tr> <td>電源復旧⑤</td> <td> 【大規模損壊所達】 ・代替所内電気設備による電源供給手順 </td> <td>1.14</td> </tr> <tr> <td>電源復旧⑥</td> <td> 【大規模損壊所達】 ・可搬式整流器を用いた直流電源復旧の手順 </td> <td>1.14</td> </tr> <tr> <td colspan="3"> 【給水源の確保】 【2】「放射性物質拡散抑制のための戦略」 【3】「格納容器破損防止（破損知心冠水）のための戦略」 【4】「格納容器過圧破損防止のための戦略」 【6】「炉心冷却のための戦略」 </td> </tr> </tbody> </table>	対応フロー图中的の 手順	手順書名称(案)	技術的能力に係る 審査基準の当該項目		運転手順書 ・可搬式代替低圧注水ポンプを用いた代替炉心注水により炉心を冷却する手順 【大規模損壊所達】 ・可搬式代替低圧注水ポンプによる炉心注水の手順 【大規模損壊所達】 ・化学消防自動車による原子炉容器への注水のための手順	1.4, 1.8	【電源の確保】 【5】「電源確保のための戦略」			電源復旧①	【炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書】 ・空冷式非常用発電装置による電源の復旧手順	1.14	電源復旧②	【炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書】 ・No. 1予備変圧器2次側仮設ケーブルを用いた号機間融通による電源の復旧手順（3号～4号） ・No. 2予備変圧器2次側仮設ケーブルを用いた号機間融通による電源の復旧手順（3号～4号）	1.14	電源復旧③	【大規模損壊所達】 ・仮設ケーブルを用いた号機間融通による電源の復旧手順（1, 2号～3, 4号） ・仮設ケーブルを用いた号機間融通による電源の復旧手順（3号～4号） ・予備ケーブルを用いた号機間融通による電源の復旧手順	1.14	電源復旧④	【大規模損壊所達】 ・電源車による電源復旧手順	1.14	電源復旧⑤	【大規模損壊所達】 ・代替所内電気設備による電源供給手順	1.14	電源復旧⑥	【大規模損壊所達】 ・可搬式整流器を用いた直流電源復旧の手順	1.14	【給水源の確保】 【2】「放射性物質拡散抑制のための戦略」 【3】「格納容器破損防止（破損知心冠水）のための戦略」 【4】「格納容器過圧破損防止のための戦略」 【6】「炉心冷却のための戦略」			<p>第1表 個別戦略における対応手順書等及び設備一覧(7/8)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>設備名</th> <th>仕様</th> <th>数量</th> <th>備注</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="14">電源復旧</td> <td>可搬式代替低圧注水ポンプ</td> <td>ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V</td> <td>1台</td> <td></td> </tr> <tr> <td>可搬式代替低圧注水ポンプ</td> <td>ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V</td> <td>1台</td> <td></td> </tr> <tr> <td>可搬式代替低圧注水ポンプ</td> <td>ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V</td> <td>1台</td> <td></td> </tr> <tr> <td>可搬式代替低圧注水ポンプ</td> <td>ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V</td> <td>1台</td> <td></td> </tr> <tr> <td>可搬式代替低圧注水ポンプ</td> <td>ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V</td> <td>1台</td> <td></td> </tr> <tr> <td>可搬式代替低圧注水ポンプ</td> <td>ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V</td> <td>1台</td> <td></td> </tr> <tr> <td>可搬式代替低圧注水ポンプ</td> <td>ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V</td> <td>1台</td> <td></td> </tr> <tr> <td>可搬式代替低圧注水ポンプ</td> <td>ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V</td> <td>1台</td> <td></td> </tr> <tr> <td>可搬式代替低圧注水ポンプ</td> <td>ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V</td> <td>1台</td> <td></td> </tr> <tr> <td>可搬式代替低圧注水ポンプ</td> <td>ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V</td> <td>1台</td> <td></td> </tr> <tr> <td>可搬式代替低圧注水ポンプ</td> <td>ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V</td> <td>1台</td> <td></td> </tr> <tr> <td>可搬式代替低圧注水ポンプ</td> <td>ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V</td> <td>1台</td> <td></td> </tr> <tr> <td>可搬式代替低圧注水ポンプ</td> <td>ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V</td> <td>1台</td> <td></td> </tr> <tr> <td>可搬式代替低圧注水ポンプ</td> <td>ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V</td> <td>1台</td> <td></td> </tr> <tr> <td>可搬式代替低圧注水ポンプ</td> <td>ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V</td> <td>1台</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注）本資料は、訓練等の実施により見直し可能な内容であり、運用設備、所要時間、必要人員等は最終的に各手順書に反映する。</p>	項目	設備名	仕様	数量	備注	電源復旧	可搬式代替低圧注水ポンプ	ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V	1台		可搬式代替低圧注水ポンプ	ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V	1台		可搬式代替低圧注水ポンプ	ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V	1台		可搬式代替低圧注水ポンプ	ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V	1台		可搬式代替低圧注水ポンプ	ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V	1台		可搬式代替低圧注水ポンプ	ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V	1台		可搬式代替低圧注水ポンプ	ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V	1台		可搬式代替低圧注水ポンプ	ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V	1台		可搬式代替低圧注水ポンプ	ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V	1台		可搬式代替低圧注水ポンプ	ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V	1台		可搬式代替低圧注水ポンプ	ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V	1台		可搬式代替低圧注水ポンプ	ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V	1台		可搬式代替低圧注水ポンプ	ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V	1台		可搬式代替低圧注水ポンプ	ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V	1台		可搬式代替低圧注水ポンプ	ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V	1台		<p>第1表 大規模損壊発生時に使用する対応手順書等及び設備一覧(7/8)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>設備名</th> <th>仕様</th> <th>数量</th> <th>備注</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="14">電源復旧</td> <td>可搬式代替低圧注水ポンプ</td> <td>ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V</td> <td>1台</td> <td></td> </tr> <tr> <td>可搬式代替低圧注水ポンプ</td> <td>ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V</td> <td>1台</td> <td></td> </tr> <tr> <td>可搬式代替低圧注水ポンプ</td> <td>ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V</td> <td>1台</td> <td></td> </tr> <tr> <td>可搬式代替低圧注水ポンプ</td> <td>ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V</td> <td>1台</td> <td></td> </tr> <tr> <td>可搬式代替低圧注水ポンプ</td> <td>ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V</td> <td>1台</td> <td></td> </tr> <tr> <td>可搬式代替低圧注水ポンプ</td> <td>ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V</td> <td>1台</td> <td></td> </tr> <tr> <td>可搬式代替低圧注水ポンプ</td> <td>ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V</td> <td>1台</td> <td></td> </tr> <tr> <td>可搬式代替低圧注水ポンプ</td> <td>ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V</td> <td>1台</td> <td></td> </tr> <tr> <td>可搬式代替低圧注水ポンプ</td> <td>ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V</td> <td>1台</td> <td></td> </tr> <tr> <td>可搬式代替低圧注水ポンプ</td> <td>ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V</td> <td>1台</td> <td></td> </tr> <tr> <td>可搬式代替低圧注水ポンプ</td> <td>ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V</td> <td>1台</td> <td></td> </tr> <tr> <td>可搬式代替低圧注水ポンプ</td> <td>ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V</td> <td>1台</td> <td></td> </tr> <tr> <td>可搬式代替低圧注水ポンプ</td> <td>ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V</td> <td>1台</td> <td></td> </tr> <tr> <td>可搬式代替低圧注水ポンプ</td> <td>ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V</td> <td>1台</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	設備名	仕様	数量	備注	電源復旧	可搬式代替低圧注水ポンプ	ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V	1台		可搬式代替低圧注水ポンプ	ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V	1台		可搬式代替低圧注水ポンプ	ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V	1台		可搬式代替低圧注水ポンプ	ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V	1台		可搬式代替低圧注水ポンプ	ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V	1台		可搬式代替低圧注水ポンプ	ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V	1台		可搬式代替低圧注水ポンプ	ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V	1台		可搬式代替低圧注水ポンプ	ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V	1台		可搬式代替低圧注水ポンプ	ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V	1台		可搬式代替低圧注水ポンプ	ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V	1台		可搬式代替低圧注水ポンプ	ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V	1台		可搬式代替低圧注水ポンプ	ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V	1台		可搬式代替低圧注水ポンプ	ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V	1台		可搬式代替低圧注水ポンプ	ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V	1台		<p>相違理由</p> <p>【大飯】【女川】記載表現の相違</p> <p>【大飯】記載内容の相違 ・泊は、女川と同様に、各対応手順書で使用する設備や所要時間、必要人数等についても合わせて記載している。</p> <p>【女川】個別の対応手順の相違 ・炉型の相違等により整備する手順等は異なるが、表中の記載内容に相違はない。</p>
対応フロー图中的の 手順	手順書名称(案)	技術的能力に係る 審査基準の当該項目																																																																																																																																																															
	運転手順書 ・可搬式代替低圧注水ポンプを用いた代替炉心注水により炉心を冷却する手順 【大規模損壊所達】 ・可搬式代替低圧注水ポンプによる炉心注水の手順 【大規模損壊所達】 ・化学消防自動車による原子炉容器への注水のための手順	1.4, 1.8																																																																																																																																																															
【電源の確保】 【5】「電源確保のための戦略」																																																																																																																																																																	
電源復旧①	【炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書】 ・空冷式非常用発電装置による電源の復旧手順	1.14																																																																																																																																																															
電源復旧②	【炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書】 ・No. 1予備変圧器2次側仮設ケーブルを用いた号機間融通による電源の復旧手順（3号～4号） ・No. 2予備変圧器2次側仮設ケーブルを用いた号機間融通による電源の復旧手順（3号～4号）	1.14																																																																																																																																																															
電源復旧③	【大規模損壊所達】 ・仮設ケーブルを用いた号機間融通による電源の復旧手順（1, 2号～3, 4号） ・仮設ケーブルを用いた号機間融通による電源の復旧手順（3号～4号） ・予備ケーブルを用いた号機間融通による電源の復旧手順	1.14																																																																																																																																																															
電源復旧④	【大規模損壊所達】 ・電源車による電源復旧手順	1.14																																																																																																																																																															
電源復旧⑤	【大規模損壊所達】 ・代替所内電気設備による電源供給手順	1.14																																																																																																																																																															
電源復旧⑥	【大規模損壊所達】 ・可搬式整流器を用いた直流電源復旧の手順	1.14																																																																																																																																																															
【給水源の確保】 【2】「放射性物質拡散抑制のための戦略」 【3】「格納容器破損防止（破損知心冠水）のための戦略」 【4】「格納容器過圧破損防止のための戦略」 【6】「炉心冷却のための戦略」																																																																																																																																																																	
項目	設備名	仕様	数量	備注																																																																																																																																																													
電源復旧	可搬式代替低圧注水ポンプ	ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V	1台																																																																																																																																																														
	可搬式代替低圧注水ポンプ	ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V	1台																																																																																																																																																														
	可搬式代替低圧注水ポンプ	ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V	1台																																																																																																																																																														
	可搬式代替低圧注水ポンプ	ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V	1台																																																																																																																																																														
	可搬式代替低圧注水ポンプ	ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V	1台																																																																																																																																																														
	可搬式代替低圧注水ポンプ	ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V	1台																																																																																																																																																														
	可搬式代替低圧注水ポンプ	ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V	1台																																																																																																																																																														
	可搬式代替低圧注水ポンプ	ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V	1台																																																																																																																																																														
	可搬式代替低圧注水ポンプ	ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V	1台																																																																																																																																																														
	可搬式代替低圧注水ポンプ	ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V	1台																																																																																																																																																														
	可搬式代替低圧注水ポンプ	ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V	1台																																																																																																																																																														
	可搬式代替低圧注水ポンプ	ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V	1台																																																																																																																																																														
	可搬式代替低圧注水ポンプ	ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V	1台																																																																																																																																																														
	可搬式代替低圧注水ポンプ	ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V	1台																																																																																																																																																														
可搬式代替低圧注水ポンプ	ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V	1台																																																																																																																																																															
項目	設備名	仕様	数量	備注																																																																																																																																																													
電源復旧	可搬式代替低圧注水ポンプ	ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V	1台																																																																																																																																																														
	可搬式代替低圧注水ポンプ	ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V	1台																																																																																																																																																														
	可搬式代替低圧注水ポンプ	ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V	1台																																																																																																																																																														
	可搬式代替低圧注水ポンプ	ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V	1台																																																																																																																																																														
	可搬式代替低圧注水ポンプ	ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V	1台																																																																																																																																																														
	可搬式代替低圧注水ポンプ	ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V	1台																																																																																																																																																														
	可搬式代替低圧注水ポンプ	ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V	1台																																																																																																																																																														
	可搬式代替低圧注水ポンプ	ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V	1台																																																																																																																																																														
	可搬式代替低圧注水ポンプ	ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V	1台																																																																																																																																																														
	可搬式代替低圧注水ポンプ	ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V	1台																																																																																																																																																														
	可搬式代替低圧注水ポンプ	ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V	1台																																																																																																																																																														
	可搬式代替低圧注水ポンプ	ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V	1台																																																																																																																																																														
	可搬式代替低圧注水ポンプ	ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V	1台																																																																																																																																																														
	可搬式代替低圧注水ポンプ	ポンプ容量: 100L/min, 電圧: 400V	1台																																																																																																																																																														

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																														
<p>大規模損壊発生時の対応手順一覧</p> <table border="1"> <tr> <th>対応フロー図中の手順</th> <th>手順書名称(案)</th> <th>技術的能力に係る審査基準の当該項目</th> </tr> <tr> <td colspan="3">【7】(SGによる原子炉冷却のための戦略)</td> </tr> <tr> <td>水源確保①</td> <td> 【大規模損壊所達】 【炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書】 ・原子炉圧力容器への注水のための水源を確保するための手順 ・格納容器注水のための水源を確保するための手順 【大規模損壊所達】 ・復水ビット出口配管接続の手順 </td> <td>1.13</td> </tr> <tr> <td>水源確保②</td> <td> 【炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書】 ・蒸気発生器2次側による炉心冷却のための水源を確保する手順 【大規模損壊所達】 ・海水を用いた復水ビットへの補給のための手順 </td> <td>1.13</td> </tr> <tr> <td colspan="3">【その他】</td> </tr> <tr> <td>代替監視計器による監視</td> <td> 【大規模損壊所達】 ・可搬型計測器による計測のための手順 </td> <td>1.2</td> </tr> </table>	対応フロー図中の手順	手順書名称(案)	技術的能力に係る審査基準の当該項目	【7】(SGによる原子炉冷却のための戦略)			水源確保①	【大規模損壊所達】 【炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書】 ・原子炉圧力容器への注水のための水源を確保するための手順 ・格納容器注水のための水源を確保するための手順 【大規模損壊所達】 ・復水ビット出口配管接続の手順	1.13	水源確保②	【炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書】 ・蒸気発生器2次側による炉心冷却のための水源を確保する手順 【大規模損壊所達】 ・海水を用いた復水ビットへの補給のための手順	1.13	【その他】			代替監視計器による監視	【大規模損壊所達】 ・可搬型計測器による計測のための手順	1.2	<p>第1表 個別戦略における対応手順書等及び設備一覧(8/8)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>設備名称</th> <th>仕様</th> <th>数量</th> <th>備注</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="8">大規模損壊発生時の対応</td> <td>原子炉圧力容器注水のための水源確保設備</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>格納容器注水のための水源確保設備</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>復水ビット出口配管接続設備</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器2次側による炉心冷却のための水源確保設備</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>海水を用いた復水ビットへの補給設備</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>可搬型計測器</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注)本資料は、訓練等の範囲により見直し可能性があり、使用設備、所要時間、必要人員等は最終的に各手順書に反映する。</p>	項目	設備名称	仕様	数量	備注	大規模損壊発生時の対応	原子炉圧力容器注水のための水源確保設備	格納容器注水のための水源確保設備	復水ビット出口配管接続設備	蒸気発生器2次側による炉心冷却のための水源確保設備	海水を用いた復水ビットへの補給設備	可搬型計測器	<p>第1表 大規模損壊発生時に使用する対応手順書等及び設備一覧(8/8)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>設備名称</th> <th>仕様</th> <th>数量</th> <th>備注</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="8">大規模損壊発生時の対応</td> <td>原子炉圧力容器注水のための水源確保設備</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>格納容器注水のための水源確保設備</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>復水ビット出口配管接続設備</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器2次側による炉心冷却のための水源確保設備</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>海水を用いた復水ビットへの補給設備</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>可搬型計測器</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> </tbody> </table>	項目	設備名称	仕様	数量	備注	大規模損壊発生時の対応	原子炉圧力容器注水のための水源確保設備	格納容器注水のための水源確保設備	復水ビット出口配管接続設備	蒸気発生器2次側による炉心冷却のための水源確保設備	海水を用いた復水ビットへの補給設備	可搬型計測器	<p>相違理由</p> <p>【大飯】【女川】記載表現の相違</p> <p>【大飯】記載内容の相違 ・泊は、女川と同様に、各対応手順書で使用する設備や所要時間、必要人数等についても合わせて記載している。</p> <p>【女川】個別の対応手順の相違 ・炉型の相違等により整備する手順等は異なるが、表中の記載内容に相違はない。</p>
対応フロー図中の手順	手順書名称(案)	技術的能力に係る審査基準の当該項目																																																																																															
【7】(SGによる原子炉冷却のための戦略)																																																																																																	
水源確保①	【大規模損壊所達】 【炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書】 ・原子炉圧力容器への注水のための水源を確保するための手順 ・格納容器注水のための水源を確保するための手順 【大規模損壊所達】 ・復水ビット出口配管接続の手順	1.13																																																																																															
水源確保②	【炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書】 ・蒸気発生器2次側による炉心冷却のための水源を確保する手順 【大規模損壊所達】 ・海水を用いた復水ビットへの補給のための手順	1.13																																																																																															
【その他】																																																																																																	
代替監視計器による監視	【大規模損壊所達】 ・可搬型計測器による計測のための手順	1.2																																																																																															
項目	設備名称	仕様	数量	備注																																																																																													
大規模損壊発生時の対応	原子炉圧力容器注水のための水源確保設備																																																																																													
	格納容器注水のための水源確保設備																																																																																													
	復水ビット出口配管接続設備																																																																																													
	蒸気発生器2次側による炉心冷却のための水源確保設備																																																																																													
	海水を用いた復水ビットへの補給設備																																																																																													
	可搬型計測器																																																																																													
																																																																																													
																																																																																													
項目	設備名称	仕様	数量	備注																																																																																													
大規模損壊発生時の対応	原子炉圧力容器注水のための水源確保設備																																																																																													
	格納容器注水のための水源確保設備																																																																																													
	復水ビット出口配管接続設備																																																																																													
	蒸気発生器2次側による炉心冷却のための水源確保設備																																																																																													
	海水を用いた復水ビットへの補給設備																																																																																													
	可搬型計測器																																																																																													
																																																																																													
																																																																																													

灰色：泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

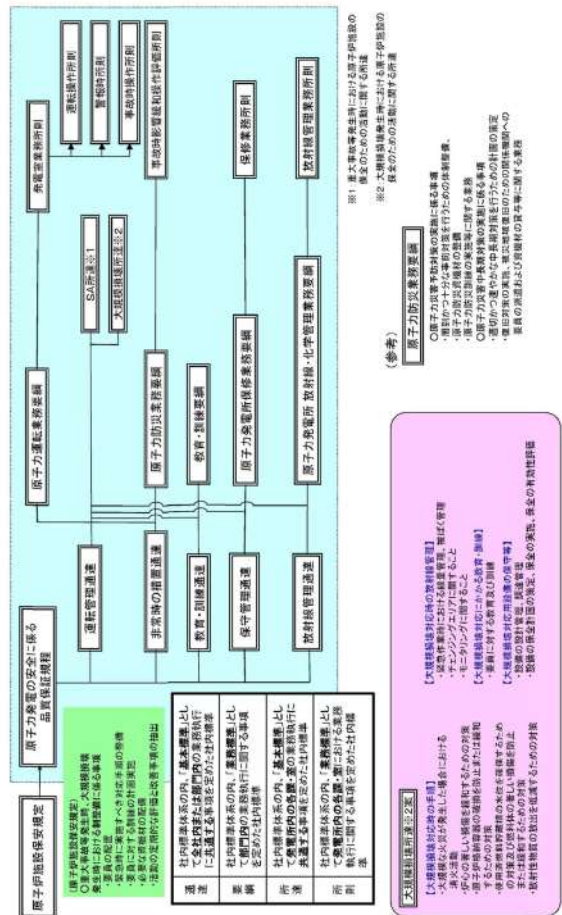
2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉

大規模損壊発生時の対応手順書体系

a. 大飯発電所 規定文書大規模損壊関連体系図

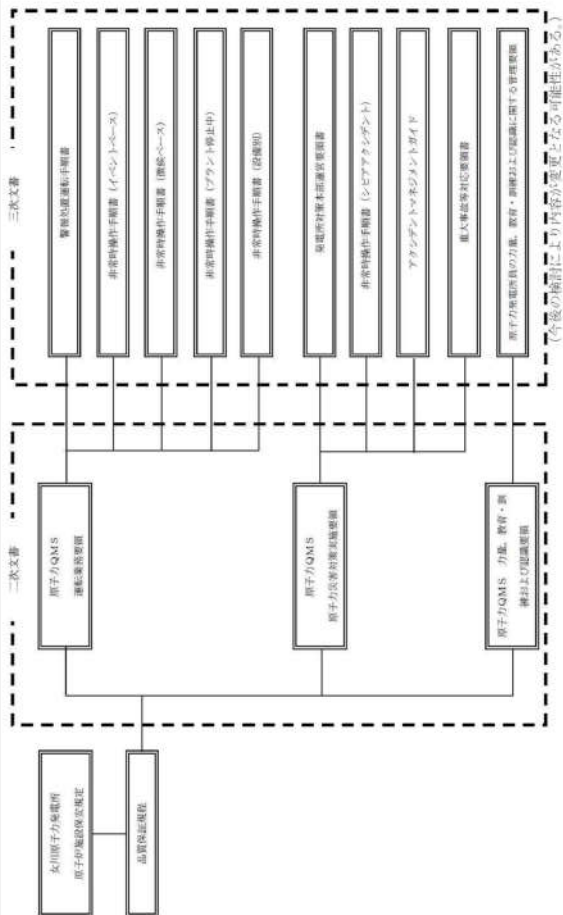
大規模損壊発生時において原子力防災組織、重大事故等対策要員が使用する文書体系については以下のとおり。



女川原子力発電所2号炉

1. 女川原子力発電所 手順書体系大規模損壊関連体系図

大規模損壊発生時に必要となる手順書類について、発電所のQMS文書体系上の位置づけを第1図に示す。



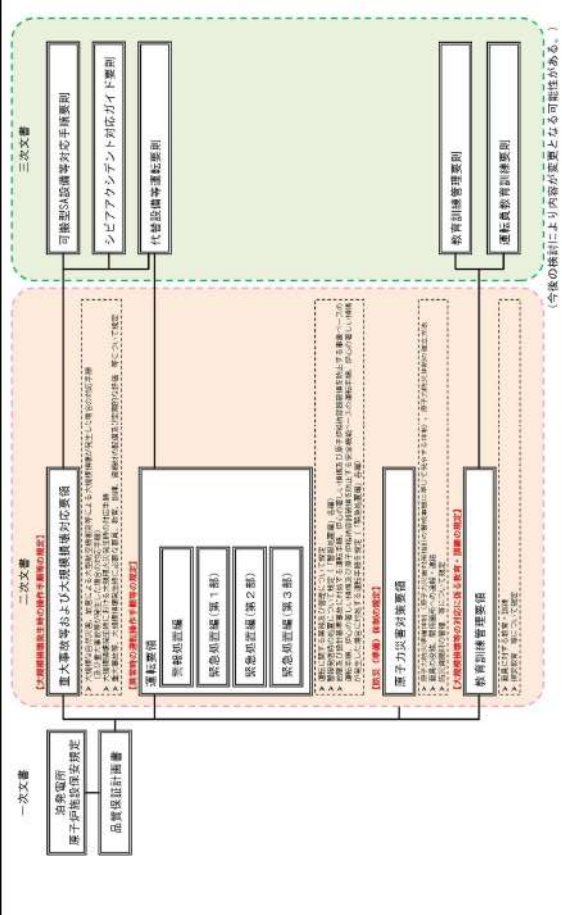
第1図 QMS文書体系上の手順書の位置づけ

泊発電所3号炉

大規模損壊発生時の対応手順書体系

1. 泊発電所 品質マネジメントシステム文書体系図（大規模損壊関連体系図）

大規模損壊発生時において、原子力防災組織、運転員、災害対策要員等が使用する文書体系について第1図に示す。



第1図 品質マネジメントシステム文書体系図（大規模損壊発生時に係る文書）

相違理由

【大飯】【女川】記載表現の相違
 ・泊は、技術的能力1.0の添付資料1.0.5及び添付資料1.0.6の記載内容を踏まえた記載表現としている。
 【大飯】要員名称の相違

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>b. 大規模損壊時の対応手順書体系図</p> <p>大規模損壊発生時、「大規模損壊発生時における原子炉施設の保全のための活動に関する所達」の適用条件に該当すると原子力防災管理者または当直課長が判断した場合、各個別戦略を講じるため以下の手順書を用いて対応を行う。必要な対応操作については、「大規模損壊発生時における原子炉施設の保全のための活動に関する所達」により選定され、各基準に定められた手順により対応を行う。</p>	<p>2. 大規模損壊発生時の対応手順書体系図</p> <p>発電所対策本部で使用する対応フローに従った措置を講じるため、以下の手順書を用いて対応を行う。</p> <p>また、対応手順書の機能体系を第2図に、手順書のリストを第2表に示す。</p> <p>(1) 発電所対策本部用手順書</p> <p>① 発電所対策本部運営要領書</p> <p>重大事故、大規模損壊等が発生した場合又はそのおそれがある場合に、緊急事態に関する発電所対策本部の責任と権限及び実施事項を定めた要領で発電所対策本部が使用する。</p> <p>また、発電所対策本部の運営及び、各機能班が実施する事項については、本要領書に定める。</p> <p>② アクシデントマネジメントガイド (AMG)</p> <p>炉心損傷後に想定されるプラント状態の判断や事故の進展防止及び影響緩和のために実施すべき操作の技術的根拠となる情報を定めたガイドで、運転員に対する支援活動の参考として、技術支援組織が使用する。</p> <p>③ 重大事故等対応要領書 (EHG)</p> <p>自然現象や大規模損壊等により、多数の恒設の電源設備・注水設備等が使用できない場合に、運転員の事故対応に必要な支援を行うための可搬型設備等による事故対応操作内容を定めた要領書で、重大事故等対策要員及び初期消火要員（消防車隊）が使用する。</p> <p>(2) 運転操作手順書</p> <p>① 警報処置運転手順書</p> <p>中央制御室及び現場制御盤に警報が発生した際に、警報発生原因の除去あるいはプラントを安全な状態に維持するために必要な対応操作を定めた手順書。</p> <p>② 非常時操作手順書（イベントベース）(AOP)</p> <p>単一の故障等で発生する可能性のあるあらかじめ想定された異常事象又は事故が発生した際に、事故の進展を防止するために必要な対応操作を定めた手順書。</p> <p>③ 非常時操作手順書（徴候ベース）(EOP)</p> <p>事故の起回事象を問わず、AOPでは対処できない複数の設備の故障等による異常又は事故が発生した際に、重大事故への進展を防止するために必要な対応操作を定めた手順書。</p>	<p>2. 大規模損壊発生時の対応手順書体系図</p> <p>大規模損壊発生時、「重大事故等および大規模損壊対応要領」（第3章）の適用条件に該当すると原子力防災管理者が判断した場合、各個別戦略を講じるため、以下の手順書を用いて対応を行う。必要な対応操作については、「重大事故等および大規模損壊対応要領」により選定され、当該要領の下部規程（三次文書）に定める手順により対応を行う。</p> <p>「重大事故等および大規模損壊要領」の構成を第2図に示す。</p>	<p>【大阪】【女川】記載表現、名称の相違</p> <p>【大阪】運用の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は、大規模損壊発生やそれに対する活動開始の判断は、発電用原子炉施設の状況や発電課長（当直）からの報告を踏まえて、原子力防災管理者が行う。（判断者に当直の責任者を含めていないのは、伊方3号も同様。） <p>【大阪】【女川】記載表現の相違</p> <p>【女川】記載内容の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は、大阪や東海第二及び島根2号と同様に、個別の手順書については技術的能力1.0で説明しているため、ここでは記載しない。

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p style="text-align: center;">第2表 大規模損壊時の対応手順書リスト</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p style="text-align: center;">発電所対策本部運営要領</p> <p>情報班実施事項 総務班実施事項 広報班実施事項 技術班実施事項 放射線管理班実施事項 保修班実施事項 発電管理班実施事項</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p style="text-align: center;">アテンデントマネジメントガイド（AMG）</p> <p>(a) 確認ガイド [確認ガイド-1]：炉心損傷確認ガイド [確認ガイド-2]：損傷炉心の冷却性確認ガイド [確認ガイド-3]：原子炉圧力容器破損の確認ガイド [確認ガイド-4]：格納容器モニタ (格納容器内パラメータの監視、格納容器健全性確認ガイド)</p> <p>(b) 操作ガイド [操作ガイド-1]：損傷炉心への注水操作ガイド [操作ガイド-2]：原子炉減圧操作ガイド（注水手段がある場合） [操作ガイド-3]：原子炉減圧操作ガイド（注水手段がない場合） [操作ガイド-4]：機器復旧後の切り替え操作ガイド [操作ガイド-5]：（原子炉圧力容器破損後の）原子炉への注水操作ガイド [操作ガイド-6]：ベDESTALへの注水操作ガイド [操作ガイド-7]：格納容器からの除熱操作ガイド [操作ガイド-8]：格納容器ベント操作ガイド [操作ガイド-9]：長期冷却操作ガイド [操作ガイド-10]：可燃性ガス濃度制御系（FCS）操作ガイド [操作ガイド-11]：原子炉ウエルへの注水操作ガイド [操作ガイド-12]：原子炉建屋可燃性ガス濃度制御操作ガイド</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p style="text-align: center;">重大事故等対応要領書（EHG）</p> <p>炉心冷却手順 使用済燃料冷却手順 格納容器機能維持手順 建屋機能維持手順 電源確保手順 アクセスルート確保手順 放射性物質拡散抑制手順 消火手順 水源確保手順 燃料補給手順 モニタリング手順 アシスト手順</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">警報処置手順書</p> <p>警報処置運転手順書</p> </div>		<p>【女川】記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、大阪と同様に、大規模損壊発生時の対応操作については、第2図の中に記載している。

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div data-bbox="667 204 1214 448"> <p>非常時操作手順書（イベントベース）（AOP）</p> <p>原子炉スクラム 冷却材喪失 配管破断 給水喪失 原子炉再循環系故障 燃料破損 タービン系故障 電気系故障 その他系統故障 火災</p> </div> <div data-bbox="667 475 1214 671"> <p>非常時操作手順書（微候ベース）（EOP）</p> <p>原子炉制御 格納容器制御 原子炉建屋制御 燃料プール制御 不測事態 電源回復</p> </div> <div data-bbox="667 699 1214 911"> <p>非常時操作手順書（シビアアクシデント）（SOP）</p> <p>注水ストラテジー1 「損傷炉心への注水」 注水ストラテジー2 「長期の損傷炉心への注水」 注水ストラテジー3 a 「R P V破損前のベデスタル初期注水」 注水ストラテジー3 b 「R P V破損後のベデスタル注水」 注水ストラテジー4 「長期のR P V破損後の注水」 除熱ストラテジー1 「損傷炉心冷却後の除熱」 除熱ストラテジー2 「R P V破損後の除熱」 ベントストラテジ 「P C V破損防止」 水素制御ストラテジ 「原子炉建屋水素制御」</p> </div> <div data-bbox="667 938 1214 1086"> <p>非常時操作手順書（プラント停止中）</p> <p>崩壊熱除去機能喪失 原子炉冷却材喪失 燃料プール冷却機能喪失 燃料プール冷却材喪失 外部電源喪失 臨界事象発生</p> </div> <div data-bbox="667 1114 1214 1294"> <p>非常時操作手順書（設備別）</p> <p>反応度制御 炉心冷却 使用済燃料冷却 格納容器機能維持 建屋機能維持 電源確保 アシスト</p> </div>		<p>【女川】記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は、大阪と同様に、大規模損壊発生時の対応操作については、第2図の中に記載している。

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	伊方発電所3号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center; width: 100px; margin: 0 auto;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料 2.1.6</p> <p style="text-align: center;">大規模損壊時のイグナイタ起動判断について</p> <p>I. 水素爆発抑制戦略におけるイグナイタの起動について</p> <p>水素は、高温の燃料被覆管のジルコニウム（Zr）と水蒸気との接触により大量に発生する。従って、炉心が損傷し、破断口又は原子炉容器破損箇所から格納容器内に1次冷却材の漏えいが生じている場合、格納容器内の水素濃度が高くなっている可能性が高い。また、MCCIによっても追加の大量の水素発生の可能性がある。</p> <p>そのため、炉心損傷後にイグナイタを起動する場合、水素燃焼による格納容器の健全性に与える影響を十分に考慮し、慎重な対応が必要となる。</p> <p>判断に用いる情報としては、格納容器内注水等、各種パラメータ等に基づくプラント状況の把握のほか、以下が考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事故経過時間 ・ 格納容器内圧力 ・ 格納容器内水素濃度及びその傾向 ・ PARの温度及びその傾向 <p>ここで、原子炉容器破損により放出される水素及びMCCIにより発生する可能性のある水素を考慮した「水素燃焼」シーケンス（大破断LOCA+ECCS注入失敗+C/Vスプレイ注入）の解析により、余裕を考慮しても事故発生後1時間以内であれば原子炉容器破損時の水素濃度は6vol%程度であり、十分水素濃度が低いことを確認している。また、イグナイタ周辺の機器については、イグナイタが着火する水素濃度8vol%程度での水素燃焼によって影響がないことを確認している。従って、事故発生後1時間以内であれば、事象進展の早い大破断LOCA起因の事故であっても原子炉容器破損前であり格納容器内水素濃度は8vol%未満であること、大破断LOCA起因と比べて事象進展が遅いトランジェント等の事故では炉心損傷前となることから、格納容器内水素濃度を確保することなく速やかにイグナイタを起動することとしている。</p> <p>※ 事故進展解析における大破断LOCA等の起回事象</p>	<p style="text-align: right;">添付資料 2.1.5</p> <p style="text-align: center;">大規模損壊時の格納容器水素イグナイタ起動判断について</p> <p>I. 水素爆発抑制のための戦略における格納容器水素イグナイタの起動について</p> <p>原子炉格納容器内の水素は、高温の燃料被覆管のジルコニウム（Zr）と水蒸気との接触により大量に発生する。したがって、炉心が損傷し、破断口又は原子炉容器破損箇所から原子炉格納容器内に1次冷却材の漏えいが生じている場合、原子炉格納容器内の水素濃度が高くなっている可能性が高い。また、MCCIによっても追加の大量の水素発生の可能性がある。</p> <p>そのため、炉心損傷後に原子炉格納容器水素イグナイタ（以下「イグナイタ」という。）を起動する場合、水素燃焼による原子炉格納容器の健全性に与える影響を十分に考慮し、慎重な対応が必要となる。</p> <p>判断に用いる情報としては、原子炉格納容器内注水等、各種パラメータ等に基づくプラント状況の把握のほか、以下が考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事故経過時間 ・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器内水素濃度及びその傾向 ・ 原子炉格納容器内水素処理装置（以下「PAR」という。）の温度及びその傾向 <p>ここで、原子炉容器破損により放出される水素及びMCCIにより発生する可能性のある水素を考慮した「水素燃焼」シーケンス（大破断LOCA時に低圧注入機能及び高圧注入機能が喪失する事故）の解析により、余裕を考慮しても事故発生後1時間以内であれば原子炉容器破損時の水素濃度は6vol%程度であり、十分水素濃度が低いことを確認している。また、イグナイタ周辺の機器については、イグナイタが着火する水素濃度8vol%程度での水素燃焼によって影響がないことを確認している。したがって、事故発生後1時間以内であれば、事象進展の早い大破断LOCA起因の事故であっても原子炉容器破損前であり格納容器内水素濃度は8vol%未満であること、大破断LOCA起因と比べて事象進展が遅いトランジェント等の事故では炉心損傷前となることから、格納容器内水素濃度を確保することなく速やかにイグナイタを起動することとしている。</p> <p>※：事故進展解析における大破断LOCA等の起回事象</p>	<p>【大飯】【女川】資料構成の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 女川には格納容器水素イグナイタに相当する設備はないため、同様の添付資料はない。また、大飯にも同様の添付資料がないことから、起動判断に用いる情報として事故進展解析の結果を含むことを踏まえ、泊3号炉と同じ3ループプラントである伊方3号炉との比較を示す。 <p>【伊方】資料番号の相違</p> <p>【伊方】設備名称の相違 (以降、相違理由の記載を省略する。)</p> <p>【伊方】記載表現の相違</p> <p>【伊方】記載表現の相違</p> <p>【伊方】記載表現の相違（用語の統一）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 従って⇒したがって ・ 泊は、設備名称又はパラメータ名称である場合を除き、「原子炉格納容器」で統一する。 <p>(以降、相違理由の記載を省略する。)</p> <p>【伊方】パラメータ名称の相違 (以降、相違理由の記載を省略する。)</p> <p>【伊方】設備名称及び記載表現の相違</p> <p>【伊方】記載表現の相違（評価事故シーケンスに相違はない。)</p> <p>【伊方】記載表現の相違</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	伊方発電所3号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>ただし、イグナイタの起動は、大規模損壊対応として初動時に非常用電源系統の受電が不可能な場合においては1時間以内で起動することが困難であり、代替電気設備を使用しケーブル敷設の作業が必要であるため5時間程度経過した時点と想定される。この時点では、格納容器への脅威となる程のMCCIによる追加の水素発生はなく水素濃度の推移は比較的緩やかであり、水素爆轟防止の判断の目安となる13vol%に至らないと考えられる。また、水の放射線分解により長期的に生成する水素については、2kg/h程度と緩やかであり直ちに格納容器の脅威となることはなく、PARが健全であれば減少する。</p> <p>従って、発電所対策本部において判断するための十分な時間余裕があることから、利用可能な情報等に基づき上記の判断に用いる情報の特徴を踏まえて検討を行い、事象が進展し水素爆轟による格納容器破損の脅威が予想される場合、つまり格納容器破損の脅威に対する実効性があり、かつ水素燃焼による格納容器の健全性に悪影響を与えないと判断できる場合にイグナイタを起動する。</p> <p>判断に用いる情報について、(1)～(4)に整理する。</p> <p>(1) 事故経過時間</p> <p>大規模損壊では、5時間程度経過した時点での対応となる可能性がある。ここでは、PRAにおいて実施したMAAPを用いた代表PDS（プラント損傷状態）の事故進展解析の結果より、イグナイタ起動の格納容器破損への脅威に対する実効性について考察する。なお、実際は一部の安全系機器が動作していることが考えられ、本評価よりも事象進展が緩やかとなる可能性が高い。事故進展解析の結果については、詳細を参考1に示す。</p> <p>C/V スプレイ及び再循環に成功している場合（AEI及びTEI）は、</p> <ul style="list-style-type: none"> 事故早期から後期にかけて4vol%以上あり、水素燃焼の可能性が考えられること 格納容器への脅威となるMCCIの水素発生量ではなく、事故早期の水素濃度からの上昇がほとんどみられないこと その他、格納容器に脅威を与える現象は考えられないこと <p>から、対策を講じなくても水素燃焼、過圧破損等による格納容器への脅威はなく、高水素濃度で着火する可能性がある場合はイグナイタの起動を行うべきではない。</p>	<p>ただし、イグナイタの起動は、大規模損壊対応として初動時に非常用電源系統の受電が不可能な場合においては1時間以内で起動することが困難であり、代替所内電気設備を使用しケーブル敷設の作業が必要であるため5時間程度経過した時点と想定される。この時点では、原子炉格納容器への脅威となる程のMCCIによる追加の水素発生はなく水素濃度の推移は比較的緩やかであり、水素爆轟防止の判断の目安となる13vol%に至らないと考えられる。また、水の放射線分解により長期的に生成する水素については、2kg/h程度と緩やかであり直ちに原子炉格納容器の脅威となることはなく、PARが健全であれば減少する。</p> <p>このため、発電所対策本部において判断するための十分な時間余裕があることから、利用可能な情報等に基づき上記の判断に用いる情報の特徴を踏まえて検討を行い、事象が進展し水素爆轟による原子炉格納容器破損の脅威が予想される場合、つまり原子炉格納容器破損の脅威に対する実効性があり、かつ水素燃焼による原子炉格納容器の健全性に悪影響を与えないと判断できる場合にイグナイタを起動する。</p> <p>判断に用いる情報について、1. (1)～(4)に整理する。</p> <p>1. イグナイタ起動の判断に用いる情報</p> <p>(1) 事故経過時間</p> <p>大規模損壊では、5時間程度経過した時点での対応となる可能性がある。ここでは、PRAにおいて実施したMAAPを用いた代表PDS（プラント損傷状態）の事故進展解析の結果より、イグナイタ起動の原子炉格納容器破損への脅威に対する実効性について考察する。なお、実際は一部の安全系機器が動作していることが考えられ、本評価よりも事象進展が緩やかとなる可能性が高い。事故進展解析の結果については、詳細を参考1に示す。</p> <p>a. C/V スプレイ及び再循環に成功している場合</p> <p>C/V スプレイ及び再循環に成功している場合（AEI及びTEI）の特徴としては、</p> <ul style="list-style-type: none"> 事故早期から後期にかけて水素濃度は4vol%以上あり、水素燃焼の可能性が考えられる。 原子炉格納容器への脅威となるMCCIによる水素発生量ではなく、事故早期の水素濃度からの上昇がほとんどみられない。 その他、原子炉格納容器に脅威を与える現象は考えられない。 <p>以上のことから、対策を講じなくても水素燃焼、過圧破損等による原子炉格納容器への脅威はなく、高水素濃度で着火する可能性がある場合はイグナイタの起動を行うべきではない。</p>	<p>【伊方】設備名称の相違</p> <p>【伊方】記載表現の相違</p> <p>【伊方】文章構成の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は、1. (1)～(4)の情報を参考にし、イグナイタの起動判断をすることから、項目を分けた文章構成としている。 <p>【伊方】文章構成及び記載表現の相違</p>

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	伊方発電所3号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>C/V スプレイに成功し再循環に失敗している場合（AEW）は、</p> <ul style="list-style-type: none"> 事故早期から後期にかけて4vol%未満であり、水素燃焼の可能性は低いこと 格納容器への脅威となるMCCIの水素発生量ではなく、再循環失敗により水蒸気の凝縮もないため徐々に水素濃度が低下すること 格納容器への脅威は過圧破損であるため、再循環機能等の復旧に伴い水蒸気の凝縮による水素濃度の上昇が想定されるが、過圧破損までにMCCIによる大量の水素発生がないことから、水素濃度を考慮しつつ格納容器内圧力の管理が可能と考えられることから、イグナイタを起動するメリットは小さい。 <p>C/V スプレイ及び再循環に失敗している場合（AED、SED及びTED）は、</p> <ul style="list-style-type: none"> 破断口等からの水素放出直後を除き、事故早期から後期にかけては4vol%未満であり、水素燃焼の可能性は低いこと C/V スプレイに失敗した場合は、格納容器への脅威となるMCCIによる水素発生量の著しい増加（最も事象進展が早い解析においては事故発生から約5時間以上経過した時点）があり、過圧破損しなかった場合には水素濃度が更に上昇すること 格納容器への脅威は過圧破損であるため、注水機能の復旧を行った場合、MCCIによる水素発生が著しく増加した後においては水蒸気の凝縮による水素濃度の急激な上昇が想定されることから、時期にもよるがイグナイタを起動するメリットはある。 <p>従って、安全系機器の作動状況、プラントパラメータ等からC/V スプレイ失敗が明らかであり、MCCIによる水素の大量発生後に注水機能の復旧による過圧破損防止対策を講じる可能性がある場合には、水素濃度が低い時点でのイグナイタ起動については、格納容器破損への脅威に対する実効性が高い。</p>	<p>b. C/V スプレイに成功し再循環に失敗している場合 C/V スプレイに成功し再循環に失敗している場合（AEW）の特徴としては、</p> <ul style="list-style-type: none"> 事故早期から後期にかけて4vol%未満であり、水素燃焼の可能性は低い。 原子炉格納容器への脅威となるMCCIによる水素発生量ではなく、再循環失敗により水蒸気の凝縮もないため徐々に水素濃度が低下する。 原子炉格納容器への脅威は過圧破損であるため、再循環機能等の復旧を行った場合、水蒸気の凝縮による水素濃度の上昇が想定されるが、過圧破損までにMCCIによる大量の水素発生がないことから、水素濃度を考慮しつつ原子炉格納容器圧力の管理が可能と考えられる。 <p>以上のことから、イグナイタを起動するメリットは小さい。</p> <p>c. C/V スプレイ及び再循環に失敗している場合 C/V スプレイ及び再循環に失敗している場合（AED、SED及びTED）の特徴としては、</p> <ul style="list-style-type: none"> 破断口等からの水素放出直後を除き、事故早期から後期にかけては4vol%未満であり、水素燃焼の可能性は低い。 C/V スプレイに失敗した場合は、原子炉格納容器への脅威となるMCCIによる水素発生量の著しい増加（最も事象進展が早い解析においては事故発生から約5時間以上経過した時点）があり、過圧破損しなかった場合には水素濃度がさらに上昇する。 原子炉格納容器への脅威は過圧破損であるため、注水機能の復旧を行った場合、MCCIによる水素発生が著しく増加した後においては水蒸気の凝縮による水素濃度の急激な上昇が想定される。 <p>以上のことから、起動のタイミング次第ではあるものの、イグナイタを起動するメリットはある。</p> <p>したがって、安全系機器の作動状況、プラントパラメータ等からC/V スプレイ失敗が明らかであり、MCCIによる水素の大量発生後に注水機能の復旧による過圧破損防止対策を講じる可能性がある場合には、水素濃度が低い時点でのイグナイタ起動については、原子炉格納容器破損への脅威に対する実効性が高い。</p>	<p>【伊方】文章構成及び記載表現の相違</p> <p>【伊方】文章構成及び記載表現の相違</p> <p>【伊方】記載表現の相違</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	伊方発電所3号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(2) 格納容器内圧力 格納容器内圧力と格納容器内水素濃度の関係を第2.1.6-1図に示す。MCCIにより発生する可能性のある水素を考慮し、水素反応の条件をZr100%と仮定しても、格納容器内圧力が最高使用圧力近傍であれば水素濃度は十分低い。複数のチャンネルで同じ圧力であればデータの信頼性は高いため、水素濃度が十分低いと判断できる場合にはイグナイタを起動することが可能である。</p>  <p>第2.1.6-1図 伊方3号機 格納容器内圧力と格納容器内水素濃度の関係</p> <p>(3) 水素濃度 重大事故時における格納容器内の水素濃度を中央制御室において連続監視できるよう、可搬型の格納容器水素濃度計測装置を設置することとしている。格納容器内注水が成功していれば、格納容器内の水素は攪拌により均一化されていると考えられるものの、1点のサンプリングによる測定であることから代表性の不確実さを有する。 原子炉格納容器からのサンプリングガスは、冷却器での冷却凝縮、湿分分離器での水分除去により、ほぼドライ状態で格納容器水素濃度計測装置に送り測定する。詳細を参考2に示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検出器：熱伝導度方式 ・測定レンジ：水素濃度0～20vol% <p>計測される水素濃度はドライ換算であるが、格納容器内の状態は水蒸気雰囲気であり実際の水素濃度は低い。 また、本装置は、水素濃度が変動する可能性のある範囲で測定できる設計としているものの、高精度で測定できるものではない。従って、イグナイタの起動に係る参考として水素濃度の推移の監視に利用することは可能であるが、精緻な水素濃度を把握することは困難である。</p>	<p>(2) 原子炉格納容器圧力 原子炉格納容器圧力と格納容器内水素濃度の関係を第1図に示す。MCCIにより発生する可能性のある水素を考慮し、水素反応の条件をZr100%と仮定しても、原子炉格納容器圧力が最高使用圧力近傍であれば水素濃度は十分低い。複数のチャンネルで同じ圧力であればデータの信頼性は高いため、水素濃度が十分低いと判断できる場合にはイグナイタを起動することが可能である。</p>  <p>第1図 泊3号炉 原子炉格納容器圧力と格納容器内水素濃度の関係</p> <p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p> <p>(3) 水素濃度 重大事故時における原子炉格納容器内の水素濃度を中央制御室において連続監視できるよう、可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットを設置することとしている。原子炉格納容器内注水が成功していれば、原子炉格納容器内の水素は攪拌により均一化されていると考えられるものの、1点のサンプリングによる測定であることから代表性の不確実さを有する。 原子炉格納容器からのサンプリングガスは、冷却器での冷却凝縮、湿分分離器での水分除去により、ほぼドライ状態で可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットに送り測定する。詳細を参考2に示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検出器：熱伝導度方式 ・測定レンジ：水素濃度0～20vol% <p>測定される水素濃度はドライ換算であるが、原子炉格納容器内の状態は水蒸気雰囲気であり実際の水素濃度は低い。 また、本装置は、水素濃度が変動する可能性のある範囲で測定できる設計としているものの、高精度で測定できるものではない。したがって、イグナイタの起動に係る参考として水素濃度の推移の監視に利用することは可能であるが、精緻な水素濃度を把握することは困難である。</p>	<p>相違理由</p> <p>【伊方】設備名称の相違 (以降、相違理由の記載を省略する。)</p> <p>【伊方】記載表現の相違 ・泊は、「測定」で表現を統一する。 (以降、相違理由の記載を省略する。)</p>

灰色：泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	伊方発電所3号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、玄海発電所3/4号炉技術的能力2.1まとめ資料 添付資料2.1.5より引用】</p> <p>例えば、全ての静的触媒式水素再結合装置が格納容器内雰囲気温度と同程度の場合は、静的触媒式水素再結合装置による水素処理が行われておらず格納容器内の水素濃度は十分低いと推定できる。</p>	<p>(4) PARの温度 格納容器内に設置されているPARは、水素処理の状況を把握するため、管体側面に熱電対シーすを取り付け、触媒プレート上部のガス温度を測定することとしている。第2.1.6-2図より、水素濃度4vol%におけるPAR内部のガス温度は200℃～300℃程度であり、温度上昇から水素濃度を推定することが可能と考えられることから、イグナイタの起動に係る参考とすることができる。例えば、全てのPARが格納容器内雰囲気温度と同程度の場合は、水素濃度は十分低いと推定できる。</p> <p>ただし、PARの再結合反応時の温度計による温度上昇の確認方法については、知見が少なく信頼性が低いと考えられるため、今後の国際的な試験状況等も踏まえて改善検討を行っていくこととしている。</p> <div data-bbox="660 630 1220 1037" style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div> <p style="text-align: center;">第2.1.6-2図 PARの温度上昇</p> <p>(5) イグナイタの起動判断 注水機能の復旧による過圧破損防止対策の実施等、事象の進展に伴い水素爆轟による格納容器破損の脅威が予想される場合であって、かつ水素濃度が低く起動に伴う水素燃焼により格納容器の健全性に悪影響が及ばないと判断できる以下の場合、イグナイタを起動することができる。 ・信頼性の高い格納容器内圧力が把握でき、圧力が最高使用圧力近傍である場合</p>	<p>(4) PARの温度 原子炉格納容器内に設置されているPARは、水素処理の状況を把握するため、管体側面に熱電対シーすを取り付け、触媒プレート上部のガス温度を測定することとしている。第2図より、水素濃度4vol%におけるPAR内部のガス温度は200℃～300℃程度であり、温度上昇から水素濃度を推定することが可能と考えられることから、イグナイタの起動に係る参考情報とすることができる。例えば、すべてのPARが原子炉格納容器内雰囲気温度と同程度の場合は、PARによる水素処理が行われておらず原子炉格納容器内の水素濃度は十分低いと推定できる。</p> <p>ただし、PARの再結合反応時の温度計による温度上昇の確認方法については、知見が少なく信頼性が低いと考えられるため、今後の国際的な試験状況等も踏まえて改善検討を行っていくこととしている。</p> <div data-bbox="1236 630 1796 1037" style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div> <p style="text-align: center;">第2図 PARの温度上昇</p> <p style="text-align: center;">□ 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p> <p>2. イグナイタの起動判断 注水機能の復旧による過圧破損防止対策の実施等、事象の進展に伴い水素爆轟による原子炉格納容器破損の脅威が予想される場合であって、かつ水素濃度が低く起動に伴う水素燃焼により原子炉格納容器の健全性に悪影響が及ばないと判断できる以下の場合、イグナイタを起動することができる。 ・信頼性の高い原子炉格納容器圧力が把握でき、圧力が最高使用圧力近傍である場合</p>	<p>相違理由</p> <p>【伊方】記載表現の相違（用語の統一） ・全て⇒すべて （以降、相違理由の記載を省略する。）</p> <p>【伊方】記載表現の相違 ・泊は、温度から水素濃度を推定する場合の考え方の記載を充実化した。（玄海3/4号と同様。）</p> <p>【伊方】文章構成の相違 ・泊は、1. (1)～(4)の情報を参考にし、イグナイタの起動判断をすることから、項目を分けた文章構成としている。</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	伊方発電所3号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、玄海発電所3/4号炉技術的能力2.1まとめ資料 添付資料2.1.5より引用】</p> <ul style="list-style-type: none"> 水素濃度の測定結果が継続して低い場合 	<p>なお、以下の情報も参考とすることができる。これらは、単独ではデータの信頼性から水素濃度が低いと判断することは困難であるが、複数の情報から総合的に判断できる可能性がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> 水素濃度測定の結果が相当程度低い場合 全ての PAR の温度が格納容器雰囲気温度と同程度である場合 安全系機器の作動状況、プラントパラメータによりプラント状態が把握でき、事故進展解析と比較することにより水素濃度が低いことが推定できる場合 <p style="text-align: right;">以上</p>	<p>なお、以下の情報も参考とすることができる。これらは、単独ではデータの信頼性から水素濃度が低いと判断することは困難であるが、複数の情報から総合的に判断できる可能性がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> 水素濃度の測定結果が継続して低い場合 すべての PAR の温度が原子炉格納容器内雰囲気温度と同程度である場合 安全系機器の作動状況、プラントパラメータによりプラント状態が把握でき、事故進展解析と比較することにより水素濃度が低いことが推定できる場合 	<p>【伊方】記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は、前述のとおり、水素濃度は、その推移の監視に利用することが有効であると判断しているため、それを意図した記載としている。（玄海3/4号と同様。）

2.1 可搬型設備等による対応

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	伊方発電所3号炉 (参考1)	泊発電所3号炉 (参考1)	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	<p>PRAにおいて実施したMAAPを用いた代表PDSの事故進展解析結果を参考表1-1及び参考表1-2、参考図1-1～参考図1-6に示す。</p> <p>参考表1-1 事故進展解析結果（主要事象発生時刻）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主要事象</th> <th>AED</th> <th>AEW</th> <th>AEI</th> <th>SED</th> <th>TED</th> <th>TEI</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>原子炉トリップ</td><td>0.0秒</td><td>0.4秒</td><td>0.4秒</td><td>0.0秒</td><td>0.0秒</td><td>46秒</td></tr> <tr><td>補助給水系作動</td><td>1.0分</td><td>1.0分</td><td>1.0分</td><td>1.0分</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>充てん系作動</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>高圧注入系作動</td><td>—</td><td>0.4秒</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>低圧注入系作動</td><td>—</td><td>11秒</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>蓄圧注入作動</td><td>9.4秒</td><td>9.4秒</td><td>9.5秒</td><td>1.2時間</td><td>4.7時間</td><td>3.3時間</td></tr> <tr><td>蓄圧注入終了</td><td>1.4分</td><td>1.1分</td><td>1.4分</td><td>3.6時間</td><td>4.7時間</td><td>3.3時間</td></tr> <tr><td>ラプチャーディスタク破損</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>1.7時間</td><td>35分</td></tr> <tr><td>格納容器スプレイ作動</td><td>—</td><td>3.8秒</td><td>3.8秒</td><td>—</td><td>—</td><td>3.0時間</td></tr> <tr><td>再循環切替</td><td>—</td><td>—</td><td>34分</td><td>—</td><td>—</td><td>3.6時間</td></tr> <tr><td>炉心露出</td><td>5.6分</td><td>27分</td><td>5.5分</td><td>42分</td><td>2.2時間</td><td>1.1時間</td></tr> <tr><td>被覆管破損</td><td>11分</td><td>36分</td><td>11分</td><td>54分</td><td>2.5時間</td><td>1.3時間</td></tr> <tr><td>炉心溶融開始</td><td>19分</td><td>45分</td><td>19分</td><td>1.1時間</td><td>3.0時間</td><td>1.6時間</td></tr> <tr><td>下部ヘッドへの溶融物移動開始</td><td>55分</td><td>1.5時間</td><td>55分</td><td>2.0時間</td><td>4.6時間</td><td>3.0時間</td></tr> <tr><td>原子炉容器破損</td><td>1.6時間</td><td>2.8時間</td><td>1.6時間</td><td>3.6時間</td><td>4.7時間</td><td>3.3時間</td></tr> <tr><td>原子炉格納容器系使用圧力到達</td><td>2.2時間</td><td>5.9時間</td><td>—</td><td>4.1時間</td><td>6.3時間</td><td>—</td></tr> <tr><td>2Pd（原子炉格納容器系使用圧力2倍）到達^{a1}</td><td>9.5時間</td><td>14時間</td><td>—</td><td>13時間</td><td>16時間</td><td>—</td></tr> <tr><td>原子炉格納容器系使用圧力200℃到達^{a2}</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>限界圧力到達^{a3}</td><td>12時間</td><td>16時間</td><td>—</td><td>17時間</td><td>19時間</td><td>—</td></tr> </tbody> </table> <p>^{a1}：原子炉格納容器系使用圧力2Pd到達時間を格納容器系使用圧力到達時間とする。 ^{a2}：原子炉格納容器系使用圧力200℃到達時間を格納容器系使用圧力到達時間とする。 ^{a3}：伊方3号炉のアクシデントマネジメント技術ベース報告書（平成6年3月）にて評価した限界圧力6.36kg/cm²とする。</p>	主要事象	AED	AEW	AEI	SED	TED	TEI	原子炉トリップ	0.0秒	0.4秒	0.4秒	0.0秒	0.0秒	46秒	補助給水系作動	1.0分	1.0分	1.0分	1.0分	—	—	充てん系作動	—	—	—	—	—	—	高圧注入系作動	—	0.4秒	—	—	—	—	低圧注入系作動	—	11秒	—	—	—	—	蓄圧注入作動	9.4秒	9.4秒	9.5秒	1.2時間	4.7時間	3.3時間	蓄圧注入終了	1.4分	1.1分	1.4分	3.6時間	4.7時間	3.3時間	ラプチャーディスタク破損	—	—	—	—	1.7時間	35分	格納容器スプレイ作動	—	3.8秒	3.8秒	—	—	3.0時間	再循環切替	—	—	34分	—	—	3.6時間	炉心露出	5.6分	27分	5.5分	42分	2.2時間	1.1時間	被覆管破損	11分	36分	11分	54分	2.5時間	1.3時間	炉心溶融開始	19分	45分	19分	1.1時間	3.0時間	1.6時間	下部ヘッドへの溶融物移動開始	55分	1.5時間	55分	2.0時間	4.6時間	3.0時間	原子炉容器破損	1.6時間	2.8時間	1.6時間	3.6時間	4.7時間	3.3時間	原子炉格納容器系使用圧力到達	2.2時間	5.9時間	—	4.1時間	6.3時間	—	2Pd（原子炉格納容器系使用圧力2倍）到達 ^{a1}	9.5時間	14時間	—	13時間	16時間	—	原子炉格納容器系使用圧力200℃到達 ^{a2}	—	—	—	—	—	—	限界圧力到達 ^{a3}	12時間	16時間	—	17時間	19時間	—	<p>PRAにおいて実施したMAAPを用いた代表PDSの事故進展解析結果を参考表1-1及び参考表1-2、参考図1-1～参考図1-6に示す。</p> <p>参考表1-1 事故進展解析結果（主要事象発生時刻）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主要事象</th> <th>AED</th> <th>AEW</th> <th>AEI</th> <th>SED</th> <th>TED</th> <th>TEI</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>原子炉トリップ</td><td>0.0秒</td><td>0.4秒</td><td>0.4秒</td><td>0.0秒</td><td>0.0秒</td><td>46秒</td></tr> <tr><td>補助給水系作動</td><td>1.0分</td><td>1.0分</td><td>1.0分</td><td>1.0分</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>充てん系作動</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>高圧注入系作動</td><td>—</td><td>0.4秒</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>低圧注入系作動</td><td>—</td><td>11秒</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>蓄圧注入作動</td><td>9.4秒</td><td>9.4秒</td><td>9.5秒</td><td>1.2時間</td><td>4.7時間</td><td>3.3時間</td></tr> <tr><td>蓄圧注入終了</td><td>1.4分</td><td>1.1分</td><td>1.4分</td><td>3.6時間</td><td>4.7時間</td><td>3.3時間</td></tr> <tr><td>ラプチャーディスタク破損</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>1.7時間</td><td>35分</td></tr> <tr><td>格納容器スプレイ作動</td><td>—</td><td>3.8秒</td><td>3.8秒</td><td>—</td><td>—</td><td>3.0時間</td></tr> <tr><td>再循環切替</td><td>—</td><td>—</td><td>34分</td><td>—</td><td>—</td><td>3.6時間</td></tr> <tr><td>炉心露出</td><td>5.6分</td><td>27分</td><td>5.5分</td><td>42分</td><td>2.2時間</td><td>1.1時間</td></tr> <tr><td>被覆管破損</td><td>11分</td><td>36分</td><td>11分</td><td>54分</td><td>2.5時間</td><td>1.3時間</td></tr> <tr><td>炉心溶融開始</td><td>19分</td><td>45分</td><td>19分</td><td>1.1時間</td><td>3.0時間</td><td>1.6時間</td></tr> <tr><td>下部ヘッドへの溶融物移動開始</td><td>55分</td><td>1.5時間</td><td>55分</td><td>2.0時間</td><td>4.6時間</td><td>3.0時間</td></tr> <tr><td>原子炉容器破損</td><td>1.6時間</td><td>2.8時間</td><td>1.6時間</td><td>3.6時間</td><td>4.7時間</td><td>3.3時間</td></tr> <tr><td>格納容器最高使用圧力2倍到達^{a1}</td><td>2.2時間</td><td>5.9時間</td><td>—</td><td>4.1時間</td><td>6.3時間</td><td>—</td></tr> <tr><td>2Pd（格納容器最高使用圧力2倍）到達^{a2}</td><td>9.5時間</td><td>14時間</td><td>—</td><td>13時間</td><td>16時間</td><td>—</td></tr> <tr><td>格納容器系使用圧力200℃到達^{a3}</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>^{a1}：原子炉格納容器系使用圧力2Pd到達時間を格納容器系使用圧力到達時間とする。 ^{a2}：原子炉格納容器系使用圧力200℃到達時間を格納容器系使用圧力到達時間とする。</td></tr> </tbody> </table>	主要事象	AED	AEW	AEI	SED	TED	TEI	原子炉トリップ	0.0秒	0.4秒	0.4秒	0.0秒	0.0秒	46秒	補助給水系作動	1.0分	1.0分	1.0分	1.0分	—	—	充てん系作動	—	—	—	—	—	—	高圧注入系作動	—	0.4秒	—	—	—	—	低圧注入系作動	—	11秒	—	—	—	—	蓄圧注入作動	9.4秒	9.4秒	9.5秒	1.2時間	4.7時間	3.3時間	蓄圧注入終了	1.4分	1.1分	1.4分	3.6時間	4.7時間	3.3時間	ラプチャーディスタク破損	—	—	—	—	1.7時間	35分	格納容器スプレイ作動	—	3.8秒	3.8秒	—	—	3.0時間	再循環切替	—	—	34分	—	—	3.6時間	炉心露出	5.6分	27分	5.5分	42分	2.2時間	1.1時間	被覆管破損	11分	36分	11分	54分	2.5時間	1.3時間	炉心溶融開始	19分	45分	19分	1.1時間	3.0時間	1.6時間	下部ヘッドへの溶融物移動開始	55分	1.5時間	55分	2.0時間	4.6時間	3.0時間	原子炉容器破損	1.6時間	2.8時間	1.6時間	3.6時間	4.7時間	3.3時間	格納容器最高使用圧力2倍到達 ^{a1}	2.2時間	5.9時間	—	4.1時間	6.3時間	—	2Pd（格納容器最高使用圧力2倍）到達 ^{a2}	9.5時間	14時間	—	13時間	16時間	—	格納容器系使用圧力200℃到達 ^{a3}	—	—	—	—	—	—	^{a1} ：原子炉格納容器系使用圧力2Pd到達時間を格納容器系使用圧力到達時間とする。 ^{a2} ：原子炉格納容器系使用圧力200℃到達時間を格納容器系使用圧力到達時間とする。	<p>(PRAにおいて実施した事故進展解析は、国内の標準3ループプラントの解析条件による評価である。) (先行の3ループPWRプラントと同様。)</p> <p>【伊方】整理方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 記載内容に相違はあるものの、第37条付録1の記載内容を引用している点（記載方針）で同様である。内部事象レベル1.5Pd^aでは、原子炉格納容器圧力が2Pd（格納容器最高使用圧力の2倍）到達にて過圧破損するとして評価しているため、当該項目の記載はない。
主要事象	AED	AEW	AEI	SED	TED	TEI																																																																																																																																																																																																																																																																															
原子炉トリップ	0.0秒	0.4秒	0.4秒	0.0秒	0.0秒	46秒																																																																																																																																																																																																																																																																															
補助給水系作動	1.0分	1.0分	1.0分	1.0分	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																															
充てん系作動	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																															
高圧注入系作動	—	0.4秒	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																															
低圧注入系作動	—	11秒	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																															
蓄圧注入作動	9.4秒	9.4秒	9.5秒	1.2時間	4.7時間	3.3時間																																																																																																																																																																																																																																																																															
蓄圧注入終了	1.4分	1.1分	1.4分	3.6時間	4.7時間	3.3時間																																																																																																																																																																																																																																																																															
ラプチャーディスタク破損	—	—	—	—	1.7時間	35分																																																																																																																																																																																																																																																																															
格納容器スプレイ作動	—	3.8秒	3.8秒	—	—	3.0時間																																																																																																																																																																																																																																																																															
再循環切替	—	—	34分	—	—	3.6時間																																																																																																																																																																																																																																																																															
炉心露出	5.6分	27分	5.5分	42分	2.2時間	1.1時間																																																																																																																																																																																																																																																																															
被覆管破損	11分	36分	11分	54分	2.5時間	1.3時間																																																																																																																																																																																																																																																																															
炉心溶融開始	19分	45分	19分	1.1時間	3.0時間	1.6時間																																																																																																																																																																																																																																																																															
下部ヘッドへの溶融物移動開始	55分	1.5時間	55分	2.0時間	4.6時間	3.0時間																																																																																																																																																																																																																																																																															
原子炉容器破損	1.6時間	2.8時間	1.6時間	3.6時間	4.7時間	3.3時間																																																																																																																																																																																																																																																																															
原子炉格納容器系使用圧力到達	2.2時間	5.9時間	—	4.1時間	6.3時間	—																																																																																																																																																																																																																																																																															
2Pd（原子炉格納容器系使用圧力2倍）到達 ^{a1}	9.5時間	14時間	—	13時間	16時間	—																																																																																																																																																																																																																																																																															
原子炉格納容器系使用圧力200℃到達 ^{a2}	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																															
限界圧力到達 ^{a3}	12時間	16時間	—	17時間	19時間	—																																																																																																																																																																																																																																																																															
主要事象	AED	AEW	AEI	SED	TED	TEI																																																																																																																																																																																																																																																																															
原子炉トリップ	0.0秒	0.4秒	0.4秒	0.0秒	0.0秒	46秒																																																																																																																																																																																																																																																																															
補助給水系作動	1.0分	1.0分	1.0分	1.0分	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																															
充てん系作動	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																															
高圧注入系作動	—	0.4秒	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																															
低圧注入系作動	—	11秒	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																															
蓄圧注入作動	9.4秒	9.4秒	9.5秒	1.2時間	4.7時間	3.3時間																																																																																																																																																																																																																																																																															
蓄圧注入終了	1.4分	1.1分	1.4分	3.6時間	4.7時間	3.3時間																																																																																																																																																																																																																																																																															
ラプチャーディスタク破損	—	—	—	—	1.7時間	35分																																																																																																																																																																																																																																																																															
格納容器スプレイ作動	—	3.8秒	3.8秒	—	—	3.0時間																																																																																																																																																																																																																																																																															
再循環切替	—	—	34分	—	—	3.6時間																																																																																																																																																																																																																																																																															
炉心露出	5.6分	27分	5.5分	42分	2.2時間	1.1時間																																																																																																																																																																																																																																																																															
被覆管破損	11分	36分	11分	54分	2.5時間	1.3時間																																																																																																																																																																																																																																																																															
炉心溶融開始	19分	45分	19分	1.1時間	3.0時間	1.6時間																																																																																																																																																																																																																																																																															
下部ヘッドへの溶融物移動開始	55分	1.5時間	55分	2.0時間	4.6時間	3.0時間																																																																																																																																																																																																																																																																															
原子炉容器破損	1.6時間	2.8時間	1.6時間	3.6時間	4.7時間	3.3時間																																																																																																																																																																																																																																																																															
格納容器最高使用圧力2倍到達 ^{a1}	2.2時間	5.9時間	—	4.1時間	6.3時間	—																																																																																																																																																																																																																																																																															
2Pd（格納容器最高使用圧力2倍）到達 ^{a2}	9.5時間	14時間	—	13時間	16時間	—																																																																																																																																																																																																																																																																															
格納容器系使用圧力200℃到達 ^{a3}	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																															
^{a1} ：原子炉格納容器系使用圧力2Pd到達時間を格納容器系使用圧力到達時間とする。 ^{a2} ：原子炉格納容器系使用圧力200℃到達時間を格納容器系使用圧力到達時間とする。																																																																																																																																																																																																																																																																																					

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	伊方発電所3号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																														
	<p>参考表1-2 事故進展解析結果（シビアアクシデント負荷）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">F/D/S</th> <th colspan="2">原子炉格納容器破損直前</th> <th colspan="2">原子炉格納容器破損後（30分）</th> <th colspan="2">原子炉格納容器破損後（72時間）</th> </tr> <tr> <th>全炉心 水素発生量 (vol%)</th> <th>全炉心 ZrO₂の補正 水素発生量 (vol%)</th> <th>全炉心 水素発生量 (vol%)</th> <th>全炉心 ZrO₂の補正 水素発生量 (vol%)</th> <th>全炉心 水素発生量 (vol%)</th> <th>全炉心 ZrO₂の補正 水素発生量 (vol%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>AED</td> <td>0.2</td> <td>37.6</td> <td>2.2</td> <td>57.6</td> <td>2.0</td> <td>75.3</td> </tr> <tr> <td>AEW</td> <td>0.1</td> <td>179.9</td> <td>3.1</td> <td>43.8</td> <td>1.4</td> <td>74.8</td> </tr> <tr> <td>AEI</td> <td>0.1</td> <td>169.4</td> <td>4.1</td> <td>23.3</td> <td>4.6</td> <td>16.1</td> </tr> <tr> <td>SED</td> <td>2.1</td> <td>28.2</td> <td>2.0</td> <td>59.7</td> <td>2.5</td> <td>75.6</td> </tr> <tr> <td>TED</td> <td>17.1</td> <td>8.2</td> <td>2.9</td> <td>46.3</td> <td>3.1</td> <td>74.3</td> </tr> <tr> <td>TEI</td> <td>15.6</td> <td>41.8</td> <td>6.9</td> <td>15.8</td> <td>7.0</td> <td>15.9</td> </tr> </tbody> </table>	F/D/S	原子炉格納容器破損直前		原子炉格納容器破損後（30分）		原子炉格納容器破損後（72時間）		全炉心 水素発生量 (vol%)	全炉心 ZrO ₂ の補正 水素発生量 (vol%)	全炉心 水素発生量 (vol%)	全炉心 ZrO ₂ の補正 水素発生量 (vol%)	全炉心 水素発生量 (vol%)	全炉心 ZrO ₂ の補正 水素発生量 (vol%)	AED	0.2	37.6	2.2	57.6	2.0	75.3	AEW	0.1	179.9	3.1	43.8	1.4	74.8	AEI	0.1	169.4	4.1	23.3	4.6	16.1	SED	2.1	28.2	2.0	59.7	2.5	75.6	TED	17.1	8.2	2.9	46.3	3.1	74.3	TEI	15.6	41.8	6.9	15.8	7.0	15.9	<p>参考表1-2 事故進展解析結果（シビアアクシデント負荷）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">P/S</th> <th colspan="2">原子炉格納容器破損直前</th> <th colspan="2">原子炉格納容器破損後（30分）</th> <th colspan="2">原子炉格納容器破損後（72時間）</th> </tr> <tr> <th>1系系圧力 (MPa/gage)</th> <th>原子炉下層 キャビティ 内水量 (t)</th> <th>原子炉下層 キャビティ 積存量 (t)</th> <th>原子炉下層 キャビティ 積存量 (t)</th> <th>全炉心 水素発生量 (vol%)</th> <th>全炉心 ZrO₂の補正 水素発生量 (vol%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>AED</td> <td>0.2</td> <td>57.6</td> <td>170.2</td> <td>0.2</td> <td>2.6</td> <td>75.3</td> </tr> <tr> <td>AEW</td> <td>0.1</td> <td>179.9</td> <td>157.7</td> <td>0.0</td> <td>1.4</td> <td>74.8</td> </tr> <tr> <td>AEI</td> <td>0.1</td> <td>169.4</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>4.6</td> <td>16.1</td> </tr> <tr> <td>SED</td> <td>2.1</td> <td>28.2</td> <td>166.9</td> <td>0.2</td> <td>2.5</td> <td>75.6</td> </tr> <tr> <td>TED</td> <td>17.1</td> <td>8.3</td> <td>174.7</td> <td>0.2</td> <td>3.1</td> <td>74.5</td> </tr> <tr> <td>TEI</td> <td>15.6</td> <td>41.8</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>7.0</td> <td>15.9</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：AED、AEW、SED及びTEDは原子炉格納容器破損時点（10時間程度）の値、AEI及びTEIは原子炉格納容器が破損しなかったため事故後72時間の値。 ※2：発生する水素量を補正するに当たっては、炉外での水素生成に当たる量(C)による水素量を含む。ただし、TEDにおいては、原子炉格納容器破損後初期の発生水素量の合計が全炉心Zr量の75%を上回るようになることから、補正を行っていない。</p>	P/S	原子炉格納容器破損直前		原子炉格納容器破損後（30分）		原子炉格納容器破損後（72時間）		1系系圧力 (MPa/gage)	原子炉下層 キャビティ 内水量 (t)	原子炉下層 キャビティ 積存量 (t)	原子炉下層 キャビティ 積存量 (t)	全炉心 水素発生量 (vol%)	全炉心 ZrO ₂ の補正 水素発生量 (vol%)	AED	0.2	57.6	170.2	0.2	2.6	75.3	AEW	0.1	179.9	157.7	0.0	1.4	74.8	AEI	0.1	169.4	-	-	4.6	16.1	SED	2.1	28.2	166.9	0.2	2.5	75.6	TED	17.1	8.3	174.7	0.2	3.1	74.5	TEI	15.6	41.8	-	-	7.0	15.9	<p>相違理由</p> <p>(PRAにおいて実施した事故進展解析は、国内の標準3ループプラントの解析条件による評価である。) (先行の3ループPWRプラントと同様。)</p> <p>【伊方】記載内容の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 記載内容に相違はあるものの、第37条付録1の記載内容を引用している点（記載方針）では同様である。なお、第37条付録1での記載については、大飯3/4号と比較しており、個別評価の相違により解析結果に相違はあるものの、記載項目には相違はないことを確認している。
F/D/S	原子炉格納容器破損直前		原子炉格納容器破損後（30分）		原子炉格納容器破損後（72時間）																																																																																																												
	全炉心 水素発生量 (vol%)	全炉心 ZrO ₂ の補正 水素発生量 (vol%)	全炉心 水素発生量 (vol%)	全炉心 ZrO ₂ の補正 水素発生量 (vol%)	全炉心 水素発生量 (vol%)	全炉心 ZrO ₂ の補正 水素発生量 (vol%)																																																																																																											
AED	0.2	37.6	2.2	57.6	2.0	75.3																																																																																																											
AEW	0.1	179.9	3.1	43.8	1.4	74.8																																																																																																											
AEI	0.1	169.4	4.1	23.3	4.6	16.1																																																																																																											
SED	2.1	28.2	2.0	59.7	2.5	75.6																																																																																																											
TED	17.1	8.2	2.9	46.3	3.1	74.3																																																																																																											
TEI	15.6	41.8	6.9	15.8	7.0	15.9																																																																																																											
P/S	原子炉格納容器破損直前		原子炉格納容器破損後（30分）		原子炉格納容器破損後（72時間）																																																																																																												
	1系系圧力 (MPa/gage)	原子炉下層 キャビティ 内水量 (t)	原子炉下層 キャビティ 積存量 (t)	原子炉下層 キャビティ 積存量 (t)	全炉心 水素発生量 (vol%)	全炉心 ZrO ₂ の補正 水素発生量 (vol%)																																																																																																											
AED	0.2	57.6	170.2	0.2	2.6	75.3																																																																																																											
AEW	0.1	179.9	157.7	0.0	1.4	74.8																																																																																																											
AEI	0.1	169.4	-	-	4.6	16.1																																																																																																											
SED	2.1	28.2	166.9	0.2	2.5	75.6																																																																																																											
TED	17.1	8.3	174.7	0.2	3.1	74.5																																																																																																											
TEI	15.6	41.8	-	-	7.0	15.9																																																																																																											
	<p>上表において、事故進展について下記の時期で参照している。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>参照する期間</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 破損直前</td> <td>原子炉格納容器破損直前</td> <td>原子炉格納容器破損時の状態を把握するための期間のため、原子炉格納容器破損直前の状況を参照している。</td> </tr> <tr> <td>2. 破損直後</td> <td>原子炉格納容器破損直後</td> <td>原子炉格納容器破損後の原子炉下層キャビティの状況を把握するための期間として、原子炉格納容器破損直後の状況を参照している。</td> </tr> <tr> <td>3. 破損後30分</td> <td>原子炉格納容器破損後30分</td> <td>破損直後、破損直後から30分間の状況を把握するための期間として、原子炉格納容器破損後30分の状況を参照している。</td> </tr> <tr> <td>4. 破損後72時間</td> <td>原子炉格納容器破損後72時間</td> <td>破損直後、破損直後から72時間間の状況を把握するための期間として、原子炉格納容器破損後72時間の状況を参照している。</td> </tr> <tr> <td>5. 破損後1年</td> <td>原子炉格納容器破損後1年</td> <td>破損直後、破損直後から1年間の状況を把握するための期間として、原子炉格納容器破損後1年の状況を参照している。</td> </tr> </tbody> </table>	項目	参照する期間	備考	1. 破損直前	原子炉格納容器破損直前	原子炉格納容器破損時の状態を把握するための期間のため、原子炉格納容器破損直前の状況を参照している。	2. 破損直後	原子炉格納容器破損直後	原子炉格納容器破損後の原子炉下層キャビティの状況を把握するための期間として、原子炉格納容器破損直後の状況を参照している。	3. 破損後30分	原子炉格納容器破損後30分	破損直後、破損直後から30分間の状況を把握するための期間として、原子炉格納容器破損後30分の状況を参照している。	4. 破損後72時間	原子炉格納容器破損後72時間	破損直後、破損直後から72時間間の状況を把握するための期間として、原子炉格納容器破損後72時間の状況を参照している。	5. 破損後1年	原子炉格納容器破損後1年	破損直後、破損直後から1年間の状況を把握するための期間として、原子炉格納容器破損後1年の状況を参照している。																																																																																														
項目	参照する期間	備考																																																																																																															
1. 破損直前	原子炉格納容器破損直前	原子炉格納容器破損時の状態を把握するための期間のため、原子炉格納容器破損直前の状況を参照している。																																																																																																															
2. 破損直後	原子炉格納容器破損直後	原子炉格納容器破損後の原子炉下層キャビティの状況を把握するための期間として、原子炉格納容器破損直後の状況を参照している。																																																																																																															
3. 破損後30分	原子炉格納容器破損後30分	破損直後、破損直後から30分間の状況を把握するための期間として、原子炉格納容器破損後30分の状況を参照している。																																																																																																															
4. 破損後72時間	原子炉格納容器破損後72時間	破損直後、破損直後から72時間間の状況を把握するための期間として、原子炉格納容器破損後72時間の状況を参照している。																																																																																																															
5. 破損後1年	原子炉格納容器破損後1年	破損直後、破損直後から1年間の状況を把握するための期間として、原子炉格納容器破損後1年の状況を参照している。																																																																																																															

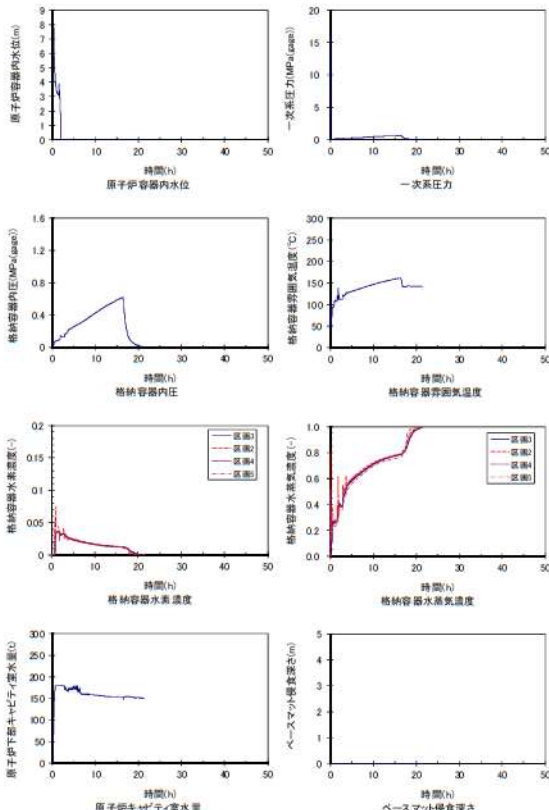
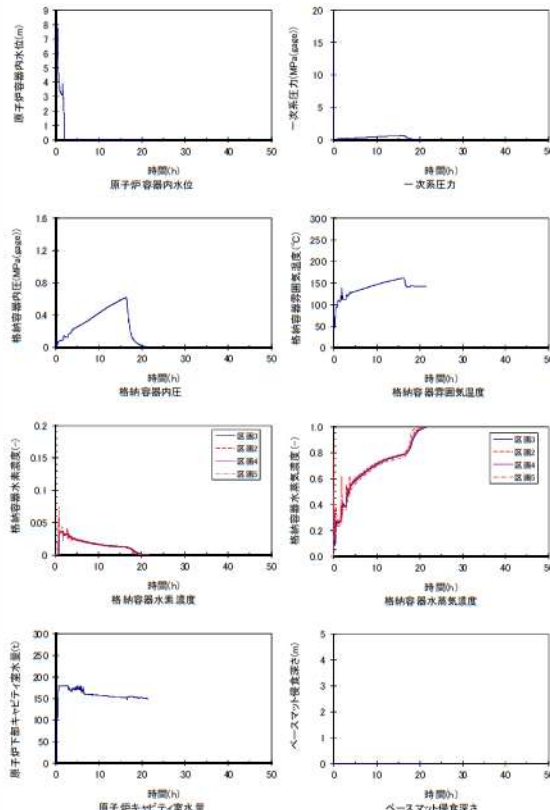
灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	伊方発電所3号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p style="text-align: center;">代表的な物理量の時間変化 (AED)</p> <p style="text-align: center;">参考図 1-1 熱水力挙動の解析結果</p>	<p style="text-align: center;">代表的な物理量の時間変化 (AED)</p> <p style="text-align: center;">参考図 1-1 熱水力挙動の解析結果</p>	<p>(PRA において実施した事故進展解析は、国内の標準3ループプラントの解析条件による評価である。) (先行の3ループPWRプラントと同様。)</p>

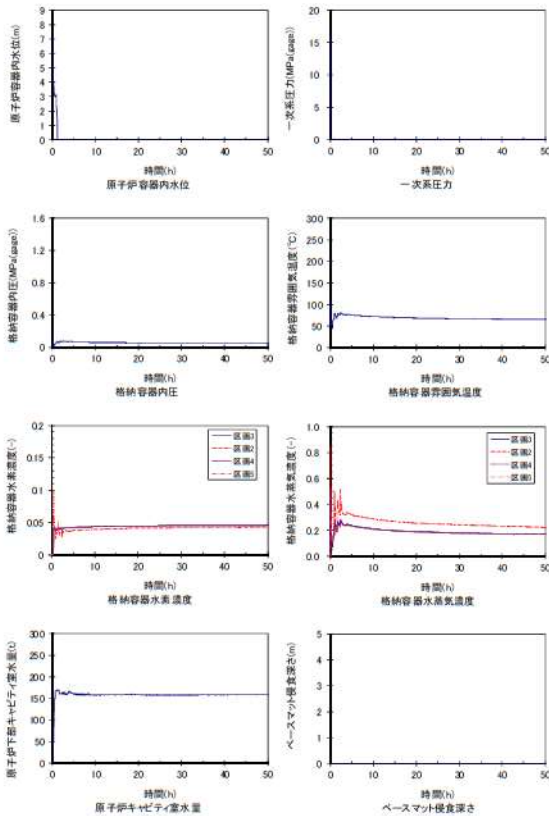
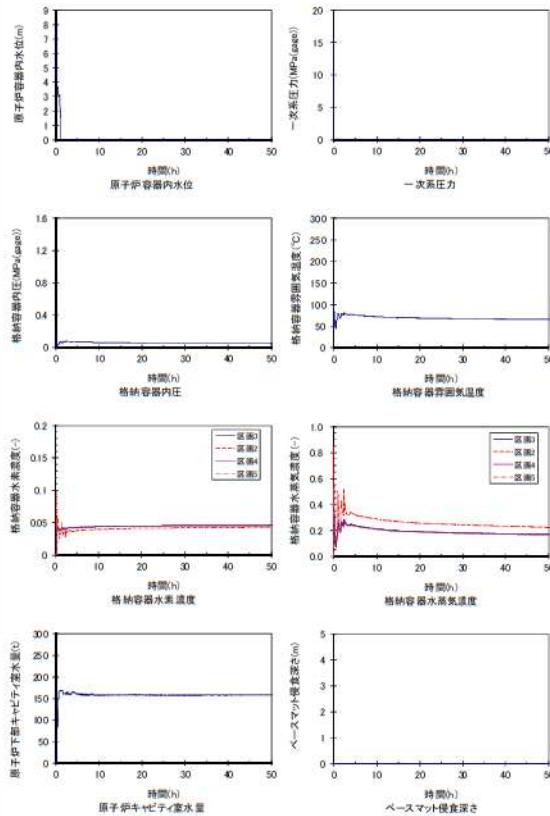
灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	伊方発電所3号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p style="text-align: center;">代表的な物理量の時間変化 (AEW)</p> <p style="text-align: center;">参考図 1-2 熱水力挙動の解析結果</p>	 <p style="text-align: center;">代表的な物理量の時間変化 (AEW)</p> <p style="text-align: center;">参考図 1-2 熱水力挙動の解析結果</p>	<p>(PRA において実施した事故進展解析は、国内の標準3ループプラントの解析条件による評価である。) (先行の3ループPWRプラントと同様。)</p>

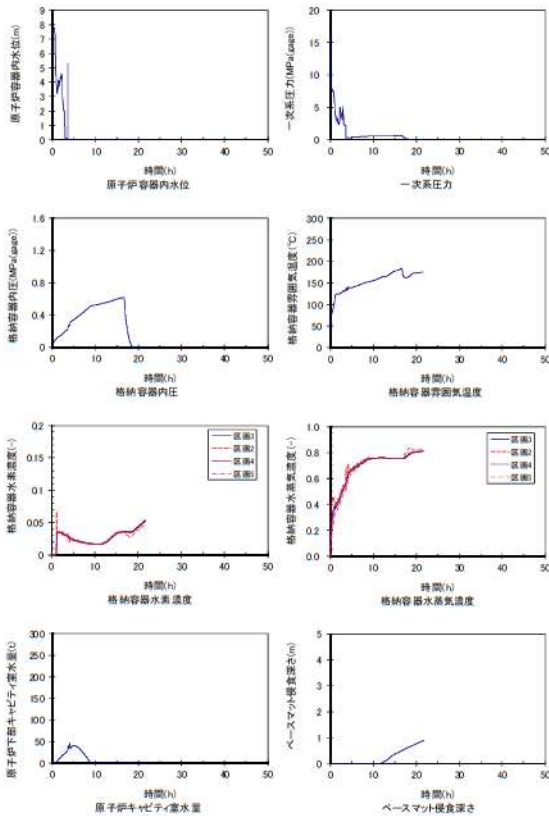
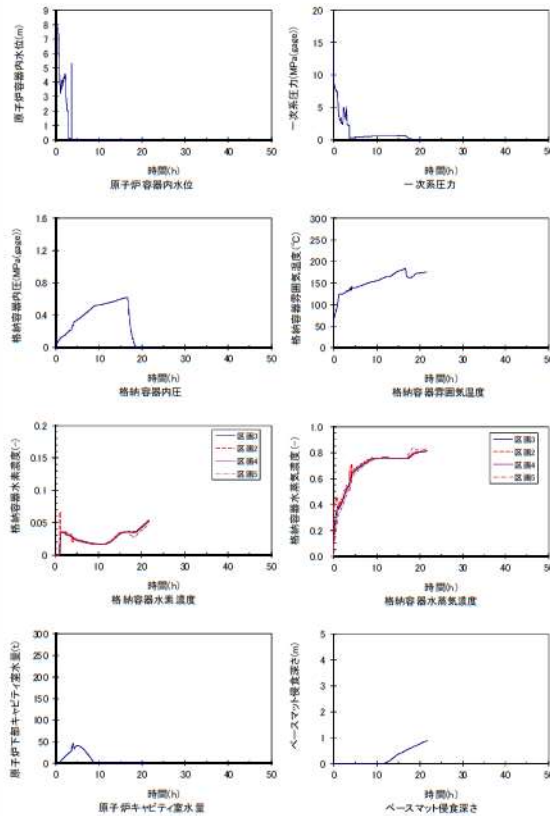
灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	伊方発電所3号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p style="text-align: center;">代表的な物理量の時間変化 (AEI) 参考図 1-3 熱水力挙動の解析結果</p>	 <p style="text-align: center;">代表的な物理量の時間変化 (AEI) 参考図 1-3 熱水力挙動の解析結果</p>	<p>(PRA において実施した事故進展解析は、国内の標準3ループプラントの解析条件による評価である。) (先行の3ループPWRプラントと同様。)</p>

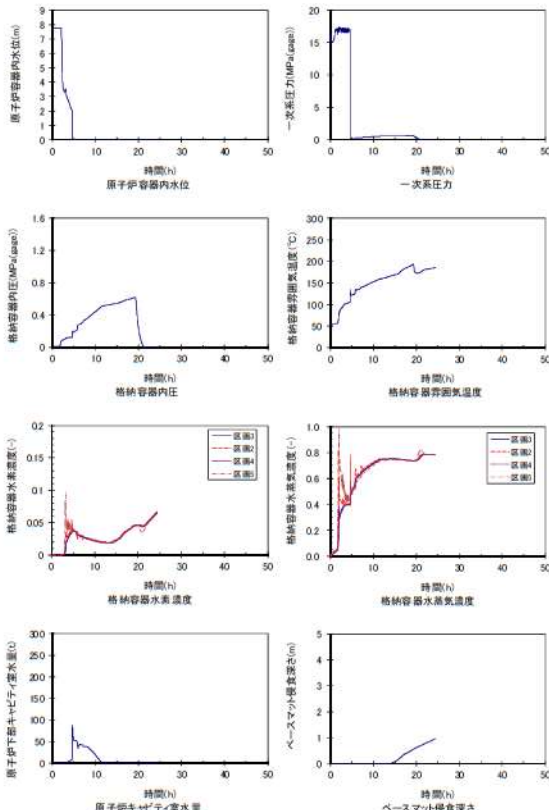
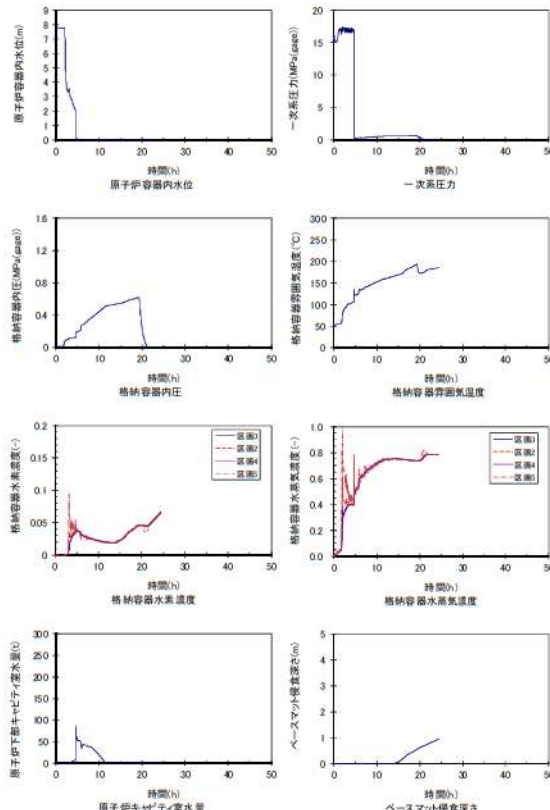
灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	伊方発電所3号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p style="text-align: center;">代表的な物理量の時間変化 (SED) 参考図 1-4 熱水力挙動の解析結果</p>	 <p style="text-align: center;">代表的な物理量の時間変化 (SED) 参考図 1-4 熱水力挙動の解析結果</p>	<p>(PRA において実施した事故進展解析は、国内の標準3ループプラントの解析条件による評価である。) (先行の3ループPWRプラントと同様。)</p>

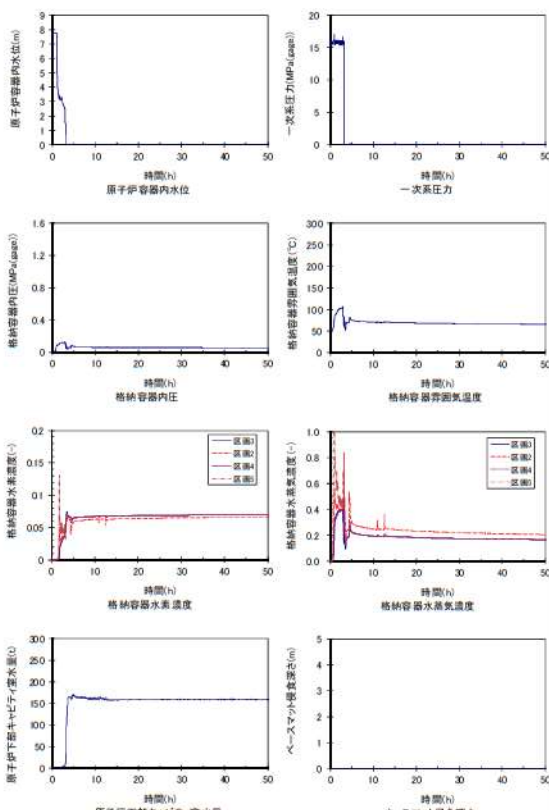
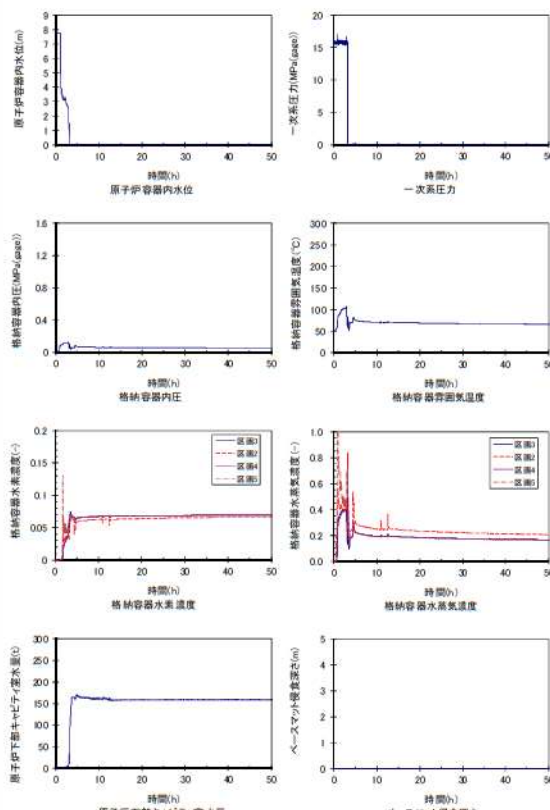
灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	伊方発電所3号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p style="text-align: center;">代表的な物理量の時間変化 (TED)</p> <p style="text-align: center;">参考図 1-5 熱水力挙動の解析結果</p>	 <p style="text-align: center;">代表的な物理量の時間変化 (TED)</p> <p style="text-align: center;">参考図 1-5 熱水力挙動の解析結果</p>	<p>(PRA において実施した事故進展解析は、国内の標準3ループプラントの解析条件による評価である。) (先行の3ループPWRプラントと同様。)</p>

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

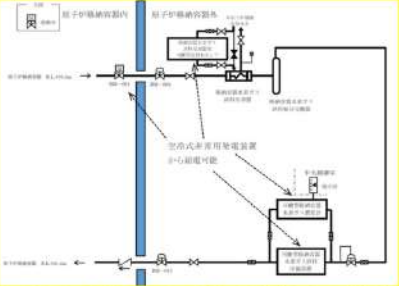
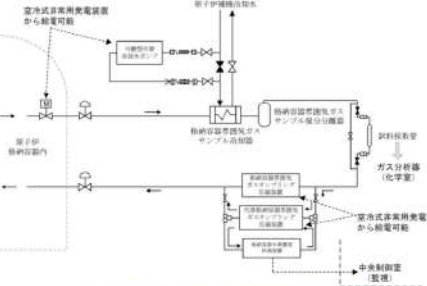
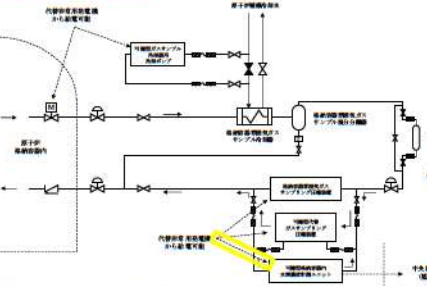
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	伊方発電所3号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>原子炉容器内水位 一次系圧力 格納容器内圧 格納容器雰囲気温度 格納容器水素温度 格納容器水蒸気温度 原子炉下部キャビティ水量 ベースメント浸食深さ</p>	 <p>原子炉容器内水位 一次系圧力 格納容器内圧 格納容器雰囲気温度 格納容器水素温度 格納容器水蒸気温度 原子炉下部キャビティ水量 ベースメント浸食深さ</p>	<p>相違理由 (PRA において実施した事故進展解析は、国内の標準3ループプラントの解析条件による評価である。) (先行の3ループPWRプラントと同様。)</p>
	<p>代表的な物理量の時間変化 (TEI) 参考図 1-6 熱水力挙動の解析結果</p>	<p>代表的な物理量の時間変化 (TEI) 参考図 1-6 熱水力挙動の解析結果</p>	

灰色：泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所 3 / 4号炉	伊方発電所 3号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p>【比較のため、大阪発電所 3 / 4号炉第 52条まとめ資料補足説明資料 52-9 より引用】</p> <p>原子炉格納容器の水素濃度測定について</p> <p>重大事故時の格納容器内の水素濃度の状況を監視するために、以下により水素濃度の測定を実施する。</p> <p>1. 水素濃度測定設備</p> <p>(1) 設備概要</p> <p>炉心損傷事故時に、事故の初期段階から、水素濃度が変動する可能性のある範囲で格納容器内の水素濃度を連続測定することができるよう、可搬型格納容器水素ガス濃度計を、格納容器水素ガス試料採取系統設備に接続し、事故時の格納容器内の水素濃度を中央制御室において連続監視、記録できるようにする。設備の系統概要を図 1 に示す。</p> <p>可搬型格納容器水素ガス濃度計</p> <p>方式：熱伝導度測定方式</p> <p>測定範囲：水素濃度 0～20vol%</p> <p>大阪発電所 3, 4号機においては、上記以外にサンプリングガスから格納容器内の水素濃度を測定するための後備設備として、試料採取管に採取した格納容器ガスから水素濃度を測定できるガスクロマトグラフを有している。被ばく線量、水素濃度が低下し事象が長期的に安定した以降等には、これらによる測定も考慮する。</p> <p>ガスクロマトグラフ</p> <p>方式：熱伝導度測定方式</p> <p>測定範囲：水素濃度 0～100vol%</p> <p>(2) 代替電源の確保</p> <p>格納容器内の水素濃度を測定するために必要な格納容器取出し部の電動弁、可搬型格納容器水素ガス濃度計、可搬型格納容器水素ガス試料圧縮装置などの電源は、非常用電源から給電可能となっており、全交流動力電源喪失の場合にも、空冷式非常用発電装置から給電可能としている。</p>  <p>図 1 可搬型格納容器水素ガス濃度計を使用した格納容器水素濃度測定</p>	<p>(参考 2)</p> <p>原子炉格納容器の水素濃度測定について</p> <p>重大事故時の原子炉格納容器内の水素濃度の状況を監視するために、以下により水素濃度の測定を実施する。</p> <p>1. 水素濃度監視設備</p> <p>(1) 設備概要</p> <p>炉心損傷事故時に、事故の初期段階から、水素濃度が変動する可能性のある範囲で原子炉格納容器内の水素濃度を連続測定ができるよう、可搬型の格納容器水素濃度計測装置を、事故後サンプリング設備に接続し、事故時の原子炉格納容器内の水素濃度を中央制御室において連続監視できるようにする。</p> <p>格納容器水素濃度計測装置</p> <p>検出器：熱伝導度方式</p> <p>計測範囲：水素濃度 0～20vol%</p> <p>また、サンプリングガスから原子炉格納容器内の水素濃度を測定するための後備設備としてガス分析器（ガスクロマトグラフ）も有している。</p> <p>ガス分析器</p> <p>検出器：熱伝導度方式</p> <p>計測範囲：水素濃度 0～100vol%</p> <p>(2) 代替電源の確保</p> <p>原子炉格納容器内の水素濃度を測定するために必要な電動弁や代替格納容器雰囲気ガスサンプリング圧縮装置などの電源は、非常用電源から給電可能となっており、全交流動力電源喪失の場合にも、空冷式非常用発電装置から給電可能としている。</p>  <p>参考図 2-1 格納容器水素濃度計測装置を使用した格納容器水素濃度</p>	<p>(参考 2)</p> <p>原子炉格納容器の水素濃度測定について</p> <p>重大事故時の原子炉格納容器内の水素濃度の状況を監視するために、以下により水素濃度の測定を実施する。</p> <p>1. 水素濃度監視設備</p> <p>(1) 設備概要</p> <p>炉心損傷事故時に、事故の初期段階から、水素濃度が変動する可能性のある範囲で原子炉格納容器内の水素濃度を連続測定することができるよう、可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットを、格納容器雰囲気ガス試料採取設備に接続し、事故時の原子炉格納容器内の水素濃度を中央制御室において連続監視できるようにする。設備の系統概要を参考図 2-1 に示す。</p> <p>可搬型格納容器内水素濃度計測ユニット</p> <p>方式：熱伝導度測定方式</p> <p>測定範囲：水素濃度 0～20vol%</p> <p>泊発電所 3号炉においては、上記以外にサンプリングガスから原子炉格納容器内の水素濃度を測定するための後備設備として、試料採取管に採取した格納容器ガスから水素濃度を測定できるガス分析計（ガスクロマトグラフ）を有している。被ばく線量、水素濃度が低下し事象が長期的に安定した以降等には、これらによる測定も考慮する。</p> <p>ガス分析計</p> <p>方式：熱伝導度測定方式</p> <p>測定範囲：水素濃度 0～100vol%</p> <p>(2) 代替電源の確保</p> <p>原子炉格納容器内の水素濃度を測定するために必要な格納容器取出し部の電動弁、可搬型格納容器内水素濃度計測ユニット、可搬型代替ガスサンプリング圧縮装置等の電源は、非常用電源から給電可能となっており、全交流動力電源喪失の場合にも、代替非常用発電機から給電可能としている。</p>  <p>参考図 2-1 可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットを使用した格納容器水素濃度測定</p>	<p>相違理由</p> <p>(「参考 2 原子炉格納容器の水素濃度測定」については、第 52条まとめ資料の補足説明資料 52-12 を踏まえた記載として、大阪の第 52条まとめ資料の補足説明資料 52-9 にて、同様の内容が整理されているため、引用し、比較した。)</p> <p>【伊方】【大阪(第 52 条)】設備名称の相違（以降、相違理由の記載を省略する。）</p> <p>【伊方】記載表現の相違（大阪(第 52 条)と同様。）</p> <p>【伊方】記載表現の相違（大阪(第 52 条)と同様。）</p> <p>【伊方】【大阪(第 52 条)】設備名称の相違（以降、相違理由の記載を省略する。）</p> <p>【伊方】記載表現の相違（大阪(第 52 条)と同様。）</p> <p>【伊方】【大阪(第 52 条)】設備名称の相違（以降、相違理由の記載を省略する。）</p>

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

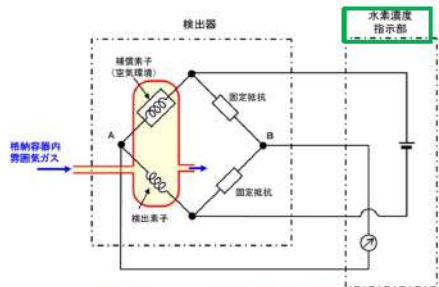
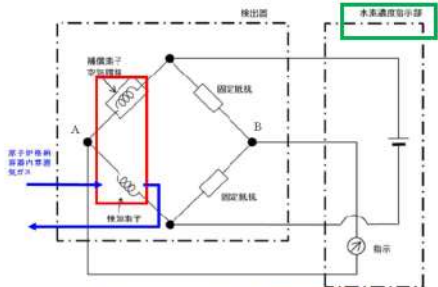
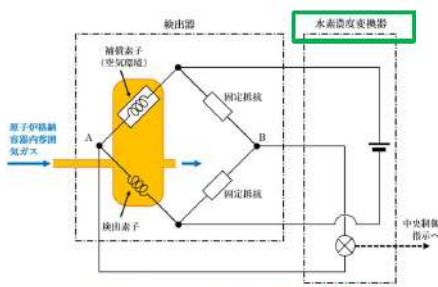
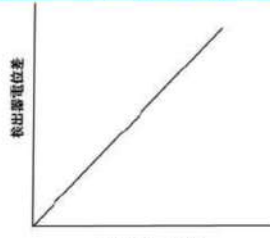
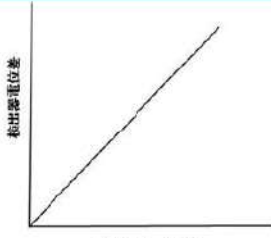
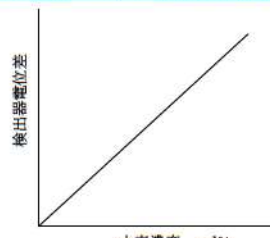
2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	伊方発電所3号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、大阪発電所3/4号炉第52条まとめ資料補足説明資料52-9より引用】</p> <p style="text-align: right;">別紙1</p> <p style="text-align: center;">可搬型格納容器水素ガス濃度計の測定原理と適用性について</p> <p>1. 可搬型格納容器水素ガス濃度計の役割と求められる仕様の考え方</p> <p>可搬型格納容器水素ガス濃度計は、著しい炉心の損傷が発生した場合に、原子炉格納容器内に発生する水素を監視する目的で、水素濃度が変動する可能性のある範囲で測定できる設計としている。</p> <p>PWRプラントでは、炉心損傷時に原子炉格納容器内に発生する水素濃度を制御する目的で原子炉格納容器外へ排出する等の操作はないことから、可搬型格納容器水素ガス濃度計は、事故時に想定する水素濃度範囲内（13vol%未満）であることやPARやイグナイタによる水素濃度低減等を原子炉格納容器内水素濃度の推移（トレンド）として連続的に監視できることが主な役割である。</p> <p>このために、可搬型格納容器水素ガス濃度計は、事故初期に容易に準備対応ができ、炉心損傷時の環境条件に対応できるものであることが求められ、プロセス計器として、中央制御室にて原子炉格納容器内水素濃度の推移（トレンド）を連続的に監視できることが必要であり重要となる。水素濃度レベルの程度や推移の監視ができる測定精度としては、概ね1vol%以下の測定精度を有する必要がある。*1</p> <p>*1 ガスクロマトグラフは、詳細なガス成分割合の分析を高精度で測定することができるが、分析員の手分析測定による間欠的な試料採取のため、被ばく等の観点から炉心損傷事故初期の対応が困難であり、中央制御室でのリアルタイムでの連続的な水素濃度監視については可搬型格納容器水素ガス濃度計での監視測定が適している。</p> <p>可搬型格納容器水素ガス濃度計は、水素の熱伝導率が空気、窒素、酸素等と大きく異なることを利用した、水素に着目した熱伝導方式の濃度計であり、事故時に酸素濃度等のガス成分に変動があっても熱伝導率に大きな変化がなく、また、キセノン等の不活性ガスはバックグラウンドとなる空気と比較してモル分率が十分小さいためサンプルガスの熱伝導率への影響は十分小さいことから、水素濃度測定に対する大きな誤差にはならない利点がある。したがって、後述するシステムとしての測定精度を認識した上で、重大事故対処時の原子炉格納容器内の水素濃度の推移、傾向（トレンド）の監視のために対応できるものとしている。</p>	<p style="text-align: right;">(別紙)</p> <p style="text-align: center;">格納容器水素濃度計測装置の測定原理と適用性について</p> <p>1. 格納容器水素濃度計測装置について</p> <p>格納容器水素濃度計測装置は、著しい炉心の損傷が発生した場合に、原子炉格納容器内に発生する水素を監視する目的で、水素濃度が変動する可能性のある範囲で測定できる設計としている。</p> <p>PWRプラントでは、炉心損傷時に原子炉格納容器内に発生する水素濃度を制御し、原子炉格納容器外へ排出する等の操作はないことから、格納容器水素濃度計測装置は、事故時に想定する水素濃度範囲内（13vol%未満）であることやPARやイグナイタによる水素濃度低減等を原子炉格納容器内水素濃度の推移（トレンド）として連続的に監視できることが主な役割である。</p> <p>このために、格納容器水素濃度計測装置は、事故初期に容易に準備対応ができ、炉心損傷時の環境条件に対応できるものであることが求められ、プロセス計器として、中央制御室にて原子炉格納容器内水素濃度の推移（トレンド）を連続的に監視できることが重要となる。水素濃度レベルの程度や推移の監視ができる計測精度としては、概ね1vol%以下の計測精度を有する必要がある。</p> <p>一方、ガス分析器（ガスクロマトグラフ）は、詳細なガス成分割合の分析を高精度で測定することができるが、分析員の手分析測定による間欠的な試料採取のため、被ばく等の観点から炉心損傷事故初期の対応が困難であり、中央制御室でのリアルタイムでの連続的な水素濃度監視については格納容器水素濃度計測装置での監視測定が適している。</p> <p>格納容器水素濃度計測装置は、水素の熱伝導率が空気、窒素、酸素等と大きく異なることを利用した、水素に着目した熱伝導方式の濃度計であり、事故時に酸素濃度等のガス成分に変動があっても熱伝導率に大きな変化がない。また、キセノン等の不活性ガスはバックグラウンドとなる空気と比較してモル分率が十分小さいためサンプルガスの熱伝導率への影響は十分小さいことから、水素濃度測定に対する大きな誤差にはならない利点がある。したがって、後述するシステムとしての計測精度を認識した上で、重大事故対処時の原子炉格納容器内の水素濃度の推移、傾向（トレンド）の監視のために対応できるものとしている。</p>	<p style="text-align: right;">(別紙)</p> <p style="text-align: center;">可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットの測定原理と適用性について</p> <p>1. 可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットの役割と求められる仕様の考え方</p> <p>可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットは、著しい炉心の損傷が発生した場合に、原子炉格納容器内に発生する水素を監視する目的で、水素濃度が変動する可能性のある範囲で測定できる設計としている。</p> <p>PWRプラントでは、炉心損傷時に原子炉格納容器内に発生する水素濃度を制御する目的で原子炉格納容器外へ排出する等の操作はないことから、可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットは、事故時に想定する水素濃度範囲内（13vol%未満）であることやPARやイグナイタによる水素濃度低減等を格納容器内水素濃度の推移（トレンド）として連続的に監視できることが主な役割である。</p> <p>このために、可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットは、事故初期に容易に準備対応ができ、炉心損傷時の環境条件に対応できるものであることが求められ、プロセス計器として、中央制御室にて格納容器内水素濃度の推移（トレンド）を連続的に監視できることが必要であり重要となる。水素濃度レベルの程度や推移の監視ができる測定精度としては、概ね1vol%以下の測定精度を有する必要がある。</p> <p>一方、ガス分析計（ガスクロマトグラフ）は、詳細なガス成分割合の分析を高精度で測定することができるが、分析員の手分析測定による間欠的な試料採取のため、被ばく等の観点から炉心損傷事故初期の対応が困難であり、中央制御室でのリアルタイムでの連続的な水素濃度監視については可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットでの監視測定が適している。</p> <p>可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットは、水素の熱伝導率が空気、窒素、酸素等と大きく異なることを利用した、水素に着目した熱伝導方式の濃度計であり、事故時に酸素濃度等のガス成分に変動があっても熱伝導率に大きな変化がなく、また、キセノン等の不活性ガスはバックグラウンドとなる空気と比較してモル分率が十分小さいためサンプルガスの熱伝導率への影響は十分小さいことから、水素濃度測定に対する大きな誤差にはならない利点がある。したがって、後述するシステムとしての測定精度を認識した上で、重大事故対処時の原子炉格納容器内の水素濃度の推移、傾向（トレンド）の監視のために対応できるものとしている。</p>	<p>【伊方】記載表現の相違（大阪(第52条)と同様。)</p> <p>【伊方】記載表現の相違（大阪(第52条)の補足説明資料52-9別紙1の記載と同様。)</p> <p>【伊方】【大阪(第52条)】パラメータ名称の相違 (以降、相違理由の記載を省略する。)</p> <p>【伊方】記載表現の相違（大阪(第52条)と同様。)</p> <p>【伊方】記載表現の相違（大阪(第52条)と同様。)</p>

灰色：泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所 3 / 4号炉	伊方発電所 3号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p>【比較のため、大阪発電所 3 / 4号炉第 52 条まとめ資料補足 説明資料 52-9 より引用】</p> <p>2. 可搬型格納容器水素ガス濃度計の測定原理</p> <p>(1) 測定原理</p> <p>原子炉格納容器内の水素濃度測定に用いる可搬型格納容器水素ガス濃度計は、熱伝導式のものを用いる計画である。</p> <p>熱伝導式の水素検出器は、別図-1 に示すとおり、白金線のフィラメントで構成された検知素子と補償素子、及び2つの固定抵抗でブリッジ回路が構成されている。検知素子の部分に、サンプリングされた格納容器内雰囲気ガスが流れるようになっており、補償素子側は基準となる標準空気が密閉されており測定対象ガスは直接接触しない構造になっている。</p> <p>(補償素子の標準空気容器の外側には測定ガスが同様に流れ、温度補償は考慮された構造となっている。)</p>  <p>別図-1 水素検出回路概要図</p>	<p>2. 格納容器水素濃度計測装置の測定原理</p> <p>(1) 測定原理</p> <p>熱伝導方式の水素検出器は、参考図 2-1 に示すとおり、白金線のフィラメントで構成する検知素子と補償素子、及び2つの固定抵抗でブリッジ回路を構成している。検知素子の部分に、サンプリングされた格納容器内雰囲気ガスが流れるようになっており、補償素子側は基準となる標準空気が密閉されている。また、サンプリングガスは直接接触しない構造になっている。</p> <p>(補償素子の標準空気容器の外側にはサンプリングガスが同様に流れ、温度補償が考慮された構造である。)</p>  <p>参考図 2-1 水素検出回路概要図</p>	<p>2. 可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットの測定原理</p> <p>(1) 測定原理</p> <p>熱伝導式の水素検出器は、別図-1 に示すとおり、白金線のフィラメントで構成する検出素子と補償素子、及び2つの固定抵抗でブリッジ回路を構成している。検出素子の部分に、サンプリングされた原子炉格納容器内雰囲気ガスが流れるようになっており、補償素子側は基準となる標準空気が密閉されており、サンプリングガスは直接接触しない構造になっている。</p> <p>(補償素子の標準空気容器の外側にはサンプリングガスが同様に流れ、温度補償が考慮された構造である。)</p>  <p>別図-1 水素検出回路概要図</p>	<p>【大阪(第 52 条)】記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、1. 項にて記載しているため、ここでは記載しない。 <p>【伊方】記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、「別紙」の図表であるため、「別図」としている。 (以降、相違理由の記載を省略する。) <p>【伊方】【大阪(第 52 条)】名称の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検知素子⇔検出素子 (以降、相違理由の記載を省略する。) <p>【伊方】【大阪(第 52 条)】記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、検出器からの信号について、水素濃度変換器で指示値を確認するのではなく、水素濃度変換器を経て中央制御室の AM 設備監視操作盤に入力し、表示する構成とされていることから、名称を「水素濃度変換器」としている。
<p>水素濃度指示計部より電圧を印加して検出素子と補償素子の両方の白金線を約 200℃に加熱した状態で、水素を含む測定ガスを流すと、検知素子側は測定ガスが熱をうばい、検知素子の温度が低下することにより抵抗が低下する。この検知素子の抵抗が低下するとブリッジ回路の平衡が失われ、別図-1 の A B 間に電位差（電流）が生じる。この電位差が水素濃度に比例する（別図-2）原理を用いて、水素濃度を測定する。</p>  <p>別図-2 水素濃度と検出器電位差の関係</p>	<p>水素濃度指示計部より電圧を印加して検出素子と補償素子の両方の白金線を約 200℃に加熱した状態で、水素を含む測定ガスを流すと、検出素子側は測定ガスが熱を奪い、検出素子の温度が低下することにより抵抗が低下する。この検出素子の抵抗が低下するとブリッジ回路の平衡が失われ、別図-1 の A B 間に電位差（電流）が生じる。この電位差が水素濃度に比例する（別図-2）原理を用いて、水素濃度を測定する。</p>  <p>参考図 2-2 水素濃度と検出器電位差の関係</p>	<p>水素濃度変換器により電圧を印加して検出素子と補償素子の両方の白金線を約 200℃に加熱した状態で、水素を含む測定ガスを流すと、検出素子側は測定ガスが熱を奪い、検出素子の温度が低下することにより抵抗が低下する。この検出素子の抵抗が低下するとブリッジ回路の平衡が失われ、別図-1 の A B 間に電位差（電流）が生じる。この電位差が水素濃度に比例する（別図-2）原理を用いて、水素濃度を測定する。</p>  <p>別図-2 水素濃度と検出器電位差の関係</p>	<p>【伊方】記載内容の相違（大阪(第 52 条)と同様。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、前述した水素検出器による測定の原理について記載している。（大阪(第 52 条)と同様であるため、当該箇所の記載については大阪(第 52 条)との相違箇所を識別した。） <p>【大阪(第 52 条)】記載表現の相違</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

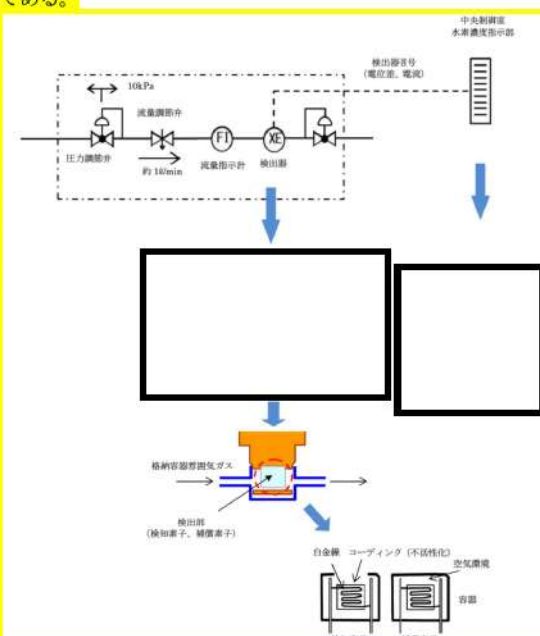
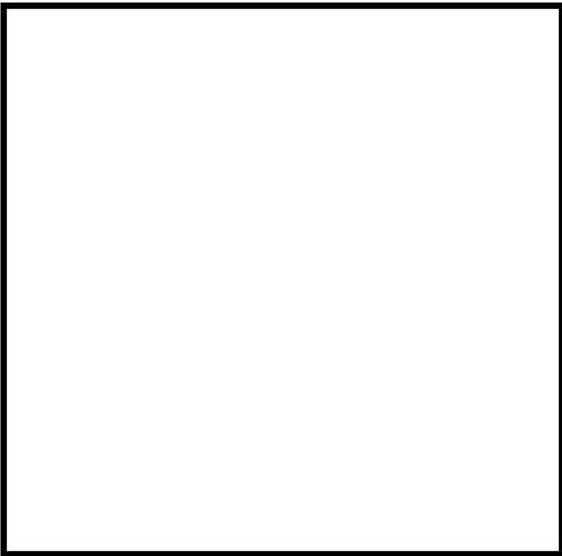
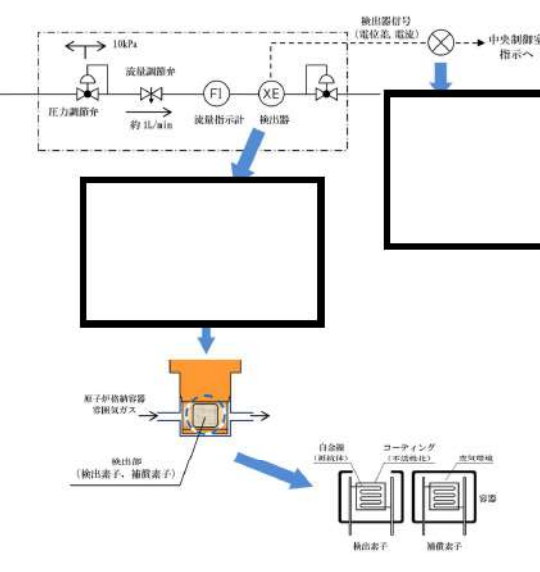
2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	伊方発電所3号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																										
<p>【比較のため、大阪発電所3/4号炉第52条まとめ資料補足説明資料52-9より引用】</p> <p>水素濃度計は、標準空気に対する測定ガスの熱伝導の差を検出する方式のものであり、酸素、窒素などの空気中のガスに対し、水素ガスの熱伝導率の差が大きいことを利用しているものである。</p> <p>水素の熱伝導率は、0.18W/(m・K) at25℃, 1atmである一方、酸素、窒素は、約0.026~0.027W/(m・K) at25℃, 1atmと基準となる空気（約0.026W/(m・K) at25℃, 1atm）と熱伝導率がほぼ同じであり、空気内主要成分は窒素が78vol%程度、酸素が20vol%程度であることから、PARやイグナイタによる水素除去が進み、酸素濃度等のサンプルガス成分に変動があっても熱伝導率に大きな変化がなく、水素濃度計測に対する大きな誤差にはならない利点があり、原子炉格納容器内雰囲気ガスにおける水素濃度に着目したプロセス計器として適用できるものである。</p> <p>また、燃料損傷時に発生するキセノン等の不活性ガスはバックグラウンドとなる空気に対して熱伝導率は低いが、水素や空気と比較してモル分率が十分小さい（約1000分の1以下）ため、サンプルガスの熱伝導率への影響は十分小さく、水素濃度測定に対する大きな誤差にはならない。</p> <p>なお、事故時仮に一酸化炭素が発生した場合においても、一酸化炭素の熱伝導率は、25mW/(m・K) at25℃, 1atmであり、空気（25.9mW/(m・K) at25℃, 1atm）に近い値であるため、水素濃度測定に対する大きな誤差にはならない。</p> <p>以上より、原子炉格納容器内雰囲気ガスを測定する場合でも、水素濃度計が持つ測定誤差（±5% of span, 0~20vol%レンジで±1vol%）を大きく逸脱しない範囲で水素濃度の計測が可能と考える。</p>	<p>水素検出器は、酸素、窒素などの空気中のガスに対し、水素ガスの熱伝導率の差が大きいことを利用し、標準空気に対するサンプリングガスの熱伝導率の差を検出する方式のものである。</p> <p>水素の熱伝導率は、0.18W/(m・K) at25℃, 1atmである一方、酸素、窒素は、約0.026~0.027W/(m・K) at25℃, 1atmで基準となる空気（約0.026W/(m・K) at25℃, 1atm）と熱伝導率がほぼ同じであり、空気内主要成分は窒素が78vol%程度、酸素が20vol%程度であることから、PARやイグナイタによる水素除去が進み、酸素濃度等のサンプルガス成分に変動があっても熱伝導率に大きな変化がなく、水素濃度測定に対する大きな誤差にはならない利点があり、原子炉格納容器内雰囲気ガスにおける水素濃度に着目したプロセス計器として適用できるものである。</p> <p>また、燃料損傷時に発生するキセノン等の不活性ガスはバックグラウンドとなる空気に対して熱伝導率は低いが、水素や空気と比較してモル分率が十分小さい（約1000分の1以下）ため、サンプルガスの熱伝導率への影響は十分小さく、水素濃度測定に対する大きな誤差にはならない。</p> <p>なお、事故時仮に一酸化炭素が発生した場合においても、一酸化炭素の熱伝導率は、0.025W/(m・K) at25℃, 1atmであり、空気に近い値であるため、水素濃度測定に対する大きな誤差にはならない。</p> <p>以上より、原子炉格納容器内雰囲気ガスを測定する場合でも、水素濃度計が持つ計測誤差（±5% span, 0~20vol%レンジで±1vol%）を大きく逸脱しない範囲で水素濃度の測定が可能と考えられる。</p>	<p>水素濃度計は、酸素、窒素等の空気中のガスに対し、水素ガスの熱伝導率の差が大きいことを利用し、標準空気に対するサンプリングガスの熱伝導率の差を検出する方式のものである。</p> <p>水素の熱伝導率は、約0.18W/(m・K) at25℃, 1atmである一方、酸素、窒素は、約0.026~0.027W/(m・K) at25℃, 1atmで基準となる空気（約0.026W/(m・K) at25℃, 1atm）と熱伝導率がほぼ同じであり、空気内主要成分は窒素が78vol%程度、酸素が20vol%程度であることから、PARやイグナイタによる水素除去が進み、酸素濃度等のサンプルガス成分に変動があっても熱伝導率に大きな変化がなく、水素濃度測定に対する大きな誤差にはならない利点があり、原子炉格納容器内雰囲気ガスにおける水素濃度に着目したプロセス計器として適用できるものである。</p> <p>また、燃料損傷時に発生するキセノン等の不活性ガスはバックグラウンドとなる空気に対して熱伝導率は低いが、水素や空気と比較してモル分率が十分小さい（約1000分の1以下）ため、サンプルガスの熱伝導率への影響は十分小さく、水素濃度測定に対する大きな誤差にはならない。</p> <p>なお、事故時仮に一酸化炭素が発生した場合においても、一酸化炭素の熱伝導率は、25.0mW/(m・K) at25℃, 1atmであり、空気（25.9mW/(m・K) at25℃, 1atm）に近い値であるため、水素濃度測定に対する大きな誤差にはならない。</p> <p>以上より、原子炉格納容器内雰囲気ガスを測定する場合でも、水素濃度計が持つ測定誤差（±5%span, 0~20vol%レンジで±1vol%）を大きく逸脱しない範囲で水素濃度の測定が可能と考えられる。</p>	<p>【伊方】記載表現の相違（大阪(第52条)と同様。）</p> <p>【大阪(第52条)】記載表現の相違（伊方と同様。）</p> <p>【伊方】【大阪(第52条)】記載表現の相違・泊は、「水素」の熱伝導率について「空気」と同様に、「約」をつけている。</p> <p>【伊方】記載表現の相違・泊は、大阪(第52条)と同様に、「空気」の熱伝導率を追記した。</p>																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>ガスの種類</th> <th>熱伝導率 (mW/m・K) at25℃, 1atm</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水素</td> <td>180.6 (0.18W/(m・K))</td> </tr> <tr> <td>窒素</td> <td>25.84</td> </tr> <tr> <td>酸素</td> <td>26.59</td> </tr> <tr> <td>空気</td> <td>25.9 (約0.026W/(m・K))</td> </tr> <tr> <td>キセノン</td> <td>5.59</td> </tr> <tr> <td>一酸化炭素</td> <td>25.0</td> </tr> </tbody> </table>	ガスの種類	熱伝導率 (mW/m・K) at25℃, 1atm	水素	180.6 (0.18W/(m・K))	窒素	25.84	酸素	26.59	空気	25.9 (約0.026W/(m・K))	キセノン	5.59	一酸化炭素	25.0	<table border="1"> <thead> <tr> <th>ガスの種類</th> <th>熱伝導率 (mW/m・K) at25℃, 1atm</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水素</td> <td>180.6 (0.18W/(m・K))</td> </tr> <tr> <td>窒素</td> <td>25.84</td> </tr> <tr> <td>酸素</td> <td>26.59</td> </tr> <tr> <td>空気</td> <td>25.9 (約0.026W/(m・K))</td> </tr> <tr> <td>キセノン</td> <td>5.59</td> </tr> <tr> <td>一酸化炭素</td> <td>25.0</td> </tr> </tbody> </table>	ガスの種類	熱伝導率 (mW/m・K) at25℃, 1atm	水素	180.6 (0.18W/(m・K))	窒素	25.84	酸素	26.59	空気	25.9 (約0.026W/(m・K))	キセノン	5.59	一酸化炭素	25.0	<table border="1"> <thead> <tr> <th>ガスの種類</th> <th>熱伝導率 (mW/(m・K)) at25℃, 1atm</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水素</td> <td>180.6 (約0.18W/(m・K))</td> </tr> <tr> <td>窒素</td> <td>25.84</td> </tr> <tr> <td>酸素</td> <td>26.59</td> </tr> <tr> <td>空気</td> <td>25.9 (約0.026W/(m・K))</td> </tr> <tr> <td>キセノン</td> <td>5.59</td> </tr> <tr> <td>一酸化炭素</td> <td>25.0</td> </tr> </tbody> </table>	ガスの種類	熱伝導率 (mW/(m・K)) at25℃, 1atm	水素	180.6 (約0.18W/(m・K))	窒素	25.84	酸素	26.59	空気	25.9 (約0.026W/(m・K))	キセノン	5.59	一酸化炭素	25.0	
ガスの種類	熱伝導率 (mW/m・K) at25℃, 1atm																																												
水素	180.6 (0.18W/(m・K))																																												
窒素	25.84																																												
酸素	26.59																																												
空気	25.9 (約0.026W/(m・K))																																												
キセノン	5.59																																												
一酸化炭素	25.0																																												
ガスの種類	熱伝導率 (mW/m・K) at25℃, 1atm																																												
水素	180.6 (0.18W/(m・K))																																												
窒素	25.84																																												
酸素	26.59																																												
空気	25.9 (約0.026W/(m・K))																																												
キセノン	5.59																																												
一酸化炭素	25.0																																												
ガスの種類	熱伝導率 (mW/(m・K)) at25℃, 1atm																																												
水素	180.6 (約0.18W/(m・K))																																												
窒素	25.84																																												
酸素	26.59																																												
空気	25.9 (約0.026W/(m・K))																																												
キセノン	5.59																																												
一酸化炭素	25.0																																												

灰色：泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

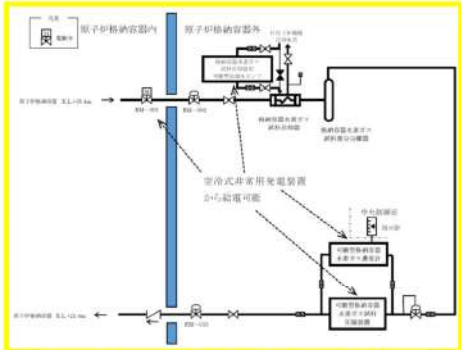
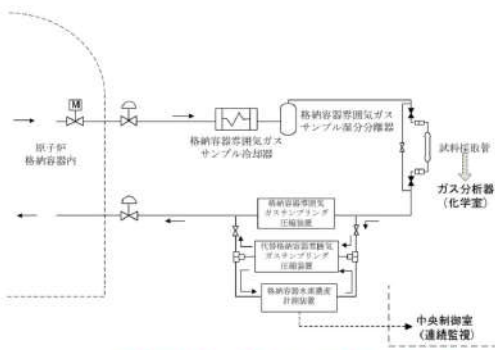
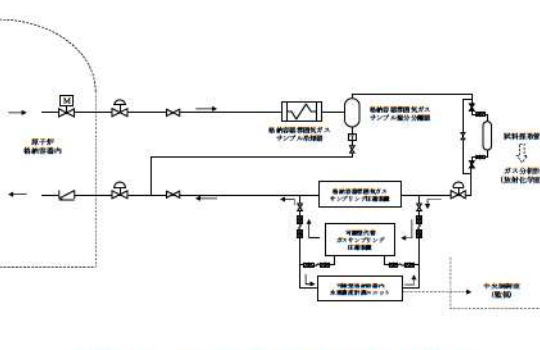
2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	伊方発電所3号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、大阪発電所3/4号炉第52条まとめ資料補足説明資料52-9より引用】</p> <p>(2) 可搬型格納容器水素ガス濃度計の構造 可搬型格納容器水素ガス濃度計の構造概要は別図-3のとおりである。</p>  <p>別図-3 可搬型格納容器水素ガス濃度計測装置（基本構造図） □ 内は機密に属するものですので公開できません。</p> <p>3. 可搬型格納容器水素ガス濃度計の仕様と水素濃度測定システム構成</p> <p>(1) 可搬型格納容器水素ガス濃度計の基本仕様 測定レンジ：水素濃度0～20vol%に設定 測定精度：±5%span 上記測定レンジの空气中水素濃度に対して±1vol% 使用温度範囲：-10～70℃ 使用圧力範囲：大気圧（±10kPa） 測定ガス流量：約1ℓ/min 水素濃度の測定範囲0～20vol%において、計器仕様上は最大±1vol%の誤差を生じる可能性があるが、この誤差があることを理解した上で、十分に事故対処時の水素濃度の推移、傾向（トレンド）を監視していくことができる。</p>	<p>(2) 格納容器水素濃度計測装置の構造 格納容器水素濃度計測装置の構造概要は参考図2-3のとおりである。</p>  <p>参考図2-3 格納容器水素濃度計測装置（基本構成図）</p> <p>3. 格納容器水素濃度計測装置の仕様と水素濃度測定システム構成</p> <p>(1) 格納容器水素濃度計測装置の基本仕様 測定レンジ：水素濃度0～20vol%に設定 測定精度：±5%span 上記測定レンジの空气中水素濃度に対して±1vol% 使用温度範囲：-10～70℃ 使用圧力範囲：大気圧（±10kPa） 測定ガス流量：約1ℓ/min 水素濃度計測装置の計測範囲0～20vol%において、計器仕様上は最大±1vol%の誤差を生じる可能性があるが、この誤差があることを理解した上で、十分に事故対処時の水素濃度の推移、傾向（トレンド）を監視していくことができる。</p>	<p>(2) 可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットの構造 可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットの構造概要は別図-3のとおりである。</p>  <p>別図-3 可搬型格納容器内水素濃度計測ユニット（基本構造図） □ 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p> <p>3. 可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットの仕様と水素濃度測定システム構成</p> <p>(1) 可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットの基本仕様 測定レンジ：水素濃度0～20vol%に設定 測定精度：±5%span 上記測定レンジの空气中水素濃度に対して±1vol% 使用温度範囲：-10～70℃ 使用圧力範囲：大気圧（±10kPa） 測定ガス流量：約1ℓ/min 水素濃度の測定範囲0～20vol%において、計器仕様上は最大±1vol%の誤差を生じる可能性があるが、この誤差があることを理解した上で、十分に事故対処時の水素濃度の推移、傾向（トレンド）を監視していくことができる。</p>	<p>相違理由</p> <p>【伊方】記載表現の相違（大阪（第52条）と同様。）</p> <p>【伊方】記載表現の相違（大阪（第52条）と同様。）</p>

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	伊方発電所3号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、大阪発電所3/4号炉第52条まとめ資料補足説明資料52-9より引用】</p> <p>(2) 水素濃度測定システムの構成</p> <p>可搬型格納容器水素ガス濃度計によるサンプリングシステムのシステム構成を別図-4に示す。</p> <p>原子炉格納容器からのサンプリングガスは、試料冷却器で冷却凝縮され、湿分離器で水分が除去されて、ほぼドライ状態で可搬型格納容器水素ガス濃度計部分で測定されるようにしている。可搬型格納容器水素ガス濃度計（検出器）からの信号は、中央制御室の水素濃度指示計に表示されるようにしているので、中央制御室での水素濃度の監視が可能である。</p>  <p>別図-4 格納容器水素ガス試料採取系統設備</p>	<p>(2) 水素濃度測定システムの構成</p> <p>格納容器水素濃度計測装置による事故後サンプリング設備の構成を、参考図2-4に示す。</p> <p>原子炉格納容器からのサンプリングガスは、格納容器雰囲気ガスサンプル冷却器で冷却凝縮し、湿分離器で水分を除去する。そして、ほぼドライ状態となったサンプリングガスを格納容器水素濃度計測装置に送り測定する。格納容器水素濃度計測装置（検出器）からの信号は、中央制御室の水素濃度指示計に表示されるため、中央制御室での水素濃度の監視が可能である。</p>  <p>参考図2-4 事故後サンプリング設備</p>	<p>(2) 水素濃度測定システムの構成</p> <p>可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットによる格納容器雰囲気ガス試料採取設備の構成を別図-4に示す。</p> <p>原子炉格納容器からのサンプリングガスは、格納容器雰囲気ガスサンプル冷却器で冷却凝縮され、湿分離器で水分を除去する。そして、ほぼドライ状態となったサンプリングガスを可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットに送り測定する。可搬型格納容器内水素濃度計測ユニット（検出器）からの信号は、水素濃度変換器を経て中央制御室のAM設備監視操作盤に表示されるため、中央制御室での水素濃度の監視が可能である。</p>  <p>別図-4 格納容器雰囲気ガス試料採取設備</p>	<p>相違理由</p> <p>【伊方】記載表現の相違（大阪(第52条)と同様。)</p> <p>【伊方】【大阪(第52条)】設備構成の相違・泊は、検出器からの信号について、水素濃度変換器で指示値を確認するのではなく、水素濃度変換器を経て中央制御室のAM設備監視操作盤に入力し、表示する構成としている。</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	伊方発電所3号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、大阪発電所3/4号炉第52条まとめ資料補足説明資料52-9より引用】</p> <p>(3) 測定ガス条件の水素濃度測定精度への影響評価</p> <p>a. 温度</p> <p>サンプリングされた格納容器内雰囲気ガスは、十分な除熱性能を有している試料冷却器を通り、原子炉補機冷却水と熱交換されることで約45℃以下まで冷却することができ*1、その後の検出器までの配管での放熱もあることから十分に検出器の適用温度範囲内まで冷却され、ほぼ一定温度で検出器にサンプリングガスを供給することが可能である。また、標準空気が密封された補償素子の周囲にもサンプリングガスが流れることで、標準空気の温度がサンプリングガスに追従するように温度補償される検出器構造となっている。したがって、サンプリングガスはほぼ一定温度で検出器に供給され、検出器内で温度補償されることから、使用する条件下において水素濃度測定への影響は十分小さい設計としている。なお、水素濃度4vol%の試料ガスについて、温度を20℃～60℃まで変化させた試験を行った範囲では、有意な水素濃度の変化が認められなかったことを確認している。（別図-5）</p> <p>*1 重大事故時の格納容器内温度144℃とし、原子炉補機冷却水の温度を夏場の35℃とした場合でも、冷却器により約45℃以下に冷却できる。</p> <div data-bbox="91 831 640 1209" style="border: 1px solid black; height: 200px; width: 100%;"></div> <p>別図-5 各温度条件での水素濃度出力値 <input type="checkbox"/> 内は機密に属するものですので公開できません。</p>	<p>(3) 測定ガス条件の水素濃度測定精度への影響評価</p> <p>a. 温度</p> <p>サンプリングされた格納容器内雰囲気ガスは、十分な除熱性能を有している格納容器雰囲気ガスサンプル冷却器により、原子炉補機冷却水（以下「CCW」という。）と熱交換することで約45℃以下まで冷却され*、その後の検出器までの配管での放熱もあることから十分に検出器の適用温度範囲内まで冷却され、ほぼ一定温度で検出器にサンプリングガスを供給することが可能である。また、標準空気が密封された補償素子の周囲にもサンプリングガスが流れることで、標準空気の温度がサンプリングガスに追従するように温度補償される検出器構造となっている。したがって、サンプリングガスの温度は一定温度で検出器に供給され、検出器内で温度補償されることから、使用する条件下において水素濃度測定への影響は十分小さい設計としている。なお、水素濃度4vol%の試料ガスについて、温度を20℃～60℃の範囲で変化させて試験を行い、有意な水素濃度の変化が認められないことを確認している。（参考図2-5）</p> <p>※：重大事故時の原子炉格納容器内温度138℃とし、CCWの温度を夏場の40℃とした場合でも、冷却器により約45℃以下に冷却できる。</p> <div data-bbox="663 831 1211 1209" style="border: 1px solid black; height: 200px; width: 100%;"></div> <p>参考図2-5 各温度条件での水素濃度出力値</p>	<p>(3) 測定ガス条件の水素濃度測定精度への影響評価</p> <p>a. 温度</p> <p>サンプリングされた原子炉格納容器内雰囲気ガスは、十分な除熱性能を有している格納容器雰囲気ガスサンプル冷却器により、原子炉補機冷却水と熱交換することで約45℃以下まで冷却することができ*、その後の検出器までの配管での放熱もあることから十分に検出器の適用温度範囲内まで冷却され、ほぼ一定温度で検出器にサンプリングガスを供給することが可能である。また、標準空気が密封された補償素子の周囲にもサンプリングガスが流れることで、標準空気の温度がサンプリングガスに追従するように温度補償される検出器構造となっている。したがって、サンプリングガスはほぼ一定温度で検出器に供給され、検出器内で温度補償されることから、使用する条件下において水素濃度測定への影響は十分小さい設計としている。なお、水素濃度4vol%の試料ガスについて、温度を20℃～60℃の範囲で変化させて試験を行い、有意な水素濃度の変化が認められないことを確認している。（別図-5）</p> <p>※：重大事故時の原子炉格納容器内温度を141℃とし、原子炉補機冷却水の温度を夏場の35℃とした場合でも、冷却器により約45℃以下に冷却できる。</p> <div data-bbox="1240 831 1789 1209" style="border: 1px solid black; height: 200px; width: 100%;"></div> <p>別図-5 各温度条件での水素濃度出力値 <input type="checkbox"/> 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p>【伊方】記載表現の相違（大阪（第52条）と同様。）</p> <p>【伊方】【大阪（第52条）】重大事故等対策の有効性評価における原子炉格納容器の最高温度の相違</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	伊方発電所3号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、大阪発電所3/4号炉第52条まとめ資料補足説明資料52-9より引用】</p> <p>b. 流量 検出器へ流れるサンプリングガスの流量は、1ℓ/min程度の小流量としており、流量の変動がないよう流量制御することとしている。別図-3に示すように小流量としたサンプリングガスは検出器の検出部と一体となった容器に一旦入るため、流速はさらに小さくなるようになっていることから、水素濃度測定に影響を及ぼすことはない。なお、検出器へ流れるサンプリングガス流量を約0.6～1.2ℓ/minの範囲で変動させた試験を行っており、水素濃度計指示に有意な変化は認められなかったことを確認している。</p> <p>c. 湿分 検出器へ流れるサンプリングガスにおいて、水蒸気が除去されていない場合は、水素濃度測定値へ影響することが考えられるが、サンプリングされる格納容器内雰囲気ガスは試料冷却器により原子炉補機冷却水と熱交換されることで約45℃以下まで冷却され*1、下流の湿分分離器によりサンプリングガス中の湿分を除去するよう設計されており、水素濃度計の検出部に水分が付着するような状態となることはない。</p> <p>また、湿度が変動する要因としては、原子炉補機冷却水温度（冷却性能）、雰囲気温度が考えられるが、いずれも急激な変動は考えられないため、検出器での湿度はほぼ一定であり、十分測定対応が可能な状態にあることから、水素濃度測定へ影響を及ぼすことはない。なお、水素濃度0～20%、温度20℃の試料ガスについて、相対湿度を30～90%RHと変化させた試験を行った（別図-6,7）。水素濃度20vol%において0.5vol%程度の変化は見られるものの、相対湿度の変化に対して、水素濃度計指示に有意な変化はないと評価している。</p>	<p>b. 流量 検出器へ流れるサンプリングガスの流量は、1ℓ/min程度の小流量としており、流量の変動がないよう流量制御することとしている。なお、検出器へ流れるサンプリングガス流量を約0.6～1.2ℓ/minの範囲で変化させた試験を行い、水素濃度計測装置の指示に有意な変化は認められないことを確認している。</p> <p>c. 湿分 検出器へ流れるサンプリングガスの水蒸気が除去されていない場合は、水素濃度測定値へ影響することが考えられるが、サンプリングする原子炉格納容器内雰囲気ガスは格納容器雰囲気ガスサンプル冷却器によりCCWと熱交換することで約45℃以下まで冷却され*、下流の湿分分離器によりサンプリングガス中の湿分を除去するよう設計しており、水素濃度計測装置の検出器に水分が付着するような状態となることはない。</p> <p>また、湿度が変動する要因としては、CCW温度（冷却性能）、雰囲気温度が考えられるが、いずれも急激な変動は考えられないため、検出器での湿度はほぼ一定であり、水素濃度測定へ影響を及ぼすことはない。なお、水素濃度0～20vol%、温度20℃の試料ガスについて、相対湿度を30～90%RHの範囲で変化させた試験を行った。その結果、水素濃度20vol%において0.5vol%程度の変化は見られるものの、相対湿度の変化に対して、水素濃度計指示に有意な変化はないことを確認している。（参考図2-6,2-7）</p>	<p>b. 流量 検出器へ流れるサンプリングガスの流量は、1L/min程度の小流量としており、流量の変動がないよう流量制御することとしている。なお、検出器へ流れるサンプリングガス流量を約0.6～1.2L/minの範囲で変化させた試験を行い、可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットの指示に有意な変化は認められないことを確認している。</p> <p>c. 湿分 検出器へ流れるサンプリングガスの水蒸気が除去されていない場合は、水素濃度測定値へ影響することが考えられるが、サンプリングする原子炉格納容器内雰囲気ガスは格納容器雰囲気ガスサンプル冷却器により原子炉補機冷却水と熱交換することで約45℃以下まで冷却され*、下流の湿分分離器によりサンプリングガス中の湿分を除去するよう設計しており、可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットの検出器に水分が付着するような状態となることはない。</p> <p>また、湿度が変動する要因としては、原子炉補機冷却水温度（冷却性能）、雰囲気温度が考えられるが、いずれも急激な変動は考えられないため、検出器での湿度はほぼ一定であり、水素濃度測定へ影響を及ぼすことはない。なお、水素濃度0～20vol%、温度20℃の試料ガスについて、相対湿度を30～90%RHの範囲で変化させた試験を行った。その結果、水素濃度20vol%において0.5vol%程度の変化は見られるものの、相対湿度の変化に対して、水素濃度計指示に有意な変化はないことを確認している。（別図-6,7）</p>	<p>【大阪(第52条)】記載表現の相違</p> <p>【伊方】【大阪(第52条)】記載表現の相違</p> <p>【伊方】記載表現の相違（大阪(第52条)と同様。）</p> <p>【伊方】記載表現の相違</p>

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	伊方発電所3号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、大阪発電所3/4号炉第52条まとめ資料補足 説明資料52-9より引用】</p>			
<div data-bbox="125 220 607 635" style="border: 1px solid black; height: 260px; width: 215px; margin-bottom: 10px;"></div> <p data-bbox="219 635 515 657">別図-6 20℃における湿度依存性</p>	<div data-bbox="701 220 1182 635" style="border: 1px solid black; height: 260px; width: 215px; margin-bottom: 10px;"></div> <p data-bbox="775 635 1111 657">参考図 2-6 20℃における湿度依存性</p>	<div data-bbox="1283 220 1765 635" style="border: 1px solid black; height: 260px; width: 215px; margin-bottom: 10px;"></div> <p data-bbox="1357 635 1680 657">別図-6 20℃における湿度依存性</p> <div data-bbox="1308 660 1787 683" style="border: 1px solid black; width: 214px; height: 14px; margin-bottom: 5px;"></div> <p data-bbox="1382 660 1787 683">枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	
<div data-bbox="125 746 607 1161" style="border: 1px solid black; height: 260px; width: 215px; margin-bottom: 10px;"></div> <p data-bbox="152 1161 582 1184">別図-7 20℃における各湿度条件での感度特性</p> <div data-bbox="271 1187 636 1209" style="border: 1px solid black; width: 163px; height: 14px; margin-bottom: 5px;"></div> <p data-bbox="271 1187 636 1209">内は機密に属するものですので公開できません。</p>	<div data-bbox="701 746 1182 1161" style="border: 1px solid black; height: 260px; width: 215px; margin-bottom: 10px;"></div> <p data-bbox="732 1161 1151 1184">参考図 2-7 20℃における各湿度条件での感度</p>	<div data-bbox="1263 746 1744 1161" style="border: 1px solid black; height: 260px; width: 215px; margin-bottom: 10px;"></div> <p data-bbox="1294 1161 1738 1184">別図-7 20℃における各湿度条件での感度特性</p> <div data-bbox="1308 1187 1787 1209" style="border: 1px solid black; width: 214px; height: 14px; margin-bottom: 5px;"></div> <p data-bbox="1382 1187 1787 1209">枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p data-bbox="1809 1161 2139 1209">【伊方】記載表現の相違（大阪(第52条)と同様。)</p>